２０２４ 年 度

教　科　案　内

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

愛 知 医 科 大 学　　看 護 学 部

Aichi Medical University　College of Nursing

	講義コード	講義名称	必修・選択＜組＞	講義開講時期	講義区分	代表教員	開講学年次
	FB102000A	治療・回復過程援助論Ⅱ	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	佐藤　ゆかり	３学年次
選択	FB102000B	治療・回復過程援助論Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	佐藤　ゆかり	３学年次
	FB103000N	治療・回復過程援助実習	必修	通年	実習	佐藤　ゆかり	３学年次
選択	FB105000N	療養生活支援論Ⅱ	必修	前学期	演習	谷口　千枝	３学年次
	FB106000N	療養生活支援実習	必修	通年	実習	谷口　千枝	３学年次
選択	FD102000A	クリティカルケア論	必修＜Ａ組＞	前学期	講義	佐藤　ゆかり	３学年次
	FD102000B	クリティカルケア論	必修＜Ｂ組＞	前学期	講義	佐藤　ゆかり	３学年次
選択	FD103000N	ターミナルケア論	必修	前学期	講義	佐々木　裕子	３学年次
	FE102000A	母性看護学援助論	必修＜Ａ組＞	後学期	演習	山本　弘江	３学年次
選択	FE102000B	母性看護学援助論	必修＜Ｂ組＞	後学期	演習	山本　弘江	３学年次
	FE103000N	母性看護学実習	必修	前学期	実習	山本　弘江	４学年次
選択	FE105000A	小児看護学援助論	必修＜Ａ組＞	後学期	演習	深谷　基裕	３学年次
	FE105000B	小児看護学援助論	必修＜Ｂ組＞	後学期	演習	深谷　基裕	３学年次
選択	FE106000N	小児看護学実習	必修	前学期	実習	深谷　基裕	４学年次
	FE109000N	老年看護学援助論	必修	前学期	演習	荻野　朋子	３学年次
選択	FE110000N	老年看護学実習Ⅰ	必修	前学期	実習	荻野　朋子	３学年次
	FE111000N	老年看護学実習Ⅱ	必修	後学期	実習	荻野　朋子	３学年次
選択	FF103000N	精神看護学援助論	必修	前学期	演習	心光　世津子	３学年次
	FF107000A	在宅看護学援助論	必修＜Ａ組＞	後学期	演習	佐々木　裕子	３学年次
選択	FF107000B	在宅看護学援助論	必修＜Ｂ組＞	後学期	演習	佐々木　裕子	３学年次
	FF108000N	在宅看護学実習	必修	前学期	実習	白井　裕子	４学年次
選択	FF110000N	地域看護学援助論	必修	前学期	演習	若杉　里実	３学年次
	FH101000N	災害看護学	必修	後学期	講義	佐々木　裕子	４学年次
選択	FI101000N	公衆衛生看護学実習	保健師課程…必修	通年	実習	若杉　里実	４学年次
	FJ102000N	看護管理論	必修	前学期	講義	山中　真	４学年次
選択	FJ103000N	総合看護実習	必修	後学期	実習	看護学部教員	４学年次
	FJ104000N	看護総合	必修	後学期	講義	泉　雅之	４学年次
選択	FJ106000N	卒業研究Ⅱ	必修	通年	演習	看護学部教員	４学年次
	GA101000A	国語表現法	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	稲垣　広和	１学年次
選択	GA101000B	国語表現法	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	稲垣　広和	１学年次
	GA102000N	英語Ⅰ	必修	前学期	演習	近藤　真治	１学年次
選択	GA103000N	英語Ⅱ	必修	後学期	演習	近藤　真治	１学年次

	GB101000N	哲学	選択	前学期	講義	福井　雅彦	１学年次
選択	GB102000N	文学	選択	前学期	講義	安井　海洋	１学年次
	GC101000N	教育学	選択	後学期	講義	肥田　武	１学年次
選択	GC102000A	音楽	選択＜Ａ組＞	後学期	講義	森川　泉	１学年次
	GC102000B	音楽	選択＜Ｂ組＞	後学期	講義	森川　泉	１学年次
選択	GD101000N	医療英語	選択	前学期	演習	近藤　真治	３学年次
	GD102000N	手話	選択	前学期	演習	林　咲子	３学年次
選択	GD103000N	中国語	選択	前学期	演習	李　恩郷	３学年次
	GD104000N	スペイン語	選択	前学期	演習	古川　亜矢	３学年次
選択	GF101000N	文化人類学	選択	前学期	講義	加藤　英明	３学年次
	GF102000N	経済学	選択	前学期	講義	石田　昌夫	３学年次
選択	GF103000N	家族社会学	選択	前学期	講義	加藤　典子	３学年次
	GG101000N	統計学	必修	後学期	講義	箕浦　哲嗣	１学年次
選択	GH101000N	数学	選択	前学期	講義	橋本　貴宏	１学年次
	GH102000N	生命科学	選択	前学期	講義	武内　恒成	１学年次
選択	GH103000N	化学	選択	前学期	講義	有信　哲哉	１学年次
	GH104000N	物理学	選択	前学期	講義	仙石　昌也	１学年次
選択	GI101000A	情報科学Ⅰ	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	片山　清和	１学年次
	GI101000B	情報科学Ⅰ	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	片山　清和	１学年次
選択	GI102000A	情報科学Ⅱ	必修＜Ａ組＞	後学期	演習	片山　清和	１学年次
	GI102000B	情報科学Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	後学期	演習	片山　清和	１学年次
選択	HA101000N	心理学	必修	前学期	講義	宮本　淳	１学年次
	HA102000N	人間学	必修	前学期	講義	塚田　守	１学年次
選択	HA103000N	形態機能学Ⅰ	必修	前学期	講義	三浦　裕次	１学年次
	HA104000N	形態機能学Ⅱ	必修	後学期	講義	三木　研作	１学年次
選択	HA105000N	生化学	必修	後学期	講義	三浦　裕次	１学年次
	HA106000N	社会福祉学	必修	前学期	講義	河口　尚子	３学年次
選択	HB101000N	感染・免疫学	必修	後学期	講義	三浦　裕次	１学年次
	HB102000N	病理学	必修	後学期	講義	笠井　謙次	１学年次
選択	HB103000N	薬理学	必修	前学期	講義	丸山　健太	２学年次
	HB104000N	病態治療学Ⅰ	必修	前学期	講義	大須賀　浩二	２学年次
選択	HB105000N	病態治療学Ⅱ	必修	前学期	講義	大須賀　浩二	２学年次
	HB106000N	病態治療学Ⅲ	必修	後学期	講義	大須賀　浩二	２学年次
選択	HC101000N	運動の科学	選択	前学期	講義	三浦　裕次	１学年次

	HC102000A	体育実技	選択＜Ａ組＞	前学期	実技	安藤　貴通	１学年次
選択	HC102000B	体育実技	選択＜Ｂ組＞	前学期	実技	安藤　貴通	１学年次
	HD101000N	栄養学	必修	前学期	講義	山口　節子	１学年次
選択	HD102000N	環境保健学	必修	前学期	講義	西村　典子	１学年次
	HD103000N	公衆衛生学	必修	後学期	講義	坂本　真理子	１学年次
選択	HD104000N	疫学	必修	前学期	講義	山中　真	２学年次
	HD105000N	保健医療福祉行政論Ⅰ	必修	後学期	講義	工藤　安史	２学年次
選択	IA101000N	コミュニケーション論	必修	前学期	講義	山本　恵美子	１学年次
	IA102000N	看護学原論Ⅰ	必修	前学期	講義	山中　真	１学年次
選択	IA103000N	看護学原論Ⅱ	必修	後学期	講義	山中　真	１学年次
	IA104000N	看護倫理	必修	後学期	講義	心光　世津子	１学年次
選択	IA105000A	ヘルスアセスメント	必修＜Ａ組＞	後学期	演習	篠田　かおる	１学年次
	IA105000B	ヘルスアセスメント	必修＜Ｂ組＞	後学期	演習	篠田　かおる	１学年次
選択	IA106000A	基礎看護技術Ⅰ	必修＜Ａ組＞	後学期	演習	山幡　朗子	１学年次
	IA106000B	基礎看護技術Ⅰ	必修＜Ｂ組＞	後学期	演習	山幡　朗子	１学年次
選択	IA107000A	基礎看護技術Ⅱ	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	篠田　かおる	２学年次
	IA107000B	基礎看護技術Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	篠田　かおる	２学年次
選択	IA108000A	感染看護学Ⅰ	必修＜Ａ組＞	後学期	講義	長崎　由紀子	１学年次
	IA108000B	感染看護学Ⅰ	必修＜Ｂ組＞	後学期	講義	長崎　由紀子	１学年次
選択	IA109000N	感染看護学Ⅱ	必修	前学期	講義	青山　恵美	２学年次
	IA110000A	看護過程論	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	山本　恵美子	２学年次
選択	IA110000B	看護過程論	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	山本　恵美子	２学年次
	IB101000N	ヘルスプロモーション論	必修	前学期	講義	坂本　真理子	１学年次
選択	IB102000N	災害看護学（１学年次生用）	必修	前学期	講義	佐々木　裕子	１学年次
	IB102002N	災害看護学（２学年次生用）	必修	前学期	講義	佐々木　裕子	１学年次
選択	IB102003N	災害看護学（３学年次生用）	必修	前学期	講義	佐々木　裕子	１学年次
	IB103000N	公衆衛生看護学Ⅰ	必修	後学期	講義	若杉　里実	２学年次
選択	IB104000N	公衆衛生看護学Ⅱ	必修	前学期	演習	若杉　里実	３学年次
	IB105000N	地域・在宅看護論Ⅰ	必修	前学期	講義	佐々木　裕子	３学年次
選択	IB106000A	地域・在宅看護論Ⅱ	必修＜Ａ組＞	後学期	演習	白井　裕子	３学年次
	IB106000B	地域・在宅看護論Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	後学期	演習	白井　裕子	３学年次
選択	IB107001N	保健指導論（看護師課程用）	必修＜看護師課程＞	後学期	講義	若杉　里実	３学年次

	IB107000N	保健指導論（保健師課程用）	必修＜保健師課程＞	後学期	講義	若杉　里実	３学年次
選択	IC101000N	学校看護学	看護師課程…選択保健師課程…必修	後学期	講義	若杉　里実	２学年次
	IC102000N	産業看護学	看護師課程…選択保健師課程…必修	後学期	講義	若杉　里実	２学年次
選択	ID101000N	健康教育論	看護師課程…自由保健師課程…必修	前学期	講義	若杉　里実	３学年次
	IE101000N	生涯発達論	必修	後学期	講義	荻野　朋子	１学年次
選択	IE102000N	母性看護学Ⅰ	必修	前学期	講義	山本　弘江	２学年次
	IE103000N	小児看護学Ⅰ	必修	前学期	講義	茂本　咲子	２学年次
選択	IE104000A	老年看護学Ⅰ	必修＜Ａ組＞	前学期	講義	荻野　朋子	２学年次
	IE104000B	老年看護学Ⅰ	必修＜Ｂ組＞	前学期	講義	荻野　朋子	２学年次
選択	IE105000N	家族看護学	必修	前学期	講義	山本　弘江	２学年次
	IF101000A	母性看護学Ⅱ	必修＜Ａ組＞	通年	演習	山本　弘江	２学年次
選択	IF101000B	母性看護学Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	通年	演習	山本　弘江	２学年次
	IF102000A	小児看護学Ⅱ	必修＜Ａ組＞	通年	演習	茂本　咲子	２学年次
選択	IF102000B	小児看護学Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	通年	演習	茂本　咲子	２学年次
	IF103000A	老年看護学Ⅱ	必修＜Ａ組＞	通年	演習	荻野　朋子	２学年次
選択	IF103000B	老年看護学Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	通年	演習	荻野　朋子	２学年次
	IF104000N	成人看護学Ⅰ	必修	後学期	講義	谷口　千枝	２学年次
選択	IF105000A	成人看護学Ⅱ(急性期看護)	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	林　さえ子	３学年次
	IF105000B	成人看護学Ⅱ(急性期看護)	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	林　さえ子	３学年次
選択	IF106000N	成人看護学Ⅲ(慢性期看護)	必修	前学期	演習	谷口　千枝	３学年次
	IF107000N	精神看護学Ⅰ	必修	後学期	講義	心光　世津子	２学年次
選択	IF108000N	精神看護学Ⅱ	必修	前学期	演習	心光　世津子	３学年次
	IF109000A	クリティカルケア論	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	林　さえ子	３学年次
選択	IF109000B	クリティカルケア論	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	林　さえ子	３学年次
	IF110000N	ターミナルケア論	必修	前学期	講義	佐々木　裕子	３学年次
選択	IF111000N	リハビリテーションケア論	必修	前学期	講義	白井　裕子	３学年次
	IG101000N	教養ゼミナール	必修	前学期	演習	看護学部教員	１学年次
選択	IG102000N	チーム医療論(IPE)（１学年次生用）	必修	通年	演習	山中　真	１学年次
	IG102002N	チーム医療論(IPE)（２学年次生用）	必修	通年	演習	山中　真	１学年次
選択	IG102003N	チーム医療論(IPE)（３学年次生用）	必修	通年	演習	山中　真	１学年次

	IG103000N	看護研究方法論	必修	前学期	講義	心光　世津子	３学年次
選択	IG104000N	実践看護英語	必修	後学期	講義	山本　弘江	３学年次
	IG105000N	国際看護学Ⅰ	必修	後学期	講義	坂本　真理子	３学年次
選択	IG108000N	卒業研究Ⅰ	必修	後学期	演習	看護学部教員	３学年次
	JA101000N	ヒューマニティ実習	必修	前学期	実習	佐々木　裕子	１学年次
選択	JA102000N	コミュニティ実習	必修	通年	実習	坂本　真理子	２学年次
	JA103000N	母性看護学実習Ⅰ	必修	後学期	実習	山本　弘江	２学年次
選択	JA104000N	小児看護学実習Ⅰ	必修	後学期	実習	茂本　咲子	２学年次
	JA105000N	老年看護学実習	必修	後学期	実習	荻野　朋子	２学年次
選択	JB101000N	基礎看護学実習Ⅰ	必修	後学期	実習	山中　真	１学年次
	JB102000N	基礎看護学実習Ⅱ	必修	前学期	実習	山中　真	２学年次
選択	JB103000N	形態機能学実習	必修	前学期	実習	黒澤　昌洋	２学年次
	JC101000N	成人看護学実習Ⅰ(急性期看護)	必修	後学期	実習	佐藤　ゆかり	３学年次
選択	JC102000N	成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護)	必修	後学期	実習	森　莉那	３学年次
	JC103000N	精神看護学実習	必修	後学期	実習	心光　世津子	３学年次
選択	JC104000N	母性看護学実習Ⅱ	必修	後学期	実習	山本　弘江	３学年次
	JC105000N	小児看護学実習Ⅱ	必修	後学期	実習	茂本　咲子	３学年次
選択	JG101000N	公衆衛生看護学実習Ⅰ	保健師課程…必修	後学期	実習	若杉　里実	３学年次

講義名	治療・回復過程援助論Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Care for Patients in Clinical Settings Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師	◎ 佐藤　ゆかり
准 教 授	林　さえ子
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	疾病の急性発症や外傷、慢性疾患の急性増悪、治療による侵襲が対象者に与える影響を理解し、合併症の予防、回復の促進、QOLの維持・向上を支援する看護を学ぶ。
目標	１　急激に健康状態が変化している対象者が受ける侵襲や生体反応、症状や治療による対象者の苦痛を説明できる。「DP：１・２・５」 ２　対象者の回復促進や安全を守る看護、合併症予防について説明できる。「DP：１・２」 ３　疾患や治療による自己のイメージの変化とともに生きていく対象者を支援（生活の再構築）する看護を説明できる。「DP：１・２・５」 ４　治療・回復過程にある対象者に対する倫理的側面を考慮した看護を説明できる。「DP：１・４」 ５　健康状態からの回復や合併症予防、新たな生活へ看護に関する思考過程を学び、根拠に基づいた対象者に必要な看護技術を演習で実施できる。「DP：１・３」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/08（月）	5	急性期にある人の身体的特徴 ー生体侵襲理論、ホメオスタシスー	講義	前：クリティカルケア看護学 p 54-64を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
2	2024/04/09（火）	1	①循環動態のアセスメント：虚血性心疾患，致死性不整脈、心不全、ショック ②経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：ショックの早期発見と初期治療、輸液と輸血	講義	前：クリティカルケア看護学 p87-101を読む 後：循環機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
3	2024/04/09（火）	2	①呼吸機能のアセスメント：呼吸不全、換気障害、ガス交換障害、呼吸性アシドーシス・アルカローシス ②経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：人工呼吸療法、感染予防、呼吸理学療法	講義	前：クリティカルケア看護学 p64-80を読む 後：呼吸機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹 橋本　茜
4	2024/04/10（水）	3	ガイダンス 周術期とは 確定診断のための検査と方法 治療方法の理解と意思決定支援 術前検査の目的・方法 術前検査結果の意味と看護への活かし方	講義	前：教p.12-30,p78-100を読む 後：術前看護についてまとめる 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹

5	2024/04/10 （水）	4	周術期にある人を支える看護過程の展開に必要な基礎的知識	講義	前：NANDA-I看護診断p.53-65を読む 後：NANDA-I看護診断についてまとめる 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
6	2024/04/12 （金）	3	手術室における看護 １）手術室の環境 ２）患者入室までの看護 ３）麻酔と看護 ４）手術体位と看護 ５）術中異常と看護	講義	前：教p.101-128を読む 後：術中看護についてまとめる 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹 ゲストスピーカー
7	2024/04/12 （金）	4	全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響 ２）循環血液量減少性ショックの発生要因 ３）深部静脈血栓症の発生要因 ４）看護の方向性	講義	前：教p.32-35,p.166-176,p.202-208を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
8	2024/04/16 （火）	1	看護の方向性の検討： 体液量バランス異常リスク状態 血栓症リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
9	2024/04/16 （火）	2	全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響 ２）無気肺・術後肺炎の発生要因 ３）開胸術による肺の膨張不全の発生要因 ４）看護の方向性	講義	前：教p.152-166を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
10	2024/04/17 （水）	4	急性増悪：呼吸困難への対応⑵ ・酸素療法、排痰援助、呼吸理学療法	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹 伊藤　真規
11	2024/04/23 （火）	1	看護の方向性の検討： 非効果的気道浄化	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
12	2024/04/23 （火）	2	全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響 ２）イレウスの発生要因 ３）看護の方向性 全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響 ２）せん妄の発生要因 ３）看護の方向性 創傷感染・縫合不全の予防と看護 １）創傷治癒過程 ２）創傷感染・縫合不全の発生要因 ３）看護の方向性	講義	前：教p177-185,p.186-202,p220-227を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
13	2024/04/23 （火）	4	術後合併症の予防と看護Ⅲ 術後せん妄 脳神経系の患者の看護	講義	前：①教科書パートⅡ-Ⅴ章術後合併症と予防のための看護技術「8.術後せん妄」を読む。②教科書パートⅡ-Ⅶ章「1.開頭術を受ける人の看護」を読む 後：①講義資料を基に術後せん妄の予防，症状出現時の援助を整理する②脳神経系の手術を受ける人の看護（観察・援助）について整理する 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
14	2024/04/24 （水）	3	①栄養・代謝障害の病態のアセスメント：タンパク異化、糖代謝と代謝性アシドーシス ②腎機能と水・電解質のアセスメント：酸・塩基平衡	講義	前：クリティカルケア看護学 p134-145を読む 後：栄養・代謝機能障害のアセスメントについてまと	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹 上坂　真弓

			③経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助： 栄養・輸液管理		める 前後各30分	
15	2024/04/24 （水）	4	①脳・神経障害の病態のアセスメント：意識レベル、瞳孔、脳卒中、髄膜刺激症状、運動麻痺、頭蓋内圧亢進症状 ②経過、検査、治療に伴う看護の役割と看護援助： モニタリング、脳室・脳槽ドレーン、血栓溶解療法	講義	前：クリティカルケア看護学 p101-116を読む 後：脳・神経機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
16	2024/04/26 （金）	3	看護の方向性の検討： 消化管運動機能障害 手術部位感染リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
17	2024/04/26 （金）	4	手術による形態・機能の変化から生じる心理面・日常生活への影響および適応・自立に向けた支援 １）人工肛門造設術 ２）胃切除術 ３）乳房切除術	講義	前：教p296-316を読む。国立がんセンターがん情報サービスのHP(ganjoho.jp)で大腸がんと人工肛門造設術に関する内容を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
18	2024/05/01 （水）	3	看護の方向性の検討： 健康自主管理促進準備状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
19	2024/05/07 （火）	2	心臓の手術を受ける患者の看護Ⅰ 循環の評価、症状のアセスメント	講義	前：教科書パートⅡ-Ⅶ章「2.開心術を受ける人の看護」を読む。Ⅴ章術後合併症と予防のための看護技術「 2.循環不全」を復習しておくこと。 後：心機能評価について整理する。 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
20	2024/05/07 （火）	4	心臓の手術を受ける患者の看護Ⅱ 術後合併症と看護 心臓リハビリテーションと日常生活への影響	講義	前：教科書パートⅡ-Ⅶ章「2.開心術を受ける人の看護」を読む。 後：①術後合併症を看護過程の記録用紙に整理する。 ②講義資料を基に心臓リハビリテーションの目的・方法・評価について整理する。 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
21	2024/05/15 （水）	3	ストーマ合併症の観察・装具の交換	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
22	2024/05/15 （水）	4	水分出納管理 ①水分出納計算　②点滴滴下計算　③輸液滴下調整 ④輸液ポンプ・シリンジポンプの管理	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
23	2024/05/17 （金）	3	シミュレーション②-1：事例を用いた看護実践（生命の危機的状態にある対象者） 急変時対応	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
24	2024/05/17 （金）	4	シミュレーション②-2：事例を用いた看護実践（生命の危機的状態にある対象者） 急変時対応	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹

25	2024/05/31 （金）	3	全身麻酔で手術を受けた患者の観察アセスメント①	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
26	2024/05/31 （金）	4	全身麻酔で手術を受けた患者の観察アセスメント②	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
27	2024/06/10 （月）	1	移植と看護	講義	前：教科書パートⅢ事例5「移植を受けるドナーとレシピエント」を読む 後：「脳死判定」「レシピエント選択基準」について整理する 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
28	2024/06/10 （月）	2	腹腔鏡下手術と日帰り手術の特徴と看護	講義	前：教科書Ⅱ-Ⅶ章「9.腹腔鏡下手術を受ける人の看護；10.日帰り手術を受ける人の看護」を読む 後：講義資料を基に開腹手術・腹腔鏡下手術の合併症とその看護を整理する 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
29	2024/06/14 （金）	3	シミュレーション③-1：事例を用いた看護実践（倫理的課題のカンファレンス） 生命の危機的状態にある対象者の倫理的課題と家族への援助	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
30	2024/06/14 （金）	4	シミュレーション③-2：事例を用いた看護実践（倫理的課題のカンファレンス） 生命の危機的状態にある対象者の倫理的課題と家族への援助	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
31	2024/06/24 （月）	1	定期試験			全員

評価方法	定期試験(70%)、事前課題・課題レポート提出状況及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。
教科書・参考書	教科書： １　雄西 智恵美、秋元 典子編：「周手術期看護論」、ヌーヴェルヒロカワ［第3版］（2014/04）、定価2,640円(税込) ２　道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院［第2版］（2020/02）、定価2,530円（税込） ※２はクリティカルケア論　指定教科書 ３　上鶴 重美訳：「NANDA-I看護診断　定義と分類2021-2023 原書第12版」、医学書院［第1版］（2021/07)、定価3,520円（税込） 参考書： その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位修得について ⑴　出席３分の２に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 ⑵　単位取得は、課題レポート等及び定期試験に合格した場合に認める。 ⑶　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷「治療・回復過程援助論Ⅱ」の単位修得が「治療・回復過程援助実習」を履修する前提条件となる。 ⑸　理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 ⑹　演習記録やレポート、定期試験の結果はポートフォリオに保存し、学修成果を振り返って自己評価すること。 ⑺　本科目の内容は、成人看護学実習Ⅰに連動しているため講義資料は実習でも活用する。 ２　出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により、出席の確認をする。2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計３回打刻する。 ３　最後の授業で、講義・演習のまとめ、質問会を行う。 ４　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、掲示する。 ５　その他

	⑴　講義毎（同じ教員の２コマ続きの講義は１回）、振り返り用紙に学びや振り返りを記載し、次回の講義時にフィードバックを受ける。 ⑵　許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 ６　凡例 グループワーク GW　　シミュレーション SIM
オフィスアワー	佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 林　さえ子　　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 伊藤　真規　　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　　水・木曜日　16：20～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	［実務］ ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力の獲得について、経験と実績を活かして本授業の講義および演習を行う。 ・本科目は、知見及び最新治療ガイドラインを用いて授業を構成している。

講義名	治療・回復過程援助論Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Care for Patients in Clinical Settings Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師	◎ 佐藤　ゆかり
准 教 授	林　さえ子
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	疾病の急性発症や外傷、慢性疾患の急性増悪、治療による侵襲が対象者に与える影響を理解し、合併症の予防、回復の促進、QOLの維持・向上を支援する看護を学ぶ。
目標	１　急激に健康状態が変化している対象者が受ける侵襲や生体反応、症状や治療による対象者の苦痛を説明できる。「DP：１・２・５」 ２　対象者の回復促進や安全を守る看護、合併症予防について説明できる。「DP：１・２」 ３　疾患や治療による自己のイメージの変化とともに生きていく対象者を支援（生活の再構築）する看護を説明できる。「DP：１・２・５」 ４　治療・回復過程にある対象者に対する倫理的側面を考慮した看護を説明できる。「DP：１・４」 ５　健康状態からの回復や合併症予防、新たな生活へ看護に関する思考過程を学び、根拠に基づいた対象者に必要な看護技術を演習で実施できる。「DP：１・３」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/08（月）	5	急性期にある人の身体的特徴 ー生体侵襲理論、ホメオスタシスー	講義	前：クリティカルケア看護学 p 54-64を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
2	2024/04/09（火）	1	①循環動態のアセスメント：虚血性心疾患，致死性不整脈、心不全、ショック ②経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：ショックの早期発見と初期治療、輸液と輸血	講義	前：クリティカルケア看護学 p87-101を読む 後：循環機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
3	2024/04/09（火）	2	①呼吸機能のアセスメント：呼吸不全、換気障害、ガス交換障害、呼吸性アシドーシス・アルカローシス ②経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：人工呼吸療法、感染予防、呼吸理学療法	講義	前：クリティカルケア看護学 p64-80を読む 後：呼吸機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹 橋本　茜
4	2024/04/10（水）	3	ガイダンス 周術期とは 確定診断のための検査と方法 治療方法の理解と意思決定支援 術前検査の目的・方法 術前検査結果の意味と看護への活かし方	講義	前：教p.12-30,p78-100を読む 後：術前看護についてまとめる 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹

5	2024/04/10 （水）	4	周術期にある人を支える看護過程の展開に必要な基礎的知識	講義	前：NANDA-I看護診断p.53-65を読む 後：NANDA-I看護診断についてまとめる 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
6	2024/04/12 （金）	3	手術室における看護 １）手術室の環境 ２）患者入室までの看護 ３）麻酔と看護 ４）手術体位と看護 ５）術中異常と看護	講義	前：教p.101-128を読む 後：術中看護についてまとめる 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹 ゲストスピーカー
7	2024/04/12 （金）	4	全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響 ２）循環血液量減少性ショックの発生要因 ３）深部静脈血栓症の発生要因 ４）看護の方向性	講義	前：教p.32-35,p.166-176,p.202-208を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
8	2024/04/16 （火）	1	看護の方向性の検討： 体液量バランス異常リスク状態 血栓症リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
9	2024/04/16 （火）	2	全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響 ２）無気肺・術後肺炎の発生要因 ３）開胸術による肺の膨張不全の発生要因 ４）看護の方向性	講義	前：教p.152-166を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
10	2024/04/19 （金）	4	急性増悪：呼吸困難への対応⑵ ・酸素療法、排痰援助、呼吸理学療法	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹 伊藤　真規
11	2024/04/23 （火）	1	看護の方向性の検討： 非効果的気道浄化	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
12	2024/04/23 （火）	2	全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響 ２）イレウスの発生要因 ３）看護の方向性 全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響 ２）せん妄の発生要因 ３）看護の方向性 創傷感染・縫合不全の予防と看護 １）創傷治癒過程 ２）創傷感染・縫合不全の発生要因 ３）看護の方向性	講義	前：教p177-185,p.186-202,p220-227を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
13	2024/04/23 （火）	4	術後合併症の予防と看護Ⅲ 術後せん妄 脳神経系の患者の看護	講義	前：①教科書パートⅡ-Ⅴ章術後合併症と予防のための看護技術「8.術後せん妄」を読む。②教科書パートⅡ-Ⅶ章「1.開頭術を受ける人の看護」を読む 後：①講義資料を基に術後せん妄の予防，症状出現時の援助を整理する②脳神経系の手術を受ける人の看護（観察・援助）について整理する 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
14	2024/04/24 （水）	3	①栄養・代謝障害の病態のアセスメント：タンパク異化、糖代謝と代謝性アシドーシス ②腎機能と水・電解質のアセスメント：酸・塩基平衡	講義	前：クリティカルケア看護学 p134-145を読む 後：栄養・代謝機能障害のアセスメントについてまと	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹 上坂　真弓

			③経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助： 栄養・輸液管理		める 前後各30分	
15	2024/04/24 （水）	4	①脳・神経障害の病態のアセスメント：意識レベル、瞳孔、脳卒中、髄膜刺激症状、運動麻痺、頭蓋内圧亢進症状 ②経過、検査、治療に伴う看護の役割と看護援助： モニタリング、脳室・脳槽ドレーン、血栓溶解療法	講義	前：クリティカルケア看護学 p101-116を読む 後：脳・神経機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
16	2024/04/26 （金）	3	看護の方向性の検討： 消化管運動機能障害 手術部位感染リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
17	2024/04/26 （金）	4	手術による形態・機能の変化から生じる心理面・日常生活への影響および適応・自立に向けた支援 １）人工肛門造設術 ２）胃切除術 ３）乳房切除術	講義	前：教p296-316を読む。国立がんセンターがん情報サービスのHP(ganjoho.jp)で大腸がんと人工肛門造設術に関する内容を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
18	2024/05/01 （水）	3	看護の方向性の検討： 健康自主管理促進準備状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
19	2024/05/07 （火）	2	心臓の手術を受ける患者の看護Ⅰ 循環の評価、症状のアセスメント	講義	前：教科書パートⅡ-Ⅶ章「2.開心術を受ける人の看護」を読む。Ⅴ章術後合併症と予防のための看護技術「 2.循環不全」を復習しておくこと。 後：心機能評価について整理する。 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
20	2024/05/07 （火）	4	心臓の手術を受ける患者の看護Ⅱ 術後合併症と看護 心臓リハビリテーションと日常生活への影響	講義	前：教科書パートⅡ-Ⅶ章「2.開心術を受ける人の看護」を読む。 後：①術後合併症を看護過程の記録用紙に整理する。 ②講義資料を基に心臓リハビリテーションの目的・方法・評価について整理する。 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
21	2024/05/13 （月）	1	ストーマ合併症の観察・装具の交換	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
22	2024/05/13 （月）	2	水分出納管理 ①水分出納計算　②点滴滴下計算　③輸液滴下調整 ④輸液ポンプ・シリンジポンプの管理	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
23	2024/05/17 （金）	1	シミュレーション②-1：事例を用いた看護実践（生命の危機的状態にある対象者） 急変時対応	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
24	2024/05/17 （金）	2	シミュレーション②-2：事例を用いた看護実践（生命の危機的状態にある対象者） 急変時対応	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹

25	2024/05/29 （水）	3	全身麻酔で手術を受けた患者の観察アセスメント①	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
26	2024/05/29 （水）	4	全身麻酔で手術を受けた患者の観察アセスメント②	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
27	2024/06/10 （月）	1	移植と看護	講義	前：教科書パートⅢ事例5「移植を受けるドナーとレシピエント」を読む 後：「脳死判定」「レシピエント選択基準」について整理する 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
28	2024/06/10 （月）	2	腹腔鏡下手術と日帰り手術の特徴と看護	講義	前：教科書Ⅱ-Ⅶ章「9.腹腔鏡下手術を受ける人の看護；10.日帰り手術を受ける人の看護」を読む 後：講義資料を基に開腹手術・腹腔鏡下手術の合併症とその看護を整理する 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
29	2024/06/14 （金）	3	シミュレーション③-1：事例を用いた看護実践（倫理的課題のカンファレンス） 生命の危機的状態にある対象者の倫理的課題と家族への援助	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
30	2024/06/14 （金）	4	シミュレーション③-2：事例を用いた看護実践（倫理的課題のカンファレンス） 生命の危機的状態にある対象者の倫理的課題と家族への援助	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
31	2024/06/24 （月）	1	定期試験			全員

評価方法	定期試験(70%)、事前課題・課題レポート提出状況及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。
教科書・参考書	教科書： １　雄西 智恵美、秋元 典子編：「周手術期看護論」、ヌーヴェルヒロカワ［第3版］（2014/04）、定価2,640円(税込) ２　道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院［第2版］（2020/02）、定価2,530円（税込） ※２はクリティカルケア論　指定教科書 ３　上鶴 重美訳：「NANDA-I看護診断　定義と分類2021-2023 原書第12版」、医学書院［第1版］（2021/07)、定価3,520円（税込） 参考書： その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位修得について ⑴　出席３分の２に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 ⑵　単位取得は、課題レポート等及び定期試験に合格した場合に認める。 ⑶　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷「治療・回復過程援助論Ⅱ」の単位修得が「治療・回復過程援助実習」を履修する前提条件となる。 ⑸　理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 ⑹　演習記録やレポート、定期試験の結果はポートフォリオに保存し、学修成果を振り返って自己評価すること。 ⑺　本科目の内容は、成人看護学実習Ⅰに連動しているため講義資料は実習でも活用する。 ２　出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により、出席の確認をする。2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計３回打刻する。 ３　最後の授業で、講義・演習のまとめ、質問会を行う。 ４　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、掲示する。 ５　その他

	⑴　講義毎（同じ教員の２コマ続きの講義は１回）、振り返り用紙に学びや振り返りを記載し、次回の講義時にフィードバックを受ける。 ⑵　許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 ６　凡例 グループワーク GW　　シミュレーション SIM
オフィスアワー	佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 林　さえ子　　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 伊藤　真規　　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　　水・木曜日　16：20～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	［実務］ ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力の獲得について、経験と実績を活かして本授業の講義および演習を行う。 ・本科目は、知見及び最新治療ガイドラインを用いて授業を構成している。

講義名	治療・回復過程援助実習		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
単位数	3		
（英文名）	Practicum:Care for Patients in Clinical Settings		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師	◎ 佐藤　ゆかり
准 教 授	林　さえ子
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	１　疾病や外傷など急性発症した疾患や慢性疾患の急性増悪の対処、または治療により急激に健康状態が変化している成人期の患者及びその家族（以後、対象者とする。）との援助的関係性を発展させながら、患者の病態が不安定な状態から、治療による回復と新たな生活を支えるセルフケア能力についての課題を明らかにしたうえで、根拠に基づいた看護を実践する。 ２　医療チームの一員として看護の役割を考える
目標	【前学期実習】 １　さまざまな治療の場の環境と看護の特徴について説明できる　「DP:１～３」 ２　さまざまな治療の場における看護とその連続性について説明できる　「DP:１、３、５」 ３　さまざまな治療の場において対象者の安全を守るための医療チームの連携と看護の役割について説明できる「DP：１、３、７」 【後学期実習】 １　急性発症した疾患や慢性疾患の急性増悪、または治療により急激に健康状態が変化している対象者の回復とセルフケア促進のために必要な看護について説明できる　「DP：２、３、５」 １）対象者の特徴を説明できる。 ２）治療方法に応じた看護の特徴を説明できる。 ２　急激に健康状態が変化している対象者の健康状態と新たな生活を獲得するためのセルフケア能力を体系的に把握できる　「DP：２、３、５」 １）急激に健康状態が変化している対象者の身体的状態を、基礎的知識を活用してアセスメントできる。 ２）急激に健康状態が変化している対象者の精神的状態を、基礎的知識を活用してアセスメントできる。 ３）身体機能・形態の変化が生活に及ぼす影響を理解し、新たな生活を獲得するためのセルフケア能力を、基礎的知識を活用してアセスメントできる。 ４）アセスメントを統合し、看護問題を抽出できる。 ３　健康状態の変化している対象者の回復の促進と新たな生活を獲得するための個別性に合わせた看護実践ができる「DP：２、３、６、７」 １）健康状態に応じた個別性を踏まえた看護計画が立案できる。 ２）合併症に対するケアが実践できる。 ３）疾患や治療により形態・機能が変化した対象者が新たな生活を獲得するためのケアが実践できる。 ４）実践した看護の評価・修正ができる。 ５）対象者の状態に応じた看護技術を実践できる。 ４　専門職を学ぶ看護学生として、看護倫理を踏まえた実習態度を示すことができる「DP：４、６、８」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	【前学期実習】 １　教員及び実習指導者のもとに、下記の要領で実習を行う。 ２　実習方法・内容の詳細は、「2024年度実習要項」を参照すること。 (1)　実習期間： 2024年７月16日(火)～７月19日(金)　(4日間)	実習	１　実習前までに前学期実習ガイダンス時に指示された事前学習課題に取り組む。	全員

	※事前に実施される実習ガイダンスには必ず参加すること ⑵　実習場所：愛知医科大学病院　特殊部門・外来部門で見学・実習をする。 ⑶　実習方法：特殊部門・外来部門で半日または１日の見学実習をする。 【実習スケジュール】 １日目～3日目：特殊部門・外来部門における見学実習 最終日　　：学内でまとめを行う。 ＡＭ：グループによるカンファレンス ＰＭ：学習内容のまとめ			
2	同　上	実習	同　上	全員
3	同　上	実習	同　上	全員
4	同　上	実習	同　上	全員
5	同　上	実習	同　上	全員
6	同　上	実習	同　上	全員
7	同　上	実習	同　上	全員
8	同　上	実習	同　上	全員
9	同　上	実習	同　上	全員
10	同　上	実習	同　上	全員
11	同　上	実習	同　上	全員
12	同　上	実習	同　上	全員
13	同　上	実習	同　上	全員
14	同　上	実習	同　上	全員
15	同　上	実習	同　上	全員
16	同　上	実習	同　上	全員
17	同　上	実習	同　上	全員
18	同　上	実習	同　上	全員
19	同　上	実習	同　上	全員
20	同　上	実習	同　上	全員
21	【後学期実習】 １　教員及び実習指導者のもとに、下記の要領で実習を行う。 ２　実習方法・内容の詳細は、「2024年度実習要項」を参照すること。 ⑴　実習期間： １クール：2024年10月７日(月)～10月18日(金)　（９日間） ２クール：2024年10月21日(月)～11月１日(金)　（10日間） ３クール：2024年11月11日(月)～11月22日(金)　（10日間） ４クール：2024年11月25日(月)～12月６日(金)　（10日間） ⑵　実習場所：　愛知医科大学病院　外科病棟、及び状況に応じて手術室・GICUで見学・実習をする。 ⑶　実習方法：５名程度のグループを編成し、原則１名の患者を受けもつ。 ３　実習スケジュール １日目ＡＭ：オリエンテーション ＰＭ：受けもち患者紹介など ２日目以降：受けもち患者の治療・回復経過に沿った看護過程の展開（見学・実践）を行う。 最終日　　：学内でまとめを行う。 ＡＭ：全グループによるカンファレンス ＰＭ：個人面談　学習内容のまとめ	実習	１　実習前までに後学期実習ガイダンス時に指示された事前学習課題に取り組む。 ２　２学年次の講義科目「治療・回復過程援助論Ⅰ」と３学年次講義科目「治療・回復過程援助論Ⅱ」の復習をする。	全員

22	同　上	実習	同　上	全員
23	同　上	実習	同　上	全員
24	同　上	実習	同　上	全員
25	同　上	実習	同　上	全員
26	同　上	実習	同　上	全員
27	同　上	実習	同　上	全員
28	同　上	実習	同　上	全員
29	同　上	実習	同　上	全員
30	同　上	実習	同　上	全員
31	同　上	実習	同　上	全員
32	同　上	実習	同　上	全員
33	同　上	実習	同　上	全員
34	同　上	実習	同　上	全員
35	同　上	実習	同　上	全員
36	同　上	実習	同　上	全員
37	同　上	実習	同　上	全員
38	同　上	実習	同　上	全員
39	同　上	実習	同　上	全員
40	同　上	実習	同　上	全員
41	同　上	実習	同　上	全員
42	同　上	実習	同　上	全員
43	同　上	実習	同　上	全員
44	同　上	実習	同　上	全員
45	同　上	実習	同　上	全員
46	同　上	実習	同　上	全員
47	同　上	実習	同　上	全員
48	同　上	実習	同　上	全員
49	同　上	実習	同　上	全員
50	同　上	実習	同　上	全員
51	同　上	実習	同　上	全員
52	同　上	実習	同　上	全員
53	同　上	実習	同　上	全員
54	同　上	実習	同　上	全員
55	同　上	実習	同　上	全員
56	同　上	実習	同　上	全員
57	同　上	実習	同　上	全員
58	同　上	実習	同　上	全員
59	同　上	実習	同　上	全員
60	同　上	実習	同　上	全員

評価方法	１　前学期実習：30%（レポート15%、実習記録15%） ２　後学期実習：70%（看護実践・倫理・実習記録）で評価する。
教科書・参考書	教科書： 治療・回復過程援助論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書を使用する。 参考書： 実習中、病棟の特徴、受け持ち患者により、随時紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「治療・回復過程援助論Ⅱ」の単位修得が履修の前提条件となる。 ２　治療・回復過程援助実習ガイダンスは、実習の一環であるため必ず出席すること。 ３　やむを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとること。必要に応じて診断書等、欠席を証明するものの提示を求める場合もある。 ４　本実習は治療・回復過程援助論Ⅰ・Ⅱと連動しているため、講義資料をよく復習して実習に臨むこと。 ５　単位習得について ⑴　実習の出席は前学期実習・後学期実習各々５分の４以上を満たしている場合に、評価対象とする。 ⑵　追・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ⑶　連絡なく指定期日までに実習記録の提出がない場合、再実習の対象になる。 ６　実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 林　さえ子　水・金曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 伊藤　真規　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	［実務］ 大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力、また、潜在化している倫理的課題を考えつつ専門職としての看護の役割・機能について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	療養生活支援論Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Chronic Illness Care NursingⅡ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 谷口　千枝
准 教 授	森　莉那
助　　教	中村　純江

科目概要	「療養生活支援論Ⅰ」で学修した内容(慢性看護学の基盤となる理論、モデル、概念等)を基盤とし、慢性の経過から終末期に至る療養生活支援の実践方法について学修する。 慢性の病いとともに生きる人と家族を対象とし、病いと折り合いをつけその人らしい生活を対象者自らが構築していけるように支援する方法を学ぶとともに、長期療養者の看護介入は多職種との連携・協働のもとに進められることを理解し、継続看護の重要性を学修する。
目標	１　療養生活のセルフマネジメント・スキル獲得における学習支援(患者教育)について説明できる。「DP:2～4」 ＃患者教育　＃行動変容　＃症状マネジメント　＃療養法　＃薬剤の有害事象　＃急性増悪の予測 ２　事例を用いて課題達成思考の看護過程を理解し、科学的根拠に基づいた看護計画が立案できる。「DP:2～5」 ３　日常生活に慢性的・侵害的な症状をもつ対象者への看護について説明できる。「DP:2～6」 ４　臨床から地域・在宅生活へ復帰するために必要な多職種連携における継続看護について説明できる。「DP:2～6」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/05 (金)	5	健康の捉え方と支援の変遷 　ヘルスプロモーションとセルフマネジメント	講義	予：成人看護学概論 p304-310、慢性期看護論p131-169を読む 復：講義資料を読み理解を深める 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
2	2024/04/08 (月)	1	長期療養者への患者教育 　行動変容を促すための諸理論	講義	予：慢性期看護論p127-137を読む 復：講義資料を読み理解を深める 行動変容に実際にトライする 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
3	2024/04/08 (月)	3	【成人看護学Ⅲ】 慢性期にある対象者（本人・家族）の特徴と看護に必要な主要な概念 　行動変容の振り返り	講義	予：療養生活支援論Ⅰの資料を読み直す。 復：行動変容の実施計画の完成と実施 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
4	2024/04/08 (月)	4	【成人看護学Ⅲ】 経過の緩慢な病いをもつ対象者への看護 　糖尿病をもつ対象者への看護	講義	予：教p300－311、WBを基に血糖値と糖尿病の病態・治療についてまとめる。WBの事例を読み、病態について調べる。	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江

					復：講義資料をもとに糖尿病をもつ対象者への支援についてまとめる。 各30分～	
5	2024/04/12 （金）	1	長期療養者の自己効力感を高める支援 ー社会的学習理論ー	講義	予：成人看護学概論 p294-302、慢性期看護論p123-126を読む 復：講義資料を読み理解を深める 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
6	2024/04/15 （月）	1	長期療養者の強みを引き出し強化する看護 ーストレングスモデルー	講義	予：ストレングスモデルについて関連書籍や文献等を読む 復：講義資料を読み理解を深める 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
7	2024/04/15 （月）	3	【成人看護学Ⅲ】 慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[1] 　事例展開に必要な基礎的知識	講義	予：基礎看護学で学修した看護過程の資料を見直す。 復：事例展開に必要な基礎的知識をまとめる。 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
8	2024/04/15 （月）	4	【成人看護学Ⅲ】 増悪・緩解を繰り返す慢性の病いをもつ対象者への看護 　慢性閉塞性肺疾患(COPD)をもつ対象者への看護	講義	予：教p174-205を読み、該当箇所のWBについてまとめる。 復：COPD対象者のセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
9	2024/04/22 （月）	3	【成人看護学Ⅲ】 慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[2] 　アセスメント・全体像の把握・ありたい姿・強み	演習	予：事例患者の病態情報についてアセスメントし、生活状況も含めて関連図に示す。 復：関連図・情報の統合の見直しと追加・修正を行う。 各30分	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
10	2024/04/22 （月）	4	【成人看護学Ⅲ】 慢性の病いをもつ対象者に対する看護技術 　自己血糖測定とインスリン療法	演習	予：WB、Nursing Skill(GEN-0126、GEN-0083、GEN-0091)、事前配布資料を基に自己血糖測定とインスリン注射の手技を確認し、注意点をまとめる。 復：WBのワークシートを完成させる。Nursing Skillの技術チェックリストを確認しWBに綴じる。 各30分～	中村　純江 谷口　千枝 森　莉那
11	2024/04/26 （金）	1	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開 　アセスメント	演習・GW	予：事例展開に必要な知識をまとめる。 復：アセスメントについて修正する。 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
12	2024/04/26 （金）	2	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開 　関連図	演習・GW	予：事例患者の病態情報についてアセスメントし、生活状況も含めて関連図に示す。 復：関連図・情報の統合の見直しと追加・修正を行う。 各30分	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
13	2024/04/30 （火）	1	【成人看護学Ⅲ】 慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[3] 　課題の抽出・目標設定・課題達成型看護計画の立案	演習	予：事例のアセスメント、関連図、情報の統合を基に対象者の課題を抽出し、グループメンバーで共有し、優先順位の高い課題について各自で看護計画を立案す	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江

					る。 復：対象者の個別性をふまえ、実践可能な看護計画とするための追加・修正を行う。 各30分～	
14	2024/05/07 （火）	1	【成人看護学Ⅲ】 進行性の病いをもつ対象者への看護 　慢性腎臓病（CKD)をもつ対象者への看護	講義	予：教p324－330、該当箇所のWBをまとめる。 復：CKD対象者と透析対象者へのセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各30分～	中村　純江 谷口　千枝 中村　純江
15	2024/05/10 （金）	1	がんをもつ人への理解 ーがん看護総論ー	講義	予：厚生労働省HP「がん対策基本法」「がん対策推進基本計画」を読んでおく 復：がんをもつ対象者の特徴について講義資料を基にまとめる 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
16	2024/05/10 （金）	2	【成人看護学Ⅲ】 慢性の病いをもつ対象者への患者教育 　事例に対する患者教育	講義・演習	予：療養生活支援論Ⅰで学んだセルフマネジメント、社会的学習理論、行動変容理論について復習する。 復：対象者の個別性をふまえた患者教育とするためのシナリオ内容の追加・修正を行う。 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
17	2024/05/14 （火）	1	【成人看護学Ⅲ】 感染性の病いをもつ対象者への看護 　HIVをもつ対象者への看護	講義	予：HIVの病態と治療についてWBをまとめる。 復：HIV/AIDS対象者をとりまく社会環境について授業資料を基にまとめる。 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
18	2024/05/20 （月）	3	【成人看護学Ⅲ】 がん薬物療法を受ける対象者に必要な看護 　治療的侵襲の副作用とその症状マネジメント	講義	予：教(がん看護学)p153-180を読み、該当箇所のWBをまとめる。 復：がん薬物療法を受ける対象者のセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
19	2024/05/21 （火）	1	病いの慢性性とともに生きる対象者の理解 ー病みの軌跡ー	講義	予：成人看護学概論p228-240を読む 復：講義資料を読み理解を深める 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
20	2024/05/21 （火）	2	地域包括ケアからみた退院支援と多職種連携	講義	予：厚生労働省HP「地域包括ケアシステム」を閲覧する 復：多職種と連携して行う退院支援における看護師の役割についてまとめる 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
21	2024/05/24 （金）	1	【成人看護学Ⅲ】 放射線治療を受ける対象者に必要な看護 　治療的侵襲の副作用とその症状マネジメント	講義	予：教(がん看護学)p180-200を読み、該当箇所のWBをまとめる。 復：放射線療法を受ける対象者のセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
22	2024/05/24 （金）	2	【成人看護学Ⅲ】 慢性の病いをもつ対象者の療養生活を支援するプライマリ・ケアと継続看護	講義	予：該当箇所のWBについて調べまとめる。 復：外来看護に求められる役割について講義資料を基	中村　純江 谷口　千枝 森　莉那

					にまとめる。 各30分～	
23	2024/05/28 （火）	1	行動変容の実践の振り返り	GW	予：第3回の内容と自分の行動変容の実践を振り返り、レポートにまとめ提出する。 復：行動変容の実践から慢性の病いをもつ対象者への支援に応用する方法をまとめる 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
24	2024/05/28 （火）	2	慢性の病いとともに生きる対象者に必要な栄養 　食事療法への援助方法	講義	予：該当箇所のWBを基に、自らの食事内容を食品交換表を用いて分析するとともに、運動量を計算する。 復：講義資料を基に糖尿病をもつ対象者への看護師による栄養指導のポイントをまとめる。 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
25	2024/05/30 （木）	2	進行性の病いをもつ対象者への看護 　肝炎・肝硬変・肝がんをもつ対象者への看護	講義	予：病態、治療について、WBをまとめる。 復：肝炎・肝硬変・肝がんの対象者へのセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
26	2024/05/31 （金）	1	がんをもつ対象者に必要な看護 　症状マネジメントの実際	講義	予：教(がん看護学)p90-117を読み、がん患者の苦痛についてまとめる。 復：がんをもつ対象者の症状マネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
27	2024/05/31 （金）	2	【成人看護学Ⅲ】 慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[4] 　立案した看護計画の実践・評価修正	演習	予：発表シナリオを作成する。グループ毎の役割を確認し、発表に向けて準備をする。 復：演習で実施・観察した看護場面をSOAPで記載する。各自で看護計画を修正する。 各30分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
28	2024/06/12 （水）	3	増悪・緩解を繰り返す慢性の病いをもつ対象者への看護 　慢性心不全をもつ対象者への看護	講義	予：慢性心不全の病態と治療、必要な看護についてWBを基にまとめる。 復：講義資料を基に慢性心不全の病態・治療・看護のまとめを追加・修正する。 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
29	2024/06/12 （水）	4	増悪・緩解を繰り返す慢性の病いをもつ対象者への看護 　関節リウマチをもつ対象者への看護	講義	予：教p382-397、該当箇所のWBを基にRAの病態・治療・看護についてまとめる。 復：講義資料を基に、病態・治療・看護のまとめを修正する。 各30分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
30	2024/06/14 （金）	2	【成人看護学Ⅲ】 慢性期にある対象者への看護のまとめ	講義	予：これまでの講義資料を読み、不明・疑問点を洗い出す。 復：科目のまとめを振返り、試験に備えて整理する。 時間は制限しない。	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
31	2024/06/24 （月）	2	定期試験			

評価方法	定期試験(70%)、ワークブック（20%）、小レポート（10%） 演習は、準備学習(課題)の取組み状況、演習へ取り組む態度を含めて評価する。
教科書・参考書	教科書： １　鈴木志津枝他編：「成人看護学「慢性期看護論」」、ヌーヴェルヒロカワ、第3版(2014/4)、定価2,860円(税込み) ２　小松浩子他編：「系統看護学講座『がん看護学』」、医学書院、第3版(2022/1)、定価2,530円(税込み) 参考書： １　安酸史子編：「成人看護学概論」、ナーシンググラフィカ、第5版(2022)、定価3,520円（税込み） その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　この科目の単位修得が｢療養生活支援実習｣を履修する前提条件となる。 ⑵　各講義で扱う疾患の病態や治療について既習の知識を復習し、積極的に講義に臨む。 ⑶　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ⑷　本科目の内容は、療養生活支援実習に連動しているため、講義資料は実習でも活用する。 ２　出欠席について 出席管理システム(講義・演習開始前と終了時のカードリーダへの打刻)により出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。２コマ連続講義の場合は、講義開始前・後の合計３回、打刻をする。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　定期試験に不合格の場合は、再試験を１回実施する。再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷　定期試験終了後、試験内容についてフィードバックする機会(解説＆質問への応答)を設ける。日程は調整後に掲示し、自由参加とする。 ⑸演習記録やレポート，定期試験の結果はポートフォリオに保存し，学修成果を振り返って自己評価すること。 ４　振り返りシートのフィードバックについて 毎回の授業前に前回の振り返りに記載された質疑についてフィードバックを行う。 ５　凡例　GW：グループワーク
オフィスアワー	谷口　千枝　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 森　莉那　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N254研究室 中村　純江　月曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N370研究室
備考	［実務］ 大学病院等において、看護師としての実務経験をもつ教員及び臨床看護師が,生活調整の必要な対象者の特性を理解し、健康課題に対応した看護及び臨床から地域への退院支援における多職種連携・協働について教育する。 本科目は、最新の知見、最新の治療ガイドライン、教員の研究成果に基づいて授業を構成している。

講義名	療養生活支援実習		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
単位数	3		
（英文名）	Practicum:Chronic Illness Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 谷口　千枝
准 教 授	森　莉那
助　　教	中村　純江

科目概要	生活調整の必要な対象者を総合的に理解し、対象者が病気や障害と折り合いを付けた社会生活を多職種とともに再構築できるような看護を考え実践する。
目標	【前学期実習】 １　地域で生活する対象者への継続的な看護について考察できる［DP：１～３・７］ 【後学期実習】 １　生活調整の必要な対象者の特徴と看護実践について、実習経験を通して説明できる［DP：２～７］ ２　生活調整の必要な対象者の情報から健康課題をアセスメントし、対象者の全体像を把握できる［DP：２～５］ ３　生活調整の必要な対象者の個別性を重視し、根拠に基づいた看護を計画し実践できる［DP：２～５・７］ ４　専門職者の一員として、看護倫理を踏まえた態度を示すことができる［DP：４・６・７］

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	前学期実習オリエンテーション １．実習内容と方法 　詳細は、別途配布する「2024年度療養生活支援実習要項」を参照とする。 ２．実習場所 　愛知医科大学病院 ３．実習期間 　2024年７月22日（月）～７月26日（金）５日間 ※事前に実施される実習ガイダンスには必ず参加すること	実習	予：外来の特殊性を踏まえた看護について授業資料・文献・書籍を読んでおく。 復：１日の実習を振り返り、地域に暮らす対象者の継続的な医療と看護についてまとめる。	全員
2	臨地実習（各外来部門・部署）	実習	同　上	全員
3	同　上	実習	同　上	全員
4	同　上	実習	同　上	全員
5	同　上	実習	同　上	全員
6	同　上	実習	同　上	全員
7	同　上	実習	同　上	全員
8	同　上	実習	同　上	全員
9	同　上	実習	同　上	全員
10	同　上	実習	同　上	全員

11	同　上	実習	同　上	全員
12	同　上	実習	同　上	全員
13	同　上	実習	同　上	全員
14	同　上	実習	同　上	全員
15	同　上	実習	同　上	全員
16	同　上	実習	同　上	全員
17	学習のまとめ	学内実習 GW	予：これまでの実習を振り返り、評価基準に従い客観的に自己評価する。 復：外来看護及び継続看護についてまとめ、プレゼンテーションに備える。	全員
18	同　上	学内実習 GW	同　上	全員
19	同　上	学内実習 プレゼンテーション	同　上	全員
20	同　上	学内実習 プレゼンテーション	同　上	全員
21	後期実習オリエンテーション １．実習内容と方法 　詳細は，別途配布する「2024年度療養生活支援実習要項」を参照とする。 ２．実習場所 　愛知医科大学病院 ３．実習期間 　実習は１クール２週間で1～4クールに分かれて行う。 １クール：2024年10月７日(月)～10月18日(金)９日間 ２クール：2024年10月21日(月)～11月１日(金)10日間 ３クール：2024年11月11日(月)～11月22日(金)10日間 ４クール：2024年11月25日(月)～12月６日(金)10日間	実習	予：実習要項を熟読する。 　事前学習課題や配置された実習病棟に関連した代表的な疾患等について学修しておく。 復：受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。時間制限はしない。	全員
22	同　上	実習	予：受けもち対象者に実施する全ての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復：１日の実習を振り返り、受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。	全員
23	同　上	実習	同　上	全員
24	同　上	実習	同　上	全員
25	同　上	実習	同　上	全員
26	同　上	実習	同　上	全員
27	同　上	実習	同　上	全員
28	同　上	実習	同　上	全員
29	同　上	実習	同　上	全員
30	同　上	実習	同　上	全員
31	同　上	実習	同　上	全員
32	同　上	実習	同　上	全員
33	情報の整理・分析 課題の抽出・目標の決定	学内実習	予：これまでの実習を振り返り、評価基準に従い客観的に自己評価する。	全員

34	同　上	学内実習	同　上	全員
35	同　上	学内実習	同　上	全員
36	同　上	学内実習	同　上	全員
37	臨地実習	実習	予：受けもち対象者に実施する全ての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復：１日の実習を振り返り、受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。	全員
38	同　上	実習	同　上	全員
39	同　上	実習	同　上	全員
40	同　上	実習	同　上	全員
41	同　上	実習	同　上	全員
42	同　上	実習	同　上	全員
43	同　上	実習	同　上	全員
44	同　上	実習	同　上	全員
45	同　上	実習	同　上	全員
46	同　上	実習	同　上	全員
47	同　上	実習	同　上	全員
48	同　上	実習	同　上	全員
49	同　上	実習	同　上	全員
50	同　上	実習	同　上	全員
51	同　上	実習	同　上	全員
52	同　上	実習	同　上	全員
53	同　上	実習	同　上	全員
54	同　上	実習	同　上	全員
55	同　上	実習	同　上	全員
56	同　上	実習	同　上	全員
57	実習のまとめ 実習について振り返り、個別にフィードバックを行う	学内実習	予：これまでの実習を振り返り、評価基準に従い客観的に自己評価する。	全員
58	同　上	学内実習	同　上	全員
59	実習記録及び最終レポートの作成	学内実習	同　上	全員
60	同　上	学内実習	同　上	全員

評価方法	実習目標に準じた自己評価基準に則り、実習記録、レポートの内容、実習への取り組みについて総合的に評価する。 前学期：レポート(15%)、実習記録(15%) 後学期：レポート(15%)、看護実践・倫理、実習記録(55%)
教科書・参考書	教科書： 「療養生活支援論Ⅰ・Ⅱ」で使用した教科書を使用する。 参考書： 授業中に配付した資料。実習中、必要に応じて紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　「療養生活支援論Ⅰ」および「療養生活支援論Ⅱ」の単位修得が履修の前提条件となる。 ⑵　実習要項および看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 ⑶　療養生活支援実習ガイダンスは、実習の一環であるため必ず出席すること。 ⑷　実習に関連した実技練習は、N306実習室において指定された日時で自主学習を行うことができる。

	２　単位修得について ⑴　実習日数(前学期・後学期それぞれ)の５分の４以上の出席と実習記録が指定時間内に提出された場合に評価の対象となる。 ⑵　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ３　実習のフィードバックについて 実習時間内に記録物やカンファレンスを通してその都度フィードバックを行う。 実習終了後は、個人面談において個別に実習を振り返り、フィードバックを行う。 実習の自己評価表は各自ポートフォリオに保存しておくこと。 ４　凡例　GW：グループワーク
オフィスアワー	谷口　千枝　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 森　莉那　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N254研究室 中村　純江　月曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N370研究室
備考	［実務］ 大学病院等において、看護師としての実務経験をもつ教員等が、臨床現場等で生活調整の必要な対象者の総合的な特性を理解し、健康課題に対応した看護計画の立案と実践、及び臨床から地域への退院支援における多職種連携・協働の実践について教育する。 本実習は療養生活支援論Ⅰ・Ⅱの講義内容と連動しているため、講義資料を実習に活用すること。 本実習は、最新の臨床知見に基づいて実習が構成されている。

講義名	クリティカルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Critical Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師	◎ 佐藤　ゆかり
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	林　さえ子
講　　師	橋本　茜
講　　師	上坂　真弓
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	クリティカルケア看護は、生命の危機的状況にある患者及びその家族を対象とした看護である。本科目は、クリティカルケア看護の特性と専門性及び基盤となる概念と理論、クリティカルケアを必要する患者・家族の特徴、クリティカルケア領域の倫理的課題、クリティカルケアを必要とする患者の主要病態の特徴と看護ケアを学ぶ。また、クリティカルア看護に必要な看護技術とクリティカルケア領域におけるチーム医療・多職種協働の実践について学ぶ。
目標	１　クリティカルケア看護及び救急看護の特性と専門性について説明できる。「DP:2・5」 ２　クリティカルケア看護の基盤となる概念及び理論について説明できる。「DP：2・5」 ３　クリティカルケアを必要とする患者・家族の特徴について説明できる。「DP：2・5」 ４　クリティカルケア領域の倫理的課題について説明できる。「DP:4」 ５　クリティカルケアを必要とする患者の主要病態と看護ケアについて説明できる。「DP：2・6」 ６　クリティカルケア看護に必要な看護技術を実施できる。「DP：1・2・6」 ７　クリティカルケア看護におけるチーム医療と多職種協働実践に参加できる。「DP:1・2・6～7」 ８　クリティカルケアを必要とする患者と家族に求められる看護について討議できる。「DP：1・3～5・8～9」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/05（金）	３	①「あらゆる治療・療養の場」「あらゆる病期・病態」を対象とするクリティカルケア：一般病棟、ＥＲ、ICU等から在宅 ②クリティカルケアを必要とする患者と家族の特徴 ③クリティカルケアにおける倫理的課題と家族への援助	講義	前：クリティカルケア看護学 p2-23を読む 後：クリティカルケアを必要とする対象者の特徴についてまとめる 前後各120分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
2	2024/04/05（金）	４	①救急看護の特性と専門性 ②救急における医療チームの役割と看護 ③プレホスピタルケアと航空医療	講義	前：日本救急看護学会HP「救急看護とは」を閲覧する 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分	坂田　久美子 佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
3	2024/04/17（水）	３	急性増悪：呼吸困難への対応 ・喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管吸引)	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に	橋本　茜 上坂　真弓 伊藤　真規 佐藤　ゆかり

					沿って事後課題を行う 前後各120分	林　さえ子 森本　直樹
4	2024/05/01 （水）	4	①クリティカルケアにおける特殊病態のアセスメントと対応：外傷，熱傷，中毒	講義	前：AIDLE-Kの参考資料を読む 後：外傷・熱傷・中毒のアセスメントについてまとめる 前後各120分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
5	2024/05/08 （水）	3	シミュレーション①：一次救命処置	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
6	2024/05/10 （金）	3	①救命の連鎖 ②異常の早期発見とトリアージ ③一次・二次救命処置・アルゴリズム ④気管挿管の介助	講義	前：クリティカルケア看護学 p190-197を読む 後：心停止の発見から二次救命処置までの流れをまとめる 前後各120分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
7	2024/06/21 （金）	1	医看（薬）合同多職種連携教育（３学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習 IPE	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	山中　真 谷口　千枝 早稲田　勝久 宮田　靖志 篠田　かおる 黒澤　昌洋 青山　恵美 山本　恵美子 上坂　真弓 河合　聖子 船木　淳 築山　郁人 川原　千香子
8	2024/06/21 （金）	2	同上	講義・演習 IPE	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	山中　真 谷口　千枝 早稲田　勝久 宮田　靖志 篠田　かおる 黒澤　昌洋 青山　恵美 山本　恵美子 上坂　真弓 河合　聖子 船木　淳 築山　郁人 川原　千香子

評価方法	課題レポート（80%）、事前課題・事後課題の提出状況及び授業への取り組み（20%）で評価する
教科書・参考書	教科書： １　道又元裕編：「系統看護学講座・別巻　クリティカルケア看護学」、医学書院、第2版、（2020/2）、2,530円（税込） 参考書： 適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位取得について (1)出席の3分の2以上を満たしている場合、成績評価を行う。 (2)不合格者には再試験（レポート）を1回行う。 ２　ICTについて 講義資料配信及び課題レポート提出は、AIDLE-Kを使用する。 ３　出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。 2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計3回打刻する。 ４　フィードバックについて 講義毎にAIDKE-Kに学びや振り返りを入力し、次回以降の講義時にフィードバックを受ける。 ５　その他 許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 ６　凡例 シミュレーション：SIM

オフィスアワー	林　さえ子　　水・金曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 坂田　久美子　火曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 橋本　茜　　月曜日　　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 上坂　真弓　　月曜日　　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 伊藤　真規　　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	IPEは、医学部と合同演習となる。 [実務] 大学病院の急性期病棟・救命救急医療の現場において、看護師または診療看護師(NP)として実務経験のある教員が、生命の危機的状況にある患者・家族への看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力及び専門職としての看護の役割・機能について指導する。 [最新の知見] 心肺蘇生法は、AHA心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2020及びJRC蘇生ガイドライン2020に準拠し、実施する。

講義名	クリティカルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Critical Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師	◎ 佐藤　ゆかり
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	林　さえ子
講　　師	橋本　茜
講　　師	上坂　真弓
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	クリティカルケア看護は、生命の危機的状況にある患者及びその家族を対象とした看護である。本科目は、クリティカルケア看護の特性と専門性及び基盤となる概念と理論、クリティカルケアを必要する患者・家族の特徴、クリティカルケア領域の倫理的課題、クリティカルケアを必要とする患者の主要病態の特徴と看護ケアを学ぶ。また、クリティカルア看護に必要な看護技術とクリティカルケア領域におけるチーム医療・多職種協働の実践について学ぶ。
目標	１　クリティカルケア看護及び救急看護の特性と専門性について説明できる。「DP:2・5」 ２　クリティカルケア看護の基盤となる概念及び理論について説明できる。「DP：2・5」 ３　クリティカルケアを必要とする患者・家族の特徴について説明できる。「DP：2・5」 ４　クリティカルケア領域の倫理的課題について説明できる。「DP:4」 ５　クリティカルケアを必要とする患者の主要病態と看護ケアについて説明できる。「DP：2・6」 ６　クリティカルケア看護に必要な看護技術を実施できる。「DP：1・2・6」 ７　クリティカルケア看護におけるチーム医療と多職種協働実践に参加できる。「DP:1・2・6～7」 ８　クリティカルケアを必要とする患者と家族に求められる看護について討議できる。「DP：1・3～5・8～9」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/05（金）	３	①「あらゆる治療・療養の場」「あらゆる病期・病態」を対象とするクリティカルケア：一般病棟、ＥＲ、ICU等から在宅 ②クリティカルケアを必要とする患者と家族の特徴 ③クリティカルケアにおける倫理的課題と家族への援助	講義	前：クリティカルケア看護学 p2-23を読む 後：クリティカルケアを必要とする対象者の特徴についてまとめる 前後各120分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
2	2024/04/05（金）	４	①救急看護の特性と専門性 ②救急における医療チームの役割と看護 ③プレホスピタルケアと航空医療	講義	前：日本救急看護学会HP「救急看護とは」を閲覧する 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分	坂田　久美子 佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
3	2024/04/19（金）	３	急性増悪：呼吸困難への対応 ・喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管吸引)	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に	橋本　茜 上坂　真弓 伊藤　真規 佐藤　ゆかり

					沿って事後課題を行う 前後各120分	林　さえ子 森本　直樹
4	2024/05/01 （水）	4	①クリティカルケアにおける特殊病態のアセスメントと対応：外傷，熱傷，中毒	講義	前：AIDLE-Kの参考資料を読む 後：外傷・熱傷・中毒のアセスメントについてまとめる 前後各120分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
5	2024/05/08 （水）	4	シミュレーション①：一次救命処置	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
6	2024/05/10 （金）	3	①救命の連鎖 ②異常の早期発見とトリアージ ③一次・二次救命処置・アルゴリズム ④気管挿管の介助	講義	前：クリティカルケア看護学 p190-197を読む 後：心停止の発見から二次救命処置までの流れをまとめる 前後各120分	伊藤　真規 佐藤　ゆかり 林　さえ子 森本　直樹
7	2024/06/21 （金）	1	医看（薬）合同多職種連携教育（３学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習 IPE	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	山中　真 谷口　千枝 早稲田　勝久 宮田　靖志 篠田　かおる 黒澤　昌洋 青山　恵美 山本　恵美子 上坂　真弓 河合　聖子 船木　淳 築山　郁人 川原　千香子
8	2024/06/21 （金）	2	同上	講義・演習 IPE	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	山中　真 谷口　千枝 早稲田　勝久 宮田　靖志 篠田　かおる 黒澤　昌洋 青山　恵美 山本　恵美子 上坂　真弓 河合　聖子 船木　淳 築山　郁人 川原　千香子

評価方法	課題レポート（80%）、事前課題・事後課題の提出状況及び授業への取り組み（20%）で評価する
教科書・参考書	教科書： １　道又元裕編：「系統看護学講座・別巻　クリティカルケア看護学」、医学書院、第2版、（2020/2）、2,530円（税込） 参考書： 適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位取得について (1)出席の3分の2以上を満たしている場合、成績評価を行う。 (2)不合格者には再試験（レポート）を1回行う。 ２　ICTについて 講義資料配信及び課題レポート提出は、AIDLE-Kを使用する。 ３　出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。 2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計3回打刻する。 ４　フィードバックについて 講義毎にAIDKE-Kに学びや振り返りを入力し、次回以降の講義時にフィードバックを受ける。 ５　その他 許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 ６　凡例 シミュレーション：SIM

オフィスアワー	林　さえ子　　水・金曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 坂田　久美子　火曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 橋本　茜　　月曜日　　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 上坂　真弓　　月曜日　　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 伊藤　真規　　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	IPEは、医学部と合同演習となる。 [実務] 大学病院の急性期病棟・救命救急医療の現場において、看護師または診療看護師(NP)として実務経験のある教員が、生命の危機的状況にある患者・家族への看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力及び専門職としての看護の役割・機能について指導する。 [最新の知見] 心肺蘇生法は、AHA心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2020及びJRC蘇生ガイドライン2020に準拠し、実施する。

講義名	ターミナルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Terminal Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	森　莉那
講　　師(非)	安藤　元美
講　　師(非)	井手　宏

科目概要	ターミナルケアとは、ターミナル期を生きる人と家族への全人的なケアのことである。 本科目では、ターミナルケアに関する社会状況、ターミナルケアの基礎的知識と必要な看護実践を学修する。また、多様なケアの専門職者から必要なケアおよび連携の実際を学び、人生の最終段階を生きる人を主体とした尊厳を尊重するチームケア実践の概要を学ぶ。 以上の内容から、ターミナルケアにおける看護の役割と役割拡大について学修し、人生のかけがえのない瞬間に出会う看護専門職者として自身の死生観をみつめ、今後のターミナルケアの課題と展望について考える機会とする。
目標	１　ターミナルケアを取り巻く社会状況を説明できる。「DP:2～5」 ２　ターミナルケアの主要な概念を説明できる。「DP：2・4・5」 ３　ターミナル期にある人と家族の全人的ニーズを理解し説明できる。「DP：2・4・5」 ４　ターミナル期にある人と家族への全人的ケアを理解し説明できる。「DP：2～6」 ５　多職種連携で行うターミナルケアの特徴と、チームケアにおける看護師の役割を述べることができる。「DP：7・8」 ６　ターミナルケアの現況を知り、今後の課題について意見を述べることができる。「DP：2～5・7～9」

授業計画表

回	年月日 （曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 （予習・復習）	担当教員
1	2024/04/08 （月）	2	ターミナルケアを取り巻く社会状況 ターミナルケアに関連する概念；ターミナルケア、ホスピスケア、緩和ケア、エンドオブライフケア 死生観	講義 GW	予：単元の内容について、これまでの学修を振り返ってまとめる。 復：講義やGW内容を振り返る。 各120分程度	佐々木　裕子 森　莉那
2	2024/04/15 （月）	2	ターミナル期にある人と家族の全人的ニーズの理解 身体的・精神的・社会的・スピリチュアルニーズ（ペイン）、死の受容プロセス	講義 GW	予：全人的ニーズについて既習学習を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	佐々木　裕子
3	2024/04/25 （木）	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア① ケアの基本姿勢、全人的ケア：身体的ケア、精神的ケア、社会的ケア、スピリチュアルケア	講義 GW	予：全人的ケアについて、既習学修を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	佐々木　裕子

4	2024/05/02 (木)	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア② 　症状マネジメントの原則と実際	講義	予：厚生労働省のHPや日本ホスピス緩和ケア財団のHPを読み、ターミナルケアの実際についての文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	井手　宏
5	2024/05/09 (木)	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア③ 　がん・非がん患者へのターミナルケア：外来／一般病棟におけるケア、意思決定支援、チームケア	講義	予：症状マネジメントについて、既習学修を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	森　莉那
6	2024/05/16 (木)	5	ターミナル期にある人の臨死期のケアと家族ケア 　臨死期の身体変化、予期的悲嘆、Death Education	講義	予：臨死期に起こりうる人の身体的特徴や家族の精神的状況について、既習学修を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	森　莉那
7	2024/05/23 (木)	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア④ 　看護の実際：ホスピス・緩和ケア病棟、在宅、アロマハウスでのターミナルケア 　アロマを用いた癒しのケア	講義	予：国内のホスピス・緩和ケア病棟、在宅ホスピスケア、施設におけるホスピスケア等についてホームページ等にアクセスし、ホスピス・緩和ケアにおける看護の役割について閲覧する。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	森　莉那 安藤　元美
8	2024/05/30 (木)	5	ターミナル期における遺族ケア 　看護活動、市民活動 多様な文化的背景をもつ人へのターミナルケア ターミナルケアの課題	講義	予：１−７回の学修を振り返り、テキスト等で関心をもった内容を読む。 ターミナルケアとして行われている市民・ボランティア活動を調べる。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	佐々木　裕子
9	2024/08/05 (月)	3	定期試験			

評価方法	毎回の授業後の小レポート(10%)および定期試験(90%)で評価を行う。
教科書・参考書	教科書： １　田村恵子編集：「終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア」メヂカルフレンド社、第２版(2021/12)、定価3,410円(税込み) 参考書： １　恒藤暁他　編：「系統看護学講座別巻 緩和ケア」、医学書院、第３版(2020/2)、定価2,420円(税込み) ２　厚生労働統計協会：「国民衛生の動向」2,695円(税込み) その他、授業時に適宜資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席は、学生便覧の規定に則る。 ２　単位修得について ⑴　出席３分の２に達している場合に単位認定試験の受験資格を認める。 ⑵　単位取得は、単位認定試験に合格した場合に認める。再試験は１回のみとする。 ⑶　再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷　小レポートのフィードバックは、質疑を中心として提出後の講義の最初に全体で共有できるようにする。 ３　凡例 GW：グループワーク
オフィスアワー	佐々木　裕子　月曜日　15：45〜17：45　看護学部棟３階N352研究室 森　莉那　　月曜日　15：45〜17：45　看護学部棟２階N254研究室 非常勤講師　　講義終了時に質問等を受け付ける。
備考	［実務］ 地域・在宅ケア、がん専門病院、緩和ケア病棟において、看護師等としての実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践を活かした教育を行う。

	本科目は、最新の知見、最新の治療ガイドラインに基づいて授業を構成している。

講義名	母性看護学援助論		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Maternal Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
助　　教	丸谷　紗穂

科目概要	リプロダクティブヘルスの視点から、周産期（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期）の生理的変化、対象と家族の健康およびとりまく環境について理解し、各期の対象とその家族への看護を学ぶ。また、看護実践能力として、母性看護の対象の特性をふまえたヘルスアセスメントの方法や基本的な看護技術と、ヘルスプロモーションの視点をもった看護過程の展開方法を学ぶ。
目標	１　妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の生理的な変化及び特徴、健康課題を説明できる。「DP:２・５」 ２　母性・父性の発達を育む看護を説明できる。「DP:１～５」 ３　正常に経過している対象の看護を説明できる。「DP:１～６」 ４　正常を逸脱した妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の特徴と看護を説明できる。「DP:１～５」 ５　次世代育成に関わる法的支援、他職種との連携と看護師の役割について論じることができる。「DP:７」 ６　母性看護における看護過程のプロセスを理解し、使用できる。「DP:１・３・５」 ７　妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の対象への基本的な看護技術を実施できる。「DP:６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	2	【講義】ガイダンス(母性看護の対象と実践内容、母子を支える看護) 妊娠期の身体的特性(胎児の発育と生理、母体の生理的変化) 妊娠期の心理・社会的特性（妊娠の受容）	講義	予：教p2-12、p62-91を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠期の身体的特性、心理・社会的特性の理解を深める。前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
2	2024/09/25（水）	3	【講義】妊婦と胎児のアセスメント（妊娠とその診断、胎児の発育と健康状態の診断）	講義	予：教p92-108を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠とその診断、胎児の発育と健康状態の診断の理解を深める。前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
3	2024/09/25（水）	4	【講義】妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント（妊婦健康診査、保健相談）	講義	予：教p108-132を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊婦と胎児の経過の診断とアセスメントの理解を深める。また、妊婦健康診査とそれに関わる関連法規についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
4	2024/09/26（木）	5	【講義】妊婦と家族の看護（妊婦が受ける母子保健サービス、保健相談、バースプラン）	講義	予：教p133-182を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊婦と家族の看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂

5	2024/10/02（水）	1	【講義】妊娠の異常と看護（ハイリスク妊娠、妊娠期の感染症）	講義	予：教p380-422を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠の異常と看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
6	2024/10/02（水）	2	【講義】分娩のメカニズム（分娩の３要素、分娩の機序、産婦の身体的変化）	講義	予：教p184-195を読む。 復：講義資料を用いて、分娩のメカニズムの理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
7	2024/10/03（木）	5	【講義】分娩の経過（分娩が母体に及ぼす影響、胎児に及ぼす影響）	講義	予：教p196-211を読む。 復：講義資料を用いて、分娩の経過の理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
8	2024/11/06（水）	2	【講義】分娩経過のアセスメントと看護（産婦と家族のニード、分娩期の看護）	講義	予：教p211-260を読む。 復：講義資料を用いて、分娩経過のアセスメントと看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
9	2024/11/25（月）	3	【講義】分娩の異常と看護（分娩期の正常からの逸脱、帝王切開術を受ける産婦の看護）	講義	予：教p423-488を読む。 復：講義資料を用いて、分娩の異常と看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
10	2024/11/25（月）	4	【講義】産褥経過（退行性変化、進行性変化、心理社会的変化、家族における変化）	講義	予：教p322-333を読む。 復：講義資料と教科書を用いて産褥経過の理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
11	2024/11/26（火）	3	【講義】産褥期における看護（褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護）	講義	予：教p334-366を読む。 復：講義資料と教科書を用いて産褥期のアセスメントと看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
12	2024/11/28（木）	3	【講義】産褥期に予測される問題と支援（産褥期の異常）	講義	予：教p514-540を読む。 復：講義資料を用いて、産褥期に予測される問題と支援を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
13	2024/11/28（木）	4	【講義】周産期のメンタルヘルスと看護（産後うつ病、子育て支援）	講義	予：教p516-517、541-550を読む。 復：講義資料を用いて、周産期のメンタルヘルスの特徴と看護の理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
14	2024/12/02（月）	3	【講義】新生児の生理	講義	予：教p262-281を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児の生理の理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
15	2024/12/02（月）	4	【講義】新生児のアセスメントと看護（出生から生後２日目まで）	講義	予：教p281-292を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
16	2024/12/03（火）	3	【講義】新生児のアセスメントと看護（生後２日目から退院時まで）	講義	予：教p293-320を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
17	2024/12/05（木）	3	【講義】新生児の異常と看護	講義	予：教p489-514を読む。 復：教科書と講義資料を基	山本　弘江 丸谷　紗穂

					に、新生児の異常と看護を復習する。 前後各30分	
18	2024/12/05 （木）	4	【講義】演習Ⅰ：妊婦・褥婦・新生児のヘルスアセスメントガイダンス 演習Ⅱ：母性看護における看護過程	講義	予：教p552-586を読む。教（看護過程）；p1-29を読む。 復：教科書と講義資料を読み、母性看護における看護過程を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
19	2025/01/23 （木）	3	【演習Ⅰ】妊婦・産褥・新生児のヘルスアセスメント（妊婦のアセスメント、子宮復古の観察と産褥早期の観察、授乳介助、赤ちゃんの抱き方、新生児のバイタルサイン測定と評価、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
20	2025/01/23 （木）	4	【演習Ⅰ】妊婦・産褥・新生児のヘルスアセスメント（妊婦のアセスメント、子宮復古の観察と産褥早期の観察、授乳介助、赤ちゃんの抱き方、新生児のバイタルサイン測定と評価、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
21	2025/01/23 （木）	5	【演習Ⅰ】妊婦・産褥・新生児のヘルスアセスメント（妊婦のアセスメント、子宮復古の観察と産褥早期の観察、授乳介助、赤ちゃんの抱き方、新生児のバイタルサイン測定と評価、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
22	2025/01/27 （月）	3	【演習Ⅱ】看護過程の展開①（情報の整理・分析）	演習	予：配布資料の事例記録を読む。 復：事例の情報の整理・分析を行う。 前後各30分	山本　弘江 全員
23	2025/01/27 （月）	4	【演習Ⅱ】看護過程の展開②（全体像・関連図）	演習	予：教（看護過程）p70-124を読む。 復：事例の関連図を作成する。 前後各30分	山本　弘江 全員
24	2025/01/28 （火）	1	【講義】母性看護に必要な技術（乳房の観察、新生児の全身観察と身体計測）	講義	予：演習Ⅰの資料を見直す。教p262-305，336-364を読む。 復：講義資料を用いて、母性看護に必要な技術を復習する。 前後各30分	山本　弘江
25	2025/01/28 （火）	2	【講義】ヘルスプロモーションを高める看護	講義 VTR視聴	予：教p367-378を読む。 復：講義資料を用いて、ヘルスプロモーションを高める看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江
26	2025/01/28 （火）	3	【演習Ⅱ】看護過程の展開③（看護診断の立案、優先順位の決定）	演習	予：講義資料を読む。 復：演習時のコメントをふまえ、看護診断を展開する。 前後各30分	山本　弘江 全員
27	2025/01/29 （水）	1	【演習Ⅱ】看護過程の展開④（看護目標、計画立案）	演習	予：講義資料を読む。 復：演習時のコメントをふまえ、看護計画を修正する。 前後各30分	山本　弘江 全員
28	2025/01/29 （水）	2	【講義】ハイリスク妊産婦の管理と看護	講義	予：教p380-422を読む。 復：講義資料を用いて、ハ	山本　弘江 丸谷　紗穂

					イリスク妊産婦の管理と看護を復習する。 前後各30分	
29	2025/01/30 （木）	1	【講義】NICUにおける管理と看護	講義	予：教p497-514を読む。 復：講義資料を用いて、NICUにおける管理と看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
30	2025/01/30 （木）	2	【講義】母性看護の今日的課題（出生前診断、不妊治療）・まとめ	講義	予：教p14-60を読む。 復：講義資料を用いて、母性看護の今日的課題について復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
31	2025/02/10 （月）	4	定期試験			山本　弘江

評価方法	定期試験 80%、演習レポート10%、講義参加度（ミニッツペーパーの提出含む） 10%
教科書・参考書	教科書： １　森恵美他著（2022）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論」、第14版、医学書院、定価3,410円（税込み） ２　太田操編（2022）：「ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程」、第３版、医歯薬出版、定価2,530円（税込み） 参考書： １　茅島江子、村井文江、細坂泰子編集（2022）：「看護診断のための気づきとアセスメント　母性看護」、中央法規出版、定価3,300円（税込み） ２　荒木奈緒他編（2024）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第６版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） 各担当教員が講義にて適宜提示する。 また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 　この科目に合格しないと「母性看護学実習」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席はカードリーダへの打刻による。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回、打刻する。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ⑶　演習Ⅰ（母性看護技術）はやむを得ない理由を除き、欠席は認めない。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席と演習Ⅰ・Ⅱレポートの提出をもって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　演習レポートは、提出期限を過ぎたものは評価の対象としない。 ⑶　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑷　不合格の場合、再試験は１回までとする。不合格の場合は次年度再履修すること。 ４　その他 ⑴　講義毎にミニッツペーパーの記入と提出を行い、その内容については次回講義に各担当教員よりフィードバックを行う。 ⑵　演習は、課題レポートと演習内容を双方向評価するルーブリック評価表を提出する。定期試験終了後、担当教員よりフィードバックを行う。 ⑶　講義終了後の質問については、定期試験終了後、個別に対応を行う。詳細は、講義内で指示する。
オフィスアワー	山本　弘江　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 丸谷　紗穂　水曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N367研究室
備考	【講義】 １　毎回講義前に教科書の該当箇所を読んでくること。 ２　講義内の疑問点については、ミニッツペーパーの記載やメール等で担当教員に尋ねること。次回講義時に、フィードバックが行われるが、各自でも教科書及び配付資料を用いて復習をしておくこと。 【演習】 １　毎回演習前に該当項目について指定された事前課題を行ってくること。 ２　演習前に教p602～609の動画及びナーシングスキルにアクセスし、看護技術を確認する。 ３　毎回演習終了後、事後学習を行い、課題の追加・修正を行うこと。 　ナーシングスキルのアクセス状況や学修内容について、演習前後で確認し、必要時コメントの応答を行う。 ［実務］ 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における対象の理解と看護を教育する。また、母性看護の対象の特性をふまえたヘルスアセスメントの方法や母性看護に必要な看護技術を教育する。 ・研究成果および当該領域の最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	母性看護学援助論		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Maternal Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
助　　教	丸谷　紗穂

科目概要	リプロダクティブヘルスの視点から、周産期（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期）の生理的変化、対象と家族の健康およびとりまく環境について理解し、各期の対象とその家族への看護を学ぶ。また、看護実践能力として、母性看護の対象の特性をふまえたヘルスアセスメントの方法や基本的な看護技術と、ヘルスプロモーションの視点をもった看護過程の展開方法を学ぶ。
目標	１　妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の生理的な変化及び特徴、健康課題を説明できる。「DP:２・５」 ２　母性・父性の発達を育む看護を説明できる。「DP:１～５」 ３　正常に経過している対象の看護を説明できる。「DP:１～６」 ４　正常を逸脱した妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の特徴と看護を説明できる。「DP:１～５」 ５　次世代育成に関わる法的支援、他職種との連携と看護師の役割について論じることができる。「DP:７」 ６　母性看護における看護過程のプロセスを理解し、使用できる。「DP:１・３・５」 ７　妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の対象への基本的な看護技術を実施できる。「DP:６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	2	【講義】ガイダンス(母性看護の対象と実践内容、母子を支える看護) 妊娠期の身体的特性(胎児の発育と生理、母体の生理的変化) 妊娠期の心理・社会的特性（妊娠の受容）	講義	予：教p2-12、p62-91を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠期の身体的特性、心理・社会的特性の理解を深める。前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
2	2024/09/25（水）	3	【講義】妊婦と胎児のアセスメント（妊娠とその診断、胎児の発育と健康状態の診断）	講義	予：教p92-108を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠とその診断、胎児の発育と健康状態の診断の理解を深める。前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
3	2024/09/25（水）	4	【講義】妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント（妊婦健康診査、保健相談）	講義	予：教p108-132を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊婦と胎児の経過の診断とアセスメントの理解を深める。また、妊婦健康診査とそれに関わる関連法規についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
4	2024/09/26（木）	5	【講義】妊婦と家族の看護（妊婦が受ける母子保健サービス、保健相談、バースプラン）	講義	予：教p133-182を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊婦と家族の看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂

5	2024/10/02（水）	1	【講義】妊娠の異常と看護（ハイリスク妊娠、妊娠期の感染症）	講義	予：教p380-422を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠の異常と看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
6	2024/10/02（水）	2	【講義】分娩のメカニズム（分娩の３要素、分娩の機序、産婦の身体的変化）	講義	予：教p184-195を読む。 復：講義資料を用いて、分娩のメカニズムの理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
7	2024/10/03（木）	5	【講義】分娩の経過（分娩が母体に及ぼす影響、胎児に及ぼす影響）	講義	予：教p196-211を読む。 復：講義資料を用いて、分娩の経過の理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
8	2024/11/06（水）	2	【講義】分娩経過のアセスメントと看護（産婦と家族のニード、分娩期の看護）	講義	予：教p211-260を読む。 復：講義資料を用いて、分娩経過のアセスメントと看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
9	2024/11/25（月）	3	【講義】分娩の異常と看護（分娩期の正常からの逸脱、帝王切開術を受ける産婦の看護）	講義	予：教p423-488を読む。 復：講義資料を用いて、分娩の異常と看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
10	2024/11/25（月）	4	【講義】産褥経過（退行性変化、進行性変化、心理社会的変化、家族における変化）	講義	予：教p322-333を読む。 復：講義資料と教科書を用いて産褥経過の理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
11	2024/11/26（火）	3	【講義】産褥期における看護（褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護）	講義	予：教p334-366を読む。 復：講義資料と教科書を用いて産褥期のアセスメントと看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
12	2024/11/28（木）	3	【講義】産褥期に予測される問題と支援（産褥期の異常）	講義	予：教p514-540を読む。 復：講義資料を用いて、産褥期に予測される問題と支援を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
13	2024/11/28（木）	4	【講義】周産期のメンタルヘルスと看護（産後うつ病、子育て支援）	講義	予：教p516-517、541-550を読む。 復：講義資料を用いて、周産期のメンタルヘルスの特徴と看護の理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
14	2024/12/02（月）	3	【講義】新生児の生理	講義	予：教p262-281を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児の生理の理解を深める。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
15	2024/12/02（月）	4	【講義】新生児のアセスメントと看護（出生から生後２日目まで）	講義	予：教p281-292を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
16	2024/12/03（火）	3	【講義】新生児のアセスメントと看護（生後２日目から退院時まで）	講義	予：教p293-320を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
17	2024/12/05（木）	3	【講義】新生児の異常と看護	講義	予：教p489-514を読む。 復：教科書と講義資料を基	山本　弘江 丸谷　紗穂

					に、新生児の異常と看護を復習する。 前後各30分	
18	2024/12/05 （木）	4	【講義】演習Ⅰ：妊婦・褥婦・新生児のヘルスアセスメントガイダンス 演習Ⅱ：母性看護における看護過程	講義	予：教p552-586を読む。教（看護過程）；p1-29を読む。 復：教科書と講義資料を読み、母性看護における看護過程を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
19	2025/01/22 （水）	3	【演習Ⅰ】妊婦・産褥・新生児のヘルスアセスメント（妊婦のアセスメント、子宮復古の観察と産褥早期の観察、授乳介助、赤ちゃんの抱き方、新生児のバイタルサイン測定と評価、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
20	2025/01/22 （水）	4	【演習Ⅰ】妊婦・産褥・新生児のヘルスアセスメント（妊婦のアセスメント、子宮復古の観察と産褥早期の観察、授乳介助、赤ちゃんの抱き方、新生児のバイタルサイン測定と評価、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
21	2025/01/22 （水）	5	【演習Ⅰ】妊婦・産褥・新生児のヘルスアセスメント（妊婦のアセスメント、子宮復古の観察と産褥早期の観察、授乳介助、赤ちゃんの抱き方、新生児のバイタルサイン測定と評価、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
22	2025/01/27 （月）	3	【演習Ⅱ】看護過程の展開①（情報の整理・分析）	演習	予：配布資料の事例記録を読む。 復：事例の情報の整理・分析を行う。 前後各30分	山本　弘江 全員
23	2025/01/27 （月）	4	【演習Ⅱ】看護過程の展開②（全体像・関連図）	演習	予：教（看護過程）p70-124を読む。 復：事例の関連図を作成する。 前後各30分	山本　弘江 全員
24	2025/01/28 （火）	1	【講義】母性看護に必要な技術（乳房の観察、新生児の全身観察と身体計測）	講義	予：演習Ⅰの資料を見直す。教p262-305，336-364を読む。 復：講義資料を用いて、母性看護に必要な技術を復習する。 前後各30分	山本　弘江
25	2025/01/28 （火）	2	【講義】ヘルスプロモーションを高める看護	講義 VTR視聴	予：教p367-378を読む。 復：講義資料を用いて、ヘルスプロモーションを高める看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江
26	2025/01/28 （火）	3	【演習Ⅱ】看護過程の展開③（看護診断の立案、優先順位の決定）	演習	予：講義資料を読む。 復：演習時のコメントをふまえ、看護診断を展開する。 前後各30分	山本　弘江 全員
27	2025/01/29 （水）	1	【演習Ⅱ】看護過程の展開④（看護目標、計画立案）	演習	予：講義資料を読む。 復：演習時のコメントをふまえ、看護計画を修正する。 前後各30分	山本　弘江 全員
28	2025/01/29 （水）	2	【講義】ハイリスク妊産婦の管理と看護	講義	予：教p380-422を読む。 復：講義資料を用いて、ハ	山本　弘江 丸谷　紗穂

					イリスク妊産婦の管理と看護を復習する。 前後各30分	
29	2025/01/30 （木）	1	【講義】NICUにおける管理と看護	講義	予：教p497-514を読む。 復：講義資料を用いて、NICUにおける管理と看護を復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
30	2025/01/30 （木）	2	【講義】母性看護の今日的課題（出生前診断、不妊治療）・まとめ	講義	予：教p14-60を読む。 復：講義資料を用いて、母性看護の今日的課題について復習する。 前後各30分	山本　弘江 丸谷　紗穂
31	2025/02/10 （月）	4	定期試験			山本　弘江

評価方法	定期試験 80%、演習レポート10%、講義参加度（ミニッツペーパーの提出含む） 10%
教科書・参考書	教科書： １　森恵美他著（2022）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論」、第14版、医学書院、定価3,410円（税込み） ２　太田操編（2022）：「ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程」、第３版、医歯薬出版、定価2,530円（税込み） 参考書： １　茅島江子、村井文江、細坂泰子編集（2022）：「看護診断のための気づきとアセスメント　母性看護」、中央法規出版、定価3,300円（税込み） ２　荒木奈緒他編（2024）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第６版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） 各担当教員が講義にて適宜提示する。 また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 　この科目に合格しないと「母性看護学実習」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席はカードリーダへの打刻による。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回、打刻する。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ⑶　演習Ⅰ（母性看護技術）はやむを得ない理由を除き、欠席は認めない。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席と演習Ⅰ・Ⅱレポートの提出をもって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　演習レポートは、提出期限を過ぎたものは評価の対象としない。 ⑶　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑷　不合格の場合、再試験は１回までとする。不合格の場合は次年度再履修すること。 ４　その他 ⑴　講義毎にミニッツペーパーの記入と提出を行い、その内容については次回講義に各担当教員よりフィードバックを行う。 ⑵　演習は、課題レポートと演習内容を双方向評価するルーブリック評価表を提出する。定期試験終了後、担当教員よりフィードバックを行う。 ⑶　講義終了後の質問については、定期試験終了後、個別に対応を行う。詳細は、講義内で指示する。
オフィスアワー	山本　弘江　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 丸谷　紗穂　水曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N367研究室
備考	【講義】 １　毎回講義前に教科書の該当箇所を読んでくること。 ２　講義内の疑問点については、ミニッツペーパーの記載やメール等で担当教員に尋ねること。次回講義時に、フィードバックが行われるが、各自でも教科書及び配付資料を用いて復習をしておくこと。 【演習】 １　毎回演習前に該当項目について指定された事前課題を行ってくること。 ２　演習前に教p602～609の動画及びナーシングスキルにアクセスし、看護技術を確認する。 ３　毎回演習終了後、事後学習を行い、課題の追加・修正を行うこと。 　ナーシングスキルのアクセス状況や学修内容について、演習前後で確認し、必要時コメントの応答を行う。 ［実務］ 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における対象の理解と看護を教育する。また、母性看護の対象の特性をふまえたヘルスアセスメントの方法や母性看護に必要な看護技術を教育する。 ・研究成果および当該領域の最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	母性看護学実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum:Maternal Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
助　　教	丸谷　紗穂

科目概要	周産期(妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期)の母子と家族について体系的に理解し、ヘルスプロモーションの視点に立って、その家族が社会で健康に生活できるために必要な看護を考え、実践できる。
目標	１　対象（妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児）の特性を理解し、健康の増進又は健康逸脱からの回復過程を支援するための計画を立案・実践・評価できる。［DP：２，３，５，６］ ２　児の誕生にともなう対象と家族の生活や発達課題を理解し、家族を含めた適切な看護について検討できる。［DP：２，５，６，９］ ３　対象とその家族をとりまく社会的・文化的背景をふまえた退院後の継続的な支援の重要性を理解し、多(他)職種や地域との連携・協働及び看護が担うべき役割を説明できる。［DP：５，７，８，９］ ４　ヘルスプロモーションの視点に立って、対象に寄り添い、看護学生としてふさわしい態度で主体的に実習に参加できる。［DP：１，９］ ５　母子保健に関連する法規や制度を理解し、母子及び家族支援のための社会資源の活用を説明できる。［DP：２，５，７，９］ ６　母性看護領域における対象の権利と保護をふまえた看護を実践できる。［DP：２，４，９］ ７　対象やその家族との関わりの中で、自己の母性・父性意識を発展させ、関連づけることができる。［DP：９］ ８　カンファレンスを通して、母性看護について考察し、自分の意見を論じることができる。［DP：１，３，８，９］ ９　看護専門職者として守るべき看護倫理を理解し、看護者として必要な資質をもって参加できる。［DP：４］

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 (1) 各クール、学生約9～10名でグループを編成し、病棟実習１週間、学内実習１週間行う。 (2) 病棟実習では、産褥母子１組を受け持ち、母性看護の展開実習を行う。 (3) 学内実習では、母性看護に必要な知識・技術として、分娩期の看護、胎児心拍数陣痛図の判読についてシミュレーション実習と妊婦体験，モデル事例を用いた保健指導案の作成と発表を行う。 (4) 学内実習期間中、愛知医科大学産婦人科外来で妊婦健診または乳児健診実習を行う。 (5) 学内実習期間中に分娩がある場合、分娩見学実習を数名ずつ行う。 詳細は、別途配布する「令和６年度母性看護学実習要項」を参照とする。 ２　実習期間 １クール：2024年５月７日(火)～５月17日(金) ２クール：2024年５月20日(月)～５月31日(金) ３クール：2024年６月10日(月)～６月21日(金) ４クール：2024年６月24日(月)～７月５日(金) ５クール：2024年７月８日(月)～７月19日(金)	実習	予習： １　母性看護学援助論の復習課題および実習ガイダンス時の資料を熟読しておく。 ２　実習に必要な母性看護技術について、実践可能な状態になるよう技術練習をしておく。 復習： １　実習記録を用いて１日の実習をふりかえり、受け持ち対象者に関連した情報等を整理し、翌日の実習に必要な知識および技術を教科書・参考書を用いて学修する。 ２　実習終了後、看護師国家試験問題集から母性看護学の関連問題に取り組む。 時間制限はしない。	全員

	３　実習施設 愛知医科大学病院：６Ｂ病棟、産婦人科外来 愛知医科大学看護学部棟N103実習室			
2	同　　上	実習	同　　上	全員
3	同　　上	実習	同　　上	全員
4	同　　上	実習	同　　上	全員
5	同　　上	実習	同　　上	全員
6	同　　上	実習	同　　上	全員
7	同　　上	実習	同　　上	全員
8	同　　上	実習	同　　上	全員
9	同　　上	実習	同　　上	全員
10	同　　上	実習	同　　上	全員
11	同　　上	実習	同　　上	全員
12	同　　上	実習	同　　上	全員
13	同　　上	実習	同　　上	全員
14	同　　上	実習	同　　上	全員
15	同　　上	実習	同　　上	全員
16	同　　上	実習	同　　上	全員
17	同　　上	実習	同　　上	全員
18	同　　上	実習	同　　上	全員
19	同　　上	実習	同　　上	全員
20	同　　上	実習	同　　上	全員
21	同　　上	実習	同　　上	全員
22	同　　上	実習	同　　上	全員
23	同　　上	実習	同　　上	全員
24	同　　上	実習	同　　上	全員
25	同　　上	実習	同　　上	全員
26	同　　上	実習	同　　上	全員
27	同　　上	実習	同　　上	全員
28	同　　上	実習	同　　上	全員
29	同　　上	実習	同　　上	全員
30	同　　上	実習	同　　上	全員
31	同　　上	実習	同　　上	全員
32	同　　上	実習	同　　上	全員
33	同　　上	実習	同　　上	全員
34	同　　上	実習	同　　上	全員
35	同　　上	実習	同　　上	全員
36	同　　上	実習	同　　上	全員
37	同　　上	実習	同　　上	全員
38	同　　上	実習	同　　上	全員

39	同　　上	実習	同　　上	全員
40	同　　上	実習	同　　上	全員

評価方法	１　実習期間の５分の４以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。ただし、欠席や遅刻は減点とする。 ２　各実習担当教員により評価を行ったうえで、総合的に最終評価を行う。 ３　実習評価は、学生と教員で評価を可視化できるルーブリック評価表を用いる。 ４　実習最終日、実習目標と実践、実習記録、カンファレンスの参加度に対する学生の自己評価をふまえ、実習担当教員より実習のフィードバックを行う。
教科書・参考書	教科書： 母性看護学概論、母性看護学援助論で使用した教科書を使用する。 参考書： 授業中に配付した資料。 その他、実習中適宜提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　「母性看護学概論」及び「母性看護学援助論」の単位を修得していることが履修の前提条件となる。 ⑵　実習要項および看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 ２　出欠席について ⑴　実習ガイダンスに出席し、実習方法、実習内容等の詳細を把握し、準備をして臨むこと。 ⑵　やむを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 ３　単位取得について ⑴　実習期間の５分の４以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。 ⑵　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ４　その他 　感染症に対し脆弱な新生児を扱うことから、自身の体調管理には十分留意し、少しでも気になる所見がある場合は自己判断をせず、担当教員に登校前に相談をすること。
オフィスアワー	山本　弘江　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 丸谷　紗穂　水曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N367研究室
備考	１　実習前までに提示された復習課題に取り組む。 ２　実習前までに実習室N103の教室開放時間内に母性看護学援助論で行った演習Ⅰの技術の復習を行っておく。 ３　母性看護学概論・母性看護学援助論の復習を教科書及び講義資料を用いて行っておく。 ［実務］ 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、周産期(妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期)の母子と家族への看護実践について指導する。またヘルスプロモーションの視点に立って、その家族が社会で健康に生活できるための看護の役割について教育する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	小児看護学援助論		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Pediatric Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 深谷　基裕
教　　授	茂本　咲子
助　　教	坂川　有希

科目概要	ヘルスプロモーションの理念に基づき、子どもの成長・発達、健康課題を念頭に、病気や障害が子どもと家族に与える影響を考え、子どもとその家族のＱＯＬを高め、最善の利益を考えた看護援助実践を学ぶ。子どもと家族への倫理的配慮を心がけ、科学的根拠に基づいた安全・安楽な小児看護の基本、継続看護のあり方を学ぶ。
目標	１　病気や障害のある子どもの反応と成長発達、それに対する基本的看護を理解し説明できる。「DP：１～５」 ２　病気や障害のある子どもをもつ家族の反応と、その看護を理解し説明できる。「DP：１～５」 ３　小児期に多く見られる症状の原因とその看護について理解し説明できる。「DP：１～５」 ４　健康障害とその経過や治療過程による子どもの特徴を理解し、看護援助の方法と継続看護のあり方について説明できる。「DP：１～５・７」 ５　健康障害のある子どもとその家族の看護について、事例をもとに理解し、その子どもと家族にとっての最善の利益を考えた看護計画を立案することができる。「DP：１～５・７」 ６　小児看護における安全・安楽な看護技術の特徴を理解し、モデルを対象に基本的な技術を実施できる。「DP：１～７」 ７　近年の小児看護を取り巻く状況をふまえ、子どもと家族の看護において必要や倫理的配慮と課題について説明できる。「DP：１～５・７」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/19（木）	1	ガイダンス　子どもと病気・障害	講義	前：教１；p196-209、212-228を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、子どもが入院するときに現れやすい反応について、発達段階ごとに整理する。 前後各30分。	深谷　基裕
2	2024/09/19（木）	2	子どものヘルスアセスメント バイタルサイン測定、身体計測	講義	前：教１；p284-342を読む。 後：講義内容を踏まえ、演習①の事前課題に取り組む。教１；p513-515のQRコードを読み取って動画を閲覧する。 前後各30分。	深谷　基裕
3	2024/09/26（木）	1	検査・処置を受ける子どもと家族の看護	講義	前：教１；p416-419、420-456を読む。 後：教科書・講義資料から、検査・処置を受ける子どもへの心理的準備（プレパレーション）と説明の重	深谷　基裕

					要性についてまとめる。 前後各30分。	
4	2024/09/26 （木）	2	子どもの症状とアセスメント・看護①:発熱、脱水、下痢・嘔吐、痛み、けいれんとその看護	講義	前：教１；p377-397を読む。 後：講義内容をもとに子どもが脱水になりやすい生理的特徴と看護のポイントをまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
5	2024/10/03 （木）	1	子どもの症状とアセスメント・看護②:痛みとその看護	講義	前：教１；p345-353, 258-259を読む。 後：教科書・講義資料をもとに痛みの観察点と発達段階に応じた評価方法をまとめる。 前後各30分。	坂川　有希
6	2024/10/03 （木）	2	急性期にある子どもと家族の看護 呼吸器の疾患・障害をもつ子どもと家族の看護 肺炎　気管支喘息	講義	前：教１；p252-256、教２;p110-117、128-134、176-188を読む。 後：講義内容をもとに教１；p281-282のゼミナール復習と課題についてまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
7	2024/11/07 （木）	1	慢性期にある子どもの看護　子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護	講義	前：教１；p226-239、248-251を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、慢性期にある子どもと家族の問題を発達段階で整理しまとめる。 前後各30分。	坂川　有希
8	2024/11/07 （木）	2	手術を受ける子どもと家族の看護	講義	前：教１；p256-268、344-371の範囲を読む。 後：講義資料を中心に周手術期看護について整理する。 前後各30分。	深谷　基裕
9	2024/11/25 （月）	1	消化器の疾患・障害をもつ子どもと家族の看護 鎖肛　胆道閉鎖症　腸重積など	講義	前：教２；p224－280、教１；p320-323（p515動画含）、383-397を読む。 後：「手術を受ける子どもと家族の看護」の講義と深くかかわるので、あわせて内容の整理をする。 前後各30分。	深谷　基裕
10	2024/11/25 （月）	2	循環器の疾患・障害をもつ子どもと家族の看護 心室中隔欠損症　ファロー四徴症　川崎病	講義	前：教２；p190-222、教１；p316-320（p515動画含）を読む。 後：講義資料を中心に胎児の血行動態と新生児の血行動態の違いを整理する。小児期の代表的な循環器疾患と看護について整理をする。 前後各30分。	深谷　基裕
11	2024/11/26 （火）	1	腎疾患　代謝性疾患、内分泌疾患の子どもと家族の看護 ネフローゼ症候群　1型糖尿病　低身長症	講義	前：教２；p69-104、338-378　教１；p398-401を読む。 後：講義内容をもとにネフローゼ症候群、Ⅰ型糖尿病で長期療養が必要な学童について、生活上の注意点をまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
12	2024/11/26 （火）	2	小児がんの子どもと家族の看護 白血病　　神経芽腫　　ウイルムス腫瘍	講義	前：教２；p302-336を読む。 後：講義資料を基に化学療	深谷　基裕

					法と看護について整理する。代表的な抗がん剤の副作用と発現時期について一覧表にまとめる。 前後各30分。	
13	2024/11/27 （水）	1	先天性疾患・ハイリスク新生児とその家族の看護 低出生体重児(急性期）、染色体異常	講義	前：教２；p2-64、67を読む。 後：講義内容を踏まえ、ハイリスク新生児とその家族の看護に関する急性期の課題についてまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
14	2024/11/27 （水）	2	先天性疾患・ハイリスク新生児とその家族の看護 低出生体重児（回復期と在宅移行期）	講義	前：教２；p2-64、67を読む。 後：講義内容を踏まえ、ハイリスク新生児とその家族の看護に関する在宅移行期の課題についてまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
15	2024/11/28 （木）	1	神経・運動器の疾患・障害をもつ子どもと家族の看護 てんかん　水頭症　二分脊椎　発育性股関節形成不全	講義	前：教２；p380-403、408-414、416-421、428-430を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、てんかんのある子ども、牽引療法を行う子どもの看護のポイントをまとめる。 前後各30分。	茂本咲子
16	2024/11/28 （木）	2	障害のある子どもと家族の看護　発達障害　重症心身障害　医療的ケア	講義	前：教１；p480-492、教２；p403-414を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、障害のある子どもの発達段階ごとに生じやすい問題を整理しまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
17	2024/11/29 （金）	1	【演習１-１：講義・グループワーク】 看護過程　情報の整理・分析	講義 GW	前：事前に提示した事例について学習する。教２；p538－562を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
18	2024/11/29 （金）	2	【演習１-２：グループワーク】 看護過程　情報の整理・分析	GW	前：事前に提示した事例について学習する。教２；p538－562を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
19	2024/12/03 （火）	1	【演習１-３：グループワーク】 看護過程　アセスメントの統合　看護問題の抽出	GW	前：前回演習をもとに全体像を描き看護問題の抽出を行う。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
20	2024/12/03 （火）	2	【演習１-４：グループワーク】 看護過程　アセスメントの統合　看護問題の抽出	GW	前：前回演習をもとに全体像を描き看護問題の抽出を行う。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
21	2024/12/04 （水）	1	【演習１-５：グループワーク】 看護過程　看護計画の立案	GW	前：前回演習をもとに看護計画を立案する。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
22	2024/12/04 （水）	2	【演習１-６：グループワーク】 看護過程　看護計画の立案	GW	前：前回演習をもとに看護計画を立案する。	深谷　基裕 坂川　有希

					後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	茂本咲子
23	2024/12/05 （木）	1	【演習１-７：グループワーク】 看護過程　各グループの発表討議	GW	前：前回演習をもとに発表の準備をする。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
24	2024/12/05 （木）	2	救急処置が必要な子どもの看護	講義	前：教２；p520-536、教１；p471-478（動画ｐ516含）の範囲を目を通しておく。 後：講義資料を基に成人と小児での救急処置の違いをまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
25	2024/12/06 （金）	1	児童虐待と多職種連携	講義	前：教１；P494-511を読む。 後：教科書・講義資料をもとに虐待が生じる原因、虐待予防として必要な支援についてまとめる。 前後各30分	深谷　基裕
26	2024/12/06 （金）	2	終末期の子どもと家族の看護	講義	前：教１；p269-282を読む。用語（終末期・グリーフケア）の定義を確認しておく。 後：講義資料を参考に、終末期看護の自己の考え（看護観）を整理する。 前後各30分。	深谷　基裕
27	2025/01/08 （水）	2	【演習２】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の講義資料を読む。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川　有希 深谷　基裕 茂本咲子
28	2025/01/08 （水）	3	【演習２】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の講義資料を読む。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川　有希 深谷　基裕 茂本咲子
29	2025/01/08 （水）	4	【演習２】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の講義資料を読む。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川　有希 深谷　基裕 茂本咲子
30	2025/01/15 （水）	1	現在の小児医療における課題と看護 小児看護に求められる役割	講義	前：教１；p26-28を読む。 後：講義資料をもとに、現在の小児看護に求められる役割について整理する。 前後各30分。	坂川　有希 深谷　基裕
31	2025/02/10 （月）	2	定期試験			全員

評価方法	定期試験(80%)、演習/レポート(20%：看護過程10%、小児看護の基本的な技術演習10%) グループワーク・授業への参加度等をもとに総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： １　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［１］小児看護学概論　小児臨床看護総論、第14版、医学書院、定価3,190円（税込み） ２　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［２］小児臨床看護各論」、第14版、医

	学書院、定価3,630円（税込み） 参考書： １　筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護学」、第２版、照林社、定価3, 630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　本科目受講は、「小児看護学概論」の単位修得をしていることが前提となる。 ２　出席は、入室時と退室時にカードリーダへの打刻により確認する。この時、２回の打刻がない者は欠席扱いとする。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。また、遅刻・早退３回で１回の欠席とする。 ３　各講義での振り返りミニレポートを授業への参加度として評価する。 ４　演習を止むを得ない事情以外で欠席した場合は、定期試験の受験を認めない場合がある。 　※　演習を欠席する場合は、担当教員への連絡を事前に行うこととする。 ５　演習時には事前に課された課題を行って臨むこと。課題がなされていない場合は、演習に参加できないことがある。受講態度も評価に含める。 ６　演習時は清潔な実習衣を着用し、演習を行うのに適した身だしなみで出席すること。 　※　不潔、危険と判断される場合、演習に参加できないことがある。 ７　単位修得について 　⑴　３分の２以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 　⑵　定期試験に合格すること。 　⑶　追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 　⑷　再試験は１回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修すること。 ８　本科目の単位修得が、「小児看護学実習」を履修する前提条件となる。 ９　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、掲示する。 10　［凡例］　教科書について、小児看護学［１］は教１、小児看護学［２］は教２と示す。 　　グループワークはGWと示す。
オフィスアワー	深谷　基裕　　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 茂本　咲子　　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室７ 坂川　有希　　木曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 他の講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	［実務］ 小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもと家族の看護の実務経験がある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。また小児看護専門看護師、小児救急看護認定看護師として活躍する講師より臨床での事例や看護の実際を紹介してもらいながら教育をする。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	小児看護学援助論		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Pediatric Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 深谷　基裕
教　　授	茂本　咲子
助　　教	坂川　有希

科目概要	ヘルスプロモーションの理念に基づき、子どもの成長・発達、健康課題を念頭に、病気や障害が子どもと家族に与える影響を考え、子どもとその家族のＱＯＬを高め、最善の利益を考えた看護援助実践を学ぶ。子どもと家族への倫理的配慮を心がけ、科学的根拠に基づいた安全・安楽な小児看護の基本、継続看護のあり方を学ぶ。
目標	１　病気や障害のある子どもの反応と成長発達、それに対する基本的看護を理解し説明できる。「DP：１～５」 ２　病気や障害のある子どもをもつ家族の反応と、その看護を理解し説明できる。「DP：１～５」 ３　小児期に多く見られる症状の原因とその看護について理解し説明できる。「DP：１～５」 ４　健康障害とその経過や治療過程による子どもの特徴を理解し、看護援助の方法と継続看護のあり方について説明できる。「DP：１～５・７」 ５　健康障害のある子どもとその家族の看護について、事例をもとに理解し、その子どもと家族にとっての最善の利益を考えた看護計画を立案することができる。「DP：１～５・７」 ６　小児看護における安全・安楽な看護技術の特徴を理解し、モデルを対象に基本的な技術を実施できる。「DP：１～７」 ７　近年の小児看護を取り巻く状況をふまえ、子どもと家族の看護において必要や倫理的配慮と課題について説明できる。「DP：１～５・７」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/19（木）	1	ガイダンス　子どもと病気・障害	講義	前：教１；p196-209、212-228を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、子どもが入院するときに現れやすい反応について、発達段階ごとに整理する。 前後各30分。	深谷　基裕
2	2024/09/19（木）	2	子どものヘルスアセスメント バイタルサイン測定、身体計測	講義	前：教１；p284-342を読む。 後：講義内容を踏まえ、演習①の事前課題に取り組む。教１；p513-515のQRコードを読み取って動画を閲覧する。 前後各30分。	深谷　基裕
3	2024/09/26（木）	1	検査・処置を受ける子どもと家族の看護	講義	前：教１；p416-419、420-456を読む。 後：教科書・講義資料から、検査・処置を受ける子どもへの心理的準備（プレパレーション）と説明の重	深谷　基裕

					要性についてまとめる。 前後各30分。	
4	2024/09/26 （木）	2	子どもの症状とアセスメント・看護①:発熱、脱水、下痢・嘔吐、痛み、けいれんとその看護	講義	前：教１；p377-397を読む。 後：講義内容をもとに子どもが脱水になりやすい生理的特徴と看護のポイントをまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
5	2024/10/03 （木）	1	子どもの症状とアセスメント・看護②:痛みとその看護	講義	前：教１；p345-353, 258-259を読む。 後：教科書・講義資料をもとに痛みの観察点と発達段階に応じた評価方法をまとめる。 前後各30分。	坂川　有希
6	2024/10/03 （木）	2	急性期にある子どもと家族の看護 呼吸器の疾患・障害をもつ子どもと家族の看護 肺炎　気管支喘息	講義	前：教１；p252-256、教２;p110-117、128-134、176-188を読む。 後：講義内容をもとに教１；p281-282のゼミナール復習と課題についてまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
7	2024/11/07 （木）	1	慢性期にある子どもの看護　子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護	講義	前：教１；p226-239、248-251を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、慢性期にある子どもと家族の問題を発達段階で整理しまとめる。 前後各30分。	坂川　有希
8	2024/11/07 （木）	2	手術を受ける子どもと家族の看護	講義	前：教１；p256-268、344-371の範囲を読む。 後：講義資料を中心に周手術期看護について整理する。 前後各30分。	深谷　基裕
9	2024/11/25 （月）	1	消化器の疾患・障害をもつ子どもと家族の看護 鎖肛　胆道閉鎖症　腸重積など	講義	前：教２；p224－280、教１；p320-323（p515動画含）、383-397を読む。 後：「手術を受ける子どもと家族の看護」の講義と深くかかわるので、あわせて内容の整理をする。 前後各30分。	深谷　基裕
10	2024/11/25 （月）	2	循環器の疾患・障害をもつ子どもと家族の看護 心室中隔欠損症　ファロー四徴症　川崎病	講義	前：教２；p190-222、教１；p316-320（p515動画含）を読む。 後：講義資料を中心に胎児の血行動態と新生児の血行動態の違いを整理する。小児期の代表的な循環器疾患と看護について整理をする。 前後各30分。	深谷　基裕
11	2024/11/26 （火）	1	腎疾患　代謝性疾患、内分泌疾患の子どもと家族の看護 ネフローゼ症候群　1型糖尿病　低身長症	講義	前：教２；p69-104、338-378　教１；p398-401を読む。 後：講義内容をもとにネフローゼ症候群、Ⅰ型糖尿病で長期療養が必要な学童について、生活上の注意点をまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
12	2024/11/26 （火）	2	小児がんの子どもと家族の看護 白血病　　神経芽腫　　ウイルムス腫瘍	講義	前：教２；p302-336を読む。 後：講義資料を基に化学療	深谷　基裕

					法と看護について整理する。代表的な抗がん剤の副作用と発現時期について一覧表にまとめる。 前後各30分。	
13	2024/11/27 （水）	1	先天性疾患・ハイリスク新生児とその家族の看護 低出生体重児(急性期）、染色体異常	講義	前：教２；p2-64、67を読む。 後：講義内容を踏まえ、ハイリスク新生児とその家族の看護に関する急性期の課題についてまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
14	2024/11/27 （水）	2	先天性疾患・ハイリスク新生児とその家族の看護 低出生体重児（回復期と在宅移行期）	講義	前：教２；p2-64、67を読む。 後：講義内容を踏まえ、ハイリスク新生児とその家族の看護に関する在宅移行期の課題についてまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
15	2024/11/28 （木）	1	神経・運動器の疾患・障害をもつ子どもと家族の看護 てんかん　水頭症　二分脊椎　発育性股関節形成不全	講義	前：教２；p380-403、408-414、416-421、428-430を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、てんかんのある子ども、牽引療法を行う子どもの看護のポイントをまとめる。 前後各30分。	茂本咲子
16	2024/11/28 （木）	2	障害のある子どもと家族の看護　発達障害　重症心身障害　医療的ケア	講義	前：教１；p480-492、教２；p403-414を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、障害のある子どもの発達段階ごとに生じやすい問題を整理しまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
17	2024/11/29 （金）	1	【演習１-１：講義・グループワーク】 看護過程　情報の整理・分析	講義 GW	前：事前に提示した事例について学習する。教２；p538－562を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
18	2024/11/29 （金）	2	【演習１-２：グループワーク】 看護過程　情報の整理・分析	GW	前：事前に提示した事例について学習する。教２；p538－562を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
19	2024/12/03 （火）	1	【演習１-３：グループワーク】 看護過程　アセスメントの統合　看護問題の抽出	GW	前：前回演習をもとに全体像を描き看護問題の抽出を行う。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
20	2024/12/03 （火）	2	【演習１-４：グループワーク】 看護過程　アセスメントの統合　看護問題の抽出	GW	前：前回演習をもとに全体像を描き看護問題の抽出を行う。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
21	2024/12/04 （水）	1	【演習１-５：グループワーク】 看護過程　看護計画の立案	GW	前：前回演習をもとに看護計画を立案する。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
22	2024/12/04 （水）	2	【演習１-６：グループワーク】 看護過程　看護計画の立案	GW	前：前回演習をもとに看護計画を立案する。	深谷　基裕 坂川　有希

					後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	茂本咲子
23	2024/12/05 （木）	1	【演習１-７：グループワーク】 看護過程　各グループの発表討議	GW	前：前回演習をもとに発表の準備をする。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷　基裕 坂川　有希 茂本咲子
24	2024/12/05 （木）	2	救急処置が必要な子どもの看護	講義	前：教２；p520-536、教１；p471-478（動画ｐ516含）の範囲を目を通しておく。 後：講義資料を基に成人と小児での救急処置の違いをまとめる。 前後各30分。	深谷　基裕
25	2024/12/06 （金）	1	児童虐待と多職種連携	講義	前：教１；P494-511を読む。 後：教科書・講義資料をもとに虐待が生じる原因、虐待予防として必要な支援についてまとめる。 前後各30分	深谷　基裕
26	2024/12/06 （金）	2	終末期の子どもと家族の看護	講義	前：教１；p269-282を読む。用語（終末期・グリーフケア）の定義を確認しておく。 後：講義資料を参考に、終末期看護の自己の考え（看護観）を整理する。 前後各30分。	深谷　基裕
27	2025/01/09 （木）	2	【演習２】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の講義資料を読む。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川　有希 深谷　基裕 茂本咲子
28	2025/01/09 （木）	3	【演習２】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の講義資料を読む。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川　有希 深谷　基裕 茂本咲子
29	2025/01/09 （木）	4	【演習２】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の講義資料を読む。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川　有希 深谷　基裕 茂本咲子
30	2025/01/15 （水）	1	現在の小児医療における課題と看護 小児看護に求められる役割	講義	前：教１；p26-28を読む。 後：講義資料をもとに、現在の小児看護に求められる役割について整理する。 前後各30分。	坂川　有希 深谷　基裕
31	2025/02/10 （月）	2	定期試験			全員

評価方法	定期試験(80%)、演習/レポート(20%：看護過程10%、小児看護の基本的な技術演習10%) グループワーク・授業への参加度等をもとに総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： １　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［１］小児看護学概論　小児臨床看護総論、第14版、医学書院、定価3,190円（税込み） ２　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［２］小児臨床看護各論」、第14版、医

	学書院、定価3,630円（税込み） 参考書： １　筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護学」、第２版、照林社、定価3, 630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　本科目受講は、「小児看護学概論」の単位修得をしていることが前提となる。 ２　出席は、入室時と退室時にカードリーダへの打刻により確認する。この時、２回の打刻がない者は欠席扱いとする。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。また、遅刻・早退３回で１回の欠席とする。 ３　各講義での振り返りミニレポートを授業への参加度として評価する。 ４　演習を止むを得ない事情以外で欠席した場合は、定期試験の受験を認めない場合がある。 　※　演習を欠席する場合は、担当教員への連絡を事前に行うこととする。 ５　演習時には事前に課された課題を行って臨むこと。課題がなされていない場合は、演習に参加できないことがある。受講態度も評価に含める。 ６　演習時は清潔な実習衣を着用し、演習を行うのに適した身だしなみで出席すること。 　※　不潔、危険と判断される場合、演習に参加できないことがある。 ７　単位修得について 　⑴　３分の２以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 　⑵　定期試験に合格すること。 　⑶　追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 　⑷　再試験は１回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修すること。 ８　本科目の単位修得が、「小児看護学実習」を履修する前提条件となる。 ９　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、掲示する。 10　［凡例］　教科書について、小児看護学［１］は教１、小児看護学［２］は教２と示す。 　　グループワークはGWと示す。
オフィスアワー	深谷　基裕　　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 茂本　咲子　　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室７ 坂川　有希　　木曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 他の講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	［実務］ 小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもと家族の看護の実務経験がある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。また小児看護専門看護師、小児救急看護認定看護師として活躍する講師より臨床での事例や看護の実際を紹介してもらいながら教育をする。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	小児看護学実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum:Pediatric Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 深谷　基裕
教　　授	茂本　咲子
助　　教	坂川　有希

科目概要	子どもと家族について理解し、子どもの成長・発達及び健康レベルに応じた看護の実践を実践するための基礎的能力を修得する。
目標	１　病気や治療・入院が子どもと家族に及ぼす影響を踏まえ、子どもと家族を主体とした看護を実践できる。「DP：２・３・５・６」 ２　外来における小児看護の特徴を説明できる。「DP：２・３・５～７」 ３　保育施設での子どもの様子から乳幼児期の特徴と支援について説明できる。「DP：２・３・５～７」 ４　子どもに関わる看護専門職者として「子どもの権利」を守る基本的姿勢や倫理的態度がとれる。「DP：１・３・４・７～９」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2024年度小児看護学実習要項」を参照とする。 ２　実習期間 実習は、１クール２週間で、１～５クールに分かれて行う。 １クール：2024年５月７日(火)～５月17日(金) ２クール：2024年５月20日(月)～５月31日(金) ３クール：2024年６月10日(月)～６月21日(金) ４クール：2024年６月24日(月)～７月5日(金) ５クール：2024年７月8日(月)～７月19日(金) 【２週間の実習展開例】 ＜１週目＞１日目～４日目　病棟実習 ５日目　学内実習 ＜２週目＞１日目～２日目　外来実習 ３日目～４日目　保育施設実習 ５日目　学内実習（まとめ）	実習	１　実習前までに、提示された事前学習課題に取り組む。 ２　実習前までに、実習室N103の教室開放時間内に技術演習を行っておく。 ３　講義科目である小児看護学概論・小児看護学援助論の復習をする。 ４　一日の実習内容を振り返り、学習を整理する。 ５　実習終了後は、小児看護学実習での学びを整理し、自己評価を行う。 ６　実習前後で関連ある看護師国家試験の問題に取り組む。	全員
2	同　上	実習	同　上	全員
3	同　上	実習	同　上	全員
4	同　上	実習	同　上	全員
5	同　上	実習	同　上	全員
6	同　上	実習	同　上	全員
7	同　上	実習	同　上	全員
8	同　上	実習	同　上	全員

9	同　上	実習	同　上	全員
10	同　上	実習	同　上	全員
11	同　上	実習	同　上	全員
12	同　上	実習	同　上	全員
13	同　上	実習	同　上	全員
14	同　上	実習	同　上	全員
15	同　上	実習	同　上	全員
16	同　上	実習	同　上	全員
17	同　上	実習	同　上	全員
18	同　上	実習	同　上	全員
19	同　上	実習	同　上	全員
20	同　上	実習	同　上	全員
21	同　上	実習	同　上	全員
22	同　上	実習	同　上	全員
23	同　上	実習	同　上	全員
24	同　上	実習	同　上	全員
25	同　上	実習	同　上	全員
26	同　上	実習	同　上	全員
27	同　上	実習	同　上	全員
28	同　上	実習	同　上	全員
29	同　上	実習	同　上	全員
30	同　上	実習	同　上	全員
31	同　上	実習	同　上	全員
32	同　上	実習	同　上	全員
33	同　上	実習	同　上	全員
34	同　上	実習	同　上	全員
35	同　上	実習	同　上	全員
36	同　上	実習	同　上	全員
37	同　上	実習	同　上	全員
38	同　上	実習	同　上	全員
39	同　上	実習	同　上	全員
40	同　上	実習	同　上	全員

評価方法	各担当教員により評価を行ったうえで、最終評価は総合的に行う。 評価は、学生と各実習担当教員が実習の目標の到達度を可視化できる共通の評価表を用いて行う。 学生は、実習終了後、所定の評価用紙に自分の実習内容を振り返り、自己評価を行う。 学生と各実習担当教員で評価表を用いて、最終日に実習のフィードバックを行う。 全ての実習終了後、100点満点に換算したうえでＡ～Ｄの評価を行う。 Ａ＝80～100点、Ｂ＝70～79点、Ｃ＝60～69点、Ｄ＝60点未満とする。
教科書・参考書	教科書： 小児看護学概論・小児看護学援助論で使用した教科書、授業資料を参考とする。 １　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学概論　小児臨床看護総論　小児看護学１」、医学書院、第14版、定価3,190円（税込み） ２　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児臨床看護各論　小児看護学２」、医学書院、第14版、定価3,630円（税込み）

	参考書： １　筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護学」、第２版、照林社、定価3，630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「小児看護学概論」、「小児看護学援助論」の単位修得が履修の前提条件となる。 ２　小児感染症等の抗体価を確認し、必要な予防接種を含め感染予防に備えておくこと。 ３　止むを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 ４　単位修得について ⑴　実習記録が指定された期限内に提出され、原則として、５分の４以上の出席がある場合に評価の対象とする。 ⑵　遅刻・早退があった場合は、時間数に応じ総合評価からの減点を行う。 ⑶　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。
オフィスアワー	深谷　基裕　　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 茂本　咲子　　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室７ 坂川　有希　　木曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室
備考	［実務］ 小児専門病院、小児病棟、大学病院等において、看護師として子どもと家族の看護の実務経験がある教員が、子どもの成長・発達及び健康レベルに応じた小児看護の実践について指導する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	老年看護学援助論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Gerontological Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
講　　師	横山　剛志
助　　教	中尾　幸世
助　　教	河井　丈幸

科目概要	加齢による生活の変化及び特徴的にみられる健康課題をもつ老年期にある人に対して、生活の質の維持・向上をめざした援助を行うための知識、技術を学ぶ。本科目は生活を軸に授業を構成している。また、長い歴史をもち、今を生きている人であることを理解し、ありたい姿をとらえ、もてる力を活用したより具体的な援助が考えられるように一事例の生涯を追いながら授業を展開していく。
目標	１　健康課題をもつ老年期にある人の特徴が述べることができる。「DP：１・２・５」 ２　高齢者に特化した健康課題、生活行動を把握し、必要な看護について述べることができる。「DP：１～３・５」 ３　目標志向型思考を用いて健康課題を持つ高齢者と家族のための個別性を考えた看護計画を立案できる。「DP：１～５」 ４　生活の場に応じたサポートシステムの必要性を理解し、家族を含めた支援体制を整える方法を説明できる。「DP：１～５」 ５　老年期にある人へのケアに関わる多職種の協働と看護の役割を述べることができる。「DP：１・２・４・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/17（水）	1	オリエンテーション：事例の紹介、ワークブック、準備学修 加齢、疾患により生じる健康課題の特徴と看護：健康の特徴、心理・精神的、身体的徴候、老年症候群、特徴的な疾患、症候のアセスメント、薬物療法時の看護	講義	前：教①p73－83、226-282、321-326を読む。老年看護学概論第８回講義内容を復習する。 後：ワークブックの事例p4-6を読む。 前後各30分	荻野　朋子
2	2024/04/17（水）	2	高齢者の健康・生活アセスメント①：老年看護活動の特性、ICF、ヘルスアセスメントの基本、生活史、高齢者総合機能評価	講義	前：教①p86－94を読む。 後：ワークブックp4-6の事例の疾患についてまとめる。 前後各30分	荻野　朋子
3	2024/04/22（月）	1	高齢者の健康・生活アセスメント②：生活行動看護モデル、老年看護過程、事例検討の進め方	講義	前：教①p408-410、②pⅵ-ⅶを読む。 後：ワークブックp40の事例検討を読み、自己の学習計画を立案する。 前後各30分	荻野　朋子
4	2024/04/22（月）	2	高齢者に生じやすい健康課題、生活行動と看護④「コミュニケーション」「レクリエーション」：「コミュニケーション」のアセスメントと看護、視覚（白	講義	前：コミュニケーションに影響する感覚機能の加齢変化についてまとめる。	中尾　幸世

			内障）、聴覚（難聴）、言語障害（構音障害・失語）、対話		後：講義内容をもとに、「コミュニケーション」に関するワークブックp40の事例検討の情報の整理、アセスメントを記載する。 前後各30分	
5	2024/05/01 （水）	1	高齢者に生じやすい健康課題、生活行動と看護① 「活動・休息」：「睡眠・休息」のアセスメントと看護、生活リズム、睡眠の変化、睡眠の評価、生活リズムを整える看護	講義	前：教①p185-198を読み、睡眠の障害についてまとめる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	河井　丈幸
6	2024/05/01 （水）	2	高齢者に生じやすい健康課題、生活行動と看護② 「活動・休息」：「覚醒・活動」のアセスメントと看護、基本動作・応用動作、ADL/IADLの評価，基本動作・姿勢を支える看護、シーティング、転倒のアセスメントと予防、廃用症候群と予防、骨粗鬆症、骨折	講義	前：「移乗」のチェックリストをもとに、デモンストレーション動画を視聴する。 後：教①p122-141、ワークブックp16-17を読む。 前後各30分	河井　丈幸
7	2024/05/09 （木）	3	高齢者に生じやすい健康課題、生活行動と看護③：事例について「覚醒・活動」のアセスメント	講義 演習 GW	前：ワークブックp18の事前学習①の指示された内容を行う。 後：ワークブックp18-19の事前学習①②を行う。 前後各30分	河井　丈幸
8	2024/05/10 （金）	4	治療を必要とする高齢者の看護：高齢者の入院と退院、リハビリテーション、多職種協働・連携	講義	前：ワークブックp14の事例の状況及び必要に応じて事例紹介から情報を取りながら、p14　1）2）を記載する。 後：講義内容と教①ｐ334-338を読みリハビリテーションをうける高齢者の看護のポイントをまとめる。前後各30分	河井　丈幸
9	2024/05/13 （月）	3	演習「高齢者の生活援助技術①②　活動・休息」：事例をもとに活動と休息に関する看護援助の実施（老年看護過程の活用、自立支援、安楽、セルフケア、安全・事故防止）	演習 SIM	前：活動・休息の講義資料をもとにワークブックp18-19の事前学習①②を行う。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を進める。 前後各30分	河井　丈幸 横山　剛志
10	2024/05/13 （月）	4	演習「高齢者の生活援助技術①②　活動・休息」：事例をもとに活動と休息に関する看護援助の実施（老年看護過程の活用、自立支援、安楽、セルフケア、安全・事故防止）	演習 SIM	前：活動・休息の講義資料をもとにワークブックp18-19の事前学習①②を行う。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を進める。 前後各30分	河井　丈幸 横山　剛志
11	2024/05/15 （水）	1	高齢者に生じやすい健康課題、生活行動と看護⑤ 「排泄」：「排泄」のアセスメントと看護、排尿・排便障害、おむつ体験、セクシュアリティ	講義	前：排泄機能（泌尿器系・消化器系）の構造と機能の加齢変化について復習する。 ワークブックp20-21の事前学習を行う。 後：講義内容をまとめる。 ワークブックp22のおむつ体験を行う。 前後各30分	横山　剛志
12	2024/05/15 （水）	2	演習「高齢者の日常生活援助技術③　排泄」：事例について「排泄」のアセスメント、おむつ交換の技術	演習 GW SIM	前：排泄の講義資料をもとにワークブックp28の事前学習①を行う。「おむつ交換」のチェックリストをもとに、デモンストレーション動画を視聴し、ワークブックp24の事前学習を行う。 後：演習をもとにワークブックp28の事前学習①の追	横山　剛志 河井　丈幸

					加修正を行う。 前後各30分	
13	2024/05/22 （水）	1	演習「高齢者の日常生活援助技術④　排泄」：事例をもとに高齢者の排泄に関する看護援助の実施（尊厳を守る、感染予防、安楽、安全・事故防止）	演習 GW SIM	前：ワークブックp22のおむつ体験の事前学習を行う。ワークブックp29の事前学習②を行う。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を進める。 前後各30分	横山　剛志 河井　丈幸
14	2024/05/22 （水）	2	演習「高齢者の日常生活援助技術④　排泄」：事例をもとに高齢者の排泄に関する看護援助の実施（尊厳を守る、感染予防、安楽、安全・事故防止）	演習 GW SIM	前：ワークブックp22のおむつ体験の事前学習を行う。ワークブックp29の事前学習②を行う。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を進める。 前後各30分	横山　剛志 河井　丈幸
15	2024/05/27 （月）	3	高齢者に生じやすい健康課題・生活行動と看護⑥「身じたく」：「身じたく」のアセスメントと看護、褥瘡のリスクアセスメントと予防、口腔ケア、ポジショニング、スキンテア、高齢者の皮膚状態と疾病（疥癬）	講義	前：教①p172-185を読む。 後：「高齢者の安全・自立を支える入浴環境、入浴時の援助の要点」をまとめる。講義内容をもとに、「身じたく」に関するワークブックp40の事例検討の情報の整理、アセスメントを記載する。 前後各30分	荻野　朋子
16	2024/05/27 （月）	4	高齢者に生じやすい健康課題、生活行動と看護⑦「食事」：「食事」のアセスメントと看護、脱水・誤嚥・誤嚥性肺炎の予防、事例について「食事」のアセスメント	講義 GW	前：指示された動画を視聴し、疑問点や気が付いた点を記載する。 後：「誤嚥を予防するための食事援助のポイント」をまとめる。 前後各30分	中尾　幸世
17	2024/05/29 （水）	1	高齢者に生じやすい健康課題、生活行動と看護⑧：せん妄・うつ病・認知症のある高齢者への看護（病態、症状、評価、治療、対応の基本）	講義	前：「認知症の当事者の体験について、書籍やブログなどを通じて理解したこと」をまとめる。 後：「４大認知症の病態と症状との関連」をまとめる。 前後各30分	横山　剛志
18	2024/05/29 （水）	2	高齢者に生じやすい健康課題、生活行動と看護⑨：認知症のある高齢者への看護（認知症の人の理解、対応の基本、療法的なアプローチ、家族への援助、権利擁護）	講義	前：第17回の講義資料と講義内容を復習する。 後：「認知症のある高齢者の看護のポイント」をまとめる。 前後各30分	横山　剛志
19	2024/06/10 （月）	3	高齢者を介護する家族への支援：高齢者を介護する家族の特徴と支援、認知症の人を介護する家族への支援	講義	前：教①p373-382を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	河井　丈幸
20	2024/06/10 （月）	4	看護の場と各種サービス：高齢者を看護する場の状況と看護者の役割、人的・物理的環境調整の技術、介護保険制度、ケアマネジメント、社会資源の活用、地域包括ケアシステム	講義 GW	前：教①p360-373を読む。ワークブックp36のワークシートを行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	河井　丈幸
21	2024/06/12 （水）	1	演習「高齢者の日常生活援助技術⑤　食事」：事例をもとに、高齢者の食事に関する看護援助の実施（尊厳を守る、感染予防、安楽、安全・事故防止）	演習 GW SIM	前：食の講義資料をもとに、ワークブックp32-33の事前学習①②を行う。 後：演習をもとにワークブックp40事例検討を進める。 前後各30分	中尾　幸世 荻野　朋子
22	2024/06/12 （水）	2	演習「高齢者の日常生活援助技術⑤　食事」：事例をもとに、高齢者の食事に関する看護援助の実施（尊厳	演習 GW	前：食の講義資料をもとに、ワークブックp32-33の	中尾　幸世 荻野　朋子

			を守る、感染予防、安楽、安全・事故防止）	SIM	事前学習①②を行う。 後：演習をもとにワークブックp40事例検討を進める。 前後各30分	
23	2024/06/17 （月）	3	終末期の看護：高齢者にとっての終末期、身体機能低下への看護援助、苦痛緩和、家族への援助、在宅での看取りのための準備、悲嘆と受容、終末期におけるチーム医療、意思決定	講義	前：教①348-358を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	荻野　朋子
24	2024/06/17 （月）	4	事例検討① 老年看護過程 情報の整理・アセスメント	講義 演習 GW	前：これまでの授業内容をもとに、ワークブックp40の事例検討の情報の整理、アセスメントを記載する。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を行う。 前後各30分	荻野　朋子
25	2024/06/19 （水）	1	事例検討② 情報の整理・アセスメント	講義 演習 GW	前：これまでの授業内容をもとに、ワークブックp40の事例検討の情報の整理、アセスメントを記載する。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を行う。 前後各30分	荻野　朋子
26	2024/06/19 （水）	2	事例検討③ アセスメント	講義 演習 GW	前：第25回を踏まえワークブックp40の事例検討のアセスメント（追加・修正）まで行う。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を行う。 前後各30分	荻野　朋子
27	2024/06/26 （水）	1	事例検討④ 全体像・看護課題	講義 演習 GW	前：これまでの授業内容をもとに、ワークブックp40の事例検討の全体像・看護課題の抽出まで行う。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を行う。 前後各30分	横山　剛志
28	2024/06/26 （水）	2	事例検討⑤ 全体像・看護課題	講義 演習 GW	前：第27回を踏まえワークブックp40の事例検討の全体像・看護課題の抽出まで行う。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を行う。 前後各30分	横山　剛志
29	2024/06/28 （金）	1	事例検討⑥ 看護目標・看護計画立案、実施・評価	講義 演習 GW	前：これまでの授業内容をもとに、ワークブックp40の事例検討の看護目標・看護計画立案まで行う。 後：演習をもとにワークブックp40の事例検討を行う。 前後各30分	横山　剛志
30	2024/06/28 （金）	2	事例検討⑦ 事例検討のまとめ	講義 演習 GW	前：事例検討のすべてを見直す。 後：演習をもとに老年看護過程を復習する。 前後各30分	荻野　朋子 横山　剛志
31	2024/08/05 （月）	2	定期試験			

評価方法	定期試験70%、ワークシート・準備学修20%、事例検討10%

教科書・参考書	教科書： １　北川公子、他(2020)：系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」第９版、医学書院、定価2,970円（税込み） ２　山田律子、他(2020)：「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第４版、医学書院、定価4,070円（税込み） 参考書： １　川島みどり、他(2006)：「ローパー・ローガン・ティアニーによる生活行動看護モデルの展開」第１版、エルゼビア・ジャパン、定価6,264円（税込み） ２　川島みどり、他(2015)：「老年看護学」第３版、看護の科学社、定価4,104円（税込み） ３　大塚真理子、他（2018)：「カラー写真で学ぶ　高齢者の看護技術」　第２版　医歯薬出版株式会社、定価2,640円（税込み） ４　亀井智子、他(2016)：「根拠と事故防止からみた　老年看護技術」第２版、医学書院、定価4,320円（税込み） ５　奥宮暁子、他（2019）：「ウエルネスの視点にもとづく老年看護過程　生活機能に焦点をあてたアセスメント」第２版、医歯薬出版株式会社、定価2,530円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　「老年看護学概論」の単位を修得していること。 ２　講義初日に自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 ３　準備学修は関連する講義時間内(演習含む)に確認する。 ４　演習レポート(ワークシート)には教員からのコメントを記載する。 ５　出席は入室時と退室時にカードリーダに打刻することで確認する。 　２コマ連続の場合（講義・演習）は、１コマ目開始時、2コマ目終了時の合計２回、打刻する。 ６　単位取得について ⑴　出席３分の２以上を満たしている場合、成績評価を行う。 ⑵　不合格者には再試験を１回のみ行う。 ７　本科目の単位修得は「老年看護学実習Ⅱ」を履修する前提条件となる。 ８　フィードバックについて 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは、自由参加の解説講義を実施する(日程については最終回に通知する)。 ９　凡例 教①：教科書「系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第４版 GW：グループワーク SIM：シミュレーション
オフィスアワー	荻野　朋子　　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 横山　剛志　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 中尾　幸世　　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 河井　丈幸　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室
備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 ［実務］ 大学病院、高齢者施設、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Practicum:Gerontological Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
講　　師	横山　剛志
助　　教	中尾　幸世
助　　教	河井　丈幸

科目概要	自立あるいは支援を受けて地域で生活している老年期にある人の特徴と地域での生活を理解し、老年看護の役割を学ぶ。 介護予防事業（１日）、通所介護・通所リハビリテーション（１日）で実習する中で、地域で生活する老年期にある人と家族の生活について理解を深めるとともに、健康の維持・増進、生活支援における看護について考える。
目標	地域で生活する老年期にある人にとっての健康維持・増進、生活支援における看護について考える。「DP：１～３」 １　自立あるいは支援を受けて生活している老年期にある人の特徴を説明できる。 ２　介護予防事業、通所介護・通所リハビリテーション施設の機能と地域で生活する老年期にある人とその家族にとっての役割について説明できる。 ３　老年期にある人の地域での生活はどのような支援を活用して成り立っているか説明できる。

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 詳細は、別途配付する「2024年度老年看護学実習Ⅰ実習要項」を参照とする。 ２　実習期間 実習は５日間で行う。 2024年７月８日(月)～７月12日(金) 【５日間の実習展開】 １日目　学内実習（学内講義）、準備学習 ２日目～４日目　臨地実習（介護予防事業１日、通所介護または通所リハビリテーション１日） ５日目　学内実習（実習報告会・実習記録の整理・自己評価） 実習前に実施される実習ガイダンスに参加する。	実習	１　実習前までに、提示された事前学習課題に取り組む。 ２　実習前までに「老年看護学概論」「老年看護学援助論」の復習をする。 ３　実習後は、本実習の評価において明確になった自己の課題について、「老年看護学実習Ⅱ」に向けて自己学習する。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員

8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員

評価方法	１　実習記録・レポートが指定された期限内に提出され、５分の４以上の出席がある場合に評価の対象とする。 ２　実習要項に基づいて評価する。
教科書・参考書	教科書： 必要に応じて提示する。 参考書： 必要に応じて提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「老年看護学概論」の単位を修得していること。 ２　本科目の単位修得は「老年看護学実習Ⅱ」を履修する前提条件となる。 ３　実習ガイダンスに出席し、実習要項・配布資料を熟読して実習に臨むこと。 ４　複数の実習施設に分かれて実習を行うので、各自、実習施設･実習スケジュール等を確認のこと。 ５　追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ６　実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	荻野　朋子　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 横山　剛志　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 中尾　幸世　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 河井　丈幸　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室
備考	［実務］ 大学病院、高齢者施設、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学実習Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum:Gerontological Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 ライフサイクル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
講　　師	横山　剛志
助　　教	中尾　幸世
助　　教	河井　丈幸

科目概要	健康支援の必要な対象者を理解し、老年期の発達課題とその人のもてる力を活かした看護を考え実践する能力を養う。回復期リハビリテーション病院、介護老人保健施設、病院において、受けもち高齢者の援助を中心として看護実践する。
目標	１　加齢変化、健康課題をアセスメントし、対象者の特徴を理解し、必要な看護を記述できる。「DP：１～３・５」 ２　対象者の特徴をふまえ看護実践ができる。「DP：１・２・６・７」 ３　多職種との連携・協働を学び、老年看護の役割について説明できる。「DP：２」 ４　老年看護に対する自己の考えを述べることができる。「DP：３・５」 ５　専門職者として倫理的責務を考え、行動できる。「DP：４・９」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 詳細は、別途配付する「2024年度老年看護学実習Ⅱ実習要項」を参照とする。 ２　実習期間 実習は２週間行う。 2024年12月９日(月)～12月20日(金) 【２週間の実習展開】 ＜１週目＞１日目～３日目　臨地実習（病院・介護老人保健施設） ４日目　学内実習（全体像・看護課題の抽出） ５日目　臨地実習（病院・介護老人保健施設） ＜２週目＞１日目～４日目　臨地実習（病院・介護老人保健施設） ５日目　学内実習（実習まとめ・個人面談） 実習前に実施される実習ガイダンスに参加する。	実習	１　実習前までに、提示された事前学習課題に取り組む。 ２　実習前までに「老年看護学概論」、「老年看護学援助論」、「老年看護学実習Ⅰ」の復習をする。 ３　実習後は、本実習の評価から明らかになった基礎的な知識や看護実践能力の自己課題に取り組む。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員

7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員
21	同上	実習	同上	全員
22	同上	実習	同上	全員
23	同上	実習	同上	全員
24	同上	実習	同上	全員
25	同上	実習	同上	全員
26	同上	実習	同上	全員
27	同上	実習	同上	全員
28	同上	実習	同上	全員
29	同上	実習	同上	全員
30	同上	実習	同上	全員
31	同上	実習	同上	全員
32	同上	実習	同上	全員
33	同上	実習	同上	全員
34	同上	実習	同上	全員
35	同上	実習	同上	全員
36	同上	実習	同上	全員
37	同上	実習	同上	全員
38	同上	実習	同上	全員
39	同上	実習	同上	全員
40	同上	実習	同上	全員

評価方法	１　実習記録・レポートが指定された期限内に提出され、５分の４以上の出席がある場合に評価の対象とする。 ２　実習要項に基づいて評価する。
教科書・参考書	教科書： 必要に応じて提示する。 参考書： 必要に応じて提示する。

履修上の注意点 及び取扱い	１　「老年看護学概論」「老年看護学援助論」「老年看護学実習Ｉ」の単位を修得していること。 ２　実習ガイダンスに出席し、実習要項・配布資料を熟読して実習に臨むこと。 ３　複数の実習施設に分かれて実習を行うので、各自、実習施設･実習スケジュール等を確認のこと。 ４　追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ５　実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	荻野　朋子　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 横山　剛志　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 中尾　幸世　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 河井　丈幸　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室
備考	［実務］ 大学病院、高齢者施設、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて構成している。

講義名	精神看護学援助論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Psychiatric & Mental Health Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 広域看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 心光　世津子
助　　教	小久保　知由起
助　　教	松井　陽子
講　　師(非)	山﨑　仁美
講　　師(非)	益田　貴士
講　　師(非)	柴岡　三智

科目概要	精神看護実践の基盤となる治療的関係や看護の役割の理論・知識をもとに、精神障害をもつ人や家族に対する看護の展開方法を学ぶ。精神看護における対象理解や回復過程に対応した援助方法の演習を通して、精神看護の具体的な方法を理解する。また、精神保健医療福祉における地域包括ケアの方法や精神科以外での精神看護についての理解を深める。
目標	１　精神科における治療の方法や場の特徴について説明できる。「DP:１～５」 ２　精神疾患・障害をもつ人に対する看護過程を展開するためのアセスメントの視点、考え方について説明できる。「DP:１～５」 ３　精神疾患・障害をもつ人の治療や回復過程をふまえた看護アプローチを考えることができる。「DP:１～６」 ４　治療的関係やプロセスレコードを用いた関係のアセスメントについて説明できる。「DP:１～３・５」 ５　精神疾患・障害をもつ人の地域生活を支える制度や社会資源、方法について説明できる。「DP:１・２・４・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/10（水）	1	授業オリエンテーション 精神疾患と治療の理解①：精神疾患・精神障害のとらえ方、精神科における検査と診断	講義	前：概論第4回の授業資料，教[1]pp.74-79，162-164を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子 山﨑　仁美
2	2024/04/10（水）	2	精神疾患と治療の理解②：精神科における治療（身体療法、精神療法、薬物療法）と多職種協働	講義	前：教[1]pp.236-256，265-296を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	柴岡　三智
3	2024/04/11（木）	3	精神症状と生活：さまざまな精神症状の概要、症状を体験している人の理解	講義	前：教[1]pp.5-9，144-162を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度	心光　世津子

					にまとめる。 前後各120分	
4	2024/04/11 (木)	4	統合失調症をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp.165-182を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子
5	2024/04/12 (金)	2	気分障害（うつ病・双極性障害）をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp.182-191を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	松井　陽子
6	2024/04/18 (木)	3	神経症性障害、ストレス因関連障害等をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp.191-201, 215-216を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子
7	2024/04/18 (木)	4	発達障害をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp.211-215を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子 ゲストスピーカー
8	2024/04/24 (水)	1	パーソナリティ障害をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp.216-217を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子
9	2024/04/24 (水)	2	依存症をもつ人の理解と看護：当事者の体験、セルフヘルプグループの機能と役割	講義	前：教[1]pp.201-207, 教[2]pp.146-150を読む。 後：レポート課題に取り組む。 前後各30分	心光　世津子 ゲストスピーカー
10	2024/04/25 (木)	3	精神看護の実践に向けて：精神看護者の役割、ケアの前提・原則・方法、ケアの人間関係	講義	前：教[2]pp.2-27を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子
11	2024/04/25 (木)	4	患者ー看護者の治療的関係とコミュニケーション：患者ー看護者関係の発展段階、治療的コミュニケーション、関係のアセスメント、プロセスレコードの活用	講義	前：教[2]pp.28-53, 教[3]pp.38-47を読む。 後：生活上の会話の一場面を取り上げ、プロセスレコードを記載する。 前後各30分	心光　世津子
12	2024/05/02 (木)	3	治療の場の特徴：入院治療の目的と意味、入院形態、治療的環境、社会的入院、リハビリテーション	講義	前：教[2]pp.196-254を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	小久保　知由起
13	2024/05/02 (木)	4	回復を支える①：生活面の援助―精神症状の生活への影響、自己決定とセルフケアへの援助、SST、レクリエーション	講義	前：教[1]pp.291-296, 教[2]pp.90-107を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子
14	2024/05/09 (木)	4	回復を支える②：身体面への治療と援助―精神科治療と身体のケア、心身相関、身体合併症、症状精神病	講義	前：教[2]pp.312-348を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度	心光　世津子

					にまとめる。 前後各30分	
15	2024/05/16 （木）	4	回復を支える③：安全をまもる援助―リスクマネジメント、自殺予防、行動制限、緊急事態（災害含む）への対処	講義	前：教[1]pp.291-296，教[2]pp.90-107を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	小久保　知由起
16	2024/05/20 （月）	1	回復を支える④：ストレングスとリカバリー	講義	前：教[2]pp.70-113を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる 前後各30分	松井　陽子
17	2024/05/20 （月）	2	回復とはどういうことか：リカバリーとピアサポート	講義	前：教[1]pp.322-335と授業前に提示する課題に取り組む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子 ゲストスピーカー
18	2024/05/22 （水）	3	回復を支える⑤：地域生活を支える法・制度と社会資源	講義	前：概論第5回の授業資料，教[1]pp.335-370，教[2]pp.116-146を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子
19	2024/05/22 （水）	4	精神障害者の家族支援：システムとしての家族、家族支援とは、家族療法の考え方	講義	前：教[1]pp.116-130，256-265を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子
20	2024/05/23 （木）	4	回復を支える⑥：地域生活を支える制度・社会資源と支援の実際―障害者総合支援法、地域生活支援施設、就労支援、多職種連携	講義	前：教[2]pp.116-178を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	益田　貴士
21	2024/05/27 （月）	1	災害と精神看護：災害時の心理的回復プロセス、災害サイクルと看護、災害派遣精神医療チーム、支援者のメンタルヘルス	講義	前：教[2]pp.374-388を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	心光　世津子
22	2024/05/27 （月）	2	医療の場における精神看護活動：精神看護専門看護師の活動、リエゾン精神看護、医療の場と心の健康、看護職者のメンタルヘルス	講義	前：教[2]pp.350-372，pp.390-411を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	小久保　知由起
23	2024/05/30 （木）	4	事例を通して看護展開を学ぶ①：事例提示、第一印象と感情、患者の背景・環境の整理（グループワーク）	講義	前：これまでの授業資料を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
24	2024/06/13 （木）	4	事例を通して看護展開を学ぶ②：生活機能のアセスメント（講義と個人ワーク）	演習	前：これまでの授業資料を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
25	2024/06/20 （木）	3	事例を通して看護展開を学ぶ③：回復過程とストレングスをふまえた全体像の理解（グループワーク）	演習	前：これまでの授業資料，教[3]pp.54-61を読む。 後：授業時に提示した課題	小久保　知由起

					に取り組む。 前後各30分	松井　陽子 心光　世津子
26	2024/06/20 （木）	4	事例を通して看護展開を学ぶ④：統合アセスメント（講義と個人ワーク）	演習	前：これまでの授業資料，教[3]pp.62-69を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
27	2024/06/27 （木）	3	事例を通して看護展開を学ぶ⑤：援助の方向性（グループワーク）	演習	前：これまでの授業資料，教[3]pp.70-76，85-88を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
28	2024/06/27 （木）	4	事例を通して看護展開を学ぶ⑥：再構成法の活用、シナリオ・ロールプレイによる体験学習（ロールプレイ演習）	演習	前：教[2]pp.28-53，教[3]pp.38-47を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
29	2024/07/01 （月）	1	回復を支える⑤：レクリエーションの実際	演習	前：教[1]pp.250-252、事前提示資料を読む。 後：レポート課題に取り組む。 前後各30分	心光　世津子 小久保　知由起 松井　陽子
30	2024/07/04 （木）	4	精神科病院での看護の実際：実習病院の紹介	講義	前：教[1]；pp2-27，教[3]pp.17-22を読む。これまでの授業を振り返り、精神科病院での看護についての疑問を整理する。 後：教[2]pp.2-13，教[3]第2章収載の3事例以上を読む。精神看護学実習で学びたいことを300字程度でまとめる。 前後各30分	心光　世津子 小久保　知由起 松井　陽子 ゲストスピーカー
31	2024/08/06 （火）	2	定期試験			心光　世津子 小久保　知由起 松井　陽子

評価方法	定期試験（70%）、課題提出（30%） 評価が6割に満たない場合は再試験を1回課す
教科書・参考書	教科書： １　武井麻子編著：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[1]精神看護の基礎」、医学書院、第６版、（2021/2）、定価2,530円(税込み) ２　武井麻子編著：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[2]精神看護の展開」、医学書院、第６版、（2021/2）、定価2,530円(税込み) ３　野中浩幸・心光世津子・乾富士男編著：「必携！精神看護学実習ポケットブック」、精神看護出版、第２版、（2019/4）、定価2,200円(税込み) 参考書： １　落合慈之監修：「精神神経疾患ビジュアルブック」、学研メディカル秀潤社、(2015/9)、定価3,960円（税込み） このほか適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　教科書だけでなく、授業で紹介した図書を読むなどの自己学習を行う。 ⑵　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配付をしないこと。 ⑶　この科目に合格しないと「精神看護学実習」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席の確認は、出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）による。２コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計２回、打刻する。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ⑶　実習に直結する内容であるため、欠席は極力避けること。特に最終回は実習のオリエンテーションを含むため必ず出席すること。 ３　課題提出について ⑴　提出締切は厳守すること。やむを得ない事由で期限までの提出ができない場合には、必ず〆切前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 ⑵　ミニレポートやレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。 ⑶　剽窃、盗用については評価が0となることがある。

	３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　定期試験は100点満点で採点し、得点が60点以上を合格とする。合格しなかった場合には、再試験を１回行う。 ⑷　「課題提出」の評価が６割に満たない場合、定期試験でそれを補うだけの十分な得点を獲得し全体評価として６割に達する必要がある。全体評価として６割に満たない場合には、再試験を１回行う。 ４　試験やレポートに対するフィードバックについて ⑴　授業時に提出するミニレポート内容をふまえて授業時間内に解説やAIDLE-Kでの講評を行う。 ⑵　演習ではグループワークの状況、発表、課題に対して授業時間内に解説を行う。 ⑶　定期試験終了後、講評をAIDLE-Kに掲載する。 ５　凡例 教：教科書
オフィスアワー	心光　世津子　　金曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室２ 小久保　知由起　月曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N371研究室 松井　陽子　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N452研究室 他の講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	１　授業後に学習する内容（復習と課題）については授業前にも調べておくこと。 ２　授業前の自己学習をふまえ学習内容についての疑問をもって授業に臨むこと。 ３　ミニレポート、レポート、演習では、自分の言葉で考え表現することを重視している。 ［実務］ 精神科病棟等において、看護師としての実務経験のある教員が、精神障害をもつ人や家族に対する看護の展開方法、及び精神看護における対象理解や回復過程に対応した援助方法の演習を通して、精神看護の具体的な方法を教育する。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	在宅看護学援助論		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Home Healthcare Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 広域看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	白井　裕子
助　　教	伊藤　寿英

科目概要	「在宅看護学概論」で学習した内容を基盤にして、自宅や自宅に代わる生活の場で、その人なりの健康を主体的に生きる生活者と家族の健康と生活を理解し、ヘルスプロモーションと家族看護を基盤に対象のQOL向上を支える在宅看護方法を学習する。 地域で多職種協働で展開される在宅ケア活動の特徴を理解し、訪問看護師の役割を学習する。また、在宅ケア利用者と家族の自己実現を支える在宅ケアサービスのあり方や在宅ケアシステムの発展について考察する。
目標	１　在宅ケアが必要とされる社会状況を説明できる。「DP：1・2・5・7・8」 ２　在宅ケアを利用する生活者と家族の状況を理解し、説明できる。「DP：1～6・9」 ３　在宅看護の概念や必要な理論･方法を理解し、在宅看護の役割・機能を説明できる。「DP：1～7」 ４　在宅という場の特性を活かし契約に基づく看護実践の特徴を理解し説明できる。「DP：1～7・9」 ５　ウェルネス志向で強みを活かす在宅看護過程を理解し、看護過程の展開ができる。「DP：1～7・9」 ６　在宅ケアに関連する法制度と社会資源、看護連携や多職種協働を理解し、在宅ケアシステムにおける訪問看護の役割を説明できる。「DP：1～5・7～9」 ７　在宅看護管理、在宅看護教育と在宅看護研究の概要を知り、在宅看護課題を論じることができる。「DP：1～6・8・9」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	3	在宅における生活支援① 自立支援と継続支援	講義	前：教科書１.P33-47を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子
2	2024/09/24（火）	2	在宅における生活支援② 倫理的実践	講義	前：教科書１.P42-47を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子
3	2024/09/25（水）	2	在宅における生活支援③ 日常生活動作・行為へのケア	講義	前：教科書１.P252-26, 教科書2. P70-101 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	伊藤　寿英
4	2024/09/26（木）	3	在宅看護実践方法① 生活支援の理解	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子

5	2024/09/26 （木）	4	在宅看護実践方法② 　生活者へのケア	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
6	2024/09/27 （金）	3	在宅看護実践方法③ 　家族単位のケア	講義 DVD視聴	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
7	2024/09/27 （金）	4	在宅看護実践方法④ 　生活環境へのケア	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
8	2024/09/30 （月）	3	在宅看護演習①	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出①） 前後各30分	伊藤　寿英 佐々木　裕子 白井　裕子
9	2024/09/30 （月）	4	在宅看護演習②	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出①） 前後各30分	伊藤　寿英 佐々木　裕子 白井　裕子
10	2024/10/03 （木）	3	在宅ケアマネジメント　１） 　ケアマネジメントの実際	講義	前：講義の配布資料を読む。 後：講義内容を振り返り、ケアマネジメントの実際と課題についてまとめ、Ａ４（１枚）のレポートとして作成する。 前後各30分	佐々木　裕子 ゲストスピーカー
11	2024/10/03 （木）	4	在宅ケアマネジメント　２） 　在宅ケアシステム、多職種連携・協働、ケアマネジメント	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
12	2024/10/04 （金）	2	在宅における看護実践① 　精神障がいがある人と家族への支援 （ストレングス・アプローチ）	講義	前：教科書2. 228-231を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
13	2024/11/06 （水）	3	在宅における看護実践② 　難病を持つ人と家族への支援	講義	前：教科書1. P176-180, 教科書2. P220-223を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	伊藤　寿英
14	2024/11/06 （水）	4	在宅における看護実践③ 　人生の終焉を生きる人と家族への支援（ターミナルケア・エンドオブライフケア）	講義	前：教科書2. P216-219を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
15	2024/11/07 （木）	3	在宅ケアマネジメント　３） 　在宅ケアに関連する法制度	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
16	2024/11/07 （木）	4	在宅における医療ニーズの高い人と家族への看護１） 　社会状況、医療ニーズの高い人と家族の理解、ケアシステムの特徴	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
17	2024/11/08 （金）	3	在宅における看護実践④ 　認知症のある人と家族への支援	講義	前：教科書2. P183-192, 210-212を読む。 後：講義の要点を整理し、	伊藤　寿英

					AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	
18	2024/11/27 （水）	3	在宅における医療ニーズが高い人と家族への看護２） 　在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、気管切開・気管内吸引、経管栄養、医療ニーズの高い人と家族への在宅看護実践	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
19	2024/11/27 （水）	4	在宅でリハビリテーションを必要とする人と家族への看護 　社会状況、ニーズ、在宅で行うリハビリテーションの実際、ケアシステムと課題	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
20	2024/11/29 （金）	3	在宅看護演習　③ 　当事者に学ぶ在宅看護	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出④） 前後各30分	佐々木　裕子
21	2024/11/29 （金）	4	在宅看護演習　③ 　当事者に学ぶ在宅看護	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出④） 前後各30分	佐々木　裕子
22	2024/12/04 （水）	3	在宅でのライフサイクルに応じた看護１） 　小児訪問看護：社会状況、ニーズ、看護の特徴と実際、ケアシステムと課題	講義	前：教科書1. 61-63, 173-176, 180-182, 2. 232-236, 242-243を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子 全員
23	2024/12/04 （水）	4	在宅でのライフサイクルに応じた看護２） 　成人・高齢者訪問看護：社会状況、ニーズ、看護の特徴と実際、ケアシステムと課題	講義	前：教科書1. 61-63, 173-176, 185-191, 2. 224-228, 236-237を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
24	2024/12/06 （金）	3	在宅ケアの挑戦 　看護の可能性の拡大，新たな看護の挑戦 　まとめ	講義	前：講義資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
25	2025/01/06 （月）	3	在宅看護における管理① 　在宅看護における災害対策と安全管理	講義	前：教科書1. 234-249, 2. P188-199を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子 伊藤　寿英
26	2025/01/06 （月）	4	在宅看護演習② 　在宅看護過程の展開（情報整理とアセスメント）	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出②） 前後各30分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
27	2025/01/10 （金）	3	在宅看護演習② 　在宅看護過程の展開（計画立案）	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出②） 前後各30分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
28	2025/01/10 （金）	4	在宅看護演習② 　在宅看護過程の展開（評価）	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出②） 前後各30分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
29	2025/01/14 （火）	2	在宅看護における管理② 　訪問看護ステーションの管理と運営	講義	前：提示された事前課題に取り組む。	白井　裕子 ゲストスピー

					後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出③） 前後各30分	カー
30	2025/01/15 （水）	2	在宅看護の動向と展望 　訪問看護師とのディスカッション	講義	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出④） 前後各30分	白井　裕子 ゲストスピーカー
31	2025/02/10 （月）	3	定期試験			

評価方法	１　定期試験（70%）、レポート（30%）により評価する。レポートは教員からの講評を記載する。 ２　定期試験に不合格の場合は、再試験を１回行う。 　再試験に不合格の場合は、次年度に再履修する。
教科書・参考書	教科書： １　臺有桂、石田千絵、山下留理子(2022)：「地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」、第７版、メディカ出版、定価3,740円(税込み) ２　臺有桂、石田千絵、山下留理子(2022)：「地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術」、第２版、メディカ出版、定価3,080円(税込み) 参考書： １　L.N.Gottlieb、他著･吉本照子監修訳(2007)：「協働的パートナーシップによるケア」、エルゼピアジャパン、定価3,740円（税込み） ２　K.M.Stolte著･小西恵美子他訳(2008)：「健康増進のためのウェルネス看護診断」、南江堂、定価3,080円（税込み） ３　厚生労働統計協会編：「国民衛生の動向」定価2,750円（税込み）、「国民の福祉と介護の動向」定価2,199円（税込み）、ほか適宜提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　「在宅看護学概論」の単位修得ができていれば、本科目の履修が可能である。 ⑵　教科書だけでなく、紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 ⑶　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について 　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 ３　定期試験と単位認定について ⑴　出席３分の２以上に達している場合を、定期試験の受験資格とする。２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ⑵　定期試験とレポートで合格した場合に単位を認める。 ⑶　定期試験で不合格の場合は再試験を１回実施する。再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ４　フィードバックについて 　授業後の振り返りのフィードバックは、振り返りの疑問や質問等について、次回以降の講義前に全体で共有し、回答する。
オフィスアワー	佐々木　裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室 白井　裕子　　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階研究室② 伊藤　寿英　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟２階N251研究室
備考	毎回講義時に振り返りを書く。 毎回の講義に生活の場や看護実践をイメージしながら、積極的に参加すること。 準備学修にある「①」「②」は、テキストの「地域・在宅看護論①」「地域・在宅看護論②」を表している。 ［実務］ 地域・在宅ケアにおいて看護師等としての実務経験をもつ教員等が、対象者中心および対象者参加型の看護について、体験型の講義・演習を行う。看護の対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を下に教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	在宅看護学援助論		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Home Healthcare Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 広域看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	白井　裕子
助　　教	伊藤　寿英

科目概要	「在宅看護学概論」で学習した内容を基盤にして、自宅や自宅に代わる生活の場で、その人なりの健康を主体的に生きる生活者と家族の健康と生活を理解し、ヘルスプロモーションと家族看護を基盤に対象のQOL向上を支える在宅看護方法を学習する。 地域で多職種協働で展開される在宅ケア活動の特徴を理解し、訪問看護師の役割を学習する。また、在宅ケア利用者と家族の自己実現を支える在宅ケアサービスのあり方や在宅ケアシステムの発展について考察する。
目標	１　在宅ケアが必要とされる社会状況を説明できる。「DP：1・2・5・7・8」 ２　在宅ケアを利用する生活者と家族の状況を理解し、説明できる。「DP：1～6・9」 ３　在宅看護の概念や必要な理論･方法を理解し、在宅看護の役割・機能を説明できる。「DP：1～7」 ４　在宅という場の特性を活かし契約に基づく看護実践の特徴を理解し説明できる。「DP：1～7・9」 ５　ウェルネス志向で強みを活かす在宅看護過程を理解し、看護過程の展開ができる。「DP：1～7・9」 ６　在宅ケアに関連する法制度と社会資源、看護連携や多職種協働を理解し、在宅ケアシステムにおける訪問看護の役割を説明できる。「DP：1～5・7～9」 ７　在宅看護管理、在宅看護教育と在宅看護研究の概要を知り、在宅看護課題を論じることができる。「DP：1～6・8・9」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	3	在宅における生活支援① 自立支援と継続支援	講義	前：教科書１.P33-47を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子
2	2024/09/24（火）	2	在宅における生活支援② 倫理的実践	講義	前：教科書１.P42-47を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子
3	2024/09/25（水）	2	在宅における生活支援③ 日常生活動作・行為へのケア	講義	前：教科書１.P252-26, 教科書2. P70-101 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	伊藤　寿英
4	2024/09/26（木）	3	在宅看護実践方法① 生活支援の理解	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子

5	2024/09/26 （木）	4	在宅看護実践方法② 　生活者へのケア	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
6	2024/09/27 （金）	3	在宅看護実践方法③ 　家族単位のケア	講義 DVD視聴	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
7	2024/09/27 （金）	4	在宅看護実践方法④ 　生活環境へのケア	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
8	2024/10/02 （水）	3	在宅看護演習①	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出①） 前後各30分	伊藤　寿英 佐々木　裕子 白井　裕子
9	2024/10/02 （水）	4	在宅看護演習②	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出①） 前後各30分	伊藤　寿英 佐々木　裕子 白井　裕子
10	2024/10/03 （木）	3	在宅ケアマネジメント　１） 　ケアマネジメントの実際	講義	前：講義の配布資料を読む。 後：講義内容を振り返り、ケアマネジメントの実際と課題についてまとめ、Ａ４（１枚）のレポートとして作成する。 前後各30分	佐々木　裕子 ゲストスピーカー
11	2024/10/03 （木）	4	在宅ケアマネジメント　２） 　在宅ケアシステム、多職種連携・協働、ケアマネジメント	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
12	2024/10/04 （金）	2	在宅における看護実践① 　精神障がいがある人と家族への支援 （ストレングス・アプローチ）	講義	前：教科書2. 228-231を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
13	2024/11/06 （水）	3	在宅における看護実践② 　難病を持つ人と家族への支援	講義	前：教科書1. P176-180, 教科書2. P220-223を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	伊藤　寿英
14	2024/11/06 （水）	4	在宅における看護実践③ 　人生の終焉を生きる人と家族への支援（ターミナルケア・エンドオブライフケア）	講義	前：教科書2. P216-219を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
15	2024/11/07 （木）	3	在宅ケアマネジメント　３） 　在宅ケアに関連する法制度	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
16	2024/11/07 （木）	4	在宅における医療ニーズの高い人と家族への看護１） 　社会状況、医療ニーズの高い人と家族の理解、ケアシステムの特徴	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
17	2024/11/08 （金）	3	在宅における看護実践④ 　認知症のある人と家族への支援	講義	前：教科書2. P183-192, 210-212を読む。 後：講義の要点を整理し、	伊藤　寿英

					AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	
18	2024/11/27 （水）	3	在宅における医療ニーズが高い人と家族への看護２） 　在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、気管切開・気管内吸引、経管栄養、医療ニーズの高い人と家族への在宅看護実践	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
19	2024/11/27 （水）	4	在宅でリハビリテーションを必要とする人と家族への看護 　社会状況、ニーズ、在宅で行うリハビリテーションの実際、ケアシステムと課題	講義	前：事前配布資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
20	2024/11/29 （金）	3	在宅看護演習　③ 　当事者に学ぶ在宅看護	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出④） 前後各30分	佐々木　裕子
21	2024/11/29 （金）	4	在宅看護演習　③ 　当事者に学ぶ在宅看護	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出④） 前後各30分	佐々木　裕子
22	2024/12/04 （水）	3	在宅でのライフサイクルに応じた看護１） 　小児訪問看護：社会状況、ニーズ、看護の特徴と実際、ケアシステムと課題	講義	前：教科書1. 61-63, 173-176, 180-182, 2. 232-236, 242-243を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子 全員
23	2024/12/04 （水）	4	在宅でのライフサイクルに応じた看護２） 　成人・高齢者訪問看護：社会状況、ニーズ、看護の特徴と実際、ケアシステムと課題	講義	前：教科書1. 61-63, 173-176, 185-191, 2. 224-228, 236-237を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
24	2024/12/06 （金）	3	在宅ケアの挑戦 　看護の可能性の拡大，新たな看護の挑戦 　まとめ	講義	前：講義資料を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
25	2025/01/06 （月）	3	在宅看護における管理① 　在宅看護における災害対策と安全管理	講義	前：教科書1. 234-249, 2. P188-199を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子 伊藤　寿英
26	2025/01/06 （月）	4	在宅看護演習② 　在宅看護過程の展開（情報整理とアセスメント）	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出②） 前後各30分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
27	2025/01/10 （金）	3	在宅看護演習② 　在宅看護過程の展開（計画立案）	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出②） 前後各30分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
28	2025/01/10 （金）	4	在宅看護演習② 　在宅看護過程の展開（評価）	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出②） 前後各30分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
29	2025/01/14 （火）	2	在宅看護における管理② 　訪問看護ステーションの管理と運営	講義	前：提示された事前課題に取り組む。	白井　裕子 ゲストスピー

					後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出③） 前後各30分	カー
30	2025/01/15 （水）	2	在宅看護の動向と展望 　訪問看護師とのディスカッション	講義	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む。 （レポート提出④） 前後各30分	白井　裕子 ゲストスピーカー
31	2025/02/10 （月）	3	定期試験			

評価方法	１　定期試験（70%）、レポート（30%）により評価する。レポートは教員からの講評を記載する。 ２　定期試験に不合格の場合は、再試験を１回行う。 　再試験に不合格の場合は、次年度に再履修する。
教科書・参考書	教科書： １　臺有桂、石田千絵、山下留理子(2022)：「地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」、第７版、メディカ出版、定価3,740円(税込み) ２　臺有桂、石田千絵、山下留理子(2022)：「地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術」、第２版、メディカ出版、定価3,080円(税込み) 参考書： １　L.N.Gottlieb、他著･吉本照子監修訳(2007)：「協働的パートナーシップによるケア」、エルゼピアジャパン、定価3,740円（税込み） ２　K.M.Stolte著･小西恵美子他訳(2008)：「健康増進のためのウェルネス看護診断」、南江堂、定価3,080円（税込み） ３　厚生労働統計協会編：「国民衛生の動向」定価2,750円（税込み）、「国民の福祉と介護の動向」定価2,199円（税込み）、ほか適宜提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　「在宅看護学概論」の単位修得ができていれば、本科目の履修が可能である。 ⑵　教科書だけでなく、紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 ⑶　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について 　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 ３　定期試験と単位認定について ⑴　出席３分の２以上に達している場合を、定期試験の受験資格とする。２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ⑵　定期試験とレポートで合格した場合に単位を認める。 ⑶　定期試験で不合格の場合は再試験を１回実施する。再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ４　フィードバックについて 　授業後の振り返りのフィードバックは、振り返りの疑問や質問等について、次回以降の講義前に全体で共有し、回答する。
オフィスアワー	佐々木　裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室 白井　裕子　　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階研究室② 伊藤　寿英　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟２階N251研究室
備考	毎回講義時に振り返りを書く。 毎回の講義に生活の場や看護実践をイメージしながら、積極的に参加すること。 準備学修にある「①」「②」は、テキストの「地域・在宅看護論①」「地域・在宅看護論②」を表している。 ［実務］ 地域・在宅ケアにおいて看護師等としての実務経験をもつ教員等が、対象者中心および対象者参加型の看護について、体験型の講義・演習を行う。看護の対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を下に教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	在宅看護学実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum:Home Healthcare Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 広域看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 白井　裕子
教　　授	坂本　真理子
准 教 授	佐々木　裕子
助　　教	伊藤　寿英

科目概要	在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族(以下、訪問看護利用者家族）を理解し、在宅看護を行う基本的能力を養う。学生３～４名で１グループを編成し、在宅看護機関において各担当スタッフの訪問看護に同行し実習する。
目標	１　訪問看護利用者家族の多様な生活のありようを理解する。［DP：１～２・４～７・９］ ２　訪問看護利用者家族の生活を支え、QOL向上を目指す看護を学ぶ。［DP：１～９］ ３　訪問看護機関の特徴を理解する。［DP：１～３・５・７・９］ ４　地域における在宅ケアシステムの実際と課題について学ぶ。［DP：１～９］ ５　看護倫理をふまえた在宅看護を実践する。[DP：１～７・９］

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2024年度在宅看護学実習要項」を参照とする。 ２　実習期間 全体４クール展開。1クールは2週間の実習。 １クール：2024年5月7日(火)～5月17日(金) ２クール：2024年5月20日(月)～5月31日(金) ３クール：2024年6月10日(月)～6月21日(金) ４クール：2024年6月24日(月)～7月5日(金) ３　２週間の実習展開 1日目～4日目 訪問看護ステーションでの実習 5日目 学内実習（全体討議） 6日目～9日目 訪問看護ステーションでの実習 10日目 学内実習（全体討議、学びの整理）	実習	１　「2024年度在宅看護学実習要項」3頁で示した事前学習課題に取り組む。 ２　翌日訪問する利用者家族の情報を整理し、疾患や看護について事前学習する。 ３　実習目標で示した学ぶべき事柄について、事前学習をする。 ４　一日の実習内容を振り返り、学習を整理する。	全員
2	同　　上	実習	同　　上	全員
3	同　　上	実習	同　　上	全員
4	同　　上	実習	同　　上	全員
5	同　　上	実習	同　　上	全員
6	同　　上	実習	同　　上	全員
7	同　　上	実習	同　　上	全員
8	同　　上	実習	同　　上	全員

9	同　上	実習	同　上	全員
10	同　上	実習	同　上	全員
11	同　上	実習	同　上	全員
12	同　上	実習	同　上	全員
13	同　上	実習	同　上	全員
14	同　上	実習	同　上	全員
15	同　上	実習	同　上	全員
16	同　上	実習	同　上	全員
17	同　上	実習	同　上	全員
18	同　上	実習	同　上	全員
19	同　上	実習	同　上	全員
20	同　上	実習	同　上	全員
21	同　上	実習	同　上	全員
22	同　上	実習	同　上	全員
23	同　上	実習	同　上	全員
24	同　上	実習	同　上	全員
25	同　上	実習	同　上	全員
26	同　上	実習	同　上	全員
27	同　上	実習	同　上	全員
28	同　上	実習	同　上	全員
29	同　上	実習	同　上	全員
30	同　上	実習	同　上	全員
31	同　上	実習	同　上	全員
32	同　上	実習	同　上	全員
33	同　上	実習	同　上	全員
34	同　上	実習	同　上	全員
35	同　上	実習	同　上	全員
36	同　上	実習	同　上	全員
37	同　上	実習	同　上	全員
38	同　上	実習	同　上	全員
39	同　上	実習	同　上	全員
40	同　上	実習	同　上	全員

評価方法	実習要項に示した評価基準に基づき、以下の内容を評価する。 １　実習目標の達成状況 90% ２　実習への取り組み態度 10%
教科書・参考書	教科書： 「在宅看護学概論」及び「在宅看護学援助論」で用いた教科書を活用する。 参考書： 必要に応じて提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「在宅看護学概論」「在宅看護学援助論」及び「家族看護論」の単位修得ができている場合に履修できる。 ２　既定の５分の４以上の出席があり、実習記録物が期限内に提出された場合に評価の対象となる。 ３　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。原則として本実習を行った実習機関で実施する。再実習は１回のみ実施する。

	４　実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	坂本　真理子　水曜日　16：20～18：40　Ｃ棟５階教授室１ 佐々木　裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟3階N352研究室 白井　裕子　　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階個人研究室② 伊藤　寿英　　月曜日　15：45～17：15 看護学部棟3階N373研究室
備考	［実務］ 看護師として在宅看護の実務経験のある教員が、在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族の理解、在宅看護援助を行う基本的な能力について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	地域看護学援助論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Community Health Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 広域看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
教　　授	坂本　真理子
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師	二村　純子

科目概要	地域看護学概論で学習した、ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア、エンパワメントの理論を基盤として、ライフサイクルに沿った地域看護実践、特定のヘルス・ニーズをもった住民と協働する地域看護実践方法について学ぶ。
目標	１　ライフサイクルに沿った地域看護実践の特徴を理解し、説明することができる。「ＤＰ：１～５」 ２　地域看護実践で用いる支援方法である健康相談、家庭訪問、グループ支援、健康教育・健康学習支援、コミュニティ支援(地区組織活動)について理解し、その特徴を説明することができる。「ＤＰ：１～５」 ３　特定のヘルス・ニーズ(精神障がい、難病、ホームレス、感染症等)をもつ地域住民との地域看護実践の特徴を理解し、説明することができる。「ＤＰ：１～５」 ４　住民の健康を脅かす健康危機管理について説明することができる。「ＤＰ：１～５」 ５　地域看護活動の現状と課題を考えることができる。「ＤＰ：１～５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/11（木）	1	地域診断の概念と地域保健活動に用いる理論 （コミュニティのアセスメント、地域看護過程、コミュニティ・アズ・パートナーモデル）	講義	前：教p103-123を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ
2	2024/04/11（木）	2	地域看護過程 （健康指標、人口構成、疾病構造、保健医療福祉に関する基本的統計、地域の歴史・文化・生活・環境に関する情報、 社会資源情報、アセスメント、ヘルス・ニーズ、地域看護計画、評価）	講義	前：教p103-123を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	淺野　いずみ
3	2024/04/18（木）	1	（演習）地域看護過程１（既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集）①	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
4	2024/04/18（木）	2	（演習）地域看護過程１（既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集）②	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
5	2024/04/25（木）	1	（演習）地域看護過程１（既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集のまとめ）	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子

6	2024/04/25 （木）	2	（演習）地域看護過程１（地域で活躍されている方々の経験や声を聴く）	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
7	2024/05/02 （木）	1	（演習）地域看護過程１（地区踏査）①	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
8	2024/05/02 （木）	2	（演習）地域看護過程１（地区踏査）②	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
9	2024/05/09 （木）	1	（演習）地域看護過程２（既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の分析のまとめ）	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
10	2024/05/09 （木）	2	（演習）地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズの明確化）①	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
11	2024/05/16 （木）	1	（演習）地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズの明確化）②	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
12	2024/05/16 （木）	2	（演習）地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズと根拠の発表の準備）	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
13	2024/05/23 （木）	1	（演習）地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズと根拠の発表）①	演習	前：発表に必要な準備を行う。 後：発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行う。 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
14	2024/05/23 （木）	2	（演習）地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズと根拠の発表）②	演習	前：発表に必要な準備を行う。 後：発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行う。 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
15	2024/05/30 （木）	1	（演習）地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズと根拠の発表の評価）	演習	前：発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行い、GWに備える。 後：教p103-123と演習内容を関連させて学習する。 前後各30分	若杉　里実 淺野　いずみ 二村　純子
16	2024/08/07 （水）	1	講義オリエンテーション 保健医療行政のしくみ （地方自治体の組織構造、行政の役割、保健医療行政の根拠となる法律と制度、衛生行政のしくみ、予算、保健師の分散配置と統括保健師）	講義	前：教p51-60、p136-151を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	坂本　真理子
17	2024/08/07 （水）	2	地域保健行政と保健師活動 （法律、社会の動向や特性、都道府県保健所の機能と保健師活動、市町村の機能と保健師活動）	講義	前：教p29-43を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	淺野　いずみ
18	2024/08/07 （水）	3	ライフサイクルに応じた地域看護実践－親子地域看護１ （法的根拠、国の施策、妊娠期・乳幼児期の健康と健康診査、健康相談、家庭訪問を通しての子育て支援、自立支援）	講義 VTR視聴	前：教p234-259を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	若杉　里実
19	2024/08/07 （水）	4	ライフサイクルに応じた地域看護実践－親子地域看護２	講義	前：教p234-259、p453-467を読む	若杉　里実

			（コミュニティの健康課題とコミュニティ支援、社会資源、児童虐待予防、学齢期・思春期の健康、学校保健））		後：課題のレポート1000字作成 前後各30分	
20	2024/08/08（木）	1	ライフサイクルに応じた地域看護実践－成人地域看護 （法的根拠、国の施策、成人期の健康課題、生活習慣病予防、健康づくり、特定健康診査、特定保健指導、地域職域連携）	講義	前：教p259-285、p468-491を読む 後：課題のレポート1000字作成 前後各30分	二村　純子
21	2024/08/08（木）	2	ライフサイクルに応じた地域看護実践－高齢者地域看護１ （法的根拠、国の施策、高齢者の健康課題、フレイル、ロコモティブシンドローム、介護保険制度、地域包括支援センター、介護予防事業、医療制度）	講義 VTR視聴	前：教p286-309を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	二村　純子
22	2024/08/08（木）	3	ライフサイクルに応じた地域看護実践－高齢者地域看護２ （コミュニティの健康課題とコミュニティ支援、地域包括ケアシステム）	講義 VTR視聴	前：教p286-309を読む 後：課題のレポート1000字作成 前後各30分	二村　純子
23	2024/08/08（木）	4	健康危機管理 （災害、テロ、食中毒などの健康危機、地域の健康危機管理、減災、防災）	講義	前：教p423-450を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	坂本　真理子
24	2024/08/09（金）	1	地域組織活動とグループ支援 （組織・グループのアセスメントと支援、組織・グループの成長過程、ネットワークづくりとシステム化、リーダーシップとメンバーシップ、健康なまちづくり、地域組織化の評価）	講義	前：教p152-164、209-218を読む 復習：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	坂本　真理子
25	2024/08/09（金）	2	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する地域看護実践１ －感染症（法的根拠、国の施策、結核、HIV・AIDS、感染症予防の原則、感染症の対策）	講義 VTR視聴	前：教p369-410を読む 後：課題のレポート1000字作成 前後各30分	淺野　いずみ
26	2024/08/09（金）	3	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する地域看護実践２ －マイノリティを生きる人々 （法的根拠、健康格差と健康、健康決定要因、多様な文化的背景、生活困窮者や在留外国人等マイノリティの状況にある人々との活動、生活保護）	講義	前：教p93-95、p257-259を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	坂本　真理子 特別講師
27	2024/08/09（金）	4	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する地域看護実践３ －身体・知的障がい・難病とともに生きる人々 （法的根拠、国の施策、ノーマライゼーション、ソーシャルサポート、自立支援、継続看護、患者会、家族会、地域連携支援システム）	講義	前：教p310-346を読む 後：課題のレポート1000字作成 前後各30分	淺野　いずみ
28	2024/08/13（火）	1	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する地域看護実践４－精神障がいとともに生きる人々 （法的根拠、国の施策、ノーマライゼーション、ソーシャルサポート、自立支援、貧困、継続看護、患者会、家族会、地域連携支援システム）	講義	前：教p347-368を読む 後：課題のレポート1000字作成 前後各30分	淺野　いずみ
29	2024/08/13（火）	2	実践家との対話（市町村における地域看護の実際） （保健師としての使命、役割と責務）	講義	前後：市町村の機能と保健師活動に関する教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	特別講師
30	2024/08/13（火）	3	公衆衛生看護管理とまとめ （業務管理、情報管理、予算管理、人事管理、組織運営・管理、人材育成、継続教育、自己開発と研究）	講義	前：教p509-526を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	淺野　いずみ 二村　純子 全員

評価方法	ライフサイクルに応じた地域看護実践の課題レポート（90%）、授業への参加態度10%を総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書：１　荒賀直子・後閑容子・鳩野洋子・神庭純子編(2022)：「公衆衛生看護学.jp」、第５版データ更新版、インターメディカル出版、定価4,840円（税込み） ２　厚生労働統計協会編(2021)：「国民衛生の動向(2021/2022)」、厚生労働統計協会出版、定価2,695円（税込

	み） 参考書：授業・演習中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席管理システム（演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により、出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回、打刻する。 ２　30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 ３　遅刻または早退２回で欠席１回とみなす。 ４　講義・演習終了後、毎回、振り返りを記入し提出する。 ５　講義・演習での録音および写真撮影は禁ずる。 ６　単位取得について ⑴　出席は３分の２以上とする。 ⑵　レポート課題を提出すること。 ７　レポートには教員からの講評を記載する。
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 坂本　真理子　水曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室１ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 二村　純子　　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階　N452研究室
備考	［実務］ 行政機関において、保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	災害看護学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 広域看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	黒澤　昌洋
講　　師	橋本　茜
講　　師	二村　純子
講　　師(兼　大学病院・看護部)	髙柳　佳弘
講　　師(非)	栗田　暢之
講　　師(非)	浦野　愛
講　　師(非)	日髙　橘子

科目概要	災害時の医療・看護活動の基盤となる知識を学ぶ。災害時の被災者の状況を理解し、災害のフェイズに応じた多職種協働の支援活動の方法と内容について学修する。災害支援活動と多様な減災への活動の実際の学びを通して、災害時および減災対策における看護専門職者が果たす役割と課題について考察する。授業は実際の映像を使用したり、グループ討議を取り入れて行う。
目標	１　災害および災害時対応に関する概念や意味・目的について説明できる。「DP:2～5」 ２　災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP:2・3・5・7」 ３　災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。「DP:2～5」 ４　災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP:2～7」 ５　災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP:2～7」 ６　災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP:2・3・5・7・8」 ７　災害想定シミュレーションゲームを用いて、実際の災害時状況をイメージし、看護職としてどのように減災に取り組むか、討議することができる。「DP:1・3・7・8・9」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/09/09 (月)	1	講義ガイダンス、災害看護学の概要 災害総論 １）災害の定義と分類 ２）現在の災害、被災、被災者のニーズと支援 ３）災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習：昨今の災害による被災と被災者の実態について書籍やwebsiteで調べておく。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	栗田　暢之 佐々木　裕子
2	2024/09/09 (月)	2	災害看護の実際①　緊急時支援 １）災害看護の定義と目的 ２）緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際（トリアージを含む） ３）DMATの活動と訓練	講義	予習：災害看護で興味ある内容について、書籍・論文・websiteで調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	髙柳　佳弘 二村　純子

3	2024/09/09 （月）	3	災害看護の実際②　亜急性期支援 １）スフィアスタンダード、PHC、PFA ２）災害時要配慮者支援 ３）避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 ４）災害関連死・生活不活発の予防	講義	予習：昨今の災害時の避難所・災害関連死について興味をもった内容について、書籍・論文・websiteで調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	佐々木　裕子 黒澤　昌洋
4	2024/09/09 （月）	4	災害看護の実際③　復旧・復興支援 １）災害後の復興支援の実際 ２）仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 ３）派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 ４）支援者の心のケア ５）減災対策への実際と課題	講義	予習：昨今の災害後の復興支援容について、書籍・論文・websiteで調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	日髙　橘子
5	2024/09/10 （火）	1	被災者体験の理解 １）当事者の被災体験 ２）ディスカッション	講義、ディスカッション	予習：災害当事者の体験として関心をもった内容について、書籍・論文・websiteで調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	黒澤　昌洋 橋本　茜 ゲストスピーカー
6	2024/09/10 （火）	2	専門職・住民による減災活動の実際 １）減災とは ２）住民と協働する減災活動の実際 ３）災害時要配慮者への減災活動 ４）専門職と協働する減災活動の実際と課題	講義	予習：自分の居住地域等の災害対策をwebsiteなどで調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	浦野　愛
7	2024/09/10 （火）	3	多文化共生の視点による災害支援 １）多文化防災とは ２）多文化防災・男女共同参画社会の視点による活動	講義	予習：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念について、書籍・論文・websiteで調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	佐々木　裕子 二村　純子 ゲストスピーカー
8	2024/09/10 （火）	4	災害想定シミュレーション訓練 １）クロスロード、DIG、HUGの要素を活かしたシミュレーション ２）看護職者としてできる活動・課題	グループワーク	予習：「災害想定シミュレーション」について、書籍・論文・websiteで調べる。 復習：グループディスカッション内容で用いた資料を読み返す。 前後120分	佐々木　裕子 黒澤　昌洋 二村　純子 橋本　茜 ゲストスピーカー

評価方法	１　１日１枚の講義の振り返りレポート(A4)により評価する（50%×２日）。テーマは講義時に説明する。 ２　レポート内容が合格点に満たない場合は、再レポート提出を１回行う。 　再レポートが不合格の場合は、次年度に再履修する。
教科書・参考書	教科書：指定しない。 参考書・参考資料：学習を支援するWebサイトを紹介する場合がある. １　酒井明子、長田恵子、三澤寿美（2022）：Nursing・グラフィカ看護の等々と実践③災害看護、メディカ出版、定価3,080円（税込み） ２　小原真理子（2012）：災害看護一心得ておきたい基本知識　南山堂、定価3,080円(税込み) ３　酒井明子、 菊池志津子編集（2017）：災害看護(改訂第3版)：看護の専門知識を統合して実践につなげる(看護学テキストNiCE）、南江堂、定価2,750円（税込） ４　浦田喜久子（2019）：看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学 第4版（系統看護学講座 統合分野)、医学書院、定価2,640円(税込み) ５　日本集団災害医学会編（2015）：DMAT標準テキスト、へるす出版、定価5,720円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 ⑵　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について 　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 ３　定期試験と単位認定について ⑴　出席３分の２以上に達している場合を、定期試験の受験資格とする。２/３以上の出席がない場合はレポートを提出することができず、単位を取得することができない。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。

	４　フィードバックについて 　　授業後の振り返りは各講義後にAIDLE-Kに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-Kにて共有する
オフィスアワー	佐々木　裕子　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室 黒澤　昌洋　　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階個人研究室③ 二村　純子　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟４階N452研究室 橋本　茜　　月曜日　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 非常勤等講師　　講義終了時
備考	［実務］ 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	公衆衛生看護学実習		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
単位数	5		
（英文名）	Practicum:Public Health Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 広域看護		
必修・選択＜組＞	保健師課程…必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
准 教 授	浅野　いずみ
講　　師	二村　純子

科目概要	地域で生活する個人・家族・集団や職域及び学校の対象となる人々の健康課題に応える、公衆衛生看護活動を理解し、看護専門職者としての判断に基づいた看護実践能力を養う。行政、産業または学校において、学生２～５名のグループで実習する。愛知県保健所、名古屋市保健センター、一宮市保健所、市町村、地域包括支援センター、事業所、学校の各実習施設において行われる保健事業を実習する。
目標	１　保健所、市町村や事業所、学校の機能と役割を説明できる。「ＤＰ：１・２」 ２　対象となる地域・集団の特徴を理解し、健康課題をアセスメントできる。「ＤＰ：１・２・３・５」 ３　保健活動計画策定のプロセスを理解し、個人・家族・集団に対する公衆衛生看護活動の展開方法を、PDCAサイクルに基づき考え、述べることができる。「ＤＰ：１～７」 ４　対象となる人々と協働し、集団・組織を育成支援していくための公衆衛生看護活動について考え、述べることができる。「ＤＰ：１～５・７」 ５　保健・医療・福祉行政システムと関係機関・職種との連携・協働について理解できる。「ＤＰ：１～５・７」 ６　地域や事業所、学校の健康危機管理について理解できる。「ＤＰ：１・２・５」 ７　公衆衛生看護における看護倫理について学び、実践できる。「ＤＰ：１・２・４・７～９」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 　詳細は、別途配布する「令和６年度公衆衛生看護学実習ガイダンス資料」を参照とする。 ２　実習期間：令和６年７月１日（月）～７月12日（金）と10月15日(火)～11月１日(金)の５単位の実習である。 ３　実習体制： (1)学生は２～５名のグループに分かれて実習する。 (2)愛知県保健所、名古屋市保健センター、一宮市保健所、市町村、事業所、地域包括支援センター、学校で、地区踏査を含め５単位の実習をする。 (3)各実習施設において行われる保健事業を実習する。 ４　中間カンファレンス 　同じ実習施設メンバー、実習指導者、実習担当教員で、前半の実習の学びを共有し、後半の実習に向けての課題を明確にする。 ５　実習のまとめ 　実習目標に沿って同じ実習施設メンバーで学びを話し合い、住民や他職種・他機関との関わりの中で、看護専門職に求められる役割、保健師の特徴的な支援方法、保健師が大切にしていることを明らかにする。	実習	１　事前学習課題 　実習ガイダンスで提示した事前学習課題に取り組む。 ２　教科書および２学年次の地域看護学概論、健康教育論および３学年次の地域看護学援助論、保健指導論等の講義資料の復習をする。 ３　実習と連動させて保健師国家試験問題に取り組む。 ４　時間制限はしない。	全員
2	同　　上	実習	同　　上	全員
3	同　　上	実習	同　　上	全員

4	同　上	実習	同　上	全員
5	同　上	実習	同　上	全員
6	同　上	実習	同　上	全員
7	同　上	実習	同　上	全員
8	同　上	実習	同　上	全員
9	同　上	実習	同　上	全員
10	同　上	実習	同　上	全員
11	同　上	実習	同　上	全員
12	同　上	実習	同　上	全員
13	同　上	実習	同　上	全員
14	同　上	実習	同　上	全員
15	同　上	実習	同　上	全員
16	同　上	実習	同　上	全員
17	同　上	実習	同　上	全員
18	同　上	実習	同　上	全員
19	同　上	実習	同　上	全員
20	同　上	実習	同　上	全員
21	同　上	実習	同　上	全員
22	同　上	実習	同　上	全員
23	同　上	実習	同　上	全員
24	同　上	実習	同　上	全員
25	同　上	実習	同　上	全員
26	同　上	実習	同　上	全員
27	同　上	実習	同　上	全員
28	同　上	実習	同　上	全員
29	同　上	実習	同　上	全員
30	同　上	実習	同　上	全員
31	同　上	実習	同　上	全員
32	同　上	実習	同　上	全員
33	同　上	実習	同　上	全員
34	同　上	実習	同　上	全員
35	同　上	実習	同　上	全員
36	同　上	実習	同　上	全員
37	同　上	実習	同　上	全員
38	同　上	実習	同　上	全員
39	同　上	実習	同　上	全員
40	同　上	実習	同　上	全員
41	同　上	実習	同　上	全員
42	同　上	実習	同　上	全員

43	同　　上	実習	同　　上	全員
44	実習前半の学びの振り返り	発表（実習施設での発表）	同　　上	全員
45	各実習施設での実習	実習	同　　上	全員
46	同　　上	実習	同　　上	全員
47	同　　上	実習	同　　上	全員
48	同　　上	実習	同　　上	全員
49	同　　上	実習	同　　上	全員
50	同　　上	実習	同　　上	全員
51	同　　上	実習	同　　上	全員
52	同　　上	実習	同　　上	全員
53	同　　上	実習	同　　上	全員
54	同　　上	実習	同　　上	全員
55	同　　上	実習	同　　上	全員
56	同　　上	実習	同　　上	全員
57	同　　上	実習	同　　上	全員
58	同　　上	実習	同　　上	全員
59	同　　上	実習	同　　上	全員
60	同　　上	実習	同　　上	全員
61	同　　上	実習	同　　上	全員
62	同　　上	実習	同　　上	全員
63	同　　上	実習	同　　上	全員
64	同　　上	実習	同　　上	全員
65	同　　上	実習	同　　上	全員
66	同　　上	実習	同　　上	全員
67	同　　上	実習	同　　上	全員
68	同　　上	実習	同　　上	全員
69	同　　上	実習	同　　上	全員
70	同　　上	実習	同　　上	全員
71	同　　上	実習	同　　上	全員
72	同　　上	実習	同　　上	全員
73	同　　上	実習	同　　上	全員
74	同　　上	実習	同　　上	全員
75	同　　上	実習	同　　上	全員
76	同　　上	実習	同　　上	全員
77	同　　上	実習	同　　上	全員
78	同　　上	実習	同　　上	全員
79	同　　上	実習	同　　上	全員
80	同　　上	実習	同　　上	全員

81	同　　上	実習	同　　上	全員
82	同　　上	実習	同　　上	全員
83	同　　上	実習	同　　上	全員
84	同　　上	実習	同　　上	全員
85	同　　上	実習	同　　上	全員
86	同　　上	実習	同　　上	全員
87	同　　上	実習	同　　上	全員
88	同　　上	実習	同　　上	全員
89	同　　上	実習	同　　上	全員
90	同　　上	実習	同　　上	全員
91	同　　上	実習	同　　上	全員
92	同　　上	実習	同　　上	全員
93	同　　上	実習	同　　上	全員
94	同　　上	実習	同　　上	全員
95	同　　上	実習	同　　上	全員
96	同　　上	実習	同　　上	全員
97	実習全体のまとめ	GW	同　　上	全員
98	同　　上	GW	同　　上	全員
99	同　　上	発表	同　　上	全員
100	同　　上	発表	同　　上	全員

評価方法	実習目標に準じた評価基準に則り、実習記録、レポートの内容、実習への取り組みについて総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： １　荒賀直子・後閑容子・鳩野洋子・神庭純子編(2022)：「公衆衛生看護学.jp」、第５版データ更新版、インターメディカル出版、定価4,840円(税込み) ２　厚生労働統計協会編(2023)：「国民衛生の動向(2023/2024)」、厚生労働統計協会出版、定価2,695円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修条件として保健師課程選択の学生であること。 ２　評価を受けるには、５分の４以上の出席日数が必要である。 ３　実習に際しては、実習要項、ガイダンスでの説明を遵守し、取り組む。 ４　実習記録には、教員からの講評を記載する。 ５　追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ６　凡例 GW：グループワーク 発表：プレゼンテーション
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 二村　純子　　金曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階　N452研究室
備考	毎回、実習の体験内容からの学びを整理し、実習記録を提出すること。 翌日の実習体験内容について、準備学修を行うこと（時間制限はしない）。 ［実務］ 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実習指導者との協働のもと実際の看護活動の見学体験を通じた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	看護管理論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Nursing Administration		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	青山　恵美
准 教 授	山本　恵美子
講　　師(兼　大学病院・看護部)	小林　千尋
講　　師(兼　大学病院・看護部)	井上　里恵

科目概要	近年の看護を取り巻く社会背景および制度、看護管理の概念に関する理解をもとに、安全で質の高い医療と看護を提供するためのマネジメントについて理解を深める。看護サービスを提供するためには、看護職同士の協働、他職種との連携、対象者、及びその家族の協力とともに、対象者を取り巻く資源を活用することが必要となる。これらの理解のもと、組織のマネジメントには、人的資源、物的資源、財的資源・情報の有効な活用が求められることを学び、能動的に看護管理に関わる姿勢を養う。また、看護専門職としての自己研鑽の意義を理解し、生涯学習を目指した自身の将来設計について理解を深める。
目標	１　看護を取り巻く社会背景および制度、看護管理の概念に関する理解をもとに、看護職の定義や法・制度について説明できる。「DP:1～3」 ２　質の高い看護を提供するために、組織・チーム・個人の視点から、組織マネージメントが理解できる。「DP:1～3・7」 ３　看護業務の実践のために必要なマネジメントについて説明できる。「DP:1～3・5・7」 ４　看護専門職としての成長過程、自己研鑽の意義を理解し、生涯学習を目指した自身の将来設計を考えることができる。「DP:1～3・9」 ５　看護専門職として安全で質の高い医療を提供するために多職種との連携を通したマネジメントを考えることができる。「DP:1～3・7」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/04/09(火)	1	オリエンテーション 看護とマネジメント 看護を取巻く諸制度	講義	前：教科書１；p.2～14、166～193を読む(120分)。 後：講義内容を振り返り、まとめる(120分)。	山中　真
2	2024/04/09(火)	2	看護ケアのマネジメント① 1)看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2)患者の権利の尊重 3)安全管理	講義	前：教科書１；p.16～41を読む。(120分)。 後：講義内容を振り返り、まとめる(120分)。	山中　真
3	2024/04/10(水)	1	看護ケアのマネジメント② 1)チーム医療 2)看護業務の実践	講義	前：教科書１；p.41～61を読む(120分)。 後：講義内容を振り返り、まとめる(120分)。	坂田　久美子
4	2024/04/10(水)	2	看護サービスのマネジメント 1)看護サービスのマネジメント	講義	前：教科書１；p.78～95を読む(120分)。	坂田　久美子

			2)組織目的達成のマネジメント 3)看護サービス提供のしくみづくり		後：講義内容を振り返り、まとめる(120分)。	
5	2024/04/11 (木)	1	マネジメントに必要な知識と技術① 1)マネジメントとは 2)組織とマネジメント 3)リーダーシップとマネジメント	講義	前：教科書１；p.138～149を読む(120分)。 後：講義内容を振り返り、まとめる(120分)。	山本　恵美子
6	2024/04/11 (木)	2	マネジメントに必要な知識と技術② 1)組織の調整 2)組織におけるコミュニケーション	講義	前：教科書１；p.150～163を読む(120分)。 後：講義内容を振り返り、まとめる(120分)。	山本　恵美子
7	2024/04/16 (火)	1	病院における看護管理の実際	講義	前：教科書１および第1～6回の講義をもとに理解を深めて臨む(120分)。 後：講義内容を振り返り、復習をしておく(120分)。	井上　里恵
8	2024/04/16 (火)	2	病院における感染管理の実際	講義	前：事前配付資料を読み、病院で問題となる感染とその対策について理解しておく(120分)。 後：講義内容を振り返り、復習をしておく(120分)。	青山　恵美
9	2024/04/17 (水)	1	病院における医療安全とリスクマネジメントの実際	講義	前：事前配付資料を読みリスクマネジメントについて理解しておく(120分)。 後：講義内容を振り返り、復習をしておく(120分)。	小林　千尋
10	2024/04/17 (水)	2	講義：看護サービスの特徴と看護の質保障	講義	前：教科書１；p.110～136までを読む。(120分) 後：講義内容を振り返りまとめる（120分）	青山　恵美
11	2024/04/18 (木)	1	演習：医療安全とリスクマネジメント GW：危険予知トレーニング（KYT)の実施	講義 ＧＷ	前：事前配付資料を読みKYTの実施方法を学習する。（120分） 後：GWの内容を振り返り、危険予知の感性を高めるために実践する内容をまとめる（120分）	青山　恵美 山中　真 山本　恵美子 坂田　久美子
12	2024/04/18 (木)	2	演習：医療安全とリスクマネジメント GW：危険予知トレーニング（KYT)の実施	講義 ＧＷ	前：事前配付資料を読みKYTの実施方法を学習する。（120分） 後：GWの内容を振り返り、危険予知の感性を高めるために実践する内容をまとめる（120分）	青山　恵美 山中　真 山本　恵美子 坂田　久美子
13	2024/04/24 (水)	2	看護職のキャリアマネジメント	講義	前：教科書１；p.64～75、96～110を読む(120分)。 後：講義内容を振り返り、まとめる(120分)。	山中　真
14	2024/04/25 (木)	3	医療安全管理体制と医療環境の形成 GW:医薬品・医療機器の取り扱いと事故予防に向けた環境作り	演習 ＧＷ	前：事前配付資料を読み、安全管理体制や医療環境の形成について理解しておく(120分)。 後：課題レポートをまとめる(120分)。	山中　真 青山　恵美 山本　恵美子 坂田　久美子 看護連携教員
15	2024/04/25 (木)	4	医療安全管理体制と医療環境の形成 GW:医薬品・医療機器の取り扱いと事故予防に向けた環境作り	演習 ＧＷ	前：事前配付資料を読み、安全管理体制や医療環境の形成について理解しておく(120分)。 後：課題レポートをまとめる(120分)。	山中　真 青山　恵美 山本　恵美子 坂田　久美子 看護連携教員
16	2024/05/02 (木)	3	定期試験			

評価方法	定期試験(70%)、課題レポート、出席状況、参加姿勢(30%)を総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： １　上泉和子、小山秀夫、筧淳夫、鄭佳紅:「系統看護学講座 統合分野　看護の統合と実践① 看護管理」、医学書院、第11版(2024/1)、定価2,750円(税込み) 参考書： １　兵藤好美、細川京子：「医療安全に活かすKYT」メヂカルフレンド社、(2012/6)、定価2,860円(税込み) ２　吉田千文：「看護の統合と実践　看護管理」、ナーシンググラフィカ、（2023/1）定価2,968円（税込み） ３　原玲子：「学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門」：日本看護協会出版会、(2019/1)、定価3,024円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。 ２　遅刻・早退・欠席は減点をする。よって、試験の結果のみで合否が決定するものではないことを認識する。 ３　出席状況は、システムにより確認をする。 ４　再試験は１回のみとする。科目責任者の判断で特別な事情がある場合は追試験を行う。 ５　凡例 　GW：グループワーク
オフィスアワー	山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 山中　真　　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 青山　恵美　　木曜日　16：20～17：50　基礎科学棟３階N375研究室 兼担講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	［実務］ 医療機関等にて実務経験のある教員が、看護業務の実践のために必要なマネジメント、看護管理の実際、および医療安全について教育する。 ＊本講義における演習では、最新の医療事故傾向から知見を取り入れて講義構成している。

講義名	総合看護実習		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	3		
（英文名）	Practicum:Comprehensive Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
	◎ 看護学部教員
教　　授	坂本　真理子
教　　授	若杉　里実
教　　授	茂本　咲子
教　　授	山中　真
教　　授	谷口　千枝
教　　授	心光　世津子
臨床教授	坂田　久美子
教　　授(兼　医学部)	早稲田　勝久
教　　授(兼　医学部)	神谷　英紀
教　　授(兼　医学部)	宮田　靖志
教　　授(兼　医学部)	伴　信太郎
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	佐々木　裕子
准 教 授	白井　裕子
准 教 授	黒澤　昌洋
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	森　莉那
准 教 授	長崎　由紀子
准 教 授	淺野　いずみ
准 教 授	青山　恵美
准 教 授	荻野　朋子
准 教 授	山本　恵美子
准 教 授	林　さえ子
講　　師	佐藤　ゆかり
講　　師	橋本　茜
講　　師	二村　純子
講　　師	横山　剛志
講　　師	林　文子

講　　師	上坂　真弓
講　　師(兼　医学部)	河合　聖子
講　　師(兼　医学部)	森下　啓明
講　　師(兼　医学部)	船木　淳
講　　師(兼　大学病院・看護部)	上野　沙織
助　　教	志水　己幸
助　　教	中尾　幸世
助　　教	板津　良
助　　教	伊藤　真規
助　　教	小久保　知由起
助　　教	森本　直樹
助　　教	河井　丈幸
助　　教	松井　陽子
助　　教	伊藤　寿英
助　　教	坂川　有希
助　　教	中村　純江
客員教授	築山　郁人
講　　師(非)	川原　千香子

科目概要	看護の対象を統合的に捉え、多職種との信頼関係に基づいた連携・協働をすることで、総合的な看護実践能力を養う。さらに、看護専門職者としての責務と役割を自覚し、看護の発展に貢献できるよう、看護に対する考えを探求する。
目標	１　看護専門職者としての責務と役割を自覚し、対象者の普遍的ニーズに応答した看護の発展に貢献できるよう、看護に対する考えを探求する。「DP：１～３・５・８・９」 ⑴　これまでの既習の知識・技術及び実習体験を振り返り、自己の看護観を記述することができる。 ⑵　看護専門職者として、今後の課題を記述することができる。 ２　看護場面に応じた適切な状況判断による、看護実践ができる。「DP：１・６」 ３　保健医療福祉チームの一員として信頼関係に基づき連携・協働した看護実践ができる。「DP：１・６・７・９」 ⑴　看護チームの一員として、連携・協働した看護実践ができる。 ⑵　多職種と連携・協働した看護実践ができる。 ４　倫理的思考に基づいて、対象者の状況に応じた看護実践ができる。「DP：１・４」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 教員及び臨地実習指導者の指導のもとに、下記の要領で実習を行う。 １　実習期間：2024年９月12日(木)～10月４日(金) ２　実習場所：愛知医科大学病院 ３　実習時間：原則として８時30分～15時30分 病棟オリエンテーション	オリエンテーション 病棟オリエンテーション	予：地域包括ケアシステムと多職種連携・協働の必要性について振り返る。 復：毎日の実習に必要な内容を準備して実習に臨む。	全員
2	臨地実習 ９月12日～10月１日の期間、対象者を受けもち実習する。 シャドウィング（病棟師長、リーダーナース）を行う。 ９月26日～10月１日のうち、退院調整カンファレンスのシミュレーション実習0.5日（学内実習）を行う。	臨地実習	予：リーダーシップや看護管理について振り返る。毎日の実習に必要な内容を準備して実習に臨む。 復：１日の実習を振返り、指定した実習記録用紙を用いて、受けもち対象者に関連した情報、看護実践等について整理し記述する。シャドウィ	全員

			ングした際は、リーダーシップや看護管理の実際についてまとめる。	
3	同　上	同上	同　上	全員
4	同　上	同上	同　上	全員
5	同　上	同上	同　上	全員
6	同　上	同上	同　上	全員
7	同　上	同上	同　上	全員
8	同　上	同上	同　上	全員
9	同　上	同上	同　上	全員
10	同　上	同上	同　上	全員
11	同　上	同上	同　上	全員
12	同　上	同上	同　上	全員
13	同　上	同上	同　上	全員
14	同　上	同上	同　上	全員
15	同　上	同上	同　上	全員
16	同　上	同上	同　上	全員
17	同　上	同上	同　上	全員
18	同　上	同上	同　上	全員
19	同　上	同上	同　上	全員
20	同　上	同上	同　上	全員
21	同　上	同上	同　上	全員
22	同　上	同上	同　上	全員
23	同　上	同上	同　上	全員
24	同　上	同上	同　上	全員
25	同　上	同上	同　上	全員
26	同　上	同上	同　上	全員
27	同　上	同上	同　上	全員
28	同　上	同上	同　上	全員
29	同　上	同上	同　上	全員
30	同　上	同上	同　上	全員
31	同　上	同上	同　上	全員
32	同　上	同上	同　上	全員
33	同　上	同上	同　上	全員
34	同　上	同上	同　上	全員
35	同　上	同上	同　上	全員
36	同　上	同上	同　上	全員
37	同　上	同上	同　上	全員
38	同　上	同上	同　上	全員
39	同　上	同上	同　上	全員
40	同　上	同上	同　上	全員

41	同　　上	同上	同　　上	全員
42	同　　上	同上	同　　上	全員
43	同　　上	同上	同　　上	全員
44	同　　上	同上	同　　上	全員
45	同　　上	同上	同　　上	全員
46	同　　上	同上	同　　上	全員
47	同　　上	同上	同　　上	全員
48	同　　上	同上	同　　上	全員
49	同　　上	同上	同　　上	全員
50	同　　上	同上	同　　上	全員
51	同　　上	同上	同　　上	全員
52	同　　上	同上	同　　上	全員
53	多職種連携教育	学内実習	予：多職種連携とは何か、多職種連携の必要性や医療の場での実践について、現在までに学習した内容を振り返る。 復：多職種連携教育での学びを振り返る。	早稲田　勝久 神谷　英紀 宮田　靖志 伴　信太郎 築山　郁人 川原　千香子 船木　淳 河合　聖子 森下　啓明 上野　沙織 山中　真 篠田　かおる 山本　恵美子 谷口　千枝 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓
54	同　　上	同上	同　　上	早稲田　勝久 神谷　英紀 宮田　靖志 伴　信太郎 築山　郁人 川原　千香子 船木　淳 河合　聖子 森下　啓明 上野　沙織 山中　真 篠田　かおる 山本　恵美子 谷口　千枝 青山　恵美 黒澤　昌洋 上坂　真弓
55	実習のまとめ	同上	予：これまでの臨地実習での学びを確認する。 復：総合看護実習での学びを振り返り、実習病棟担当教員の指導のもと、実習目標１に基づきレポートを作成する。各時間の制限はしない。	全員
56	同　　上	同上	同　　上	全員
57	同　　上	同上	同　　上	全員
58	同　　上	同上	同　　上	全員
59	同　　上	同上	同　　上	全員

60	同　　上	同上	同　　上	全員

評価方法	実習目標の達成状況、実習記録、カンファレンス参加度、実習への取り組み(85%)、シミュレーション演習(10%)、多職種連携教育(5%)を、ルーブリック評価表を用いて評価する。
教科書・参考書	教科書： 臨床講義に関連する資料は、当日配付する。 参考書： 実習に関連する参考書等は、担当教員の指示による。
履修上の注意点 及び取扱い	１　第Ⅱ段階まで全ての実習の単位を修得していることを、履修条件とする。 ２　単位認定には５分の４以上出席する。 ３　追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ４　フィードバックの方法 　実習中は、自己学習状況や看護実践状況について、実習目標達成のために、個別またはカンファレンス等でのフィードバック、及び実習記録へのコメント記載をもって行う。 　最終評価は、ルーブリック評価表を用いて評価し、担当教員から学生へフィードバックを行う。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	［実務］ 担当教員全員が看護師又は保健師としての実務経験をもち、大学病院等の現場において、対象者の健康レベルに応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づく基礎的能力、汎用能力、実践能力、医療職者としての倫理について総合的に指導する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	看護総合		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Comprehensive Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 泉　雅之
教　　授	谷口　千枝
准 教 授	黒澤　昌洋
准 教 授	森　莉那
准 教 授	荻野　朋子
准 教 授	林　さえ子
講　　師	佐藤　ゆかり
講　　師	橋本　茜
講　　師	横山　剛志
講　　師	上坂　真弓
助　　教	中尾　幸世
助　　教	伊藤　真規
助　　教	小久保　知由起
助　　教	森本　直樹
助　　教	河井　丈幸
助　　教	丸谷　紗穂
助　　教	中村　純江

科目概要	看護実践能力に関わる学修到達状況を確認し、卒業時までに強化すべき課題を明確にして、学生各自が主体的に学修を深める。また、演習の取り組みを通して専門関連科目の知識の確実性を含めた学修到達状況を把握し、学生自身が自らの能力向上に取り組む力を高めるとともに、卒業前の看護実践能力の確認と定着を図る。
目標	１　基本的な看護技術の修得状況を自身で確認できる。「DP:1～6」 ２　実施する看護技術の手順、留意事項、安全確認など技術全体の構造を捉えて実施できる。「DP:1～6」 ３　実施した看護技術について適切に評価し、評価に基づいて修正できる。「DP:1～6」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/11（水）	1	オリエンテーション ・多重課題をもつ対象者への看護技術 1)輸液療法中の対象者への寝衣交換（全介助）	講義 演習 GW	前後：1-3学年までのテキスト、特に基礎看護学の授業資料等を見直し復習する。必要な技術練習を実施	全員

					する。 前後120分	
2	2024/09/11 (水)	2	同上	講義 演習 GW	同上	全員
3	2024/09/11 (水)	3	2)トランスファーの技術 ・片麻痺のある対象者のベッド→車いす ・車いす→ベッド ・褥瘡予防のポジショニング	講義 演習 GW	前後：1～3学年までのテキスト、特に基礎看護学、老年看護学の授業資料・動画教材等を見直し復習する。 必要な技術練習を実施する。 前後120分	全員
4	2024/09/11 (水)	4	同上	講義 演習 GW	同上	全員
5	2024/12/23 (月)	1	それぞれの看護技術について確認し、グループメンバーでチェックする	GW	前：技術における自身の課題を明確にしておく。 後：グループメンバーによるフィードバックを参考にして、技術練習を実施する。 前後120分	全員
6	2024/12/23 (月)	2	それぞれの看護技術について確認し、グループメンバーでチェックする	GW	前：試験に向けて技術練習を行う。 後：実技試験のフィードバックを参考にして、技術練習を実施する。 前後120分	全員
7	2024/12/23 (月)	3	実技試験	演習	前：試験に向けて技術練習を行う。 後：実技試験のフィードバックを参考にして、技術練習を実施する。 前後120分	全員
8	2024/12/23 (月)	4	振り返り/まとめ 卒業時の技術到達度の確認(調査)	講義 GW	前：実施した技術について振り返り、自身の課題を明確にしておく。 後：それぞれの多重課題における技術を確認しておく。 前後120分	全員

評価方法	各実技のナーシングスキルのチェックリスト(一部追加あり)に基づいて評価する。 各実技の合格は定期試験の規定に準ずる。 不合格の場合は１回に限り再試験を実施する。
教科書・参考書	教科書： １学年次から４学年次までに使用した授業資料及び教科書。 参考書： 学習支援システム　ナーシングスキル
履修上の注意点 及び取扱い	１　本科目は、2025年3月に卒業見込みの者を対象とする。 ２　本科目については、前・後学期ガイダンスにおいてオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。 ３　定期試験については実技試験を定期試験の規定に準じて取扱う。 ４　準備学習は基本前後120分であるが、本科目の性質上、特に制限はしない。主体的に練習を繰り返して欲しい。 ５　実技のフィードバックは、実施するその都度、その場で直接行う。技術チェック時は、評価表を用いて達成状況をフィードバックする。 ６　凡例 GW：グループワーク ７　上記に示した２項目の看護技術については、項目を変更する場合がある。
オフィスアワー	泉　雅之　月曜日　17：00～18：30　Ｃ棟７階教授室７ 谷口　千枝　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 黒澤　昌洋　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室③ 荻野　朋子　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 佐藤　ゆかり　月曜日　16：30～18：00　基礎科学棟４階N453研究室 橋本　茜　月曜日　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 森　莉那　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N254研究室

	横山　剛志　　水曜日　　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 林　さえ子　　月曜日　　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 上坂　真弓　　月曜日　　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 中尾　幸世　　水曜日　　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 伊藤　真規　　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 小久保　知由起　月曜日　　16：30～18：00　基礎科学棟３階N371研究室 森本　直樹　　月曜日　　16：30～18：00　基礎科学棟３階N369研究室 河井　丈幸　　水曜日　　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室 丸谷　紗穂　　水曜日　　16：00～17：30　基礎科学棟３階N367研究室 中村　純江　　月曜日　　16：30～18：00　基礎科学棟３階N370研究室
備考	［実務］ 大学病院等の医療現場において、看護師としての実務経験のある教員が、看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的な看護技術と実践力を確認し、総合的に教育する。 本科目は最新の看護技術に関する知見に基づき、プログラムが構成されている。

講義名	卒業研究Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	4		
（英文名）	Bachelor's Thesis Research Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	４学年次		

担当教員

職種	氏名
	◎ 看護学部教員
教　　授	坂本　真理子
教　　授	若杉　里実
教　　授	茂本　咲子
教　　授	山中　真
教　　授	谷口　千枝
教　　授	心光　世津子
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	佐々木　裕子
准 教 授	白井　裕子
准 教 授	黒澤　昌洋
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	森　莉那
准 教 授	長崎　由紀子
准 教 授	淺野　いずみ
准 教 授	青山　恵美
准 教 授	荻野　朋子
准 教 授	山本　弘江
准 教 授	深谷　基裕
准 教 授	山本　恵美子
准 教 授	林　さえ子
講　　師	佐藤　ゆかり
講　　師	橋本　茜
講　　師	二村　純子
講　　師	横山　剛志
講　　師	上坂　真弓

科目概要	看護専門職者として自己研鑽を続ける基本的な能力や看護への探究心を養う。本科目では、生涯にわたり学修する姿勢や看護の専門性を追求し、発展させていくことを学ぶ。

目標	１　卒業研究Ｉでの学修成果や研究の必要性や意義をふまえ、看護・保健分野において解決すべき問題や現象、疑問事項などの自身の研究テーマを明らかにすることができる。「DP:１～３・５・８」 ２　指導やディスカッションをふまえて、研究テーマから研究目的の明確化と研究方法の検討を行い、目的に合致する研究計画を立案できる。「DP：１～５・７・８」 ３　指導を受けながら研究計画に基づいてデータ収集および分析ができる。「DP:１～９」 ４　研究によって得られた結果に基づき論理的な考察を行い、論文にまとめることができる。「DP：１～５・８・９」 ５　研究テーマを見出し研究、論文作成へとつなげる一連の過程において、自ら疑問や意見を発信し助言等を活用して主体的に取り組むことができる。「DP:１～３・７」 ６　研究成果には適用可能範囲や限界があることを理解し、一連の研究プロセスにより得られた学修成果から今後の看護実践や研究上の課題を述べることができる。「DP:８・９」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション	講義	前：看護研究方法論、卒業研究Ｉの授業内容の復習 後：自己の研究課題の検討
2	研究テーマの検討・文献検索・研究倫理の理解	発表・討議	前：自己の研究課題に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に研究課題の検討
3	同　上	同　上	同　上
4	同　上	同　上	同　上
5	同　上	同　上	同　上
6	同　上	同　上	同　上
7	同　上	同　上	同　上
8	同　上	同　上	同　上
9	同　上	同　上	同　上
10	研究目的の明確化	発表・討議	前：自己の研究課題に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に研究目的の検討
11	同　上	同　上	同　上
12	同　上	同　上	同　上
13	同　上	同　上	同　上
14	研究方法および倫理的配慮の検討	発表・討議	前：自己の研究課題や研究方法に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に研究方法の検討
15	同　上	同　上	同　上
16	同　上	同　上	同　上
17	同　上	同　上	同　上
18	同　上	同　上	同　上
19	同　上	同　上	同　上
20	倫理的配慮の検討および研究計画の立案	発表・討議	前：自己の研究課題や研究方法に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に研究計画の検討
21	同　上	同　上	同　上
22	同　上	同　上	同　上
23	同　上	同　上	同　上

24	同　　上	同　　上	同　　上
25	同　　上	同　　上	同　　上
26	研究計画書の発表とディスカッション	発表・討議	前：自己の研究に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に取り組み内容の検討
27	同　　上	同　　上	同　　上
28	データ収集および分析	発表・討議	前：自己の研究に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に取り組み内容の検討
29	同　　上	同　　上	同　　上
30	同　　上	同　　上	同　　上
31	同　　上	同　　上	同　　上
32	同　　上	同　　上	同　　上
33	同　　上	同　　上	同　　上
34	同　　上	同　　上	同　　上
35	同　　上	同　　上	同　　上
36	同　　上	同　　上	同　　上
37	同　　上	同　　上	同　　上
38	同　　上	同　　上	同　　上
39	同　　上	同　　上	同　　上
40	同　　上	同　　上	同　　上
41	同　　上	同　　上	同　　上
42	結果・考察のまとめ	発表・討議	前：自己の研究に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に取り組み内容の検討
43	同　　上	同　　上	同　　上
44	同　　上	同　　上	同　　上
45	同　　上	同　　上	同　　上
46	同　　上	同　　上	同　　上
47	同　　上	同　　上	同　　上
48	論文作成	発表・討議	前：自己の研究に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に取り組み内容の検討、論文の修正
49	同　　上	同　　上	同　　上
50	同　　上	同　　上	同　　上
51	同　　上	同　　上	同　　上
52	同　　上	同　　上	同　　上
53	同　　上	同　　上	同　　上
54	同　　上	同　　上	同　　上
55	研究成果のまとめと発表準備	講義・発表・討議	前：自己の研究成果発表の準備 後：作成した資料の修正

56	同　　上	同　　上	同　　上
57	同　　上	同　　上	同　　上
58	同　　上	同　　上	同　　上
59	研究成果の発表とディスカッション	発表・討議	前：自己の研究成果発表の準備 後：討議や教員の指導を参考に学修成果をまとめる
60	同　　上	同　　上	同　　上

評価方法	１　論文(50%)、研究過程(25%)、個人指導を含むゼミナールへの主体的参加(25%) ２　不合格の場合は、再提出の機会を1回与える。
教科書・参考書	教科書： 看護研究方法論に準ずる。 参考書： 看護研究方法論に準ずる。 加えて以下の文献を挙げる。 １　谷津裕子著：「Start Up 質的看護研究」、GAKKEN、第2版（2015/12）、定価2,750円（税込み） ２　野口美和子監訳：「ナースのための質的研究入門」、医学書院、第２版（2006/4）、定価3,969円（税込み） ３　石井京子、多尾清子：「ナースのための質問紙調査とデータ分析」、医学書院、第２版(2002/5)、定価3,080円(税込み) ４　藤林和俊著：「看護研究をはじめるための統計と臨床疫学」、学研メディカル秀潤社、(2012/12)、定価2,420円(税込み) ５　牧本清子、山川みやえ、編著：「よくわかる看護研究論文のクリティーク」、日本看護協会出版会、第2版(2020/6)、定価3,520円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　各自、主体的・積極的に取り組むこと ２　事前・事後学修を行い毎回臨むこと ３　各担当教員により開講日時が異なるため、日程に注意をすること ４　ゼミナールでの学修が適切に活用できるよう、自主的に指導教員へ相談し個人指導を受けること ５　履修者の学修の進行状況等により、授業の内容や順序が変わることがあること ６　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	１　論文の提出期限　2024年12月2日9時から2024年12月9日17時まで（時間厳守） ２　提出先 　１）論文（表紙、抄録、目次、本文含む）１編　（提出先：教学課） 　２）抄録（wordファイルのデータ：抄録集作成用）１枚（A4）　（提出先：AIDLE-K） ３　論文題目および抄録は学内公開される。 ４　研究成果の発表は領域もしくは担当教員ごとに実施し，以下を共通事項とする。 　１）発表資料は，パワーポイントを用いて資料作成を行う。 　２）発表形式は，口頭，示説を問わず，各領域の指示にて行う。 ５　卒業研究Ⅱにかかる費用はすべて学生の自己負担である。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	国語表現法		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Japanese for Academic Purposes		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員	
職種	氏名
講　　師(非)	◎ 稲垣　広和

科目概要	国語表現法は単に作文技術の習得・向上を目指すだけではなく、日本語の音声言語表現・文字言語表現等に関して幅広く学ぶもので、受講生の国語表現能力の実践的な向上をはかるために日本語リテラシーについて幅広く学修するものです。 また大学生活で必須とされるアカデミックリテラシーに関しても、レポート・論文作成技術から講義の受講方法やゼミにおけるプレゼンテーション等、特に初年度に必要とされるものについて総合的に学びます。 さらに将来社会人として、また専門的職業人として必要とされる全般的な言語表現、国語表現に関する基本的な諸事項や日本語の豊かさについても学びます。
目標	１　音声言語表現に関する基本的な内容を理解しそれを運用することができる。「ＤＰ：２・５・６」 ２　文字言語表現に関する基本的な内容を理解しそれを運用することができる。「ＤＰ：２・５・６」 ３　論理的文章を読解し、その内容を要約、把握した上でそれらの言語情報を活用することができる。「ＤＰ：５・６」 ４　論理的文章の基本的な作成方法を理解し、実際に文章作成することができる。「ＤＰ：２・５・６」 ５　日本語表現の豊かさを知り、これを活用することができる。「ＤＰ：１・２・４」 ６　グループワークを通してコミュニケーションスキルを向上することができる。「ＤＰ：２・３・６」 ７　継続的な学修方法を学ぶことによって、種々の問題に対して自らで解決する力（生きる力）を発揮することができる。「ＤＰ６」 ８　アクティブラーニングを理解し、実践することができる。「ＤＰ：２～６」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/16 (火)	3	授業ガイダンス 基本的な講義の受け方や評価の基準等、講義を受ける際の約束事などについて説明します。 [講義概要]	講義	予習 なし 復習 配付資料「講義ガイダンス」を読み返す 60分	稲垣　広和
2	2024/04/23 (火)	4	大学で「学ぶ」という意味について。大学での講義の特質、講義参加のしかた、ノートのとりかたについて [主体的学習方法] [アカデミックリテラシー]	講義 動画視聴「アカデミックスキルズ」について（慶應義塾大学）	予習 配付資料「アカデミックスキルについて」を読む 復習 ノートテイキングに関する作文（800字）を作成 各30分	稲垣　広和
3	2024/04/30 (火)	5	言語コミュニケーション(1)　自己紹介の概念とその理論的 自己紹介を適当なその場しのぎのものと考えるのではなく、自己紹介の理論的認識を深めます。戦略的に自己紹介を活用しよう。	講義	予習 配付資料「自己紹介プリント①」を読む 復習 自己紹介の原稿作成	稲垣　広和

			［自己相対化の概念］		（800字） 各30分	
4	2024/05/07 （火）	5	言語コミュニケーション⑵　自己紹介の実践と評価 実際に受講生全員が自己紹介を「全力で」してみよう。自分を知り、自分の周りの人を知ることは人間の幅を広げることにもなります。 ［自己伝達能力］［プレゼンテーション能力］	プレゼンテーション	予習 配付資料「自己紹介プリント②」を読む 復習 自己紹介の評価プリント（800字）作成 各30分	稲垣　広和
5	2024/05/14 （火）	4	言語コミュニケーション⑶　会議と議論の方法と実践 会議・議論は正しい方法を知らないと人生の「無駄」です。仕事を効率化する上でも正しい会議の方法を身につけよう。 ［話し合いのルール］	講義 ＧＷ	予習 配布資料「議論の方法」（１）を読む 復習 会議実践プリントの作成 各30分	稲垣　広和
6	2024/05/21 （火）	4	言語コミュニケーション⑷　ディベートの方法と実践 相手を説得し、納得させることは論文を作成する上でも重要な技術です。今回は実践実践を通して言語表現能力向上の実践をおこないます。 ［相手を納得させる話し方の基本］	講義 ＧＷ	予習 配布資料「議論の方法」（2）を読む 復習 ディベート復習プリントの作成 各30分	稲垣　広和
7	2024/05/28 （火）	5	言語コミュニケーション⑸　ネゴシエーションの方法と実践 ネゴシエーションは「ずるい」言語技術のように思われますが、そうではありません。立場の違う相手に対して、どのように自分の意見を説明するかの技法を学びます。また言語コミュニケーション実例として「病院の言葉」（国立国語研究所）について学びます。 ［説得の技術・インフォームドコンセント］	講義 ＧＷ	予習 配付資料「ネゴシエーションの方法と実践プリント」を読む 復習 「ネゴシエーションの実践」感想文（800字）作成 各30分	稲垣　広和
8	2024/06/11 （火）	5	音声言語表現の特質の理解と実践、 魅力的な話し方とはどのようなものかを学び、実選してみよう。また医療言語学について学ぼう。 ［発話の特質］	講義	予習 配付資料「美しい話し方」を読む 復習 作文「魅力的な話し方」（800字）作成 各30分	稲垣　広和
9	2024/06/19 （水）	3	日本語の特質⑴　待遇表現を中心として 敬語は相手との距離感を瞬時に測って最適な敬語を使用するべきもの。そのために敬語の根本的な理解をしよう。またマニュアル敬語の持つ危険性についても理解しよう。 ［敬語表現］	講義	予習 配付資料「接遇表現」をを読む 復習 講義の振り返りをする（600字以上） 各30分	稲垣　広和
10	2024/06/26 （水）	3	日本語の特質⑵　話し言葉と書き言葉についての違いを知ろう。 ［言葉の差異性］	講義	予習 配付資料「日本語の特質」をを読む 復習 話し言葉と書き言葉復習プリント作成 各30分	稲垣　広和
11	2024/07/03 （水）	4	日本語の特質⑶　表記上の留意点 文章を書く際に必要とされる表記上のルールについて学びます。原稿用紙の使い方やレポートのフォーマットについても学びます。 ［言語表記の技術］	講義	予習 配付資料「レポート論文作成の技術」をを読む 復習 添削実践プリントの作成 各30分	稲垣　広和
12	2024/07/10 （水）	4	発想法・思考法⑴　思考の概念化について、上位概念と下位概念 「ことば」について単に辞書的な意味を知るのではなく、言葉を使いこなすための技術を学びます。 ［言葉を概念化する］	講義 ＧＷ	予習 配付資料「ことばを学ぶ」を読む 復習 「言語連想法」「言語連結法」プリントの作	稲垣　広和

					成 各30分	
13	2024/07/17 （水）	３	発想法・思考法⑵　自己の幅・視野を広げるための方法 言葉の幅を広げる、使える語彙を増やすことによって自分の視野を広げよう。自分たちの日常生活から少し離れた言葉を知ることによって社会に対する興味を持とう。 ［社会に対する興味・関心］	講義	予習 配付資料「テクニカルターム」を読む 復習 作文「学術語」について（800字）作成 各30分	稲垣　広和
14	2024/07/24 （水）	３	発想法・思考法⑶　ストーリースクランブルの理解と実践による小話作り ［発想の豊かさ・他者との発想の違い］	講義 ＧＷ	予習 配付資料「ストーリースクランブル」を読む 復習 ショートストーリーの作成（400字） 各30分	稲垣　広和
15	2024/07/31 （水）	４	発想法・思考法⑷　自己の幅を広げるための方法の実践、思考ツールとしてのブレインストーミング・ブレインライティングを使って看護学部のキャッチフレーズ作り。CMの絵コンテ制作。 ［発想の実践］	講義 ＧＷ	予習 配付資料「ブレインストーミング・ブレインライティング　」を読む 復習 看護学部のキャッチフレーズ、CMの絵コンテ完成 各30分	稲垣　広和
16	2024/08/06 （火）	４	定期試験			稲垣　広和

評価方法	定期試験は５割、平常点は５割。 定期試験に関しては、国語に関する基本的な知識を問うものと、日本語リテラシーに関するものを中心に出題します。また、講義中に解説した日本語に関するトピックについて論述する問題等を出題する予定です。 なお平常点に関しては、出席点ではなくて講義中の課題の提出状況やグループワークでの活動状況等を中心に総合的に評価をします。
教科書・参考書	教科書： なし。講義資料に関しては事前にADLE-kにアップロードします。 参考書： 講義中に指示をします。
履修上の注意点 及び取扱い	１　授業について ⑴　この授業は講義形式で行いますが、実践的な課題に取り組んでもらうことが多いので単なる「座学」の授業ではありません。さらにグループワークも多いので積極的に授業（演習）参加をしてください。 ⑵　授業内では国語常識に関する基礎プリントの解答・解説を行います。これは定期考査の試験範囲としますのでしっかりと予習・復習をしてください。また、その他の予習・復習（時間外学習）に関しては講義中に指示をします。 ⑶　授業における提出課題は提出期間以外、基本的に受け付けないので留意してください。 ⑷　授業に関する資料は基本的にADLE－Ｋで事前にアップロードされますので、各自ダウンロードして授業にに臨んでください。（授業中に各自のデバイスで見られることとノートテイクが可能な状況で参加してください） ２　出欠席について 出欠席はカードリーダへの打刻により確認をします。遅刻・早退（各30分）は３分の１欠席扱いとします。なお、出席状況を定期試験の受験資格とはしません。また合理的理由のない途中退室は欠席とします。 ３　再試験について 定期試験で不合格の場合は再試験を１回を限度として行います。 ４　試験に関するフィードバックについて 定期試験後、希望により質問会を行います。 ５　凡例 ＧＷ：グループワーク
オフィスアワー	火・水曜日　12：00～13：30　看護学部講師控室 また、講義の前後にも質問・相談等について対応します。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	国語表現法		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Japanese for Academic Purposes		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 稲垣　広和

科目概要	国語表現法は単に作文技術の習得・向上を目指すだけではなく、日本語の音声言語表現・文字言語表現等に関して幅広く学ぶもので、受講生の国語表現能力の実践的な向上をはかるために日本語リテラシーについて幅広く学修するものです。 また大学生活で必須とされるアカデミックリテラシーに関しても、レポート・論文作成技術から講義の受講方法やゼミにおけるプレゼンテーション等、特に初年度に必要とされるものについて総合的に学びます。 さらに将来社会人として、また専門的職業人として必要とされる全般的な言語表現、国語表現に関する基本的な諸事項や日本語の豊かさについても学びます。
目標	１　音声言語表現に関する基本的な内容を理解しそれを運用することができる。「ＤＰ：２・５・６」 ２　文字言語表現に関する基本的な内容を理解しそれを運用することができる。「ＤＰ：２・５・６」 ３　論理的文章を読解し、その内容を要約、把握した上でそれらの言語情報を活用することができる。「ＤＰ：５・６」 ４　論理的文章の基本的な作成方法を理解し、実際に文章作成することができる。「ＤＰ：２・５・６」 ５　日本語表現の豊かさを知り、これを活用することができる。「ＤＰ：１・２・４」 ６　グループワークを通してコミュニケーションスキルを向上することができる。「ＤＰ：２・３・６」 ７　継続的な学修方法を学ぶことによって、種々の問題に対して自らで解決する力（生きる力）を発揮することができる。「ＤＰ６」 ８　アクティブラーニングを理解し、実践することができる。「ＤＰ：２～６」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/16 (火)	4	授業ガイダンス 基本的な講義の受け方や評価の基準等、講義を受ける際の約束事などについて説明します。 [講義概要]	講義	予習 なし 復習 配付資料「講義ガイダンス」を読み返す 60分	稲垣　広和
2	2024/04/23 (火)	5	大学で「学ぶ」という意味について。大学での講義の特質、講義参加のしかた、ノートのとりかたについて [主体的学習方法] [アカデミックリテラシー]	講義 動画視聴「アカデミックスキルズ」について（慶應義塾大学）	予習 配付資料「アカデミックスキルについて」を読む 復習 ノートテイキングに関する作文（800字）を作成 各30分	稲垣　広和
3	2024/04/30 (火)	4	言語コミュニケーション(1)　自己紹介の概念とその理論的 自己紹介を適当なその場しのぎのものと考えるのではなく、自己紹介の理論的認識を深めます。戦略的に自己紹介を活用しよう。	講義	予習 配付資料「自己紹介プリント①」を読む 復習 自己紹介の原稿作成	稲垣　広和

			［自己相対化の概念］		（800字） 各30分	
4	2024/05/07 （火）	4	言語コミュニケーション⑵　自己紹介の実践と評価 実際に受講生全員が自己紹介を「全力で」してみよう。自分を知り、自分の周りの人を知ることは人間の幅を広げることにもなります。 ［自己伝達能力］［プレゼンテーション能力］	プレゼンテーション	予習 配付資料「自己紹介プリント②」を読む 復習 自己紹介の評価プリント（800字）作成 各30分	稲垣　広和
5	2024/05/14 （火）	5	言語コミュニケーション⑶　会議と議論の方法と実践 会議・議論は正しい方法を知らないと人生の「無駄」です。仕事を効率化する上でも正しい会議の方法を身につけよう。 ［話し合いのルール］	講義 ＧＷ	予習 配布資料「議論の方法」（１）を読む 復習 会議実践プリントの作成 各30分	稲垣　広和
6	2024/05/21 （火）	5	言語コミュニケーション⑷　ディベートの方法と実践 相手を説得し、納得させることは論文を作成する上でも重要な技術です。今回は実践実践を通して言語表現能力向上の実践をおこないます。 ［相手を納得させる話し方の基本］	講義 ＧＷ	予習 配布資料「議論の方法」（2）を読む 復習 ディベート復習プリントの作成 各30分	稲垣　広和
7	2024/05/28 （火）	4	言語コミュニケーション⑸　ネゴシエーションの方法と実践 ネゴシエーションは「ずるい」言語技術のように思われますが、そうではありません。立場の違う相手に対して、どのように自分の意見を説明するかの技法を学びます。また言語コミュニケーション実例として「病院の言葉」（国立国語研究所）について学びます。 ［説得の技術・インフォームドコンセント］	講義 ＧＷ	予習 配付資料「ネゴシエーションの方法と実践プリント」を読む 復習 「ネゴシエーションの実践」感想文（800字）作成 各30分	稲垣　広和
8	2024/06/11 （火）	4	音声言語表現の特質の理解と実践、 魅力的な話し方とはどのようなものかを学び、実選してみよう。また医療言語学について学ぼう。 ［発話の特質］	講義	予習 配付資料「美しい話し方」を読む 復習 作文「魅力的な話し方」（800字）作成 各30分	稲垣　広和
9	2024/06/19 （水）	4	日本語の特質⑴　待遇表現を中心として 敬語は相手との距離感を瞬時に測って最適な敬語を使用するべきもの。そのために敬語の根本的な理解をしよう。またマニュアル敬語の持つ危険性についても理解しよう。 ［敬語表現］	講義	予習 配付資料「接遇表現」をを読む 復習 講義の振り返りをする（600字以上） 各30分	稲垣　広和
10	2024/06/26 （水）	4	日本語の特質⑵　話し言葉と書き言葉についての違いを知ろう。 ［言葉の差異性］	講義	予習 配付資料「日本語の特質」をを読む 復習 話し言葉と書き言葉復習プリント作成 各30分	稲垣　広和
11	2024/07/03 （水）	3	日本語の特質⑶　表記上の留意点 文章を書く際に必要とされる表記上のルールについて学びます。原稿用紙の使い方やレポートのフォーマットについても学びます。 ［言語表記の技術］	講義	予習 配付資料「レポート論文作成の技術」をを読む 復習 添削実践プリントの作成 各30分	稲垣　広和
12	2024/07/10 （水）	3	発想法・思考法⑴　思考の概念化について、上位概念と下位概念 「ことば」について単に辞書的な意味を知るのではなく、言葉を使いこなすための技術を学びます。 ［言葉を概念化する］	講義 ＧＷ	予習 配付資料「ことばを学ぶ」を読む 復習 「言語連想法」「言語連結法」プリントの作	稲垣　広和

					成 各30分	
13	2024/07/17 （水）	4	発想法・思考法⑵　自己の幅・視野を広げるための方法 言葉の幅を広げる、使える語彙を増やすことによって自分の視野を広げよう。自分たちの日常生活から少し離れた言葉を知ることによって社会に対する興味を持とう。 ［社会に対する興味・関心］	講義	予習 配付資料「テクニカルターム」を読む 復習 作文「学術語」について（800字）作成 各30分	稲垣　広和
14	2024/07/24 （水）	4	発想法・思考法⑶　ストーリースクランブルの理解と実践による小話作り ［発想の豊かさ・他者との発想の違い］	講義 ＧＷ	予習 配付資料「ストーリースクランブル」を読む 復習 ショートストーリーの作成（400字） 各30分	稲垣　広和
15	2024/07/31 （水）	3	発想法・思考法⑷　自己の幅を広げるための方法の実践、思考ツールとしてのブレインストーミング・ブレインライティングを使って看護学部のキャッチフレーズ作り。CMの絵コンテ制作。 ［発想の実践］	講義 ＧＷ	予習 配付資料「ブレインストーミング・ブレインライティング　」を読む 復習 看護学部のキャッチフレーズ、CMの絵コンテ完成 各30分	稲垣　広和
16	2024/08/06 （火）	4	定期試験			稲垣　広和

評価方法	定期試験は５割、平常点は５割。 定期試験に関しては、国語に関する基本的な知識を問うものと、日本語リテラシーに関するものを中心に出題します。また、講義中に解説した日本語に関するトピックについて論述する問題等を出題する予定です。 なお平常点に関しては、出席点ではなくて講義中の課題の提出状況やグループワークでの活動状況等を中心に総合的に評価をします。
教科書・参考書	教科書： なし。講義資料に関しては事前にADLE-kにアップロードします。 参考書： 講義中に指示をします。
履修上の注意点 及び取扱い	１　授業について ⑴　この授業は講義形式で行いますが、実践的な課題に取り組んでもらうことが多いので単なる「座学」の授業ではありません。さらにグループワークも多いので積極的に授業（演習）参加をしてください。 ⑵　授業内では国語常識に関する基礎プリントの解答・解説を行います。これは定期考査の試験範囲としますのでしっかりと予習・復習をしてください。また、その他の予習・復習（時間外学習）に関しては講義中に指示をします。 ⑶　授業における提出課題は提出期間以外、基本的に受け付けないので留意してください。 ⑷　授業に関する資料は基本的にADLE－Ｋで事前にアップロードされますので、各自ダウンロードして授業にに臨んでください。（授業中に各自のデバイスで見られることとノートテイクが可能な状況で参加してください） ２　出欠席について 出欠席はカードリーダへの打刻により確認をします。遅刻・早退（各30分）は３分の１欠席扱いとします。なお、出席状況を定期試験の受験資格とはしません。また合理的理由のない途中退室は欠席とします。 ３　再試験について 定期試験で不合格の場合は再試験を１回を限度として行います。 ４　試験に関するフィードバックについて 定期試験後、希望により質問会を行います。 ５　凡例 ＧＷ：グループワーク
オフィスアワー	火・水曜日　12：00～13：30　看護学部講師控室 また、講義の前後にも質問・相談等について対応します。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	英語Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	English Ⅰ		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 近藤　真治

科目概要	看護分野の基本用語とその定義を英語で学ぶことにより、看護英語の語彙力および表現力を向上させる。また、「病歴の採取」「症状のアセスメント」「バイタルサインの確認」等の様々な看護場面を想定したダイアログに基づくディクテーションやロールプレイにより、実践的な英語コミュニケーション能力の育成を図る。
目標	１　看護英語の基礎的な語彙・フレーズ・表現を理解し、使用することができる。「DP：４」 ２　看護場面における基本的な注意・指示・アセスメントを英語で行うことができる。「DP：４」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/18（木）	3	授業ガイダンス 英英辞典の使い方 看護用語の小テスト・解説 Unit 1：In the Lobby of the Hospital	講義	後：講義内容をまとめる 60分	近藤　真治
2	2024/04/25（木）	3	看護用語の小テスト・解説 Unit 2：Meeting Patients	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
3	2024/04/25（木）	4	看護用語の小テスト・解説 Unit 3：Finding the Way	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
4	2024/05/02（木）	3	看護用語の小テスト・解説 Unit 4：Welcoming a Patient	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
5	2024/05/09（木）	3	看護用語の小テスト・解説 Unit 5：Injury and Pain	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
6	2024/05/14（火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 6：Visit to the Clinic	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
7	2024/05/16（木）	3	看護用語の小テスト・解説 Unit 7：Taking a Medical History	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
8	2024/05/21（火）	2	前半のまとめ	講義	前：テストの準備 90分	近藤　真治

9	2024/05/28 （火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 7：Taking a Medical History	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
10	2024/06/11 （火）	1	看護用語の小テスト・解説 Unit 8：Assessing Patients' Symptoms	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
11	2024/07/02 （火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 9：Taking Vital Signs 1	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
12	2024/07/09 （火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 10：Taking a Specimen	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
13	2024/07/16 （火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 10：Taking a Specimen	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
14	2024/07/23 （火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 11：Taking Vital Signs 2	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
15	2024/07/30 （火）	2	後半のまとめ	講義	前：テストの準備 90分	近藤　真治

評価方法	看護用語の小テスト30%、まとめのテスト①35%、まとめのテスト②35%
教科書・参考書	教科書は使用しない。資料はAIDLE-Kにアップする。
履修上の注意点 及び取扱い	１　2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 ２　出席管理システムにより出席の確認をする。 ３　再試験は１回のみ実施する。 ４　まとめのテスト②の終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	金曜日　16:10～17:40　Ｃ棟５階教授室６
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	英語Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	English Ⅱ		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 近藤　真治

科目概要	看護分野の基本用語とその定義を英語で学ぶことにより、看護英語の語彙力および表現力を向上させる。また、「機能回復の援助」「入院患者のケア」「緊急事態への対処」等の様々な看護場面を想定したダイアログに基づくディクテーションやロールプレイにより、実践的な英語コミュニケーション能力の育成を図る。
目標	１　看護英語の基礎的な語彙・フレーズ・表現を理解し、使用することができる。「DP：４」 ２　看護場面における基本的な注意・指示・アセスメントを英語で行うことができる。「DP：４」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/17（火）	2	授業ガイダンス 医学用語の構成 医療面接で使用する英語表現 看護用語の小テスト・解説	講義	後：講義内容をまとめる 60分	近藤　真治
2	2024/10/01（火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 11：Taking Vital Signs 2	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
3	2024/10/15（火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 12：Conducting Medical Examinations	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
4	2024/10/16（水）	1	看護用語の小テスト・解説 Unit 13：Pain Assessment	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
5	2024/10/22（火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 14：Assessing Pain	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
6	2024/10/29（火）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 15：Advising about Medication	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
7	2024/10/30（水）	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 16：Improving Patients' Mobility	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
8	2024/11/13（水）	2	前半のまとめ	講義	前：テストの準備 90分	近藤　真治

9	2024/11/14 (木)	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 17：Maintaining a Good Diet	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
10	2024/11/20 (水)	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 18：Caring for Inpatients	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
11	2024/12/05 (木)	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 18：Caring for Inpatients	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
12	2025/01/07 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 19：Coping with Emergencies	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
13	2025/01/09 (木)	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 20：Women's Health	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
14	2025/01/14 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Unit 21：Children's Health	講義	前：ダイアログのディクテーション 後：講義内容をまとめる 前後各30分	近藤　真治
15	2025/01/23 (木)	2	後半のまとめ。	講義	前：テストの準備 90分	近藤　真治

評価方法	看護用語の小テスト30%、まとめのテスト①35%、まとめのテスト②35%
教科書・参考書	教科書は使用しない。資料はAIDLE-Kにアップする。
履修上の注意点 及び取扱い	１　2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 ２　出席管理システムにより出席の確認をする。 ３　再試験は１回のみ実施する。 ４　まとめのテスト②の終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	金曜日　16:10～17:40　Ｃ棟５階教授室６
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	哲学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Philosophy		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 福井　雅彦

科目概要	哲学という学問を通して人生や集団内で直面する様々な課題を解決する手がかりを得る。本科目ではよく知られた思想家の考え方を知り、それを吟味していくことで、哲学的思考力や感性を養う。また目先のことにとらわれず、すぐに答えが出なくても、人間や物事を本質的・根源的に捉える視点を身につける。
目標	１.日常にあふれている個別的事実と哲学的原理の双方の繋がりや関係を吟味しながら、人間と社会を捉え直していくことができる。「DP：１・２」 ２.本科目で得られた知識を看護倫理や医療倫理に応用することができる。「DP：１」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/02（木）	1	最大幸福原理一功利主義（１）ベンサム：最大多数の最大幸福、個人の権利と集団の利益との衝突、トリアージや公衆衛生学への応用事例	講義	教科書ｐ56-82 前：講義内容を読む。 後：講義で取り上げた内容を読む。 前後各120分	福井　雅彦
2	2024/05/09（木）	1	最大幸福原理―功利主義（２）ミル：質の高い快楽と質の低い快楽、オペラに行くのとテレビで娯楽番組を見るのとどちらが高級？	講義	教科書ｐ82-96 前：講義内容を読む。 後：講義で取り上げた内容を読む。 前後各120分	福井　雅彦
3	2024/05/16（木）	1	リバタリアニズム：自由市場擁護の哲学、シートベルトやヘルメット着用は義務か自由か？片方の腎臓なら売ってもいいのか？	講義	教科書ｐ97-123 前：講義内容を読む。 後：講義で取り上げた内容を読む。 前後各120分	福井　雅彦
4	2024/05/23（木）	1	金をもらっての妊娠：代理出産、米国におけるベビーM訴訟の吟味、サロゲートマザーの問題点、代理出産と人間の尊厳との両立は可能か？	講義	教科書ｐ148-166 前：講義内容を読む。 後：講義で取り上げた内容を読む。 前後各120分	福井　雅彦
5	2024/05/30（木）	1	カントの義務論（１）感性と理性、義務と傾向性、自由と自律、人間の尊厳、インフォームドコンセントや自己決定権との関係	講義	教科書ｐ167-199 前：講義内容を読む。 後：講義で取り上げた内容を読む。 前後各120分	福井　雅彦
6	2024/06/13（木）	1	カントの義務論（２）道徳法則、仮言命法と定言命法、行きずりの性交渉に対するカントの反論、人殺しに嘘をつくのは誤りか？	講義	教科書ｐ199-223 前：講義内容を読む。 後：講義で取り上げた内容を読む。 前後各120分	福井　雅彦

7	2024/06/20 （木）	1	ジョン・ロールズの哲学：無知のベールと格差原理、ジョーダンやイチローの高収入は正当か？才能や努力は偶然の産物なのか？	講義	教科書ｐ224-263 前：講義内容を読む。 後：講義で取り上げた内容を読む。 前後各120分	福井　雅彦
8	2024/06/27 （木）	1	アリストテレスの哲学：目的と正義、脳性麻痺のチアリーダーを除名していいのか？ゴルフの試合でカート使用は許されるのか？	講義	教科書ｐ290-327 前：講義内容を読む。 後：講義で取り上げた内容を読む。 前後各120分	福井　雅彦

評価方法	講義の終了直前15～20分で、合計４回提出してもらう課題レポート（400-500字）の平均点（100点満点）で評価する。したがって定期試験は原則実施しないが、レポート提出日に欠席すると不利になるので、出席に自信がある学生の履修が望ましい。なお出席は合計６回以上ないとレポートを４回提出しても単位認定できないので注意すること。不合格者へは原則として１回再試験（長文のレポート）を行う。その他不測の事態では看護学部の学則にしたがう。
教科書・参考書	教科書： １ マイケル・サンデル著(2011)：『これからの「正義」の話をしよう』、早川文庫（早川書房）、定価990円（税込み） 参考書： その都度紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１.初日に講義の進め方（課題レポート提出日程を含む）を説明するので履修希望者は必ず参加すること。 ２.対面形式の講義の場合は質問が出るので、自分の意見を積極的に発言すること。 ３.課題レポートは４回講義終了時刻までに講義室で教員に提出してもらう。 ４.課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。 ５.疑問点はできるだけ講義中に質問し解決すること。（講義終了後でも可。）
オフィスアワー	授業終了後、相談すること。
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	文学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Literature		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 安井　海洋

科目概要	文学とは、言語を表現の媒介とする芸術一般のことである。文学作品を通して、様々な人間の心情や行動について学ぶ。更に、これらの作品に触れることで、豊かな感性、創造性・表現力を養う。 本科目では、明治期から昭和期にかけての日本の短篇小説を読み、理解するための方法を概説する。その上で、受講する学生一人ひとりが文学作品を味読できるようになることを目指す。
目標	１　日本の近現代文学のテクストを分析的に読解することができるようになる。「DP：１・２・４」 ２　自身が行った読解について、他者に向かって、適切かつ効果的に伝えることができるようになる。「DP：１・２」 ３　文学とそれ以外の文化との接続について考え、そこから問題点を発見して、その問題について論理的に論じることができるようになる。「DP：１・２・４」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/05/02(木)	5	イントロダクション。講義内容のガイダンス。読んでもらう作品の紹介。	講義	後：紹介された作品を読む。(240分)	安井　海洋
2	2024/05/09(木)	5	書物という物質：印刷、製本、装丁、挿絵、絵本について	講義	後：第1回で紹介された作品を読む。講義で紹介された本を図書館や書店等で実際に手に取ってみる。(240分)	安井　海洋
3	2024/05/16(木)	5	伝達と解釈：作品を書く／読むとはどういう行為か	講義	後：森鷗外「高瀬舟」を読む。その他気になった作品（自由）を読む、見る、聴くなどして自分で解釈してみる。(240分)	安井　海洋
4	2024/05/30(木)	5	作品論①安楽死と語り：森鷗外「高瀬舟」	講義	前：森鷗外「高瀬舟」を読む。(120分) 後：佐多稲子「キャラメル工場から」を読む。(120分)	安井　海洋
5	2024/06/13(木)	5	作品論②こどもと労働と：佐多稲子「キャラメル工場から」	講義	前：佐多稲子「キャラメル工場から」を読む。(120分) 後：太宰治「皮膚と心」を読む。(120分)	安井　海洋
6	2024/06/20(木)	5	作品論③女性の言葉と身体：太宰治「皮膚と心」	講義	前：太宰治「皮膚と心」を読む。(120分) 後：大江健三郎「空の怪物アグイー」を読む。(120分)	安井　海洋

7	2024/06/27（木）	5	作品論④喪失と想像力：大江健三郎「空の怪物アグイー」	講義	前：大江健三郎「空の怪物アグイー」を読む。（120分） 後：これまでの内容を整理し、期末レポートに備える。（120分）	安井　海洋
8	2024/07/04（木）	5	まとめ	講義	後：これまでの内容を整理し、期末レポートに備える。（240分）	安井　海洋

評価方法	出席・授業への参加状況(30%)、講義時のミニレポート(30%)、期末レポート(40%) 不合格者へは原則として１回再試験(レポート)を行う。
教科書・参考書	教科書： 授業時に配布(ウェブサイト「青空文庫」で公開しているものがあれば、そこからダウンロードしたものでも可)。 扱う短篇小説は以下の4点とする。 ・森鷗外「高瀬舟」 ・佐多稲子「キャラメル工場から」 ・太宰治「皮膚と心」 ・大江健三郎「空の怪物アグイー」
履修上の注意点 及び取扱い	毎回、講義に対する意見・感想を記し、ミニレポートとして提出する。記入の時間は講義時間内に設ける。 ミニレポートに対しては毎回講義内容と関わりの深いものを匿名で紹介し、コメントすることでフィードバックとする。その他、課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	授業終了後に受け付ける。それ以外の時間ではメール等にて随時対応する。
備考	・期末レポートでは、講義で紹介した作品いずれかについて論じることを課題とする。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	教育学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Pedagogy		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 肥田　武

科目概要	教育という営みの成り立ちを学ぶことにより、複雑性という教育の本質を理解し、実践を科学的に検討することの意義を知る。 他方、実践を効果的に進めるために有用な、規範的な知識・技術・態度の基礎も身につける。 それらを踏まえて具体的な学修指導のプランを立てることによって、教育という営みを疑似的に体験し、学びを統合する。
目標	１　人の発達と学習に関する基本的な考え方を説明することができる。「DP：１・２」 ２　指導に関する基本的な考え方を説明することができる。「DP：１・２」 ３　上述の知識や考え方を適用し効果的な指導計画を立てることができる。「DP：２」 ４　学習者の自発的な学びを引き出すことの重要性を認めることができる。「DP：１」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/11/14 (木)	1	教育と学習の重要性（初回ガイダンス含む）：看護師が行う教育、教育の目的	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：講義内容をまとめる。 各120分	肥田　武
2	2024/11/21 (木)	1	発達、学習意欲：発達理論、動機づけ、結果期待、効力期待	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：講義内容をまとめる。 各120分	肥田　武
3	2024/11/21 (木)	2	指導者、コミュニケーション：指導者の役割、効果的なコミュニケーション技法	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：講義内容をまとめる。 各120分	肥田　武
4	2024/11/28 (木)	1	指導設計1：目標設定、教材作成	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：講義内容をまとめる。 各120分	肥田　武
5	2024/11/28 (木)	2	指導設計2：指導過程、評価	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：講義内容をまとめ	肥田　武

					る。 各120分	
6	2024/12/05 （木）	1	学習指導案を書く①　学習者理解に基づく目標設定	ワーク	予習：指導案の構想を練る（配布資料・教科書参照）。 復習：授業で得たアイデアを指導案に反映する。 各120分	肥田　武
7	2025/01/09 （木）	1	学習指導案を書く②　学びを促進する指導過程と教材作成	ワーク	予習：指導案の構想を練る（配布資料・教科書参照）。 復習：授業で得たアイデアを指導案に反映する。 各120分	肥田　武
8	2025/01/23 （木）	1	学習指導案を書く③　学びを継続させる評価活動	ワーク	予習：指導案の構想を練る（配布資料・教科書参照）。 復習：授業で得たアイデアを指導案に反映する。 各120分	肥田　武
9	2025/01/30 （木）	2	定期試験			肥田　武

評価方法	定期試験：60%、毎時の課題：40%
教科書・参考書	教科書： なし 参考書： １　中井俊樹ほか編著：「看護のための教育学」、医学書院、2015、定価2,420円（税込み） ２　中井俊樹ほか編著：「看護現場で使える教育学の理論と技法」、メディカ出版、2014、定価3,080円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　課題提出が少なくないため、積極的な学習を求める。 ２　出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。 ３　出欠は、入室時と退室時のカードリーダへの打刻で確認する。２回目の打刻がない場合は、欠席扱いとする。 ４　再試験は１回のみとする。 ５　定期試験後には、質問を受け付ける。期日等は追って知らせる。
オフィスアワー	講義終了後に受け付ける。
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	音楽		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Music		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 森川　泉

科目概要	音楽は人間に特有の非言語的な伝達様式であり、聴覚、視覚、触覚などの感覚器を通して受容される刺激の一つである。 この音楽が人間のこころと身体にどのような影響をもたらすのか、またどのように他者とのコミュニケーション手段となるのか、音楽療法で用いられる音楽を実体験するとともに学ぶ。
目標	１　音・音楽の体験を通して、自己を見つめ自らの感性を磨く機会とし、豊かな人間性とは何かについて考えることができる。「DP：１・２」 ２　音楽療法を実体験することで、「他者とのコミュニケーション」について考えることができる。「DP：２・３」 ３　本講義で得た知識、体験を通して、自らの生活、臨床現場に音楽を活用できる。「DP：２・３」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/09/19 (木)	1	音楽とは何か：音楽の成り立ちと人間との関わり	講義とCD鑑賞	自分と音楽の関わりについて考える。 240分	森川　泉
2	2024/09/26 (木)	2	音楽療法の基礎知識	講義とDVD視聴、CD鑑賞 受動的音楽療法体験	前回の資料の復習。人間と音楽の関わりについてまとめる。 240分	森川　泉
3	2024/10/03 (木)	1	音楽療法の実際：高齢者領域の音楽療法	講義とCD鑑賞 ワークショップ	前回の資料の復習。音楽療法について概要をまとめる。 240分	森川　泉
4	2024/10/10 (木)	2	音楽療法の実際：小児領域の音楽療法	講義とDVD視聴 ワークショップ	前回の資料の復習。高齢者の音楽療法プログラムについてまとめる。 240分	森川　泉
5	2024/10/17 (木)	1	音楽療法の実際：成人、精神科領域の音楽療法	講義とCD鑑賞 ワークショップ	前回の資料の復習。小児の音楽療法プログラムについてまとめる。 240分	森川　泉
6	2024/10/24 (木)	2	能動的音楽療法プログラム作成、練習	音楽を使用したGW	前回の資料の復習。成人、精神科領域の音楽療法プログラムについてまとめる。プログラム作成のため、音楽療法の基礎知識を復習。 240分	森川　泉

7	2024/10/31 （木）	1	能動的音楽療法プログラム発表	音楽を使用したGW	プログラム遂行のための練習。 240分	森川　泉
8	2024/11/07 （木）	2	音楽療法の実際：医療における音楽療法（緩和ケア領域を含む） 講義のまとめ	講義とDVD視聴ワークショップ	これまでの講義を概観し、レポートを作成する。 240分	森川　泉

評価方法	レポート：50%、授業への参加状況（小レポート含む）：20%、グループワーク（参加必須）：30%
教科書・参考書	教科書： 講義時にプリントを配付する。 参考書： １　日野原重明、他：「標準音楽療法入門（上）」、春秋社(1998/7)、定価3,080円（税込み） ２　日野原重明、他：「標準音楽療法入門（下）」、春秋社(1998/7)、定価3,520円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　出欠について：毎回必ず出欠を取る。なお、30分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。 ２　レポート提出の要件：出席が3分の2に達していない場合、グループワークに参加しなかった場合は、提出資格を認めない。 ３　音楽が人に与える影響について実体験を通して学ぶため、積極的な講義への参加が望まれる。 ４　不合格の場合は、再レポートを提出する。 ５　フィードバック GW（グループワーク）、小レポート等のフィードバックは全体で共有できるように講義時間内に行う。
オフィスアワー	講義終了後、教室にて質問を受け付ける。
備考	予習として該当する領域に関する疾患等を調べる。講義後は講義内容を振り返り、興味を持った音楽活動、音楽療法プログラムについて、実際に活用できるか考えてみること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	音楽		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Music		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択＜Ｂ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 森川　泉

科目概要	音楽は人間に特有の非言語的な伝達様式であり、聴覚、視覚、触覚などの感覚器を通して受容される刺激の一つである。 この音楽が人間のこころと身体にどのような影響をもたらすのか、またどのように他者とのコミュニケーション手段となるのか、音楽療法で用いられる音楽を実体験するとともに学ぶ。
目標	１　音・音楽の体験を通して、自己を見つめ自らの感性を磨く機会とし、豊かな人間性とは何かについて考えることができる。「DP：１・２」 ２　音楽療法を実体験することで、「他者とのコミュニケーション」について考えることができる。「DP：２・３」 ３　本講義で得た知識、体験を通して、自らの生活、臨床現場に音楽を活用できる。「DP：２・３」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/09/19 (木)	2	音楽とは何か：音楽の成り立ちと人間との関わり	講義とCD鑑賞	自分と音楽の関わりについて考える。 240分	森川　泉
2	2024/09/26 (木)	1	音楽療法の基礎知識	講義とDVD視聴、CD鑑賞 受動的音楽療法体験	前回の復習。人間と音楽の関わりについてまとめる。 240分	森川　泉
3	2024/10/03 (木)	2	音楽療法の実際：高齢者領域の音楽療法	講義とCD鑑賞 ワークショップ	前回の復習。音楽療法の基礎知識について概要をまとめる。 240分	森川　泉
4	2024/10/10 (木)	1	音楽療法の実際：小児領域の音楽療法	講義とDVD鑑賞 ワークショップ	前回の復習。高齢者の音楽療法プログラムについてまとめる。 240分	森川　泉
5	2024/10/17 (木)	2	音楽療法の実際：成人、精神科領域の音楽療法	講義とCD鑑賞 ワークショップ	前回の復習。小児の音楽療法プログラムについてまとめる。 240分	森川　泉
6	2024/10/24 (木)	1	能動的音楽療法プログラム作成、練習	音楽を使用したGW	前回の復習。成人、精神科領域の音楽療法プログラムについてまとめる。プログラム作成のため、音楽療法の基礎知識を復習。 240分	森川　泉

7	2024/10/31 （木）	２	能動的音楽療法プログラム発表	音楽を使用したGW	プログラム遂行のための練習。 240分	森川　泉
8	2024/11/07 （木）	１	音楽療法の実際：医療における音楽療法（緩和ケア領域を含む） 講義のまとめ	講義とDVD視聴ワークショップ	これまでの講義を概観しレポートを作成する。 240分	森川　泉

評価方法	レポート：50%、授業への参加状況（小レポート含む）：20%、グループワーク（参加必須）：30%
教科書・参考書	教科書： 講義時にプリントを配付する。 参考書： １　日野原重明、他：「標準音楽療法入門（上）」、春秋社(1998/7)、定価3,080円（税込み） ２　日野原重明、他：「標準音楽療法入門（下）」、春秋社(1998/7)、定価3,520円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　出欠について：毎回必ず出欠を取る。なお、30分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。 ２　レポート提出の要件：出席が3分の2に達していない場合、グループワークに参加しなかった場合は、提出資格を認めない。 ３　音楽が人に与える影響について実体験を通して学ぶため、積極的な講義への参加が望まれる。 ４　不合格の場合は、再レポートを提出する。 ５　フィードバック GW（グループワーク）、小レポート等のフィードバックは全体で共有できるように講義時間内に行う。
オフィスアワー	講義終了後、教室にて質問を受け付ける。
備考	予習として該当する領域に関する疾患等を調べる。講義後は講義内容を振り返り、興味を持った音楽活動、音楽療法プログラムについて、実際に活用できるか考えてみること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	医療英語		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Medical English		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 近藤　真治

科目概要	１　病態に関する内科学用語の定義を英語で学ぶことにより、専門的・学術的な語彙力を養う。 ２　「病歴の採取」「症状のアセスメント」「投薬の指示」等の様々な看護場面を想定したダイアログに基づくディクテーションやロールプレイにより、実践的な英語コミュニケーション能力を養成する。 ３　医学・看護学専門誌(The New England Journal of Medicine, Nursing Research, Clinical Nurse Specialist 等)掲載の症例報告、抄録及び原著論文を講読し、英語文献の読解力を向上させる。
目標	１　病態に関する内科学の基本語72語の定義を英語で理解できる。「DP：４」 ２　看護場面における基本的な注意・指示・アセスメントを英語で行うことができる。「DP：４」 ３　英語文献の構成・様式を理解し、臨床や研究に活用できる。　「DP：４」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/10（水）	1	インターネット活用法（英辞郎、フレーズ検索、ワイルドカード検索、DeepL翻訳）、メルクマニュアル	講義	後：講義内容をまとめる（60分）	近藤　真治
2	2024/04/10（水）	2	内科学用語（全身状態１）、ダイアログ（Meeting Patients）、医学用語の構造（接頭辞、語根、連結母音、接尾辞）、標準正規分布表	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
3	2024/04/17（水）	1	内科学用語（全身状態２）、ダイアログ（Taking a Medical History）、研究デザイン	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
4	2024/04/17（水）	2	内科学用語（呼吸器系１）、ダイアログ（Assessing Patients' Symptoms）、論文タイトルのつけ方、CDCガイドライン	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
5	2024/04/24（水）	1	内科学用語（呼吸器系２）、ダイアログ（Taking Vital Signs）、PubMed（システマティックレビュー）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
6	2024/04/24（水）	2	内科学用語（呼吸器系３）、ダイアログ（Taking a Specimen）、症例報告１（プリオン病）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治

7	2024/05/01（水）	1	内科学用語（循環器系１）、ダイアログ（Conducting Medical Examination）、症例報告２（津波合併症）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
8	2024/05/01（水）	2	前半のまとめ。	講義	前：テストの準備（90分）	近藤　真治
9	2024/05/08（水）	1	内科学用語（循環器系２）、ダイアログ（Assessing Pain）、論文１（糖尿病と運動能力低下）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
10	2024/05/08（水）	2	内科学用語（循環器系３）、ダイアログ（Advising about Medication）、論文１（糖尿病と運動能力低下）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
11	2024/05/15（水）	1	内科学用語（消化器系１）、ダイアログ（Improving Patients' Mobility）、論文２（エイズ患者の症状管理）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
12	2024/05/15（水）	2	内科学用語（消化器系２）、ダイアログ（Maintaining a Good Diet）、論文２（エイズ患者の症状管理）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
13	2024/05/22（水）	1	内科学用語（消化器系３）、ダイアログ（Caring for Inpatients）、論文３（褥瘡予防）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
14	2024/05/22（水）	2	内科学用語（消化器系４）、ダイアログ（Coping with Emergencies）、論文３（褥瘡予防）	講義	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：講義内容をまとめる（20分）	近藤　真治
15	2024/05/29（水）	1	後半のまとめ。	講義	前：テストの準備（90分）	近藤　真治

評価方法	内科学用語課題10%、まとめのテスト①45%、まとめのテスト②45%
教科書・参考書	教科書は使用しない。資料はAIDLE-Kにアップする。
履修上の注意点 及び取扱い	１　2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 ２　出席管理システムにより出席の確認をする。 ３　再試験は１回のみ実施する。 ４　まとめのテスト②の終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	金曜日　16:10～17:40　Ｃ棟５階教授室６
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	手話		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Sign Language		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 林　咲子
講　　師(非)	黒坂　美智代

科目概要	ろう者の母語である日本手話を学修する。日本手話は、言語的には日本語と異なった文法を持つ言語である。本科目では、日本手話による日常的な挨拶や自己紹介、指文字、数字の学修を行う。また、医療に関する手話の単語や表現を学修する。
目標	１　日本手話で自己紹介ができる。「ＤＰ：１・４」 ２　日本手話で簡単な挨拶ができる。「ＤＰ：１・４」 ３　日本手話で簡単な日常会話ができる。「ＤＰ：１・４」 ４　医療現場における基本的な手話表現ができる。「ＤＰ：１・４」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/05/22 (水)	3	日本手話とは？ (手話と日本語は別の言語であることを理解する)	講義・演習	前：テキスト「はじめての手話　初歩からやさしく学べる手話の本」のp.47までと「Culture Notes」を読む。(30分) 後：講義の内容について復習しておく。(30分)	黒坂　美智代
2	2024/05/22 (水)	4	挨拶、名前、年齢、Yes/No疑問文、Wh疑問文	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
3	2024/06/05 (水)	3	家族（両親、兄弟、末っ子、双子）	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
4	2024/06/05 (水)	4	職業、学生	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
5	2024/06/12 (水)	3	出身、住所	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
6	2024/06/12 (水)	4	会話レッスン（理解）	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
7	2024/06/19 (水)	3	略歴（年目/年前/年間）	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
8	2024/06/19 (水)	4	カレンダー、曜日、天候	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
9	2024/06/26 (水)	3	一日の流れ、時間（起床/寝床）	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
10	2024/06/26 (水)	4	通学、通勤、交通機関（混む/空く）	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子

11	2024/07/03（水）	３	スポーツ	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
12	2024/07/03（水）	４	小テスト	講義・演習	前：第１回～第11回までの確認。(60分)	林　咲子
13	2024/07/10（水）	３	ろう者の生活(ろう者の生活と聴者の生活の違いを理解する)	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
14	2024/07/10（水）	４	怪我と病気	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
15	2024/07/17（水）	３	医療現場における会話レッスン	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	林　咲子
16	2024/07/25（木）	２	定期試験			林　咲子

評価方法	小テスト（30%）、定期試験（50%）、授業態度（20%） 定期試験が不合格となった場合は、再試験を１回行う。
教科書・参考書	教科書： １　木村晴美他（2014/8）：「はじめての手話　初歩からやさしく学べる手話の本」、改訂新版、生活書院、定価1,650円（税込み） 参考書： １　前川和美他（2022/8）：「しくみが身につく手話１　入門編(DVD付)、白水社、定価2,090円（税込み） ２　岡典栄他（2011/4）：「文法が基礎からわかる日本手話のしくみ」、大修館書店、定価1,320円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　授業は日本手話で行われます。声はまったく使用しません。 ２　2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ３　出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻)により出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計2回、打刻する。 ４　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	授業に関する質問等は講義後に対応する。
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	中国語		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Chinese		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 李　恩郷

科目概要	本科目では、中国語の基礎知識を身につけることを目標とする。中国語の発音記号であるピンイン（日本語のひらがなに相当）の読み書き、基本文法及び文型、実用的な日常会話、あいさつ用語、さらに医療に関する中国語の語彙や表現を学習する。今後中国語を続けて学習したい学生たちに自習できる力をつけることも一つ目標としている。テキストの内容に合わせ、中国の文化や生活習慣、伝統、中国人の価値観などについて学ぶ。日々グローバル化が進む現代、多様な社会に適応できる語学力と教養を身につけることを目指している。
目標	１　中国語の発音記号（ピンイン）を正しく発音できる。「ＤＰ：１・４」 ２　簡単な中国語を使って自己意思が表示できる。「ＤＰ：１・４」 ３　簡単な中国語を使って自己紹介が書けるようになる。「ＤＰ：１・４」 ４　医療に関わる中国語の用語を習得する。「ＤＰ：１・４」 ５　今後の中国語学習に役立てられるよう、中国語の辞書の調べ方を把握し、調べることができる。「ＤＰ：１・４」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/29（水）	2	ガイダンス・中国語の特徴と学び方 第一課　こんにちは （声調、単母音）	講義	前：P6-9を読む。 後：本文の朗読練習、人称代名詞を覚える。 前後各30分	李　恩郷
2	2024/06/05（水）	1	第二課　あげるよ （子音、無気音と有気音、そり舌音、家族の言い方）	講義	前：P10-13を読む。 後：本文の朗読練習、家族の言い方を覚える。 前後各30分	李　恩郷
3	2024/06/05（水）	2	第三課　お名前は？ （複合母音、鼻母音、数の言い方）	講義	前：P14-17を読む。 後：本文の朗読練習、数の言い方を覚える。 前後各30分	李　恩郷
4	2024/06/12（水）	1	第四課　いかがですか （声調記号のつけ方、声調の変化、ｒ化音、曜日・日・月・年）	講義	前：P18-21を読む。 後：本文の朗読練習、曜日・年月日の言い方を覚える。 前後各30分	李　恩郷
5	2024/06/12（水）	2	ピンインの総合練習　辞書のひき方 第五課　タクシーに乗る （単語・文法の説明、本文の朗読練習、簡単なあいさつ）	講義	前：P22-23を読む。 後：ピンイン全体の復習、第五課の単語を暗記。 前後各30分	李　恩郷
6	2024/06/19（水）	1	第五課　単語の復習と本文の翻訳、練習問題	講義	前：P24-25を読む。 後：本文の朗読練習、練習問題を解く。 前後各30分	李　恩郷

7	2024/06/19 （水）	2	第六課　果物を買う （単語・文法の説明、本文の朗読練習、こそあど）	講義	前：P28-29を読む。 後：本文の朗読練習、第六課の単語を暗記。 前後各30分	李　恩郷
8	2024/06/26 （水）	1	第六課　単語の復習と本文の翻訳、練習問題	講義	前：P30-31を読む。 後：本文の朗読練習、練習問題を解く。 前後各30分	李　恩郷
9	2024/06/26 （水）	2	第七課　友人を訪れる （単語・文法の説明、本文の朗読練習、よく使うあいさつ）	講義	前：P34-35を読む。 後：本文の朗読練習、第七課の単語を暗記。 前後各30分	李　恩郷
10	2024/07/03 （水）	1	第七課　単語の復習と本文の翻訳、練習問題	講義	前：P36-37を読む。 後：本文の朗読練習、練習問題を解く。 前後各30分	李　恩郷
11	2024/07/03 （水）	2	文章の講読：診察を受ける 医療用語及び単語	講義 VTR視聴	前：事前配布の資料を読む。 後：資料内容の理解を深める。 前後各30分	李　恩郷
12	2024/07/10 （水）	1	第八課　食事に行く （単語・文法の説明、本文の朗読練習、感謝の言い方）	講義	前：P40-41を読む。 後：本文の朗読練習、第八課の単語を暗記。 前後各30分	李　恩郷
13	2024/07/10 （水）	2	第八課　単語の復習と本文の翻訳、練習問題	講義	前：P42-43を読む。 後：本文の朗読練習、練習問題を解く。 前後各30分	李　恩郷
14	2024/07/17 （水）	1	作文練習①：中国語で自己紹介を書こう 名前、所属、趣味、家族構成、将来の夢…などがいえるようになる	講義 発表	前：発表内容を準備する。 後：自己紹介文を修正する。 前後各30分	李　恩郷
15	2024/07/17 （水）	2	試験前の練習問題	講義	前：試験前の練習問題を解く。 後：総復習 前後各30分	李　恩郷
16	2024/07/24 （水）	2	定期試験			李　恩郷

評価方法	毎回の宿題10%、小テスト40%、期末試験50% 愛知医科大学看護学部履修規程に基づき、やむを得ない事由により受験できない者や、試験に不合格の者には、追試験、再試験を行うことがある。
教科書・参考書	教科書： １　張 勤著「これでパーフェクト！新・中国語の旅」、朝日出版社(2014/1)、定価2,420円(税込み) 参考書： 授業内容に応じて、プリントを配付します。
履修上の注意点 及び取扱い	１　発音練習やテキストの朗読など、皆で声を出しながら授業を進めていくので注意すること。 ２　出席を重視する。30分以上の遅刻や早退は欠席扱いとする。出席が３分の２に満たない場合は、受験資格を認めない。 ３　再試験は１回のみとし、不合格の場合は、次年度に再履修する。 ４　課題に対するフィードバック:試験に関しては次回の授業で解説し、レポートなどは修正して学生に返す。
オフィスアワー	質問は講義終了後に受け付ける。
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	スペイン語		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Spanish		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	３学年次		

担当教員	
職種	氏名
講　　師(非)	◎ 古川　亜矢

科目概要	スペイン語は、スペインやラテンアメリカなど、21の国と地域で公用語となっている国際語である。その話者は世界中で4億人を超える。本科目では、看護・医療系の語彙、表現、練習問題を多く取り入れたテキストを用いて初級文法を習得し、ペアワークやグループワークを通して簡単なコミュニケーションを実践する。また、スペイン語圏の文化も紹介する。スペイン語圏の文化の多様性を理解する課程で、多文化に対する柔軟で寛容な姿勢を培う。
目標	１　スペイン語の現在時制を用いて身の回りのことが言える。「ＤＰ：１・４」 ２　スペイン語圏の多様な文化について説明できる。「ＤＰ：１・４」 ３　病院の患者とスペイン語で基本的なコミュニケーションができる。「ＤＰ：１・４」 ４　医療関係の基本的語彙を使用できる。「ＤＰ：１・４」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/08 (月)	5	１　スペイン語圏の国と地域について ２　Introducción アルファベット、母音の発音、自己紹介	文法説明、PW、GW	前：地図でスペイン語圏の国と首都について確認しておく 後：講義の復習、CD発音2,3 前後各30分	古川　亜矢
2	2024/04/15 (月)	5	Introducción アクセントの位置、子音：注意すべき綴りと音	文法説明、PW、GW	前：教p.2-3を読む 後：講義の復習、CD発音4 前後各30分	古川　亜矢
3	2024/04/22 (月)	5	１課　名詞の性と数、形容詞、主格人称代名詞	文法説明、PW、GW	前：教p.4-5の予習 後：講義の復習、CD発音6-8、教p.6の会話を和訳する、教p.7の練習問題を解く 前後各30分	古川　亜矢
4	2024/05/13 (月)	5	２課　動詞ser、所有形容詞	文法説明、PW、GW	前：教p.8-9の予習 後：講義の復習、CD発音13,14、教p.10の会話を和訳する、教p.11の練習問題を解く 前後各30分	古川　亜矢
5	2024/05/20 (月)	5	３課　直説法現在形、前置詞	文法説明、PW、GW	前：教p.12-13の予習をする 後：講義の復習、CD発音19,20、教p.14の会話を和訳する、教p.15の練習問題を解く 前後各30分	古川　亜矢

6	2024/05/27 （月）	５	４課　動詞estar、hay+名詞	文法説明、PW、GW	前：教p.16-17の予習 後：講義の復習、CD発音24-26、教p.18の会話を和訳する、教p.19の練習問題を解く 前後各30分	古川　亜矢
7	2024/06/03 （月）	５	５課　不規則動詞　語幹母音変化動詞、直接目的格人称代名詞	文法説明、PW、GW	前：教p.20-21の予習 後：講義の復習、CD発音31,32、教p.22の会話を和訳する、教p.23の練習問題を解く 前後各30分	古川　亜矢
8	2024/06/08 （土）	３	前半まとめ　動詞を中心とした練習問題を解く	文法説明、PW、GW	前：教p.1-21の復習 後：練習問題の復習 前後各30分	古川　亜矢
9	2024/06/08 （土）	４	１　文化紹介（スペインの食文化、ラテンアメリカの世界遺産） ２　Juego de Oca	文化紹介、GW	前：教p.62基数詞の予習 後：講義の復習、CD発音81 前後各30分	古川　亜矢
10	2024/06/10 （月）	５	６課　１人称単数不規則動詞、間接目的格人称代名詞	文法説明、PW、GW	前：教p.24-25の予習 後：講義の復習、CD発音36,37、教p.26の会話を和訳する、教p.27の練習問題を解く 前後各30分	古川　亜矢
11	2024/06/17 （月）	５	７課　gustarとdoler、その他pasar, picar, interesar, encantarなど	文法説明、PW、GW	前：教p.28(3以外)-29の予習 後：講義の復習、CD発音40,41、教p.30の会話を和訳する、教p.31の練習問題を解く 前後各30分	古川　亜矢
12	2024/06/24 （月）	５	７課　比較	文法説明、PW、GW	前：教p.28比較の予習 後：講義の復習、CD発音42 前後各30分	古川　亜矢
13	2024/07/01 （月）	５	８課　再帰動詞	文法説明、PW、GW	前：教p.32の2の予習 後：講義の復習、CD発音46、教p.35の2の練習問題を解く 前後各30分	古川　亜矢
14	2024/07/08 （月）	５	後半まとめ　再帰動詞とgustar型動詞を中心とした練習問題を解く	文法説明、PW、GW	前：教p.24-32の復習 後：練習問題の復習 前後各30分	古川　亜矢
15			テーマ「私の一日」を再帰動詞と一般動詞を用いてスペイン語で作文する	オンデマンド　課題を提出して添削を受ける	前：再帰動詞の復習 後：添削を受けた作文の直し 前後各30分	古川　亜矢
16	2024/07/22 （月）	５	定期試験	筆記試験		古川　亜矢

評価方法	定期試験50%、授業への参加態度30%、課題レポート10%、小テスト10% 定期試験が不合格となった場合は、再試験を１回行う。
教科書・参考書	教科書：１ 高橋覚二、その他著：「¿ケ・テ・パサ？－初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心に－」、朝日出版社、初版(2009/1)、定価 2,310円(税込み) 参考書：初回の講義で辞書について案内をする。
履修上の注意点及び取扱い	１　2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ２　遅刻3回で欠席1回とみなす。 ３　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。 ４　略字の凡例　PW：ペアワーク、GW：グループワーク、CD発音：CDを聞いて発音練習をする

オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。 また、下記メールアドレスへのメールで対応することも可能。 Email：afurukawa.jugyo@gmail.com
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	文化人類学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Cultural Anthropology		
科目区分	教養科目群 社会科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 加藤　英明

科目概要	文化人類学の理論とフィールドワークをもとに世界の多様な文化を比較しながら学修する。特に家族・医療・宗教・死・身体をキーワードとする。講義を通して異文化理解をし、文化とは何か、人間とは何かを知る。その上で、他者との共存・協力のあり方を考える力を育てる。
目標	１　文化の多様性とその背景を説明できる。「DP：2～4」 ２　文化によって価値観や信念、考え方が異なることを理解し他者との関係をつくることができる。「DP：2～4」 ３　他者を理解することで、私たちが「あたりまえ」と思っていることに気づくことができる。「DP：2・4」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/05/27 (月)	2	ガイダンスと文化人類学の概要	講義	予習：文化に関連する話題やキーワードについて調べる。 復習：配付資料をもとに、文化人類学についてどのような学問か考える。 前後各120分	加藤　英明
2	2024/06/03 (月)	2	文化人類学の歴史と方法	講義	予習：文化人類学の図書（エスノグラフィ）を読む。 復習：配付資料をもとに、文化人類学の歴史と方法について理解を深める。 前後各120分	加藤　英明
3	2024/06/10 (月)	2	家族・結婚：世界にはどのような家族・結婚のかたちがあるかを学ぶ。	講義	予習：家族や結婚に関する話題やキーワードを調べる。 復習：配付資料をもとに、異文化における家族や結婚のかたちについて理解を深める。 前後各120分	加藤　英明
4	2024/06/17 (月)	2	宗教：世界にはどのような宗教のかたちがあるかを学ぶ。	講義	予習：宗教についてどのようなイメージをもっているのか考えをまとめる。 復習：配付資料をもとに、民族宗教の事例を見直し、あらためて宗教について考える。 前後各120分	加藤　英明

5	2024/06/24（月）	2	病と治療：人間がどのように病気に対処してきたのかを学ぶ。	講義	予習：病気や治療についてどのように考えているかまとめる。 復習：配付資料を踏まえ、伝統医療と近代医療の共存がどのように成り立つのか考える。 前後各120分	加藤　英明
6	2024/07/01（月）	2	死：人間が死に対して、どのように向き合い、乗り越えてきたのかを学ぶ。	講義	予習：死に関する話題やキーワードを調べる。 復習：配付資料をもとに、とくに社会的な死をめぐる事例を踏まえ、看護の現場での死について考える。 前後各120分	加藤　英明
7	2024/07/08（月）	1	身体：身体加工をテーマに、人間がどのように身体に向き合ってきたのかを学ぶ。	講義	予習：身体に関する話題やキーワードを調べる。 復習：配布資料をもとに、身体加工をめぐる異文化同士のコンフリクトを整理する。 前後各120分	加藤　英明
8	2024/07/08（月）	2	講義のまとめ	講義	予習：今までの講義を簡潔にまとめ要点を述べることができるようにする。 復習：あらためて文化人類学とは何かを考える。 前後各120分	加藤　英明

評価方法	リアクションペーパー40%　期末レポート60% 不合格者へは原則として１回再試験（レポート）を実施する。
教科書・参考書	教科書：使用しない。スライド資料を毎回の授業で配付する。 参考書：適宜授業で提示するが、とくに以下の文献が参考になる。 １　波平恵美子編(2021/1)：「文化人類学（系統看護学講座、基礎分野）」、第4版、医学書院、定価2,530円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席の確認はカードリーダへの打刻による。出席が3分の2に達していない場合は期末レポートの提出を認めない。 ２　定期試験について期末レポートの提出を持っておこなう。 ３　リアクションペーパーは、講義日の翌日までにAIDLE-Kに提出する。 ４　リアクションペーパーについて、次回講義で一部抜粋し10分から15分ほどの時間を使って解説する。
オフィスアワー	授業終了後に相談する。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	経済学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Economics		
科目区分	教養科目群 社会科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 石田　昌夫

科目概要	マクロ経済学の標準的な内容の基礎的な部分を概説し、マクロ経済学とミクロ経済学の関係を理解する。 また、現実の経済問題について、経済学の基礎的理解に基づいた考察と判断ができる素材を習得する。 日常生活の中では日々多くの経済用語が用いられている。これらの言葉を正確に理解しておくことは、起きている事象の一層広く深い洞察を可能とする。経済に直接関わる事象以外でも、問題の経済的側面(だれが得をするのか等)を考えることで、別の視点が与えられることともなる。 ミクロ経済学では、個別の問題を精緻に分析する手法を学ぶ。マクロ経済学では、問題を大域的な見地から考察する手法を習得する。
目標	日常生活のさまざまな出来事を、経済学の視点から考えることができる。言い換えれば、日々の生活の中で気づかれないけれども働いている経済法則が見えるようになる。これにより、現実の社会における経済問題理解の場面で、正しい判断が下せるようになる。現代の社会が直面する経済問題のうちの大きなものについて、自分なりの見解をもつことができる。例えば現実社会における経済の力と限界、市場経済における政府の役割、所得や富の格差の問題、財政赤字への対応、経済の安定と成長などついて、合理性と整合性を備えた識見を得ることができる。「ＤＰ：２」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/05/30(木)	2	授業の進め方、評価の方法。 経済学の大まかな流れ、経済の素朴な疑問、ミクロ分析とマクロ分析	スライドと板書を併用した講義	講義に臨むに当たり、日頃から新聞・雑誌・ネットなどの経済記事を読んでおく。 講義内容を十分理解し、再確認したうえで次回の講義に出席する(240分程度)。	石田　昌夫
2	2024/06/04(火)	2	経済主体と経済循環、所得分配、フローとストック	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次回の講義に出席する(240分程度)。	石田　昌夫
3	2024/06/11(火)	2	付加価値とGDP、中間生産物と最終生産物	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次回の講義に出席する(240分程度)。	石田　昌夫
4	2024/06/18(火)	2	付加価値の三面等価原則、生産・分配・支出	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次回の講義に出席する(240分程度)。	石田　昌夫
5	2024/06/25(火)	2	国民所得の諸概念、名目GDPとGDP、物価指数	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次回の講義に出席する(240分程度)。	石田　昌夫

6	2024/07/02 (火)	2	乗数理論とその多角的理解	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次回の講義に出席する(240分程度)。	石田　昌夫
7	2024/07/09 (火)	2	政府と乗数、政府支出乗数、租税乗数	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次回の講義に出席する(240分程度)。	石田　昌夫
8	2024/07/16 (火)	2	租税の理論、経済安定政策	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次回の講義に出席する(240分程度)。	石田　昌夫
9	2024/07/23 (火)	4	定期試験			石田　昌夫

評価方法	出席状況　10点 小テスト　20点 期末試験　70点
教科書・参考書	教科書　なし 参考書　必要に応じ、授業内で適宜紹介する
履修上の注意点 及び取扱い	毎回スライドで授業を進める。教材はないので、話を注意深く聞く。 丁寧な説明を心がけるので、その場で理解するよう努める。 不明な点・疑問点は、メールで問い合わせる。アドレスは授業時に知らせる。 定期試験の不合格者に対する取扱いについては、レポートの提出を課すこととする。 定期試験後、不明な点、納得しづらいと感じられる内容等がある場合は、希望により質問の機会を設ける。
オフィスアワー	疑問・意見等にはメールで対応する。気兼ねなく発信されたい。
備考	・授業の内容はどれも上記記載の目標に直接資するものであり、正確な理解が望まれる。 ・小テストについては、事後に詳しく解説する。期末試験の実施に際しては、あらかじめ例題を用いて要点の把握が確実にできているかを確かめる機会をもつ。 ・抽象的な理論を例によって説明する際には、最新の資料を用いることにする。これにより、理解が実感のレベルに達することを目指す。 ・生成AIは、この授業に関するかぎり、理解を深めるための有効なツールであり、積極的な利用を推奨したい。そこから何らかの疑問や意見が生まれた場合、遠慮なく発言願う。

講義名	家族社会学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Family Sociology		
科目区分	教養科目群 社会科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 加藤　典子

科目概要	現代では家族のあり方が多様化している。適切な看護を行うためには、個人のみならず、家族や家族を取り巻く社会の理解が欠かせない。本科目では、日常の中で身近な存在として常識的に捉えてきた「家族」概念を社会学的視点から再検討し、集団としての家族、制度としての家族などの視点から家族を捉える多様なアプローチを学び、家族に対する理解を深める。更に、現代の家族に特徴的な病理現象を取り上げ、個人と家族と社会の関わりについて理解する。
目標	１　相互作用アプローチを用いて、自分の家族観を相対化し、家族に求めるものが人により異なることに配慮できる。［DP：1］ ２　制度的アプローチを用いて、家族が、制度の中で時代や社会に拘束されつつ形成されていることを説明できる。［DP：1・5］ ３　構造－機能アプローチを用いて、近代化による領域の分離が、家族に与えた影響について、論じることができる。［DP：1・5］ ４　発達アプローチを用いて、社会と家族、あるいは家族と個人の、関連について述べることができる。［DP：1・5］ ５　場（状況）アプローチを用いて、家族問題の解決方法を、社会学的な視点から指摘できる。［DP：1・5］ ６　医療現場から報告・提案を行うための基礎能力として、２次データの読み取りや使用ができる。［DP：5］

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/05/28(火)	1	オリエンテーション：家族社会学とは	講義	前：家族に関するニュースや記事を読み、関心を持った物を持ち寄る。 後：自分の家族概念を振り返り、考察する。 前後各120分	加藤　典子
2	2024/06/04(火)	1	家族の概念：家族・家庭・世帯、家族観とファミリーアイデンティティ	講義・演習(ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ)	前：自分の家族のファミリーマップを作成する。 後：ファミリーアイデンティティと家族形態から事例を分類する。 前後各120分	加藤　典子
3	2024/06/11(火)	1	家族の構造：小家族化、核家族化	講義・演習(ﾃﾞｰﾀの読取)	前：事前配付の資料から、家族構造の変化に関するデータを読み取る。 後：配付資料を読み、家族構造の変化についてまとめる。 前後各120分	加藤　典子
4	2024/06/18(火)	1	家族の機能：縮小化・外部化・専門特化、分有、孤立化	講義・演習(ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ)	前：事前配付の資料を読む。 後：家族機能の変化から生じる家族問題について考え	加藤　典子

					る。 前後各120分	
5	2024/06/25 （火）	1	家族の変遷：近代家族、子供の誕生、母性愛神話	講義・演習（ﾃｷｽﾄ分析）	前：事前配付の資料を読む。 後：『子供の誕生』に示された絵画をテキストとし、そこから読み取れたことをまとめる。 前後各120分	加藤　典子
6	2024/07/02 （火）	1	家族の力学：性別役割分業、ジェンダー論、ワークライフバランス 家族の発達：地位－役割理論、家族周期論、ライフコース論	講義	前：性別に関するニュースや記事を読み、関心を持った物を持ち寄る。 後：配付資料を読み、前近代家族と近代家族の違いを整理する。 前後各120分	加藤　典子
7	2024/07/09 （火）	1	家族の病理(1)：家庭内暴力、児童虐待	講義・演習（ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ）	前：家庭内暴力または児童虐待に関するニュースや記事を読み、関心を持った物を持ち寄る。 後：配付資料を読み、家庭内暴力や児童虐待の背景・現状・解決策について、まとめる。 前後各120分	加藤　典子
8	2024/07/16 （火）	1	家族の病理(2)：障害児・者の家族、高齢者の家族	講義・演習（ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ）	前：障害児・者の家族または高齢者の家族に関するニュースや記事を読み、関心を持った物を持ち寄る。 後：配付資料を読み、障害児・者や高齢者の家族問題の背景・現状・解決策について、まとめる。 前後各120分	加藤　典子
9	2024/07/23 （火）	２	定期試験			加藤　典子

評価方法	提出物（ワークシート）50%、試験及びレポート50%で評価する。
教科書・参考書	教科書：指定しない。毎回の講義で資料を配付する。 参考書：講義の中で、適宜、紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	1　履修について 積極的に発表・発言すること。 授業の参加度は提出物も合わせて総合的にはかる。 2　出欠席について 出席の確認はカードリーダーへの打刻による。 30分以上の遅刻・早退、2回目の打刻がない者は欠席扱いとする。 3　定期試験の受験資格について 出席状況を受験資格の要件とはしない。 4　定期試験の不合格者に対する取り扱い 定期試験で不合格の場合はレポートを課す。 5　フィードバック ワークシートに対するフィードバックは講義の中で行う。
オフィスアワー	講義内容以外の質問や相談は、講義終了後に教室で対応する。
備考	・講義内容の質問は、教室で共有したいので、できるだけ授業中にすること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	統計学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Statistics		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 箕浦　哲嗣

科目概要	統計に関する基礎知識はあらゆる分野で必要であり、とくにメディカル／コ・メディアカルの分野では、身体の検査から、薬効の判断等々、更に保健所の調査まで、統計が使われる場面が非常に多い。看護研究においても量的研究を実施し、臨床看護・地域看護など様々な看護ケア関連のデータを分析する上でも、記述統計学・推測統計学の知識・技術が必須となる。また研究者でなくとも、保健統計資料や量的研究結果を正しく理解し利用するためには、統計学の知識を持つことが重要となる。本科目では、様々な場面で使われる統計の知識を身に付け、それらを正しく運用する能力を養う。
目標	１　看護研究において必要な統計リテラシーを修得できる。「DP：５」 ２　データを読み、説明し、扱うことができる。「DP：５」 ３　いくつかの確率分布、さらには推定・検定に使われる式の意味を説明できる。「DP：５」 ４　区間推定を行うことができる。「DP：５」 ５　仮説検定を行うことができる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/09/20 (金)	3	データを読み、説明し、扱う データの種類を知る 基本統計量でデータの特徴をつかむ	講義 演習	前：参考書 p.79-85を読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
2	2024/09/27 (金)	3	データを読み、説明し、扱う 元となるデータを集める 集めたデータを集計する 誤読しないデータの読み方、データの比較方法	講義 演習	前：参考書 p.86-94を読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
3	2024/10/04 (金)	3	統計と数学のきほん AIに必要な数学 AIに必要な集合・場合の数	講義 演習	前：教 p.118-124を読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
4	2024/10/11 (金)	3	統計と数学のきほん AIに必要な確率・統計	講義 演習	前：参考書 p.125-130を読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
5	2024/10/18 (金)	3	記述的解析 度数分布とヒストグラム、代表値、電卓の使い方	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣

6	2024/10/25 （金）	3	確率と正規分布 標準正規分布表の使い方	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
7	2024/11/01 （金）	3	大事な分布 二項分布、ｔ分布、カイ二乗分布、Ｆ分布	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
8	2024/11/08 （金）	3	区間推定 母集団平均の推定、ｔ分布表の使い方、割合の推定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
9	2024/11/15 （金）	3	仮説検定１ 仮説検定、第一種の過誤、第二種の過誤	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
10	2024/11/22 （金）	3	仮説検定２ 母集団と標本との比較	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
11	2024/11/29 （金）	3	独立サンプルの平均値の差の検定 ２つの母集団の平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
12	2024/12/06 （金）	3	対応のある平均値の差の検定 対応のある場合の２つの平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
13	2025/01/10 （金）	3	一元配置分散分析 ３群以上の平均値の差の検定、Ｆ分布表の使い方	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
14	2025/01/17 （金）	3	比率の差の検定 適合度の検定、独立性の検定、イエーツの連補正	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
15	2025/01/24 （金）	3	相関と回帰 相関係数、回帰直線、母相関検定、順位相関係数	演習 講義	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦　哲嗣
16	2025/01/31 （金）	3	定期試験			

評価方法	授業中に課す課題をAIDLE-Kで活動量として得点化します。定期試験は70%、活動量30%で評価します。

教科書・参考書	教科書はプリントを配布します。 参考書： １　岡嶋裕史、吉田雅裕著：「はじめてのAIリテラシー」、技術評論社（2021）定価1,848円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　電卓(ルートの計算が可能なもの：スマホ不可）及び講義用のノートを必ず準備すること。 ２　AIDLE-Kを活用しますので、予習復習に用いること。得点化されます。 ３　提出課題に記載された学生のコメントには、次回の授業にてフィードバックします。 ４　提出課題は次週までに提出すること。提出が無い場合は欠席とします。２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができません。 ５　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施します。再試験に不合格の場合は次年度に再履修を要します。
オフィスアワー	金曜日　講義終了後に受け付けます。
備考	AIおよび統計学に関して、最新の知見を取り入れて授業を構成しています。

講義名	数学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Mathematics		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授(兼　医学部)	◎ 橋本　貴宏

科目概要	看護学を学ぶために必要な自然科学の基盤となっているのが数学である。この科目の主目的は、高校までに学んだ数学を再確認して大学での学問への橋渡しをするとともに、看護研究で必要な統計学及び新時代の看護に必要なAI・データサイエンスを学修するための数学の基礎を修得することである。
目標	１　高校までに学んできた数学を整理し、大学における学問修得の土台とすることができる。「DP：5」 ２　数学を学ぶことにより、課題解決のための論理的な思考ができる。「DP：5」 ３　統計学やAI・データサイエンスを学ぶための基礎固めができる。「DP：5」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/14（火）	1	数学の基礎：四則演算、方程式と不等式、場合の数と確率	講義 演習	前：教 p.1-29を読む。 後：配付資料を読み返し、演習問題を復習する。 前後各120分	橋本　貴宏
2	2024/05/21（火）	1	集合と論理：集合、命題、論証	講義 演習	前：教 p.30-45を読む。 後：配付資料を読み返し、演習問題を復習する。 前後各120分	橋本　貴宏
3	2024/05/28（火）	1	関数・方程式とグラフ：２次関数、いろいろな関数、逆関数 ICTを活用した演習を行う	講義 演習	前：教 p.46-60を読む。 後：配付資料を読み返し、演習問題を復習する。 前後各120分	橋本　貴宏
4	2024/06/10（月）	1	数列と利息計算：等比数列、複利、ローン ICTを活用した演習を行う	講義 演習	前：教 p.61-93を読む。 後：配付資料を読み返し、演習問題を復習する。 前後各120分	橋本　貴宏
5	2024/06/17（月）	1	指数関数と対数関数：指数、対数、自然対数の底 ICTを活用した演習を行う	講義 演習	前：教 p.94-117を読む。 後：配付資料を読み返し、演習問題を復習する。 前後各120分	橋本　貴宏
6	2024/06/24（月）	1	微積分：いろいろな導関数、積分と確率、AIへの応用 ICTを活用した演習を行う	講義 演習	前：教 p.119-155を読む。 後：配付資料を読み返し、演習問題を復習する。 前後各120分	橋本　貴宏
7	2024/07/01（月）	1	線形代数：ベクトル、行列、行列の演算 ICTを活用した演習を行う	講義 演習	前：教 p.169-197を読む。 後：配付資料を読み返し、演習問題を復習する。 前後各120分	橋本　貴宏

8	2024/07/08 （月）	1	基礎数学のまとめ：総復習、問題演習	演習 講義	前：演習問題を解いておく。 後：教科書・講義ノートを復習する。 前後各120分	橋本　貴宏
9	2024/08/05 （月）	2	定期試験			橋本　貴宏

評価方法	定期試験は70%、授業中に課せられる課題演習への取り組みは30%で評価する。
教科書・参考書	教科書： １　濵　道生　著：「Excelと数学ソフトで学ぶAI時代の基礎数学」晃洋書房（2023)定価3,300円（税込み） 参考書： １　椎名　洋　他著：「データサイエンスのための数学」講談社（2019)定価3,080円（税込み） ２　岡嶋裕史、吉田雅裕　著：「はじめてのAIリテラシー」技術評論社（2021)定価1,848円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　数学IIB までの履修を前提とする。 ２　AIDLE-Kを有効活用し、各自が自学自習に励むこと。 ３　AIDLE-Kの課題やフィードバックには、次回の授業にて応答する。 ４　２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ５　課題プリントをすべて提出しないと単位は認定しない。 ６　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施する。
オフィスアワー	金曜日　17：30～19：00　基礎科学棟２階B202研究室
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	生命科学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Life Science		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授(兼　医学部)	◎ 武内　恒成
教　　授(兼　医学部)	池野　正史
准 教 授(兼　医学部)	服部　聡子
助　　教(兼　医学部)	土本　純

科目概要	医学は生命科学・生物学の土台の上に成り立っている。医療、看護の現場に立つものとしては、医療の進歩とともにその最新の知識の一端や考え方を理解しておく必要性がますます高くなっている。またこれは、解剖生理学や栄養学、臨床科目を学ぶための”最も基本”となる。 当該科目は、生物を履修したことがない学生はもとより、生物を得意とする学生も、日々進歩し従来とは大きく変容している「現代生命科学」がいかに医療に繋がっているかを中心に、生命科学の概論を医療人として論じることが出来ることを目標とする。それらの知識とともに将来にわたって医療生命科学の動向を知ることも、今後の医療人として必須である。 たとえばiPS細胞をはじめとする再生医療分野の発展に繋がり臨床応用されつつあり、DNAやmRNAの解析技術の革新は、疾患の解明と予防医学をはじめ医療現場の様相を変えようとしている。ビックデータ活用やゲノム情報の扱いは個人情報や生命倫理と関わり、医療現場のみならず日常生活とも無縁ではなくなっている。現代生命科学の進展から生命科学の基本概念と考え方を理解し、医療の現場で命とは何かを考える際に、また疾患を前にした際に、科学として説明できるための基礎知識の学修を目指す。
目標	１　生命科学と現代社会のかかわりに関して答えることができる。「DP：５」 ２　生命の基本単位である細胞と現代遺伝学の基礎を概説できる。「DP：５」 ３　ゲノム情報の発現と発生の基本原理、がんなど　医療に関わる疾患メカニズムの基本原理を概説できる。「DP：５」 ４　生化学・解剖生理学につながる　生命科学技術の進歩について概要を説明できる。「DP：５」 ５　生命倫理に関わる基本原則とその生命科学的状況についての現状を説明できる。「DP：５」 ６　医療検査技術に繋がる　ゲノム解析および細胞解析の最新の状況を説明できる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/15 (月)	３	１）生命や我々の体はどのように設計されているのだろうか？　どのようにして成り立っているのか 細胞の成り立ちと細胞内小器官【第２章１-３】 生命科学と現代社会のかかわり。　生物と何か。 【第１章】	講義 GW	前：教科書第２章のうち p25-ｐ34を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 第１章２章のコラム欄をまとめてレポート作成：R 前後各30分、合計1時間 これらを踏まえたレポート作成に時間を振り分けてください	武内　恒成
2	2024/04/15 (月)	４	２）生命はどのように設計されているのだろうか？ 生命の根本原理と遺伝　　染色体と遺伝子（DNA） 【第２章４、５】	講義 GW	前：教科書第２章p34-p42を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 第１章２章のコラム欄をま	武内　恒成

					とめてレポート作成： 前後各30分、合計1時間	
3	2024/04/22 （月）	4	３)遺伝情報・ゲノム情報はどのように発現するのだろうか？　遺伝子の発現を調節するもの。　【第３章】	講義 GW	前：教科書第３章p43-p56を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 前後各30分、合計1時間	池野　正史
4	2024/05/13 （月）	4	４）がんはどのような病気か？　どうやって直すのか、また未来への展望。 細胞増殖および細胞死、がんの診断と病理学・治療、これからのがん医療。【第６章】	講義 GW	前：教科書第６章を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 第３，４章のコラム欄をまとめてレポート作成：R 前後各30分、合計1時間 これらを踏まえたレポート作成に時間を振り分けてください。	池野　正史
5	2024/05/20 （月）	3	５）私たちの食と健康の関係：体の維持と代謝、疾患、ダイエットとQOL　　生物エネルギーとATP・酵素　【第７章】	講義 GW	前：教科書第７章読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 前後各30分、合計1時間 これらを踏まえたレポート作成に時間を振り分けてください。	土本　純
6	2024/05/20 （月）	4	６）複雑な体はどのようにしてつくられるか？　発生とは？ 発生、再生医療と受精・器官発生、これからの生殖医療　【第４章】	講義	前：教科書第４章読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 前後各30分、合計1時間 これらを踏まえたレポート作成に時間を振り分けてください。	服部　聡子
7	2024/05/27 （月）	3	７）ヒトは病原体にどのように備えているのだろうか？　　免疫応答のしくみ、免疫を活かした疾患の予防　【第８章】	講義	前：教科書第８章を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 第６章までのコラム欄をまとめてレポート作成：R 前後各30分、合計1時間 これらを踏まえたレポート作成に時間を振り分けてください。レポート作成はこの回までです。最終回（次回）終了後にはレポート作成は要求しません。	池野　正史
8	2024/06/10 （月）	3	８）脳はどこまでわかったか。我々が我々であるためには？　　最新の神経科学と神経疾患の治療　神経疾患　【第５章】 生命倫理と科学技術の将来　　【第１０章＆１１章】	講義 GW	前：教科書第５章第１１章を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 前後各30分、合計1時間 こちらから提示する試験対策問題に取り組んでください。必要最低限のまとめを1時間程度お願いします。	武内　恒成
9	2024/08/05 （月）	4	定期試験			武内　恒成

評価方法	定期試験(筆記試験を原則とする：40%)だけではなく多面的な観点から評価をする。講義中の振返り(10%)、自主的な課題レポート提出(40%)、授業への参加態度およびAIDLE-Kへのアクセスや提示される振り返りシートでの評価(10%)として、総合的に評価する。学生の皆さんからの成績評価に対する異議申し立てにも都度応じながら、試験中心ではなく課題取り組みなどの評価も進めます。参加学生みなさんの積極的な取り組みが評価につながるものと理解しての参加を期待する。なお、再試験は１回のみとする。再試験にあたっては、原則、定期試験に準ずる筆記試験とするが、総合評価の観点からレポートなどの提出を行うこともある。
教科書・参考書	教科書： １　東京大学生命科学教科書編集委員会編：「現代生命科学 第3版」、羊土社(2020/3)、定価3,080円(税込み)を教科書として、さまざまな観点から利用してもらうので”教科書を初回から準備すること”を薦めます。 参考書： １　鈴木孝仁監修：「フォトサイエンス生物図録」、数研出版(2017/2)、定価1,220円(税込み)

	参考書については、高校で用いていた図録があれば使用してください。物理選択者だった学生は、友人からの借り受けでも構いませんし、なくても構いません。
履修上の注意点 及び取扱い	１　試験は原則としては学則に準じる。 ２　講義を欠席すると講義外課題と小テストの評価にも影響するので、出来る限りの参加を促します。 ３　30分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。また講義中の積極的な参加（クリッカーや発表）は評価に加えるため、留意を促します。 ４　もしも定期試験に合格しなかった場合には再試験を１回のみ行う。 ５　定期試験前後に質問会と試験勉強に向けての対策と知っておくべき箇所の振返りを行う。日程などはAIDLE-Kなどを通して通知する。 ６　凡例 　　GW：グループワーク ７　講義等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	武内　恒成　月曜日　12：10～13：40　基礎科学棟２階B213研究室 （面談の重複を避けるため、事前の連絡あるいは講義後にコンタクトを取ったうえで対応します。） 池野　正史　火曜日　12：10～13：40　基礎科学棟２階B208研究室 （面談の重複を避けるため、事前の連絡あるいは講義後にコンタクトを取ったうえで対応します。） 服部　聡子　原則として、事前の連絡あるいは講義後にコンタクトを取ったうえでのみ対応します。 土本　　純　原則として、事前の連絡あるいは講義後にコンタクトを取ったうえでのみ対応します。 （担当教員のいずれかが何らかの形で常に対応できるようにしますが、必ず事前のメール連絡か講義後のアポイントメントをお願いします。）
備考	１　講義 ⑴　毎回講義前に教科書の該当箇所に目を通してくること。教科書の携帯と常に持ってくることはこの科目の進行において必須とします。ノートは必要とせず、教科書の中への書き込みを推奨しています。その後の学修にも、また読み物としても参考にも使える書籍ですので、是非持っていてもらうことを願います。(一コマあたり事前学習30分) ⑵　定期的に講義のはじめあるいは後半に講義内容に関する振り返りを行ったうえで振り返りシートや簡単な小テストを行うこともある。必ず知っておいてほしい事項は講義のなかで指示するため、数分でも振り返りをしておくことを推奨します。それを踏まえたうえで、⑶の継続的な取り組みを高く評価します（全体で60%）。 ⑶　定期的に該当項目に関する簡単な自発的なレポート提出をしてもらいますので（教科書のコラム欄を中心とした自学振り返り）、各自事後課題を行っておくこと（一コマあたり60分程度）。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	化学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Chemistry		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授(兼　医学部)	◎ 有信　哲哉

科目概要	生命現象を分子レベルで理解するための基盤となる有機立体化学の基本を学ぶ。生体分子の機能や役割を分子レベルで理解するために化学の素養を高め、今後も発展する看護学・医学・生命科学に対して生涯にわたって自律的に学び続けるための学力基盤をつくることを目的とする。
目標	１　有機化合物の立体構造を表記できる。「DP：５」 ２　重要な有機化合物の性質・反応性を説明できる。「DP：５」 ３　生体を構成する分子の構造的特徴について述べることができる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/04/17(水)	4	第一周期、第二周期の元素の電子式	講義	前：電子式について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前３０分、後６０分	有信　哲哉
2	2024/04/24(水)	3	第三周期の元素の電子式、周期表、共有結合	講義	前：第三周期の元素の電子式、周期表、共有結合について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前３０分、後６０分	有信　哲哉
3	2024/05/01(水)	3	結合角と分子の形、VSEPA理論	講義	前：結合角と分子の形、VSEPA理論について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前３０分、後６０分	有信　哲哉
4	2024/05/01(水)	4	官能基、骨格構造式	講義	前：官能基、骨格構造式について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前３０分、後６０分	有信　哲哉
5	2024/05/08(水)	3	立体化学（立体中心）	講義	前：立体中心について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前３０分、後６０分	有信　哲哉
6	2024/05/08(水)	4	RS配置（CIP順位則）	講義	前：RS配置（CIP順位則）について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリ	有信　哲哉

					ントを復習すること。 前３０分、後６０分	
7	2024/05/15 (水)	３	立体化学（立体配座）	講義	前：立体配座について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前３０分、後６０分	有信　哲哉
8	2024/05/15 (水)	４	生体分子（糖、アミノ酸、タンパク質）	講義	前：糖、アミノ酸、タンパク質について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前３０分、後６０分	有信　哲哉
9	2024/08/07 (水)	４	定期試験			有信　哲哉

評価方法	定期試験（90%）、提出物、授業の参加態度（10%）で総合的に評価する。
教科書・参考書	丸善出版製作：HGS～入門用、丸善出版、2017/3、定価1,760円(税込)[ISBN～] 「書籍ではありませんが、履修する上で購入が必須となります。」
履修上の注意点 及び取扱い	１　出欠席について 出席管理システムにより出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。 ２　定期試験 ⑴　２／３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得できない。 ⑵　追試験は避けられない事情で試験を受けれない理由に対して行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　定期試験に不合格の場合は、再試験を１回実施する。 ３　講義等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	火曜日　１２：４０～１３：３０ 水曜日　１２：４０～１３：３０ E-mail: arinobu@aichi-med-u.ac.jp 基礎科学棟１階化学研究室(B105)にて、質問を受け付けています。 メールで事前に連絡を取って頂ければ、他の時間帯も対応可能な場合があります。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	物理学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Physics		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授(兼　医学部)	◎ 仙石　昌也

科目概要	物理学は、自然界の様々な現象を対象として、複雑な現象に隠れた基本的な法則を探求する学問である。人体や医療に関する様々な事象が物理学の基本法則から理解できることや、診断や治療機器等の基礎となる原理などについて学ぶ。本科目では、科学的な根拠に基づく看護実践のための基礎となる物理学の基本的な概念や考え方を理解し、様々な生体現象や医療機器の原理が物理学の法則から説明できることを学ぶ。
目標	１　力の合成や力のモーメント、運動に関する基本知識や法則を使って、医療・看護その他の具体例と関連づけることができる。「DP：５」 ２　圧力に関する基本的な性質や法則を使って、医療分野での具体例や適用例を説明できる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/17 (水)	1	医療・看護学と物理学、国際単位系	講義 演習	前：看護学や物理学は何を対象とした学問か、国際単位系とは何か、事前に調査または考えを整理しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石　昌也
2	2024/04/24 (水)	1	物理学の基礎知識（物理学の考え方、ベクトル・スカラー）	講義 演習	前：ベクトル・スカラーについて事前に調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石　昌也
3	2024/04/30 (火)	2	看護とボディメカニクス１（力のモーメント）	講義 演習	前：力のモーメントについて、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石　昌也
4	2024/05/01 (水)	1	看護とボディメカニクス２（てこの原理、つりあい、重心と安定性）	講義 演習	前：てこの原理やつり合い等について、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理し	仙石　昌也

					たり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	
5	2024/05/08 (水)	1	慣性と運動の物理学（ニュートンの運動法則）	講義 演習	前：ニュートンの運動法則について、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石　昌也
6	2024/05/15 (水)	1	圧力の基礎知識(大気圧、医療現場で使われる圧力の単位)	講義 演習	前：圧力の定義や大気圧、浮力について、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石　昌也
7	2024/05/22 (水)	1	流体の性質（浮力、パスカルの原理、流体の高さと圧力）	講義 演習	前：医療現場で使われる圧力の単位や浮力、パスカルの原理について、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石　昌也
8	2024/05/29 (水)	1	流体に関する医療分野の適用例（ベルヌーイの定理、真空採血管、サイフォン）	講義 演習	前：ベルヌーイの定理、真空採血管、サイフォンについて事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石　昌也
9	2024/08/07 (水)	2	定期試験			仙石　昌也

評価方法	課題およびAIDLE-Kを使った演習問題等の提出(20%) 、定期試験(80%)
教科書・参考書	教科書： 使用しない。 参考書： １　平田雅子著：「[完全版]ベッドサイドを科学する-看護に生かす物理学 」改訂第４版(2021)、学研メディカル秀潤社、定価3, 080円(税込み) ２　佐藤和艮著：「看護学生のための物理学」第５版 、医学書院(2014)、定価2, 420円(税込み) ３　青木和雄編：「系統看護学講座　基礎分野 物理学」、医学書院(2015)、定価2, 420円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位取得の要件 ⑴　２／３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ⑵　不合格の場合は、再試験を行う。 ２　遅刻・欠席・早退について 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 ３　ICTの活用について 講義ではAIDLE-Kを使って演習問題を解答するため、講義室内でAIDLE-Kにログインできるデバイスを毎回持参する。生成AIを使用する場合は、担当教員からの指示・注意事項に従うこと。 ４　課題等に関するフィードバック その後, 講義中およびAIDLE-Kのフィードバック機能を利用して演習問題等の解説をする。
オフィスアワー	火・木曜日　17：30～18：30　基礎科学棟２階B205研究室
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	情報科学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Information Science Ⅰ		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 片山　清和

科目概要	本科目は、情報化によって医療・看護に何がもたらされるかに着目し、蓄積された情報の有効活用、安全性確保、更に患者データの不備・誤りによる医療ミスや医療過誤の危険性について学ぶ。また、情報機器の仕組みを学び、医療情報システム利用におけるデータの管理及び利活用のための、適切な情報収集、情報活用能力、情報の信頼性と妥当性を判断できるように、看護職に必要なICT(情報通信技術)のスキルや知識について学ぶ。またデータサイエンス・ＡＩの基本的な知識やスキルについても学ぶ。
目標	１　ネットワークとコンピュータ(パソコン・タブレット・スマホなどの機器)の基本的な概念を説明できる。「DP：５」 ２　セキュリティ確保・個人情報保護・著作権を理解し、適切に対処・行動できる。「DP：１・５」 ３　データサイエンス・ＡＩを理解し、データを適切に扱え、活用できる。「DP：５」 ４　WordやExcelを用いて情報を積極的に利活用できる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/19 (金)	1	ガイダンス、看護情報学とは 看護師に要求される看護情報能力 社会で起きている変化と活用されているデータ データ・ＡＩの活用領域	講義	前：看護情報学、Society5.0について調べる。 後：講義内容をまとめる。特にSociety5.0での看護について考えてまとめる 前後各30分	片山　清和
2	2024/04/26 (金)	1	コンピュータの基礎 インターネットの仕組み 電子メールの利用	講義	前：コンピュータシステムについて調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
3	2024/05/10 (金)	2	看護における情報利活用 情報とは データ・情報・知識・知恵 情報の利活用 データ・ＡＩ利活用の現場	講義	前：看護情報について調べ、教１p.63-78を読む。 後：講義内容をまとめる。特に看護におけるＡＩの利活用をまとめる。 前後各30分	片山　清和
4	2024/05/17 (金)	2	個人情報と情報倫理 個人情報とプライバシー 個人情報保護 看護における個人情報保護 データ・ＡＩ利活用における留意事項	講義	前：個人情報、個人情報保護法について調べ、教１p.95-104を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
5	2024/05/24 (金)	1	知的財産権 産業財産権 著作権	講義	前：知的財産権について調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和

6	2024/05/31 (金)	1	医療情報システム 　医療情報システム 　医療情報システムと情報セキュリティ 　データを守る上での留意事項	講義	前：医療情報システムについて調べ、教１p.112-116を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
7	2024/06/14 (金)	2	データ・ＡＩ 　データ・ＡＩ利活用のための技術と現場 　データ・ＡＩ利活用の最新動向	演習	前：教１p.23-46を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
8	2024/06/21 (金)	2	Word①：文書の作成 　タイピングの仕方 　書式設定 　文書印刷	演習	前：教２p.24-62を読み Wordの使い方と文字入力の方法を理解する。 後：タイピング練習を行い、講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
9	2024/06/28 (金)	1	Word②：編集、表の作成、画像の挿入 　配置設定 　文字装飾 　表の作成 　画像の挿入・編集	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.66-101を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
10	2024/07/05 (金)	1	Excel①：データ入力とワークシート編集 　表の作成 　表の印刷	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.104-124を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
11	2024/07/12 (金)	2	Excel②：グラフ作成と編集 　グラフ作成 　グラフの編集	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.125-136を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
12	2024/07/19 (金)	2	Excel③：基本的な関数と条件関数 　SUM関数とAVERAGE関数 　MAX関数とMIN関数 　COUNT関数とRANK関数 　IF関数	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.144-159を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
13	2024/07/26 (金)	1	Excel④：データベース機能 　LOOKUP関数 　テーブル作成 　ピボットテーブル	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.164-188を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
14	2024/07/29 (月)	1	PowerPoint：スライドの作成とスライドショー 　スライドの作成と編集 　プレゼンテーション	演習	前：タイピング練習を行う。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
15	2024/08/02 (金)	1	タイピングテスト	演習	前：タイピング練習を行う。 後：Word、Excelの操作を復習する。 前後30分	片山　清和
16	2024/08/09 (金)	2	定期試験			片山　清和

評価方法	小テスト、レポート：10%、タイピングテスト：20%、提出課題：30%、定期試験：40%
教科書・参考書	教科書：１　岡嶋裕史著「はじめてのＡＩリテラシー」、技術評論社、定価 1,848円（税込み） 　　２　実教出版企画開発部編「30時間でマスター　Word & Excel 2021」、実教出版、定価 1,100円（税込み） 参考書：太田勝正・前田樹海著「エッセンシャル看護情報学 2022年版」、医歯薬出版株式会社、2,750円（税込み）

履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 　事前・事後学習をしっかり行うこと。特に事後学習を十分に行うこと。 ２　講義・視聴覚資料について 　許可なく録音・撮影することを禁ずる。 ３　出欠席について ⑴　出欠管理システム(講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出欠を確認する。 ⑵　講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前のみの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 ⑶　遅刻・早退２回で１回の欠席扱いとする。 ４　定期試験の受験資格について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は受験資格を認めない。 ⑵　定期試験で不合格の場合は再試験を１回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 ５　フィードバックについて 　提出課題は採点後、コメントを付して返却する。 ６　凡例 　教１：教科書「はじめてのＡＩリテラシー」 　教２：教科書「30時間でマスター　Word & Excel 2021」
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	第２回から第６回まで講義時に確認テストを行う。(毎回10分程度) 第７回には第１回から第６回までの内容の小テストを行う。(30分程度) ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	情報科学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Information Science Ⅰ		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 片山　清和

科目概要	本科目は、情報化によって医療・看護に何がもたらされるかに着目し、蓄積された情報の有効活用、安全性確保、更に患者データの不備・誤りによる医療ミスや医療過誤の危険性について学ぶ。また、情報機器の仕組みを学び、医療情報システム利用におけるデータの管理及び利活用のための、適切な情報収集、情報活用能力、情報の信頼性と妥当性を判断できるように、看護職に必要なICT(情報通信技術)のスキルや知識について学ぶ。またデータサイエンス・ＡＩの基本的な知識やスキルについても学ぶ。
目標	１　ネットワークとコンピュータ(パソコン・タブレット・スマホなどの機器)の基本的な概念を説明できる。「DP：５」 ２　セキュリティ確保・個人情報保護・著作権を理解し、適切に対処・行動できる。「DP：１・５」 ３　データサイエンス・ＡＩを理解し、データを適切に扱え、活用できる。「DP：５」 ４　WordやExcelを用いて情報を積極的に利活用できる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/19 (金)	2	ガイダンス、看護情報学とは 看護師に要求される看護情報能力 社会で起きている変化と活用されているデータ データ・ＡＩの活用領域	講義	前：看護情報学、Society5.0について調べる。 後：講義内容をまとめる。特にSociety5.0での看護について考えてまとめる 前後各30分	片山　清和
2	2024/04/26 (金)	2	コンピュータの基礎 インターネットの仕組み 電子メールの利用	講義	前：コンピュータシステムについて調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
3	2024/05/10 (金)	1	看護における情報利活用 情報とは データ・情報・知識・知恵 情報の利活用 データ・ＡＩ利活用の現場	講義	前：看護情報について調べ、教１p.63-78を読む。 後：講義内容をまとめる。特に看護におけるＡＩの利活用をまとめる。 前後各30分	片山　清和
4	2024/05/17 (金)	1	個人情報と情報倫理 個人情報とプライバシー 個人情報保護 看護における個人情報保護 データ・ＡＩ利活用における留意事項	講義	前：個人情報、個人情報保護法について調べ、教１p.95-104を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
5	2024/05/24 (金)	2	知的財産権 産業財産権 著作権	講義	前：知的財産権について調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和

6	2024/05/31 (金)	2	医療情報システム 　医療情報システム 　医療情報システムと情報セキュリティ 　データを守る上での留意事項	講義	前：医療情報システムについて調べ、教１p.112-116を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
7	2024/06/14 (金)	1	データ・ＡＩ 　データ・ＡＩ利活用のための技術と現場 　データ・ＡＩ利活用の最新動向	演習	前：教１p.23-46を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山　清和
8	2024/06/21 (金)	1	Word①：文書の作成 　タイピングの仕方 　書式設定 　文書印刷	演習	前：教２p.24-62を読み Wordの使い方と文字入力の方法を理解する。 後：タイピング練習を行い、講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
9	2024/06/28 (金)	2	Word②：編集、表の作成、画像の挿入 　配置設定 　文字装飾 　表の作成 　画像の挿入・編集	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.66-101を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
10	2024/07/05 (金)	2	Excel①：データ入力とワークシート編集 　表の作成 　表の印刷	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.104-124を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
11	2024/07/12 (金)	1	Excel②：グラフ作成と編集 　グラフ作成 　グラフの編集	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.125-136を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
12	2024/07/19 (金)	1	Excel③：基本的な関数と条件関数 　SUM関数とAVERAGE関数 　MAX関数とMIN関数 　COUNT関数とRANK関数 　IF関数	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.144-159を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
13	2024/07/22 (月)	1	Excel④：データベース機能 　LOOKUP関数 　テーブル作成 　ピボットテーブル	演習	前：タイピング練習を行い、教２p.164-188を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
14	2024/07/26 (金)	2	PowerPoint：スライドの作成とスライドショー 　スライドの作成と編集 　プレゼンテーション	演習	前：タイピング練習を行う。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
15	2024/08/02 (金)	2	タイピングテスト	演習	前：タイピング練習を行う。 後：Word、Excelの操作を復習する。 前後30分	片山　清和
16	2024/08/09 (金)	2	定期試験			片山　清和

評価方法	小テスト、レポート：10%、タイピングテスト：20%、提出課題：30%、定期試験：40%
教科書・参考書	教科書：１　岡嶋裕史著「はじめてのＡＩリテラシー」、技術評論社、定価 1,848円（税込み） 　　２　実教出版企画開発部編「30時間でマスター　Word & Excel 2021」、実教出版、定価 1,100円（税込み） 参考書：太田勝正・前田樹海著「エッセンシャル看護情報学 2022年版」、医歯薬出版株式会社、2,750円（税込み）

履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 　事前・事後学習をしっかり行うこと。特に事後学習を十分に行うこと。 ２　講義・視聴覚資料について 　許可なく録音・撮影することを禁ずる。 ３　出欠席について ⑴　出欠管理システム(講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出欠を確認する。 ⑵　講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前のみの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 ⑶　遅刻・早退２回で１回の欠席扱いとする。 ４　定期試験の受験資格について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は受験資格を認めない。 ⑵　定期試験で不合格の場合は再試験を１回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 ５　フィードバックについて 　提出課題は採点後、コメントを付して返却する。 ６　凡例 　教１：教科書「はじめてのＡＩリテラシー」 　教２：教科書「30時間でマスター　Word & Excel 2021」
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	第２回から第６回まで講義時に確認テストを行う。(毎回10分程度) 第７回には第１回から第６回までの内容の小テストを行う。(30分程度) ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	情報科学Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Information Science Ⅱ		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 片山　清和

科目概要	本科目はWord、Excel、PowerPointの基礎から応用までを学ぶ。具体的には、Wordではビジネス文書や論文に必要なインデント、段組、箇条書き、段落番号などの使い方を学び、Excelでは関数を用いた高度な集計、データ分析に必要なピボットテーブルやピボットグラフについて学び、データを読んだり扱ったりするすることも学ぶ。またWordとExcelの連携についても学ぶ。さらにPowerPointでは視覚資料の基本的な作り方から、グラフや図形やSmartArtの使い方について学ぶ。
目標	１　Wordを用いて、段組やインデントなどを使い、表や図形などを挿入した文書を作成できる。「DP：５」 ２　Excelを用いて、関数を使った集計や基本的な統計処理ができる。「DP：５」 ３　データを適切に読み、適切に扱うことができる。「DP：５」 ４　WordとExcelを適切に連携できる。「DP：５」 ５　PowerPointを用いて、プレゼンテーション資料の作成ができる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/09/20 (金)	2	ガイダンス、Word① 基本的な文書の作成 図や表の挿入 印刷	演習	前：教W-1からW-38を読む。 後：講義で学習した内容を復習する。 前後各30分	片山　清和
2	2024/09/27 (金)	2	Word② ワードアート タブ 段組設定 見出し設定 脚注 ページ番号設定	演習	前：教W-39からW-57を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
3	2024/10/04 (金)	1	Word③ 文書の校閲	演習	前：教W-58からW-68を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
4	2024/10/11 (金)	1	Word④ 数式の入力	演習	前：教W-69からW-76を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
5	2024/10/18 (金)	2	Word⑤ 演習課題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：れまでに学習した内容を基に演習課題を完成させ	片山　清和

					る。 前後各30分	
6	2024/10/25 (金)	2	Excel① データの入力 表の作成と編集 表の印刷 グラフの作成	演習	前：教E-1からE-37を読む。 後：講義で学習した内容を復習する。 前後各30分	片山　清和
7	2024/11/01 (金)	1	Excel② データベース操作 複数シートの操作 関数 表示形式	演習	前：教E-38からE-79を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
8	2024/11/08 (金)	1	Excel③ 条件付き書式 高度なグラフ ピボットテーブル テーブル	演習	前：教E-80からE-108を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
9	2024/11/15 (金)	2	Excel④ マクロ WordとExcelの連携	演習	前：教E-109からE-123を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
10	2024/11/22 (金)	2	Excel⑤ 練習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
11	2024/11/29 (金)	1	Excel⑥ 演習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
12	2024/12/06 (金)	1	PowerPoint① プレゼンテーションの作成 オブジェクトの挿入 構成の変更 切り替え効果とアニメーション 印刷	演習	前：教P-1からP-38を読む。 後：講義で学習した内容を復習する。 前後各30分	片山　清和
13	2025/01/10 (金)	2	PowerPoint② 別アプリのデータ利用 スライドマスター スライドショー	演習	前：教P-39からP-58を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
14	2025/01/17 (金)	2	PowerPoint③ プレゼンテーションの流れ	演習	前：教P-59からP-63を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
15	2025/01/24 (金)	1	PowerPoint④ 演習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
16	2025/01/31 (金)	2	定期試験			片山　清和

評価方法	提出課題：40%、定期試験：60%

教科書・参考書	教科書：株式会社富士通ラーニングメディア著：「情報リテラシー Windows11 Office2021対応」、FOM出版、初版（2022/3/22）、定価 2,200円（税込み） 参考書：実教出版企画開発部編「30時間でマスター　Word & Excel 2021」、実教出版、初版（2022/10）、定価 1,100円（税込み） 岡嶋裕史著「はじめてのＡＩリテラシー」、技術評論社、定価 1,848円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 事前・事後学修をしっかり行うこと。特に事後学修を十分に行うこと。 ２　講義・視聴覚資料について 許可なく録音・撮影することを禁ずる。 ３　出欠席について ⑴　出欠管理システム(講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出欠を確認する。 ⑵　講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前のみの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 ⑶　遅刻・早退２回で１回の欠席扱いとする。 ４　定期試験の受験資格について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は受験資格を認めない。 ⑵　定期試験で不合格の場合は再試験を１回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 ５　フィードバックについて 提出課題は採点後、コメントを付して返却する。 ６　凡例 教：教科書
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	情報科学Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Information Science Ⅱ		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 片山　清和

科目概要	本科目はWord、Excel、PowerPointの基礎から応用までを学ぶ。具体的には、Wordではビジネス文書や論文に必要なインデント、段組、箇条書き、段落番号などの使い方を学び、Excelでは関数を用いた高度な集計、データ分析に必要なピボットテーブルやピボットグラフについて学び、データを読んだり扱ったりするすることも学ぶ。またWordとExcelの連携についても学ぶ。さらにPowerPointでは視覚資料の基本的な作り方から、グラフや図形やSmartArtの使い方について学ぶ。
目標	１　Wordを用いて、段組やインデントなどを使い、表や図形などを挿入した文書を作成できる。「DP：５」 ２　Excelを用いて、関数を使った集計や基本的な統計処理ができる。「DP：５」 ３　データを適切に読み、適切に扱うことができる。「DP：５」 ４　WordとExcelを適切に連携できる。「DP：５」 ５　PowerPointを用いて、プレゼンテーション資料の作成ができる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/09/20 (金)	1	ガイダンス、Word① 基本的な文書の作成 図や表の挿入 印刷	演習	前：教W-1からW-38を読む。 後：講義で学習した内容を復習する。 前後各30分	片山　清和
2	2024/09/27 (金)	1	Word② ワードアート タブ 段組設定 見出し設定 脚注 ページ番号設定	演習	前：教W-39からW-57を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
3	2024/10/04 (金)	2	Word③ 文書の校閲	演習	前：教W-58からW-68を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
4	2024/10/11 (金)	2	Word④ 数式の入力	演習	前：教W-69からW-76を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
5	2024/10/18 (金)	1	Word⑤ 演習課題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：れまでに学習した内容を基に演習課題を完成させ	片山　清和

					る。 前後各30分	
6	2024/10/25 (金)	1	Excel① データの入力 表の作成と編集 表の印刷 グラフの作成	演習	前：教E-1からE-37を読む。 後：講義で学習した内容を復習する。 前後各30分	片山　清和
7	2024/11/01 (金)	2	Excel② データベース操作 複数シートの操作 関数 表示形式	演習	前：教E-38からE-79を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
8	2024/11/08 (金)	2	Excel③ 条件付き書式 高度なグラフ ピボットテーブル テーブル	演習	前：教E-80からE-108を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
9	2024/11/15 (金)	1	Excel④ マクロ WordとExcelの連携	演習	前：教E-109からE-123を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
10	2024/11/22 (金)	1	Excel⑤ 練習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
11	2024/11/29 (金)	2	Excel⑥ 演習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
12	2024/12/06 (金)	2	PowerPoint① プレゼンテーションの作成 オブジェクトの挿入 構成の変更 切り替え効果とアニメーション 印刷	演習	前：教P-1からP-38を読む。 後：講義で学習した内容を復習する。 前後各30分	片山　清和
13	2025/01/10 (金)	1	PowerPoint② 別アプリのデータ利用 スライドマスター スライドショー	演習	前：教P-39からP-58を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
14	2025/01/17 (金)	1	PowerPoint③ プレゼンテーションの流れ	演習	前：教P-59からP-63を読む。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山　清和
15	2025/01/24 (金)	2	PowerPoint④ 演習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山　清和
16	2025/01/31 (金)	2	定期試験			片山　清和

評価方法	提出課題：40%、定期試験：60%

教科書・参考書	教科書：株式会社富士通ラーニングメディア著：「情報リテラシー Windows11 Office2021対応」、FOM出版、初版（2022/3/22）、定価 2,200円（税込み） 参考書：実教出版企画開発部編「30時間でマスター　Word & Excel 2021」、実教出版、初版（2022/10）、定価 1,100円（税込み） 岡嶋裕史著「はじめてのＡＩリテラシー」、技術評論社、定価 1,848円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 事前・事後学修をしっかり行うこと。特に事後学修を十分に行うこと。 ２　講義・視聴覚資料について 許可なく録音・撮影することを禁ずる。 ３　出欠席について ⑴　出欠管理システム(講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出欠を確認する。 ⑵　講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前のみの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 ⑶　遅刻・早退２回で１回の欠席扱いとする。 ４　定期試験の受験資格について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は受験資格を認めない。 ⑵　定期試験で不合格の場合は再試験を１回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 ５　フィードバックについて 提出課題は採点後、コメントを付して返却する。 ６　凡例 教：教科書
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	心理学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Psychology		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授(兼　医学部)	◎ 宮本　淳

科目概要	様々な心理学の基本的な知識を学ぶことによって人間理解の視野を広げる。人の行動や性格、あるいは心の問題がどのように形成されるのか？という点について理解を深める。
目標	１　対人関係における心理学の基本的な理論について説明できる。「DP：1・5」 ２　カウンセリングや心理療法について、それぞれの治療理論を説明できる。「DP：1・2」 ３　様々な心理的不適応状態について、その状態像を説明できる。「DP：1・2」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/18 (木)	2	ガイダンス：心理学とは	講義	前：参考図書など心理学に関する本を読む。 後：配布資料を読み、看護に役立つ心理学について理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
2	2024/04/25 (木)	1	対人関係における心理⑴　印象形成・対人魅力【社会心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、印象形成・対人魅力について理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
3	2024/04/25 (木)	2	対人関係における心理⑵　集団と他者の存在　【社会心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、集団心理・リーダシップについて理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
4	2024/05/02 (木)	2	対人関係における心理⑶　対人関係における心理【社会心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、対人不安・対人恐怖症について理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
5	2024/05/09 (木)	2	条件付けと動機づけについて　【学習心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、条件付けについて復習する。 前後各120分	宮本　淳

6	2024/05/16 (木)	2	防衛機制　【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、防衛機制について復習する。 前後各120分	宮本　淳
7	2024/05/23 (木)	2	心的構造論とエゴグラム　【臨床心理学】	講義 演習	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、エゴグラムについて検索するなどして理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
8	2024/05/30 (木)	2	心の健康を取り戻す⑴　精神分析　【臨床心理学】	講義 動画視聴	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、関連動画を視聴するなどして精神分析的心理療法の理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
9	2024/06/13 (木)	2	心の健康を取り戻す⑵　行動療法、認知行動療法 【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、関連動画を視聴するなどして行動療法、認知行動療法の理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
10	2024/06/20 (木)	2	心の健康を取り戻す⑶　ロジャースの来談者中心療法　【臨床心理学】	講義 動画視聴	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、関連動画を視聴するなどして来談者中心療法の理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
11	2024/06/27 (木)	2	心の問題について　【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、神経症性障害について検索し、事例を読むなどし理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
12	2024/07/04 (木)	2	パーソナリティ障害について　【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、パーソナリティ障害について検索し、事例を読むなどし理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
13	2024/07/11 (木)	2	抑うつについて　【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、抑うつ・うつ病について検索し、事例を読むなどし理解を深める。 前後各120分	宮本　淳
14	2024/07/18 (木)	2	心理テスト⑴　質問紙法・知能検査　【臨床心理学】	講義 演習	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、質問紙法心理検査・知能検査を	宮本　淳

					検索して実施するなどして復習する。前後各120分	
15	2024/07/25（木）	２	心理テスト⑵　投影法　【臨床心理学】	講義 演習	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、投影法心理検査を検索して実施するなどして復習する。 前後各120分	宮本　淳
16	2024/08/08（木）	２	定期試験			宮本　淳

評価方法	１　定期試験の結果(75%)及び復習課題（25%)により評価する。 ２　受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。 ３　定期試験で不合格の場合は、再試験を原則１回行う。
教科書・参考書	教科書： 教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。 参考書： 1　山蔦圭輔,本田 周二著:「メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論」、南山堂(2021/5) 定価2,420円（税込み） その他、授業中に適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　毎回の出席の確認は入室時と退室時のカードリーダへの打刻による。 30分以上の遅刻・早退は欠席扱い、30分以内は３回で１回の欠席扱いとする。 ２　出席が３分の２に達していない場合は、定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ３　定期試験終了後、正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題、及び総括をAIDLE-Kに掲載する。
オフィスアワー	火曜日　16：10～17：40　基礎科学棟２階Ｂ216研究室 面談の重複を避けるため、授業終了後または事前にメールでアポイントを取ることが望ましい。
備考	・学習内容の定着・応用のための復習課題をAIDLE-Kにて毎回行う（10分程度） ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	人間学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Phylosophical Anthropology		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 塚田　守

科目概要	人間であるとはどういうことか、他者との関係をどう生きたらよいのか、人間としての成長・成熟には何が要請されるか、或いは生きることの意味は何か等々、人間理解を深めながら人間存在に特有な原理・現実を学ぶ。
目標	「語り」の社会学の視点から、まず、社会における人間とは何かを理解する。 次に、社会で形成された人間の意識がどのように変化するかについて考察する。 そのような考察の中で、死に関するテーマを取りあげ、私たちが生きるとは何かについて考える。 最終的には、人間の意識の変革、死生観、生きがいなどについて考察し、人間理解を深めることを本講義の目標とする。「DP:1」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/05/02 (木)	4	社会学からみる人間論：「社会学的想像力」を中心に	講義 C.ミルズの「社会学的想像力」の概念を理解して、自らが置かれている社会的状況について、講義とグループワークをする。	復習（120分）授業でのグループワークについてまとめ、提出する（500字程度）。	塚田　守
2	2024/05/09 (木)	4	日本の教育体験の中で生まれる人間観	講義　自らが経験した教育体験について反省的に考察し、日本の教育で学んだ価値観について、講義とグループワークをする。	予習（120分）中学・高校で学んだこと、価値観は何かについて反省的文章を書いて提出する（500字程度）。 復習（120分）グループワーク、講義の内容を踏まえて、日本の教育が強調している価値観とは何かについて、考察し、まとめて提出する（500字程度）。	塚田　守
3	2024/05/16 (木)	4	人間の意識の変革	講義　諸富 祥彦「第16章	予習（120分）配布された資料（諸富、塚田）の指定されたページを読む。	塚田　守

				私を救った「いのちの目覚め」体験、塚田守「「決定的瞬間についての語りの考察」についての講義とグループワークをする。	復習（120分）講義、グループワークで議論したことをまとめて、提出する（500字程度）。	
4	2024/05/30（木）	4	人間の死について：2人称の死を中心に	講義　親の死、友人の死について考察する講義とグループワークをする。 やまだようこ[私の喪失ストーリー」『喪失の語り』pp.287-294を読む。ほかに担当者の自分史の一部にも触れる。	予習【120分）2人称の死に関するテーマに関した資料を読む。 復習（120分）2人称の死の意味について考えをまとめて、提出する（500字程度）。	塚田　守
5	2024/06/13（木）	4	人間の生き方：ヴィクトル・フランクルの実存主義的心理学から	講義　諸富 祥彦『生きがい発見の心理学』の第Ⅳ部「生きる意味」の心理学」と牧野知恵「第5章フランクルと看護」『フランクルを学ぶ人のために』：111-136について講義とグループワークをする。	予習（120分）配布された資料を読み、フランクルの3つの価値についてまとめて提出する（500字程度）。 復習（120分）講義の内容をまとめて提出する（500字程度）。	塚田　守
6	2024/06/20（木）	4	当事者の「語り」について考える	講義　アーサー・フランクの『傷ついた物語の語り手』についての講義とグループワークをす	予習（120分）自分の体験につて語りを書いて提出する（500字程度）。 復習（120分）当事者の「語り」と他者による「語り」の違いについてまとめて提出する（500字程度）。	塚田　守

				る。「語りによる「意味ある体験」の再解釈の可能性」『日本慢性看護学会誌』Vol.6 No.1(May 2012):2-7について講義する。		
7	2024/06/27（木）	4	一人の看護師の看護ケアを「語り」の社会学から考える	講義　塚田守「看護ケアにおける「気づき」の語りの分析」についての講義とグループワークをする。「看護ケアにおける「気づき」の語りの分析」『言語と表現』2015、第12号：5-37を読む。	予習（120分）6月6日の実習での「気づき」についてまとめて書いて提出する（500字程度）。 復習（120分）講義の内容を踏まえて、看護師の「気づき」についてまとめて提出する（500字程度）。	塚田　守
8	2024/07/04（木）	4	まとめと学生によるプレゼンテーション	講義　今までの授業をまとめて、学生によるプレゼンテーションとディスカッションを行う。	予習（120分）今までの授業の内容をまとめて書いて提出する（500字程度）。	塚田　守
9			最終レポートの提出			塚田　守

評価方法	毎授業の提出小レポート50%、最終レポート50%で評価する。
教科書・参考書	教科書は指定しない。授業担当者が資料をプリントして配布する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について (1) 準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 (2) 毎回の小レポートを提出する。 (3) グループワークに積極的に参加する。 ２　出欠について 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席を確認する。そのとき、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 ３　定期試験について 最終レポートの提出を持って行う。 ４　フィードバックについて 授業関連の小レポートのフィードバックは、次回の講義の最初に行う。
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。

備考	授業は学修サポートシステムAIDLE-Kを活用する。授業までにはAIDLE-Kのページにアクセスしておくこと。 毎回の講義の時に小レポートを課す。小レポートはAIDLE-Kへの投稿を持って提出する場合がある。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	形態機能学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Anatomy and Physiology Ⅰ		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 三浦　裕次

科目概要	現代の医療は、医師だけでなく、看護師や薬剤師などのさまざまな職種の人たちが協力して行われている。医学は、そのような現代の医療を支える幅広い科学であり、看護学もその一翼を担っている。解剖学と生理学は、医学の体系の中でも基礎中の基礎となる領域である。医学を学ぶ人たちは、解剖学anatomyによって人体の形態と構造を学び、生理学physiologyによって役割と機能を学ぶことから医学の学習を始める。その人体の正常な構造と機能がもとになって、病気のなりたちが理解されるようになり、それに基づいて診断と患者の治療・看護が行われる。病気に苦しむ人たちを救う医療行為には、人体へのさまざまな介入が含まれるため、人体の構造と機能についての正確な理解がなければ、その医療行為そのものが害悪をもたらすことになりかねない。解剖学と生理学についての十分な理解なしでは、現代の医療は成り立たない。
目標	看護における解剖学の習得は、フィジカルアセスメント能力を養うための重要な課題である。さらに、臨床の現場で目にする病態や症状を、人体の構造と機能の視点から解説して、解剖学の理解を臨床での実践に役立たせることが必要となる。そのため、以下を目標とする。 １　人体各部位・器官の名称と、構造の特徴を説明できる。「DP：１・５」 ２　各器官のはたらきを専門用語を用いて具体的に説明できる。「DP：１・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/22（月）	3	解剖学総論1 細胞、組織　人体の構造（序章）	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
2	2024/05/13（月）	3	解剖学総論2 発生学　体表からみた人体の構造（第１章）	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
3	2024/06/17（月）	3	消化器系1 口腔、咽頭、食道　胃、小腸、大腸（第２章）	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
4	2024/06/18（火）	3	消化器系2 肝臓、胆道、膵臓、腹腔	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所を	三浦　裕次

					まとめておくこと。(120分)	
5	2024/06/24 (月)	3	呼吸器系1 　外鼻、鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、気管（第３章）	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
6	2024/06/25 (火)	3	呼吸器系2 　肺、縦隔、胸腔	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
7	2024/06/25 (火)	4	循環器系1 　心臓、肺循環 前半のまとめ①	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
8	2024/07/01 (月)	3	循環器系2 　体循環、リンパ系、胸管、脾臓	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
9	2024/07/01 (月)	4	血液と免疫	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
10	2024/07/08 (月)	3	生殖器系 　精巣(男性)、卵巣　子宮(女性)	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
11	2024/07/16 (火)	3	内分泌系 　脳幹部、視床下部、甲状腺、副腎	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
12	2024/07/22 (月)	3	運動器系1 骨学 中盤のまとめ②	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
13	2024/07/23 (火)	3	運動器系2 　筋と腱	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次

14	2024/07/23 (火)	4	神経・感覚器系1 　中枢神経系(大脳、小脳、間脳、脊髄と脈管)	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
15	2024/07/29 (月)	3	神経・感覚器系2 　末梢神経系(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、皮膚の触覚温痛覚)	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
16	2024/08/05 (月)	3	定期テスト			三浦　裕次

評価方法	学期末試験(90%)＋小テスト(10%)
教科書・参考書	教 科 書： 坂井建雄他著:「系統看護学講座専門基礎〔1〕人体の構造と機能１　解剖生理学」、医学書院、第11版(2022/1)、定価4,180円(税込み) 参 考 書： １　Anne M Gilroy著、中野隆監訳：「プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト第２版（2023/12）」、医学書院、定価9,680円（税込み） ２　Alan Twietmeyer他著、天野修他監訳:「人体解剖カラーリングブック補訂版（2020/11）」、丸善出版、定価4,180円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席の確認はカードリーダへの打刻による。出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。 ２　再試験は２回までとする。不合格の場合は再履修とする。レポートによる救済は行わない。 ３　フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	水・金曜日　９：00～17：00　Ｃ棟７階教授室８ Email：ymiura@aichi-med-u.ac.jp　（面談の重複を避けるためメールでアポイントを取ることが望ましい。）
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	形態機能学Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	4		
（英文名）	Anatomy and Physiology Ⅱ		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 三木　研作

科目概要	形態機能学Ⅱでは、形態機能学Ⅰで学んだヒトのいろいろな臓器の部位とその名称・位置ならびに形（形態）の知識をもとに、それらの働き（機能）を学ぶことを目的とします。具体的には、体の働きを調節するための物質であるホルモンを作る臓器（内分泌系）、消化・吸収・排泄を行う臓器（消化器系）、血液を全身へ流す臓器（循環器系）、呼吸をしてガス交換を行うための臓器（呼吸器系）、体を支え動かすための筋肉・骨・関節（筋骨格系）、情報を伝えあう脳と神経（神経系）、感覚を伝える器官（感覚系）、尿を作り、排泄する臓器（腎泌尿器系）、血液の役割（血液系）、こどもを産むしくみ（生殖器系）の内容について学びます。加えて、それぞれの内容に関連した病気（疾患）や治療などにおける基礎的な知識を学ぶことも目的とします。能動的に（自身でこの学問の必要性を認識して、自身が選択した方法で受講し）、自律性をもって（自身の現在の状況やこれからの展望を冷静に判断した上）、論理的思考を活用しながら（単純な暗記ではなく、この知識がどういう知識にリンクするかを認識し、筋道立てて考えていき）、地道に誠実に学んでいく（卒業後も含め今後学び続けていくための習慣や方法を身につけていく）ことが出来ることを望みます。最後に、この科目は、今後の医療職として在学中ならびに卒業後も学びつづけていくプロフェッショナルとしての大事な基礎的な知識、考えならびに意識を構築するための礎となることを願っています。
目標	この授業の到達目標は以下のとおりです。 １　ヒトの各臓器の部位とその名称・位置ならびに、形の知識を踏まえた上で、その働きを理解し、説明できるようになること。「ＤＰ：１・５」 ２　それぞれの臓器におこる病気の成り立ちや症状・治療を、その臓器の働きなどの観点から説明できるようになること。「ＤＰ：１・５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/09/18 (水)	4	#ガイダンス：①受講・評価に関する注意事項ならびに形態機能学を学ぶにあたっての注意事項など #形態機能学の基礎（１）：からだに存在する臓器の種類とその働きを学ぶ	対面授業もしくは自身による独学を選択すること。 ただし、対面授業への15回以上の出席を必須とし、出席状況はカードリーダーへの打刻により確認する。 対面授業に関しては、出席しない方は開始時間までに	予習では、いろいろな臓器の大まかな位置と名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作

				退室すること、対面授業中は当該科目に関係ないことを行わないこと、対面授業中の私語は行わないこと、ならびに、対面授業中に５分以上の居眠りは行わないことは必ず守ってください。出席状況や受講方法は評価に関係ありません。		
2	2024/09/18（水）	５	＃形態機能学の基礎（２）：①体外の変化から体内の状態を一定に保つシステム（ホメオスターシス）の特徴　②体内にある筋の種類（骨格筋、平滑筋、心筋）とその特徴　③体内にあるいろいろな働きを持つ細胞の集まり（組織）とその特徴 ＃食物を消化・吸収・排泄する（１）：消化管の構造、口腔の働き、唾液の分泌とその役目、舌の役目、摂食嚥下をどのように行っているか	同上	予習では、口腔内の各部位の名称、舌の各部位の名称、３種類の大唾液腺の名称と部位を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
3	2024/09/25（水）	４	＃食物を消化・吸収・排泄する（２）：食道の構造とその特徴、胃粘膜にある細胞の名称と働き、小腸、大腸、肝臓	同上	予習では、食道の位置ならびに各部位の名称、胃の各部位の名称、小腸の各部位の名称、大腸の各部位の名称、２種類の肛門括約筋の名称と位置、肝臓の各部位の名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
4	2024/09/25（水）	５	＃食物を消化・吸収・排泄する（３）：胆嚢を含む胆管系、後腹膜臓器である膵臓、それぞれの栄養分（炭水化物、タンパク質、脂肪）の消化と吸収、消化管が作るホルモン	同上	予習では、総胆管や胆嚢などの胆管系の各部位の名称、後腹膜臓器の意味、膵臓の位置と各部位の名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作

5	2024/10/01（火）	5	#今までの授業の振り返り（１）	同上	予習は１回目から４回目の講義内容を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
6	2024/10/08（火）	5	#ホルモンをつくり、恒常性を保つ（１）：ホルモンとは、視床下部、下垂体	同上	予習では、視床下部の位置、下垂体の位置と各部位の名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間））。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
7	2024/10/16（水）	5	#ホルモンをつくり、恒常性を保つ（２）：甲状腺、副甲状腺	同上	予習では、甲状腺の位置と各部位の名称、副甲状腺の位置と各部位の名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
8	2024/10/23（水）	4	#ホルモンをつくり、恒常性を保つ（３）：副腎、膵臓、その他	同上	予習では、副腎の位置、膵臓の位置と各部位の名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
9	2024/10/23（水）	5	#血液を流し、いろいろな臓器へ酸素を供給する（１）：心筋、心臓、血管	同上	予習では、筋組織の特徴、心臓の位置と部位の名称ならびに心臓に接続する血管の名称、形態機能学Ｉで学んだ人体にある主要な動脈、静脈の名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間） 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
10	2024/10/30（水）	4	#今までの授業の振り返り（２）	同上	予習は６回目から９回目の講義内容を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかけ	三木　研作

					る目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	
11	2024/10/30（水）	５	＃血液を流し、いろいろな臓器へ酸素を供給する（２）：心臓の動きを調節する刺激伝導系、心電図、血圧	同上	予習では、刺激伝導系に関わる部位の名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
12	2024/11/06（水）	４	＃呼吸をして、酸素と二酸化炭素の交換を行う（１）：気道、肺、呼吸筋、肺胞内圧、胸腔内圧	同上	予習では、気道に含まれる部位の名称、鼻腔の構造と各部位の名称、副鼻腔の各部位の位置と名称、喉頭にある各軟骨の名称、気管支の区分、肺の各部位の名称、呼吸筋の種類を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
13	2024/11/06（水）	５	＃呼吸をして、酸素と二酸化炭素の交換を行う（２）：呼吸状態の判断に用いられるデータ	同上	予習は12回目の講義内容を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
14	2024/11/20（水）	３	＃体を支え、手足を動かす：骨のつくりと働き、筋の収縮	同上	予習では、形態機能学Ｉで学んだ人体に存在する骨や筋肉の名称と位置を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
15	2024/11/20（水）	４	＃今までの授業の振り返り（３）	同上	予習は11回目から14回目の講義内容を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習	三木　研作

					にかける目安時間は最大２時間）。	
16	2024/11/20（水）	５	＃末梢と情報のやりとりを行う（１）：脳と脊髄にある細胞（ニューロン、グリア細胞）と情報のやりとりに関わる物質（神経伝達物質）、大脳、小脳	同上	予習では、中枢神経と末梢神経の区別、大脳の各部位とその名称、小脳の各部位とその名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
17	2024/11/27（水）	３	＃末梢と情報のやりとりを行う（２）：間脳、脳幹、大脳基底核	同上	予習では、間脳の各部位とその名称、脳幹の各部位、とその名称、大脳基底核の各部位とその名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
18	2024/11/27（水）	４	＃末梢と情報のやりとりを行う（３）：脊髄、脊髄神経、脳神経、自律神経、随意運動	同上	予習では、脊髄の各部位とその名称、脊髄神経の種類と名称、脳神経の種類と名称、交感神経と副交感神経の解剖的配置の特徴を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
19	2024/11/27（水）	５	＃末梢から中枢へ情報を伝える（１）：体性感覚、視覚、聴覚	同上	予習では、眼の構造と各部位の名称、耳の構造（外耳、中耳、内耳）と各部位の名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
20	2024/12/04（水）	３	＃今までの授業の振り返り（４）	同上	予習は16回目から19回目の講義内容を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作

21	2024/12/04（水）	4	＃末梢から中枢へ情報を伝える（２）：平衡感覚、嗅覚、味覚	同上	予習では、前庭と半器官の構造、舌乳頭の種類と位置を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
22	2024/12/04（水）	5	＃血液中の細胞や物質は、いろいろな働きを持つ（１）：血液の成分、酸素を運ぶ赤血球、細菌などから体を守る白血球	同上	予習では、赤血球の形態学的特徴、白血球の種類とその形態学的特徴を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
23	2025/01/08（水）	3	＃血液中の細胞や物質は、いろいろな働きを持つ（２）：血を固めるしくみ（血小板と凝固系）、血栓を溶かすしくみ（線溶）	同上	予習では、血小板の形態学的特徴を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
24	2025/01/08（水）	4	＃尿をつくり、老廃物を排泄する（１）：腎臓、レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系	同上	予習では、腎臓の位置、腎臓の各部位とその名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
25	2025/01/08（水）	5	今までの授業の振り返り（５）	同上	予習は20回目から24回目の講義内容を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
26	2025/01/15（水）	3	＃尿をつくり、老廃物を排泄する（２）：膀胱、尿道、排尿のしくみ	同上	予習では、膀胱の位置、尿道の男女の長さ、２種類の尿道括約筋の名称と位置を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただ	三木　研作

					し、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	
27	2025/01/15（水）	4	#受精後妊娠し、分娩する（１）：男性編、女性編	同上	予習では、男性と女性の生殖に関わる各臓器の位置と名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
28	2025/01/15（水）	5	#受精後妊娠し、分娩する（２）：妊娠と分娩、乳腺	同上	予習では、乳房の構造とその名称を確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
29	2025/01/21（火）	4	#その他：酸塩基のバランスを保つしくみ、体内の状態を一定に保つしくみ（フィードバック機構）など	同上	予習では、pHの意味（酸性、アルカリ性）、酸塩基平衡とはどういうことかを確認しておくと理解が深まる（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
30	2025/01/21（火）	5	テスト前のまとめ	同上	予習では、授業で学んだ内容をまとめたものを用意できるようにしておく（ただし、義務ではないが、予習にかける目安時間は最大２時間）。 復習では、講義内容を自身で調べるなどして学んだ知識を深めるとよい（ただし、義務ではないが、復習にかける目安時間は最大２時間）。	三木　研作
31	2025/01/29（水）	4	定期試験			三木　研作

評価方法	期末定期試験のみで評価します（100%。授業での参加態度などは評価に加えません。小テスト、提出課題もありません）。期末定期試験には、教科書、配付資料ならびにノートの使用を可とします（タブレットなどでファイルとして内容をまとめている場合は、タブレットの使用も可。ただしWifiへの接続は不可）。90分80問（1問1点もしくは2点）の正誤問題（一つの問題（文章）が正しいか誤っているかを判断する）になります。再試験は合格するまで行います（回数の制限はありません）。また、期末定期試験の成績優秀者には今後必要となる本を進呈いたします（昨年度は病気がみえるの中の1冊でした）。最後に、当方の試験に関しては毎年同じような問題を使用していますが、この問題は絶対に愛知医科大学内外問わず他者に渡さないことということをお願いしています。もし、他者へ渡したことが分かったり、その可能性が生じた場合は、その時点で即座に試験方法の変更（問題を全部変更、口頭による試験、多肢選択式、もしくは記述式試験など）を行う可能性がありますので、ご了承ください（前年度に起こった場合はその次年度から変更する可能性があります）。
教科書・参考書	教科書： ・坂井建雄他著：「系統看護学講座 専門基礎分野　人体の構造と機能[1]　解剖生理学」、　第11版（2022/1）、　医学書院、定価4,180円（税込み） 参考図書：

	・「からだがみえる」　第１版（2023/2）、　メディックメディア、定価4,290円（税込み） （この本は教科書に挙げると電子版の選択ができないために参考図書にしてありますが、教科書に準じるものと考えています。講義ではスライドで提示はしますが、可能な限り自身で冊子版もしくは電子版のどちらかを選択して購入しておいてください。） ・病気がみえるVol.1～15 メディックメディア （4年間の間には購入しておいた方がいいと思われる本ですが、改訂が入ることもあるので、出来るだけ新しく発売されたものか、もしくは、3年生の病棟実習に行く際に購入するのがお勧めです。電子書籍版もあるので、実習への持ち運びには電子書籍版のほうがいいかもしれません。特にVo.1 消化器、Vol.2 循環器、Vol.3 内分泌、Vol.4 呼吸器、Vol.7 脳・神経は今後の学習に役立つと思います。）
履修上の注意点 及び取扱い	1. 定期試験の受験資格について ⑴ 対面授業へ15回以上の出席で定期試験の受験資格を認めます。 ⑵ 出席はカードリーダへの打刻により確認します。 2. 講義について ⑴ 対面授業もしくは学生自身による独学での学習の中から、学生自身が自身の自律性によって選択できるものとします。 ※対面授業への15回以上の出席は必須とします。 ⑵ 学生自身の都合ならびに他の授業の状況により、授業日時によって受講形態を選択していただいて構いません。 3. 対面授業について ⑴ 時刻通りに講義を開始できるよう、授業に参加されない学生の方は、授業開始時刻までに講義室から退室してください。 ⑵ 本科目と関係のない事柄に関する作業、私語、また5分以上の居眠りに関しても絶対に行わないようにしてください。 ⑶ 上記を確認した場合、まずは注意を促し改善を要望しますが、改善がなされなかった場合は厳正なる対応（該当する学生の方の単位取得を認めない、定期試験を受けることを認めないなど）を行いますので注意してください。 ⑷ パワーポイントを使用しての講義になります。原則授業予定日の前日昼までには、授業で使用する資料などはAIDLE-Kにアップできるように努力いたします。 ⑸ 途中合間に小休憩（例えば40分の授業後10分程度の休憩）をいれて進めていきます。 4. フィードバック（授業の振り返り）として、授業の最初に、前回の授業のキーワードや関連する問題が記載されたまとめのプリントを配ります。授業の最初に10分程度で講義担当者がその内容を再度確認する予定です。 5. 授業後の課題ならびに復習は義務としては課しません。自身の判断の上、授業内容を復習をしたり発展事項を調べたり、また、日常生活やネットなどのニュースの中で、講義内容に関連した内容に興味を持って、自分なりに調べたりしてみるといいと思います。そこで生じた疑問なども質問として受けつけますので、講義担当者に質問してみてください。今後プロの医療従事者として働いていく際にも、能動的に学んでいく姿勢は大事になってきます。 6. 授業で分かりにくかった内容は、講義担当者に直接ならびにメールなどで質問をしていただけるとありがたいです。また、自身で本やネット（You Tubeも有用）を利用して調べたりしてもいいと思います。限られた時間を有効に利用して、地道に能動的に学びを進めてみてください。くれぐれも定期試験前だけ勉強すればという考えは無しにして地道に学びを進めることが大学での学びにおける最短の道のりかと思います。 7. 資料や授業中の説明を活用してノートづくりをしたり、パソコンやタブレットのファイルとして学習内容をまとめ直したりする方法を個々人で模索してください。個々人に適した方法を見出すことも今後の学習に大事です。この講義の開講期間中に、その方法に関して、希望者には当方が拝見などしたい上で、いろいろ提案する機会を設けますので（ただし、任意かつ成績評価には関係無し）、随時ご連絡ください。 8. 形態機能学Ⅰで学んだことを前提としていますが、適宜、形態機能学Ⅱで必要となる場合は、授業でも再度教えることになるかと思います。予習では、授業で取り上げる分野の形態機能学Ⅰで学んだ内容を確認しておくと、形態機能学Ⅱの学びもより充実したものになるかと思います。また、予習の大まかな内容はシラバスに記載してありますが、細かな内容の指定は、授業の際にいたします。形態機能学Ⅰで学んだ内容でも要望していただけましたら、時間があればお話したいと思います。 ＊個人的には対面講義を受ける方法が知識が定着しやすいと思われますが、あくまで受講方法は自身の判断を優先してください。 ＊コロナの感染状況および学生の個々の状況を考慮して、授業中のマスク着用などのお願いをする可能性がありますのでご了承ください。
オフィスアワー	講義終了後、メールならびにその他の方法（ZOOMなど）での質問も受け付けます。
備考	高校までの学びとは異なり、大学では能動的に、そして自律性をもって、論理的思考に基づき学んでいくことが必要になります。教養科目、基礎医学、臨床医学ならびに看護学を学んでいく際に、能動性、自律性ならびに論理的思考は必要不可欠です。形態機能学Ⅱでは、教養ゼミナールや卒業研究ⅠおよびⅡと同様に、この能動性、自律性、論理的思考を構築することも目的のひとつとしています。加えて、形態機能学で学ぶ知識は、その後の臨床医学ならびに看護の各分野の学びの基礎ともなります。将来、プロフェッショナルとして歩んでいくためにも、この科目が、能動性、自律性、論理的思考のもと、学ぶ場である大学で誠実に学んでいくきっかけにしていただければと思っています。 最後に、初めての大学生活で不安なこともあるかと思いますので、授業内容のみならず、それ以外のことでも（学業、奨学金、就職、進学、生活全般など）、気になることがあれば気軽にご相談ください。 ＊最新の教育方法などの知見などに基づき、授業を行っていきます。 ＊担当者自身が行っている生理学に関する研究の成果に基づく最新の知見（ヒトの認知機能について）を取り入れて授業構成をしています。

講義名	生化学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Biochemistry		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員	
職種	氏名
教　　授	◎ 三浦　裕次

科目概要	人間の生命、身体の維持、食物の体内での利用過程などを始めとする生命活動における生体中の生化学的機能とその仕組みについて学修する。
目標	ヒトは、成長や生命の維持のために、種々の栄養素を食物から取り入れ利用し、不要になったものを排泄している。 １　生体物質の持つ役割と、どのように利用されているかを分子レベルで説明できる。「DP：１・５」 ２　生体物質の持つ役割を分子レベルで知ることにより、人間についての理解を深めることができる。「DP：１・５」 昨今の高度化した検査や治療を受ける、困難や苦しみに直面した患者さんにしっかり寄り添えるように、遺伝子レベルでの人体の機能と病気の成り立ちを勉強し、実際の看護の現場で役立つ知識と技術の基礎を身に着けていきます。

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/17（火）	3	生化学とは	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
2	2024/09/24（火）	3	遺伝情報	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
3	2024/09/30（月）	2	遺伝情報	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
4	2024/10/01（火）	3	核酸、核酸代謝	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次

5	2024/10/07（月）	2	遺伝子異常と病気①(がん)	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
6	2024/10/21（月）	3	遺伝子異常と病気②(代謝疾患)	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
7	2024/10/22（火）	3	糖質	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
8	2024/10/29（火）	3	脂質	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
9	2024/11/05（火）	3	タンパク質とアミノ酸	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
10	2024/11/19（火）	3	血液と尿・水と無機質	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
11	2024/11/26（火）	3	酵素、ビタミン	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
12	2024/12/03（火）	3	ホルモン	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
13	2025/01/07（火）	3	代謝とは	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
14	2025/01/14（火）	3	糖質代謝	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分)	三浦　裕次

					復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	
15	2025/01/21(火)	３	脂質代謝・タンパク質代謝	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
16	2025/01/28(火)	２	定期試験			三浦　裕次

評価方法	質疑応答(10%)、筆記試験(90%)を総合して評価する。
教科書・参考書	教科書： １　畠山鎮次、他著「系統看護学講座　専門基礎分野　生化学　人体の構造と機能[2]」、医学書院、第14版(2019/1)、定価2,420円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	１　出席の確認はカードリーダへの打刻による。出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。 ２　定期試験で不合格の場合は、再試験は２回までとする。 　試験の成績に学習態度の評価を加味して60点以上であった者に単位を認定する。試験の不合格者には再試験に合格することにより単位を与える。 ３　フィードバック 　授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	水・金曜日　９：00～17：00　Ｃ棟７階教授室８ Email：ymiura@aichi-med-u.ac.jp (面談の重複を避けるためメールでアポイントを取ることが望ましい。)
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	社会福祉学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Social Welfare		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 河口　尚子

科目概要	看護専門職として身につけておくべき社会福祉の基本的な知識を体系的に学ぶ。 看護専門職には現在、医療・保健・福祉その他の職種との多職種連携や地域のニーズに対応した看護・ケアが求められている。多職種連携や地域のニーズを理解するために、身につけておくべき社会福祉の基本的な知識を体系的に学ぶ。
目標	看護専門職が医療・保健・福祉との連携をはかり、地域のニーズを理解するために必要となる社会福祉を体系的に学び、以下の基本的なしくみを説明することができる。「ＤＰ：２・３」 １社会福祉制度の変遷と理念について ２社会保険の特徴について、社会扶助、民間保険との違いについて ３社会福祉法人とは何か、措置と契約を区別することについて ４社会福祉の実施主体について ５障がい児・者福祉に関する法律と施策について ６高齢者福祉に関する法律と施策について ７低所得者福祉に関する法律と施策について ８子ども家庭福祉に関する法律と施策について ９権利擁護に関する法律と施策について理解し、活用することについて 10社会福祉の課題と今後の方向性について(考えを伝える)。

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/05/13 (月)	3	オリエンテーション　社会福祉を学ぶ意義 現代社会における社会福祉の課題	講義	予習：社会福祉に関する興味をもった記事を切り抜く 復習：社会福祉を学ぶ意義についてまとめる 前後各120分	河口　尚子
2	2024/05/27 (月)	3	社会福祉の理念１　人権　　世界人権宣言　憲法25条　生存権	講義	予習：世界人権宣言について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
3	2024/05/27 (月)	4	社会福祉の理念２　人権侵害への抵抗の歴史 優生思想・施設化 ノーマライゼーション	講義	予習：旧優生保護法について 調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
4	2024/06/03 (月)	3	社会福祉の形成の歴史 貧困調査（ブース、ラウントリーによる） ナショナル・ミニマム ベヴァリッジ・プラン	講義	予習：ブースの貧困調査について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子

5	2024/06/03 （月）	4	社会保障の体系と種類 　社会保険 　社会扶助 　社会福祉サービス	講義	予習：社会保険について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
6	2024/06/10 （月）	3	社会保障・社会福祉の財政と機能 　社会保障給付費（社会支出） 　社会保障関係費 　社会保障の機能	講義	予習：社会保障給付費（社会支出）について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
7	2024/06/10 （月）	4	社会福祉法と社会福祉法人 　措置から契約へ 　苦情解決 　第3者評価	講義	予習：社会福祉法人について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
8	2024/06/17 （月）	3	社会福祉の関係法と実施主体（行政・施設）　福祉6法　福祉事務所	講義	予習：福祉事務所について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
9	2024/06/17 （月）	4	障がい児・者福祉に関する法律と施策　自立生活運動　地域生活支援	講義	予習：自立生活運動について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる。 前後各120分	河口　尚子
10	2024/06/24 （月）	3	高齢者福祉に関する法律と施策　介護の社会化　地域包括ケア	講義	予習：社会的入院について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
11	2024/06/24 （月）	4	低所得者福祉に関する法律と施策　最低限度の生活 相対的貧困	講義	予習：ホームレスについて調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
12	2024/07/01 （月）	3	子ども家庭福祉に関する法律と施策　子どもの最善の利益　社会的養護	講義	予習：児童相談所について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
13	2024/07/01 （月）	4	権利擁護に関する法律と施策　DV防止　虐待防止 成年後見	講義	予習：障害者虐待について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
14	2024/07/08 （月）	3	権利擁護と専門職の役割　相談支援　ケアマネジメント　当事者参画	講義	予習：ピア・カウンセリングについて調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
15	2024/07/08 （月）	4	社会福祉の課題と今後の方向性　ジェンダー　社会的排除　SDGs（持続可能な開発目標）	講義	予習：ＳＤＧｓについて調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口　尚子
16	2024/07/22 （月）	4	定期試験			河口　尚子

評価方法	定期試験（７０％）、振り返り用紙（３０％）
教科書・参考書	教科書：使用しない。授業で配布するレジュメ・プリントを用います。 参考書： １．厚生労働白書　各年度版

	２．障害者白書　各年度版 ３．小川喜道・杉野昭博編「よくわかる障害学」ミネルヴァ書房　２０１４年 ４．DPI女性障害者ネットワーク編［障害のある女性の困難～複合差別実態調査とその後１０年の活動から］２０２３年 その他、授業中に提示する
履修上の注意点 及び取扱い	1.学生の積極的な参加を求める。 2.出席は入室時と退室時にカードリーダにより打刻する。(2回目の打刻がない者は欠席扱いとする。) 3. 学生は講義終了後、毎回振り返り用紙を記入し提出する。 4. 講義中に紹介した文献等はできるだけ読むこと。 5. 単位取得について (1)出席は3分の2以上とする。 (2)定期試験に合格すること。不合格者には再試験を課す。再試験は1回とする。不合格の場合は次年度に再履修すること。 (3)病気等のやむを得ない理由以外での定期試験欠席は認めない。その場合は再試験は認めない。 6. 振り返り用紙に対するフィードバックを次の授業で行う。
オフィスアワー	授業の後。質問等については振り返り用紙を積極的に活動して下さい。
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	感染・免疫学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Infection and Immunology		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 三浦　裕次
講　　師(非)	内記　良一

科目概要	医療のめざましい進歩、社会・衛生環境の整備、栄養状態の改善により、感染症は著しく変貌した。コレラや赤痢など強毒病原菌による感染症は減少する一方、2002年中国に端を発した重症急性呼吸器症候群(SARS)や米国のウエストナイル熱、レジオネラ症、エイズや結核など新興・再興感染症が多く見られるようになっている。また薬剤耐性菌(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌：MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌：VRE)などの院内感染予防が重視されている。更に、新型インフルエンザウイルスやCOVID-19のSARS-CoV-2は、急速な世界的大流行(パンデミック)を起こす危険性が示唆されている。このような感染防止に十分な効果を上げるためには、感染症や免疫学に関する知識や技術を正確に理解し、それらを実践の場で生かしていく必要がある。
目標	１　ヒトに感染症を起こさせる微生物の特性を説明できる。「DP：５」 ２　感染制御（予防と治療）に関わる基本的事項、とくに消毒、ワクチン、化学療法について説明できる。「DP：１・５」 ３　生体の重要な防御および調節機構である免疫の基本的しくみを説明できる。「DP:１・５」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/09/18(水)	3	感染免疫学総論	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記　良一
2	2024/09/25(水)	3	感染源と感染経路	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記　良一
3	2024/10/02(水)	3	免疫学(Ⅰ) 免疫学の基礎	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記　良一
4	2024/10/09(水)	3	免疫学(Ⅱ) アレルギーの分類	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記　良一

5	2024/10/16 (水)	3	細菌学各論(Ⅰ) 性感染症　淋菌他(Ⅳ)	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記　良一
6	2024/10/23 (水)	3	細菌学各論(Ⅱ) 食中毒　サルモネラ、ビブリオ他	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記　良一
7	2024/10/30 (水)	3	ウイルス学各論(Ⅰ)インフルエンザ	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記　良一
8	2024/11/06 (水)	3	ウイルス学各論(Ⅱ)HIV パピローマ他	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記　良一
9	2024/11/11 (月)	3	細菌学の歩み、細菌の形態と性状、滅菌と消毒	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
10	2024/11/11 (月)	4	マイコプラズマ・クラミジア・リケッチャ感染症	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
11	2024/11/18 (月)	3	真菌・寄生虫感染症	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
12	2024/11/18 (月)	4	ワクチン概論、化学療法、抗生剤の耐性獲得と院内感染	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
13	2024/11/25 (月)	3	自己免疫疾患、臓器移植、腫瘍免疫	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
14	2024/12/02 (月)	2	細菌学各論(I)	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦　裕次
15	2025/01/20 (月)	3	細菌学各論(II)	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分)	三浦　裕次

					復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	
16	2025/01/27 (月)	３	定期試験			三浦　裕次 内記　良一

評価方法	学期末試験(90%)＋小テスト(10%)
教科書・参考書	教科書： １　藤本秀士編、他：「わかる！身につく！病原体・感染・免疫」、南山堂(2017/3)、定価3,080円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席の確認はカードリーダへの打刻による。出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。 ２　再試験は２回までとする。不合格の場合は再履修とする。 ３　フィードバック 　授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	三浦　裕次　　水・金曜日　９：00～17：00　Ｃ棟７階教授室８ Email：ymiura@aichi-med-u.ac.jp (面談の重複を避けるためメールでアポイントを取ることが望ましい。) 内記　良一　講義終了後に質問等を受け付ける。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	病理学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Pathology		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授(兼　医学部)	◎ 笠井　謙次
講　　師(兼　医学部)	伊藤　秀明
講　　師(兼　医学部)	猪子　誠人
講　　師(兼　医学部)	中村　律子

科目概要	病理学ではヒトの病気の原因や成り立ち方について、基本的な事項を学ぶ。具体的には病気の原因を病因論で、出生前の異常を先天異常で、物質代謝障害で変性や壊死を、生体防御反応として起こる炎症や生体の異常増殖で腫瘍などを学ぶ。これらの知識を看護の実践の場で生かせるよう学修する。
目標	１　病気を大きなカテゴリーに分けて説明できる。「DP：１・２・５」 ２　各カテゴリ―の特徴について説明できる。「DP：１・２・５」 ３　様々な疾患についての医学的内容のみならず、付随する社会的問題についても説明できる。「DP：１・２・５」 ４　医学用語を理解し、正確に使用できる。「DP：１・２・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	1	ガイダンス（医療における病理学の役割）、細胞傷害と適応（細胞傷害、細胞増殖、修復と再生）	講義	前：教p1-32を読む。 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	笠井　謙次
2	2024/09/18（水）	2	病因論（外因と内因、先天異常、染色体・遺伝子異常）、代謝障害（糖代謝異常、色素代謝異常、蛋白代謝異常）	講義	前：教p87-101を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	笠井　謙次
3	2024/09/25（水）	1	炎症（急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性疾患）、感染症（感染症概論、日和見感染）	講義	前：教p49-85を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	中村　律子
4	2024/09/25（水）	2	免疫異常（自然免疫、獲得免疫、アレルギー反応、自己免疫疾患）	講義	前：教p49-85を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	中村　律子
5	2024/10/02（水）	1	循環障害１（局所的循環障害、血栓と塞栓、梗塞、DIC）	講義	前：教p33-48を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	伊藤　秀明
6	2024/10/02（水）	2	循環障害２（全身性循環障害、ショック）	講義	前：教p33-48を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	伊藤　秀明

7	2024/10/09 （水）	1	腫瘍１（腫瘍の概念と命名法、進展様式）	講義	前：教p104-135を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	猪子　誠人
8	2024/10/09 （水）	2	腫瘍２（腫瘍の発生、癌遺伝子と癌抑制遺伝子、早期がんと進行がん、がん疫学）	講義	前：教p104-135を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	猪子　誠人
9	2024/10/23 （水）	2	定期試験			笠井　謙次 猪子　誠人 伊藤　秀明 中村　律子

評価方法	定期試験（多肢選択試験、一部論述試験を含む場合がある）90%、授業への参加態度10%。 定期試験不合格者には再試験を１回のみ行う。
教科書・参考書	教科書： 笹野公伸、岡田保典、安井　弥編著「シンプル病理学」（改訂第8版2020年7月）南江堂、定価3,300円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	２／３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	笠井　謙次　火曜日　16：30～18：00　研究棟２階265号室 猪子　誠人　水曜日　16：30～18：00　研究棟２階264号室 伊藤　秀明　金曜日　16：30～18：00　研究棟２階261号室 中村　律子　木曜日　16：30～18：00　研究棟２階261号室
備考	教科書を用いた予習では、特に太文字記載の医学用語の意味を確認しておくこと。 復習では講義資料を中心に適宜教科書を調べながら、医学用語の定義、病理の原因や成り立ちについて確認しておくこと。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	薬理学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Pharmacology		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授(兼　医学部)	◎ 丸山　健太
准 教 授(兼　医学部)	山口　奈緒子

科目概要	薬物による疾病の治療・予防に関する進歩はめざましい。より適切な医療のためには、医師・薬剤師はもちろん、実際にベッドサイドで看護業務を行う看護師も、臨床で使用されている薬物について的確な知識を身につけておく必要がある。本科目では、薬物の知識を持ち、効果的にヒトへの薬物療法を行うために、薬物の生体に対する作用(薬理作用)と生体の薬物に対する反応(生体系での吸収、分布、代謝、排泄などの薬物動態)について考察しながら学習する。
目標	１．薬物療法に用いる代表的な薬物について、基本的な作用機序（薬理作用）、特徴的な薬物動態、注意すべき副作用について説明できる。「DP：5」 ２．各疾患の治療に用いる薬物について、作用機序の違いに基づき分類できる。「DP：5」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/05/28(火)	3	薬理学総論 1	講義	当該単元について 前:教科書該当部位、事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	丸山　健太
2	2024/05/28(火)	4	薬理学総論 2	講義	当該単元について 前:教科書該当部位、事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	丸山　健太
3	2024/06/03(月)	3	末梢神経作用薬・心臓血管作用薬	講義	当該単元について 前:教科書該当部位、事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	山口　奈緒子
4	2024/06/03(月)	4	免疫抑制薬・抗悪性腫瘍薬	講義	当該単元について 前:教科書該当部位、事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	丸山　健太

5	2024/06/11 （火）	３	抗菌薬・抗ウイルス薬	講義	当該単元について 前:教科書該当部位、事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	山口　奈緒子
6	2024/06/11 （火）	４	中枢神経作用薬	講義	当該単元について 前:教科書該当部位、事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	山口　奈緒子
7	2024/06/18 （火）	３	消化器作用薬・呼吸器作用薬・薬害	講義	当該単元について 前:教科書該当部位、事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	山口　奈緒子
8	2024/06/18 （火）	４	物質代謝に作用する薬物	講義	当該単元について 前:教科書該当部位、事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	山口　奈緒子
9	2024/06/25 （火）	３	定期試験			丸山　健太 山口　奈緒子

評価方法	定期試験の結果で評価する（１回、全範囲、60点以上のものを合格とする）。 不合格者には再試験を行う（１回、全範囲、60点以上のものを合格とする）。
教科書・参考書	教科書： １　吉岡充弘、他著：「系統看護学講座　専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進[３]薬理学」、医学書院、第15版（2022/1）、定価2,530円（税込み） 参考書： １　野村隆英、他編：「シンプル薬理学」、南江堂、改訂第６版（2020/1）、定価3,190円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　出欠席について 出席管理システム（講義開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により出席の確認をする。 ２　定期試験について ２／３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ３　フィードバックについて 定期試験終了後のオフィスアワーに質問会を行う。
オフィスアワー	丸山 健太：　火曜日 16：30～18：00　研究棟3階357号室 山口 奈緒子：月曜日　16：30～18：00　研究棟3階359号室
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている

講義名	病態治療学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Pathophysiology and Therapeutics Ⅰ		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 大須賀　浩二
教　　授	泉　雅之
教　　授	三浦　裕次
教　　授(兼　医学部)	松山　克彦
教　　授(兼　医学部)	野手　英明
准 教 授(兼　医学部)	尾関　直樹
講　　師(非)	大野　和子

科目概要	「疾患の成り立ちと、回復の促進」を理解するには、既に履修した「人体の構造と機能(形態機能学Ⅰ、Ⅱ等)」の知識が必要となる。また、看護援助実習、更には将来看護職者として疾患を持つ患者の援助をするために、疾患の病態、診断、治療の概略を知っていることが必須である。 看護職者の活躍する領域が広がるにつれて、その援助の結果に対して責任を問われる時代になってきている。病態治療学では、看護に必要とされる疾患の成り立ちと回復の促進を学修する。
目標	看護に必要な基礎的な知識として、放射線医学、麻酔科疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、腎臓疾患、血液疾患および悪性腫瘍それぞれの病態、診断、治療について説明できる。「DP：5」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/04/12(金)	1	病態治療学総論と癌治療学(疫学・病理・治療)	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
2	2024/05/10(金)	1	放射線学(放射線診断)	講義	予：教科書②を参考図書とし、読んでくること。(120分) 復：講義内容を復習する。(120分)	大野　和子
3	2024/05/10(金)	2	放射線学(核医学・放射線障害)	講義	予：教科書②を参考図書とし、読んでくること。(120分) 復：講義内容を復習する。(120分)	大野　和子
4	2024/05/13(月)	1	循環器科(総論・不整脈-動悸-)	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治	泉　雅之

					療について復習すること。(120分)	
5	2024/05/13(月)	2	循環器科(心不全・弁膜症・先天性心疾患)	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	泉　雅之
6	2024/05/14(火)	3	麻酔科	講義	復：講義内容・配付プリントを復習する。(240分)	野手　英明
7	2024/05/14(火)	4	血液内科(総論・貧血)	講義	予：教科書⑥の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	三浦　裕次
8	2024/05/20(月)	1	循環器科(虚血性心疾患・動脈疾患(大動脈解離など)・高血圧症)	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	泉　雅之
9	2024/05/20(月)	2	腎臓内科(総論-腎臓の構造と機能-・尿の異常・尿毒症・電解質異常)	講義	予：教科書⑤の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	泉　雅之
10	2024/05/21(火)	4	呼吸器(総論・感染症)	講義	予：教科書③の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
11	2024/05/27(月)	1	腎臓内科(腎不全・腎炎・透析)	講義	予：教科書⑤の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	泉　雅之
12	2024/06/04(火)	3	心臓血管外科	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	松山　克彦
13	2024/06/04(火)	4	血液内科(白血病・血小板異常・凝固異常)	講義	予：教科書⑥の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	三浦　裕次
14	2024/06/14(金)	2	呼吸器外科	講義	予：教科書③の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	尾関　直樹
15	2024/06/21(金)	2	呼吸器(閉塞性疾患・拘束性疾患・腫瘍・胸膜疾患)	講義	予：教科書③の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二

16	2024/06/26 (水)	３	定期試験			大須賀　浩二

評価方法	定期試験(100%)を行い、得点が60点以上の者を合格とし単位を認定する。
教科書・参考書	教科書： １　石松伸一、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[1] 病態・治療総論」南江堂（2019/9）、定価2,640円（税込み） ２　放射線医学、京都医療科学大学、定価1,090円(税込み) ３　石原英樹、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[2] 呼吸器疾患」南江堂（2019/3）、定価2,200円（税込み） ４　八尾厚史、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[3] 循環器疾患」南江堂（2019/9）、定価2,640円（税込み） ５　竹田徹朗、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[7] 腎・泌尿器疾患」南江堂（2018/10）、定価2,200円（税込み） ６　安藤　潔、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[6] 血液・造血器疾患」南江堂（2019/5）、定価2,200円（税込み） 参考書： １　病気がみえるシリーズVol1～15、MEDIC MEDIA、定価3,520円～4,950円（税込み） 授業前・中に適宜資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　学修(知識)内容が多いので事前学修を必ずしておくこと。 ２　出席は毎回、入室時と退室時にカードリーダにより打刻によって確認する。学生証を忘れないこと。 ３　遅刻・早退はしないこと。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。遅刻・早退のいずれか２回で欠席１回とみなす。 ４　授業態度不良者は欠席扱いとする。 ５　単位取得について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。 ⑵　試験に合格すること。不合格者には再試験を行う。当該年度に合格しない者は、次年度に再履修をする。 ６　フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	大須賀　浩二　水曜日　13：00～17：15　Ｃ棟７階教授室９ 泉　雅之　月曜日　17：00～18：30　Ｃ棟７階教授室７ 三浦　裕次　月曜日　15：00～17：00　Ｃ棟７階教授室８ 他の講師　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	講義中に練習問題等が配付された場合は、復習に含めて学修すること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	病態治療学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Pathophysiology and Therapeutics Ⅱ		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 大須賀　浩二
教　　授	三浦　裕次
教　　授(兼　医学部)	渡邉　大輔
教　　授(兼　医学部)	小川　徹也
教　　授(兼　医学部)	古川　洋志
教　　授(兼　医学部)	渡邉　栄三
講　　師(兼　医学部)	古橋　明文
助　　教(兼　医学部)	上田　翔

科目概要	「疾患の成り立ちと、回復の促進」を理解するには、既に履修した「人体の構造と機能(形態機能学Ⅰ、Ⅱ等)」の知識が必要となる。また、看護援助実習、更には将来看護職者として疾患を持つ患者の援助をするために、疾患の病態、診断、治療の概略を知っていることが必須である。 看護職者の活躍する領域が広がるにつれて、その援助の結果に対して責任を問われる時代になってきている。病態治療学では、看護に必要とされる疾患の成り立ちと回復の促進を学修する。
目標	看護に必要な基礎的な知識として、消化器疾患、内分泌疾患、歯科口腔外科疾患、救命救急疾患、アレルギー・膠原病疾患、眼科疾患、耳鼻咽喉科疾患、皮膚科疾患および形成外科疾患それぞれの病態、診断、治療について説明できる。「DP：5」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/04/12(金)	2	消化器内科（消化管総論）	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
2	2024/04/26(金)	2	歯科口腔外科（歯・口腔の症状と疾患）	講義	予：教科書③のp288-361を読む。(120分) 復：講義内容の復習をする。(120分)	古橋　明文
3	2024/05/02(木)	1	救急・救命科(救急救命疾患)	講義	復：講義内容・配付プリントを復習する。(240分)	渡邉　栄三
4	2024/05/07(火)	3	耳鼻咽喉科（耳・鼻・咽頭の疾患・頭頸部腫瘍・外傷）	講義	予：教科書③のp120-210を読む。(120分) 復：講義内容の復習をする。(120分)	小川　徹也

5	2024/05/07 （火）	4	消化器内科（上部ならびに下部消化管疾患）	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
6	2024/05/10 （金）	4	肝・胆・膵(総論・肝疾患)	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
7	2024/05/16 （木）	5	形成外科（熱傷・褥瘡）	講義	復：講義内容・配付プリントを復習する。(240分)	古川　洋志
8	2024/05/17 （金）	1	肝・胆・膵(胆嚢・膵臓疾患)	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
9	2024/05/17 （金）	2	内分泌内科(総論・下垂体疾患)	講義	予：教科書②の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
10	2024/05/21 （火）	3	皮膚科（皮膚の構造・蕁麻疹・皮膚炎・自己免疫疾患など）	講義	予：教科書③のp7-117を読む。(120分) 復：講義内容を復習する。(120分)	渡邉　大輔
11	2024/05/31 （金）	1	内分泌内科(甲状腺疾患・副腎疾患)	講義	予：教科書②の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
12	2024/05/31 （金）	2	内分泌内科(糖尿病)・代謝疾患(高脂血症・高尿酸血症など)	講義	予：教科書②の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
13	2024/06/04 （火）	5	アレルギー・膠原病	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	三浦　裕次
14	2024/06/13 （木）	1	消化器外科	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	上田　翔
15	2024/06/21 （金）	1	眼科（視覚器の構造・白内障・緑内障などの疾患）	講義	予：教科書③のp262-285を読む。(120分) 復：講義内容の復習をする。(120分)	大須賀　浩二
16	2024/06/28 （金）	2	定期試験			大須賀　浩二

評価方法	定期試験(100%)を行い、得点が60点以上の者を合格とし単位を認定する。

教科書・参考書	教科書： １　津田泰宏、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[4] 消化器疾患」南江堂（2019/2）、定価2,640円（税込み） ２　能登　洋、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[5] 内分泌・代謝疾患」南江堂（2019/3）、定価2,200円（税込み） ３　片山一朗、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[11] 皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患」南江堂（2019/8）、定価3,080円（税込み） ４　竹末芳生、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[10] 感染症/アレルギー/膠原病」南江堂（2019/7）、定価2,420円（税込み） 参考書： １　病気がみえるシリーズVol1～15、MEDIC MEDIA、定価3,520円～4,950円（税込み） 授業前・中に適宜資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　学修(知識)内容が多いので事前学修を必ずしておくこと。 ２　出席は毎回、入室時と退室時にカードリーダにより打刻によって確認する。学生証を忘れないこと。 ３　遅刻・早退はしないこと。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。遅刻・早退のいずれか２回で欠席１回とみなす。 ４　授業態度不良者は欠席扱いとする。 ５　単位取得について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。 ⑵　試験に合格すること。不合格者には再試験を行う。当該年度に合格しない者は、次年度に再履修をする。 ６　フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	大須賀　浩二　水曜日　13：00～17：15　Ｃ棟７階教授室９ 三浦　裕次　月曜日　15：00～17：00　Ｃ棟７階教授室８ 他の講師　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	講義中に練習問題が配付された場合は、復習に含めて学修すること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	病態治療学Ⅲ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Pathophysiology and Therapeutics Ⅲ		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 大須賀　浩二
教　　授(兼　医学部)	奥村　彰久
教　　授(兼　医学部)	縣　裕篤
准 教 授(兼　医学部)	堀　壽成
准 教 授(兼　医学部)	森島　達観
准 教 授(兼　医学部)	池本　竜則
専修医(兼　医学部)	梶　優太
専修医(兼　医学部)	藤盛　允章

科目概要	「疾患の成り立ちと、回復の促進」を理解するには、既に履修した「人体の構造と機能(形態機能学Ⅰ、Ⅱ等)」の知識が必要となる。また、看護援助実習、更には将来看護職者として疾患を持つ患者の援助をするために、疾患の病態、診断、治療の概略を知っていることが必須である。 看護職者の活躍する領域が広がるにつれて、その援助の結果に対して責任を問われる時代になってきている。病態治療学では、看護に必要とされる疾患の成り立ちと回復の促進を学修する。
目標	看護に必要な基礎的な知識として、神経内科疾患、脳神経外科疾患、整形外科疾患、産科・婦人科疾患、乳腺外科疾患、泌尿器科疾患および小児科疾患それぞれの病態、診断、治療について説明できる。「DP：5」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/12/03 (火)	2	神経内科（総論・感染症・変性疾患）	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
2	2024/12/06 (金)	1	整形外科（慢性関節リウマチ・変形性関節症・変形性脊椎症）	講義	予：教科書②のp212-262を読む。(120分) 復：講義内容の復習をする。(120分)	森島　達観
3	2024/12/06 (金)	2	神経内科（脱瑞性疾患・筋疾患・抹消神経疾患）	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
4	2024/12/10 (火)	3	神経内科（認知症・機能性疾患）	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料	大須賀　浩二

					に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	
5	2024/12/10(火)	4	小児科（消化器疾患）	講義	予：教科書⑤のp44-54,p293-323を読む。(120分) 復：講義内容を復習する。(120分)	縣　裕篤
6	2024/12/12(木)	3	小児科（呼吸器疾患）	講義	予：教科書⑤のp241-250を読む。(120分) 復：講義内容を復習する。(120分)	縣　裕篤
7	2024/12/13(金)	1	脳神経外科（脳血管障害）	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
8	2024/12/13(金)	2	産科（妊娠・分娩・産褥）	講義	予：教科書の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義内容・配付プリントを復習する。(120分)	梶　優太
9	2024/12/17(火)	3	脳神経外科（脳腫瘍・頭部外傷）	講義	予：教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
10	2024/12/17(火)	4	小児科（感染症・自己免疫疾患・腫瘍）	講義	予：教科書⑤のp207-240,p335-354を読む。(120分) 復：講義内容を復習する。(120分)	堀　壽成
11	2024/12/19(木)	3	小児科（神経・筋疾患）	講義	予：教科書⑤のp171-194を読む。(120分) 復：講義内容を復習する。(120分)	奥村　彰久
12	2024/12/20(金)	1	婦人科（子宮筋腫・子宮内膜症・婦人科系腫瘍）	講義	予：教科書③のp7-124を読む。(120分) 復：講義内容を復習する。(120分)	藤盛　允章
13	2024/12/20(金)	2	乳腺外科（乳癌・乳腺疾患）	講義	予：教科書の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
14	2025/01/10(金)	1	整形外科（外傷骨折・末梢神経障害）	講義	予：教科書②のp160-177を読む。(120分) 復：講義内容の復習をする。(120分)	池本　竜則
15	2025/01/10(金)	2	泌尿器科（尿路感染症・尿路結石・腫瘍・前立腺疾患）	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀　浩二
16	2025/02/07(金)	3	定期試験			大須賀　浩二

評価方法	定期試験(100%)を行い、得点が60点以上の者を合格とし単位を認定する。
教科書・参考書	教科書： １　川上徳昭、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[8] 脳・神経疾患」南江堂（2020/3）、定価2,640円（税込み）

	２　土井田稔、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[9] 運動器疾患」南江堂2019/9）、定価2,200円（税込み） ３　百枝幹雄、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[13] 産科婦人科疾患」南江堂（2019/4）、定価3,080円（税込み） ４　竹田徹朗、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[7] 腎・泌尿器疾患」南江堂（2018/10）、定価2,200円（税込み） ５　真部　淳、他編：「看護学テキストシリーズNiCE　病態・治療論[14] 小児疾患」南江堂（2019/4）、定価2,860円（税込み） 参考書： １　病気がみえるシリーズVol1～15、MEDIC MEDIA、定価3,520円～4,950円（税込み） 授業前・中に適宜資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　学修(知識)内容が多いので事前学修を必ずしておくこと。 ２　出席は毎回、入室時と退室時にカードリーダにより打刻によって確認する。学生証を忘れないこと。 ３　遅刻・早退はしないこと。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。遅刻・早退のいずれか２回で欠席１回とみなす。 ４　授業態度不良者は欠席扱いとする。 ５　単位取得について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。 ⑵　試験に合格すること。不合格者には再試験を行う。当該年度に合格しない者は、次年度に再履修をする。 ６　フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	大須賀　浩二　水曜日　13：00～17：15　Ｃ棟７階教授室９ 他の講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	講義中に練習問題等が配付された場合は、復習に含めて学修すること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	運動の科学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Sports Science		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	選択		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 三浦　裕次
講　　師(非)	藤川　小百合

科目概要	運動が人間の健康に及ぼす影響について、科学、基礎・臨床医学・看護学の観点から探求し、医療・看護・健康増進の場における医療従事者として備える能力の重要性を学ぶ。
目標	現代における社会構造の変化は、人々のライフスタイルを変貌させている。運動不足や過栄養等に起因する肥満、高血圧、糖尿病、高脂血症といった動脈硬化につながる生活習慣病は、高齢化と相まって急増し、社会問題になっている。 １　肉体的労働からの解放に伴う運動不足補充の必要性と、生涯にわたり健康な人生を送る上での生活習慣の重要性について学習し述べることができる。「DP:１・２・５」 ２　現代生活における健康と運動の意義、運動と身体や心の健康の関係、健康な生活を送るための運動について、健康科学・運動科学の側面から基本的理解し、健康的な生活を生涯にわたって身につける知識について述べることができる。「DP:１・２・５・６」 ３　スポーツの実践により互助協力と明るい人間関係構築ができる。「DP:３」 ４　福祉に携わる健康指導者として積極的な行動と思いやり等正しい指導法について述べることができる。「DP：１・２」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/26（金）	4	現代社会の健康における運動の意義、スポーツによる心と体の健康づくり	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	三浦　裕次
2	2024/04/26（金）	5	メタボとロコモ 廃用症候群に陥らないために	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	三浦　裕次
3	2024/05/10（金）	4	リハビリテーション学　筋硬縮予防	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川　小百合
4	2024/05/17（金）	4	運動学Ⅰ(手、肘や肩関節の機能上の特徴)	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川　小百合

5	2024/05/24 (金)	4	運動学Ⅱ(足、膝や股関節の機能上の特徴、姿勢や歩行)	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川　小百合
6	2024/05/31 (金)	4	運動学Ⅲ(体幹(顔面、頸部胸部や腰部)の運動)	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川　小百合
7	2024/06/14 (金)	4	フィットネスと健康運動、運動療法(実技)	演習	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川　小百合
8	2024/06/21 (金)	4	フィットネスと健康運動、運動療法	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川　小百合
9	2024/08/09 (金)	4	定期試験			三浦　裕次 藤川　小百合

評価方法	定期試験(選択式＋記述式)(80%)、授業参加態度(10%)とレポート(10%)の総合評価とする。
教科書・参考書	参考書： １　九州大学健康科学センター編：「健康と運動の科学」、大修館書店(1998/4)、定価2,160円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席の確認は、入室時と退室時のカードリーダへの打刻による。このとき、２回目の打刻がない者は欠席扱いとする。また、２回の遅刻・早退で１回の欠席扱いとする。出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。定期試験で不合格の場合は、再試験を行う。 ２　体力や運動能力の優劣は問わないが、体育館での実技の際は運動服装で参加すること。 ３　フィードバック 　授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	三浦　裕次　　水・金曜日　９：00～17：00　Ｃ棟７階教授室８ Email：ymiura@aichi-med-u.ac.jp (面談の重複を避けるため、メールでアポイントメントを取ることが望ましい。) 藤川　小百合　講義終了後に質問等を受け付ける。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	体育実技		
講義開講時期	前学期	講義区分	実技
単位数	1		
（英文名）	Physical Education		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	選択＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 安藤　貴通

科目概要	身体活動・運動の効果は、身体活動量(「身体活動の強さ」×「行った時間」の合計)の増加に従って上昇し、健康づくりの重要な要素である。授業の中で身体を動かし、生涯にわたる身体活動の習慣化、活発化を図る。また、生涯にわたる余暇活動の能力を高め、身体運動の経験を通して現代の教養人としての資質を高める。
目標	１　身体を動かすことの楽しさを体感し、ゲームや練習へ積極的に参加することができる。「DP：１・３」 ２　コミュニケーション能力を養い、仲間と同じ空間や時間を共有できる。「DP：１・３」 ３　ルールを把握しゲームの安全かつ円滑な運営ができる。「DP：１・３」 ４　健康運動・スポーツ活動の基本的な情報を説明できる。「DP：２」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/06/12(水)	1	オリエンテーション(授業の進め方、評価、諸注意について)、レクリエーション（学生間交流）	実技	前：①自身の自己紹介とスポーツに関する経歴、スポーツの意義と価値についてまとめて当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。 前後各120分	安藤　貴通
2	2024/06/18(火)	1	バスケットボール①	実技	前：①バスケットボールの試合を観戦する（Youtube等）。ルールや練習法について事前に調べ、当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。②当日達成できそうなゴール(目標)を決める 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤　貴通
3	2024/06/19(水)	2	バスケットボール②	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実	安藤　貴通

					施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	
4	2024/06/26 (水)	1	バスケットボール③	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤　貴通
5	2024/07/10 (水)	1	バスケットボール④	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のこれまでのバスケットボールの取り組みで良かった点、改善できた点等を総評する。 前後各120分	安藤　貴通
6	2024/07/17 (水)	2	フットサル①	実技	前：①フットサルの試合を観戦する（Youtube等）。ルールや練習法について事前に調べ、当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。 ②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤　貴通
7	2024/07/24 (水)	1	フットサル③	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤　貴通
8	2024/07/31 (水)	2	フットサル④	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のこれまでのフットサルの取り組みで良かった点、改善できた点等を総評する。 前後各120分	安藤　貴通

評価方法	授業への参加態度（努力、積極性、協調性、責任度、服装など）40%、各競技種目における技能の評価：10%、試合の成績：20%、授業前後の課題取り組み状況：30%で評価する。
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 運動に適した服装・室内シューズを用意すること。（ピアスなどの装飾品やジーパンは不可。）授業進行とは関係ない私語、作業をするなどの行為については口頭指導するが改善が認められない場合は退席を求め、欠席扱いとする。 ２　出欠席について 毎回必ず紙(出席カード)等により出席確認を行う。なお、30分以上の遅刻・早退は欠席扱い〔遅刻・早退３回で１回の欠席扱い〕とする。３回以上欠席した場合は単位不認定とする。 ３　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。

オフィスアワー	講義終了後に質問等を受け付ける。 できるだけメール等で連絡を取ること。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	体育実技		
講義開講時期	前学期	講義区分	実技
単位数	1		
（英文名）	Physical Education		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択＜組＞	選択＜Ｂ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 安藤　貴通

科目概要	身体活動・運動の効果は、身体活動量(「身体活動の強さ」×「行った時間」の合計)の増加に従って上昇し、健康づくりの重要な要素である。授業の中で身体を動かし、生涯にわたる身体活動の習慣化、活発化を図る。また、生涯にわたる余暇活動の能力を高め、身体運動の経験を通して現代の教養人としての資質を高める。
目標	１　身体を動かすことの楽しさを体感し、ゲームへ積極的に参加することができる。「DP：１・３」 ２　コミュニケーション能力を養い、仲間と同じ空間や時間を共有できる。「DP：１・３」 ３　ルールを把握しゲームの安全かつ円滑な運営ができる。「DP：１・３」 ４　健康運動・スポーツ活動の基本的な情報を説明できる。「DP：２」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/06/12(水)	2	オリエンテーション(授業の進め方、評価、諸注意について)、レクリエーション（学生間交流）	実技	前：①自身の自己紹介とスポーツに関する経歴、スポーツの意義と価値についてまとめて当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。 前後各120分	安藤　貴通
2	2024/06/19(水)	1	バスケットボール①	実技	前：①バスケットボールの試合を観戦する（Youtube等）。ルールや練習法について事前に調べ、当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤　貴通
3	2024/06/25(火)	1	バスケットボール②	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要	安藤　貴通

					な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	
4	2024/06/26 (水)	2	バスケットボール③	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤　貴通
5	2024/07/10 (水)	2	バスケットボール④	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する.②各自のこれまでのバスケットボールの取り組みで良かった点、改善できた点等を総評する。 前後各120分	安藤　貴通
6	2024/07/17 (水)	1	フットサル①	実技	前：①フットサルの試合を観戦する（Youtube等）。ルールや練習法について事前に調べ、当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。 ②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤　貴通
7	2024/07/24 (水)	2	フットサル②	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤　貴通
8	2024/07/31 (水)	1	フットサル③	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のこれまでのフットサルの取り組みで良かった点、改善できた点等を総評する。 前後各120分	安藤　貴通

評価方法	授業への参加態度（努力、積極性、協調性、責任度、服装など）40%、各競技種目における技能の評価：10%、試合の成績：20%、授業前後の課題取り組み状況：30%で評価する。
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 運動に適した服装・室内シューズを用意すること。（ピアスなどの装飾品やジーパンは不可。）授業進行とは関係ない私語、作業をするなどの行為については口頭指導するが改善が認められない場合は退席を求め、欠席扱いとする。 ２　出欠席について 毎回必ず紙(出席カード)等により出席確認を行う。なお、30分以上の遅刻・早退は欠席扱い〔遅刻・早退３

	回で１回の欠席扱い〕とする。３回以上欠席した場合は単位不認定とする。 ３　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	講義終了後に質問等を受け付ける。 できるだけメール等で連絡を取ること。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	栄養学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Nutritional Science		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員	
職種	氏名
講　　師(非)	◎ 山口　節子

科目概要	栄養素と人間の栄養状態の基本を学び、現代の疾病構造、加齢、外部環境因子、生活習慣との関わりについて学修する。対象者の食事摂取状況の把握と改善計画、診療録による情報の把握、栄養アセスメントに基づく栄養管理を学修する。また、食事摂取基準や各種ガイドラインを基に食事療法、栄養指導のあり方を学ぶ。
目標	１　看護における栄養学の意義が概説できる。「DP：２」 ２　栄養アセスメントにより対象者の栄養状態が予測できる。「DP：２・５」 ３　健康保持・増進、疾病回復のための栄養管理が説明できる。「DP：２・３・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/06/11（火）	2	栄養素の種類と機能	講義	前：教p.18～43を読む。 後：エネルギーや栄養素の過不足による健康障害についてレポートを作成する。 前後各120分	山口　節子
2	2024/06/18（火）	2	食物の消化、栄養素の吸収・代謝、エネルギー代謝	講義	前：教p.47～72を読む。 後：エネルギー代謝、減量についてレポートを作成する。 前後各120分	山口　節子
3	2024/06/25（火）	2	食事摂取基準、各種ガイドラインの活用	講義	前：教p.74～90、93～98を読む。 後：自分のエネルギー、タンパク質、脂質の必要量を計算する。 前後各120分	山口　節子
4	2024/07/02（火）	1	栄養ケアマネジメント	講義	前：教p.114～130、132～150を読む。 後：食事調査の方法と特徴をまとめ、自分の食事を調査する。 前後各120分	山口　節子
5	2024/07/09（火）	1	栄養補給法　NST	講義	前：教p.188～205を読む。 後：栄養補給法の分類と特徴についてレポートを作成する。 前後各120分	山口　節子
6	2024/07/16（火）	1	栄養管理　①栄養代謝疾患	講義	前：教p.216～219を読む。 後：糖尿病栄養管理支援のレポートを作成する。 前後各120分	山口　節子

7	2024/07/23（火）	1	栄養管理　②循環器疾患	講義	前：教p.208～210を読む。 後：高血圧の栄養管理のレポートを作成する。 前後各120分	山口　節子
8	2024/07/30（火）	1	栄養管理　③低栄養	講義	前：教p.179、206、239～241を読む。 後：高齢期の低栄養予防をまとめ、保健機能食品について調べる。 前後各120分	山口　節子
9	2024/08/06（火）	2	定期試験			山口　節子

評価方法	定期試験80%、レポート20%で評価する。
教科書・参考書	教科書： １　中村丁次、他著：「系統看護学講座　栄養学」医学書院（2023/2）、定価2,200円（税込み） 参考書： １　「日本人の食事摂取基準　2020年版」第一出版（2020/3）、定価3,080円（税込み） ２　本田佳子編：「新臨床栄養学　栄養ケアマネジメント」医歯薬出版（2020/3）、定価4,180円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	1　出席が３分の２に達していない場合は定期試験の受験資格を認めない。 2　定期試験で不合格の場合は、再試験を行う。 3　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	講義終了後に受け付ける。
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	環境保健学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Environmental Health		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員	
職種	氏名
講　　師(非)	◎ 西村　典子

科目概要	人間と人間を取り巻く環境との相互関係を包括的に理解する。更に、人間を始めとする全ての生命にとって、より良い環境を保持するための理解を深め、健康の保持・増進と疾病予防のための知識と技術を学ぶ。
目標	１　現状の環境問題を包括的に解析し、まとめ、他者に対し適切に説明できる。「DP：２・４」 ２　環境と疾病の医学的解明、病態を適切に説明でき、疾病予防に対する対策を説明できる。「DP：２・４」 ３　健康を維持・増進するための適切な方法論を説明できる。「DP：２・４」 ４　疾病発生と予防と社会科学的因子の相互関係を総合的観点から説明できる。「DP：２・４」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/30（木）	3	環境保健学総論（地球規模で起こっている環境問題と健康影響）	講義	前：配布教材の内容を読んでくること（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 新聞、インターネットなどのマス媒体を通じて１件の環境保健関連時事問題を精読してレポート用紙2枚にまとめる（120分）。	西村　典子
2	2024/06/13（木）	3	水と健康、上・下水道、水質汚濁と健康影響	講義	前：配布教材の内容を読んでくること（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 インターネットなどのマス媒体を通じて水と健康に関連する時事問題を読んで、その現状及び対策をレポート用に2枚にまとめる（120分）。	西村　典子
3	2024/06/20（木）	3	食品と健康（食中毒、主な食品公害、感染症、現在起きている食品衛生上の問題点）	講義	前：配布教材の内容を読んでくること（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 新聞、インターネットなどのマス媒体を通じて食品と健康に関連する時事問題を精読して５項目のキーワードにまとめる（120分）。	西村　典子
4	2024/06/27（木）	3	有害化学物質の健康障害、残留性有機汚染物質による汚染の現状と国際協調	講義	前：配布教材の内容を読んでくること（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。	西村　典子

					新聞などのマス媒体を通じて有害化学物質の健康障害に関連する問題を精読してレポート用紙2枚にまとめる（120分）。	
5	2024/07/04（木）	3	生活環境（土壌汚染並びに空気組成、温熱条件など物理的環境因子と健康障害）	講義	前：配布教材の内容を読んでくること（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 新聞、インターネットなどのマス媒体を通じて１件の環境保健関連時事問題を精読して５項目のキーワードにまとめる（120分）。	西村　典子
6	2024/07/11（木）	3	人口問題、生活・産業廃棄物処理	講義	前：配布教材の内容を読んでくること（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 新聞などのマス媒体を通じてゴミ・廃棄物処理とリサイクルに関連する様々な取り組みを読みレポート用紙2枚にまとめる（120分）。	西村　典子
7	2024/07/18（木）	3	公害（主な公害の原因、病態、公害健康被害補償法）、大気汚染(歴史、原因、病態)	講義	前：配布教材の内容を読んでくること（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 代表的な公害の歴史と内容をレポート用紙2枚にまとめる（120分）。	西村　典子
8	2024/08/01（木）	3	産業保健学（各種職業性疾患の医学的解明と予防。労働者の安全と健康の保持、産業衛生管理の基本、職場環境）	講義	前：配布教材の内容を読んでくること（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 新聞、インターネットなどのマス媒体を通じて１件の環境保健関連時事問題を精読して５項目のキーワードにまとめる（120分）。	西村　典子
9	2024/08/08（木）	3	定期試験			西村　典子

評価方法	定期試験85%、レポート成績10%、授業の参加姿勢5%。
教科書・参考書	毎回配付するプリント資料にのっとって講義を進める。 参考書： １　田中正敏、他著：「環境と健康」　杏林書院、第４版(2009/4/10)、定価1,430円(税込み) ２　医療情報科学研究所編集：「公衆衛生が見える 2022-2023」メディックメディア、定価3,960円(税込み) ３　厚生労働統計協会編：「国民衛生の動向 2022/2023」厚生労働統計協会、定価2,695円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	１　出席の確認は、入室時と退室時のカードリーダへの打刻による。 ２　再試験(筆記又はレポート)は２回までとし、不合格の場合は次年度に再履修する。 ３　課題（レポート）に対し評価コメントしてフィードバックする。
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。また、下記メールアドレスへのメールで対応することも可能。 Email：norikoinwa@gmail.com
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	公衆衛生学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Public Health		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 坂本　真理子
教　　授	泉　雅之
教　　授(兼　医学部)	鈴木　孝太
教　　授(兼　医学部)	菱田　朝陽
教　　授(兼　医学部)	林　櫻松
准 教 授(兼　医学部)	松永　昌宏
講　　師(兼　医学部)	川合　紗世
講　　師(兼　医学部)	篠壁　多恵

科目概要	様々な集団の健康の維持、向上を実現するために看護職に必要とされる公衆衛生の知識、方法、実践の課題を講義形式で学修する。 我が国及び世界の人々が健康に安全に生活するためには医学分野だけでなく、経済、法、行政論、歴史、文化など幅広い分野の視点に立った検討を行わなければならない。病に苦しむ人たちを治療医学によって治療、ケアを行う臨床の視点は看護学分野でも主要な位置を占めるが、治療対象にはならない職場や学校で日々働き、学ぶ人たちの健康を考えるためにはそれだけでは対応できない問題は無数にある。公衆衛生学を学ぶことはこの課題に取り組む上で不可欠な知識と考え方を修得することにほかならない。広い視野とバランスのとれたものの見方で、人々の健康をめぐる様々な問題を取り上げ、考えるいわゆる公衆衛生マインドは看護師、保健師に強く求められる。講義形式でこれらの課題を考え、解説するとともにプロフェッショナルとしての看護職のあり方を伝える。
目標	１　公衆衛生の考え方を理解し、説明できる。「DP:2」 ２　公衆衛生の課題を明らかにするための方法を説明できる。「DP:2」 ３　我が国及び世界の公衆衛生の現状を説明できる。「DP:2・4」 ４　看護職として実践されている公衆衛生の活動を説明できる。「DP:2・3」 ５　これからの公衆衛生の課題を挙げ、それぞれの解決方法を考え、説明できる。「DP:2・3」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/09/24 (火)	4	公衆衛生概論:公衆衛生と健康の概念、疫学とは	講義	前：「公衆衛生がみえる」p2～「公衆衛生と健康の概念」、p10～「疫学」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	鈴木　孝太
2	2024/10/01 (火)	4	保健・医療・福祉・介護のしくみ	講義	前：「公衆衛生がみえる」p152～「社会保障と医療経済」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	鈴木　孝太

3	2024/10/08 （火）	3	地域保健:保健所の役割、二次医療圏、看護師・保健師の現況、ソーシャルキャピタル	講義	前：「公衆衛生がみえる」p172～「地域保健」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	坂本　真理子
4	2024/10/08 （火）	4	産業保健:労働災害、業務上疾病、過重労働、メンタルヘルス対策、産業医 地域保健:保健所の役割、二次医療圏、看護師・保健師の現況、ソーシャルキャピタル	講義	前：「公衆衛生がみえる」p350～「産業保健」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	鈴木　孝太
5	2024/10/15 （火）	3	国際保健:世界の死因、世界の疾病、所得と死因、NCD、マラリア、エイズ、結核	講義	前：インターネットで「WHOファクトシート」を検索し、「死亡原因トップ10」「結核」「エイズ」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	篠壁　多恵
6	2024/10/15 （火）	4	保健統計資料の活用:人口の指標、人口動態、合計特殊出生率、労働力人口、生産年齢人口、生命表、平均余命	講義	前：「国民衛生の動向」第２編・第２章・１．出生及び２.死亡1)死亡の動向 を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	林　櫻松
7	2024/10/22 （火）	4	生活習慣病の疫学(1):生活習慣病対策、健康寿命、特定健康診査、特定保健指導、生活習慣病による死亡状況	講義	前：「国民衛生の動向」第２編・第２章・１．出生及び２.死亡 2)死因の概要を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	篠壁　多恵
8	2024/10/29 （火）	4	生活習慣病の疫学（2）:高血圧、アルコール摂取、喫煙率、部位別がん死亡率、がんの年齢調整死亡率	講義	前：「国民衛生の動向」第３編・第１章を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	林　櫻松
9	2024/11/05 （火）	4	母子保健:母子保健法、母子健康手帳、乳幼児突然死症候群、低体重児、未熟児	講義	前：「国民衛生の動向」第３編・第２章・１.母子保健　を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	菱田　朝陽
10	2024/11/12 （火）	3	学校保健:学齢期の健康状況、学校保健行政、児童生徒の定期健康、学校保健安全法、被患率、学校医、学校歯科医、学校薬剤師	講義	前：「公衆衛生がみえる」p340～「学校保健」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	松永　昌宏
11	2024/11/12 （火）	4	老人保健・介護保険制度:後期高齢者医療制度、後期高齢者広域連合、地域包括支援センター、要介護認定	講義	前：「国民衛生の動向」第５編と「公衆衛生学がみえる」230ページ～「高齢者保健」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	泉　雅之 特別講師
12	2024/11/19 （火）	4	社会保障制度と公衆衛生，生活困窮に対する公的扶助－生活保護制度，保健と福祉，精神保健福祉制度	講義	前：「公衆衛生学がみえる」152～167ページを読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	坂本　真理子 特別講師

13	2024/12/03 (火)	4	感染症(1):感染症予防法、新興感染症、再興感染症、ウイルス肝炎、HTLV-1、エイズ、結核、結核医療	講義	前：「国民衛生の動向」第３編・第３章・１.感染症 2)感染症の最近の動向(2)主な感染症の最近の動向(3)ウイルス性出血熱(4)ウイルス性肝炎　２.HIV・エイズ(AIDS)　３.結核　を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	川合　紗世
14	2025/01/07 (火)	4	感染症⑵:検疫法、検疫感染症、予防接種法、定期接種、個別接種、ワクチン	講義	前：「国民衛生の動向」第３編・第３章・４. 検疫,５.予防接種を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	川合　紗世
15	2025/01/14 (火)	4	食品保健:「栄養・食生活」「食事摂取基準」「食中毒」「食品保健に関する法律」	講義	前：「公衆衛生がみえる」p314～「食品保健」p332～「栄養」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをすること。 前後各120分	松永　昌宏
16	2025/01/28 (火)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験（80%）、課題への取り組み（20%）
教科書・参考書	教科書： １　医療情報科学研究所編（2024）：「公衆衛生がみえる2024-2025」、メデイックメデイア（2024/3)、定価3,960円(税込み) ２　厚生労働統計協会編(2024）：「国民衛生の動向2024/2025」、厚生労働統計協会(2024/8)、定価2,695円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１ 授業中は教科書を参照しながら進める。さらに要点をまとめた授業資料を用いて解説する。 ２　授業後、質問がある場合は担当する教員に学内メールにて尋ねることができる。教員は質問に答えるなどフィードバックを行う。 ３　出席は入室時と退室時にはカードリーダーにより打刻する。 ４　AIDLE-Kにフィードバックを入力する。 ５　単位取得について （1）出席は２/３以上とする。 （2）定期試験に合格すること。定期試験が不合格の場合、再試験を２回まで実施する。 （3）病気等のやむを得ない理由以外での定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 ６　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、掲示する。
オフィスアワー	坂本　真理子　水曜日　16：20～18：40　Ｃ棟５階教授室１ 泉　雅之　　月曜日　17：00～18：30　Ｃ棟７階教授室７ その他の講師については授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	・毎回の講義の前に準備学修に取り組むこと。講義後は講義中に教科書の中で強調したところを繰り返し見直すこと。公衆衛生学は膨大な法令と制度の積み重ねから成り立っているため、基本的な内容を理解するためには覚えていなければならないことが多いのも事実だが、全体の構造の理解に重点を置いて授業を進めて行く。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	疫学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Epidemiology		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真

科目概要	疫学は、人間集団の中で出現する健康関連のさまざまな事象の頻度と分布およびそれらに関連する要因を明らかにすることで、人間集団における健康関連の諸問題に対する有効な対策立案に役立てる学問である。保健・医療・看護の基礎研究だけでなく、地域における保健活動においても疫学の知識は必要である。本科目では、疫学の基礎概念と方法を理解し、疫学的手法で資料を客観的に検討できることを目標とする。講義においては、教科書を中心に進めるとともに保健師・看護師の国家試験を用いた問題演習および解説を交えて行う。
目標	１　疫学・統計学の概念と方法が説明できる。「DP:１」 ２　疫学調査法や健康指標について説明できる。「DP：５・６」 ３　保健統計調査を理解し、我が国の医療・看護を取り巻く状況を述べることができる。「DP：２・５」 ４　感染症の特徴や法規を理解し予防活動に役立てることができる。「DP：２・５」 ５　資料・調査結果について疫学的手法を用いて検討できる。「DP：５・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/09（火）	3	オリエンテーション 疫学の概念と歴史	講義	前：教科書p１-8を読む。教科書の範囲対象問題を解いてみる。 疫学では何を学習するかを把握しておく。 前後各120分	山中　真
2	2024/04/16（火）	3	疫学研究（概念、標本抽出法） 疫学研究（疫学研究方法、相対危険と寄与危険）	講義	前：教科書p9-22を読む。教科書の範囲対象問題を解いてみる。 疫学研究法の概略をつかんでおく。 後：疫学に用いられる主な指標について理解しておく。 前後各120分	山中　真
3	2024/04/30（火）	5	疫学研究（相対危険と寄与危険、人年法、オッズ比）	講義	前：教科書p23-28を読む。教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：疫学研究、疫学指標についての知識を深めておく。 前後各120分	山中　真
4	2024/05/01（水）	1	疫学研究（介入研究、因果関係、バイアスと交絡因子）	講義	前：教科書p29-50を読む。教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：疾病頻度の指標について理解を深めておく。 前後各120分	山中　真

5	2024/05/07 (火)	1	疾病頻度の指標①(有病率、罹患率、致命率、死亡率)	講義	前：教科書ｐ51-62を読む。教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：小テスト①の範囲につき総復習しておく。 前後各120分	山中　真
6	2024/05/07 (火)	2	疾病頻度の指標②(予防と指標の変化、年齢調整法)	講義	前：教科書p63-79を読み、教科書の範囲対象問題を解いてみる。 前後各120分	山中　真
7	2024/05/14 (火)	1	保健統計調査①(人口動態統計、人口静態統計、その他の統計)	講義	前：教科書p80-88を読み、教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：保健統計調査の理解を深めておく。 前後各120分	山中　真
8	2024/05/14 (火)	2	保健統計調査②(人口動態統計、人口静態統計、その他の統計)	講義 課題ワークの説明	前：教科書p89-110を読んでおく。 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 前後各120分	山中　真
9	2024/05/15 (水)	1	課題ワーク[出題範囲：疫学の概念と歴史、疫学研究、疾病頻度の指標] 課題ワーク解説および講義振り返り	課題ワーク提出 講義	前：課題ワークの準備 後：課題ワーク内容についての理解を深めておく。 前後各120分	山中　真
10	2024/05/22 (水)	4	スクリーニング(概念、偽陽性、偽陰性、感度、特異度、的中度)	講義	前：教科書p111-136を読む。 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：スクリーニングに関する知識を整理しておく。 前後各120分	山中　真
11	2024/05/23 (木)	1	スクリーニング、おもな疾患の疫学(感染症：種類、感染経路、関係法規、おもな感染症)	課題ワーク②の説明 講義	前：教科書ｐ137-155を読む。 配布資料の問題を解く。 後：講義内容について、配布資料等の理解を深める。 前後各120分	山中　真
12	2024/05/29 (水)	4	課題ワーク②[出題範囲：疾病頻度の指標、保健統計調査、スクリーニング、おもな疾患の疫学] 課題ワーク解説および講義振り返り	課題ワーク②実施 講義	前：課題ワーク②の準備 後：課題ワーク内容についての理解を深めておく。 前後各120分	山中　真
13	2024/06/11 (火)	1	統計学の基礎①(データ種類とグラフ、データの代表値、正規分布、相関係数、回帰係数)	講義	前：教科書p156-173，統計に関する配布資料を読み、教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：講義内容について、配布資料等の理解を深める。 前後各120分	山中　真
14	2024/06/11 (火)	2	統計学の基礎②(推定、ｔ検定、χ2検定)	課題ワーク③の説明 講義	前：教科書p174-196，統計に関する配布資料を読み、教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：講義内容について、配布資料等の理解を深める。 前後各120分	山中　真
15	2024/06/12 (水)	3	課題ワーク③[出題範囲：保健統計調査、スクリーニング、データの種類とグラフ、代表値、分布、相関、推定、検定] 課題ワークの解説およびまとめ	課題ワーク③実施 講義 定期試験準備についての説明	前：課題ワーク③の準備 後：課題ワーク内容についての理解を深めておく。 前後各120分	山中　真

16	2024/06/26 (水)	２	定期試験[出題範囲：全範囲]			山中　真

評価方法	試験結果(課題ワーク提出 各５％：計１５％、講義における発言：５％、定期試験８０％)で評価する。
教科書・参考書	教科書： １　浅野嘉延著、「看護学生のための疫学・保健統計(改訂４版)」、南山堂(2023/９)、定価2,750円(税込み) 参考書： １　厚生統計協会編、「国民衛生の動向」、厚生労働統計協会(2022/８)、定価2,500円(税込み) ２　医療情報科学研究所編集、「公衆衛生がみえる」、メディックメディア(2022/3)、定価3,848円(税込み) ３　大木秀一、「看護疫学入門」、医歯薬出版株式会社（2017/12）、定価3,300（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	授業の妨害行為などについては注意して改まらない場合には定期試験の受験を認めない。 再試験は最大２回まで行う。 不適切問題がある場合は、全員に不利にならないよう調整する。 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	火曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 他の日時でも対応しますので、メール等でご連絡ください。 Email：yamanaka.makoto.528@mail.aichi-med-u.ac.jp 講義内容については、授業終了後に適時質問を受け付けます。
備考	本講義での保健統計調査では、最新の国勢データを用いた授業構成をしている。

講義名	保健医療福祉行政論Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Healthcare and Social Welfare Administration Ⅰ		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師(非)	◎ 工藤　安史
客員教授	柴田　英治

科目概要	保健医療福祉の基本的な制度について学ぶ。
目標	１　社会保障の理念について説明する事ができる。「DP:２・４」 ２　保健医療福祉を取り巻く基本的な制度について、その概略を説明する事ができる。「DP:２・４」 ３　保健医療福祉を取り巻く現状と課題について、その概略を説明する事ができる。「DP:２・４」 ４　保健医療福祉を取り巻く課題について、その対応策について根拠をもって自ら考える事ができる。「DP:２～５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/12/02（月）	4	保健・労働衛生行政論（保健所の役割と地域分担、地域・職域保健）	講義	前：保健所の役割と地域分担、地域・職域保健について調べておく。 後：講義内容を復習し、保健所の役割と地域分担、地域・職域保健のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	柴田　英治
2	2024/12/02（月）	5	社会福祉論（年金、生活保護）	講義	前：年金、生活保護について調べておく。 後：講義内容を復習し、年金、生活保護のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	柴田　英治
3	2024/12/09（月）	4	医療保険制度	講義	前：医療保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、医療保険制度のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	工藤　安史
4	2024/12/09（月）	5	医療保険制度	講義	前：医療保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、医療保険制度のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	工藤　安史
5	2024/12/16（月）	4	医療保険制度	講義	前：医療保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、医療保険制度のニュース等に	工藤　安史

					意識して触れる。 前後各120分	
6	2024/12/16 （月）	５	介護保険制度	講義	前：介護保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、介護保険制度のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	工藤　安史
7	2025/01/06 （月）	４	介護保険制度	講義	前：介護保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、介護保険制度のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	工藤　安史
8	2025/01/06 （月）	５	介護保険制度	講義	前：介護保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、介護保険制度のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	工藤　安史
9	2025/02/03 （月）	４	定期試験			工藤　安史

評価方法	定期試験100%で評価する。
教科書・参考書	教科書：「国民衛生の動向 2022/2023」 厚生労働統計協会、2022/８、定価2,695円（税込）
履修上の注意点 及び取扱い	3/4以上の出席がない場合は、定期試験を受けられない場合がある。 定期試験後の質問がある場合は、個別に対応する。
オフィスアワー	各講義後に対応します。
備考	定期試験は、携帯等電子機器以外の参考資料はコピーを含め、持込不可です。 受講生には、現在の保健医療福祉の制度の形を単に丸暗記するのではなく、その形になっている経緯、理念等を理解した上で、現在の課題を踏まえて、今後の方向性まで根拠をもって自分なりに考える事を望みます。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	コミュニケーション論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Communication Studies		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　恵美子
教　　授	心光　世津子
助　　教	小久保　知由起
講　　師(非)	阿部　恵子

科目概要	看護実践の基盤となる援助的関係についての理論と知識を理解し、グループ演習を通して援助的関係に必要なコミュニケーション技術について学修する。また、グループワークで生じる様々な体験を通して、自己理解や他者理解及び自己の関わり方について考察し、援助的関係における自己の課題を明確にする。
目標	１　人間関係を形成するためのコミュニケーションの特徴と、医療におけるコミュニケーションの重要性を説明できる。「DP：１・３」 ２　援助的関係形成の基本的な考え方と援助的関係形成のためのコミュニケーション技法を説明できる。「DP：１・２」 ３　対人関係における自己の認識や相互作用について説明できる。「DP：１・２」 ４　生活者として一人一人が尊い人という視点を持ち、コミュニケーションを実践できる。「DP：１・２・５」 ５　人はそれぞれ異なった価値観を持っているため、一人ひとり異なるという異文化的価値を理解できる。「DP：１・４」 ６　自職種及び他職種の役割を理解し、チームで円滑なコミュニケーションを考察できる。「DP：1・３」 ７　かかわりの場面を振り返り、コミュニケーションにおける自己の課題を考察できる。「DP：１・５・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/15（月）	1	全体オリエンテーション、コミュニケーションの意義と目的	講義	前：教科書１P18-28を読む。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	山本　恵美子
2	2024/04/15（月）	2	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション	講義	前：教科書２P184-187を読む。言語・非言語コミュニケ―ションについて調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理し、事後課題に取り組む。 前後120分	山本　恵美子
3	2024/04/16（火）	1	対人関係と相互作用：援助的関係構築のためのコミュニケーション	講義	前：教科書１P29-44を読む。事前配布資料を熟読する。 後：講義資料を読み学習し	山本　恵美子

					た内容を整理する。 前後120分	
4	2024/04/16 （火）	2	コミュニケーション障害への対応	講義	前：教科書１P57-62を読む。コミュニケーション障害について調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	山本　恵美子 ゲストスピーカー
5	2024/04/22 （月）	1	個人と集団：リーダーシップとメンバーシップ、マスコミュニケーション、ソーシャルメディア（SNSによるコミュニケーション）	講義	前：リーダーシップとメンバーシップについて調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	山本　恵美子
6	2024/04/22 （月）	2	異文化理解：外国人患者とのコミュニケーション	講義	前：教科書２P306-308を読む。異文化理解について調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	阿部　恵子
7	2024/04/23 （火）	2	生活者としての患者理解：ナラティブアプローチ	講義	前：ナラティブアプローチについて調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	心光　世津子
8	2024/05/07 （火）	2	カウンセリングの基本的態度と技法：傾聴、受容、共感、自己一致	講義	前：教科書１P44-56、教科書２P191-194を読む。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	心光　世津子
9	2024/05/13 （月）	1	アサーティブコミュニケーション	演習	前：アサーティブコミュニケーションについて調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	心光　世津子 山本　恵美子 小久保　知由起
10	2024/05/13 （月）	2	アサーティブコミュニケーション	演習	前：教科書１P53-56を読む。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	心光　世津子 山本　恵美子 小久保　知由起
11	2024/05/20 （月）	1	看護におけるコミュニケーションスキル（傾聴・受容・共感）とリフレクション	講義	前：これまでの講義資料を読返し学習内容を整理する。 後：演習の学びを振返り、事後課題に取り組む。 前後120分	心光　世津子
12	2024/05/20 （月）	2	看護におけるコミュニケーションスキル　DVD視聴：グループワーク	講義・演習	前：これまでの講義資料を読返し学習内容を整理する。 後：演習の学びを振返り、事後課題に取り組む。 前後120分	山本　恵美子 心光　世津子 小久保　知由起
13	2024/05/27 （月）	1	看護面接：学生同士のロールブレイ	演習	前：事前に提示された事例を熟読する。 後：講義資料を読み学習した内容を整理し、事後課題に取り組む 前後120分	山本　恵美子 心光　世津子 小久保　知由起
14	2024/05/27 （月）	2	看護面接：学生同士のロールプレイ	演習	前：事前に提示された事例を熟読する。 後：講義資料を読み学習した内容を整理し、事後課題に取り組む 前後120分	山本　恵美子 心光　世津子 小久保　知由起

15	2024/05/29 （水）	３	看護場面の再構成 多職種連携医療：チームコミュニケーション	講義	前：教科書１P25-29、教科書２P270-274を読む。 後：これまで学習した内容を整理しレポートにまとめる。 前後120分	山本　恵美子
16	2024/08/06 （火）	３	定期試験			山本　恵美子 心光　世津子 小久保　知由起

評価方法	定期試験　70%、課題レポート及び学習姿勢（出席状況を含む）30%
教科書・参考書	教科書： １　茂野香おる、他：「系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、(2023)、定価　　2,970円（税込み） ２　志自岐 康子編：「看護学概論（ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(1))」、メディカ出版、第7版（2022/1/20）、定価3,080円（税込み） 参考書： １　H.E.ペプロウ著/稲田八重子他訳：「人間関係の看護論」医学書院　（1973/4）　定価2,750円　（税込み） ２　宮本眞巳：「改訂版 看護場面の再構成」日本看護協会出版会　（2019/11）　定価1,760円　（税込み） ３　石川ひろの他：「系統看護学講座　基礎分野　人間関係論」医学書院(2018/1/6)定価2,420円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席は、出席システムにより確認する。 ２　定期試験は、学則に準ずる。 ３　定期試験不合格者には、再試験を行う。再試験は1回とする ４　フィードバックの方法 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。 ５　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。
オフィスアワー	山本　恵美子　　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 心光　世津子　　金曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室２ 小久保　知由起　月曜日　16：10～18：00　基礎科学棟３階N371研究室 阿部　恵子　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	［実務］ ・医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、コミュニケーション技術の基本について教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	看護学原論Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Fundamentals of Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	山本　恵美子
客員教授	髙柳　友子

科目概要	人間理解に基づいて、看護とは何かを理解し、専門職者として看護職に求められる資質を育むために、ヘルスケアにおける看護独自の機能、看護の目的、対象、方法について学ぶとともに、看護職者として必要とされる基礎的な生命・職業倫理と看護理論・看護過程について学ぶ。
目標	１　看護の目的・概念について説明できる。「DP：１・６」 ２　看護の対象について自身の考えを述べることができる。「DP：１・２」 ３　医療や地域における看護の役割とそれぞれの場面での専門職連携について述べることができる「DP：２・３」 ４　代表的な看護理論の種類について説明できる「DP：５」 ５　看護の対象となる人を理論に基づいた視点で見ることができる「DP：５・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/17（水）	3	ガイダンス 看護とは何か 本質的意義・看護がおこなうこと 看護の役割、看護を規定する法律	講義	前：テキストp18-28、p33-42を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後120分	山中　真
2	2024/04/23（火）	3	看護の対象①　医療場面における看護の対象と役割（看護の対象・生活と健康レベル）	講義	前：テキストp70-94を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後120分	山中　真
3	2024/04/30（火）	3	看護の歴史　　看護が社会に果たしてきた役割や変遷	講義	前：テキストp43-67を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後120分	篠田　かおる
4	2024/05/07（火）	3	生命倫理　　看護に求められる生命倫理と職業倫理	講義	前：テキストp152-182を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後120分	篠田　かおる
5	2024/05/14（火）	3	看護の対象②　地域場面における看護の対象と役割（補助犬の活動に学ぶ障がい者の理解）	講義 VTR視聴 介助犬によるデモ	前：事前配布資料を読む。 後：講義資料と講義内容から地域場面における障がい者生活についての理解を深	髙柳　友子

				ンストレーション	める 前後120分	
6	2024/05/21 （火）	3	看護が用いる方法　クリティカルシンキング・看護過程（看護過程とは、役割と意義）	講義	前：テキストp198-204を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後120分	山本　恵美子
7	2024/05/28 （火）	3	看護理論　　社会的背景の変化に伴う看護理論の歴史	講義	前：テキストp125-132を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後120分	山中　真
8	2024/06/11 （火）	3	社会変化と看護に求められる役割 これからの看護課題と展望	講義	前：テキストp318-325を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後120分	山中　真
9	2024/08/09 （金）	3	定期試験			山中　真

評価方法	定期試験（80%）課題レポート・講義発言（20%）
教科書・参考書	教科書： １　志自岐 康子編：「看護学概論（ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(1)）」、メディカ出版、第7版（2022/1/20）、定価3,080円（税込み） 参考書： １　松木光子：「看護学概論（看護とは・看護学とは）」、ヌーベルヒロカワ、第5版（2011/2）、定価2,420円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席は、問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。大学規定に沿わない欠席については1回につき最終評価の10%を減することとする。 ２　定期試験不合格者には、再試験を行う。再試験は１回とする。 ３　フィードバックの方法 　講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。
オフィスアワー	山中　真　　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階N252研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 髙柳　友子　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する
備考	「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員が、看護とは何か看護職者に必要な基礎的事項について教育を行う。 ・生命倫理・職業倫理やこれからの看護の展望については、一部最新の知見を取り入れて講義構成をしている。

講義名	看護学原論Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Fundamentals of Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	山本　恵美子

科目概要	看護実践の基盤となる理論枠組みを理解しつつ、「看護とは」を改めて問い直し、理論を実践に応用するための知識を教授する。また、看護理論に基づいた看護実践の意味づけを検討する中で意図的な看護ケア実践の重要性について学ぶ。看護専門職者として倫理的視点に立った看護職者のあるべき姿や将来の看護について学修する。
目標	１　看護とは何かについて、看護の専門性や看護を規定する制度から述べることができる。「DP:1」 ２　看護倫理に基づく、看護のプロフェッショナリズムを述べることができる。「DP:1・4」 ３　看護理論について講義で扱う理論家の主要概念を説明できる。「DP:5」 ４　看護理論に基づいた実践的科学としての思考過程を述べることができる。「DP:5・6」 ５　事例を通して、科学的根拠に基づいた看護実践を討議できる。「DP:5・6」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/30（月）	1	関連法規　看護の目的と看護を規定する近年の法制度の変化	講義	前：教科書　p206～232を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各120分	山中　真
2	2024/10/07（月）	1	看護倫理　看護倫理の基づくプロフェッショナルリズム	講義	前：教科書　p152～180を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各120分	山中　真
3	2024/10/21（月）	4	看護の役割　プロフェッショナルリズムに基づく多職種連携	講義	前：教科書　p276～325を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各120分	山中　真
4	2024/11/11（月）	2	看護理論①　： 理論の構成要素と種類、看護理論の発展、代表的な看護理論１	講義，事例に基づく討議	前：教科書　p126～150，p345～347を読む。 後：講義資料を読み、各理論家の看護理論の特徴の理解を深める。 前後各120分	山幡　朗子

5	2024/11/18 （月）	2	看護理論②　： 代表的な看護理論２	講義、事例に基づく討議	前：教科書　p126～150, p345～347を読む。 後：講義資料を読み、各理論家の看護理論の特徴の理解を深める。 前後各120分	山幡　朗子
6	2024/11/25 （月）	2	看護の役割に基づいた倫理的課題	事例に基づく討議	前：教科書　p37～40、p326～329を読む。事前提示資料に基づき、事例の倫理的課題を考察する。 後：討議を通し、事例の倫理的課題についてまとめる。 前後各120分	山幡　朗子 山中　真 山本　恵美子
7	2024/12/02 （月）	1	実践科学としての看護① ヘルスアセスメントの意義	講義 事前課題に基づく討議	前：教科書　p201～203を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各120分	山本　恵美子
8	2025/01/20 （月）	2	実践科学としての看護② ヘルスアセスメントに基づく病態理解	講義 事前課題に基づく討議	前：教員が提示した事前課題に取り組む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各120分	山本　恵美子 山中　真 山幡　朗子
9	2025/01/27 （月）	2	定期試験			山中　真 山幡　朗子 山本　恵美子

評価方法	定期試験（70%）課題レポート・演習への取り組み（30%）
教科書・参考書	教科書： １　志自岐 康子編：「看護学概論（ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(1)）」、メディカ出版、第7版（2022/1/20）、定価3,080 円（税込み） 参考書： １　松木光子：「看護学概論（看護とは・看護学とは）」、ヌーベルヒロカワ、第5版（2011/2）、定価2,420円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席は、問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。 ２　大学規定に沿わない欠席については、課題レポートに加え最終評価の10%を減することとする。 ３　定期試験不合格者には、再試験を行う。再試験は１回とする。 ４　フィードバックの方法 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。
オフィスアワー	山中　真　　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階N252研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室
備考	看護関連法規においては、最新の法制度について講義を行う。倫理課題に関する演習では、医療機能評価機構などの医療事故などの最新の知見に基づいて講義構成を行う。

講義名	看護倫理		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Nursing Ethics		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 心光　世津子
准 教 授	深谷　基裕
講　　師(兼　大学病院・看護部)	小澤　いずみ

科目概要	専門職として求められる倫理的感受性及び態度を養うために、看護職者の法的責務、倫理原則や倫理規定、患者の権利、価値観の多様性について学ぶ。看護の場において看護職者が遭遇する倫理的問題やジレンマの事例を通して、倫理的問題やジレンマの生じる背景や看護職者の責務について理解を深め、看護職者として人間の生命・生活に関わる尊厳や権利を尊重するための視点を学ぶ。
目標	１　看護を取り巻く倫理的課題とその背景や歴史を概説できる。「DP：１」 ２　倫理的課題を解決するための理論や倫理原則を説明できる。「DP：１」 ３　生命、人の尊厳を尊重するための看護師としての行動や自身の課題についての考察を述べることができる。「DP：１～６」 ４　医療や看護の現場における倫理的課題と調整方法について議論することができる。「DP：１～６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/10/25（金）	4	看護倫理とは何か、なぜ学ぶのか：倫理とは、生命倫理と看護倫理、看護倫理の歴史、医療の進歩と倫理的課題	講義	前：教pp.10-28、100-105を読み、疑問点を整理する 後：授業資料を読み自分の理解や考えを1000字程度に整理する 前後各120分	心光世津子
2	2024/11/01（金）	4	専門職の倫理：専門職に求められる倫理、倫理綱領、倫理原則、倫理規定	講義	前：教pp.28-33、116-136を読み、疑問点を整理する 後：授業資料を読み自分の理解や考えを1000字程度に整理する 前後各120分	心光 世津子
3	2024/11/29（金）	4	意思決定にかかわる倫理と支援：患者の権利と尊厳、パターナリズム、インフォームドコンセント、アドボカシー、自己決定支援	講義	前：教pp.34-40、105-113、138-160を読み、疑問点を整理する 後：授業資料を読み自分の理解や考えを1000字程度に整理する 前後各120分	心光 世津子
4	2025/01/07（火）	1	在宅療養移行支援における倫理的課題	講義	前：教pp.207-221を読み、疑問点を整理する 後：授業資料を読み自分の理解や考えを1000字程度に整理する 前後各120分	小澤 いずみ

5	2025/01/10 (金)	4	小児看護実践における倫理的課題	講義	前：教pp.182-189を読み、疑問点を整理する 後：授業資料を読み自分の理解や考えを1000字程度に整理する 前後各120分	深谷 基裕
6	2025/01/14 (火)	1	精神看護実践における倫理的課題	講義	前：教pp.189-199を読み、疑問点を整理する 後：授業資料を読み自分の理解や考えを1000字程度に整理する 前後各120分	心光 世津子
7	2025/01/21 (火)	1	看護実践における倫理的問題へのアプローチ①：グループワーク	演習 GW	前：教pp.138-162とこれまでの授業資料を読む 後：ワークを振り返り自分の理解や考えを500字程度に整理する 前後各120分	心光 世津子 深谷 基裕
8	2025/01/21 (火)	2	看護実践における倫理的問題へのアプローチ②：発表・まとめ	演習 プレゼンテーション	前：これまでの授業資料を通して読む 後：ワークを振り返り自分の理解や考えを500字程度に整理する 前後各120分	心光 世津子 深谷 基裕

評価方法	課題提出50%（事前学習、ミニレポート、ワークシート）、最終レポート50%
教科書・参考書	教科書： 宮坂道夫：「系統看護学講座 別巻 看護倫理」[第３版]、医学書院(2024)、定価1,980(税込). 参考書： 吉田みつ子：「看護倫理：見ているものが違うから起こること」、医学書院(2013)、定価2,420円(税込).
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について (1)教科書だけでなく、授業で紹介した図書を読むなどの自己学習を行う。 (2)配付資料や視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配付をしないこと。 ２　出欠席について (1)出席の確認は、出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）による。２コマ連続の場合は開始前、終了後の２回、打刻する。 (2)遅刻３回で１回欠席とみなす。 (3)出席が３分の２に達していない場合は単位認定できない。 ３　課題・最終レポートについて (1)提出締切は厳守すること。やむを得ない事由で期限までの提出ができない場合には、必ず〆切前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 (2)ミニレポートやワークシートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。欠席者は当日分０点となり、かなり不利になる。 (3)ミニレポートとワークシートの評価が６割に満たない場合、最終レポートでそれを補うだけの十分な得点を獲得し全体評価として６割に達する必要がある。全体評価として６割に満たない場合には、再レポートの提出を行う。 (4)剽窃、盗用については評価が０となる。人工知能・代筆によるレポート作成が判明した場合も同様とする。 ４　フィードバックについて (1)授業時に提出するミニレポート内容をふまえて、授業時間内に解説やフィードバックを行う。授業時間内の実施が難しい場合は、AIDLE-Kに掲載する。 (2)演習ではグループワークの状況、発表、課題に対して授業時間内に解説やフィードバックを行う。 (3)最終レポートに対しては、講評をAIDLE-Kに掲載する。 ５　凡例 教：教科書 GW：グループワーク
オフィスアワー	心光　世津子　　金曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室２ 深谷　基裕　　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 兼担講師　　講義終了時
備考	１　授業前の自己学習をふまえ学習内容についての考えや疑問をもって授業に臨むこと。 ２　ミニレポート、演習、最終レポートでは、自分の言葉で考え表現することを重視している。 ３　最終レポート 以下のテーマに沿った内容で具体例と文献を用いて考察する。作成要領は別途配付する。 「私の考える、生命や人の尊厳を尊重するための看護師としての行動および自身の課題」 なお、内容を表す適切なタイトルを自身で考えてつけること。

	提出期間　2025年1月21日(火)12:10～1月26日(日)23:59　提出先：AIDLE-K 「実務」総合病院や精神科病院において、看護師等としての実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や看護上の倫理的課題、看護専門職者及び関連職者の倫理問題へのアプローチ等について、実際の看護活動の体験を通じた教育を行う。 本科目は最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	ヘルスアセスメント		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Health Assessment		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 篠田　かおる
教　　授	山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	山本　恵美子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	ヘルスアセスメントの概念、目的、方法論の全容を学修し、対象を全人的に把握することの重要性とその意味を理解する。また、ヘルスアセスメントに必要な観察技術や測定技術、コミュニケーション技術を用いて対象の健康状態を査定し、基準と基準からの逸脱を判断できる知識・技術について修得する。更にその結果から対象の健康状態を評価し、看護の必要性について考察することにつながることを学ぶ。
目標	１　ヘルスアセスメントの概念、看護における意義と目的、看護への活用（看護過程との関連）について説明できる。「DP：2・5」 ２　看護の対象との援助的関係を基盤とした、健康歴聴取の目的・方法について説明できる。「DP：1・2・5」 ３　倫理的な配慮に基づいた安全で安楽なアセスメントの方法について説明できる。「DP：1・2・5」 ４　アセスメントを行うために必要な環境調整と準備（必要物品・導入）を行うことができる。「DP：2・5」 ５　アセスメントの基本技術（視診・聴診・打診・触診）の目的を理解し、実施することができる。「DP：2・5」 ６　健康な対象に日常生活行動に関するアセスメントを実施し、その結果を適切な用語を使用して対象に説明し、記録できる。「DP：1・2・5」 ７　アセスメントの結果から対象の日常生活行動を理解し、看護の必要性について考えることができる。「DP：1・2・5・6」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/19（木）	3	【オリエンテーション】ヘルスアセスメントを学ぶにあたって 【講義】看護過程におけるヘルスアセスメントの位置づけと判断、対象者の全人的な把握、日常生活行動からみるヘルスアセスメント、ヘルスアセスメントにおける倫理的配慮、準備、基本技術、記録	講義	前：教科書１のp.2-6、15-22、教科書２のp.124-127、138-149を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田かおる
2	2024/09/19（木）	4	【講義および演習】健康歴の聴取、記録	講義および演習	前：教科書１のp.7-14、教科書２のp.128-138を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田　かおる 全員

3	2024/09/26 （木）	3	【講義】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ①（バイタルサインズ測定の意義と目的、体温測定、意識レベル）	講義	前：教科書１のp. 34-83、p. 232-237、教科書２のp. 150-171を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	坂田　久美子
4	2024/09/26 （木）	4	【講義】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ②（脈拍測定、呼吸測定、血圧測定、バイタルサインズのアセスメントと記録）	講義	前：教科書１のp. 34-83、p. 232-237、教科書２のp. 150-171を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	坂田　久美子
5	2024/10/10 （木）	3	【演習】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸測定、血圧測定：触診法、聴診法）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
6	2024/10/10 （木）	4	【演習】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸測定、血圧測定：触診法、聴診法）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
7	2024/10/15 （火）	1	【講義】食べる，排泄するをアセスメントする 腹部（視診、腸蠕動音の聴診、打診、触診、腹部のアセスメントと記録）	講義	前：教科書１のp. 170-203、p. 226-275、教科書２のp. 212-221、p. 240-252を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田かおる
8	2024/10/22 （火）	1	【講義】動くをアセスメントする 筋骨格（視診、触診、ROM、MMT、筋骨格のアセスメントと記録）、脳神経	講義	前：教科書１のp. 276-295、p. 326-353、教科書２のp. 221-239を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田かおる
9	2024/10/31 （木）	3	【演習】食べる，排泄するをアセスメントする 腹部（視診、腸蠕動音の聴診、打診、触診）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
10	2024/10/31 （木）	4	【演習】動くをアセスメントする 筋骨格（関節の視診・触診、ROM、MMT、脊柱・下肢）、脳神経	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
11	2024/11/07 （木）	4	【技術チェック】バイタルサインズ	技術チェック	前：配布するチェックリストに基づき、バイタルサインズ測定の練習を行う。時間指定しない。 後：技術チェックを振り返り、自己の課題を見出す。 30分	臨床看護師
12	2024/11/28 （木）	4	【講義】呼吸をアセスメントする （問診、視診、触診、打診、呼吸音の聴診、呼吸のアセスメントと記録）	講義	前：教科書１のp. 100-136、教科書２のp. 188-198を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	板津良

13	2024/11/28 （木）	５	【講義】循環をアセスメントする （問診、視診、触診、心音の聴診、循環のアセスメントと記録）	講義	前：教科書１のp.138-169、教科書２のp.198-207を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	板津良
14	2024/12/05 （木）	３	【演習】呼吸をアセスメントする （ランドマークの確認、呼吸音の聴診）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
15	2024/12/05 （木）	４	【演習】循環をアセスメントする （ランドマークの確認、心音の聴診、末梢循環の確認）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
16	2025/01/30 （木）	３	定期試験			

評価方法	以下を総合的に評価する。 １　筆記試験（80%） ２　技術チェック（5%） ３　講義・演習への参加度（15%） ⑴　演習の出席状況 ⑵　講義・演習への参加態度 ⑶　課題の提出状況 ⑷　課題への取り組み状況
教科書・参考書	教科書： １　熊谷たまき他監修：「看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント」、メディックメディア、第１版（2019/12）、定価3,630円（税込） ２　茂野香おる他：「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学⑵ 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版（2023/1）、定価2,970円（税込） 参考書： １　大久保暢子編：「日常生活行動からみるヘルスアセスメント」、日本看護協会出版会、第1版（2016/8）、定価3,630円（税込） DVD： １　「フィジカルアセスメント１、２、３、４、５」医学映像教育センター その他： 本科目は、既習の形態機能学や看護観系科目を復習しながら履修するため、１学年次前期の教科書や資料も必要となる。また、適宜参考資料を紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	本科目は講義と演習で構成されており、実践的に学修を進める。演習では学生がペアになり互いに診察を行う。 １　講義・演習への主体的な参加 実技を修得する科目であるため、積極的かつ主体的に学修する。 ⑴　講義・演習の前には、該当する身体の形態機能について復習しておく。 ⑵　演習前には、指示された課題（動画の視聴も含む）を行って演習に臨む。 ⑶　技術チェックには臨床看護師が参加する。チェックに向けて、事前に配布するチェックリストを用いて、確実な技術を修得できるよう練習を積み重ねる。 ２　この科目に合格しないと「基礎看護学実習Ⅱ」の履修はできない。 【出欠席について】 １　出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻)により出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計２回、打刻する。 ２　30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。 【定期試験について】 １　実技を修得する科目であるため、３分の２以上の出席によって定期試験の受験資格を認める。 ２　追試験・再試験は、大学の定めに従い実施する。再試験は１回のみ実施し、再試験においても不合格の場合には、次年度再履修する。 【その他】 １　フィードバックについて ⑴　講義：次回の授業またはAIDLE-Kにて行う。 ⑵　技術チェック：技術チェック後に担当者より行う。 ⑶　定期試験：希望者に対して行うので、事前にアポイントメントをとる。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室

	板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室
備考	［実務］ 医療機関において看護師としての実務経験を持つ教員が、ヘルスアセスメントの基本について教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	ヘルスアセスメント		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Health Assessment		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 篠田　かおる
教　　授	山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	山本　恵美子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	ヘルスアセスメントの概念、目的、方法論の全容を学修し、対象を全人的に把握することの重要性とその意味を理解する。また、ヘルスアセスメントに必要な観察技術や測定技術、コミュニケーション技術を用いて対象の健康状態を査定し、基準と基準からの逸脱を判断できる知識・技術について修得する。更にその結果から対象の健康状態を評価し、看護の必要性について考察することにつながることを学ぶ。
目標	１　ヘルスアセスメントの概念、看護における意義と目的、看護への活用（看護過程との関連）について説明できる。「DP：2・5」 ２　看護の対象との援助的関係を基盤とした、健康歴聴取の目的・方法について説明できる。「DP：1・2・5」 ３　倫理的な配慮に基づいた安全で安楽なアセスメントの方法について説明できる。「DP：1・2・5」 ４　アセスメントを行うために必要な環境調整と準備（必要物品・導入）を行うことができる。「DP：2・5」 ５　アセスメントの基本技術（視診・聴診・打診・触診）の目的を理解し、実施することができる。「DP：2・5」 ６　健康な対象に日常生活行動に関するアセスメントを実施し、その結果を適切な用語を使用して対象に説明し、記録できる。「DP：1・2・5」 ７　アセスメントの結果から対象の日常生活行動を理解し、看護の必要性について考えることができる。「DP：1・2・5・6」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/19（木）	3	【オリエンテーション】ヘルスアセスメントを学ぶにあたって 【講義】看護過程におけるヘルスアセスメントの位置づけと判断、対象者の全人的な把握、日常生活行動からみるヘルスアセスメント、ヘルスアセスメントにおける倫理的配慮、準備、基本技術、記録	講義	前：教科書１のp.2-6、15-22、教科書２のp.124-127、138-149を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田かおる
2	2024/09/19（木）	4	【講義および演習】健康歴の聴取、記録	講義および演習	前：教科書１のp.7-14、教科書２のp.128-138を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田　かおる 全員

3	2024/09/26 （木）	3	【講義】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ①（バイタルサインズ測定の意義と目的、体温測定、意識レベル）	講義	前：教科書１のp. 34-83、p. 232-237、教科書２のp. 150-171を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	坂田　久美子
4	2024/09/26 （木）	4	【講義】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ②（脈拍測定、呼吸測定、血圧測定、バイタルサインズのアセスメントと記録）	講義	前：教科書１のp. 34-83、p. 232-237、教科書２のp. 150-171を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	坂田　久美子
5	2024/10/11 （金）	4	【演習】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸測定、血圧測定：触診法、聴診法）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
6	2024/10/11 （金）	5	【演習】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸測定、血圧測定：触診法、聴診法）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
7	2024/10/15 （火）	1	【講義】食べる，排泄するをアセスメントする 腹部（視診、腸蠕動音の聴診、打診、触診、腹部のアセスメントと記録）	講義	前：教科書１のp. 170-203、p. 226-275、教科書２のp. 212-221、p. 240-252を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田かおる
8	2024/10/22 （火）	1	【講義】動くをアセスメントする 筋骨格（視診、触診、ROM、MMT、筋骨格のアセスメントと記録）、脳神経	講義	前：教科書１のp. 276-295、p. 326-353、教科書２のp. 221-239を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田かおる
9	2024/10/31 （木）	3	【演習】食べる，排泄するをアセスメントする 腹部（視診、腸蠕動音の聴診、打診、触診）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
10	2024/10/31 （木）	4	【演習】動くをアセスメントする 筋骨格（関節の視診・触診、ROM、MMT、脊柱・下肢）、脳神経	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
11	2024/11/07 （木）	3	【技術チェック】バイタルサインズ	技術チェック	前：配布するチェックリストに基づき、バイタルサインズ測定の練習を行う。時間指定しない。 後：技術チェックを振り返り、自己の課題を見出す。 30分	臨床看護師
12	2024/11/28 （木）	4	【講義】呼吸をアセスメントする （問診、視診、触診、打診、呼吸音の聴診、呼吸のアセスメントと記録）	講義	前：教科書１のp. 100-136、教科書２のp. 188-198を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	板津良

13	2024/11/28 （木）	５	【講義】循環をアセスメントする （問診、視診、触診、心音の聴診、循環のアセスメントと記録）	講義	前：教科書１のp.138-169、教科書２のp.198-207を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	板津良
14	2024/12/05 （木）	３	【演習】呼吸をアセスメントする （ランドマークの確認、呼吸音の聴診）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
15	2024/12/05 （木）	４	【演習】循環をアセスメントする （ランドマークの確認、心音の聴診、末梢循環の確認）	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
16	2025/01/30 （木）	３	定期試験			

評価方法	以下を総合的に評価する。 １　筆記試験（80%） ２　技術チェック（5%） ３　講義・演習への参加度（15%） ⑴　演習の出席状況 ⑵　講義・演習への参加態度 ⑶　課題の提出状況 ⑷　課題への取り組み状況
教科書・参考書	教科書： １　熊谷たまき他監修：「看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント」、メディックメディア、第１版（2019/12）、定価3,630円（税込） ２　茂野香おる他：「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学⑵ 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版（2023/1）、定価2,970円（税込） 参考書： １　大久保暢子編：「日常生活行動からみるヘルスアセスメント」、日本看護協会出版会、第1版（2016/8）、定価3,630円（税込） DVD： １　「フィジカルアセスメント１、２、３、４、５」医学映像教育センター その他： 本科目は、既習の形態機能学や看護観系科目を復習しながら履修するため、１学年次前期の教科書や資料も必要となる。また、適宜参考資料を紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	本科目は講義と演習で構成されており、実践的に学修を進める。演習では学生がペアになり互いに診察を行う。 １　講義・演習への主体的な参加 実技を修得する科目であるため、積極的かつ主体的に学修する。 ⑴　講義・演習の前には、該当する身体の形態機能について復習しておく。 ⑵　演習前には、指示された課題（動画の視聴も含む）を行って演習に臨む。 ⑶　技術チェックには臨床看護師が参加する。チェックに向けて、事前に配布するチェックリストを用いて、確実な技術を修得できるよう練習を積み重ねる。 ２　この科目に合格しないと「基礎看護学実習Ⅱ」の履修はできない。 【出欠席について】 １　出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻)により出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計２回、打刻する。 ２　30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。 【定期試験について】 １　実技を修得する科目であるため、３分の２以上の出席によって定期試験の受験資格を認める。 ２　追試験・再試験は、大学の定めに従い実施する。再試験は１回のみ実施し、再試験においても不合格の場合には、次年度再履修する。 【その他】 １　フィードバックについて ⑴　講義：次回の授業またはAIDLE-Kにて行う。 ⑵　技術チェック：技術チェック後に担当者より行う。 ⑶　定期試験：希望者に対して行うので、事前にアポイントメントをとる。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室

	板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室
備考	［実務］ 医療機関において看護師としての実務経験を持つ教員が、ヘルスアセスメントの基本について教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	基礎看護技術Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Fundamentals in Nursing Skills Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山幡　朗子
教　　授	山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	山本　恵美子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	人間の基本的欲求の充足を基盤として、生活過程を整えるための生活環境・食事・排泄・清潔などの援助技術を修得する。技術を提供する際の対象の個別性や技術の科学的根拠を理解し、安全性・安楽性・自立性を考慮した技術を学修する。
目標	１　生活過程に関わる基礎看護技術の原理・原則と基本的な方法が説明できる。「DP：５」 ２　科学的根拠に基づいた基本的な看護技術が説明できる。「DP：５」 ３　対象者の生活を支える援助の必要性について説明できる。「DP：２・４・５」 ４　コミュニケーション技術を活用し、援助の実践ができる。「DP：２・５」 ５　対象の安全・安楽・自立を尊重した援助が実施できる。「DP：２・５」 ６　設定された条件下において、対象者のニーズに応じた援助技術の方法を創意工夫する必要性を理解し説明できる。「DP：５・６」 ７　すべての看護行為には倫理的配慮が必要であることを理解し、実践できる。「DP：１・４・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/20（金）	4	【ガイダンス】基礎看護技術Ⅰの受講について 【講義】看護技術を学ぶにあたって、環境調整技術1	講義	前：基礎看護技術Ⅰシラバスを読む。教１ p.2-8、10-21 、教２p.2-16を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
2	2024/09/20（金）	5	【講義】環境調整技術１、安全を守る技術	講義	前：基礎看護技術Ⅰシラバスを読む。教１ p.2-8、10-21 、教２p.2-16、69-78、106-107を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
3	2024/09/24（火）	1	【演習】環境調整技術①、安全を守る技術 ベッド周囲の環境整備、演習室の使い方	演習 GW	前：教１ p.10-21を読む。演習前課題「環境調整技術①、安全を守る技術」を行う。指定した動画を視聴する。 後：演習前課題に加筆す	全員

					る。演習後課題をまとめる。 前後各30分	
4	2024/09/27 （金）	4	【講義】活動・休息援助技術１ 　姿勢、動作、ボディメカニクス、体位、体位変換	講義	前：教１ p.104-168を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本　恵美子
5	2024/09/27 （金）	5	【講義】活動・休息援助技術２ 　体位保持、移乗・移送、睡眠・休息	講義	前：教１ p.104-168を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本　恵美子
6	2024/10/02 （水）	4	【演習】活動・休息援助技術 　ボディメカニクスの基本、体位変換、ポジショニング、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送	演習 GW	前：演習前課題「活動・休息援助技術」を行う。教１動画　12～14を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
7	2024/10/02 （水）	5	【演習】活動・休息援助技術 　ボディメカニクスの基本、体位変換、ポジショニング、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送	演習 GW	前：演習前課題「活動・休息援助技術」を行う。教１動画　12～14を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
8	2024/10/04 （金）	4	【講義】環境調整技術２ 　環境整備、病床を整える（ベッドメーキング、リネン交換）	講義	前：教１ p.21-26を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる 前後各30分	山幡　朗子
9	2024/10/08 （火）	1	【演習】環境調整技術② 　ベッドメーキング、臥床患者のシーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「環境調整技術②」を行う。教１動画1～3を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
10	2024/10/08 （火）	2	【演習】環境調整技術② 　ベッドメーキング、臥床患者のシーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「環境調整技術②」を行う。教１動画1～3を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
11	2024/10/16 （水）	4	【講義】食事援助技術 　①食事援助の基礎知識・実際 ②口腔ケアの基礎知識	講義	前：教１ p.28-51、215-223 を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
12	2024/10/24 （木）	4	【演習】食事援助技術 　食事と口腔ケアの安全・安楽・自立・個別性の理解	演習 GW	前：演習前課題「食事援助技術」を行う。教１動画5，20を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
13	2024/10/28 （月）	3	【講義】清潔・衣生活援助技術１ 　①清潔援助の基礎知識・実際 　②入浴・シャワー浴、整容の基礎知識	講義	前：教１ p.170-184、207-215を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
14	2024/10/28 （月）	4	【講義】清潔・衣生活援助技術２ 　衣生活援助の基礎知識・実際	講義	前：教１ p.224-232を読む。ページ内の動画を視聴する。	山本　恵美子

					後：講義内容をまとめる。 前後各30分	
15	2024/11/06 （水）	1	【演習】清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換・シーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「衣生活援助技術」を行う。教１動画22を視聴する。臥床患者のシーツ交換について復習する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
16	2024/11/06 （水）	2	【演習】清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換・シーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「衣生活援助技術」を行う。教１動画22を視聴する。臥床患者のシーツ交換について復習する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
17	2024/11/08 （金）	4	【講義】清潔・衣生活援助技術３ 手浴・足浴の基礎知識・実際	講義	前：教１ p.199-204を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	志水　己幸
18	2024/11/12 （火）	1	【演習】清潔・衣生活援助技術② 足浴	演習 GW	前：演習前課題「足浴」を行う。教１動画　18を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
19	2024/11/12 （火）	2	【演習】清潔・衣生活援助技術② 足浴	演習 GW	前：演習前課題「足浴」を行う。教１動画　18を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
20	2024/11/14 （木）	3	【講義】清潔・衣生活援助技術4 全身清拭の基礎知識・実際	講義	前：教１ p.184-189を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本　恵美子
21	2024/11/21 （木）	3	【演習】清潔・衣生活援助技術③ 全身清拭及び寝衣交換	演習 GW	前：演習前課題「臥床患者の全身清拭及び寝衣交換」を行う。教１動画　15，16を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
22	2024/11/21 （木）	4	【演習】清潔・衣生活援助技術③ 全身清拭及び寝衣交換	演習 GW	前：演習前課題「臥床患者の全身清拭及び寝衣交換」を行う。教１動画　15，16を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
23	2024/11/22 （金）	5	【講義】清潔・衣生活援助技術5 洗髪の基礎知識・実際	講義	前：教１ p.190-198を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子

24	2024/11/26 （火）	1	【演習】清潔・衣生活援助技術④ 　ケリーパッドを用いた洗髪	演習 GW	前：演習前課題「ケリーパッドを用いた洗髪」を行う。教１動画　17を用いた洗髪を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
25	2024/11/26 （火）	2	【演習】清潔・衣生活援助技術④ 　ケリーパッドを用いた洗髪	演習 GW	前：演習前課題「ケリーパッドを用いた洗髪」を行う。教１動画　17を用いた洗髪を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
26	2024/11/28 （木）	3	【講義】排泄援助技術 　排泄援助の基礎知識・実際、陰部洗浄	講義	前：教１　p.64-79、p.204-207を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
27	2024/12/04 （水）	1	【演習】排泄援助技術 　排泄の援助、陰部洗浄	演習 GW	前：演習前課題「排泄援助技術」を行う。教１動画7，19を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
28	2024/12/04 （水）	2	【演習】排泄援助技術 　排泄の援助、陰部洗浄	演習 GW	前：演習前課題「排泄援助技術」を行う。教１動画7，19を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
29	2025/01/22 （水）	1	技術チェック 　事例に対する看護技術展開 　個別性、安全・安楽、報告、評価、十分な説明	技術チェック	前：計画書をまとめる。 後：フィードバック内容をまとめる。 前後各30分	全員
30	2025/01/22 （水）	2	技術チェック 　事例に対する看護技術展開 　個別性、安全・安楽、報告、評価、十分な説明	技術チェック	前：計画書をまとめる。 後：フィードバック内容をまとめる。 前後各30分	全員
31	2025/01/29 （水）	3	定期試験			山幡　朗子 山本　恵美子 志水　己幸

評価方法	１　定期試験(80%)、技術チェック、課題レポートや講義・演習への参加態度(20%)の総合評価で60点以上を合格とする。 　以下の場合は減点対象となる。 ⑴　課題を期日に提出しない。 ⑵　課題の未提出 ⑶　課題が不十分な場合（内容不足、盗作、他者の課題を写した、インターネットの内容や資料を張り付けた、自らの考えを自分の言葉で考察されていない。） ⑷　講義・演習の無断欠席、遅刻・早退 ⑸　講義・演習中、他人に迷惑をかける行為をしたとき。 ２　再試験について：合格点に達しない場合は再試験を１回実施する。
教科書・参考書	教科書： １　任和子、他：「系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、(2021)、定価3,190円(税込み) ２　茂野香おる、他：「系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、(2021)、定価2,970円（税込み） 参考書： １　松尾ミヨ子　他：「ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　看護実践のための援助技術」、メディカ出版、(2022)、定価3,740円（税込み） ２　任和子、他：「根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第3版」、医学書院、（2021）、定価6,050円（税込み）

	３　医療情報科学研究所：「看護がみえるvol.1　基礎看護技術」、メディックメディア、（2018）、定価3,564円（税込み） ４　その他　講義内で資料配布及び参考図書を紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「基礎看護技術Ⅰ」が不合格の場合、「基礎看護技術Ⅱ」の履修はできない。 ２　出欠席、講義・演習中の態度について ⑴　講義と演習は、並行して行われるので欠席、遅刻、早退をしないように注意する。 ⑵　体調不良や緊急事態などやむを得ない場合以外はむやみに退室しない。 ⑶　その他やむを得ない事由により、講義及び演習を欠席・遅刻・早退する場合は、必ず担当教員へ申し出る。 ⑷　講義では開始前と終了後の合計２回(例えば、３・４時限と２時限続きの場合は、中間に１回の合計３回)カードリーダで打刻する。 ⑸　演習では開始前と終了後にカードリーダで打刻する。（中間の打刻は不要） ⑹　講義・演習開始後30分未満を遅刻とするが、遅刻３回をもって１回の欠席とする。また、講義・演習時に無断で30分以上不在の場合も欠席とする。 ⑺　講義・演習中の他人に迷惑をかける行為（飲食、私語、スマートフォンの操作等）を禁ずる。約束を守らない学生は退出とし、欠席とする。 ３　演習について ⑴　指定された日に行う。自由に演習日を変更することはできない。 ⑵　講義・演習の資料や教科書を熟読し、指示された事前課題を行い演習に臨む。 ⑶　演習課題レポートは指定された期日までに提出する。 ⑷　やむを得ない欠席などにより、指定時間内に実施できない時は、必ず担当教員に相談する。補習については、担当教員が許可した時のみ実施し、補習後は課題を提出する。 ４　試験等について ⑴　定期試験の受験は、３分の２以上出席した者に認める。 ⑵　再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 ５　フィードバック 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。 ６　［凡例］　GW⇒グループワーク　　教⇒教科書
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室
備考	１　講義へは、関連するテキストを熟読し出席する。 ２　演習前：事前課題を学習し参加する。 指示された動画等を視聴する。 ３　演習後：事後課題を行い指示された日時に提出をする。 ［実務］ 医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、基礎看護技術の基本について、教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	基礎看護技術Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Fundamentals in Nursing Skills Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山幡　朗子
教　　授	山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	山本　恵美子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	人間の基本的欲求の充足を基盤として、生活過程を整えるための生活環境・食事・排泄・清潔などの援助技術を修得する。技術を提供する際の対象の個別性や技術の科学的根拠を理解し、安全性・安楽性・自立性を考慮した技術を学修する。
目標	１　生活過程に関わる基礎看護技術の原理・原則と基本的な方法が説明できる。「DP：５」 ２　科学的根拠に基づいた基本的な看護技術が説明できる。「DP：５」 ３　対象者の生活を支える援助の必要性について説明できる。「DP：２・４・５」 ４　コミュニケーション技術を活用し、援助の実践ができる。「DP：２・５」 ５　対象の安全・安楽・自立を尊重した援助が実施できる。「DP：２・５」 ６　設定された条件下において、対象者のニーズに応じた援助技術の方法を創意工夫する必要性を理解し説明できる。「DP：５・６」 ７　すべての看護行為には倫理的配慮が必要であることを理解し、実践できる。「DP：１・４・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/20（金）	4	【ガイダンス】基礎看護技術Ⅰの受講について 【講義】看護技術を学ぶにあたって、環境調整技術1	講義	前：基礎看護技術Ⅰシラバスを読む。教１ p.2-8、10-21 、教２p.2-16を読む。 後：講義内容をまとめる。前後各30分	山幡　朗子
2	2024/09/20（金）	5	【講義】環境調整技術１、安全を守る技術	講義	前：基礎看護技術Ⅰシラバスを読む。教１ p.2-8、10-21 、教２p.2-16、69-78、106-107を読む。 後：講義内容をまとめる。前後各30分	山幡　朗子
3	2024/09/24（火）	2	【演習】環境調整技術①、安全を守る技術 ベッド周囲の環境整備、演習室の使い方	演習 GW	前：教１ p.10-21を読む。演習前課題「環境調整技術①、安全を守る技術」を行う。指定した動画を視聴する。 後：演習前課題に加筆す	全員

					る。演習後課題をまとめる。 前後各30分	
4	2024/09/27 （金）	4	【講義】活動・休息援助技術１ 　姿勢、動作、ボディメカニクス、体位、体位変換	講義	前：教１ p.104-168を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本　恵美子
5	2024/09/27 （金）	5	【講義】活動・休息援助技術２ 　体位保持、移乗・移送、睡眠・休息	講義	前：教１ p.104-168を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本　恵美子
6	2024/10/03 （木）	3	【演習】活動・休息援助技術 　ボディメカニクスの基本、体位変換、ポジショニング、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送	演習 GW	前：演習前課題「活動・休息援助技術」を行う。教１動画　12～14を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
7	2024/10/03 （木）	4	【演習】活動・休息援助技術 　ボディメカニクスの基本、体位変換、ポジショニング、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送	演習 GW	前：演習前課題「活動・休息援助技術」を行う。教１動画　12～14を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
8	2024/10/04 （金）	4	【講義】環境調整技術２ 　環境整備、病床を整える（ベッドメーキング、リネン交換）	講義	前：教１ p.21-26を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる 前後各30分	山幡　朗子
9	2024/10/09 （水）	4	【演習】環境調整技術② 　ベッドメーキング、臥床患者のシーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「環境調整技術②」を行う。教１動画1～3を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
10	2024/10/09 （水）	5	【演習】環境調整技術② 　ベッドメーキング、臥床患者のシーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「環境調整技術②」を行う。教１動画1～3を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
11	2024/10/16 （水）	4	【講義】食事援助技術 　①食事援助の基礎知識・実際 ②口腔ケアの基礎知識	講義	前：教１ p.28-51、215-223 を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
12	2024/10/24 （木）	3	【演習】食事援助技術 　食事と口腔ケアの安全・安楽・自立・個別性の理解	演習 GW	前：演習前課題「食事援助技術」を行う。教１動画5，20を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
13	2024/10/28 （月）	3	【講義】清潔・衣生活援助技術１ 　①清潔援助の基礎知識・実際 　②入浴・シャワー浴、整容の基礎知識	講義	前：教１ p.170-184、207-215を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
14	2024/10/28 （月）	4	【講義】清潔・衣生活援助技術２ 　衣生活援助の基礎知識・実際	講義	前：教１ p.224-232を読む。ページ内の動画を視聴する。	山本　恵美子

					後：講義内容をまとめる。 前後各30分	
15	2024/11/05 （火）	1	【演習】清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換・シーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「衣生活援助技術」を行う。教１動画22を視聴する。臥床患者のシーツ交換について復習する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
16	2024/11/05 （火）	2	【演習】清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換・シーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「衣生活援助技術」を行う。教１動画22を視聴する。臥床患者のシーツ交換について復習する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
17	2024/11/08 （金）	4	【講義】清潔・衣生活援助技術３ 手浴・足浴の基礎知識・実際	講義	前：教１ p.199-204を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	志水　己幸
18	2024/11/13 （水）	3	【演習】清潔・衣生活援助技術② 足浴	演習 GW	前：演習前課題「足浴」を行う。教１動画　18を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
19	2024/11/13 （水）	4	【演習】清潔・衣生活援助技術② 足浴	演習 GW	前：演習前課題「足浴」を行う。教１動画　18を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
20	2024/11/14 （木）	3	【講義】清潔・衣生活援助技術4 全身清拭の基礎知識・実際	講義	前：教１ p.184-189を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
21	2024/11/19 （火）	1	【演習】清潔・衣生活援助技術③ 全身清拭及び寝衣交換	演習 GW	前：演習前課題「臥床患者の全身清拭及び寝衣交換」を行う。教１動画　15，16を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
22	2024/11/19 （火）	2	【演習】清潔・衣生活援助技術③ 全身清拭及び寝衣交換	演習 GW	前：演習前課題「臥床患者の全身清拭及び寝衣交換」を行う。教１動画　15，16を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
23	2024/11/22 （金）	5	【講義】清潔・衣生活援助技術5 洗髪の基礎知識・実際	講義	前：教１ p.190-198を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子

24	2024/11/27 （水）	1	【演習】清潔・衣生活援助技術④ 　ケリーパッドを用いた洗髪	演習 GW	前：演習前課題「ケリーパッドを用いた洗髪」を行う。教１動画　17を用いた洗髪を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
25	2024/11/27 （水）	2	【演習】清潔・衣生活援助技術④ 　ケリーパッドを用いた洗髪	演習 GW	前：演習前課題「ケリーパッドを用いた洗髪」を行う。教１動画　17を用いた洗髪を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
26	2024/11/28 （木）	3	【講義】排泄援助技術 　排泄援助の基礎知識・実際、陰部洗浄	講義	前：教１　p.64-79、p.204-207を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡　朗子
27	2024/12/03 （火）	1	【演習】排泄援助技術 　排泄の援助、陰部洗浄	演習 GW	前：演習前課題「排泄援助技術」を行う。教１動画7，19を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
28	2024/12/03 （火）	2	【演習】排泄援助技術 　排泄の援助、陰部洗浄	演習 GW	前：演習前課題「排泄援助技術」を行う。教１動画7，19を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全員
29	2025/01/22 （水）	3	技術チェック 　事例に対する看護技術展開 　個別性、安全・安楽、報告、評価、十分な説明	技術チェック	前：計画書をまとめる。 後：フィードバック内容をまとめる。 前後各30分	全員
30	2025/01/22 （水）	4	技術チェック 　事例に対する看護技術展開 　個別性、安全・安楽、報告、評価、十分な説明	技術チェック	前：計画書をまとめる。 後：フィードバック内容をまとめる。 前後各30分	全員
31	2025/01/29 （水）	3	定期試験			山幡　朗子 山本　恵美子 志水　己幸 中山　綾子

評価方法	１　定期試験(80%)、技術チェック、課題レポートや講義・演習への参加態度(20%)の総合評価で60点以上を合格とする。 　以下の場合は減点対象となる。 ⑴　課題を期日に提出しない。 ⑵　課題の未提出 ⑶　課題が不十分な場合（内容不足、盗作、他者の課題を写した、インターネットの内容や資料を張り付けた、自らの考えを自分の言葉で考察されていない。） ⑷　講義・演習の無断欠席、遅刻・早退 ⑸　講義・演習中、他人に迷惑をかける行為をしたとき。 ２　再試験について：合格点に達しない場合は再試験を１回実施する。
教科書・参考書	教科書： １　任和子、他：「系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、(2021)、定価3,190円(税込み) ２　茂野香おる、他：「系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、(2021)、定価2,970円（税込み） 参考書： １　松尾ミヨ子　他：「ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　看護実践のための援助技術」、メディカ出版、(2022)、定価3,740円（税込み） ２　任和子、他：「根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第3版」、医学書院、（2021）、定価6,050円

	（税込み） ３　医療情報科学研究所：「看護がみえるvol.1　基礎看護技術」、メディックメディア、（2018）、定価3,564円（税込み） ４　その他　講義内で資料配布及び参考図書を紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「基礎看護技術Ⅰ」が不合格の場合、「基礎看護技術Ⅱ」の履修はできない。 ２　出欠席、講義・演習中の態度について ⑴　講義と演習は、並行して行われるので欠席、遅刻、早退をしないように注意する。 ⑵　体調不良や緊急事態などやむを得ない場合以外はむやみに退室しない。 ⑶　その他やむを得ない事由により、講義及び演習を欠席・遅刻・早退する場合は、必ず担当教員へ申し出る。 ⑷　講義では開始前と終了後の合計２回(例えば、３・４時限と２時限続きの場合は、中間に１回の合計３回)カードリーダで打刻する。 ⑸　演習では開始前と終了後にカードリーダで打刻する。（中間の打刻は不要） ⑹　講義・演習開始後30分未満を遅刻とするが、遅刻３回をもって１回の欠席とする。また、講義・演習時に無断で30分以上不在の場合も欠席とする。 ⑺　講義・演習中の他人に迷惑をかける行為（飲食、私語、スマートフォンの操作等）を禁ずる。約束を守らない学生は退出とし、欠席とする。 ３　演習について ⑴　指定された日に行う。自由に演習日を変更することはできない。 ⑵　講義・演習の資料や教科書を熟読し、指示された事前課題を行い演習に臨む。 ⑶　演習課題レポートは指定された期日までに提出する。 ⑷　やむを得ない欠席などにより、指定時間内に実施できない時は、必ず担当教員に相談する。補習については、担当教員が許可した時のみ実施し、補習後は課題を提出する。 ４　試験等について ⑴　定期試験の受験は、３分の２以上出席した者に認める。 ⑵　再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 ５　フィードバック 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。 ６　［凡例］　GW⇒グループワーク　　教⇒教科書
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室
備考	１　講義へは、関連するテキストを熟読し出席する。 ２　演習前：事前課題を学習し参加する。 指示された動画等を視聴する。 ３　演習後：事後課題を行い指示された日時に提出をする。 ［実務］ 医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、基礎看護技術の基本について、教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	基礎看護技術Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Fundamentals in Nursing Skills Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 篠田　かおる
教　　授	山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	山本　恵美子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	保健師助産師看護師法に定められる診療の補助業務に関連した技術を修得する。チーム医療を展開する過程において健康問題を持つ対象を理解し、治療過程を支える看護師の役割と責任を認識する。治療処置における侵襲性を理解し、科学的根拠に基づいた安全性・安楽性・自立性を考慮した基本的な看護技術について学習する。
目標	１　治療過程を支える看護師の役割を説明できる。「DP：３・５」 ２　健康問題に伴う日常生活への影響および治療過程において起こりうる侵襲について理解し、安全性・安楽性を考慮した基本的な看護技術が実施できる。「DP：２・５」 ３　科学的根拠に基づいた基本的な看護技術が説明できる。「DP：５」 ４　健康問題に伴う身体的・精神的・社会的苦痛についてアセスメントし、対象のニーズに応じた安全性・安楽性並びに自立性を尊重した援助計画を立案し実施できる「DP：１・２・５・６」 ５　すべての看護行為には倫理的配慮が必要であることを理解し、実践できる。「DP：１」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/10（水）	3	ガイダンス：基礎看護技術Ⅱを学ぶにあたって　治療過程を支える看護師の役割 【講義】診察・検査・処置の介助技術１ 検査の意義、治療・処置に予測される危険、検査における看護師の役割、検査の種類、実施時の注意点	講義	前：基礎看護技術Ⅱシラバスを読む。教科書２p.2～16、教科書１p.406～407,416～456を読む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田　かおる
2	2024/04/10（水）	4	【講義】与薬の技術１：薬物療法、注射法以外の各種与薬方法 薬物療法における看護師の役割、薬剤を効果的で安全に使用するための基本的知識、 内服薬・外用薬の種類・使用目的・６Ｒの実施・確認・観察	講義	前：教科書２p.104～111、教科書１p.310～325を読む。「与薬の技術１」講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田　かおる
3	2024/04/12（金）	5	【講義】排泄援助技術１：排便を促す援助 排便のメカニズム、浣腸の種類・適応、浣腸を実施するためのアセスメントと方法、 安全性・安楽性を考慮した浣腸・摘便の援助	講義	前：教科書１p.87～94を読む。ページ内の動画を視聴する。「排泄援助技術１：排便を促す援助」の講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田　かおる

4	2024/04/17 （水）	3	【演習】グリセリン浣腸 　グリセリン浣腸の実際、観察	演習	前：「グリセリン浣腸」の演習前課題を行う。 後：「グリセリン浣腸」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
5	2024/04/19 （金）	4	【講義】診察・検査・処置の介助技術２：静脈内採血 　静脈内採血　採血法とは、採血の合併症、静脈血採血の方法、安全な静脈血採血穿刺部位の選択	講義	前：教科書１p.407～413を読む。ページ内の動画を視聴する。「静脈血採血」の講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	坂田　久美子
6	2024/04/24 （水）	4	【演習】静脈血採血 　静脈血採血穿刺部位の選択、静脈血採血の実際	演習	前：「静脈血採血」の演習前課題を行う。 後：「静脈血採血」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
7	2024/05/01 （水）	2	【講義】与薬の技術２：注射 　注射の基礎知識、安全性・安楽性を考慮した注射、注射の目的・注射部位・確実な準備・観察	講義	前：教科書１p.326～354、教科書２p.95～98を読む。ページ内の動画を視聴する。「与薬の技術２」講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	志水　己幸
8	2024/05/09 （木）	4	【演習】皮下・筋肉内注射 　注射部位の選択（皮下注射・筋肉内注射） 　無菌操作（注射器と薬液の準備）、６Ｒの実施、注射部位の選択、皮下注射・筋肉内注射の実際、観察、感染予防、後片付け	演習	前：「皮下・筋肉内注射」の演習前課題を行う。 後：「皮下・筋肉内注射」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
9	2024/05/09 （木）	5	【演習】皮下・筋肉内注射 　注射部位の選択（皮下注射・筋肉内注射） 　無菌操作（注射器と薬液の準備）、６Ｒの実施、注射部位の選択、皮下注射・筋肉内注射の実際、観察、感染予防、後片付け	演習	前：「皮下・筋肉内注射」の演習前課題を行う。 後：「皮下・筋肉内注射」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
10	2024/05/15 （水）	2	【講義】排泄援助技術２：導尿 　排尿のメカニズム、導尿の種類・適応、導尿を実施するためのアセスメントと方法、安全性・安楽性を考慮した導尿の援助	講義	前：教科書１p.79～87を読む。ページ内の動画を視聴する。「排泄援助技術２：導尿」の講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	山幡　朗子
11	2024/05/21 （火）	1	【演習】導尿：一時的導尿の実際 　基本原則に基づいた無菌操作、尿道・膀胱壁の損傷防止、羞恥心・保温への配慮、観察	演習	前：「導尿：一時的導尿の実際」の演習前課題を行う。 後：「導尿：一時的導尿の実際」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
12	2024/05/21 （火）	2	【演習】導尿：一時的導尿の実際 　基本原則に基づいた無菌操作、尿道・膀胱壁の損傷防止、羞恥心・保温への配慮、観察	演習	前：「導尿：一時的導尿の実際」の演習前課題を行う。 後：「導尿：一時的導尿の実際」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
13	2024/05/28 （火）	1	【講義】非経口的栄養法の看護技術 　栄養法の種類と適応、非経口的栄養法を実施するためのアセスメント、実施時の注意点	講義	前：教科書１p.51～61を読む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	山幡　朗子
14	2024/05/28 （火）	2	【講義】苦痛の緩和・安楽確保の技術：罨法 温熱刺激・寒冷刺激による生体の反応、温罨法、冷罨法 【演習】事例に基づく総合演習 事例に関するアセスメント・計画立案（グループワーク）	講義 演習 （GW）	前：教科書１p.156～167を読む。ページ内の動画を視聴する。「罨法」の講義前課題を行う。提示した「事例」について事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 「事例」に関する看護援助	志水　己幸 篠田　かおる

					実施に向けての準備を行う。 前60分、後60分	
15	2024/06/20 （木）	３	【演習】事例に基づく総合演習 事例に関する看護援助の実施および評価	演習	前：「事例」に関する看護援助実施に向けての準備を行う。 後：「事例」に関する演習後課題を行う。 前60分、後60分	全員
16	2024/06/25 （火）	４	定期試験			篠田　かおる 山幡　朗子 坂田　久美子 志水　己幸

評価方法	１　定期試験(85%)、講義・演習参加状況、課題（15%） 以下の場合は減点とする。 ⑴　課題を期日に提出しない。 ⑵　課題の未提出 ⑶　課題が不十分な場合(内容不足、盗作、他者の課題を写した、インターネットの内容や資料を張り付けた、自らの考えを自分の言葉で考察されていない、文献が活用されていない、誤字・脱字などがある場合) ⑷　講義・演習の無断欠席、遅刻・早退 ⑸　講義・演習中の飲食、mail等のやりとり、私語等他人に迷惑をかける行為をしたとき。 ２　合格点に達しない場合は再試験を実施する。
教科書・参考書	教科書： １　任和子、他：「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[3]　基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、第18版（2021/01）、定価3,190円（税込み） ２　茂野香おる、他：「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[2]　基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版（2023/01）、定価2,970円（税込み） 参考書： １　任和子、他：「根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術」、医学書院、第２版（2017/10）、定価6,050円（税込み） ２　医療情報科学研究所編：「看護技術がみえるvol.２臨床看護技術」、メディックメディア、第１版（2018/12）、定価3,630円（税込み） ３　三上れつ、他：「演習・実習に役立つ基礎看護技術」、ヌーヴェルヒロカワ、第４版（2015/03）、定価3,190円（税込み） ４　開講時資料配布及び参考図書を紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「基礎看護技術Ⅰ」に合格していない者は履修できない。 ２　出欠席、講義・演習中の態度について ⑴　講義と演習は、並行して行われるので欠席、遅刻、早退をしないように注意する。 ⑵　体調不良や緊急事態などやむを得ない場合以外はむやみに退室しない。 ⑶　その他やむを得ない事由により、講義及び演習を欠席・遅刻・早退する場合は、必ず担当教員へ申し出る。 ⑷　講義では開始前と終了後の合計２回(３・４時限と２時限続きの場合は、中間に１回の合計３回)カードリーダで打刻する。 ⑸　演習では開始前と終了後にカードリーダで打刻する。（中間の打刻は不要） ⑹　講義・演習開始後30分未満を遅刻とするが、遅刻３回をもって１回の欠席とする。また、講義・演習時に無断で30分以上不在の場合も欠席とする。 ⑺　講義・演習中の他人に迷惑をかける行為（飲食、私語、スマートフォンの操作等）を禁ずる。約束を守らない学生は退出とし、欠席とする。 ３　演習について ⑴　指定された日に行う。自由に演習日を変更することはできない。 ⑵　講義・演習の資料や教科書を熟読し、指示された事前課題を行い演習に臨む。 ⑶　演習課題レポートは指定された期日までに提出する。 ⑷　やむを得ない欠席などにより、指定時間内に実施できない時は、必ず担当教員に相談する。補習については、担当教員が許可した時のみ実施し、補習後は課題を提出する。 ４　試験等について ⑴　定期試験の受験は、３分の２以上出席した者に認める。 ⑵　再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 ５　フィードバック 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室

備考	１　講　義：関連するテキストを熟読し、講義前課題を行い出席する（60分）。 ２　演習前：演習前課題を学習し参加する（60分）。 　　指示されたVTR・DVD等の動画を視聴する。 ３　演習後：演習後課題を行い指示された日時に提出をする（60分）。 ４　その他課題が提示された場合には、指示された日時に提出をする。 ［実務］ 医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、それぞれの実務経験を活かして，基礎看護技術の基本について教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	基礎看護技術Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Fundamentals in Nursing Skills Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 篠田　かおる
教　　授	山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	山本　恵美子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	保健師助産師看護師法に定められる診療の補助業務に関連した技術を修得する。チーム医療を展開する過程において健康問題を持つ対象を理解し、治療過程を支える看護師の役割と責任を認識する。治療処置における侵襲性を理解し、科学的根拠に基づいた安全性・安楽性・自立性を考慮した基本的な看護技術について学習する。
目標	１　治療過程を支える看護師の役割を説明できる。「DP：３・５」 ２　健康問題に伴う日常生活への影響および治療過程において起こりうる侵襲について理解し、安全性・安楽性を考慮した基本的な看護技術が実施できる。「DP：２・５」 ３　科学的根拠に基づいた基本的な看護技術が説明できる。「DP：５」 ４　健康問題に伴う身体的・精神的・社会的苦痛についてアセスメントし、対象のニーズに応じた安全性・安楽性並びに自立性を尊重した援助計画を立案し実施できる「DP：１・２・５・６」 ５　すべての看護行為には倫理的配慮が必要であることを理解し、実践できる。「DP：１」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/10（水）	3	ガイダンス：基礎看護技術Ⅱを学ぶにあたって　治療過程を支える看護師の役割 【講義】診察・検査・処置の介助技術１ 検査の意義、治療・処置に予測される危険、検査における看護師の役割、検査の種類、実施時の注意点	講義	前：基礎看護技術Ⅱシラバスを読む。教科書２p.2～16、教科書１p.406～407,416～456を読む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田　かおる
2	2024/04/10（水）	4	【講義】与薬の技術１：薬物療法、注射法以外の各種与薬方法 薬物療法における看護師の役割、薬剤を効果的で安全に使用するための基本的知識、 内服薬・外用薬の種類・使用目的・６Ｒの実施・確認・観察	講義	前：教科書２p.104～111、教科書１p.310～325を読む。「与薬の技術１」講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田　かおる
3	2024/04/12（金）	5	【講義】排泄援助技術１：排便を促す援助 排便のメカニズム、浣腸の種類・適応、浣腸を実施するためのアセスメントと方法、 安全性・安楽性を考慮した浣腸・摘便の援助	講義	前：教科書１p.87～94を読む。ページ内の動画を視聴する。「排泄援助技術１：排便を促す援助」の講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田　かおる

4	2024/04/17 （水）	4	【演習】グリセリン浣腸 　グリセリン浣腸の実際、観察	演習	前：「グリセリン浣腸」の演習前課題を行う。 後：「グリセリン浣腸」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
5	2024/04/19 （金）	4	【講義】診察・検査・処置の介助技術２：静脈内採血 　静脈内採血　採血法とは、採血の合併症、静脈血採血の方法、安全な静脈血採血穿刺部位の選択	講義	前：教科書１p.407～413を読む。ページ内の動画を視聴する。「静脈血採血」の講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	坂田　久美子
6	2024/04/24 （水）	3	【演習】静脈血採血 　静脈血採血穿刺部位の選択、静脈血採血の実際	演習	前：「静脈血採血」の演習前課題を行う。 後：「静脈血採血」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
7	2024/05/01 （水）	2	【講義】与薬の技術２：注射 　注射の基礎知識、安全性・安楽性を考慮した注射、注射の目的・注射部位・確実な準備・観察	講義	前：教科書１p.326～354、教科書２p.95～98を読む。ページ内の動画を視聴する。「与薬の技術２」講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	志水　己幸
8	2024/05/08 （水）	1	【演習】皮下・筋肉内注射 　注射部位の選択（皮下注射・筋肉内注射） 　無菌操作（注射器と薬液の準備）、６Ｒの実施、注射部位の選択、皮下注射・筋肉内注射の実際、観察、感染予防、後片付け	演習	前：「皮下・筋肉内注射」の演習前課題を行う。 後：「皮下・筋肉内注射」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
9	2024/05/08 （水）	2	【演習】皮下・筋肉内注射 　注射部位の選択（皮下注射・筋肉内注射） 　無菌操作（注射器と薬液の準備）、６Ｒの実施、注射部位の選択、皮下注射・筋肉内注射の実際、観察、感染予防、後片付け	演習	前：「皮下・筋肉内注射」の演習前課題を行う。 後：「皮下・筋肉内注射」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
10	2024/05/15 （水）	2	【講義】排泄援助技術２：導尿 　排尿のメカニズム、導尿の種類・適応、導尿を実施するためのアセスメントと方法、安全性・安楽性を考慮した導尿の援助	講義	前：教科書１p.79～87を読む。ページ内の動画を視聴する。「排泄援助技術２：導尿」の講義前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	山幡　朗子
11	2024/05/22 （水）	1	【演習】導尿：一時的導尿の実際 　基本原則に基づいた無菌操作、尿道・膀胱壁の損傷防止、羞恥心・保温への配慮、観察	演習	前：「導尿：一時的導尿の実際」の演習前課題を行う。 後：「導尿：一時的導尿の実際」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
12	2024/05/22 （水）	2	【演習】導尿：一時的導尿の実際 　基本原則に基づいた無菌操作、尿道・膀胱壁の損傷防止、羞恥心・保温への配慮、観察	演習	前：「導尿：一時的導尿の実際」の演習前課題を行う。 後：「導尿：一時的導尿の実際」の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
13	2024/05/28 （火）	1	【講義】非経口的栄養法の看護技術 　栄養法の種類と適応、非経口的栄養法を実施するためのアセスメント、実施時の注意点	講義	前：教科書１p.51～61を読む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	山幡　朗子
14	2024/05/28 （火）	2	【講義】苦痛の緩和・安楽確保の技術：罨法 温熱刺激・寒冷刺激による生体の反応、温罨法、冷罨法 【演習】事例に基づく総合演習 事例に関するアセスメント・計画立案（グループワーク）	講義 演習 （GW）	前：教科書１p.156～167を読む。ページ内の動画を視聴する。「罨法」の講義前課題を行う。提示した「事例」について事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 「事例」に関する看護援助	志水　己幸 篠田　かおる

					実施に向けての準備を行う。 前60分、後60分	
15	2024/06/20 （木）	4	【演習】事例に基づく総合演習 事例に関する看護援助の実施および評価	演習	前：「事例」に関する看護援助実施に向けての準備を行う。 後：「事例」に関する演習後課題を行う。 前60分、後60分	全員
16	2024/06/25 （火）	4	定期試験			篠田　かおる 山幡　朗子 坂田　久美子 志水　己幸

評価方法	１　定期試験(85%)、講義・演習参加状況、課題（15%） 以下の場合は減点とする。 ⑴　課題を期日に提出しない。 ⑵　課題の未提出 ⑶　課題が不十分な場合(内容不足、盗作、他者の課題を写した、インターネットの内容や資料を張り付けた、自らの考えを自分の言葉で考察されていない、文献が活用されていない、誤字・脱字などがある場合) ⑷　講義・演習の無断欠席、遅刻・早退 ⑸　講義・演習中の飲食、mail等のやりとり、私語等他人に迷惑をかける行為をしたとき。 ２　合格点に達しない場合は再試験を実施する。
教科書・参考書	教科書： １　任和子、他：「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[3]　基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、第18版（2021/01）、定価3,190円（税込み） ２　茂野香おる、他：「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[2]　基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版（2023/01）、定価2,970円（税込み） 参考書： １　任和子、他：「根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術」、医学書院、第２版（2017/10）、定価6,050円（税込み） ２　医療情報科学研究所編：「看護技術がみえるvol.２臨床看護技術」、メディックメディア、第１版（2018/12）、定価3,630円（税込み） ３　三上れつ、他：「演習・実習に役立つ基礎看護技術」、ヌーヴェルヒロカワ、第４版（2015/03）、定価3,190円（税込み） ４　開講時資料配布及び参考図書を紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「基礎看護技術Ⅰ」に合格していない者は履修できない。 ２　出欠席、講義・演習中の態度について ⑴　講義と演習は、並行して行われるので欠席、遅刻、早退をしないように注意する。 ⑵　体調不良や緊急事態などやむを得ない場合以外はむやみに退室しない。 ⑶　その他やむを得ない事由により、講義及び演習を欠席・遅刻・早退する場合は、必ず担当教員へ申し出る。 ⑷　講義では開始前と終了後の合計２回(３・４時限と２時限続きの場合は、中間に１回の合計３回)カードリーダで打刻する。 ⑸　演習では開始前と終了後にカードリーダで打刻する。（中間の打刻は不要） ⑹　講義・演習開始後30分未満を遅刻とするが、遅刻３回をもって１回の欠席とする。また、講義・演習時に無断で30分以上不在の場合も欠席とする。 ⑺　講義・演習中の他人に迷惑をかける行為（飲食、私語、スマートフォンの操作等）を禁ずる。約束を守らない学生は退出とし、欠席とする。 ３　演習について ⑴　指定された日に行う。自由に演習日を変更することはできない。 ⑵　講義・演習の資料や教科書を熟読し、指示された事前課題を行い演習に臨む。 ⑶　演習課題レポートは指定された期日までに提出する。 ⑷　やむを得ない欠席などにより、指定時間内に実施できない時は、必ず担当教員に相談する。補習については、担当教員が許可した時のみ実施し、補習後は課題を提出する。 ４　試験等について ⑴　定期試験の受験は、３分の２以上出席した者に認める。 ⑵　再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 ５　フィードバック 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室

備考	１　講　義：関連するテキストを熟読し、講義前課題を行い出席する（60分）。 ２　演習前：演習前課題を学習し参加する（60分）。 　　指示されたVTR・DVD等の動画を視聴する。 ３　演習後：演習後課題を行い指示された日時に提出をする（60分）。 ４　その他課題が提示された場合には、指示された日時に提出をする。 ［実務］ 医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、それぞれの実務経験を活かして，基礎看護技術の基本について教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	感染看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Nursing Care and Infection Control Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 長崎　由紀子
准 教 授	青山　恵美

科目概要	感染の成立と感染予防策について理解を深め、看護における感染防止の基本的な知識と技術を修得する。
目標	１　感染成立のメカニズムと標準予防策・感染経路別予防策について説明できる。「DP：２・５」 ２　衛生学的手洗いの基本的な手技を正確に実施できる。「DP：１・２・５」 ３　個人防護具着脱を適切に実施できる。「DP：１・２・５」 ４　洗浄・消毒・滅菌の概要について説明できる。「DP：２・５」 ５　基本的な無菌操作を実施できる。「DP：１・２・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/10/16（水）	2	ガイダンス 感染予防と看護師の役割、感染予防の意義、感染成立のメカニズム、標準予防策、感染経路別予防策	講義	前：教１ p.64-81を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子
2	2024/10/21（月）	1	標準予防策の具体的方法①： 【演習】衛生学的手洗い、個人防護具の着脱	演習	前：教１ p.69-77を読む。 ページ内の動画を視聴する。 ナーシングスキル「手指衛生」、「スタンダードプリコーションの実施；個人防護具の装着補法、個人防護具の取り外し方」を視聴する。 演習事前課題を実施する。 後：演習課題レポートをまとめる。 前後各120分	長崎　由紀子 青山　恵美
3	2024/10/30（水）	1	標準予防策の具体的方法②： 療養環境整備	講義	前：講義資料を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子
4	2024/11/13（水）	1	標準予防策の具体的方法③： 医療廃棄物の取り扱い	講義	前：教１ p.92-94を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子
5	2024/11/20（水）	1	標準予防策の具体的方法④： 洗浄・消毒・滅菌	講義	前：教１ p.81-86を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	青山　恵美
6	2025/01/08（水）	2	無菌操作の基本技術①： 滅菌物の取り扱い、無菌操作	講義	前：教１ p.86-93を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子

7	2025/01/15 （水）	1	無菌操作の基本技術②： 【演習】滅菌物の取り扱い；鑷子・綿球、消毒薬，滅菌セットの展開	演習	前：教１ p.86-93を読む。 ナーシングスキル「滅菌物の取り扱い」を視聴する。 演習事前課題を実施する。 後：演習内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子 青山　恵美
8	2025/01/15 （水）	2	無菌操作の基本技術③： 【演習】滅菌手袋の着脱	演習	前：教１ p.90-91を読む。 ページ内の動画を視聴する。 ナーシングスキル「滅菌手袋の着脱」を視聴する。 演習事前課題を実施する。 後：演習内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子 青山　恵美
9	2025/01/29 （水）	2	定期試験			長崎　由紀子 青山　恵美

評価方法	定期試験（80%）、課題レポート（10%）、授業・演習への参加度（10%）
教科書・参考書	教科書： １　茂野香おる、他：「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2023/1)、定価2,970円（税込み） 参考書： 下記に加え、適宜紹介する。 １　医療情報科学研究所編：「看護技術がみえるvol.２　臨床看護技術」、メディックメディア（2018/12）、定価3,630円(税込み) ２　藤本秀士編著：「わかる！身につく！病原体・感染・免疫」、南山堂、改訂3版（2017/3）、定価3,080円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　遅刻・早退・欠席について ⑴　遅刻および早退は３回で欠席とみなす。 ⑵　出席管理システムにより出席を確認する。 ２　単位取得の条件 ⑴　定期試験に合格すること（再試験は1回とする）。 ⑵　出席２／３以上に満たない場合は、定期試験を受けることができない。 ⑶　連絡がなく演習を欠席した場合は、単位を取得することができない。 ３　課題に対するフィードバック レポートには教員からの講評を記載する。
オフィスアワー	長崎　由紀子　木曜日　16：20～17：50　基礎科学棟３階N363研究室 青山　恵美　　木曜日　16：20～17：50　基礎科学棟３階N375研究室 面談の重複を避けるため、事前にアポイントメントを取ることが望ましい。
備考	［実務］ 看護師として、感染症看護および感染管理の実務経験をもった教員が、実務経験を活かして講義・演習をを行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	感染看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Nursing Care and Infection Control Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 長崎　由紀子
准 教 授	青山　恵美

科目概要	感染の成立と感染予防策について理解を深め、看護における感染防止の基本的な知識と技術を修得する。
目標	１　感染成立のメカニズムと標準予防策・感染経路別予防策について説明できる。「DP：２・５」 ２　衛生学的手洗いの基本的な手技を正確に実施できる。「DP：１・２・５」 ３　個人防護具着脱を適切に実施できる。「DP：１・２・５」 ４　洗浄・消毒・滅菌の概要について説明できる。「DP：２・５」 ５　基本的な無菌操作を実施できる。「DP：１・２・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/10/16（水）	2	ガイダンス 感染予防と看護師の役割、感染予防の意義、感染成立のメカニズム、標準予防策、感染経路別予防策	講義	前：教１ p.64-81を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子
2	2024/10/21（月）	2	標準予防策の具体的方法①： 【演習】衛生学的手洗い、個人防護具の着脱	演習	前：教１ p.69-77を読む。 ページ内の動画を視聴する。 ナーシングスキル「手指衛生」、「スタンダードプリコーションの実施；個人防護具の装着補法、個人防護具の取り外し方」を視聴する。 演習事前課題を実施する。 後：演習課題レポートをまとめる。 前後各120分	長崎　由紀子 青山　恵美
3	2024/10/30（水）	1	標準予防策の具体的方法②： 療養環境整備	講義	前：講義資料を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子
4	2024/11/13（水）	1	標準予防策の具体的方法③： 医療廃棄物の取り扱い	講義	前：教１ p.92-94を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子
5	2024/11/20（水）	1	標準予防策の具体的方法④： 洗浄・消毒・滅菌	講義	前：教１ p.81-86を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	青山　恵美
6	2025/01/08（水）	2	無菌操作の基本技術①： 滅菌物の取り扱い、無菌操作	講義	前：教１ p.86-93を読む。 後：講義内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子

7	2025/01/16 （木）	1	無菌操作の基本技術②： 【演習】滅菌物の取り扱い；鑷子・綿球、消毒薬，滅菌セットの展開	演習	前：教１ p.86-93を読む。 ナーシングスキル「滅菌物の取り扱い」を視聴する。 演習事前課題を実施する。 後：演習内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子 青山　恵美
8	2025/01/16 （木）	2	無菌操作の基本技術③： 【演習】滅菌手袋の着脱	演習	前：教１ p.90-91を読む。 ページ内の動画を視聴する。 ナーシングスキル「滅菌手袋の着脱」を視聴する。 演習事前課題を実施する。 後：演習内容を復習する。 前後各120分	長崎　由紀子 青山　恵美
9	2025/01/29 （水）	2	定期試験			長崎　由紀子 青山　恵美

評価方法	定期試験（80%）、課題レポート（10%）、授業・演習への参加度（10%）
教科書・参考書	教科書： １　茂野香おる、他：「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2023/1)、定価2,970円（税込み） 参考書： 下記に加え、適宜紹介する。 １　医療情報科学研究所編：「看護技術がみえるvol.２　臨床看護技術」、メディックメディア（2018/12）、定価3,630円(税込み) ２　藤本秀士編著：「わかる！身につく！病原体・感染・免疫」、南山堂、改訂3版（2017/3）、定価3,080円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　遅刻・早退・欠席について ⑴　遅刻および早退は３回で欠席とみなす。 ⑵　出席管理システムにより出席を確認する。 ２　単位取得の条件 ⑴　定期試験に合格すること（再試験は1回とする）。 ⑵　出席２／３以上に満たない場合は、定期試験を受けることができない。 ⑶　連絡がなく演習を欠席した場合は、単位を取得することができない。 ３　課題に対するフィードバック レポートには教員からの講評を記載する。
オフィスアワー	長崎　由紀子　木曜日　16：20～17：50　基礎科学棟３階N363研究室 青山　恵美　　木曜日　16：20～17：50　基礎科学棟３階N375研究室 面談の重複を避けるため、事前にアポイントメントを取ることが望ましい。
備考	［実務］ 看護師として、感染症看護および感染管理の実務経験をもった教員が、実務経験を活かして講義・演習をを行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	感染看護学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Nursing Care and Infection Control Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 青山　恵美
准 教 授	長崎　由紀子
講　　師（兼　大学病院・看護部）	高橋　知子

科目概要	本邦において問題となっている感染症の発生状況と関連法規や制度について理解を深め、医療機関や地域における感染防止の基本的な知識と、様々な看護場面に必要な感染防止ケアを学ぶ。また、感染対策や感染症患者に関わる倫理的側面について学ぶ。
目標	１　国内外での感染症の動向、本邦における関連法規と感染症発生状況を把握するシステムについて説明できる。「DP：1・2」 ２　感染経路別予防策について説明できる。「DP:1～3」 ３　医療関連感染を防止するための組織的な取り組みについて説明できる。「DP:1～3」 ４　看護場面での感染防止ケアについて説明できる。「DP:1～3・5」 ５　感染対策や感染症患者に生じやすい倫理的な問題を述べることができる。「DP:1～4」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/11（木）	2	ガイダンス 国内外の感染症の動向、日本における感染症関連法規、世界における感染症の発生状況、感染症の発生状況を把握するためのシステム	講義	前：参考書１（P.2～40、P.121～129）を読む。（120分） 後：講義資料を復習する。（120分）	青山　恵美
2	2024/04/18（木）	2	感染予防と看護師の役割：感染経路別予防策、感染に関わるアセスメント 看護場面における感染防止ケア①：尿路感染予防	講義	前：参考書１（P.114～120）、２（P.64～81）、３（P.79～84）を読む。（120分） 後：講義資料を復習する。（120分）	長崎　由紀子
3	2024/05/02（木）	2	看護場面における感染防止ケア②：肺炎予防、手術部位感染	講義	前：参考書３（P.234～266、P.280～292）を読む。（120分） 後：講義資料を復習する。（120分）	長崎　由紀子
4	2024/05/09（木）	1	看護場面における感染防止ケア③：血流感染予防、感染症患者の早期発見と看護ケア	講義・演習	前：参考書１（P.41～43）、２（P.132～138）、５（P.64～95）を読む。（120分） 後：講義資料を復習する。（120分）	青山　恵美
5	2024/05/16（木）	2	看護場面における看護防止ケア④：　感染症検査検体採取、薬物療法における看護ケア	講義	前：参考書１（P.156～175、P.255～257）を読む。（120分）	青山　恵美

					後：講義資料を復習する。（120分）	
6	2024/05/23（木）	2	感染症患者の看護の実際 病院および地域における感染拡大防止活動と健康危機管理	講義	前：2回目～5回目までの講義資料を読む（120分） 後：講義資料を復習する。（120分）	高橋　知子
7	2024/06/13（木）	2	医療関連感染を予防するための組織的な取り組み：職業感染予防、ワクチン接種	講義	前：参考書１（P.46～71、P.108～111）、２（P.95～102）を読む。（120分） 後：講義資料を復習する。（120分）	青山　恵美
8	2024/06/20（木）	2	感染対策や感染症患者に生じやすい倫理的な問題と看護の役割	講義	前：参考書４（P.24～40、96～118）を読む。（120分） 後：講義資料を復習する。（120分）	長崎　由紀子
9	2024/06/27（木）	2	定期試験			青山　恵美 長崎　由紀子

評価方法	定期試験(90%)、授業・演習への参加度（10%）
教科書・参考書	教科書： 指定しない 参考書： 下記に加え、適宜紹介する。 １　藤本秀士　編著：「わかる！身につく！病原体・感染・免疫」、南山堂、改訂3版（2017/3）、定価3,080円（税込み） ２　茂野香おる、他：「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2023/1)、定価2,970円（税込み） ３　任和子、他：「系統看護学講座　専門分野　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、第18版（2021/01）、定価3,190円（税込み） ４　宮坂道夫、他：「系統看護学講座 別巻 看護倫理」、医学書院、第２版(2018/1)、定価1,980(税込み) ５　医療情報科学研究所　編：「看護技術がみえるvol.２　臨床看護技術」、メディックメディア（2018/12）、定価3,630円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　遅刻・早退・欠席について ⑴　出席管理システムにより出席を確認する。 ⑵　遅刻および早退は３回で欠席とみなす。 ２　単位取得の条件 ⑴　定期試験に合格すること（再試験は1回とする）。 ⑵　出席2/3以上に満たない場合は，定期試験を受けることができない。 ３　講義の振り返りに対するフィードバック 講義内容に関する質問への回答をフィードバックする。
オフィスアワー	青山　恵美　　木曜日　16:20～17:50　基礎科学棟３階N375研究室 長崎　由紀子　木曜日　16:20～17:50　基礎科学棟３階N363研究室 高橋　知子　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。 面談の重複を避けるため、事前にアポイントメントを取ることが望ましい。
備考	[実務] 看護師として、感染症看護および感染管理の実務経験をもった教員と、大学病院で感染症看護を実践している感染症看護専門看護師が、実務経験を活かして講義・演習を行う。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	看護過程論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Nursing Process		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　恵美子
教　　授	山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	山幡　朗子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	意図的な看護実践とは何かを問い、科学的な思考、対人関係スキル及び基本的看護技術を活用した計画的な看護実践の意義と方法について学習する。また、看護過程を活用する意義を理解し、看護の対象をアセスメントし、その人に必要な看護を導き実践するための基礎的能力を培う。
目標	１　意図的な看護実践を行う意義と方法について説明できる。「DP：１～６」 (1)　看護過程を用いる意義を説明できる。 (2)　看護過程のプロセス(アセスメント、看護上の問題の明確化、ケア計画の立案、実践、評価)について説明できる。 ①　系統的な情報収集の必要性が説明できる。 ②　科学的な根拠に基づいた、情報収集並びにアセスメントの過程が説明できる。 ③　アセスメントから導き出した、その人の全体像を把握することを通して、看護上の問題を明確にする過程を説明できる。 ④　看護目標を設定することの意味を説明できる。 ⑤　個別性のある具体的なケア計画を立案することの意味を説明できる。 ⑥　ケア計画に基づいた看護の実践を行う意味を説明できる。 ⑦　行った看護を評価し、ケア計画を修正する必要性が説明できる。 ２　ヘンダーソン理論を応用した、看護過程の展開ができる。「DP：１～６」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/05 (金)	2	【ガイダンス】 【講義】 意図的な看護実践、問題解決過程と看護過程、クリティカルシンキング： 問題解決過程・看護過程とは(アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価)、クリティカルシンキングと看護過程、看護に必要なクリティカルシンキング、対象の理解と倫理的配慮 ヘンダーソンの理論枠組み： 人間・環境・健康・健康増進・個別性・自立・生活行動	講義	前：春季休業中課題（教科書３）を行う。教科書１のP1-36を読む。教科書２のP282-302を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	篠田　かおる
2	2024/04/05 (金)	3	【講義】 アセスメント①アセスメントとは： 　アセスメント（情報の収集から情報の分析）	講義	前：教科書１のP37-45を読む。教科書２のP302-316を読む。	山本　恵美子

			情報収集： 　情報とは、主観的情報・客観的情報、系統的な情報収集 情報の整理・分析： 　ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分析、情報 　が持つ意味を考える		後：講義内容をまとめる。 前後各30分	
3	2024/04/12 (金)	3	【演習】 　アセスメント②情報の整理・分析： 　　ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分析	演習 GW	前：教科書１のP68-146を読む。教科書２のP302-316を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本　恵美子 全員
4	2024/04/12 (金)	4	【演習】 　アセスメント②情報の整理・分析： 　　ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分析	演習 GW	前：教科書１のP68-146を読む。教科書２のP302-316を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本　恵美子 全員
5	2024/04/18 (木)	3	【演習】 　アセスメント②情報の整理・分析： 　　ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分析	演習 GW	前：教科書１のP68-146を読む。教科書２のP302-316を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	全員
6	2024/04/18 (木)	4	【講義】 　アセスメント③全体像の把握： 　　対象者の全体像を捉える、全体像(関連図)を描く 　看護上の問題点の明確化、優先順位の決定	講義	前：教科書１のP72-76を読む。教科書２のP302-316を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本　恵美子
7	2024/04/25 (木)	1	【演習】 　アセスメント③全体像の把握： 　　対象者の全対像を捉える、全体像の(関連図)を描く 　看護上の問題点の明確化、優先順位の決定	演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本　恵美子 全員
8	2024/04/25 (木)	2	【講義】 　看護目標の設定： 　　目標の達成時期(長期目標・短期目標) 　計画立案： 　　観察計画、ケア計画、教育計画	講義	前：教科書１のP46-47、教科書２のP316-330を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 前後各30分	板津　良
9	2024/05/02 (木)	3	【演習】 　看護目標の設定： 　　目標の達成時期(長期目標・短期目標) 　計画立案： 　　観察計画、ケア計画、教育計画	演習 GW	前：教科書１のP46-47、教科書２のP316-330を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
10	2024/05/02 (木)	4	【講義】 　評価 　看護記録：サマリー、監査	講義	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本　恵美子
11	2024/05/09 (木)	2	【講義】 　臨床実践における看護過程の展開 　臨床推論、臨床判断	講義	前：これまでの講義資料を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本　恵美子
12	2024/05/24 (金)	1	【演習】事例展開(看護の実践と評価)	演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
13	2024/05/24 (金)	2	【演習】事例展開(看護の実践と評価)	演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員

14	2024/05/29 (水)	1	【演習】事例展開・発表	演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
15	2024/05/29 (水)	2	【講義・演習】事例展開・発表 【振り返り】	講義・ 演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
16	2024/06/07 (金)	2	定期試験			

評価方法	以下を総合的に評価する。 １　定期試験(80%) ２　講義・演習への参加度（20%） ⑴　講義・演習への参加態度 ⑵　事前課題の実施状況 ⑶　記録の提出状況 ⑷　記録の内容
教科書・参考書	教科書： １　秋葉公子他：「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」、ヌーヴェルヒロカワ、第５版(2023)、定価2,860円（税込み） ２　茂野香おる他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2021)、定価2,860円（税込み） ３　ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯槙ます・小玉香津子訳：「看護の基本となるもの」、日本看護協会出版会、再新装版(2016)、定価1,320円（税込み） 参考書： １　任和子編著：「改訂版 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイドーヘンダーソン、ゴードン、NANDAの枠組みによるー」、照林社、第２版(2006)、定価2,808円（税込み） ２　渡邊トシ子編集：「ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく 実践 看護アセスメント」、ヌーヴェル　ヒロカワ、第３版(2011)、定価2,750円（税込み） ３　永田明他　監修：「看護がみえるvol.4 看護過程の展開」、医療情報科学研究所、(2020)、定価3,630（税込み） ４　髙木永子　監修：「看護過程に沿った対症看護　病態生理と看護のポイント」、第５版(2018)、定価 5,060円(税込み) ※　適宜、資料を提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　本科目を欠席すると、看護過程の理解が不十分となり、以後の全ての実習に大きな影響を与えるので、特別なことがない限り欠席をしない。 ⑵　本科目は講義と演習で構成されており、事例展開を通して学習を進める。そのため、演習前の自己学習と演習には積極的かつ主体的に参加する。 ⑶　この科目に合格しないと「基礎看護学実習Ⅱ」、「老年看護学実習」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻)により出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計２回、打刻する。 ⑵　30分以上の遅刻・早退は、欠席扱いとする。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　再試験は原則１回のみ行う。再試験においても不合格の場合は、次年度再履修する。 ４　フィードバック 質問に対するフィードバックは、次回の授業またはAIDLE-Kで行う。演習のフィードバックは演習直後に担当者より行う。　　定期試験のフィードバックは、希望者に行う（事前にアポイントメントをとること。 ５　[凡例]　GW⇒グループワーク ６　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室
備考	１　講義 ⑴　春季休業中に課題を課す。 ⑵　毎回講義前に教科書の該当箇所を読む（30分）。 ⑶　毎回の講義後に、教科書および配付資料を振り返る（30分）。 ２　演習 ⑴　演習のしおりに沿って課題を行う。

	［実務］ ・医療機関等にて看護師としての実務経験のある教員が、事例を用いながら看護過程展開の基本について教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	看護過程論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Nursing Process		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　恵美子
教　　授	山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	山幡　朗子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	意図的な看護実践とは何かを問い、科学的な思考、対人関係スキル及び基本的看護技術を活用した計画的な看護実践の意義と方法について学習する。また、看護過程を活用する意義を理解し、看護の対象をアセスメントし、その人に必要な看護を導き実践するための基礎的能力を培う。
目標	１　意図的な看護実践を行う意義と方法について説明できる。「DP：１～６」 (1)　看護過程を用いる意義を説明できる。 (2)　看護過程のプロセス(アセスメント、看護上の問題の明確化、ケア計画の立案、実践、評価)について説明できる。 ①　系統的な情報収集の必要性が説明できる。 ②　科学的な根拠に基づいた、情報収集並びにアセスメントの過程が説明できる。 ③　アセスメントから導き出した、その人の全体像を把握することを通して、看護上の問題を明確にする過程を説明できる。 ④　看護目標を設定することの意味を説明できる。 ⑤　個別性のある具体的なケア計画を立案することの意味を説明できる。 ⑥　ケア計画に基づいた看護の実践を行う意味を説明できる。 ⑦　行った看護を評価し、ケア計画を修正する必要性が説明できる。 ２　ヘンダーソン理論を応用した、看護過程の展開ができる。「DP：１～６」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/05 (金)	2	【ガイダンス】 【講義】 意図的な看護実践、問題解決過程と看護過程、クリティカルシンキング： 問題解決過程・看護過程とは(アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価)、クリティカルシンキングと看護過程、看護に必要なクリティカルシンキング、対象の理解と倫理的配慮 ヘンダーソンの理論枠組み： 人間・環境・健康・健康増進・個別性・自立・生活行動	講義	前：春季休業中課題（教科書３）を行う。教科書１のP1-36を読む。教科書２のP282-302 を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	篠田　かおる
2	2024/04/05 (金)	3	【講義】 アセスメント①アセスメントとは： 　アセスメント（情報の収集から情報の分析）	講義	前：教科書１のP37-45を読む。教科書２のP302-316を読む。	山本　恵美子

			情報収集： 　情報とは、主観的情報・客観的情報、系統的な情報収集 情報の整理・分析： 　ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分析、情報 　が持つ意味を考える		後：講義内容をまとめる。 前後各30分	
3	2024/04/12 (金)	3	【演習】 　アセスメント②情報の整理・分析： 　　ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分析	演習 GW	前：教科書１のP68-146を読む。教科書２のP302-316を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
4	2024/04/12 (金)	4	【演習】 　アセスメント②情報の整理・分析： 　　ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分析	演習 GW	前：教科書１のP68-146を読む。教科書２のP302-316を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
5	2024/04/18 (木)	3	【演習】 　アセスメント②情報の整理・分析： 　　ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分析	演習 GW	前：教科書１のP68-146を読む。教科書２のP302-316を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	全員
6	2024/04/18 (木)	4	【講義】 　アセスメント③全体像の把握： 　　対象者の全体像を捉える、全体像(関連図)を描く 　看護上の問題点の明確化、優先順位の決定	講義	前：教科書１のP72-76を読む。教科書２のP302-316を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本　恵美子
7	2024/04/25 (木)	1	【演習】 　アセスメント③全体像の把握： 　　対象者の全体像を捉える、全体像(関連図)を描く 　看護上の問題点の明確化、優先順位の決定	演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
8	2024/04/25 (木)	2	【講義】 　看護目標の設定： 　　目標の達成時期(長期目標・短期目標) 　計画立案： 　　観察計画、ケア計画、教育計画	講義	前：教科書１のP46-47、教科書２のP316-330を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 前後各30分	板津　良
9	2024/05/02 (木)	3	【演習】 　看護目標の設定： 　　目標の達成時期(長期目標・短期目標) 　計画立案： 　　観察計画、ケア計画、教育計画	演習 GW	前：教科書１のP46-47、教科書２のP316-330を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
10	2024/05/02 (木)	4	【講義】 　評価 　看護記録：サマリー、監査	講義	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本　恵美子
11	2024/05/09 (木)	2	【講義】 　臨床実践における看護過程の展開 　臨床推論、臨床判断	講義	前：これまでの講義資料を読む。演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本　恵美子
12	2024/05/24 (金)	3	【演習】事例展開(看護の実践と評価)	演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
13	2024/05/24 (金)	4	【演習】事例展開(看護の実践と評価)	演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員

14	2024/05/29 (水)	1	【演習】事例展開・発表	演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
15	2024/05/29 (水)	2	【講義・演習】事例展開・発表 【振り返り	講義・ 演習 GW	前：演習のしおりを読み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
16	2024/06/07 (金)	2	定期試験			

評価方法	以下を総合的に評価する。 １　定期試験(80%) ２　講義・演習への参加度（20%） ⑴　講義・演習への参加態度 ⑵　事前課題の実施状況 ⑶　記録の提出状況 ⑷　記録の内容
教科書・参考書	教科書： １　秋葉公子他：「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」、ヌーヴェルヒロカワ、第５版(2023)、定価2,860円（税込み） ２　茂野香おる他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2021)、定価2,860円（税込み） ３　ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯槙ます・小玉香津子訳：「看護の基本となるもの」、日本看護協会出版会、再新装版(2016)、定価1,320円（税込み） 参考書： １　任和子編著：「改訂版 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイドーヘンダーソン、ゴードン、NANDAの枠組みによるー」、照林社、第２版(2006)、定価2,808円（税込み） ２　渡邊トシ子編集：「ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく 実践 看護アセスメント」、ヌーヴェル　ヒロカワ、第３版(2011)、定価2,750円（税込み） ３　永田明他　監修：「看護がみえるvol.4 看護過程の展開」、医療情報科学研究所、(2020)、定価3,630（税込み） ４　髙木永子　監修：「看護過程に沿った対症看護　病態生理と看護のポイント」、第５版(2018)、定価 5,060円(税込み) ※　適宜、資料を提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　本科目を欠席すると、看護過程の理解が不十分となり、以後の全ての実習に大きな影響を与えるので、特別なことがない限り欠席をしない。 ⑵　本科目は講義と演習で構成されており、事例展開を通して学習を進める。そのため、演習前の自己学習と演習には積極的かつ主体的に参加する。 ⑶　この科目に合格しないと「基礎看護学実習Ⅱ」、「老年看護学実習」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻)により出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計２回、打刻する。 ⑵　30分以上の遅刻・早退は、欠席扱いとする。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　再試験は原則１回のみ行う。再試験においても不合格の場合は、次年度再履修する。 ４　フィードバック 質問に対するフィードバックは、次回の授業またはAIDLE-Kで行う。演習のフィードバックは演習直後に担当者より行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。 ５　[凡例]　GW⇒グループワーク ６　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室
備考	１　講義 ⑴　春季休業中に課題を課す。 ⑵　毎回講義前に教科書の該当箇所を読む（30分）。 ⑶　毎回の講義後に、教科書および配付資料を振り返る（30分）。 ２　演習 ⑴　演習のしおりに沿って課題を行う。

	［実務］ ・医療機関等にて看護師としての実務経験のある教員が、事例を用いながら看護過程展開の基本について教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	ヘルスプロモーション論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Health Promotion		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 坂本　真理子
准 教 授	佐々木　裕子

科目概要	オタワ憲章の中でヘルスプロモーションは「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義されている。人々の健康をサポートし促進する看護職者として理解しておくべきヘルスプロモーションについて、その背景や実際について学修を深める。また、人々の健康と環境との相互作用について理解し、看護課題を考える機会とする。
目標	１　健康の定義や決定要因を知り、自分なりの健康観について討議できる。「DP:2」 ２　ヘルス・プロモーションの背景と考え方を説明できる。「DP:2」 ３　身近な事例をもとに、ヘルス・プロモーションの実際を知る。「DP:2」 ４　住民・当事者が主体となる活動の強みを説明できる。「DP:1・2」 ５　学生自らがヘルス・プロモーション活動を考え、発表することができる。「DP:１・2」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/17（水）	2	健康とは何か―健康の概念と健康の決定要因 （健康の概念、健康の決定要因、QOLとエンパワメント、健康格差）	講義・GW	予習：テキストｐ80～83を読み、表9に示されている14項目について考えてくる。 復習：講義資料を読み返し、重要なキーワーズについてまとめておく。 各120分	坂本　真理子
2	2024/04/23（火）	1	権利としての健康:プライマリ・ヘルスケア（PHC）―プライマリ・ヘルスケアの背景 （プライマリ・ヘルスケア、アルマアタ宣言、住民参加）	講義	予習：事前に提示された資料を読んでくる。 復習：講義資料・テキストｐ105 ～107を読み、重要なキーワーズについてまとめておく。 各120分	坂本　真理子
3	2024/04/24（水）	2	ヘルス・プロモーションとは何か？―ヘルス・プロモーションの理念 （オタワ憲章、ヘルス・プロモーションの定義、４つのキーワーズと5つの活動方法、ヘルス・プロモーションの評価、健康日本21）	講義	予習：テキストｐ34～40、72～29、83～85を読んでくる。 復習：講義資料を読み返し、重要なキーワーズについてまとめておく。 各120分	坂本　真理子
4	2024/05/08（水）	2	健康を支援する公共政策づくりとヘルス・プロモーション／全世代にわたるヘルス・プロモーション―住むだけで健康が可能な地域づくり・職場づくりは可能か？ （健康な公共政策づくり、ライフステージ、ヘルシー	講義・GW	予習：テキストｐ92～100を読んでくる。 復習：講義資料を読み返し、重要なキーワーズについてまとめておく。 各120分	坂本　真理子

			シティ、健康を支援する環境づくり・まちづくり、健康経営）			
5	2024/05/15（水）	2	住民・当事者とのパートナーシップとヘルス・プロモーション―住民・当事者活動とパートナーシップ（住民主体、当事者主体、パートナーシップ）	講義・GW	予習：事前に提示された資料を読んでくる。テキストｐ68-83を読み，自分の意見をもつ。 復習：講義資料を読み返しし、重要なキーワーズについてまとめておく。 各120分	佐々木　裕子
6	2024/05/22（水）	2	地域活動の強化とヘルス・プロモーション―住民と創るヘルス・プロモーション （多様な地域活動、地域活動を強化する、ともに創る）	講義・GW	予習：事前に提示された資料を読んでくる。関心をもつ市町で活動されている地域活動を１つ選び，その活動の始まりや目ざすものや参加者について調べてくる。 復習：講義資料を読み返し、重要なキーワーズについてまとめておく。 各120分	佐々木　裕子
7	2024/05/29（水）	2	個人技術の開発とヘルス・プロモーション （ヘルス・リテラシー、健康教育、トータル・ヘルスプロモーション）	講義・GW	予習：「ヘルス・リテラシー」について自分で調べてくる。 復習：講義資料を読み返し、重要なキーワーズについていまとめておく。 各120分	坂本　真理子
8	2024/06/12（水）	3	ヘルス・サービスの刷新とヘルス・プロモーション人々の健康のために私たちに何ができるか―疾病対策から健康づくり・予防への転換 （ヘルス・サービスの刷新、ヘルス・プロモーション活動の企画づくり）	講義・GW	予習：事前に提示された資料を読んでくる。 復習：テキスト全体に目を通す。 各120分	坂本　真理子 佐々木　裕子
9	2024/08/07（水）	3	定期試験			坂本　真理子 佐々木　裕子

評価方法	定期試験(70%）、２回の課題レポート（20%）、演習への参加状況（振り返りの内容を含む）（10%）を総合的に評価する。課題については授業中に指示する。
教科書・参考書	教科書： １　島内憲夫・鈴木美奈子著「ヘルスプロモーション　WHO:バンコク憲章」、垣内出版、（2012/12/25)、定価2,090円（税込み） 参考書： １　島内憲夫・鈴木美奈子訳・著「ヘルスプロモーション　WHO:オタワク憲章」、垣内出版、（2013/11/25)、定価1,870円（税込み） その他、授業中に紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席は、出席システムにより確認する。 ２　定期試験は、学則に準ずる。 ３　定期試験不合格者には、再試験を行う。再試験は１回とする。 ４　以下の場合は減点する。 ⑴　講義中の教室の出入り ⑵　無断欠席・遅刻・早退（遅刻・早退は３回で１回欠席とする。） ⑶　その他、態度に問題があると判断した場合 ５　フィードバックの方法 毎回の振り返り内容については、全体で共有可能な内容は授業時間内にフィードバックする。個別対応が必要な内容については個別にフィードバックする。 ６　凡例　GW：グループワーク
オフィスアワー	坂本真理子　水曜日　16：10～17：40　C棟5階教授室１ 佐々木裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室
備考	［実務］ 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員と在宅看護の実務経験をもつ教員が、ヘルスプロモーション活動について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	災害看護学（１学年次生用）		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	黒澤　昌洋
講　　師	橋本　茜
講　　師	二村　純子
講　　師(兼　大学病院・看護部)	髙栁　佳弘
講　　師(非)	栗田　暢之
講　　師(非)	浦野　愛
講　　師(非)	日髙　橘子
講　　師(非)	近藤　望
講　　師(非)	椿　佳代

科目概要	災害看護とは、「災害に対する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開する」と定義されている。本科目では、国内外の災害時の医療・看護活動の基盤となる知識を学び、被災者に必要な看護提供と、日常的な減災活動の心構えと支援方法を学修する。災害時の被災者の状況を理解し、状況に応じた多職種協働の支援活動について学修する。災害支援活動と多様な減災活動の実際の学びを通して、災害時および減災対策における看護専門職者が果たす役割と支援方法を学修する。
目標	１　災害および災害時対応に関する概念や活動や対策の意味・目的について説明できる。「DP：1・2・4・5」 ２　災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP：2～5」 ３　災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。　「DP：1・2・4・5」 ４　災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP：1～6」 ５　災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP：1～6」 ６　災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP：1～4・6」 ７　災害想定シミュレーションゲームを用いて、実際の災害時状況をイメージし、看護職としてどのように減災に取り組むか、討議することができる。「DP：1～6」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/07/25 (木)	3	講義ガイダンス、災害看護学の概要：学年縦断で実施する講義方法と意義 災害総論 ⑴　災害の定義と種類 ⑵　現在の国内外の災害、被災者のニーズと支援 ⑶　災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習①：大規模地震災害と気象災害の発生状況と被災者について、書籍やwebsiteで調べておく。 予習②内閣府や復興庁等のサイトにアクセスし、用語を調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後各120分	栗田　暢之 佐々木　裕子

2	2024/07/25 （木）	4	被災当事者の体験を理解 ⑴　当事者の被災体験の語り ⑵　ディスカッション	講義、GW	予習：①災害当事者の体験として関心をもった内容について、書籍やwebsiteで調べる。websiteは授業支援システム＜災害看護学＞の中で紹介する「『被災当事者の体験を理解』事前学習参考サイト」にアクセスして学習する。 予習②事前情報シートを読み、印象に残ったことや質問してみたいことを整理する。 復習：講義資料を読み返し、課題に取り組む。 前後各120分	二村　純子 黒澤　昌洋 佐々木　裕子 橋本　茜 ゲストスピーカー２名
3			専門職・住民による減災活動の実際① ⑴　減災とは ⑵　住民と協働する減災活動の実際 ⑶　災害時要配慮者（高齢者・障がいをもつ人）への減災活動と課題	講義	予習①：自身の居住地域の行政のHPにアクセスし、ハザードマップや地域で行われる防災訓練や災害対策について調べ、質問してみたいことを整理する。 予習②テキストP240-241、186-199を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後各120分	浦野　愛 椿　佳代 近藤　望
4			専門職・住民による減災活動の実際② ⑴　多文化共生・男女共同参画社会の視点による減災活動 ⑵　女性・子どもについて助産師の視点による減災活動 ⑶　ディスカッション	講義、GW	予習①：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念を調べる。 予習②テキストP222-226、227-229、230-233、237-238、264-268を読む。 予習③演習実施事例について、授業支援システム＜災害看護学＞にUPする資料を読み、質問や疑問に思ったことを整理する。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後各120分	二村　純子 黒澤　昌洋 橋本　茜 佐々木　裕子 椿　佳代 近藤望
5			災害看護の実際①　緊急時支援 ⑴　災害看護の定義と目的、災害看護のフェイズ ⑵　緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際 ⑶　ＤＭＡＴの活動と訓練、DPAT、JMAT、災害拠点病院、救護所	講義、GW	予習①：「トリアージと災害医療チーム」について調べる。 予習②テキストP20-22,56-59,83-86,96-101,104-119を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	髙柳　佳弘
6			災害看護の実際②　復旧・復興支援 ⑴　災害後の復興支援の実際 ⑵　仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 ⑶　派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 ⑷　支援者の心のケア ⑸　減災対策への実際と課題	講義	予習①：「大規模災害後の復旧・復興」について、復興庁のHPや被災地のHP等で調べる。 予習②テキストP62-66,86-89,復興庁のHP https://www.reconstruction.go.jp/ を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	日高　橘子
7			災害看護の実際③　亜急性期支援 ⑴　スフィアスタンダード、PHC、PFA、関連する法制度 ⑵　災害時要配慮者支援 ⑶　避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 ⑷　災害関連死・生活不活発の予防、DHEAT、JRAT、災害支援ナース、JWAT	講義		佐々木　裕子
8			災害看護の実際④	演習		佐々木　裕子 黒澤　昌洋 二村　純子 橋本　茜

9			定期試験			

評価方法	１　学年縦断科目であるため、学年毎のレポートや試験の点数を積算して評価を行う。 　最終的に４学年次の試験終了後に、本科目としての評価を行う。 ２　１学年次生から３学年次生までは、講義ごとの振り返りレポートにより評価する。 　テーマおよび提出方法は講義時に説明する。 ３　４学年次生は、レポートおよび定期試験により評価する。
教科書・参考書	教科書：酒井明子　長田恵子　三澤寿美編者（2022）：「Nursing・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護」、メディカ出版、定価3,080円（税込み） 参考書・参考資料 １　小原真理子（2019）：「災害看護一心得ておきたい基本的な知識」（改訂３版）南山堂、定価3,080円(税込み) ２　酒井明子、増野園惠編集（2023）：「災害看護(改訂第４版)：看護の専門知識を統合して実践につなげる(看護学テキストNiCE）」、南江堂、定価2,750円（税込） ３　竹下喜久子（2019）：「看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学」 第4版（系統看護学講座 統合分野)、医学書院、定価2,640円(税込み) ４　日本集団災害医学会編（2015）：「DMAT標準テキスト」、へるす出版、定価5,720円(税込み) ５　内閣府および各自治体のHPにある災害対策の関連頁、（防災資料室）TEAM防災ジャパンのHP
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 ⑵　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 ３　定期試験と単位認定について ⑴　各学年で出席３分の２以上に達している場合に、次の学年の講義内容に進むことができる。 　２／３以上の出席に達しない場合は定期試験を受験することができず、単位を取得することができない。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ４　フィードバックについて ⑴　授業後の振り返りはAIDLE-Kに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-Kにて共有する ５　凡例　GW：グループワーク
オフィスアワー	佐々木　裕子　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室 黒澤　昌洋　　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階個人研究室③ 二村　純子　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟４階N452研究室 橋本　茜　　月曜日　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 非常勤・兼担講師　　講義終了時
備考	［実務］ 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	災害看護学（２学年次生用）		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	黒澤　昌洋
講　　師	橋本　茜
講　　師	二村　純子
講　　師(兼　大学病院・看護部)	髙栁　佳弘
講　　師(非)	栗田　暢之
講　　師(非)	浦野　愛
講　　師(非)	日髙　橘子
講　　師(非)	近藤　望
講　　師(非)	椿　佳代

科目概要	災害看護とは、「災害に対する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開する」と定義されている。本科目では、国内外の災害時の医療・看護活動の基盤となる知識を学び、被災者に必要な看護提供と、日常的な減災活動の心構えと支援方法を学修する。災害時の被災者の状況を理解し、状況に応じた多職種協働の支援活動について学修する。災害支援活動と多様な減災活動の実際の学びを通して、災害時および減災対策における看護専門職者が果たす役割と支援方法を学修する。
目標	１　災害および災害時対応に関する概念や活動や対策の意味・目的について説明できる。「DP：1・2・4・5」 ２　災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP：2～5」 ３　災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。　「DP：1・2・4・5」 ４　災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP：1～6」 ５　災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP：1～6」 ６　災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP：1～4・6」 ７　災害想定シミュレーションゲームを用いて、実際の災害時状況をイメージし、看護職としてどのように減災に取り組むか、討議することができる。「DP：1～6」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1			講義ガイダンス、災害看護学の概要：学年縦断で実施する講義方法と意義 災害総論 ⑴　災害の定義と種類 ⑵　現在の国内外の災害、被災者のニーズと支援 ⑶　災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習①：大規模地震災害と気象災害の発生状況と被災者について，書籍やwebsiteで調べておく。 予習②内閣府や復興庁等のサイトにアクセスし，用語を調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	栗田　暢之 佐々木　裕子

2			被災当事者の体験を理解 ⑴　当事者の被災体験の語り ⑵　ディスカッション	講義、GW	予習：①災害当事者の体験として関心をもった内容について，書籍やwebsiteで調べる。websiteは授業支援システム＜災害看護学＞の中で紹介する「『被災当事者の体験を理解』事前学習参考サイト」にアクセスして学習する。 予習②事前情報シートを読み，印象に残ったことや質問してみたいことを整理する。 復習：講義資料を読み返し，課題に取り組む。 前後120分	二村　純子 黒澤　昌洋 橋本　茜 佐々木　裕子 ゲストスピーカー2名
3	2024/06/12（水）	1	専門職・住民による減災活動の実際① ⑴　減災とは ⑵　住民と協働する減災活動の実際 ⑶　災害時要配慮者（高齢者・障がいをもつ人）への減災活動と課題	講義	予習①：自身の居住地域の行政のHPにアクセスし，ハザードマップや地域で行われる防災訓練や災害対策について調べ，質問してみたいことを整理する。 予習②テキストP240-241，186-199を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後120分	浦野　愛 椿　佳代 近藤　望
4	2024/06/12（水）	2	専門職・住民による減災活動の実際② ⑴　多文化共生・男女共同参画社会の視点による減災活動 ⑵　女性・子どもについて助産師の視点による減災活動 ⑶　ディスカッション	講義、GW	予習①：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念を調べる。 予習②テキストP222-226，227-229，230-233，237-238，264-268を読む。 予習③演習実施事例について、授業支援システム＜災害看護学＞にUPする資料を読み，質問や疑問に思ったことを整理する。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ 前後各120分	黒澤　昌洋 二村　純子 橋本　茜 佐々木　裕子 椿　佳代 近藤望
5			災害看護の実際①　緊急時支援 ⑴　災害看護の定義と目的、災害看護のフェイズ ⑵　緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際 ⑶　ＤＭＡＴの活動と訓練、DPAT、JMAT、災害拠点病院、救護所	講義、GW	予習①：「トリアージと災害医療チーム」について調べる。 予習②テキストP20-22,56-59,83-86,96-101,104-119を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	髙柳　佳弘
6			災害看護の実際②　復旧・復興支援 ⑴　災害後の復興支援の実際 ⑵　仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 ⑶　派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 ⑷　支援者の心のケア ⑸　減災対策への実際と課題	講義	予習①：「大規模災害後の復旧・復興」について、復興庁のHPや被災地のHP等で調べる。 予習②テキストP62-66,86-89,復興庁のHP https://www.reconstruction.go.jp/を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	日高　橘子
7			災害看護の実際③　亜急性期支援 ⑴　スフィアスタンダード、PHC、PFA、関連する法制度 ⑵　災害時要配慮者支援 ⑶　避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 ⑷　災害関連死・生活不活発の予防、DHEAT、JRAT、災害支援ナース、JWAT	講義		佐々木　裕子
8			災害看護の実際④	演習		佐々木　裕子 黒澤　昌洋 二村　純子 橋本　茜

9			定期試験			

評価方法	１　学年縦断科目であるため、学年毎のレポートや試験の点数を積算して評価を行う。 　最終的に４学年次の試験終了後に、本科目としての評価を行う。 ２　１学年次生から３学年次生までは、講義ごとの振り返りレポートにより評価する。 　テーマおよび提出方法は講義時に説明する。 ３　４学年次生は、レポートおよび定期試験により評価する。
教科書・参考書	教科書：酒井明子　長田恵子　三澤寿美編者（2022）：「Nursing・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護」、メディカ出版、定価3,080円（税込み） 参考書・参考資料 １　小原真理子（2019）：「災害看護一心得ておきたい基本的な知識」　南山堂、東京、定価3,080円(税込み) ２　酒井明子、 増野園恵編集（2023）：「災害看護(改訂第４版)：看護の専門知識を統合して実践につなげる(看護学テキストNiCE)」 、南江堂、定価2,750円（税込） ３　竹下喜久子（2019）：「看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学」 第4版（系統看護学講座 統合分野)、医学書院、東京、定価2,640円(税込み) ４　日本集団災害医学会編（2015）：「DMAT標準テキスト」、へるす出版、定価5,720円(税込み) ５　内閣府および各自治体のHPにある災害対策の関連頁、（防災資料室）TEAM防災ジャパンのHP
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 ⑵　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 ３　定期試験と単位認定について ⑴　各学年で出席３分の２以上に達している場合に、次の学年の講義内容に進むことができる。 　２／３以上の出席に達しない場合は定期試験を受験することができず、単位を取得することができない。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ４　フィードバックについて ⑴　授業後の振り返りを、各授業後にAIDLE-Kに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-Kにて共有する。 ５　凡例　GW：グループワーク
オフィスアワー	佐々木　裕子　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室 黒澤　昌洋　　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階個人研究室③ 二村　純子　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟４階N452研究室 橋本　茜　　月曜日　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 非常勤・兼担講師　　講義終了時
備考	［実務］ 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	災害看護学（３学年次生用）		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	黒澤　昌洋
講　　師	橋本　茜
講　　師	二村　純子
講　　師(兼　大学病院・看護部)	髙栁　佳弘
講　　師(非)	栗田　暢之
講　　師(非)	浦野　愛
講　　師(非)	日髙　橘子
講　　師(非)	近藤　望
講　　師(非)	椿　佳代

科目概要	災害看護とは、「災害に対する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開する」と定義されている。本科目では、国内外の災害時の医療・看護活動の基盤となる知識を学び、被災者に必要な看護提供と、日常的な減災活動の心構えと支援方法を学修する。災害時の被災者の状況を理解し、状況に応じた多職種協働の支援活動について学修する。災害支援活動と多様な減災活動の実際の学びを通して、災害時および減災対策における看護専門職者が果たす役割と支援方法を学修する。
目標	１　災害および災害時対応に関する概念や活動や対策の意味・目的について説明できる。「DP：1・2・4・5」 ２　災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP：2～5」 ３　災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。　「DP：1・2・4・5」 ４　災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP：1～6」 ５　災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP：1～6」 ６　災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP：1～4・6」 ７　災害想定シミュレーションゲームを用いて、実際の災害時状況をイメージし、看護職としてどのように減災に取り組むか、討議することができる。「DP：1～6」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1			講義ガイダンス、災害看護学の概要：学年縦断で実施する講義方法と意義 災害総論 ⑴　災害の定義と種類 ⑵　現在の国内外の災害、被災者のニーズと支援 ⑶　災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習①：大規模地震災害と気象災害の発生状況と被災者について、書籍やwebsiteで調べておく。 予習②内閣府や復興庁等のサイトにアクセスし、用語を調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後各120分	栗田　暢之 佐々木　裕子

2			被災当事者の体験を理解 ⑴　当事者の被災体験の語り ⑵　ディスカッション	講義、GW	予習：①災害当事者の体験として関心をもった内容について、書籍やwebsiteで調べる。websiteは授業支援システム＜災害看護学＞の中で紹介する「『被災当事者の体験を理解』事前学習参考サイト」にアクセスして学習する。 予習②事前情報シートを読み、印象に残ったことや質問してみたいことを整理する。 復習：講義資料を読み返し、課題に取り組む。 前後各120分	二村　純子 黒澤　昌洋 橋本　茜 佐々木　裕子 ゲストスピーカー2名
3			専門職・住民による減災活動の実際① ⑴　減災とは ⑵　住民と協働する減災活動の実際 ⑶　災害時要配慮者（高齢者・障がいをもつ人）への減災活動と課題	講義	予習①：自身の居住地域の行政のHPにアクセスし、ハザードマップや地域で行われる防災訓練や災害対策について調べ、質問してみたいことを整理する。 予習②テキストP240-241、186-199を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後各120分	浦野　愛 椿　佳代 近藤　望
4			専門職・住民による減災活動の実際② ⑴　多文化共生・男女共同参画社会の視点による減災活動 ⑵　女性・子どもについて助産師の視点による減災活動 ⑶　ディスカッション	講義、GW	予習①：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念を調べる。 予習②テキストP222-226、227-229、230-233、237-238、264-268を読む。 予習③演習実施事例について、授業支援システム＜災害看護学＞にUPする資料を読み、質問や疑問に思ったことを整理する。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ 前後各120分	黒澤　昌洋 二村　純子 橋本　茜 佐々木　裕子 椿　佳代 近藤望
5	2024/04/18 （木）	4	災害看護の実際①　緊急時支援 ⑴　災害看護の定義と目的、災害看護のフェイズ ⑵　緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際 ⑶　ＤＭＡＴの活動と訓練、DPAT、JMAT、災害拠点病院、救護所	講義、GW	予習①：「トリアージと災害医療チーム」について調べる。 予習②テキストP20-22,56-59,83-86,96-101,104-119を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	髙柳　佳弘
6	2024/04/18 （木）	5	災害看護の実際②　復旧・復興支援 ⑴　災害後の復興支援の実際 ⑵　仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 ⑶　派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 ⑷　支援者の心のケア ⑸　減災対策への実際と課題	講義	予習①：「大規模災害後の復旧・復興」について、復興庁のHPや被災地のHP等で調べる。 予習②テキストP62-66,86-89,復興庁のHP https://www.reconstruction.go.jp/ を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	日髙　橘子
7			災害看護の実際③　亜急性期支援 ⑴　スフィアスタンダード、PHC、PFA、関連する法制度 ⑵　災害時要配慮者支援 ⑶　避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 ⑷　災害関連死・生活不活発の予防、DHEAT、JRAT、災害支援ナース、JWAT	講義		佐々木　裕子
8			災害看護の実際④	演習		佐々木　裕子 黒澤　昌洋 二村　純子 橋本　茜

9			定期試験			

評価方法	１　学年縦断科目であるため、学年毎のレポートや試験の点数を積算して評価を行う。 　　最終的に４学年次の試験終了後に、本科目としての評価を行う。 ２　１学年次生から３学年次生までは、講義ごとの振り返りレポートにより評価する。 　　テーマおよび提出方法は講義時に説明する。 ３　４学年次生は、レポートおよび定期試験により評価する。
教科書・参考書	教科書：酒井明子　長田恵子　三澤寿美編者（2022）：「Nursing・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護」、メディカ出版、東京、定価3,080円（税込み） 参考書・参考資料 １　小原真理子（2019）：「災害看護一心得ておきたい基本的な知識」　南山堂、定価3,080円(税込み) ２　酒井明子、 増野園恵編集（2023）：「災害看護(改訂第４版)：看護の専門知識を統合して実践につなげる(看護学テキストNiCE)」 、南江堂、定価2,750円（税込） ３　竹下喜久子（2019）：「看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学」 第4版（系統看護学講座 統合分野)、医学書院、定価2,640円(税込み) ４　日本集団災害医学会編（2015）：「DMAT標準テキスト」、へるす出版、定価5,720円(税込み) ５　内閣府および各自治体のHPにある災害対策の関連頁、（防災資料室）TEAM防災ジャパンのHP
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 ⑵　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 ３　定期試験と単位認定について ⑴　各学年で出席３分の２以上に達している場合に、次の学年の講義内容に進むことができる。 　　２/３以上の出席に達しない場合は定期試験を受験することができず、単位を取得することができない。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ４　フィードバックについて ⑴　授業後の振り返りを各講義後にAIDLE-Kに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-Kにて共有する。 ５　凡例　GW：グループワーク
オフィスアワー	佐々木　裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室 黒澤　昌洋　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階個人研究室③ 二村　純子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟４階N452研究室 橋本　茜　月曜日　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 非常勤講師　講義終了時
備考	［実務］ 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	公衆衛生看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Public Health Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
教　　授	坂本　真理子
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師	二村　純子

科目概要	公衆衛生看護学の基盤となる理念であるプライマリ・ヘルスケアとヘルスプロモーションを踏まえた上で、全てのライフサイクル、異なる健康レベルの人々を対象とし、対象となる人々との協働によって創りあげていく公衆衛生看護実践の概要について学ぶ。
目標	１　公衆衛生看護学の基盤となる理念、構成する主要な概念を理解し、述べることができる。「ＤＰ：１・２」 ２　人々の健康課題の変化と求められるニーズの変遷について説明できる。「ＤＰ：１・２・４」 ３　公衆衛生看護が展開される場(行政、在宅、学校、産業等)とそれぞれの対象者・活動の特徴を述べることができる。 「ＤＰ：１・２・４」 ４　公衆衛生看護実践で用いる支援方法である健康相談、家庭訪問、グループ支援、健康教育・健康学習支援、コミュニティ支援(地区組織活動)について理解し、その特徴を説明できる。「ＤＰ：１～５」 ５　ライフサイクルに沿った公衆衛生看護実践の特徴を理解し、説明できる。「ＤＰ：１～５」 ６　特定のヘルス・ニーズ(精神障がい、難病、感染症等)をもつ地域住民との公衆衛生看護実践の特徴を理解し、説明できる。 「ＤＰ：１～５」 ７　実践家との対話を通して、公衆衛生看護活動の現状と課題を主体的に討議できる。「ＤＰ：１～６」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/12/05 (木)	1	講義オリエンテーション 公衆衛生看護学の定義と場・対象 地域保健行政と公衆衛生看護活動 （公衆衛生看護、公衆衛生看護の場と対象、衛生行政のしくみ、都道府県保健所の機能と保健師活動、市町村の機能と保健師活動）	講義	前：教p4-13、p51－60を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	坂本　真理子
2	2024/12/05 (木)	2	公衆衛生看護学の基盤となる理念と構成する主要な概念 （プライマリ・ヘルスケア、ヘルス・プロモーション、地域・コミュニティ、個人・家族・集団、生活、健康、パートナーシップ、協働、ケアリング、エンパワメント、アドボカシー）	講義	前：教p4-21を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	坂本　真理子
3	2024/12/11 (水)	1	地域住民の健康課題の変化と公衆衛生看護実践の変遷 健康危機管理 （健康課題、健康指標の動向、歴史、健康危機管理）	講義 VTR視聴	前：教p22-43、p423-430を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	坂本　真理子

4	2024/12/11 （水）	2	公衆衛生看護実践で用いられる支援方法と特徴１ （第一次・二次・三次予防、ポピュレーション・アプローチ、ハイリスク・アプローチ、保健指導、健康相談、家庭訪問）	講義 VTR視聴	前：教p18-19、p67-71、168-187を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
5	2024/12/18 （水）	1	公衆衛生看護実践で用いられる支援方法と特徴２ （健康教育・学習支援、グループ支援、地域組織活動、地域ケア体制づくり、保健医療福祉との連携・協働、ソーシャル・キャピタル）	講義 VTR視聴	前：教p152-164、p188-199、p67-71、p209-218を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
6	2024/12/18 （水）	2	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－親子１ （法的根拠、国の施策、妊娠期・乳幼児期の健康と健康診査、健康相談、家庭訪問を通しての子育て支援、自立支援）	講義	前：教p234-260を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
7	2025/01/08 （水）	1	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－親子２ （コミュニティの健康課題とコミュニティ支援、社会資源、児童虐待予防、学齢期・思春期の健康、学校保健）	講義 VTR視聴	前：教p234-260、p453-467を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
8	2025/01/15 （水）	1	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－成人 （法的根拠、国の施策、成人期の健康課題、生活習慣病予防、健康づくり、特定健康診査、特定保健指導、産業保健活動、地域職域連携）	講義	前：教p260-285、p468-491を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村　純子
9	2025/01/15 （水）	2	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－高齢者１ （法的根拠、国の施策、高齢者の健康課題、フレイル、ロコモティブシンドローム、介護保険制度、地域包括支援センター、介護予防事業、医療制度）	講義 VTR視聴	前：教p286-309を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村　純子
10	2025/01/22 （水）	1	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－高齢者２ （地域包括ケアシステム、介護予防のまちづくり、認知症施策、高齢者虐待予防）	講義 VTR視聴	前：教p286-309を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村　純子
11	2025/01/22 （水）	2	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する公衆衛生看護実践１ －感染症（法的根拠、国の施策、感染症保健活動、感染症発生動向調査、新興・再興感染症、結核、DOTS）	講義 VTR視聴	前：教p369-410を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	淺野　いずみ
12	2025/01/24 （金）	1	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する公衆衛生看護実践２－身体・知的障がい・難病とともに生きる人々 （法的根拠、国の施策、ノーマライゼーション、患者会、指定難病、日常生活支援、多機関・多職種の連携協働）	講義	前：教p310-346を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	淺野　いずみ
13	2025/01/24 （金）	2	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する公衆衛生看護実践３－精神障がいとともに生きる人々 （法的根拠、国の施策、退院支援、患者会、家族会、地域包括ケアシステム）	講義	前：教p347-368を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	淺野　いずみ
14	2025/01/29 （水）	1	実践家との対話（県保健所における公衆衛生看護の実際）（保健師としての使命、役割と責務）	講義	前後：都道府県保健所の機能と保健師活動に関する教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	特別講師
15	2025/01/29 （水）	2	実践家との対話（市町村における公衆衛生看護の実際）（保健師としての使命、役割と責務）	講義	前後：市町村の機能と保健師活動に関する教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	特別講師
16	2025/02/05 （水）	2	定期試験			全員

評価方法	定期試験85%、授業への参加態度（振り返り用紙の記入含む）15%

教科書・参考書	１　荒賀直子・後閑容子・鳩野洋子・神庭純子編(2024)：公衆衛生看護学.jp第６版、インターメディカル出版、定価5,280円（税込み） ２　厚生労働統計協会編(2022):「国民衛生の動向(2022/2023)」、厚生労働統計協会出版、定価2,970円（税込み） 参考書： 講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席管理システムにより、出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回、打刻する。 ２　30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 ３　遅刻または早退２回で欠席１回とみなす。 ４　講義終了後、毎回、振り返り（AIDLE-Kへの入力）を記入し提出する。 ５　講義の録音および写真撮影は禁ずる。 ６　単位取得について ⑴　出席は３分の２以上とする。 ⑵　定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は１回とする。不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑶　病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 ７　定期試験終了後のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 坂本　真理子　水曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室１ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 二村　純子　　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階　N452研究室
備考	［実務］ 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	公衆衛生看護学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Public Health Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師	二村　純子

科目概要	「公衆衛生看護学Ⅰ」で学修した、ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア、エンパワメントの理論を基盤として、コミュニティをアセスメントし、地域の健康課題に応える地域看護計画を作成・実践・評価する過程について学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目標	１　地域診断の概念と地域保健活動に用いる理論と方法を理解し、説明できる。「DP：１～６」 ２　地域看護の視点からコミュニティのアセスメント、地域看護計画の策定、実践、評価の過程を理解し、説明できる。「DP：１～６」 ３　演習では、コミュニティのアセスメントを通して、健康問題・課題を抽出することができる。「DP：５」 ４　演習を振り返り、コミュニティのアセスメントを批判的・発展的・論理的に洞察できる。「DP：５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/11（木）	1	地域診断の概念と地域保健活動に用いる理論（コミュニティのアセスメント、地域看護過程、コミュニティ・アズ・パートナーモデル）	講義	前：教p103-123を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	若杉里実 淺野いずみ
2	2024/04/11（木）	2	地域看護過程 （健康指標、人口構成、疾病構造、保健医療福祉に関する基本的統計、地域の歴史・文化・生活・環境に関する情報、 社会資源情報、アセスメント、ヘルス・ニーズ、地域看護計画、評価）	講義	前：教p103-123を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	淺野　いずみ
3	2024/04/18（木）	1	（演習）地域看護過程１（既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集）①	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
4	2024/04/18（木）	2	（演習）地域看護過程１（既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集）②	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
5	2024/04/25（木）	1	（演習）地域看護過程１（既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集のまとめ）	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
6	2024/04/25（木）	2	（演習）地域看護過程１（地域で活躍されている方々の経験や声を聴く）	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整	全員

					理を行う 前後各30分	
7	2024/05/02 (木)	1	(演習)地域看護過程１（地区踏査）①	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
8	2024/05/02 (木)	2	(演習)地域看護過程１（地区踏査）②	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
9	2024/05/09 (木)	1	(演習)地域看護過程２（既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の分析のまとめ）	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
10	2024/05/09 (木)	2	(演習)地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズの明確化）①	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
11	2024/05/16 (木)	1	(演習)地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズの明確化）②	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
12	2024/05/16 (木)	2	(演習)地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズと根拠の発表の準備）	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
13	2024/05/23 (木)	1	(演習)地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズと根拠の発表）①	演習	前：発表に必要な準備を行う。 後：発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行う。 前後各30分	全員
14	2024/05/23 (木)	2	(演習)地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズと根拠の発表）②	演習	前：発表に必要な準備を行う。 後：発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行う。 前後各30分	全員
15	2024/05/30 (木)	1	(演習)地域看護過程２（地域のヘルス・ニーズと根拠の発表の評価）	演習	前：発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行い、GWに備える。 後：教p103-123と演習内容を関連させて学習する。 前後各30分	全員
16	2024/07/24 (水)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験(30%)、地域看護過程演習のグループでの発表(15%)、グループでの提出物（15%）、個人レポート(20%)、授業振り返り(AIDLE-Kへの入力)および演習への参加姿勢(20%)を総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： １　荒賀直子・後閑容子・鳩野洋子・神庭純子編(2022)：「公衆衛生看護学.jp」、第５版データ更新版、インターメディカル出版、定価4,840円（税込み） ２　厚生労働統計協会編(2022)：「国民衛生の動向(2022/2023)」、厚生労働統計協会出版、定価2,695円（税込み） 参考書： 講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席管理システムにより、出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回、打刻する。講義終了後の打刻がない者は欠席扱いとする。 ２　30分以上の遅刻または早退は、欠席とみなす。 ３　遅刻または早退２回で、欠席１回とみなす。 ４　授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とする。

	５　授業中の録音および写真撮影は禁ずる。 ６　単位取得について ⑴　出席は３分の２以上とする。 ⑵　定期試験および提出物の合計点が合格点に達すること。不合格者に再試験（１回）を課す。不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑶　病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 ７　個人レポートには教員からの講評を記載する。 ８　定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 二村　純子　　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階　N452研究室
備考	［実務］ 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	地域・在宅看護論Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Community Care Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	白井　裕子
助　　教	伊藤　寿英
講　　師(非)	藤野　泰平

科目概要	「地域・在宅看護論」は、地域で生活する人とその家族を理解し、さまざまな暮らしの場で、健康と暮らしを支える看護実践を学ぶ看護科目である。本科目は、病いや障がいをもっていても、自宅や自宅に代わる生活の場で、その人なりの健康を主体的に生きる生活者と家族の健康と暮らしを理解した看護活動を基盤とする在宅看護学の考え方に、暮らしの場である生活環境やコミュニティの特性を活かし、幅広い看護実践を学ぶ内容が追加され、名称が変更されている。本「地域・在宅看護論Ⅰ」および「地域・在宅看護論Ⅱ」では、地域環境やコミュニティの特性を活かし在宅看護学に必要な内容を教授するため、両科目の単元や内容において、在宅看護という表現を用いている。本科目および「地域・在宅看護論Ⅱ」で在宅看護と呼称する際には、生活環境やコミュニティの要素が含まれていることを理解しておく。 在宅ケアを取り巻く社会状況を理解し、在宅看護の概念や理念と基盤となる考え方を学修する。訪問看護サービスを利用する当事者との対話や実践者とのディスカッションを通して、在宅看護の対象と必要な実践を具体的にイメージする。更に在宅看護実践方法の概要について学び、今後の在宅看護の発展と課題について検討する。
目標	１　在宅ケアが必要な社会状況を説明できる。［DP：1～4］ ２　在宅看護を構成する主要な概念を説明できる。[DP：1～3・5] ３　在宅看護の対象特性を説明できる。[DP：1～4] ４　在宅看護実践の基盤となる理論や考え方を述べることができる。[DP：1～5] ５　在宅看護の実践方法を説明できる。[DP：1～6] ６　在宅看護における看護連携や他職種協働の必要性とケアマネジメントについて説明できる。[DP：1～6] ７　在宅ケアにおける医療ニーズが高い人やライフステージにあわせた看護を説明できる。[DP：1～6]

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 （予習・復習）	担当教員
1	2024/04/11 (木)	３	講義ガイダンス 在宅ケアが必要とされる社会状況、在宅看護を構成する主要な概念、在宅看護の理念、在宅看護の対象	講義	前：教科書1、P21-30、P33-40、56-63、を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
2	2024/04/12 (金)	２	在宅看護実践への理論応用　１） 　ウェルネス志向とストレングスモデル	講義	前：教科書1、P42-47を読む。ストレングスモデルについてWEB等で調べ、事前のワークシートに取り組む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
3	2024/04/18 (木)	３	在宅看護実践への理論応用　２） 　協働的パートナーシップ	講義	前：教科書1、P42-47を読む。ヘルスプロモーションにおけるパートナーシップ	佐々木　裕子

					をWEB等で調べる。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	
4	2024/04/30 （火）	2	在宅看護実践への理論応用　３） 　ICFの活用	講義	前：教科書1、P18-21、164-165を読む。既修のICFについて復習しておく。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
5	2024/05/07 （火）	2	在宅看護実践方法　１） 　生活者へのケア 　生活者、社会生活者、生活支援	講義	前：教科書1、16-21、56-63を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
6	2024/05/14 （火）	2	在宅看護実践方法　２） 　家族単位のケア 　介護を行う家族成員を生活者として支える 　介護を行う家族成員への支援方法	講義	前：教科書1、P66-80を読む。家族看護学を復習する。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木　裕子
7	2024/05/21 （火）	2	在宅看護実践方法　３） 　生活環境へのケア 　環境の理解、自宅の生活環境を整えるケア、地域づくり	講義	前：教科書1、P16-21、88-94、教科書2、P46-53を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子
8	2024/05/28 （火）	2	在宅ケアマネジメント　１） 　ケアマネジメントの実際	講義	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出①）講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子 ゲストスピーカー
9	2024/06/11 （火）	3	在宅ケアマネジメント　２） 　在宅ケアシステム、他職種連携・協働、ケアマネジメント	講義	前：教科書1、P114-135、142-144、149-161を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子
10	2024/06/18 （火）	3	在宅における医療ニーズの高い人と家族への看護１） 　社会状況、医療ニーズの高い人と家族の理解、ケアシステムの特徴	講義	前：教科書2、P106-175を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子
11	2024/07/02 （火）	3	在宅における医療ニーズが高い人と家族への看護２） 　在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、気管切開・気管内吸引、経管栄養、医療ニーズの高い人と家族への在宅看護実践	講義	前：教科書2、P106-175を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井　裕子
12	2024/07/04 （木）	2	在宅でのライフサイクルに応じた看護 　社会状況、ニーズ、小児・成人・高齢者への看護の特徴と実際、ケアシステムと課題	講義	前：教科書2、232-236・242-243（小児）、224-227（成人）、206-209・236-237（高齢者）を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	伊藤　寿英
13	2024/07/11 （木）	3	在宅看護の対象理解 　当事者に学ぶ在宅看護	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②）。 前後各30分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
14	2024/07/11 （木）	4	在宅看護の対象理解 　当事者に学ぶ在宅看護	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英

					取り組む（レポート提出②）。講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	
15	2024/07/18 （木）	4	在宅看護実践の実際・まとめ 　看護の可能性の拡大，新たな看護の挑戦	講義	前：講義1-14を振り返る。教科書1、P278-291を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	藤野　泰平 佐々木　裕子
16	2024/07/23 （火）	3	定期試験			佐々木　裕子 白井　裕子 伊藤　寿英

評価方法	１　定期試験85%　課題レポート10%、授業への参加態度5%で評価する。 ２　課題レポートの提出は全2回。配点は①5点、②5点とする。 ３　授業への参加態度は、AIDLE-Kに提出された事後課題を評価する。15回提出された場合は5点、13-14回は4点、11-12回は3点、9-10回は2点、8回は１点、7回以下は0点とする。記述の内容が指示された課題とは異なる場合、提出とは認めない。提出期限は、講義翌日の12：00までとする
教科書・参考書	教科書：地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱで、同じ教科書を使用する １　臺有桂他 編（2022）「地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」第7版、メディカ出版、3,740円（税込） ２　臺有桂他 編（2022）「地域・在宅看護論②地域療養を支えるケア」第2版、メディカ出版、3,080円（税込） 参考書： １　L.N.Gottleb、ほか著・吉本照子監訳（2007）「協働的パートナーシップによるケア」エルゼピアジャパン、定価3,740円 ２　K.M.Stolte著・小西恵美子他訳（2008）「健康増進のためのウェルネス看護診断」南江堂、定価3,080円 ３　L.N.Gottleb著,白石裕子翻訳（2020）「ストレングスにもとづく看護ケア 第1巻理論編」看護の科学社、定価1,655円 ４　L.N.Gottleb著,白石裕子翻訳（2020）「ストレングスにもとづく看護ケア 第2巻テクニック編」看護の科学社、定価3,300円 ５　L.N.Gottleb著,白石裕子翻訳（2020）「ストレングスにもとづく看護ケア 第3巻実践編」看護の科学社、定価2,200円 その他随時紹介する
履修上の注意点 及び取扱い	１　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる ２　出席管理システムにより出席の確認をする ３　２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない ４　定期試験の不合格者に対して再試験を1回行う ５　レポートのフィードバックはAIDLE-KにUPする
オフィスアワー	佐々木　裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟3階N352研究室 白井　裕子　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟5階個人研究室② 伊藤　寿英　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟3階N373研究室
備考	［実務］ 看護師として在宅看護の実務経験のある教員が、在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族の理解、在宅看護援助を行う基本的な能力について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	地域・在宅看護論Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Community Care Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 白井　裕子
准 教 授	佐々木　裕子
助　　教	伊藤　寿英

科目概要	「地域・在宅看護論Ⅰ」で学修した内容を基盤にして、自宅や自宅に代わる生活の場で、その人なりの健康を主体的に生きる生活者と家族の健康と生活を理解し、ヘルスプロモーションと家族看護を基盤に対象のQOL向上を支える在宅看護方法を学修する。地域で多職種連携・協働で展開される在宅ケア活動の特徴を理解し、訪問看護師の役割を学修する。また、在宅ケア利用者と家族の自己実現を支える在宅ケアサービスのあり方や在宅ケアシステムの発展について考察する。
目標	１　在宅看護の生活支援方法が説明できる。「DP：１～３・５」 ２　在宅看護において看護倫理をふまえた実践の考え方を説明できる。「DP：１～２・５」 ３　在宅看護に必要なケア方法や看護実践の実際を説明することができる。「DP：１～３・５」 ４　在宅看護の特徴やケアシステムにおける課題を説明できる。「DP：３～４」 ５　ウェルネス志向で強みを活かし地域で展開する在宅看護実践に必要な看護過程を展開できる。「DP：２～３・５」 ６　地域で展開する訪問看護の看護管理・運営に必要な内容について説明できる。「DP：４」 ７　訪問看護の実際から生活課題と在宅ケアシステムにおける課題を論じることができる。「DP：４・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	3	在宅における生活支援① 自立支援と継続支援	講義	前：教科書１P.33-47を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	白井　裕子
2	2024/09/24（火）	2	在宅における生活支援② 倫理的実践	講義	前：教科書１P.42-47を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	白井　裕子
3	2024/09/25（水）	2	在宅における生活支援③ 日常生活動作・行為へのケア	講義	前：教科書１P.252-261、教科書２P.70-101を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤　寿英
4	2024/09/30（月）	3	在宅看護演習① 日常生活におけるケアの工夫（方法の検討）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出①） 前後各120分	伊藤　寿英 佐々木　裕子 白井　裕子

5	2024/09/30 （月）	4	在宅看護演習① 　日常生活におけるケアの工夫（実施と評価）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出①） 前後各120分	伊藤　寿英 佐々木　裕子 白井　裕子
6	2024/10/04 （金）	2	在宅における看護実践① 　精神障がいがある人と家族への支援（ストレングス・アプローチ）	講義	前：教科書２P.228-231を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木　裕子
7	2024/11/06 （水）	3	在宅における看護実践② 　難病をもつ人と家族への支援	講義	前：教科書１P.176-180、教科書２P.220-223を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤　寿英
8	2024/11/06 （水）	4	在宅における看護実践③ 　人生の終焉を生きる人と家族への支援（ターミナルケア・エンドオブライフケア）	講義	前：教科書２P.216-219を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木　裕子
9	2024/11/08 （金）	3	在宅における看護実践④ 　認知症のある人と家族への支援	講義	前：教科書２P.183-192、教科書P.210-212 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤　寿英
10	2025/01/06 （月）	3	在宅看護における管理① 　在宅看護における災害対策と安全管理	講義	前：教科書１P.234-249、教科書２P.188-199 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後120分	佐々木　裕子 伊藤　寿英
11	2025/01/06 （月）	4	在宅看護演習② 　看護過程の展開（情報整理とアセスメント）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②） 前後120分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
12	2025/01/10 （金）	3	在宅看護演習② 　看護過程の展開（計画立案）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②） 前後120分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
13	2025/01/10 （金）	4	在宅看護演習② 　看護過程の展開（評価）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②） 前後120分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
14	2025/01/14 （火）	2	在宅看護における管理② 　訪問看護ステーションの管理と運営	講義	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出③） 前後120分	白井　裕子 ゲストスピーカー
15	2025/01/15 （水）	2	在宅看護の動向と展望 　訪問看護師とのディスカッション	講義	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出④） 前後120分	白井　裕子 ゲストスピーカー
16	2025/01/22 （水）	3	定期試験			白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英

評価方法	１　定期試験70%　課題レポート25%、授業への参加態度5%で評価する ２　課題レポートの提出は全4回。配点は①5点、②10点、③5点、④5点とする ３　授業への参加態度は、AIDLE-Kに提出された事後課題（全8回）を評価する。8回提出された場合は5点、7回は4点、6回は3点、5回は2点、4回は１点、3回以下は0点とする。記述の内容が指示された課題とは異なる場合，提出とは認めない。提出期限は，講義翌日の12：00までとする
教科書・参考書	教科書：地域・在宅看護論Ｉと同じ教科書を使用する １　臺有桂他 編（2022）「地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」第7版、メディカ出版、3,740円（税込） ２　臺有桂他 編（2022）「地域・在宅看護論②地域療養を支えるケア」第2版、メディカ出版、3,080円（税込） 参考書、その他随時紹介する
履修上の注意点 及び取扱い	１　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出席管理システムにより出席の確認をする。 ３　２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない。 ４　定期試験の不合格者に対して再試験を1回行う。 ５　レポートのフィードバックはAIDLE-KにUPする。 ６　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	佐々木　裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟3階N352研究室 白井　裕子　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟5階個人研究室② 伊藤　寿英　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟3階N373研究室
備考	［実務］ 看護師として在宅看護の実務経験のある教員が、在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族の理解、在宅看護援助を行う基本的な能力について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	地域・在宅看護論Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Community Care Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 白井　裕子
准 教 授	佐々木　裕子
助　　教	伊藤　寿英

科目概要	「地域・在宅看護論Ⅰ」で学修した内容を基盤にして、自宅や自宅に代わる生活の場で、その人なりの健康を主体的に生きる生活者と家族の健康と生活を理解し、ヘルスプロモーションと家族看護を基盤に対象のQOL向上を支える在宅看護方法を学修する。地域で多職種連携・協働で展開される在宅ケア活動の特徴を理解し、訪問看護師の役割を学修する。また、在宅ケア利用者と家族の自己実現を支える在宅ケアサービスのあり方や在宅ケアシステムの発展について考察する。
目標	１　在宅看護の生活支援方法が説明できる。「DP：１～３・５」 ２　在宅看護において看護倫理をふまえた実践の考え方を説明できる。「DP：１～２・５」 ３　在宅看護に必要なケア方法や看護実践の実際を説明することができる。「DP：１～３・５」 ４　在宅看護の特徴やケアシステムにおける課題を説明できる。「DP：３～４」 ５　ウェルネス志向で強みを活かし地域で展開する在宅看護実践に必要な看護過程を展開できる。「DP：２～３・５」 ６　地域で展開する訪問看護の看護管理・運営に必要な内容について説明できる。「DP：４」 ７　訪問看護の実際から生活課題と在宅ケアシステムにおける課題を論じることができる。「DP：４・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	3	在宅における生活支援① 自立支援と継続支援	講義	前：教科書１P.33-47を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	白井　裕子
2	2024/09/24（火）	2	在宅における生活支援② 倫理的実践	講義	前：教科書１P.42-47を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	白井　裕子
3	2024/09/25（水）	2	在宅における生活支援③ 日常生活動作・行為へのケア	講義	前：教科書１P.252-261、教科書２P.70-101を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤　寿英
4	2024/10/02（水）	3	在宅看護演習① 日常生活におけるケアの工夫（方法の検討）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出①） 前後各120分	伊藤　寿英 佐々木　裕子 白井　裕子

5	2024/10/02 （水）	4	在宅看護演習① 　日常生活におけるケアの工夫（実施と評価）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出①） 前後各120分	伊藤　寿英 佐々木　裕子 白井　裕子
6	2024/10/04 （金）	2	在宅における看護実践① 　精神障がいがある人と家族への支援（ストレングス・アプローチ）	講義	前：教科書２P.228-231を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木　裕子
7	2024/11/06 （水）	3	在宅における看護実践② 　難病をもつ人と家族への支援	講義	前：教科書１P.176-180、教科書２P.220-223を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤　寿英
8	2024/11/06 （水）	4	在宅における看護実践③ 　人生の終焉を生きる人と家族への支援（ターミナルケア・エンドオブライフケア）	講義	前：教科書２P.216-219を読む 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木　裕子
9	2024/11/08 （金）	3	在宅における看護実践④ 　認知症のある人と家族への支援	講義	前：教科書２P.183-192、教科書P.210-212 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤　寿英
10	2025/01/06 （月）	3	在宅看護における管理① 　在宅看護における災害対策と安全管理	講義	前：教科書１P.234-249、教科書２P.188-199 後：講義の要点を整理し，AIDLE-Kに提出する 前後120分	佐々木　裕子 伊藤　寿英
11	2025/01/06 （月）	4	在宅看護演習② 　看護過程の展開（情報整理とアセスメント）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②） 前後120分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
12	2025/01/10 （金）	3	在宅看護演習② 　看護過程の展開（計画立案）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②） 前後120分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
13	2025/01/10 （金）	4	在宅看護演習② 　看護過程の展開（評価）	演習	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②） 前後120分	白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英
14	2025/01/14 （火）	2	在宅看護における管理② 　訪問看護ステーションの管理と運営	講義	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出③） 前後120分	白井　裕子 ゲストスピーカー
15	2025/01/15 （水）	2	在宅看護の動向と展望 　訪問看護師とのディスカッション	講義	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出④） 前後120分	白井　裕子 ゲストスピーカー
16	2025/01/22 （水）	3	定期試験			白井　裕子 佐々木　裕子 伊藤　寿英

評価方法	１　定期試験70%　課題レポート25%、授業への参加態度5%で評価する ２　課題レポートの提出は全4回。配点は①5点、②10点、③5点、④5点とする ３　授業への参加態度は、AIDLE-Kに提出された事後課題（全8回）を評価する。8回提出された場合は5点、7回は4点、6回は3点、5回は2点、4回は１点、3回以下は0点とする。記述の内容が指示された課題とは異なる場合，提出とは認めない。提出期限は，講義翌日の12：00までとする
教科書・参考書	教科書：地域・在宅看護論Ｉと同じ教科書を使用する １　臺有桂他 編（2022）「地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」第7版、メディカ出版、3,740円（税込） ２　臺有桂他 編（2022）「地域・在宅看護論②地域療養を支えるケア」第2版、メディカ出版、3,080円（税込） 参考書、その他随時紹介する
履修上の注意点 及び取扱い	１　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出席管理システムにより出席の確認をする。 ３　２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない。 ４　定期試験の不合格者に対して再試験を1回行う。 ５　レポートのフィードバックはAIDLE-KにUPする。 ６　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	佐々木　裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟3階N352研究室 白井　裕子　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟5階個人研究室② 伊藤　寿英　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟3階N373研究室
備考	［実務］ 看護師として在宅看護の実務経験のある教員が、在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族の理解、在宅看護援助を行う基本的な能力について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	保健指導論（保健師課程用）		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Health Guidance		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修＜保健師課程＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師	二村　純子

科目概要	保健行動に影響を与えている要因や健康につながる行動への支援など、主に個人・家族を対象とした様々な保健行動に関する理論と保健指導方法を学ぶ。更に、個人・家族を対象とした保健指導計画の作成・実施・評価のプロセスの実際について学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目標	１　保健行動に影響を与えているさまざまな要因について述べることができる。「ＤＰ：１・２・４・５」 ２　個人・家族を対象とした保健行動に関する理論について述べることができる。「ＤＰ：１・２・４・５」 ３　個人・家族を対象とした行動変容に関する理論について述べることができる。「ＤＰ：１・２・４・５」 ４　保健指導方法である健康相談、健康診査、家庭訪問の特徴とプロセスを理解し、実施できる。「ＤＰ：１～６」 ５　保健指導の計画作成、実施、評価のプロセスを理解し、実施できる。「ＤＰ：１～６」 ６　演習では、対象者の発達段階、生活習慣・価値観・歴史・文化・伝統・環境等、疾病状態、健康状態をふまえ、対象者のセルフケア能力向上に向けた援助計画を立案することができる。「ＤＰ：１～６」 ７　看護倫理に基づいた演習を実践し、評価することができる。「ＤＰ：１～６」 ８　演習を振り返り、より効果的な保健指導のあり方を批判的・発展的・論理的に洞察できる。「ＤＰ：１～６」 ９　保健指導における調査・研究について述べることができる。「ＤＰ：６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/17（火）	2	保健行動に関する理論(予防的健康行動、疾病役割行動)	講義	前：教ｐ67－85を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
2	2024/09/19（木）	1	行動変容に関する理論(行動変容モデル、社会学習理論、ソーシャルサポート)	講義	前：教ｐ67－85を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
3	2024/09/19（木）	2	保健指導方法と技術１：健康診査 (健康診査の目的、意義、対象、概要、社会資源の活用、他機関・他職種との連携，乳幼児健康診査のプロセス，継続支援)	講義 VTR視聴	前：教ｐ200－208を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村　純子
4	2024/09/26（木）	1	保健指導方法と技術１：乳幼児健康診査の展開(乳幼児の発達、保健指導、評価、継続支援)	講義 VTR視聴	前：教ｐ200－208を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村　純子
5	2024/09/26（木）	2	(演習)保健指導方法と技術１：乳幼児健康診査の展開(乳幼児健康診査の問診、評価)	演習 GW	前：母子健康診査マニュアルの資料を読む 後：母子健康診査マニュアルの資料を基に、演習を振	全員

					り返る 前後各120分	
6	2024/10/02 (水)	1	保健指導方法と技術２：健康相談(目的、意義、対象、概要と特徴、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、継続支援)	講義	前：教ｐ181－187を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。個別事例のアセスメントと健康相談計画を修正する。 前後各120分	浅野　いずみ
7	2024/10/03 (木)	1	(演習)保健指導方法と技術２：健康相談プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、相談計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前：教ｐ181－187を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。個別事例のアセスメントと健康相談計画を修正する。 前後各120分	全員
8	2024/10/03 (木)	2	(演習)保健指導方法と技術２：健康相談プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、相談計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
9	2024/11/07 (木)	1	健康相談シミュレーション	演習 SIM	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康相談のSIMを振り返る 前後各120分	全員
10	2024/11/07 (木)	2	健康相談シミュレーション	演習 SIM	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康相談のSIMを振り返る 前後各120分	全員
11	2024/11/08 (金)	2	保健指導方法と技術３：家庭訪問(目的、意義、対象、概要と特徴、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、継続支援)	講義	前：教ｐ168－180を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
12	2025/01/09 (木)	1	(演習)保健指導方法と技術３：家庭訪問プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、訪問計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 VTR視聴 GW	前：教ｐ168－180と講義資料から、演習に必要なところを読み返す 後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
13	2025/01/09 (木)	2	(演習)保健指導方法と技術３：家庭訪問プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、訪問計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
14	2025/01/16 (木)	1	家庭訪問シミュレーション	演習 SIM	前：演習に必要な資料を調べる 後：家庭訪問の観察の視点を復習する 前後各120分	全員
15	2025/01/16 (木)	2	家庭訪問シミュレーション	演習 SIM	前：演習に必要な資料を調べる 後：家庭訪問の観察の視点を復習する 前後各120分	全員
16	2025/01/21 (火)	2	定期試験			全員

評価方法	定期試験（40%）、演習の評価基準（乳幼児健康診査の個人レポート10%、健康相談演習のグループレポート10%、個人レポート10%、家庭訪問演習のグループレポート20%、演習への参加態度10%）に則し、総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書：１　荒賀直子・後閑容子・鳩野洋子・神庭純子編(2022)：公衆衛生看護学.jp、第５版データ更新版、インターメディカル出版、定価4,840円（税込み） ２　厚生労働統計協会編(2024)：「国民衛生の動向(2024/2025)」、厚生労働統計協会出版、定価2,970円（税込

	み） 参考書：講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席管理システムにより、出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回、打刻する。 ２　30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 ３　遅刻または早退２回で欠席１回とみなす。 ４　授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とす　る。 ５　講義の録音および写真撮影は禁ずる。 ６　単位取得について ⑴　出席は３分の２以上とする。 ⑵　定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は１回とする。不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑶　病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 ７　定期試験終了後のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 二村　純子　　金曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階　N452研究室
備考	［実務］ 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	保健指導論（看護師課程用）		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Health Guidance		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修＜看護師課程＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師	二村　純子

科目概要	保健行動に影響を与えている要因や健康につながる行動への支援など、主に個人・家族を対象とした様々な保健行動に関する理論と保健指導方法を学ぶ。更に、個人・家族を対象とした保健指導計画の作成・実施・評価のプロセスの実際について学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目標	１　保健行動に影響を与えているさまざまな要因について述べることができる。「ＤＰ：１・２・４・５」 ２　個人・家族を対象とした保健行動に関する理論について述べることができる。「ＤＰ：１・２・４・５」 ３　個人・家族を対象とした行動変容に関する理論について述べることができる。「ＤＰ：１・２・４・５」 ４　保健指導方法の特徴とプロセスを理解し、健康相談、家庭訪問の実施ができる。「ＤＰ：１～６」 ５　保健指導の計画作成、実施、評価のプロセスを理解し、実施できる。「ＤＰ：１～６」 ６　演習では、対象者の発達段階、生活習慣・価値観・歴史・文化・伝統・環境等、疾病状態、健康状態をふまえ、対象者のセルフケア能力向上に向けた援助計画を立案することができる。「ＤＰ：１～６」 ７　看護倫理に基づいた演習を実践し、評価することができる。「ＤＰ：１～６」 ８　演習を振り返り、より効果的な保健指導のあり方を批判的・発展的・論理的に洞察できる。「ＤＰ：１～６」 ９　保健指導における調査・研究について述べることができる。「ＤＰ：６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/17（火）	2	保健行動に関する理論(予防的健康行動、疾病役割行動)	講義	前：教ｐ67－85を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
2	2024/09/19（木）	1	行動変容に関する理論(行動変容モデル、社会学習理論、ナッジの手法、ソーシャルサポート)	講義	前：教ｐ67－85を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
3	2024/09/19（木）	2	保健指導方法と技術１：健康診査 (健康診査の目的、意義、対象、概要、社会資源の活用、他機関・他職種との連携)	講義 VTR視聴	前：教ｐ200－208を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村　純子
4	2024/09/26（木）	3	保健指導方法と技術１：乳幼児健康診査の展開(乳幼児の発達、記録、評価、継続支援)	講義 VTR視聴	前：教ｐ200－208を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村　純子
5	2024/09/26（木）	4	(演習)保健指導方法と技術２：健康相談の案内の作成(ナッジの手法)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる	全員

					前後各120分	
6	2024/10/02 (水)	1	保健指導方法と技術２：健康相談(目的、意義、対象、概要と特徴、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、継続支援)	講義	前：教ｐ181－187を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。個別事例のアセスメントと健康相談計画を修正する。 前後各120分	浅野　いずみ
7	2024/10/03 (木)	3	(演習)保健指導方法と技術２：健康相談プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、相談計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前：教ｐ181－187を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。個別事例のアセスメントと健康相談計画を修正する。 前後各120分	全員
8	2024/10/03 (木)	4	(演習)保健指導方法と技術２：健康相談プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、相談計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
9	2024/11/07 (木)	3	健康相談ロールプレイ	演習	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康相談のロールプレイを振り返る 前後各120分	全員
10	2024/11/07 (木)	4	健康相談ロールプレイ	演習	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康相談のロールプレイを振り返る 前後各120分	全員
11	2024/11/08 (金)	2	保健指導方法と技術３：家庭訪問(目的、意義、対象、概要と特徴、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、継続支援)	講義	前：教ｐ168－180を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
12	2025/01/09 (木)	3	(演習)保健指導方法と技術３：家庭訪問プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、訪問計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 VTR視聴 GW	前：教ｐ168－180と演習に必要なところを読み返す 後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
13	2025/01/09 (木)	4	(演習)保健指導方法と技術３：家庭訪問プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、訪問計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
14	2025/01/15 (水)	3	家庭訪問ロールプレイ	演習	前：演習に必要な資料を調べる 後：家庭訪問のロールプレイを振り返る 前後各120分	全員
15	2025/01/15 (水)	4	家庭訪問ロールプレイ	演習	前：演習に必要な資料を調べる 後：家庭訪問のロールプレイを振り返る 前後各120分	全員
16	2025/01/21 (火)	2	定期試験			全員

評価方法	定期試験（40%）、演習の評価基準（グループでの健康相談の案内文作成10%、健康相談演習のグループレポート10%、個人レポート10%、家庭訪問演習のグループレポート20%、演習への参加態度10%）に則し、総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書：１　荒賀直子・後閑容子・鳩野洋子・神庭純子編(2022)：公衆衛生看護学.jp、第５版データ更新版、インターメディカル出版、定価4,840円（税込み） ２　厚生労働統計協会編(2024)：「国民衛生の動向(2024/2025)」、厚生労働統計協会出版、定価2,970円（税込み）

	参考書：講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席管理システムにより、出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回、打刻する。 ２　30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 ３　遅刻または早退２回で欠席１回とみなす。 ４　授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とす　る。 ５　講義の録音および写真撮影は禁ずる。 ６　単位取得について ⑴　出席は３分の２以上とする。 ⑵　定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は１回とする。不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑶　病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 ７　定期試験終了後のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 二村　純子　　金曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階　N452研究室
備考	［実務］ 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	学校看護学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	School Health Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	看護師課程…選択保健師課程…必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
講　　師(非)	藤本　美法
講　　師(非)	大島　亜友美

科目概要	現代の児童生徒が抱える健康課題とその背景を理解し、学校で展開されている保健教育、保健管理、保健組織活動、保健室経営、学校保健関係者との連携協働等、養護教諭の学校看護活動について学修する。
目標	１　学校における看護活動を展開するために、児童生徒の健康課題やその背景を理解し、述べることができる。「ＤＰ：１・２」 ２　児童生徒及び職員の健康の保持増進を目的とした保健教育、保健管理、保健組織活動について説明できる。「ＤＰ：１～５」 ３　養護教諭の職の特質、保健室の機能や役割について理解し、学校保健関係者との連携協働の重要性が説明できる。 「ＤＰ：１～５」 ４　１から３を踏まえ、養護教諭の学校看護活動の在り方について考察できる。「ＤＰ：６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/12/06（金）	4	講義オリエンテーション 学校保健・看護の理念と目的、養護教諭の職務と役割 （学校保健・看護の歴史、学校保健関係法規、学校保健組織、学校保健活動のしくみ、学校保健計画、養護教諭の職務）	講義	前：教科書序章から第１章を読む 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
2	2024/12/20（金）	4	学校における保健教育・保健管理 （健康観察、健康診断、児童・生徒の心身の健康課題、健康相談、疾病の予防と管理、学校環境衛生、保健室経営）	講義	前：教科書第２から３章を読む 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
3	2024/12/20（金）	5	学校における組織活動、学校安全、学校給食 （学校における保健組織、学校保健委員会、学校安全計画、学校における救急対応、災害時のケア、他職種・関係機関との連携）	講義	前：教科書第４から６章を読む 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
4	2025/01/10（金）	4	小学校における学校看護活動の実際 （生徒の心身の健康課題、健康相談、保健教育、他職種・関係機関との連携）	講義	前：教科書第２から３章を読む 後：講義資料を読み、理解を深めるとともに、小学校での学校看護活動の特徴を考える 前後各120分	大島　亜友美

5	2025/01/10 （金）	５	中学校における学校看護活動の実際 （生徒の心身の健康課題、健康相談、保健教育、他職種・関係機関との連携）	講義	前：教科書第２から３章を読む 後：講義資料を読み、理解を深めるとともに、中学校での学校看護活動の特徴を考える 前後各120分	大島　亜友美
6	2025/01/24 （金）	４	高等学校における学校看護活動の実際① （健康観察、健康診断、生徒の心身の健康課題、健康相談、他職種・関係機関との連携、養護教諭の役割）） 	講義	前：教科書第３章を読む 後：講義資料を読み、理解を深めるとともに、高等学校での学校看護活動の特徴を考える 前後各120分	藤本　美法
7	2025/01/24 （金）	５	高等学校における学校看護活動の実際② （疾病の予防と管理、学校環境衛生、学校安全、保健教育、保健組織活動、保健室経営、他職種・関係機関との連携、養護教諭の役割）	講義	前：教科書第２から５章を読む 後：講義資料を読み、理解を深めるとともに、高等学校での学校看護活動の特徴を考える 前後各120分	藤本　美法
8	2025/01/31 （金）	４	学校看護活動のまとめ （事例を通して学校看護活動の在り方について考察する）	講義	前：第１から７回目までの講義資料および教科書を読み返し、復習する 後：講義内容を振り返り、多角的視点から理解を深める 前後各120分	若杉　里実 大島　亜友美
9	2025/02/07 （金）	４	定期試験			

評価方法	定期試験80%、授業への参加度（振り返り用紙の記入を含む）20%
教科書・参考書	教科書：１　出井美智子・采女智津江・佐藤紀久榮・松野智子著（2020）：「養護教諭のための学校保健」、株式会社少年写真新聞社、定価2,640円（税込み） 参考書：講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出欠席について 　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダへの打刻）により出席を確認するこのとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。 ２　授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とする。 ３　定期試験について ⑴　出席が３分の２以上ない場合は、定期試験の受験資格を認めない。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ実施する。 ⑶　定期試験に不合格の場合は、再試験を１回実施する。 ４　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 藤本　美法　　講義前後の時間に質問を受け付ける。 大島　亜友美　講義前後の時間に質問を受け付ける。
備考	［実務］ 行政機関および学校において、保健師、養護教諭としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	産業看護学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Occupational Health Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	看護師課程…選択保健師課程…必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
客員教授	山田　琢之
講　　師(非)	小池　学
講　　師(非)	浅野　しほ

科目概要	産業保健・産業看護は、働く人の健康管理・健康増進を図る科学である。事業所の労働衛生管理体制(総括管理、健康管理、作業管理、作業環境管理、労働衛生教育)を理解し、産業医、衛生管理者らと連携し産業保健計画を立案し展開する。産業保健計画の下、働く人々の個人、集団・組織を対象とした産業看護活動の展開について学修する。
目標	１　産業保健・産業看護の歴史と法的位置づけ、働く人々の健康の動向を理解し、述べることができる。「ＤＰ：１～２」 ２　労働衛生管理体制（総括管理、健康管理、作業管理、作業環境管理、労働衛生教育）を理解し、述べることができる。 「ＤＰ：１～６」 ３　働く人々の健康を作業環境や作業の視点からとらえ、労働と健康との関係について理解し、述べることができる。 「ＤＰ：１～６」 ４　産業医、衛生管理者らとともに、働く人々の健康状態、作業や作業環境をもとに健康課題をとらえ、組織や集団を対象とした産業保健計画を理解し、述べることができる。「ＤＰ：１～６」 ５　働く人々の心身の状態をとらえ、個人や職域・集団を対象とした看護過程の展開を理解し、述べることができる。 「ＤＰ：１～６」 ６　産業医、衛生管理者らとの連携を図り、働く人の心身の健康増進における看護の役割を理解し、述べることができる。 「ＤＰ：１～６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/12/04（水）	3	産業保健・産業看護の動向 （産業保健・産業看護の歴史、産業保健の意義と活動、労働者の健康状態）	講義	前：産業看護職の歴史を調べる 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	若杉　里実
2	2024/12/04（水）	4	労働衛生管理体制：総括管理、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育、衛生委員会、職場巡視	講義	前：労働（衛生）に関する行政の組織、法律（労働安全衛生法）及び労働衛生の三管理を調べる 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	山田　琢之
3	2024/12/11（水）	3	職場における健康管理（健康診断項目の理解、産業看護職に必要な健康診断の事後措置）	講義	前：職場における健康診断項目について調べる。さらに、職域における生活習慣	山田　琢之

					病予防対策としては何ができるかを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	
4	2024/12/11 （水）	4	作業管理、作業環境管理の各論（熱中症、じん肺、鉛中毒、有機溶剤中毒、腰痛、騒音性難聴、照度、寒冷下での作業等）	講義	前：職業病の各論、特に熱中症、じん肺、鉛中毒、有機溶剤について調べておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	山田　琢之
5	2024/12/18 （水）	3	海外勤務者の健康管理、職場のメンタルヘルス（働く人の心の健康）、過重労働対策	講義	前：心の健康（メンタルヘルス）において、特にうつ病、うつ状態、パニック障害とは何か調べておく。また、海外で働く日本人にとって健康上何が必要かを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	小池　学
6	2024/12/18 （水）	4	働く人の個人を対象とした健康課題と看護（企業と労働者の関係、健康障害とその予防対策、労働者のQWL向上への援助）	講義	前：自分自身が産業看護職になった場合、どのように職務を進めていけばよいかを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	浅野　しほ
7	2025/01/15 （水）	3	働く人の組織、集団を対象とした健康課題と看護 （産業保健計画、組織のアセスメント、看護職としての労働衛生管理体制）	講義	前：改めて産業保健、労働衛生とは何かを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	浅野　しほ
8	2025/01/15 （水）	4	産業保健活動の実際 （産業保健計画、産業医、衛生管理者らとの連携協働、地域職域連携）	講義	前：自分自身が産業看護職になった場合、産業保健分野の各専門職とどのように連携するかを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	浅野　しほ
9	2025/02/05 （水）	4	定期試験			

評価方法	定期試験100%
教科書・参考書	教科書： １　中央労働災害防止協会編：「労働衛生のしおり　2024年」、中央労働災害防止協会出版(2024)、定価825円(税込み) ２　森晃爾編(2024)：「産業保健ハンドブック　2024年」、労働調査会出版、定価770円(税込み) 参考書： １　厚生統計協会(2023)：「国民衛生の動向2023/20234、定価2,970円(税込み) ２　日本看護協会出版会(2024)：「看護法令要覧2024」、定価4,620円(税込み) ３　河野啓子編：「産業看護学第２版」、日本看護協会出版会(2023)、定価4,180円(税込み) ４　森晃爾編：「産業保健マニュアル改訂8版」、南山堂(2021)、定価7,700円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　出欠席について 　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダへの打刻）により出席を確認するこのとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。 ２　定期試験について ⑴　出席が３分の２以上ない場合は、定期試験の受験資格を認めない。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ実施する。 ⑶　定期試験に不合格の場合は、再試験を１回実施する。 ３　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	若杉　里実　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 山田　琢之　講義前後の時間に質問を受け付ける。 小池　学　講義前後の時間に質問を受け付ける。 浅野　しほ　講義前後の時間に質問を受け付ける。

備考	［実務］ 行政機関および事業所において、医師・保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	健康教育論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Health Education		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	看護師課程…自由保健師課程…必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師	二村　純子

科目概要	健康教育とは、対象となる人々の健康に関連した行動を理解し、健康自己管理能力の向上を援助するとともに、人々の行動やライフスタイルの改善、健康な社会環境の醸成を目指すものである。主に集団や組織を対象とした健康教育に用いる基礎理論と健康教育の企画・立案、実施、評価のプロセスの実際を学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目標	１　健康教育の基礎となる理論について述べることができる。「ＤＰ：１・２・５・６」 ２　健康教育の企画・立案、実施、評価のプロセスを述べることができる。「ＤＰ：１・２・５・６」 ３　演習では、対象となる集団や組織のヘルスニーズを把握し、生活習慣・価値観・歴史・文化・伝統・環境等をふまえ、対象集団のセルフケア能力向上に向けた援助計画を立案することができる。「ＤＰ：１～６」 ４　看護倫理に基づいた健康教育を実践し、評価することができる。「ＤＰ：１～６」 ５　演習を振り返り、より効果的な健康教育のあり方を批判的・発展的・論理的に洞察できる。「ＤＰ：１～６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/06/13（木）	1	健康教育に関する理論（KAPモデル、ヘルスビリーフモデル、プリシード・プロシードモデル、社会学習理論、変化ステージ理論、ナッジ理論）	講義	前：教ｐ72－85、ｐ188－191を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉　里実 二村　純子
2	2024/06/13（木）	2	地域看護活動と健康教育 （法的根拠、目的、対象、企画、実施、評価のプロセス）	講義	前：教ｐ191－199を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村　純子
3	2024/06/20（木）	1	演習オリエンテーション 演習①：健康教育対象者の健康課題から健康教育企画書の作成	演習 VTR視聴	全：教ｐ191－199と講義資料から、演習に必要なところを読み返す 後：作成した企画書の内容を資料とともに振り返る 前後各120分	全員
4	2024/06/20（木）	2	演習②：健康教育指導案の作成	演習 GW	前：演習に必要な資料を調べる 後：作成した指導案の内容を資料とともに振り返る 前後各120分	全員
5	2024/06/27（木）	1	演習③：健康教育媒体の作成 （対象者の年齢等を考慮した適切な教材の選択）	演習 GW	前：演習に必要な資料を調べる 後：作成した媒体内容につ	全員

					いて資料とともに振り返る 前後各120分	
6	2024/06/27 （木）	２	演習④：健康教育発表会の準備 （講義・実習・グループ討議等の教育技術の工夫）	演習 GW	前：演習に必要な資料を調べる 後：発表の仕方について，資料とともに振り返る 前後各120分	全員
7	2024/07/18 （木）	１	健康教育発表会 （講義・実習・グループ討議等の教育技術の工夫）	演習 発表	前：演習に必要な資料を調べる 後：発表内容を多角的に振り返る 前後各120分	全員
8	2024/07/18 （木）	２	健康教育の評価	演習 GW	前：演習に必要な資料を調べる。 後：健康教育演習の目的・目標に沿って学びをまとめる 前後各120分	全員
9	2024/07/26 （金）	３	定期試験			全員

評価方法	定期試験30%、演習(演習への参加態度（振り返りの入力含む）10%、健康教育の企画書10%、媒体作成10%、健康教育の実施20%、健康教育の評価10%、個人レポート10%）を総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： １　荒賀直子・後閑容子・鳩野洋子・神庭純子編(2022)：「公衆衛生看護学.jp」、第５版データ更新版、インターメディカル出版、定価4,840円（税込み） ２　厚生労働統計協会編(2022)：「国民衛生の動向(2022/2023)」、厚生労働統計協会出版、定価2,695円（税込み） 参考書：講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席管理システム（授業開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により、出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回打刻する。 ２　30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 ３　遅刻または早退２回で欠席１回とみなす。 ４　講義・演習終了後、毎回、振り返りを決められた時間内にAIDLE－Kに入力する。未入力者は1回ごとに減点とする。 ５　講義・演習での録音および写真撮影は禁ずる。 ６　単位取得について ⑴　出席は３分の２以上とする。 ⑵　定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は１回とする。 ⑶　病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 ７　レポートには教員からの講評を記載する。 ８　定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 二村　純子　　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階　N452研究室
備考	［実務］ 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	生涯発達論		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Life-Span Human Development		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
准 教 授	深谷　基裕
助　　教	伊藤　真規
講　　師(非)	加藤　典子

科目概要	人間の成長と発達について、発達心理学の基礎理論を理解し、ライフサイクルの各期（乳幼児期・児童期・青年期・成人期・壮年期・老年期）における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題について学修する。 また、生涯発達の視点で看護の対象となる人を理解するために、様々な発達段階にある対象への看護上の課題を見出すための基本的な知識・考え方を修得する。
目標	１　人間の成長と発達について発達心理学の基礎理論を用いて説明できる。［DP:１・５］ ２　看護の対象である人間の発達を生涯発達の視点から捉えることができる。［DP：１・５］ ３　ライフサイクルの各時期の人間の発達の特徴(身体的・心理的・社会的特徴）及び課題について説明できる。［DP：１・５］ ４　発達課題が達成されなかった場合に生じる人生上の危機について説明できる。［DP：１・５］

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/30（月）	3	ガイダンス ＃ライフサイクル論の考え方 ＃発達概念の変遷と生涯発達の視点 ＃発達の基礎理論（エリクソン、ハヴィガースト、マズローなど）	講義	前：教科書の「はじめに」と「序」を読む。 後：エリクソン、ハヴィガースト、マズローの発達論の違いを整理する。 前後各120分程度	加藤　典子
2	2024/09/30（月）	4	発達課題と発達危機(1)　乳児期～幼児期	講義	前：教科書「Ⅰ乳児期」～「Ⅲ幼児後期」の1・2節を読む。 後：教科書「Ⅰ乳児期」～「Ⅲ幼児後期」の3・5節を読み、課題と危機から各発達段階の特徴を整理する。 前後各120分程度	加藤　典子
3	2024/10/07（月）	3	発達課題と発達危機(2)　児童期～青年期	講義	前：教科書の「Ⅳ学童期」～「Ⅵ青年期」の1・2節を読む。 後：教科書の「Ⅳ学童期」～「Ⅵ青年期」の3・5節を読み、課題と危機から各発達段階の特徴を整理する。 前後各120分程度	加藤　典子
4	2024/10/07（月）	4	発達課題と発達危機(3)　成人期～壮年期	講義	前：教科書の「Ⅶ成人前期」～「Ⅸ成熟期」の1・2節を読む。	加藤　典子

					後：教科書の「Ⅶ成人前期」～「Ⅸ成熟期」の3・5節を読み、課題と危機から各発達段階の特徴を整理する。 前後各120分程度	
5	2024/11/15 （金）	4	ライフサイクルにおける乳幼児期から青年期の特徴と発達課題 ＃発達理論を基にした幼児期・学童期の子どもの発達の特徴 ＃幼児期・学童期の子どもの発達課題に合わせた支援について考察する	講義	前：第1回 - 3回の講義を復習する。 後：自己の幼児期から学童期の体験をもとに発達課題，発達危機を分析し、まとめる。 前後各120分程度	深谷　基裕
6	2024/11/22 （金）	4	ライフサイクルにおける成人期の特徴と発達課題 ＃発達理論を基にした成人期の発達課題の特徴 ＃成人期特有のライフイベントから成人期の発達課題について考察する	講義	前：第1回・3回・4回の講義を復習する。 後：成人期の発達課題・発達危機について考察する。 前後各120分程度	伊藤　真規
7	2024/12/02 （月）	3	ライフサイクルにおける老年期の特徴と発達課題 #発達理論を基にした老年期の発達課題の特徴 ＃老年期特有のライフイベントから老年期の発達課題について考察する	講義	前：第1回・4回の講義を復習する。 後：身近な高齢者の発達課題・発達危機について考察する。 前後各120分程度	荻野　朋子
8	2024/12/02 （月）	4	発達課題と発達危機(4)　老年期 生涯発達と社会化、ライフデザイン、ライフコース論の考え方 生活モデルと患者理解	講義	前：教科書の「Ⅹ成人後期」の1・2・3・5節と「終章」を読む。 後：自分のこれまでの人生（思春期～青年期）で、発達課題に向き合い、発達危機を乗り越えた例の説明を通し、生涯発達の視点についてまとめる。 前後各120分程度	加藤　典子

評価方法	ワークシート55%、小レポート・課題レポート45%で評価する。
教科書・参考書	教科書： １　服部祥子：生涯人間発達論、医学書院、第3版（2020/01）、定価2,310円（税込み） 参考書： 配布資料にて随時紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　授業で提示する参考図書や資料を十分に読み込み、積極的に授業に臨むこと。 ２　出席は入室時と退出時にカードリーダーに打刻することで確認する。 　2コマ続きの場合も、各時限の前後に打刻を行うこと。 ３　単位取得について （1）出席の3分の2以上を満たしている場合、成績評価を行う。 （2）不合格者には再試験（レポート）を一回行う。 ４　フィードバック 　講義に関する質問には、授業後に対応する。 　ワークシートに対するフィードバックは、講義の中で適宜、行う。
オフィスアワー	荻野朋子：水曜日 16：30～18：00　C棟5階個人研究室④ 深谷基裕：月曜日 16：00～17：30　基礎科学棟3階N365研究室 伊藤真規：水・木曜日 16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 加藤典子：講義に関する質問・相談等は、講義後に対応する。
備考	毎回講義時にワークシートまたは小レポートを課す。 本科目は、生涯発達論の理論及び最新の知見に基づいて授業を構成している。

講義名	母性看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Maternal Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江

科目概要	母性看護学の基盤となる概念を理解し、セクシュアルヘルス及びリプロダクティブ・ヘルス／ライツの視点を持って、看護の対象と健康課題、及び看護の役割を学修する。 また、「親になること」の発達過程にある対象と家族の特徴と看護について学修する。
目標	１　ヒューマンセクシュアリティとセクシュアルヘルスの概念を説明できる。［DP:１］ ２　母性看護の対象とリプロダクティブヘルス/ライツについて、説明できる。［DP:１］ ３　母性看護の対象の特徴と健康課題について、説明できる。［DP:１・２］ ４　母性看護に関わる最新の動向と倫理について、多角的に論じることができる。［DP:１・４・６］ ５　周産期（妊娠期・分娩期）の生理的変化と対象の特徴を説明できる。［DP:１・２・５］ ６　母性・父性の発達を促し「親になること」を支える看護について、論じることができる。［DP:１・２・４］ ７　周産期の対象の特徴をふまえ、ヘルスプロモーションの視点から社会と看護師の役割について、論じることができる。［DP:２・３］

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/08（月）	1	ガイダンス 母性看護の対象 母性看護の基盤となる概念（ヒューマンセクシュアリティ、親になること、性の多様性）	講義	予：教１p2-45、100-127を読む。 復：講義資料を用いて、母性看護の基盤となる概念についてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
2	2024/04/08（月）	2	母性看護の対象理解と看護 女性と家族のライフサイクルと健康課題 （思春期、成熟期、更年期、老年期）	講義	予：教１p127-154、190-250を読む。 復：講義資料を用いて、女性のライフサイクル各期の特徴と課題をまとめる。 前後各120分	山本　弘江
3	2024/04/10（水）	5	リプロダクティブヘルス/ライツ（不妊症、生殖補助医療、人工妊娠中絶、性感染症、性暴力、児童虐待） ディベートの目的と論題の紹介	講義	予：教１p27-38、252-316を読む。 復：講義資料を用いて、リプロダクティブヘルス/ライツについてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
4	2024/04/17（水）	2	ディベートのためのグループワーク	GW	予：ディベート論題に関する準備学習を行う。 復：GWをふまえてディベート課題について内容を深める。 前後各120分	山本　弘江

5	2024/04/25（木）	4	母性看護を取り巻く今日的課題と生命倫理①ディベート（女性の権利、胎児の権利）	発表（ディベート）	予：教１p49-54を読む。担当するディベート課題について発表の準備を行う。 復：実施したディベートを振り返り、論題についてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
6	2024/04/25（木）	5	母性看護を取り巻く今日的課題と生命倫理②ディベート（生殖医療）	発表（ディベート	予：担当以外のディベート課題についてその概要を調べる。 復習：担当以外のディベートを聞いて、各課題についてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
7	2024/04/26（金）	5	母子保健を支える法制度と施策 国際社会における母子保健	演習	予：教１p58-97、317-326を読む。 復：講義資料を用いて、国内外の母子保健についてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
8	2024/04/30（火）	1	妊娠期における看護１ 　妊娠の成立、妊娠期の生理的変化（胎児の発育と生理、母体の生理的変化）、 妊婦と家族の心理	講義	予：教２p2-12、p62-91を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠期の身体的特性、心理・社会的特性の理解を深める。 前後各120分	山本　弘江
9	2024/04/30（火）	2	妊娠期における看護２ 妊娠の診断、妊婦健康診査	講義	予：教２p92-108を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠とその診断、胎児の発育と健康状態の診断の理解を深める。 前後各120分	山本　弘江
10	2024/05/01（水）	5	妊娠期における看護３ 妊婦と胎児のアセスメントと看護 （CTGの判読、ヘルスプロモーション、バースプラン）	講義	予：教２p108-132を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊婦と胎児の経過の診断とアセスメントの理解を深める。 前後各120分	山本　弘江
11	2024/05/02（木）	5	妊娠期における看護４ 妊娠期の正常からの逸脱と看護（ハイリスク妊娠、妊娠期の感染症、妊娠期の異常）	講義	予：教２p380-422を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠の異常と看護についてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
12	2024/05/08（水）	5	分娩期における看護１ 分娩のメカニズム（分娩の３要素、分娩の機序、産婦の身体的変化）	講義	予：教２p184-195を読む。 復：講義資料を用いて、分娩のメカニズムの理解を深める。 前後各120分	山本　弘江
13	2024/05/10（金）	5	分娩期における看護２ 分娩の経過（分娩が母体に及ぼす影響、胎児に及ぼす影響）	講義	予：教２p196-211を読む。 復：講義資料を用いて、分娩の経過の理解を深める。 前後各120分	山本　弘江
14	2024/05/17（金）	4	分娩期における看護３ 分娩経過のアセスメントと看護（産婦と家族のニード、分娩期の看護）	講義	予：教２p211-260を読む。 復：講義資料を用いて、分娩経過のアセスメントと看護についてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
15	2024/05/17（金）	5	分娩期における看護４ 分娩の異常と看護（分娩期の正常からの逸脱、帝王切開術を受ける産婦の看護）	講義	予：教２p423-488を読む。 復：講義資料を用いて、分娩の異常と看護についてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
16	2024/05/23	3	定期試験			山本　弘江

	（木）					

評価方法	定期試験（80%）、授業への参加度（毎回のミニッツペーパーとディベートまとめレポートの内容を含む）（20%） なお、定期試験が６割に満たない場合は不合格とする
教科書・参考書	教科書： １　森恵美他著（2022）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学概論」、第14版、医学書院、定価2,750円（税込み） ２　森恵美他著（2022）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論」、第14版、医学書院、定価3,410円（税込み） 参考書： １　荒木奈緒他編（2022）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第５版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） 授業中に、適宜資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 ⑵　講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ⑶　この科目に合格しないと「母性看護学実習Ⅰ」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダへの打刻）により出席の確認をする。２コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計２回打刻する。この時、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席をもって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　不合格の場合、再試験は１回までとする。不合格の場合は次年度再履修すること。 ４　その他 ⑴　講義毎に振り返りの記入と提出を行い、その内容については次回講義にフィードバックを行う。 ⑵　振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日内（23時59分）とする。後日の入力はできない。
オフィスアワー	水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室①
備考	１　毎回講義前に教科書の該当箇所を読んでくること。 ２　毎回講義終了時、ミニッツペーパーの記入を行い、講義内の学びと疑問点を明確化する。 　教員より次回にフィードバックが行われるが、各自でも教科書及び配布資料を用いて60分程度復習をしておくこと。 ３　講義に関連した課題について、新聞、ニュース等の今日的課題と関連させることで理解を深める（60分）。 ［実務］ 周産期施設および女性診療科において、助産師として実務経験のある教員が、ヘルスプロモーションの視点から、女性のライフサイクル各期に応じた母性看護とリプロダクティブヘルス／ライツについて教育を行う。 ・研究成果等に基づき、当該領域の最新の知見を取り入れて授業構成をしている。さらに、小グループに分かれ学生が主体的、論理的に最新の課題に取り組むディベートを講義内に取り入れている。

講義名	小児看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Pediatric Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 茂本　咲子
教　　授(兼　医学部)	山田　恭聖
准 教 授	深谷　基裕
助　　教	坂川　有希
講　　師(非)	上野　里恵

科目概要	子どもと家族の権利について学び、それらを擁護するのに必要な小児看護の役割・機能を学修する。子どもの成長・発達と健康増進を支援する方法及び子どもと家族のQOLを高めるための保健・医療・福祉・教育とその連携について理解し、倫理的配慮を心がけた小児看護の理論的素地を学ぶ。
目標	１.小児看護と対象となる子どもとその家族の特徴について理解し、説明できる。「DP:１・２・４」 ２.子どもと家族の権利、関連法規について理解し、説明できる。「DP:１・２」 ３.小児期の成長・発達の特徴と健康支援について理解し、説明できる。「DP:２」 ４.子どもをとりまく社会の特徴と小児看護における医療・福祉・教育の連携について理解し、説明できる。「DP:３」 ５.健康障害や入院が子どもとその家族に及ぼす影響について理解し、説明できる。「DP:２・５」 ６.主な症状別の看護や緊急時の対応について理解し、説明できる。「DP:２・５」 ７.様々な病期にある子どもと家族への看護について理解し、説明できる。「DP:２・５」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/11 (木)	1	小児看護の対象と目的・役割 子どもの権利・関連法規（児童の権利条約、児童憲章、インフォームドアセント、関連諸統計）	講義	前：教１p4-28を読む。 後：教１、講義資料をもとに小児看護の目標にはどのような特徴があるか考える。 前後各120分	深谷　基裕
2	2024/04/16 (火)	1	子どもの成長・発達の特徴と看護（成長・発達の原則・特徴、成長・発達の評価、成長・発達への影響因子）	講義	前：教１p30 - 51を読む。 後：教１、講義資料をもとに、小児期の成長・発達の進み方の特徴を整理する。 前後各120分	深谷　基裕
3	2024/04/16 (火)	2	乳児期の子どもの発達と支援（発達の特徴と課題、基本的生活行動と獲得、コミュニケーション、遊び）	講義	前：教１p54-90を読む。正常新生児がもつ身体能力を３つ以上書き出す。 後：講義資料をもとにまとめる。乳児の1年間の成長・発達過程のポイントを整理する。 前後各120分	茂本　咲子

4	2024/04/18（木）	1	幼児期の子どもの発達と支援（発達の特徴と課題、基本的生活行動と獲得、コミュニケーション、遊び）	講義	前：教１p92-108を読む。 後：教１、講義資料をもとに、幼児が基本的生活習慣を確立するまでの経過を整理する。 前後各120分	深谷　基裕
5	2024/04/19（金）	3	学童期と思春期の子どもの発達と支援（発達の特徴と課題、コミュニケーション、移行期支援）	講義	前：教１p109-144を読む。インターネットが子どもの健康に与える影響について自己の意見をまとめる。 後：講義資料をもとにまとめる。第二次性徴が知的・情緒的・社会的機能の発達に及ぼす影響について整理する。 前後各120分	深谷　基裕
6	2024/04/23（火）	3	小児看護における家族のアセスメント（虐待を含む）	講義	前：教１p146 - 160、494-511を読む。 後：教１、講義資料をもとに、現代家族の特徴についてまとめる。 前後各120分	茂本　咲子
7	2024/04/23（火）	4	子どもと家族を取り巻く社会（医療・保健・福祉・教育との連携、医療的ケア児、発達障害を含む）	講義	前：教１p162 - 177を読む。 後：講義資料をもとに、学校保健統計調査の結果を調べ、現在の子どもの健康問題についてまとめる。 前後各120分	茂本　咲子
8	2024/04/25（木）	3	子どもの健康の維持・増進への看護（事故防止、予防接種ほか）	講義	前：教１p177 - 192を読む。自分の母子手帳で接種した予防接種の内容を確認して全て書き出す。 後：講義資料をもとに、予防接種の接種スケジュールについてまとめる。 前後各120分	深谷　基裕
9	2024/04/26（金）	3	小児看護における概念と理論（セルフケア、ストレス・コーピング・プリパレーション）	講義	前：教１p196-209を読む。 後：講義資料を読み、子どもが家族と離れて入院治療をする場合にあらわれやすい反応と、必要な看護について考える。 前後各120分	茂本　咲子
10	2024/04/26（金）	4	急性期・慢性期の子どもと家族への看護（病気の理解、入院の影響）	講義	前：教１p212-223、p248-256を読む。 後：講義資料をもとに、慢性になる子どもと家族の看護と、急性期になる子どもと家族の看護を学び、看護の違いはなにかを考える。 前後各120分	坂川　有希
11	2024/04/30（火）	3	小児期の主な症状別看護（発熱、脱水、下痢・嘔吐、痛み、けいれん）	講義	前：教１；p345-397を読む。 後：講義資料をもとに、子どもの痛みのアセスメントの方法を発達段階ごとに整理する。 前後各120分	深谷　基裕
12	2024/04/30（火）	4	緊急時の対応とアレルギー疾患の看護（小児の一次救命処置PBLS、異物除去、アナフィラキシーショック）	講義	前：教２；p520-536、教１；p110-113、125-128、p471-478（動画ｐ516含）を読む。 後：講義資料を基に成人と小児での救急処置の違いをまとめる。 前後各120分	上野　里恵 深谷　基裕

13	2024/05/10（金）	3	周手術期にある子どもと家族の看護（小児麻酔、術前・術後看護）	講義	前：教１；p256-268、344-371の範囲を読む。 後：講義資料を中心に周手術期看護について整理する。 前後各120分。	坂川　有希
14	2024/05/16（木）	1	ハイリスク新生児と看護（早産児、低出生体重児に起こりやすい病態と治療）	講義	前：教２；p19-41を読む。 後：講義内容を踏まえ、ハイ早産児と低出生体重児に起こりやすい病態と治療時に必要な看護についてまとめる。 前後各120分。	山田　恭聖
15	2024/05/17（金）	3	ハイリスク新生児と看護（NICU・GCU看護/低出生体重児、早産児、ディベロップメンタルケア、ファミリーセンタードケア）	講義	前：教２；p2-15、41-64を読む。 後：講義内容を踏まえ、ハイリスク新生児とその家族の看護に関する急性期の課題についてまとめる。 前後各120分。	深谷　基裕
16	2024/05/23（木）	4	定期試験			深谷　基裕

評価方法	課題提出30%（ミニレポート）、定期試験70%
教科書・参考書	教科書： １　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［１］小児看護学概論　小児臨床看護総論」、第14版、医学書院、定価3,190円（税込み） ２　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［２］小児臨床看護各論」、第14版、医学書院、定価3,630円（税込み） 参考書： １　筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護学」、第２版、照林社、定価3, 630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点及び取扱い	１　履修について （１）教科書に加えて、授業で紹介した本を読むなどの自己学修を行う。 （２）配布資料や視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配布をしないこと。 （３）本科目の単位取得が、「小児看護学実習Ⅰ」を履修する前提条件となる。 ２　出欠席について （１）出席の確認は、対面実施の場合は出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）による。 （２）遠隔実施の場合は出席確認方法は別途指示する。 （３）遅刻および早退３回で１回欠席とみなす。30分以上の遅刻および早退は欠席とみなす。 ３　課題について （１）提出締切は厳守すること。やむを得ない理由で期限までに提出ができない場合には、必ず締め切り前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 （２）ミニレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。欠席者は当日分0点となる。 ４　単位取得について （１）３分の２以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 （２）定期試験に合格すること。 （３）追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 （４）再試験は１回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修することになる。 （５）　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後に提示する。 ５　［凡例］ 教科書について、小児看護学［１］は教１、小児看護学［２］は教２と示す。
オフィスアワー	茂本　咲子　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室７ 深谷　基裕　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 坂川　有希　木曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 他の講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	［実務］ 小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもとその家族の看護の実務経験のある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。

	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Gerontological Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
講　　師	横山　剛志
助　　教	中尾　幸世
助　　教	河井　丈幸

科目概要	老年期にある人を身体的、心理・精神的、社会的側面から捉え、生涯の終わるときまで発達することを理解する。また、超高齢社会の現状と将来を見据え、多様な社会資源とその活用を支援する地域包括ケアシステムについて理解し、療養・生活の場における、健康の維持・増進、回復への看護の特性について学ぶ。更に、保健医療福祉の専門職との連携・協働における老年看護の役割について考える。
目標	１　身体の加齢変化と身体的特徴について述べられる。「DP：１～３・５」 ２　心理・精神面の加齢変化と人生の最終段階についての考え方について述べられる。「DP：１～３・５」 ３　人口の高齢化の特徴，家族形態の変化，保健・医療・福祉施策とその動向について説明できる。「DP：１～３・５」 ４　療養・生活の場における、健康の維持・増進、回復への看護の特性について説明できる。「DP：１～３・５」 ５　老年期にある人へのケアに関わる多職種の協働と看護の役割を述べられる。「DP：１～３・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/09（火）	4	オリエンテーション、老年期にある人の対話から学ぶ：生活史、もてる力、ありたい姿、価値・信念、高齢者とのコミュニケーション（事前課題をもとにグループワークと発表）	講義・GW	前：指定した対話の事前課題を行う。 後：グループワークをもとに「高齢者の生きるうえでのよりどころや大切にしている価値観・信念」についてまとめる。 前後各120分	全員
2	2024/04/10（水）	1	高齢者の理解①：高齢者疑似体験（主に感覚器・運動器の加齢変化を体験する。）	演習	前：教①p97-102、111-116を読む。 後：高齢者の生活における安全な環境について、自宅をもとに考察する。 前後各120分	全員
3	2024/04/19（金）	1	高齢者の理解②：加齢変化（身体的側面） 高齢者の定義、老化のモデル、	講義	前：教①p2-19、94-120を読む。 後：テキスト、動画教材を視聴し「加齢に伴う身体的側面の変化」についてまとめる。 前後各120分	荻野　朋子

4	2024/04/19 （金）	2	高齢者の理解③：加齢変化（心理・社会的側面）知能、人格、ライフイベントと健康、発達課題、いきがい、QOL ヘルスアセスメント アセスメントツール：ICF、CGA、環境、生活史、生活の自立状態（BADL、IADL、バーセルインデックス）	講義	前：教①p9-19、86-94を読み、生涯発達論第7回を復習して講義に臨む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野　朋子
5	2024/04/23 （火）	1	高齢者をとりまく社会①：人口減少と少子高齢化、超高齢社会の現状、高齢者と家族、高齢者の健康、暮らし	講義	前：教①p24-36を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野　朋子
6	2024/04/23 （火）	2	高齢者をとりまく社会②：高齢社会における保健医療福祉の動向：保健・医療・福祉の変遷、高齢者の経済、医療・福祉制度、介護保険制度、権利擁護、虐待	講義	前：教①p36-50、54-66を読む。 後：教①p66ゼミナール復習と課題①②を行う。 前後各120分	荻野　朋子
7	2024/04/24 （水）	1	治療・生活・療養の場における看護①：地域包括ケアシステム、介護予防とヘルスプロモーション、多職種との連携・協働、社会資源、社会参加	講義	前：教①p360-373を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	河井　丈幸
8	2024/04/24 （水）	2	治療・生活・療養の場における看護②：高齢者の入院、退院、リハビリテーション、保健医療福祉施設および居住施設における看護、高齢者を支える多職種連携と看護活動の多様化	講義	前：教①p50-54、334-345を読む。 後：「介護老人保健施設と介護老人福祉施設の機能と役割とそれぞれに期待される看護職の役割」についてまとめる。 前後各120分	河井　丈幸
9	2024/04/26 （金）	1	看護の場と各種サービス：介護保険サービス、ケアマネジメント、福祉機器の活用、社会資源の活用、環境（人的・物理的・経済的）の調整	講義	前：教①p41-50を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	河井　丈幸
10	2024/05/01 （水）	3	高齢者の健康課題と看護①：せん妄・うつ・認知症の病態理解、症状、評価、治療、予防	講義	前：「認知症の当事者の体験について、書籍やブログなどを通じて理解したこと」についてまとめる。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	横山　剛志
11	2024/05/01 （水）	4	高齢者の健康課題と看護②：せん妄・うつ・認知症の人の看護、認知症の人の理解、対応の基本、療法的なアプローチ、家族への援助	講義	前：第10回の講義資料と講義内容を復習する。 後：「認知症のある高齢者の看護のポイント」についてまとめる。 前後各120分	横山　剛志
12	2024/05/07 （火）	5	老年看護過程：目標志向型思考、その人らしさ、もてる力、ありたい姿 事例検討の進め方	講義	前：教①p408-410、②vi-viiを読む。 後：ワークブックp6-8を読み、事例をイメージし「その人らしさ、もてる力、ありたい姿」について考え記述する。 前後各120分	荻野　朋子
13	2024/05/08 （水）	3	高齢者の健康課題・生活行動と看護①「睡眠・休息」：睡眠・休息のアセスメントと援助、活動と休息のバランス、睡眠・覚醒のリズム、睡眠の評価、生活リズムを整える看護	講義	前：②p2-4を読む。 後：講義内容をもとに、ワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各120分	河井　丈幸
14	2024/05/08 （水）	4	高齢者の健康課題・生活行動と看護②「覚醒・活動」：覚醒・活動のアセスメントと援助、基本動作・姿勢を支える看護、転倒のアセスメントと予防、廃用症候群と予防、レクリエーション	講義	前：②p10-12を読む。 後：講義内容をもとに、ワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各120分	河井　丈幸
15	2024/05/09 （木）	3	高齢者の生活行動と看護③「コミュニケーション」：コミュニケーションのアセスメントと援助、難聴、構音障害、失語症	講義	前：②p44-45を読む。 後：講義内容をもとに、ワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各120分	中尾　幸世

16	2024/05/15 （水）	4	定期試験			全員

評価方法	定期試験80%、高齢者との対話からの学びのレポート10%、事前・事後学習課題10%
教科書・参考書	教科書： １　北川公子、他(2022)：系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」第９版、医学書院、定価2,970円（税込み） ２　山田律子、他(2020)：「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第４版、医学書院、定価4,070円（税込み） 参考図書： １　服部祥子(2021)：「生涯人間発達論」 第３版 医学書院、定価2,310円（税込み） ２　正木治恵、他(2016)：「老年看護学概論『老いを生きる』を支えること」第２版、南江堂、定価3,080円（税込み） ３　厚生労働統計協会（2023）：国民衛生の動向(2023/2024)、定価2,970円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　事前課題である高齢者との対話をレポートし、指示した方法で提出する。また印刷したものを持参し第１回授業に臨むこと。 ２　自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 ３　準備学修(予習・復習)は、関連する授業時間内に確認する。及び、指定した日時に提出する。 ４　出席は入室時と退室時にカードリーダに打刻することで確認する。 　２コマ連続の場合（講義・演習）は、１コマ目開始時、２コマ目終了時の合計２回、打刻する。 ５　単位修得について ⑴　出席３分の２以上を満たしている場合、成績評価を行う。 ⑵　不合格者には再試験を１回行う。 ６　本科目の単位習得は、「老年看護学実習」を履修する前提条件である。 ７　フィードバック 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは自由参加の解説講義を実施する(日時については最終回に通知する)。 ８　凡例 教①：教科書「系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第４版 GW：グループワーク
オフィスアワー	荻野　朋子　　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 横山　剛志　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 中尾　幸世　　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 河井　丈幸　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室
備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 ［実務］ 大学病院、高齢者施設、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Gerontological Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
講　　師	横山　剛志
助　　教	中尾　幸世
助　　教	河井　丈幸

科目概要	老年期にある人を身体的、心理・精神的、社会的側面から捉え、生涯の終わるときまで発達することを理解する。また、超高齢社会の現状と将来を見据え、多様な社会資源とその活用を支援する地域包括ケアシステムについて理解し、療養・生活の場における、健康の維持・増進、回復への看護の特性について学ぶ。更に、保健医療福祉の専門職との連携・協働における老年看護の役割について考える。
目標	１　身体の加齢変化と身体的特徴について述べられる。「DP：１～３・５」 ２　心理・精神面の加齢変化と人生の最終段階についての考え方について述べられる。「DP：１～３・５」 ３　人口の高齢化の特徴，家族形態の変化，保健・医療・福祉施策とその動向について説明できる。「DP：１～３・５」 ４　療養・生活の場における、健康の維持・増進、回復への看護の特性について説明できる。「DP：１～３・５」 ５　老年期にある人へのケアに関わる多職種の協働と看護の役割を述べられる。「DP：１～３・５」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/09（火）	4	オリエンテーション、老年期にある人の対話から学ぶ：生活史、もてる力、ありたい姿、価値・信念、高齢者とのコミュニケーション（事前課題をもとにグループワークと発表）	講義・GW	前：指定した対話の事前課題を行う。 後：グループワークをもとに「高齢者の生きるうえでのよりどころや大切にしている価値観・信念」についてまとめる。 前後各120分	全員
2	2024/04/10（水）	2	高齢者の理解①：高齢者疑似体験（主に感覚器・運動器の加齢変化を体験する。）	演習	前：教①p97-102、111-116を読む。 後：高齢者の生活における安全な環境について、自宅をもとに考察する。 前後各120分	全員
3	2024/04/19（金）	1	高齢者の理解②：加齢変化（身体的側面） 高齢者の定義、老化のモデル、	講義	前：教①p2-19、94-120を読む。 後：テキスト、動画教材を視聴し「加齢に伴う身体的側面の変化」についてまとめる。 前後各120分	荻野　朋子

4	2024/04/19 （金）	2	高齢者の理解③：加齢変化（心理・社会的側面）知能、人格、ライフイベントと健康、発達課題、いきがい、QOL ヘルスアセスメント アセスメントツール：ICF、CGA、環境、生活史、生活の自立状態（BADL、IADL、バーセルインデックス）	講義	前：教①p9-19、86-94を読み、生涯発達論第7回を復習して講義に臨む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野　朋子
5	2024/04/23 （火）	1	高齢者をとりまく社会①：人口減少と少子高齢化、超高齢社会の現状、高齢者と家族、高齢者の健康、暮らし	講義	前：教①p24-36を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野　朋子
6	2024/04/23 （火）	2	高齢者をとりまく社会②：高齢社会における保健医療福祉の動向：保健・医療・福祉の変遷、高齢者の経済、医療・福祉制度、介護保険制度、権利擁護、虐待	講義	前：教①p36-50、54-66を読む。 後：教①p66ゼミナール復習と課題①②を行う。 前後各120分	荻野　朋子
7	2024/04/24 （水）	1	治療・生活・療養の場における看護①：地域包括ケアシステム、介護予防とヘルスプロモーション、多職種との連携・協働、社会資源、社会参加	講義	前：教①p360-373を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	河井　丈幸
8	2024/04/24 （水）	2	治療・生活・療養の場における看護②：高齢者の入院、退院、リハビリテーション、保健医療福祉施設および居住施設における看護、高齢者を支える多職種連携と看護活動の多様化	講義	前：教①p50-54、334-345を読む。 後：「介護老人保健施設と介護老人福祉施設の機能と役割とそれぞれに期待される看護職の役割」についてまとめる。 前後各120分	河井　丈幸
9	2024/04/26 （金）	1	看護の場と各種サービス：介護保険サービス、ケアマネジメント、福祉機器の活用、社会資源の活用、環境（人的・物理的・経済的）の調整	講義	前：教①p41-50を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	河井　丈幸
10	2024/05/01 （水）	3	高齢者の健康課題と看護①：せん妄・うつ・認知症の病態理解、症状、評価、治療、予防	講義	前：「認知症の当事者の体験について、書籍やブログなどを通じて理解したこと」についてまとめる。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	横山　剛志
11	2024/05/01 （水）	4	高齢者の健康課題と看護②：せん妄・うつ・認知症の人の看護、認知症の人の理解、対応の基本、療法的なアプローチ、家族への援助	講義	前：第10回の講義資料と講義内容を復習する。 後：「認知症のある高齢者の看護のポイント」についてまとめる。 前後各120分	横山　剛志
12	2024/05/07 （火）	5	老年看護過程：目標志向型思考、その人らしさ、もてる力、ありたい姿 事例検討の進め方	講義	前：教①p408-410、②vi-viiを読む。 後：ワークブックp6-8を読み、事例をイメージし「その人らしさ、もてる力、ありたい姿」について考え記述する。 前後各120分	荻野　朋子
13	2024/05/08 （水）	3	高齢者の健康課題・生活行動と看護①「睡眠・休息」：睡眠・休息のアセスメントと援助、活動と休息のバランス、睡眠・覚醒のリズム、睡眠の評価、生活リズムを整える看護	講義	前：②p2-4を読む。 後：講義内容をもとに、ワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各120分	河井　丈幸
14	2024/05/08 （水）	4	高齢者の健康課題・生活行動と看護②「覚醒・活動」：覚醒・活動のアセスメントと援助、基本動作・姿勢を支える看護、転倒のアセスメントと予防、廃用症候群と予防、レクリエーション	講義	前：②p10-12を読む。 後：講義内容をもとに、ワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各120分	河井　丈幸
15	2024/05/09 （木）	3	高齢者の生活行動と看護③「コミュニケーション」：コミュニケーションのアセスメントと援助、難聴、構音障害、失語症	講義	前：②p44-45を読む。 後：講義内容をもとに、ワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各120分	中尾　幸世

16	2024/05/15 （水）	4	定期試験			

評価方法	定期試験80%、高齢者との対話からの学びのレポート10%、事前・事後学習課題10%
教科書・参考書	教科書： １　北川公子、他(2022)：系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」第９版、医学書院、定価2,970円（税込み） ２　山田律子、他(2020)：「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第４版、医学書院、定価4,070円（税込み） 参考図書： １　服部祥子(2021)：「生涯人間発達論」 第３版 医学書院、定価2,310円（税込み） ２　正木治恵、他(2016)：「老年看護学概論『老いを生きる』を支えること」第２版、南江堂、定価3,080円（税込み） ３　厚生労働統計協会（2023）：国民衛生の動向（2023/2024）、定価2,970円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　事前課題である高齢者との対話をレポートし、指示した方法で提出する。また印刷したものを持参し第１回授業に臨むこと。 ２　自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 ３　準備学修(予習・復習)は、関連する授業時間内に確認する。及び、指定した日時に提出する。 ４　出席は入室時と退室時にカードリーダに打刻することで確認する。 　２コマ連続の場合（講義・演習）は、１コマ目開始時、２コマ目終了時の合計２回、打刻する。 ５　単位修得について ⑴　出席３分の２以上を満たしている場合、成績評価を行う。 ⑵　不合格者には再試験を１回行う。 ６　本科目の単位習得は、「老年看護学実習」を履修する前提条件である。 ７　フィードバック 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは自由参加の解説講義を実施する(日時については最終回に通知する)。 ８　凡例 教①：教科書「系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第４版 GW：グループワーク
オフィスアワー	荻野　朋子　　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 横山　剛志　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 中尾　幸世　　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 河井　丈幸　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室
備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 ［実務］ 大学病院、高齢者施設、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて授業構成をしている。

講義名	家族看護学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Family Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
准 教 授	佐々木　裕子
准 教 授	森　莉那
講　　師(非)	加藤　明美

科目概要	家族看護学とは、「家族」を看護の対象と捉え、家族全体の健康を支援する看護である。家族のなかの一人に健康課題や発達課題が生じると、その人の世話をしたり、その人が担っていた役割を代行するために家族の中で補い合い、調整して生活している。家族看護学では、家族を看護の対象として理解するために必要な、現代家族の特徴、家族の捉え方、家族機能について学ぶ。その上で、家族看護を実践するための主要な概念や理論・家族看護モデルを用いて、家族のヘルスプロモーションを支援する家族看護の役割と看護実践について学修する。また、学修を通して、自己の家族観を養う。
目標	１　家族看護の視点から、看護の対象としての家族を説明できる。［DP:１・２］ ２　現代の家族と家族を取り巻く社会について学修し、家族の多様性や家族機能について説明できる。［DP:２・４］ ３　家族を理解するための主要な理論を用いて、家族が抱える看護課題を説明できる。［DP:２・５］ ４　家族の発達課題や家族の健康問題に対する家族アセスメントの方法と家族看護実践について説明できる。［DP:４・５］ ５　家族の健康を支える地域社会づくりや、ヘルスケアシステムについて論じることができる。［DP:１～６］

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/17（水）	5	ガイダンス 看護の対象としての家族 （家族看護の位置づけ、現代の家族を取り巻く社会と家族の特徴、家族の健康と家族看護の概念）	講義	予：教p1-5, 109-121を読む。「家族」に関連する社会問題や関心事について書き出す。 復：講義資料と教科書を読み、看護の対象としての家族についてまとめる。 前後各120分	山本　弘江
2	2024/04/18（木）	5	家族看護の基盤となる主要な理論 （家族を理解するための理論：家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論 家族を理解するための技法：ジェノグラム、エコマップ）	講義	予：教p8-38, 49-61を読む。個人の発達段階・発達課題について復習する。 復：講義資料を読み、理論について身近な家族を用いて説明する。自分の家族についてジェノグラムとエコマップを作成する。 前後各120分	山本　弘江
3	2024/04/19（金）	5	家族看護のアセスメントと看護 （看護モデルの概要、家族看護アセスメントの技法、家族の力を引き出すのに役立つ考え方：円環的思考、家族の強み）	講義	予：教p39-45, 62-106, 122-134を読む。 復：講義資料を読み、身近な家族をアセスメントす	佐々木　裕子

					る。 前後各120分	
4	2024/04/23 （火）	5	家族看護の実践(1) 　新しい家族の誕生と看護 （家族発達理論と家族システム理論を用いて家族をとらえる）	講義	予：教p9-26, 62-74を読む。家族に子どもが生まれたときのことを聞く。 復：講義資料を読み、子どもの誕生によっておこる家族の変化と看護について初経産別にまとめる。 前後各120分	山本　弘江
5	2024/05/22 （水）	5	家族看護の実践(2) 　思春期・壮年期における健康上の危機を抱えた家族の看護	講義	予：教p183-192を読む。 復：講義資料を読み、思春期・壮年期における健康上の危機を抱えた家族のアセスメントとケアについてまとめる。 前後各120分	森　莉那
6	2024/05/28 （火）	5	家族看護の実践(3) 　老年期における家族の看護	講義	予：教p226-250を読む。 復：講義資料を読み、老年期における家族のアセスメントとケアについてまとめる。 前後各120分	佐々木　裕子
7	2024/05/29 （水）	5	家族支援専門看護師の活動の実際 家族看護モデルを用いた事例展開	講義	予：教p151－170を読む。 1-6回の講義内容を振り返る。 復：講義資料を読み、家族看護実践についてまとめる。 前後各120分	加藤　明美
8	2024/06/12 （水）	5	家族の関係性に着目した家族支援 （ヘルスプロモーション、セルフケア）	講義	予：1-7回の講義資料を振り返り家族看護についてまとめる。 復：課題の事例について、レポートを作成する。 前後各120分	山本　弘江 佐々木　裕子 森　莉那
9	2024/06/28 （金）	3	定期試験			

評価方法	定期試験（80%）、レポート（毎回のミニッツペーパーと最終レポートの内容を含む）（20%） なお、定期試験が６割に満たない場合は不合格とする。
教科書・参考書	教科書： １　山崎あけみ、原礼子編（2022）：看護学テキストNiCE　家族看護学　臨床場面と実践から考える、改訂第３版、南江堂、定価2,750円（税込み） 参考書： １　上別府圭子他編（2022）：系統看護学講座　別巻　家族看護学、第１版、医学書院、定価2,420円（税込み） 講義中に適宜提示、および資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 　(1)　準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 　(2)　講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について 　(1)　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダへの打刻）により出席の確認をする。この際、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 　(2)　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ３　定期試験について 　(1)　３分の２以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 　(2)　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 　(3)　不合格の場合、再試験は１回までとする。再試験に不合格の場合は次年度再履修すること。 ４　その他 　(1)　講義毎に振り返りの記入と提出を行い、その内容については次回講義にフィードバックを行う。 　(2)　振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日内（23時59分）とする。後日の入力はできない。

オフィスアワー	山本　弘江　　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 佐々木　裕子　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室 森　莉那　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N254研究室 加藤　明美　　講義終了後
備考	１　毎回講義前に教科書の該当箇所および、前回の講義内容を復習して講義に臨むこと。 ２　毎回講義終了時、振り返りの記入を行い、講義内の学びと疑問点を明確化する。 　振り返り内容については教員より次回にフィードバックが行われるが、各自でも教科書及び配布資料を用いて復習をしておくこと。 ３　講義に関連した課題について、新聞、ニュース等の今日的課題と関連させることで理解を深める。 ［実務］ 看護師・助産師として実務経験のある教員および、家族看護CNSの資格を有する教員が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者及び関連職者の活動等について、現代の家族看護に必要な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて講義構成をしている。

講義名	母性看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Maternal Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
助　　教	丸谷　紗穂

科目概要	周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)における対象の身体的・心理的・社会的特徴と生理的変化、ニーズについて理解し、母子とその家族に対する看護を実践するための具体的な援助方法と看護師の役割について学修する。
目標	１　周産期（産褥期・新生児期）の生理的変化と対象の特徴を説明できる。［DP:１・２・５］ ２　「親になること」の発達とそれを支える看護について説明できる。［DP:１・２・４］ ３　母性看護における看護過程の特徴を理解し、ヘルスプロモーションの視点から対象をアセスメントできる。［DP:１・２・５］ ４　周産期（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期）の対象への基本的な看護技術を安全に実施できる。［DP:２・５］ ５　子育て期の家族を取り巻く社会の切れ目ない支援と看護師の役割について論じることができる。［DP:２～５］

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/31（金）	5	ガイダンス 産褥期における看護１ 妊娠・分娩経過と産褥経過（退行性変化、進行性変化、心理社会的変化、家族における変化）	講義	予：教１p322-334を読む。 復：講義資料と教科書を用いて、産褥経過についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
2	2024/06/14（金）	4	産褥期における看護２ 褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護	講義	予：教１p334-366を読む。 復：講義資料と教科書を用いて、産褥期のアセスメントと看護についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
3	2024/06/14（金）	5	産褥期における看護３ 産褥期に予測される問題と支援（産褥期の異常）	講義	予：教１p514-540を読む。 復：講義資料を用いて、産褥期に予測される問題と支援についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
4	2024/06/21（金）	5	産褥期における看護４ 子育て期の家族の課題と支援（周産期メンタルヘルス、産後うつ病、子育て支援）	講義	予：教１p367-378、516-517、541-550を読む。 復：講義資料を用いて、子育て期の家族の課題と支援についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
5	2024/12/04（水）	5	新生児期における看護１ 新生児の生理	講義	予：教１p262-281を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児の生理について	山本　弘江

					まとめる。 前後各30分	
6	2024/12/11 （水）	5	新生児期における看護２ 新生児のアセスメントと看護（出生から生後２日目まで）	講義	予：教１p281-293を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本　弘江
7	2024/12/12 （木）	5	新生児期における看護３ 新生児のアセスメントと看護（生後２日目から退院時まで）	講義	予：教１p293-320を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本　弘江
8	2024/12/18 （水）	5	新生児期における看護４ 新生児の異常と看護	講義	予：教１p489-514を読む。 復：教科書と講義資料を基に、新生児の異常と看護についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
9	2024/12/19 （木）	5	演習Ⅰ：褥婦・新生児のヘルスアセスメントガイダンス 演習Ⅱ：母性看護における看護過程	講義	予：教１p552-586を読む。 教２p1-29を読む。 復：教科書と講義資料を基に、課題事例の看護過程に取り組む。 前後各30分	山本　弘江
10	2025/01/23 （木）	3	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
11	2025/01/23 （木）	4	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
12	2025/01/23 （木）	5	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
13	2025/01/29 （水）	3	【演習Ⅱ】看護過程の展開（情報分析と関連図の作成）	演習	予：教２p70-124を読む。 復：演習をふまえて、課題事例の看護過程に取り組む。 前後各30分	山本　弘江 全員
14	2025/01/29 （水）	4	【演習Ⅱ】看護過程の展開（看護診断リストの作成と看護診断の立案	演習	予：教２p70-124を読む。 復：演習をふまえて、課題事例の看護過程に取り組む。 前後各30分	山本　弘江 全員
15	2025/01/30 （木）	3	まとめ 子育て期の家族への看護と看護師の役割 母性看護学領域の今日的課題（出生前診断、不妊治療）	講義	予：教１p14-60を読む。 復：課題事例の看護過程について講義をふまえて修正する。講義資料を用いて、母性看護の今日的課題について復習する。 前後各30分	山本　弘江
16	2025/02/07 （金）	2	定期試験			山本　弘江

評価方法	定期試験 80%、演習レポート10%、講義参加度（ミニッツペーパーの提出含む） 10%
教科書・参考書	教科書： １　森恵美他著（2022）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論」、第14版、医学書院、定価3,410円（税込み） ２　太田操編（2024）：「ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程」、第４版、医歯薬出版、定価2,530円（税込み） 参考書： １　茅島江子、村井文江、細坂泰子編集（2022）：「看護診断のための気づきとアセスメント　母性看護」、中央法規出版、定価3,300円（税込み） ２　荒木奈緒他編（2022）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第５版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） ３　仁志田博司編集（2018）：「新生児学入門」、第５版、医学書院、定価6,380円（税込み） 各担当教員が講義にて適宜提示する。 また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 ⑵　講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ⑶　この科目に合格しないと「母性看護学実習Ⅱ」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダへの打刻）により出席の確認をする。この時、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ⑶　演習Ⅰ（母性看護技術）はやむを得ない理由を除き、欠席は認めない。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席と演習Ⅰ・Ⅱレポートの提出をもって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　演習レポートは、提出期限を過ぎたものは評価の対象としない。 ⑶　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑷　不合格の場合、再試験は１回までとする。再試験に不合格の場合は次年度再履修すること。 ４　その他 ⑴　講義毎に振り返りの記入と提出を行い、その内容については次回講義にフィードバックを行う。 ⑵　振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日内（23時59分）とする。後日の入力はできない。 ⑶　演習は、課題レポートと演習内容を双方向評価するルーブリック評価表を提出する。定期試験終了後、担当教員よりフィードバックを行う。
オフィスアワー	山本　弘江　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 丸谷　紗穂　水曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N367研究室
備考	１　毎回講義前に教科書の該当箇所を読んでくること。 ２　講義内の疑問点については、ミニッツペーパーの記載やメール等で担当教員に尋ねること。次回講義時に、フィードバックが行われるが、各自でも教科書及び講義資料を用いて復習をしておくこと。 【演習】 １　毎回演習前に該当項目について指定された事前課題を行ってくること。 ２　演習前に教２p602～609の動画及びナーシングスキルにアクセスし、看護技術を確認する。 ３　毎回演習終了後、事後学習を行い、課題の追加・修正を行うこと。 　ナーシングスキルのアクセス状況や学修内容について、演習前後で確認し、必要時コメントの応答を行う。 ［実務］ 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における対象の理解と看護を教育する。また、母性看護の対象の特性をふまえたヘルスアセスメントの方法や母性看護に必要な看護技術を教育する。 ・研究成果および当該領域の最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	母性看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Maternal Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
助　　教	丸谷　紗穂

科目概要	周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)における対象の身体的・心理的・社会的特徴と生理的変化、ニーズについて理解し、母子とその家族に対する看護を実践するための具体的な援助方法と看護師の役割について学修する。
目標	１　周産期（産褥期・新生児期）の生理的変化と対象の特徴を説明できる。［DP:１・２・５］ ２　「親になること」の発達とそれを支える看護について説明できる。［DP:１・２・４］ ３　母性看護における看護過程の特徴を理解し、ヘルスプロモーションの視点から対象をアセスメントできる。［DP:１・２・５］ ４　周産期（妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期）の対象への基本的な看護技術を安全に実施できる。［DP:２・５］ ５　子育て期の家族を取り巻く社会の切れ目ない支援と看護師の役割について論じることができる。［DP:２～５］

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/31（金）	5	ガイダンス 産褥期における看護１ 妊娠・分娩経過と産褥経過（退行性変化、進行性変化、心理社会的変化、家族における変化）	講義	予：教１p322-334を読む。 復：講義資料と教科書を用いて、産褥経過についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
2	2024/06/14（金）	4	産褥期における看護２ 褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護	講義	予：教１p334-366を読む。 復：講義資料と教科書を用いて、産褥期のアセスメントと看護についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
3	2024/06/14（金）	5	産褥期における看護３ 産褥期に予測される問題と支援（産褥期の異常）	講義	予：教１p514-540を読む。 復：講義資料を用いて、産褥期に予測される問題と支援についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
4	2024/06/21（金）	5	産褥期における看護４ 子育て期の家族の課題と支援（周産期メンタルヘルス、産後うつ病、子育て支援）	講義	予：教１p367-378、516-517、541-550を読む。 復：講義資料を用いて、子育て期の家族の課題と支援についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
5	2024/12/04（水）	5	新生児期における看護１ 新生児の生理	講義	予：教１p262-281を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児の生理について	山本　弘江

					まとめる。 前後各30分	
6	2024/12/11 （水）	5	新生児期における看護２ 新生児のアセスメントと看護（出生から生後２日目まで）	講義	予：教１p281-293を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本　弘江
7	2024/12/12 （木）	5	新生児期における看護３ 新生児のアセスメントと看護（生後２日目から退院時まで）	講義	予：教１p293-320を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本　弘江
8	2024/12/18 （水）	5	新生児期における看護４ 新生児の異常と看護	講義	予：教１p489-514を読む。 復：教科書と講義資料を基に、新生児の異常と看護についてまとめる。 前後各30分	山本　弘江
9	2024/12/19 （木）	5	演習Ⅰ：褥婦・新生児のヘルスアセスメントガイダンス 演習Ⅱ：母性看護における看護過程	講義	予：教１p552-586を読む。 教２p1-29を読む。 復：教科書と講義資料を基に、課題事例の看護過程に取り組む。 前後各30分	山本　弘江
10	2025/01/22 （水）	3	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
11	2025/01/22 （水）	4	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
12	2025/01/22 （水）	5	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナーシングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	山本　弘江 全員
13	2025/01/29 （水）	3	【演習Ⅱ】看護過程の展開（情報分析と関連図の作成）	演習	予：教２p70-124を読む。 復：演習をふまえて、課題事例の看護過程に取り組む。 前後各30分	山本　弘江 全員
14	2025/01/29 （水）	4	【演習Ⅱ】看護過程の展開（看護診断リストの作成と看護診断の立案	演習	予：教２p70-124を読む。 復：演習をふまえて、課題事例の看護過程に取り組む。 前後各30分	山本　弘江 全員
15	2025/01/30 （木）	3	まとめ 子育て期の家族への看護と看護師の役割 母性看護学領域の今日的課題（出生前診断、不妊治療）	講義	予：教１p14-60を読む。 復：課題事例の看護過程について講義をふまえて修正する。講義資料を用いて、母性看護の今日的課題について復習する。 前後各30分	山本　弘江
16	2025/02/07 （金）	2	定期試験			山本　弘江

評価方法	定期試験 80%、演習レポート10%、講義参加度（ミニッツペーパーの提出含む） 10%
教科書・参考書	教科書： １　森恵美他著（2022）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　母性看護学各論」、第14版、医学書院、定価3,410円（税込み） ２　太田操編（2024）：「ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程」、第４版、医歯薬出版、定価2,530円（税込み） 参考書： １　茅島江子、村井文江、細坂泰子編集（2022）：「看護診断のための気づきとアセスメント　母性看護」、中央法規出版、定価3,300円（税込み） ２　荒木奈緒他編（2022）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第５版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） ３　仁志田博司編集（2018）：「新生児学入門」、第５版、医学書院、定価6,380円（税込み） 各担当教員が講義にて適宜提示する。 また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 ⑵　講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ⑶　この科目に合格しないと「母性看護学実習Ⅱ」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダへの打刻）により出席の確認をする。この時、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ⑶　演習Ⅰ（母性看護技術）はやむを得ない理由を除き、欠席は認めない。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席と演習Ⅰ・Ⅱレポートの提出をもって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　演習レポートは、提出期限を過ぎたものは評価の対象としない。 ⑶　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑷　不合格の場合、再試験は１回までとする。再試験に不合格の場合は次年度再履修すること。 ４　その他 ⑴　講義毎に振り返りの記入と提出を行い、その内容については次回講義にフィードバックを行う。 ⑵　振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日内（23時59分）とする。後日の入力はできない。 ⑶　演習は、課題レポートと演習内容を双方向評価するルーブリック評価表を提出する。定期試験終了後、担当教員よりフィードバックを行う。
オフィスアワー	山本　弘江　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 丸谷　紗穂　水曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N367研究室
備考	１　毎回講義前に教科書の該当箇所を読んでくること。 ２　講義内の疑問点については、ミニッツペーパーの記載やメール等で担当教員に尋ねること。次回講義時に、フィードバックが行われるが、各自でも教科書及び講義資料を用いて復習をしておくこと。 【演習】 １　毎回演習前に該当項目について指定された事前課題を行ってくること。 ２　演習前に教２p602～609の動画及びナーシングスキルにアクセスし、看護技術を確認する。 ３　毎回演習終了後、事後学習を行い、課題の追加・修正を行うこと。 　ナーシングスキルのアクセス状況や学修内容について、演習前後で確認し、必要時コメントの応答を行う。 ［実務］ 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における対象の理解と看護を教育する。また、母性看護の対象の特性をふまえたヘルスアセスメントの方法や母性看護に必要な看護技術を教育する。 ・研究成果および当該領域の最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	小児看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Pediatric Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 茂本　咲子
准 教 授	深谷　基裕
講　　師(兼　大学病院・看護部)	富田　美香
助　　教	坂川　有希
講　　師(非)	滝　良梨子
講　　師(非)	山口　大輔

科目概要	子どもの成長・発達、健康課題を念頭に、病気や入院治療が子どもと家族に与える影響を考え、子どもとその家族のQOLを高める看護援助実践を学ぶ。子どもと家族への倫理的配慮を心がけ、科学的根拠に基づいた安全・安楽な小児看護の基本、継続看護のあり方を学ぶ。
目標	１.小児期に代表的な病気や障害のある子どもの反応と成長・発達について理解し、それを支援する看護を説明できる。「DP：１・３・５」 ２.小児期に代表的な病気や障害をもつ子どもの家族の反応を理解し、その看護を説明できる。「DP：１・５」 ３.小児看護において安全、安楽な看護技術の特徴を理解し、検査、処置に関する基本的技術をモデルを対象に実施できる。「DP：５」 ４.様々な病期にある子どもと家族への看護について理解し、説明できる。「DP：４・５」 ５.模擬事例を用いて病気や障害のある子どもとその家族に対し、発達段階と子どもの権利を考慮した看護展開ができる。「DP：４～６」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/05/31 (金)	3	呼吸器疾患・障害のある子どもと家族の看護（気管支喘息、肺炎）	講義	前：教１；p176-188、p113-117、p128-134 後：講義資料をもとに、肺炎に罹患した子どもの症状と症状緩和のための看護の要点を考える。 前後各30分	深谷　基裕
2	2024/05/31 (金)	4	循環器疾患・障害をもつ子どもと家族の看護（心室中隔欠損症、ファロー四徴症、川崎病）	講義	前：教２；p190-222、教１；p316-320（p515動画含）を読む。 後：講義資料を中心に胎児の血行動態と新生児の血行動態の違いを整理する。小児期の代表的な循環器疾患と看護について整理をする。 前後各30分	深谷　基裕
3	2024/06/14 (金)	3	腎・代謝・内分泌疾患・障害をもつ子どもと家族の看護（ネフローゼ症候群、1型糖尿病、低身長）	講義	前：教２；p69-104、338-378　教１；p398-401を読む。	山口　大輔 深谷　基裕

					後：講義内容をもとにネフローゼ症候群、Ⅰ型糖尿病で長期療養が必要な学童について、生活上の注意点をまとめる。 前後各30分。	
4	2024/06/20 （木）	5	小児がんの子どもと家族の看護（小児がん、AYA世代のがん、白血病）	講義	前：教２；p302-336を読む。 後：講義資料を基に化学療法と看護について整理する。代表的な抗がん剤の副作用と発現時期について一覧表にまとめる。 前後各30分。	滝　良梨子 深谷　基裕
5	2024/06/21 （金）	3	神経・運動器疾患・障害をもつ子どもと家族（脳性まひ、てんかん、水頭症、重症心身障害児、先天性股関節脱臼）	講義	前：教２；p380-403、408-414、416-421、428-430を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、てんかんのある子ども、牽引療法を行う子どもの看護のポイントをまとめる。 前後各30分。	茂本　咲子
6	2024/06/21 （金）	4	終末期の子どもと家族への看護	講義	前：教１；p269-282を読む。用語（終末期・グリーフケア）の定義を確認しておく。 後：講義資料を参考に、終末期看護の自己の考え（看護観）を整理する。 前後各30分。	富田　美香 深谷　基裕
7	2024/12/06 （金）	5	子どものヘルスアセスメントと検査介助（バイタルサイン測定、身体計測、採血）	演習	前：教１；p284-342、p416－478を読む。 後：講義内容を踏まえ、演習①の事前課題に取り組む。教１；p513-515のQRコードを読み取って動画を閲覧する。 前後各30分。	深谷　基裕
8	2024/12/13 （金）	4	【演習①】小児看護における看護過程（基本的な看護過程の展開、事例紹介）	演習	前：事前に提示した事例について学習する。教２；p538－562を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	全員
9	2024/12/13 （金）	5	【演習①】看護過程　情報の整理・分析・アセスメントの統合	講義	前：事前に提示した事例について学習する。教２；p538－562を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	全員
10	2025/01/08 （水）	2	【演習②】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	全員
11	2025/01/08 （水）	3	【演習②】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	全員

12	2025/01/08（水）	4	【演習②】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	全員
13	2025/01/20（月）	3	【演習③】看護過程　看護問題の抽出と看護計画の立案	演習	前：前回演習をもとに全体像を描き看護問題の抽出を行う。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	全員
14	2025/01/20（月）	4	【演習③】看護過程　看護問題の抽出と看護計画の立案，まとめ	演習	前：前回演習をもとに看護計画を立案する。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	全員
15	2025/01/28（火）	2	小児医療における課題と求められる看護の役割	講義	前：教１；p26-28を読む。 後：講義資料をもとに、現在の小児看護に求められる役割について整理する。 前後各30分。	富田　美香 深谷　基裕
16	2025/02/03（月）	2	定期試験			

評価方法	課題提出20%（ミニレポート、演習課題）、定期試験80%
教科書・参考書	教科書： １　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［１］小児看護学概論　小児臨床看護総論」、第14版、医学書院、定価3,190円（税込み） ２　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［２］小児臨床看護各論」、第14版、医学書院、定価3,630円（税込み） 参考書： １　筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護学」、第２版、照林社、定価3，630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点及び取扱い	１　履修について （１）教科書に加えて、授業で紹介した本を読むなどの自己学修を行う。 （２）配布資料や視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配布をしないこと。 （３）本科目の単位取得が、「小児看護学実習Ⅱ」を履修する前提条件となる。 ２　出欠席について （１）出席の確認は、対面実施の場合は出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）による。２コマ連続の講義の場合は１コマ目と２コマ目の講義の間の打刻もする。 （２）遠隔実施の場合は出席確認方法は別途指示する。 （３）遅刻および早退３回で１回欠席とみなす。30分以上の遅刻および早退は欠席とみなす。 ３　課題について （１）提出締切は厳守すること。やむを得ない理由で期限までに提出ができない場合には、必ず締め切り前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 （２）ミニレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。欠席者は当日分0点となる。 ４　演習について （１）演習時には事前に課された課題を行って臨むこと。課題がなされていない場合は、演習に参加できないことがある。受講態度も評価に含める。 （２）　演習時は清潔な実習衣を着用し、演習を行うのに適した身だしなみで出席すること。 ※不潔、危険と判断される場合、演習に参加できないことがある。 ５　単位取得について （１）３分の２以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 （２）定期試験に合格すること。 （３）追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 （４）再試験は１回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修することになる。 （５）　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後に提示する。

	６　［凡例］ 　教科書について、小児看護学［１］は教１、小児看護学［２］は教２と示す。
オフィスアワー	茂本　咲子　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室７ 深谷　基裕　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 坂川　有希　木曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 他の講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	［実務］ 小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもとその家族の看護の実務経験のある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	小児看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Pediatric Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 茂本　咲子
准 教 授	深谷　基裕
講　　師(兼　大学病院・看護部)	富田　美香
助　　教	坂川　有希
講　　師(非)	神谷　美帆
講　　師(非)	滝　良梨子
講　　師(非)	山口　大輔

科目概要	子どもの成長・発達、健康課題を念頭に、病気や入院治療が子どもと家族に与える影響を考え、子どもとその家族のQOLを高める看護援助実践を学ぶ。子どもと家族への倫理的配慮を心がけ、科学的根拠に基づいた安全・安楽な小児看護の基本、継続看護のあり方を学ぶ。
目標	１.小児期に代表的な病気や障害のある子どもの反応と成長・発達について理解し、それを支援する看護を説明できる。「DP：１・３・５」 ２.小児期に代表的な病気や障害をもつ子どもの家族の反応を理解し、その看護を説明できる。「DP：１・５」 ３.小児看護において安全、安楽な看護技術の特徴を理解し、検査、処置に関する基本的技術をモデルを対象に実施できる。「DP：５」 ４.様々な病期にある子どもと家族への看護について理解し、説明できる。「DP：４・５」 ５.模擬事例を用いて病気や障害のある子どもとその家族に対し、発達段階と子どもの権利を考慮した看護展開ができる。「DP：４～６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/31（金）	3	呼吸器疾患・障害のある子どもと家族の看護（気管支喘息、肺炎）	講義	前：教１；p176-188、p113-117、p128-134 後：講義資料をもとに、肺炎に罹患した子どもの症状と症状緩和のための看護の要点を考える。 前後各30分	深谷　基裕
2	2024/05/31（金）	4	循環器疾患・障害をもつ子どもと家族の看護（心室中隔欠損症、ファロー四徴症、川崎病）	講義	前：教２；p190-222、教１；p316-320（p515動画含）を読む。 後：講義資料を中心に胎児の血行動態と新生児の血行動態の違いを整理する。小児期の代表的な循環器疾患と看護について整理をする。 前後各30分	深谷　基裕

3	2024/06/14（金）	3	腎・代謝・内分泌疾患・障害をもつ子どもと家族の看護（ネフローゼ症候群、1型糖尿病、低身長）	講義	前：教２；p69-104、338-378　教１；p398-401を読む。 後：講義内容をもとにネフローゼ症候群、Ⅰ型糖尿病で長期療養が必要な学童について、生活上の注意点をまとめる。 前後各30分。	山口　大輔 深谷　基裕
4	2024/06/20（木）	5	小児がんの子どもと家族の看護（小児がん、AYA世代のがん、白血病）	講義	前：教２；p302-336を読む。 後：講義資料を基に化学療法と看護について整理する。代表的な抗がん剤の副作用と発現時期について一覧表にまとめる。 前後各30分。	滝　良梨子 深谷　基裕
5	2024/06/21（金）	3	神経・運動器疾患・障害をもつ子どもと家族（脳性まひ、てんかん、水頭症、重症心身障害児、先天性股関節脱臼）	講義	前：教２；p380-403、408-414、416-421、428-430を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、てんかんのある子ども、牽引療法を行う子どもの看護のポイントをまとめる。 前後各30分。	茂本　咲子
6	2024/06/21（金）	4	終末期の子どもと家族への看護	講義	前：教１；p269-282を読む。用語（終末期・グリーフケア）の定義を確認しておく。 後：講義資料を参考に、終末期看護の自己の考え（看護観）を整理する。 前後各30分。	富田　美香 深谷　基裕
7	2024/12/06（金）	5	子どものヘルスアセスメントと検査介助（バイタルサイン測定、身体計測、採血）	演習	前：教１；p284-342、p416 - 478を読む。 後：講義内容を踏まえ、演習①の事前課題に取り組む。教１；p513-515のQRコードを読み取って動画を閲覧する。 前後各30分。	深谷　基裕
8	2024/12/13（金）	4	【演習①】小児看護における看護過程（基本的な看護過程の展開、事例紹介）	演習	前：事前に提示した事例について学習する。教２；p538－562を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	全員
9	2024/12/13（金）	5	【演習①】看護過程　情報の整理・分析・アセスメントの統合	講義	前：事前に提示した事例について学習する。教２；p538－562を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	全員
10	2025/01/09（木）	2	【演習②】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	全員
11	2025/01/09（木）	3	【演習②】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を	全員

					整理する。 前後各30分。	
12	2025/01/09 （木）	4	【演習②】小児看護の基本的な技術演習（身体測定、バイタルサインの測定、検査および処置：点滴管理、採血の体位固定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントと検査介助の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	全員
13	2025/01/20 （月）	3	【演習③】看護過程　看護問題の抽出と看護計画の立案	演習	前：前回演習をもとに全体像を描き看護問題の抽出を行う。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	全員
14	2025/01/20 （月）	4	【演習③】看護過程　看護問題の抽出と看護計画の立案，まとめ	演習	前：前回演習をもとに看護計画を立案する。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	全員
15	2025/01/28 （火）	2	小児医療における課題と求められる看護の役割	講義	前：教１；p26-28を読む。 後：講義資料をもとに、現在の小児看護に求められる役割について整理する。 前後各30分。	富田　美香 深谷　基裕
16	2025/02/03 （月）	2	定期試験			

評価方法	課題提出20%（ミニレポート、演習課題）、定期試験80%
教科書・参考書	教科書： １　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［１］小児看護学概論　小児臨床看護総論」、第14版、医学書院、定価3,190円（税込み） ２　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［２］小児臨床看護各論」、第14版、医学書院、定価3,630円（税込み） 参考書： １　筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護学」、第２版、照林社、定価3，630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について （１）教科書に加えて、授業で紹介した本を読むなどの自己学修を行う。 （２）配布資料や視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配布をしないこと。 （３）本科目の単位取得が、「小児看護学実習Ⅱ」を履修する前提条件となる。 ２　出欠席について （１）出席の確認は、対面実施の場合は出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）による。２コマ連続の講義の場合は１コマ目と２コマ目の講義の間の打刻もする。 （２）遠隔実施の場合は出席確認方法は別途指示する。 （３）遅刻および早退３回で１回欠席とみなす。30分以上の遅刻および早退は欠席とみなす。 ３　課題について （１）提出締切は厳守すること。やむを得ない理由で期限までに提出ができない場合には、必ず締め切り前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 （２）ミニレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。欠席者は当日分0点となる。 ４　演習について （１）演習時には事前に課された課題を行って臨むこと。課題がなされていない場合は、演習に参加できないことがある。受講態度も評価に含める。 （２）　演習時は清潔な実習衣を着用し、演習を行うのに適した身だしなみで出席すること。 ※不潔、危険と判断される場合、演習に参加できないことがある。 ５　単位取得について （１）３分の２以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 （２）定期試験に合格すること。 （３）追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 （４）再試験は１回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修することになる。 （５）　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後に提示する。

	６　［凡例］ 　教科書について、小児看護学［１］は教１、小児看護学［２］は教２と示す。
オフィスアワー	茂本　咲子　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室７ 深谷　基裕　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 坂川　有希　木曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 他の講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	［実務］ 小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもとその家族の看護の実務経験のある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Gerontological Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
講　　師	横山　剛志
助　　教	中尾　幸世
助　　教	河井　丈幸

科目概要	加齢及び健康課題を持つ老年期にある人とその家族の特徴を踏まえ、生活の質の維持・向上を目指した援助を行うための知識と技術を演習を通じて学修する。また、事例検討を通して、対象者は長い歴史を持ち、今を生きている人であることを尊重し、ありたい姿を踏まえ、もてる力を活した援助を学ぶ。
目標	１　健康課題をもつ老年期にある人の特徴が述べられる。「DP：１・２」 ２　高齢者の特徴的な健康課題，生活行動を把握し，必要な看護について述べられる。「DP：１～５」 ３　健康課題をもつ高齢者と家族の事例について、目標志向型思考を用いて全体像を描くことができる。「DP：１～６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/16（木）	3	高齢者の健康課題・生活行動と看護③「覚醒・活動」：覚醒・活動のアセスメント	演習	前：老年看護学Ⅰ第12回の講義内容を復習し、ワークブックｐ20-21の事例検討「覚醒・活動」の情報の整理・分析を行い持参する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
2	2024/05/22（水）	3	高齢者の健康課題・生活行動と看護④「食事」：食事・栄養・エネルギー代謝・摂食嚥下機能のアセスメントと援助、脱水・誤嚥の予防	講義	前：②p18-26を読む。 後：講義をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	中尾　幸世
3	2024/05/24（金）	3	演習「食事」：食事に関する看護援助	演習	前：第2回の講義内容を復習する。「食事」の分析の視点③④について情報の整理・分析を行い持参する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
4	2024/05/24（金）	4	演習「食事」：食事に関する看護援助	演習	前：第2回の講義内容を復習する。「食事」の分析の視点③④について情報の整理・分析を行い持参する。 後：演習をもとにワークブ	全員

					ックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	
5	2024/05/27 （月）	2	高齢者の健康課題・生活行動と看護⑤「排泄」：排泄のアセスメントと援助、排尿・排便障害、おむつ体験、セクシュアリティ	講義	前：②p27を読む。 ワークブックp26のおむつ体験を行う。 後：講義内容をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	横山　剛志
6	2024/05/30 （木）	1	演習「排泄」：排泄に関する看護援助（おむつ交換・排泄の自立に向けた援助）	演習	前：第5回の講義内容を復習する。 「おむつ交換」のチェックリストをもとに、デモンストレーション動画を視聴し、留意点を整理する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
7	2024/05/30 （木）	2	演習「排泄」：排泄に関する看護援助（おむつ交換・排泄の自立に向けた援助）	演習	前：第5回の講義内容を復習する。 「おむつ交換」のチェックリストをもとに、デモンストレーション動画を視聴し、留意点を整理する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
8	2024/06/12 （水）	4	高齢者の健康課題・生活行動と看護⑥「身じたく」：清潔・衣生活のアセスメントと援助、口腔ケア、褥瘡のリスクアセスメントと予防、スキンテア、高齢者の皮膚状態と疾病（疥癬）	講義	前：②p36-38を読む。 後：講義内容をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	荻野　朋子
9	2024/06/13 （木）	3	事例検討①：老年看護過程、情報収集・分析	講義・演習・GW	前：老年看護学Ⅰ第12回を復習する。これまでの授業内容をもとに、ワークブックp20-21の事例検討の情報収集・分析を追記する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
10	2024/06/13 （木）	4	事例検討②：情報収集・分析	講義・演習・GW	前：第9回を踏まえワークブックp20-21の事例検討の分析（追加・修正）まで行う。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
11	2024/06/18 （火）	2	事例検討③：全体像・看護の焦点（看護課題）	講義・演習・GW	前：これまでの授業内容をもとに、ワークブックのp20-21の事例検討の全体像の作成・看護の焦点まで行う。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
12	2024/06/20 （木）	1	事例検討④：全体像・看護の焦点（看護課題）	講義・演習・GW	前：これまでの授業内容をもとに、ワークブックのp20-21の事例検討の全体像・看護の焦点を追加・修正する。 後：実習に向けて老年看護	全員

					過程を復習する。 前後各30分	
13	2024/12/03 （火）	1	薬物療法を受ける高齢者の看護：薬物動態、ポリファーマシー、アドヒアランス 高齢者の痛みと看護：痛みの定義、痛みの基礎知識、慢性疼痛のアセスメントと看護、認知行動療法	講義	前：教①p229-234、321－322を読む。 後：動画教材を視聴し、要点をまとめる。 前後各30分	荻野　朋子
14	2024/12/09 （月）	3	人生の最終段階にある人の看護：エンドオブライフケア、意思決定支援、スピリチュアル	講義	前：教①p348-358を読む。 後：教①p358のゼミナール復習と課題①④を行う。 前後各30分	荻野　朋子
15	2024/12/16 （月）	3	老年看護の基本：高齢者の健康、役割・理念、老年看護における理論・概念、老年看護に携わる者の責務、尊厳	講義	前：教①p70-83を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	荻野　朋子
16	2025/02/03 （月）	3	定期試験			

評価方法	定期試験70%、ワークシート・準備学修10%、事例検討20%
教科書・参考書	教科書： １　北川公子、他(2022)：系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」第９版、医学書院、定価2,970円（税込み） ２　山田律子、他(2020)：「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第４版、医学書院、定価4,070円（税込み） 参考書： １　川島みどり、他(2015)：「老年看護学」第３版、看護の科学社、定価4,104円（税込み） ２　大塚真理子、他（2018）：「カラー写真で学ぶ　高齢者の看護技術」　第２版　医歯薬出版株式会社、定価2,640円（税込み） ３　亀井智子、他(2016)：「根拠と事故防止からみた　老年看護技術」第２版、医学書院、定価4,320円（税込み） ４　奥宮暁子、他（2019）：「ウエルネスの視点にもとづく老年看護過程　生活機能に焦点をあてたアセスメント」第２版、医歯薬出版株式会社、定価2,530円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 ２　準備学修は関連する講義時間内(演習含む)に確認する。 ３　演習レポート(ワークシート)には教員からのコメントを記載する。 ４　出席は入室時と退室時にカードリーダに打刻することで確認する。 　２コマ連続の場合（講義・演習）は、１コマ目開始時、２コマ目終了時の合計２回、打刻する。 ５　単位取得について ⑴　出席３分の２以上を満たしている場合、成績評価を行う。 ⑵　不合格者には再試験を１回のみ行う。 ６　フィードバックについて 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは、自由参加の解説講義を実施する(日程については最終回に通知する)。 ７　凡例 教①：教科書「系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」 GW：グループワーク
オフィスアワー	荻野　朋子　　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 横山　剛志　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 中尾　幸世　　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 河井　丈幸　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室
備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 ［実務］ 大学病院、高齢者施設、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Gerontological Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
講　　師	横山　剛志
助　　教	中尾　幸世
助　　教	河井　丈幸

科目概要	加齢及び健康課題を持つ老年期にある人とその家族の特徴を踏まえ、生活の質の維持・向上を目指した援助を行うための知識と技術を演習を通じて学修する。また、事例検討を通して、対象者は長い歴史を持ち、今を生きている人であることを尊重し、ありたい姿を踏まえ、もてる力を活した援助を学ぶ。
目標	１　健康課題をもつ老年期にある人の特徴が述べられる。「DP：１・２」 ２　高齢者の特徴的な健康課題，生活行動を把握し，必要な看護について述べられる。「DP：１～５」 ３　健康課題をもつ高齢者と家族の事例について、目標志向型思考を用いて全体像を描くことができる。「DP：１～６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/05/16（木）	4	高齢者の健康課題・生活行動と看護③「覚醒・活動」：覚醒・活動のアセスメント	演習	前：老年看護学Ⅰ第12回の講義内容を復習し、ワークブックｐ20-21の事例検討「覚醒・活動」の情報の整理・分析を行い持参する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
2	2024/05/22（水）	3	高齢者の健康課題・生活行動と看護④「食事」：食事・栄養・エネルギー代謝・摂食嚥下機能のアセスメントと援助、脱水・誤嚥の予防	講義	前：②p18-26を読む。 後：講義をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	中尾　幸世
3	2024/05/24（金）	1	演習「食事」：食事に関する看護援助	演習	前：第2回の講義内容を復習する。「食事」の分析の視点③④について情報の整理・分析を行い持参する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
4	2024/05/24（金）	2	演習「食事」：食事に関する看護援助	演習	前：第2回の講義内容を復習する。「食事」の分析の視点③④について情報の整理・分析を行い持参する。 後：演習をもとにワークブ	全員

					ックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	
5	2024/05/27 （月）	2	高齢者の健康課題・生活行動と看護⑤「排泄」：排泄のアセスメントと援助、排尿・排便障害、おむつ体験、セクシュアリティ	講義	前：②p27を読む。 ワークブックp26のおむつ体験を行う。 後：講義内容をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	横山　剛志
6	2024/05/30 （木）	3	演習「排泄」：排泄に関する看護援助（おむつ交換・排泄の自立に向けた援助）	演習	前：第5回の講義内容を復習する。 「おむつ交換」のチェックリストをもとに、デモンストレーション動画を視聴し、留意点を整理する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
7	2024/05/30 （木）	4	演習「排泄」：排泄に関する看護援助（おむつ交換・排泄の自立に向けた援助）	演習	前：第5回の講義内容を復習する。 「おむつ交換」のチェックリストをもとに、デモンストレーション動画を視聴し、留意点を整理する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
8	2024/06/12 （水）	4	高齢者の健康課題・生活行動と看護⑥「身じたく」：清潔・衣生活のアセスメントと援助、口腔ケア、褥瘡のリスクアセスメントと予防、スキンテア、高齢者の皮膚状態と疾病（疥癬）	講義	前：②p36-38を読む。 後：講義内容をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	荻野　朋子
9	2024/06/13 （木）	3	事例検討①：老年看護過程、情報収集・分析	講義・演習・GW	前：老年看護学Ⅰ第12回を復習する。これまでの授業内容をもとに、ワークブックp20-21の事例検討の情報収集・分析を追記する。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
10	2024/06/13 （木）	4	事例検討②：情報収集・分析	講義・演習・GW	前：第9回を踏まえワークブックp20-21の事例検討の分析（追加・修正）まで行う。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
11	2024/06/18 （火）	2	事例検討③：全体像・看護の焦点（看護課題）	講義・演習・GW	前：これまでの授業内容をもとに、ワークブックのp20-21の事例検討の全体像の作成・看護の焦点まで行う。 後：演習をもとにワークブックp20-21の事例検討を進める。 前後各30分	全員
12	2024/06/20 （木）	1	事例検討④：全体像・看護の焦点（看護課題）	講義・演習・GW	前：これまでの授業内容をもとに、ワークブックのp20-21の事例検討の全体像・看護の焦点を追加・修正する。 後：実習に向けて老年看護	全員

					過程を復習する。 前後各30分	
13	2024/12/03 （火）	1	薬物療法を受ける高齢者の看護：薬物動態、ポリファーマシー、アドヒアランス 高齢者の痛みと看護：痛みの定義、痛みの基礎知識、慢性疼痛のアセスメントと看護、認知行動療法	講義	前：教①p229-234、321－322を読む。 後：動画教材を視聴し、要点をまとめる。 前後各30分	荻野　朋子
14	2024/12/09 （月）	3	人生の最終段階にある人の看護：エンドオブライフケア、意思決定支援、スピリチュアル	講義	前：教①p348-358を読む。 後：教①p358のゼミナール復習と課題①④を行う。 前後各30分	荻野　朋子
15	2024/12/16 （月）	3	老年看護の基本：高齢者の健康、役割・理念、老年看護における理論・概念、老年看護に携わる者の責務、尊厳	講義	前：教①p70-83を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	荻野　朋子
16	2025/02/03 （月）	3	定期試験			

評価方法	定期試験70%、ワークシート・準備学修10%、事例検討20%
教科書・参考書	教科書： １　北川公子、他(2022)：系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」第９版、医学書院、定価2,970円（税込み） ２　山田律子、他(2020)：「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第４版、医学書院、定価4,070円（税込み） 参考書： １　川島みどり、他(2015)：「老年看護学」第３版、看護の科学社、定価4,104円（税込み） ２　大塚真理子、他（2018）：「カラー写真で学ぶ　高齢者の看護技術」　第２版　医歯薬出版株式会社、定価2,640円（税込み） ３　亀井智子、他(2016)：「根拠と事故防止からみた　老年看護技術」第２版、医学書院、定価4,320円（税込み） ４　奥宮暁子、他（2019）：「ウエルネスの視点にもとづく老年看護過程　生活機能に焦点をあてたアセスメント」第２版、医歯薬出版株式会社、定価2,530円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 ２　準備学修は関連する講義時間内(演習含む)に確認する。 ３　演習レポート(ワークシート)には教員からのコメントを記載する。 ４　出席は入室時と退室時にカードリーダに打刻することで確認する。 　２コマ連続の場合（講義・演習）は、１コマ目開始時、２コマ目終了時の合計２回、打刻する。 ５　単位取得について ⑴　出席３分の２以上を満たしている場合、成績評価を行う。 ⑵　不合格者には再試験を１回のみ行う。 ６　フィードバックについて 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは、自由参加の解説講義を実施する(日程については最終回に通知する)。 ７　凡例 教①：教科書「系統看護学講座　専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた　老年看護過程＋病態・生活機能関連図」 GW：グループワーク
オフィスアワー	荻野　朋子　　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 横山　剛志　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 中尾　幸世　　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 河井　丈幸　　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室
備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 ［実務］ 大学病院、高齢者施設、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて授業構成をしている。

講義名	成人看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Adult Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 谷口　千枝
准 教 授	森　莉那
准 教 授	林　さえ子
講　　師	佐藤　ゆかり

科目概要	ライフサイクルにおける成人期の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解し、あらゆる病期の健康課題を達成するための基本的な看護理論を学び、急性期、回復期、慢性期、終末期の経過にある人の援助について考察する。また、治療や療養の連続性を確保するために、臨床から地域包括ケアに繋げる支援と看護師の役割について学ぶ。本科目は、最新の知見を取り入れて授業計画を構成している。
目標	１　成人期にある人の特徴や役割を理解し、成人が生活する場におけるヘルスプロモーション活動について説明できる。[DP:1～3・5] ２　成人看護の役割や援助方法に関する基礎的知識・技術・態度について説明できる。[DP:1～3・5]

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/12/09（月）	1	ガイダンス 成人期にある人のヘルスプロモーション ー健康課題の特徴と看護の役割ー	講義	前：成人看護学概論 p20-56, p304-310を読む 後：成人期にある人の健康課題の特徴と看護の役割について講義資料をまとめる 前後各120分程度	谷口　千枝
2	2024/12/09（月）	2	急性期にある人の身体的特徴 ー生体侵襲理論、ホメオスタシスー	講義	前：クリティカルケア看護学 p 54-64を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	林　さえ子
3	2024/12/12（木）	1	成人期にある人の症状マネジメント ー急性疼痛と慢性疼痛ー	講義	前：クリティカルケア看護学 p43-46, p223-227を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	佐藤　ゆかり
4	2024/12/12（木）	2	身体機能の低下・合併症を予防する支援 ー急性期リハビリテーションー	講義	前：クリティカルケア看護学 p 250-254を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	佐藤　ゆかり
5	2024/12/16（月）	1	成人期にある人のストレスと看護に必要な概念 ーストレス・コーピング理論、危機理論ー	講義	前：成人看護学概論 p256-278を読む 後：講義資料を読み理解を	佐藤　ゆかり

					深める 前後各120分程度	
6	2024/12/16 （月）	2	身体変化への適応を促す支援 ー自己概念、ボディイメージ論ー	講義	前：成人看護学概論 p280-291を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	林　さえ子
7	2024/12/19 （木）	1	急性期における安全管理 ー医療安全，医原性リスク管理ー	講義	前：クリティカルケア看護学 p 26-36を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	佐藤　ゆかり
8	2024/12/19 （木）	2	成人期にある人への意思決定支援 ーインフォームドコンセントとアドバンス・ケア・プランニングー	講義	前：クリティカルケア看護学 p37-50を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	林　さえ子
9	2025/01/09 （木）	1	長期療養者への支援のあり方 ーセルフマネジメントモデルー	講義	前：、慢性期看護論p131-169を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	谷口　千枝
10	2025/01/16 （木）	1	長期療養者の自己効力感を高める支援 ー社会的学習理論ー	講義	前：成人看護学概論 p294-302、慢性期看護論p123-126を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	谷口　千枝
11	2025/01/16 （木）	2	長期療養者への患者教育 ー行動変容を促すための諸理論ー	講義	前：慢性期看護論p127-137を読む 後：講義資料を読み理解を深める 行動変容に実際にトライする 前後各120分程度	谷口　千枝
12	2025/01/23 （木）	1	病いの慢性性とともに生きる対象者の理解 ー病みの軌跡ー	講義	前：成人看護学概論p228-240を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	森　莉那
13	2025/01/23 （木）	2	長期療養者の強みを引き出し強化する看護 ーストレングスモデルー	講義	前：ストレングスモデルについて関連書籍や文献等を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	森　莉那
14	2025/01/30 （木）	1	がんをもつ人への理解 ーがん看護総論ー	講義	前：厚生労働省HP「がん対策基本法」「がん対策推進基本計画」を読んでおく 後：がんをもつ対象者の特徴について講義資料を基にまとめる 前後各120分程度	森　莉那
15	2025/01/30 （木）	2	地域包括ケアからみた退院支援と多職種連携 ー生活の再構築に向けた支援ー	講義	前：厚生労働省HP「地域包括ケアシステム」を閲覧する 後：多職種と連携して行う退院支援における看護師の役割についてまとめる 前後各120分程度	森　莉那
16	2025/02/05 （水）	3	定期試験			谷口　千枝 佐藤　ゆかり 森　莉那 林　さえ子

評価方法	課題レポート(2回)20%、定期試験80%で評価する。
教科書・参考書	教科書： １　安酸史子編：「成人看護学概論」、ナーシンググラフィカ　第5版（2022/1）、定価3,520円（税込み） ２　道又元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院　第2版（2020/2）、定価2,530円（税込み） ３　鈴木志津枝他編：「慢性期看護論」、ヌーベルヒロカワ、第3版（2020/1）、定価2,860円(税込み) ４　小松浩子他編：「系統看護学講座－別巻『がん看護学』」、医学書院、第3版(2022/2)、定価2,530円(税込み) （３・４の教科書は、成人看護学Ⅲでも使用する） 参考書： １　厚生労働省統計協会編：「国民衛生の動向2024/2025」、定価2,970円(税込み) ２　白石裕子監訳/Laurie N.Gottlieb：「ストレングスにもとづく看護ケア　第１巻理論編」、看護の科学社（2020）、定価2,750円（税込み） その他随時紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　教科書だけでなく、紹介する図書なども読み自己学習を行い、積極的に講義に臨む。 ⑵　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について 出席管理システム(講義開始前と終了時のカードリーダへの打刻)により出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。 ３　定期試験について ⑴　２／３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施する。再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 ４　フィードバックについて 講義後の振り返りのフィードバックは、質疑等について次回の講義前に全体で共有できるように回答する。 定期試験のフィードバックは、解説をAIDL-Kの成人看護学Ⅰにupする。
オフィスアワー	谷口　千枝　　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 森　莉那　　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N254研究室 林　さえ子　　月曜日　　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 佐藤　ゆかり　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室
備考	授業は学修サポートシステムAIDLE-Kを活用する。授業までに成人看護学Ⅰにアクセスしておくこと。 毎回講義後は，AIDLE-Kに振り返りや質問を提出する。課題レポートはAIDLE-Kへの投稿をもって提出とする場合がある。 ［実務］ 大学病院等で臨床看護師としての実務経験をもつ教員が、長期療養者の生活や健康、患者教育及び看護専門職者及び関連職者の活動等について教育を行う。 本科目は、講義者の研究知見及び最新の知見(日本慢性看護学会、急性期治療ガイドライン、意思決定・終末期医療等のガイドライン)に基づいて授業を構成している。

講義名	成人看護学Ⅱ(急性期看護)		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Adult Nursing Ⅱ(Acute Care Nursing)		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 林　さえ子
講　　師	佐藤　ゆかり
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	急性期・慢性期の特徴を踏まえ、対象となる患者の身体的・心理的・社会的特徴や家族を含めた健康課題・ニーズ、治療的侵襲による生体反応と合併症等への予防的ケア及び療養生活に必要なセルフマネジメント・スキル獲得への支援に必要な看護実践の基盤となる知識や技術について演習を通して学修する。
目標	１．診断期における心理面の特徴と意思決定を支える看護を説明できる。［DP:1・5］ ２．生体の持つ治癒力を高め、術後合併症を予防する看護について説明できる。［DP:1・3・5］ ３．手術にともなう形態・機能の変化から生じる生活への影響に対し、対象のセルフケア能力を引き出し、その人らしく自立した生活を支える看護を検討できる。［DP:1～3・5］ ４．事例を用いて課題達成思考の看護過程を理解し、急性期の看護に必要な科学的根拠に基づいた看護の検討および技術が実施できる。［DP:1・2・5・6］

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/10（水）	3	ガイダンス 周術期とは 確定診断のための検査と方法 治療方法の理解と意思決定支援 術前検査の目的・方法 術前検査結果の意味と看護への活かし方	講義	前：教p.12-30,p78-100を読む 後：術前看護についてまとめる 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
2	2024/04/10（水）	4	周術期にある人を支える看護過程の展開に必要な基礎的知識	講義	前：NANDA-I看護診断p.53-65を読む 後：NANDA-I看護診断についてまとめる 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
3	2024/04/12（金）	3	手術室における看護 １）手術室の環境 ２）患者入室までの看護 ３）麻酔と看護 ４）手術体位と看護 ５）術中異常と看護	講義	前：教p.101-128を読む 後：術中看護についてまとめる 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹 ゲストスピーカー
4	2024/04/12（金）	4	全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響 ２）循環血液量減少性ショックの発生要因 ３）深部静脈血栓症の発生要因 ４）看護の方向性	講義	前：教p.32-35,p.166-176,p.202-208を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹

5	2024/04/16 （火）	1	看護の方向性の検討: 体液バランス異常リスク状態 血栓症リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
6	2024/04/16 （火）	2	全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響 ２）無気肺・術後肺炎の発生要因 ３）開胸術による肺の膨張不全の発生要因 ４）看護の方向性	講義	前：教p.152-166を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
7	2024/04/23 （火）	1	看護の方向性の検討： 非効果的気道浄化	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
8	2024/04/23 （火）	2	全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響 ２）イレウスの発生要因 ３）看護の方向性 全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響 ２）せん妄の発生要因 ３）看護の方向性 創傷感染・縫合不全の予防と看護 １）創傷治癒過程 ２）創傷感染・縫合不全の発生要因 ３）看護の方向性	講義	前：教p177-185,p.186-202,p220-227を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
9	2024/04/26 （金）	3	看護の方向性の検討： 消化管運動機能障害 手術部位感染リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
10	2024/04/26 （金）	4	手術による形態・機能の変化から生じる心理面・日常生活への影響および適応・自立に向けた支援 １）人工肛門造設術 ２）胃切除術 ３）乳房切除術	講義	前：教p296-316を読む 国立がんセンターがん情報サービスのHP(ganjoho.jp)で大腸がんと人工肛門造設術に関する内容を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
11	2024/05/01 （水）	3	看護の方向性の検討： 健康自主管理促進準備状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
12	2024/05/15 （水）	3	ストーマ合併症の観察・装具の交換	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
13	2024/05/15 （水）	4	水分出納管理 ①水分出納計算　②点滴滴下計算　③輸液滴下調整 ④輸液ポンプ・シリンジポンプの管理	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
14	2024/05/31 （金）	3	全身麻酔で手術を受けた患者の観察アセスメント①	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
15	2024/05/31 （金）	4	全身麻酔で手術を受けた患者の観察アセスメント②	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹

16	2024/07/26 （金）	２	定期試験			林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹

評価方法	定期試験(70%)、事前課題・課題レポート提出状況及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。
教科書・参考書	教科書： １　雄西 智恵美、秋元 典子編：「周手術期看護論」、ヌーヴェルヒロカワ［第3版］（2014/04）、定価2,640円(税込) ２　道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院［第2版］（2020/02）、定価2,530円（税込） ※２はクリティカルケア論　指定教科書 ３　上鶴 重美訳：「NANDA-I看護診断　定義と分類2021-2023 原書第12版」、医学書院［第1版］（2021/07)、定価3,520円（税込） 参考書： その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位修得について ⑴　出席３分の２に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 ⑵　単位取得は、課題レポート等及び定期試験に合格した場合に認める。 ⑶　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷「成人看護学Ⅱ」の単位修得が「成人看護学実習Ⅰ」を履修する前提条件となる。 ⑸　理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 ⑹　演習記録やレポート、定期試験の結果はポートフォリオに保存し、学修成果を振り返って自己評価すること。 ⑺　本科目の内容は、成人看護学実習Ⅰに連動しているため講義資料は実習でも活用する。 ２　出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により、出席の確認をする。2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計３回打刻する。 ３　最後の授業で、講義・演習のまとめ、質問会を行う。 ４　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、掲示する。 ５　その他 ⑴　講義毎（同じ教員の２コマ続きの講義は１回）、振り返り用紙に学びや振り返りを記載し、次回の講義時にフィードバックを受ける。 ⑵　許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 ６　凡例 グループワーク GW　　シミュレーション SIM
オフィスアワー	佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 林　さえ子　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 伊藤　真規　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　水・木曜日　16：20～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	［実務］ ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力の獲得について、経験と実績を活かして本授業の講義および演習を行う。 ・本科目は、最新の知見及び最新治療ガイドラインを用いて授業を構成している。

講義名	成人看護学Ⅱ(急性期看護)		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Adult Nursing Ⅱ(Acute Care Nursing)		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 林　さえ子
講　　師	佐藤　ゆかり
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	急性期・慢性期の特徴を踏まえ、対象となる患者の身体的・心理的・社会的特徴や家族を含めた健康課題・ニーズ、治療的侵襲による生体反応と合併症等への予防的ケア及び療養生活に必要なセルフマネジメント・スキル獲得への支援に必要な看護実践の基盤となる知識や技術について演習を通して学修する。
目標	１．診断期における心理面の特徴と意思決定を支える看護を説明できる。 [DP:1・5] ２．生体の持つ治癒力を高め、術後合併症を予防する看護について説明できる。 [DP:1・3・5] ３．手術にともなう形態・機能の変化から生じる生活への影響に対し、対象のセルフケア能力を引き出し、その人らしく自立した生活を支える看護を検討できる。 [DP:1～3・5] ４．事例を用いて課題達成思考の看護過程を理解し、急性期の看護に必要な科学的根拠に基づいた看護の検討および技術が実施できる。 [DP:1・2・5・6]

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/10（水）	3	ガイダンス 周術期とは 確定診断のための検査と方法 治療方法の理解と意思決定支援 術前検査の目的・方法 術前検査結果の意味と看護への活かし方	講義	前：教p.12-30,p78-100を読む 後：術前看護についてまとめる 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
2	2024/04/10（水）	4	周術期にある人を支える看護過程の展開に必要な基礎的知識	講義	前：NANDA-I看護診断p.53-65を読む 後：NANDA-I看護診断についてまとめる 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
3	2024/04/12（金）	3	手術室における看護 １）手術室の環境 ２）患者入室までの看護 ３）麻酔と看護 ４）手術体位と看護 ５）術中異常と看護	講義	前：教p.101-128を読む 後：術中看護についてまとめる 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹 ゲストスピーカー
4	2024/04/12（金）	4	全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響 ２）循環血液量減少性ショックの発生要因 ３）深部静脈血栓症の発生要因 ４）看護の方向性	講義	前：教p.32-35,p.166-176,p.202-208を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹

5	2024/04/16 （火）	1	看護の方向性の検討: 体液バランス異常リスク状態 血栓症リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
6	2024/04/16 （火）	2	全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響 ２）無気肺・術後肺炎の発生要因 ３）開胸術による肺の膨張不全の発生要因 ４）看護の方向性	講義	前：教p.152-166を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
7	2024/04/23 （火）	1	看護の方向性の検討： 非効果的気道浄化	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
8	2024/04/23 （火）	2	全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響 ２）イレウスの発生要因 ３）看護の方向性 全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響と看護 １）全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響 ２）せん妄の発生要因 ３）看護の方向性 創傷感染・縫合不全の予防と看護 １）創傷治癒過程 ２）創傷感染・縫合不全の発生要因 ３）看護の方向性	講義	前：教p177-185,p.186-202,p220-227を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
9	2024/04/26 （金）	3	看護の方向性の検討： 消化管運動機能障害 手術部位感染リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
10	2024/04/26 （金）	4	手術による形態・機能の変化から生じる心理面・日常生活への影響および適応・自立に向けた支援 １）人工肛門造設術 ２）胃切除術 ３）乳房切除術	講義	前：教p296-316を読む 国立がんセンターがん情報サービスのHP(ganjoho.jp)で大腸がんと人工肛門造設術に関する内容を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
11	2024/05/01 （水）	3	看護の方向性の検討： 健康自主管理促進準備状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
12	2024/05/13 （月）	1	ストーマ合併症の観察・装具の交換	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
13	2024/05/13 （月）	2	水分出納管理 ①水分出納計算　②点滴滴下計算　③輸液滴下調整 ④輸液ポンプ・シリンジポンプの管理	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
14	2024/05/29 （水）	3	全身麻酔で手術を受けた患者の観察アセスメント①	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
15	2024/05/29 （水）	4	全身麻酔で手術を受けた患者の観察アセスメント②	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹

16	2024/07/26 （金）	２	定期試験			林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹

評価方法	定期試験(70%)、事前課題・課題レポート提出状況及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。
教科書・参考書	教科書： １　雄西 智恵美、秋元 典子編：「周手術期看護論」、ヌーヴェルヒロカワ［第3版］（2014/04）、定価2,640円(税込) ２　道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院［第2版］（2020/02）、定価2,530円（税込） ※２はクリティカルケア論　指定教科書 ３　上鶴 重美訳：「NANDA-I看護診断　定義と分類2021-2023 原書第12版」、医学書院［第1版］（2021/07)、定価3,520円（税込） 参考書： その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位修得について ⑴　出席３分の２に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 ⑵　単位取得は、課題レポート等及び定期試験に合格した場合に認める。 ⑶　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷「成人看護学Ⅱ」の単位修得が「成人看護学実習Ⅰ」を履修する前提条件となる。 ⑸　理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 ⑹　演習記録やレポート、定期試験の結果はポートフォリオに保存し、学修成果を振り返って自己評価すること。 ⑺　本科目の内容は、成人看護学実習Ⅰに連動しているため講義資料は実習でも活用する。 ２　出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により、出席の確認をする。2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計３回打刻する。 ３　最後の授業で、講義・演習のまとめ、質問会を行う。 ４　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、掲示する。 ５　その他 ⑴　講義毎（同じ教員の２コマ続きの講義は１回）、振り返り用紙に学びや振り返りを記載し、次回の講義時にフィードバックを受ける。 ⑵　許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 ６　凡例 グループワーク GW　　シミュレーション SIM
オフィスアワー	佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 林　さえ子　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 伊藤　真規　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　水・木曜日　16：20～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	［実務］ ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力の獲得について、経験と実績を活かして本授業の講義および演習を行う。 ・本科目は、最新の知見及び最新治療ガイドラインを用いて授業を構成している。

講義名	成人看護学Ⅲ(慢性期看護)		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Adult Nursing Ⅲ(Chronic Care Nursing)		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 谷口　千枝
准 教 授	森　莉那
助　　教	中村　純江

科目概要	「成人看護学Ⅰ」で学修した内容を基盤とし、慢性期および増悪期の特徴を踏まえ、対象となる患者の身体的・心理的・社会的特徴や、家族を含めた健康課題・ニーズ、治療に伴う副作用と合併症等への予防、及び療養生活に必要なセルフマネジメント・スキル獲得への支援に必要な看護実践について学修する。また、地域包括ケアに必要な多職種連携・協働、継続看護など、看護実践の基盤となる知識や技術について学修する。
目標	１　日常生活に慢性的・侵害的な症状をもつ対象者へのセルフマネジメント・スキル獲得における看護(患者教育)について説明できる。「DP:1～3」 ２　臨床から地域・在宅生活へ復帰するために必要な多職種の連携・協働における継続看護について説明できる。「DP:2～4」 ３　事例を用いて課題達成思考の看護過程を理解し、科学的根拠に基づいた展開ができる。「DP:1～5」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/08 (月)	３	ガイダンス 慢性の病いをもつ対象者（本人・家族）の特徴と看護に必要な主要な概念 　行動変容の振り返り	講義	予：成人看護学Ⅰの資料を読み直す。 行動変容の実践についてまとめ、レポートを提出する。 復：行動変容の課題から、慢性の病いをもつ対象者に応用する方法について考えまとめる。 各120分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
2	2024/04/08 (月)	４	経過の緩慢な病いをもつ対象者への看護 　糖尿病をもつ対象者への看護	講義	予：教300 - 311、WBを基に血糖値と糖尿病の病態・治療についてまとめる。WBの事例を読み、病態について調べる。 復：講義資料をもとに糖尿病をもつ対象者への支援についてまとめる。 各120分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
3	2024/04/15 (月)	３	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[1] 　事例展開に必要な基礎的知識	講義	予：基礎看護学で学修した看護過程の資料を見直す。 復：事例展開に必要な基礎的知識をまとめる。 各120分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江

4	2024/04/15 (月)	4	増悪・緩解を繰り返す慢性の病いをもつ対象者への看護 　慢性閉塞性肺疾患(COPD)をもつ対象者への看護	講義	予：教174-205を読み、該当箇所のWBについてまとめる。 復：COPD対象者のセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各120分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
5	2024/04/22 (月)	3	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[2] 　アセスメント・全体像の把握・ありたい姿・強み	演習	予：事例患者の病態情報についてアセスメントし、生活状況も含めて関連図に示す。 復：関連図・情報の統合の見直しと追加・修正を行う。 各120分	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
6	2024/04/22 (月)	4	慢性の病いをもつ対象者に対する看護技術 　自己血糖測定とインスリン療法	演習	予：WB、Nursing Skill(GEN-0126、GEN-0083、GEN-0091)、事前配布資料を基に自己血糖測定とインスリン注射の手技を確認し、注意点をまとめる。 復：WBのワークシートを完成させる。Nursing Skillの技術チェックリストを確認しWBに綴じる。 各120分～	中村　純江 谷口　千枝 森　莉那
7	2024/04/30 (火)	1	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[3] 　課題の抽出・目標設定・課題達成型看護計画の立案	演習	予：事例のアセスメント、関連図、情報の統合を基に対象者の課題を抽出し、グループメンバーで共有し、優先順位の高い課題について各自で看護計画を立案する。 復：対象者の個別性をふまえ、実践可能な看護計画とするための追加・修正を行う。 各120分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
8	2024/05/07 (火)	1	進行性の病いをもつ対象者への看護 　慢性腎臓病（CKD)をもつ対象者への看護	講義	予：教324－330、該当箇所のWBをまとめる。 復：CKD対象者と透析対象者へのセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各120分～	中村　純江 谷口　千枝 森　莉那
9	2024/05/10 (金)	2	慢性の病いをもつ対象者への患者教育 　事例に対する患者教育	講義・演習	予：成人看護学Ⅰのセルフマネジメント、社会的学習理論、行動変容の資料を振り返りまとめる。 復：対象者の個別性をふまえた患者教育とするためのシナリオ内容の追加・修正を行う。 各120分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
10	2024/05/14 (火)	1	感染性の病いをもつ対象者への看護 　HIVをもつ対象者への看護	講義	予：HIVの病態と治療についてWBをまとめる。 復：HIV/AIDS対象者をとりまく社会環境について授業資料を基にまとめる。 各120分～	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
11	2024/05/20 (月)	3	がん薬物療法を受ける対象者に必要な看護 　治療的侵襲の副作用とその症状マネジメント	講義	予：教(がん看護学)153-180を読み、該当箇所のWBをまとめる。 復：がん薬物療法を受ける対象者のセルフマネジメントについて講義資料を基に	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江

					まとめる。 各120分～	
12	2024/05/24 (金)	1	放射線治療を受ける対象者に必要な看護 　治療的侵襲の副作用とその症状マネジメント	講義	予：教(がん看護学)180-200を読み、該当箇所のWBをまとめる。 復：放射線療法を受ける対象者のセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各120分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
13	2024/05/24 (金)	2	慢性の病いをもつ対象者の療養生活を支援するプライマリ・ケアと継続看護	講義	予：該当箇所のWBについて調べまとめる。 復：外来看護に求められる役割について講義資料を基にまとめる。 各120分～	中村　純江 谷口　千枝 森　莉那
14	2024/05/31 (金)	2	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[4] 　立案した看護計画の実践・評価修正	演習	予：発表シナリオを作成する。グループ毎の役割を確認し、発表に向けて準備をする。 復：演習で実施・観察した看護場面をSOAPで記載する。各自で看護計画を修正する。 各120分～	森　莉那 谷口　千枝 中村　純江
15	2024/06/14 (金)	2	慢性期にある対象者への看護のまとめ	講義	予：これまでの講義資料を読み、不明・疑問点を洗い出す。 復：科目のまとめを振返り、試験に備えて整理する。 時間は制限しない。	谷口　千枝 森　莉那 中村　純江
16	2024/07/24 (水)	4	定期試験			

評価方法	定期試験(70%)、ワークブック（20%）小レポート（10%）
教科書・参考書	教科書： １　鈴木志津枝他編：「成人看護学「慢性期看護論」」、ヌーヴェルヒロカワ、第3版(2014/4)、定価2,860円(税込み) ２　小松浩子他編：「系統看護学講座－別巻『がん看護学』」、医学書院、第3版(2022/2)、定価2,530円(税込み) 参考書： １　安酸史子編：「成人看護学概論」、ナーシンググラフィカ、第5版(2022)、定価3,520円（税込み） その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　この科目の単位修得が「成人看護学実習Ⅱ」を履修する前提条件となる。 ⑵　各講義で扱う疾患の病態や治療について既習の知識を復習し、積極的に講義に臨む。 ⑶　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ⑷　本科目の内容は、成人看護学実習Ⅱに連動しているため、講義資料は実習でも活用する。 ２　出欠席について 　出席管理システム(講義・演習開始前と終了時のカードリーダへの打刻)により出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。２コマ連続講義の場合は、講義開始前・後の合計３回、打刻をする。 ３　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　定期試験に不合格の場合は、再試験を１回実施する。再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷　定期試験終了後、試験内容についてフィードバックする機会(解説＆質問への応答)を設ける。日程は調整後に掲示し、自由参加とする。 ⑸演習記録やレポート、定期試験の結果はポートフォリオに保存し、学修成果を振り返って自己評価すること。 ４　振り返りシートのフィードバックについて 　毎回の授業前に前回の振り返りに記載された質疑についてフィードバックを行う。 ５　凡例　GW：グループワーク 　　WB：ワークブック

オフィスアワー	谷口　千枝　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 森　莉那　　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N254研究室 中村　純江　月曜日　　16：30～18：00　基礎科学棟３階N370研究室
備考	［実務］ 大学病院等において、看護師としての実務経験をもつ教員及び臨床看護師が,慢性の病い及び終末期に至る生活調整の必要な対象者の特性を理解し、健康課題に対応した看護及び臨床から地域への退院支援における多職種連携・協働について教育する。 本科目は、最新の知見、最新の治療ガイドライン、教員の研究成果に基づいて授業を構成している。

講義名	精神看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Psychiatric and Mental Health Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 心光　世津子
助　　教	小久保　知由起
助　　教	松井　陽子

科目概要	精神の健康、精神の機能と障がいのとらえ方及び精神看護学の基本的な考え方を踏まえ、精神看護実践に必要な理論や基礎知識を学ぶ。看護の基盤となる人間理解を軸として、心のはたらきや人間関係の発展、ストレス・危機状態の反応、精神保健医療福祉の歴史や様々な精神疾患の特徴と看護について学び、精神保健医療福祉における今日的課題の理解を深める。
目標	１　心のしくみやはたらきを、発達、精神力動、ストレス、危機の観点で説明できる。「DP:１・５」 ２　精神保健医療福祉の現状や課題を、治療の歴史と人権、法制度の変遷と関連付けて説明できる。「DP:１」 ３　現代社会における精神保健・看護ニーズと精神看護学の基本的考え方を説明できる。「DP:１～５」 ４　主な精神疾患や障害の成り立ちや特徴、主な治療と看護について説明できる。「DP:１・３・５」 ５　精神看護における回復のビジョンについて自身の考えを述べることができる。「DP：１～６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/12/03（火）	3	精神看護学を学ぶことの意義：現代社会における精神保健・医療ニーズ、精神看護学とその課題、精神看護学の基本的な考え方	講義	前：教[1]pp.2-22を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光　世津子
2	2024/12/06（金）	3	人格の成長と心のはたらき：人格と気質、意識と認知機能、知能、人格の発達に関する諸理論	講義	前：教[1]pp.56-86, 90-114を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光　世津子
3	2024/12/10（火）	1	ストレスと健康の危機：危機という考え方、心理的ストレスとライフイベント、防衛機制、予防の概念、コーピング、ストレングス、レジリエンス	講義	前：教[1]pp.31-48, 86-90を熟読する。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光　世津子
4	2024/12/10（火）	2	精神の健康と健康障害：精神の健康とは、ふつうというものさし、スティグマ、精神障害の捉え方、医学モデルと社会モデル、生活機能分類	講義	前：教[1]pp.24-30,49-53,330-335を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光　世津子

5	2024/12/13（金）	3	精神保健医療福祉の歴史と現状：精神障害と治療の歴史、法制度と看護職の役割、患者の尊厳の保持と権利擁護	講義	前：教[1]pp. 298-322, 335-361を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光　世津子
6	2024/12/17（火）	1	精神疾患と治療：精神科における検査と診断、治療（身体療法、精神療法、薬物療法）	講義	前：第4回の授業資料、教[1]pp. 74-79, 162-164, 236-296を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光　世津子
7	2024/12/17（火）	2	精神症状と生活：さまざまな精神症状の概要、症状を体験している人の理解	講義	前：教[1]pp. 5-9, 144-162を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	心光　世津子
8	2024/12/20（金）	3	統合失調症をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 165-182を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	心光　世津子
9	2025/01/06（月）	3	気分障害（うつ病・双極性障害）をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 182-191を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	松井　陽子
10	2025/01/10（金）	3	依存症をもつ人の理解と看護：当事者の体験、セルフヘルプグループの機能と役割	講義	前：教[1]pp. 201-207, 教[2]pp. 146-150を読む。 後：レポート課題に取り組む。 前後各120分	心光　世津子 ゲストスピーカー
11	2025/01/20（月）	1	パーソナリティ障害をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 216-217を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	心光　世津子
12	2025/01/20（月）	2	発達障害をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 211-215、事前提示資料を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	心光　世津子 ゲストスピーカー
13	2025/01/24（金）	3	神経症性障害、ストレス因関連障害等をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 191-201, 215-216を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	心光　世津子
14	2025/01/28（火）	3	回復とはどういうことか：リカバリーとピアサポート	講義	前：教[2]pp. 70-112を読む。 後：授業前に提示する課題に取り組む。 前後約120分	心光　世津子 ゲストスピーカー
15	2025/01/31（金）	3	回復を支える精神医療保健福祉チーム：精神看護専門看護師の活動、リエゾン精神看護、多職種連携、医療の場と心の健康、看護職者のメンタルヘルス	講義	前：教[2]pp. 350-372, 390-411を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	小久保　知由起

16	2025/02/04 （火）	２	定期試験			心光　世津子 小久保　知由起 松井　陽子

評価方法	定期試験（80%）、課題提出（20%）
教科書・参考書	教科書： １　武井麻子編著：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[1]精神看護の基礎」、医学書院、第６版、（2021/2）、定価2,530円(税込み) ２　武井麻子編著：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[2]精神看護の展開」、医学書院、第６版、（2021/2）、定価2,530円(税込み) 参考書： １　落合慈之監修：「精神神経疾患ビジュアルブック」、学研メディカル秀潤社、(2015/9)、定価3,960円（税込み） このほか適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　教科書だけでなく、授業で紹介した図書を読むなどの自己学習を行う。 ⑵　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配付をしないこと。 ⑶　この科目に合格しないと「精神看護学Ⅱ」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席の確認は、出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）による。２コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計２回、打刻する。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ３　課題提出について ⑴　提出締切は厳守すること。やむを得ない事由で期限までの提出ができない場合には、必ず〆切前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 ⑵　ミニレポートやレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。 ⑶　剽窃、盗用については評価が0となる。人工知能・代筆によるレポート作成が判明した場合も同様とする。 ４　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　定期試験は100点満点で採点し、得点が60点以上を合格とする。合格しなかった場合には、再試験を１回行う。 ⑷　「課題提出」の評価が６割に満たない場合、定期試験でそれを補うだけの十分な得点を獲得し全体評価として６割に達する必要がある。全体評価として６割に満たない場合には、再試験を１回行う。 ５　試験やレポートに対するフィードバックについて ⑴　授業時に提出するミニレポート内容をふまえて授業時間内に解説やAIDLE-Kでの講評を行う。 ⑵　定期試験終了後、講評をAIDLE-Kに掲載する。 ６　凡例 教：教科書
オフィスアワー	心光　世津子　　金曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室２ 小久保　知由起　月曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N371研究室 松井　陽子　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N452研究室
備考	１　授業後に学習する内容（復習と課題）については授業前にも調べておくこと。 ２　授業前の自己学習をふまえ学習内容についての疑問をもって授業に臨むこと。 ３　ミニレポート、レポート、演習では、自分の言葉で考え表現することを重視している。 ［実務］ 精神科病棟等において、看護師としての実務経験のある教員が、精神障害をもつ人や家族に対する看護の展開方法、及び精神看護における対象理解や回復過程に対応した援助方法の演習を通して、精神看護の具体的な方法を教育する。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	精神看護学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Psychiatric and Mental Health Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 心光　世津子
助　　教	小久保　知由起
助　　教	松井　陽子
講　　師(非)	益田　貴士

科目概要	精神看護実践の基盤となる看護者の役割や治療的関係の理論・知識をもとに、精神疾患をもつ人や家族に対する看護を実践するための具体的な援助方法を学ぶ。精神看護の場面における援助方法の演習体験を通して、精神看護の治療的意味の理解を深める。また、精神保健医療福祉における多職種連携や地域生活支援での看護者の役割を理解する。
目標	１　精神科における治療・支援の方法や入院治療の特徴について説明できる。「DP１・２」 ２　精神疾患・障害をもつ人の主体性やストレングス、価値の多様性を基盤としながら安全を守り回復を支える方法について述べることができる。「DP１～５」 ３　精神疾患・障害をもつ人の地域生活を支える制度や社会資源、方法について説明できる。「DP１～３・５」 ４　治療的関係やプロセスレコードを用いた関係のアセスメントについて説明できる。「DP１・５」 ５　精神疾患・障害からの回復課程をふまえたアプローチ実施に向けての自己の課題を述べることができる。「DP５・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/25（木）	3	精神看護の実践に向けて：精神看護者の役割、ケアの前提・原則・方法、ケアの人間関係	講義	前：教[2]pp.2-27を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後約60分	心光　世津子
2	2024/04/25（木）	4	患者ー看護者の治療的関係とコミュニケーション：患者ー看護者関係の発展段階、治療的コミュニケーション、関係のアセスメント、プロセスレコードの活用	講義	前：教[2]pp.28-53，教[3]pp.38-47を読む。 後：生活上の会話の一場面を取り上げ、プロセスレコードを記載する。 前後約60分	心光　世津子
3	2024/05/02（木）	3	治療の場の特徴：入院治療の目的と意味、入院形態、治療的環境、社会的入院、リハビリテーション	講義	前：教[2]pp.196-254を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各60分	小久保　知由起
4	2024/05/02（木）	4	回復を支える①：生活面の援助―精神症状の生活への影響、自己決定とセルフケアへの援助、SST、レクリエーション	講義	前：教[1]pp.291-296，教[2]pp.90-107を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度	心光　世津子

					にまとめる。 前後各60分	
5	2024/05/09 （木）	4	回復を支える②：身体面への治療と援助―精神科治療と身体のケア、心身相関、身体合併症、症状精神病	講義	前：教[2]pp. 312-348を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各60分	心光　世津子
6	2024/05/16 （木）	4	回復を支える③：安全をまもる援助―リスクマネジメント、自殺予防、行動制限、緊急事態（災害含む）への対処	講義	前：教[1]pp. 291-296，教[2]pp. 90-107を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各60分	小久保　知由起
7	2024/05/23 （木）	4	回復を支える④：地域生活を支える制度・社会資源と支援の実際―障害者総合支援法、地域生活支援施設、就労支援、多職種連携	講義	前：教[2]pp. 116-178を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各60分	益田　貴士
8	2024/05/30 （木）	4	事例を通して看護展開を学ぶ①：事例提示、第一印象と感情、患者の背景・環境の整理（グループワーク）	演習	前：第1～7回の授業資料を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各60分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
9	2024/06/13 （木）	4	事例を通して看護展開を学ぶ②：生活機能のアセスメント（講義と個人ワーク）	演習	前：第1～8回の授業資料を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各60分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
10	2024/06/20 （木）	3	事例を通して看護展開を学ぶ③：回復過程とストレングスをふまえた全体像の理解（グループワーク）	演習	前：第1～9回の授業資料，教[3]pp. 54-61を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各60分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
11	2024/06/20 （木）	4	事例を通して看護展開を学ぶ④：統合アセスメント（講義と個人ワーク）	演習	前：第1～10回の授業資料，教[3]pp. 62-69を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各60分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
12	2024/06/27 （木）	3	事例を通して看護展開を学ぶ⑤：援助の方向性（グループワーク）	演習	前：第1～11回の授業資料，教[3]pp. 70-76，85-88を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各60分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
13	2024/06/27 （木）	4	事例を通して看護展開を学ぶ⑥：再構成法の活用、シナリオ・ロールプレイによる体験学習（ロールプレイ演習）	演習	前：教[2]pp. 28-53，教[3]pp. 38-47を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各60分	小久保　知由起 松井　陽子 心光　世津子
14	2024/07/01 （月）	1	回復を支える⑤：レクリエーションの実際	演習	前：教[1]pp. 250-252、事前提示資料を読む。 後：レポート課題に取り組む。 前後各60分	心光　世津子 小久保　知由起 松井　陽子
15	2024/07/04 （木）	4	精神科病院での看護の実際：実習病院の紹介	講義	前：第1～14回の授業資料，教[3]pp. 17-22を読む。 後：教[2]pp. 2-13，教[3]第2章収載の3事例以上を読む。 前後各60分	心光　世津子 小久保　知由起 松井　陽子 ゲストスピーカー
16	2024/07/25 （木）	4	定期試験			心光　世津子 小久保　知由

						起 松井　陽子

評価方法	試験　50%　課題50%
教科書・参考書	教科書： １　武井麻子編著：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[1]精神看護の基礎」、医学書院、第６版、（2021/2）、定価2,530円(税込み) ２　武井麻子編著：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[2]精神看護の展開」、医学書院、第６版、（2021/2）、定価2,530円(税込み) ３　野中浩幸・心光世津子・乾富士男編著：「必携！精神看護学実習ポケットブック」、精神看護出版、第２版、（2019/4）、定価2,200円(税込み) 参考書： 適宜紹介する
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　教科書だけでなく、授業で紹介した図書を読むなどの自己学習を行う。 ⑵　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配付をしないこと。 ⑶　この科目に合格しないと「精神看護学実習」の履修はできない。 ２　出欠席について ⑴　出席の確認は、出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）による。２コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計２回、打刻する。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ⑶　実習に直結する内容であるため、欠席は極力避けること。特に最終回は実習のオリエンテーションを含むため必ず出席すること。 ３　課題提出について ⑴　提出締切は厳守すること。やむを得ない事由で期限までの提出ができない場合には、必ず〆切前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 ⑵　ミニレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。 ⑶　剽窃、盗用については評価が0となる。 ４　定期試験について ⑴　３分の２以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 ⑵　追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 ⑶　「課題提出」の評価が６割に満たない場合、定期試験でそれを補うだけの十分な得点を獲得し全体評価として６割に達する必要がある。全体評価として６割に満たない場合には、再試験を１回行う。 ５　試験やレポートに対するフィードバックについて ⑴　授業時に提出するミニレポート内容をふまえて授業時間内に解説やAIDLE-Kでの講評を行う。 ⑵　演習ではグループワークの状況、発表、課題に対して授業時間内に解説を行う。 ⑶　定期試験終了後、講評をAIDLE-Kに掲載する。 ６　凡例 教：教科書
オフィスアワー	心光　世津子　　金曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室２ 小久保　知由起　月曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N371研究室 松井　陽子　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N452研究室
備考	１　授業後に学習する内容（復習と課題）については授業前にも調べておくこと。 ２　授業前の自己学習をふまえ学習内容についての疑問をもって授業に臨むこと。 ３　ミニレポート、演習では、自分の言葉で考え表現することを重視している。 ［実務］ 精神科病棟等において、看護師としての実務経験のある教員が、精神障害をもつ人や家族に対する看護の展開方法、及び精神看護における対象理解や回復過程に対応した援助方法の演習を通して、精神看護の具体的な方法を教育する。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	クリティカルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Critical Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ａ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 林　さえ子
臨床教授	坂田　久美子
講　　師	佐藤　ゆかり
講　　師	橋本　茜
講　　師	上坂　真弓
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	突発的な事故や重篤な疾病、慢性疾患の急性増悪などにより急激な健康破綻をきたし、生命の維持が困難な危機的状況(クリティカル)にある患者と家族に対して、身体的・心理的・社会的側面を理解し、生命維持に向けた急変時対応と集中治療における看護について学修する。また、あらゆる治療・療養の場、及びあらゆる病期・病態において、クリティカルケアに携わる看護職の専門性とその役割について学修する。
目標	1.クリティカルケアを必要とする患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。 [DP:1・2] 2.クリティカルケア看護及び救急看護の特性と専門性について説明できる。 [DP:1～3・5・6] 3.クリティカルケアを必要とする患者の主要病態と看護ケアについて説明できる。 [DP:1・5・6] 4.クリティカルケア看護に必要な看護技術を実施することができる。 [DP:1～3・5・6]

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/05（金）	3	①「あらゆる治療・療養の場」「あらゆる病期・病態」を対象とするクリティカルケア：一般病棟、ＥＲ、ICU等から在宅 ②クリティカルケアを必要とする患者と家族の特徴 ③クリティカルケアにおける倫理的課題と家族への援助	講義	前：クリティカルケア看護学 p2-23を読む 後：クリティカルケアを必要とする対象者の特徴についてまとめる 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
2	2024/04/05（金）	4	①救急看護の特性と専門性 ②救急における医療チームの役割と看護 ③プレホスピタルケアと航空医療	講義	前：日本救急看護学会HP「救急看護とは」を閲覧する 後：講義資料を読み理解を深める 前後各30分	坂田　久美子 林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
3	2024/04/09（火）	1	①循環動態のアセスメント：虚血性心疾患、致死性不整脈、心不全、ショック ②経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：ショックの早期発見と初期治療、輸液と輸血	講義	前：クリティカルケア看護学 p87-101を読む 後：循環機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
4	2024/04/09（火）	2	①呼吸機能のアセスメント：呼吸不全、換気障害、ガス交換障害、呼吸性アシドーシス・アルカローシス	講義	前：クリティカルケア看護学 p64-80を読む 後：呼吸機能障害のアセス	橋本　茜 林　さえ子 佐藤　ゆかり

			②経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：人工呼吸療法、感染予防、呼吸理学療法		メントについてまとめる 前後各30分	伊藤　真規 森本　直樹
5	2024/04/17 （水）	3	急性増悪：呼吸困難への対応(1) ・喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管吸引)	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	橋本　茜 上坂　真弓 伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
6	2024/04/17 （水）	4	急性増悪：呼吸困難への対応(2) ・酸素療法、排痰援助、呼吸理学療法	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹 伊藤　真規
7	2024/04/24 （水）	3	①栄養・代謝障害の病態のアセスメント：タンパク異化、糖代謝と代謝性アシドーシス ②腎機能と水・電解質のアセスメント：酸・塩基平衡 ③経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：栄養・輸液管理	講義	前：クリティカルケア看護学 p134-145を読む 後：栄養・代謝機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	上坂　真弓 林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
8	2024/04/24 （水）	4	①脳・神経障害の病態のアセスメント：意識レベル、瞳孔、脳卒中、髄膜刺激症状、運動麻痺、頭蓋内圧亢進症状 ②経過、検査、治療に伴う看護の役割と看護援助：モニタリング、脳室・脳槽ドレーン、血栓溶解療法	講義	前：クリティカルケア看護学 p101-116を読む 後：脳・神経機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
9	2024/05/01 （水）	4	①クリティカルケアにおける特殊病態のアセスメントと対応：外傷、熱傷、中毒	講義	前：AIDLE-Kの参考資料を読む 後：外傷・熱傷・中毒のアセスメントについてまとめる 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
10	2024/05/08 （水）	3	シミュレーション①：一次救命処置	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
11	2024/05/10 （金）	3	①救命の連鎖 ②異常の早期発見とトリアージ ③一次・二次救命処置・アルゴリズム ④気管挿管の介助	講義	前：クリティカルケア看護学 p190-197を読むを読む 後：心停止の発見から二次救命処置までの流れをまとめる 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
12	2024/05/17 （金）	3	シミュレーション②-1：事例を用いた看護実践（生命の危機的状態にある対象者） 急変時対応	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
13	2024/05/17 （金）	4	シミュレーション②-2：事例を用いた看護実践（生命の危機的状態にある対象者） 急変時対応	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
14	2024/06/14 （金）	3	シミュレーション③-1：事例を用いた看護実践（倫理的課題のカンファレンス） 生命の危機的状態にある対象者の倫理的課題と家族への援助	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
15	2024/06/14 （金）	4	シミュレーション③-2：事例を用いた看護実践（倫理的課題のカンファレンス） 生命の危機的状態にある対象者の倫理的課題と家族への援助	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
16	2024/07/26 （金）	4	定期試験			佐藤　ゆかり 林　さえ子

						伊藤　真規 森本　直樹

評価方法	定期試験(70%)、事前課題・事後課題の提出状況及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。
教科書・参考書	教科書： 道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院［第2版］（2020/02）、定価2,530円（税込） ※成人看護学Ⅰ　指定教科書 参考書： その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位修得について (1)　出席３分の２に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 (2)　単位取得は、事前課題等への取り組み及び定期試験に合格した場合に認める。 (3)　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 (4)　理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 ２　出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により、出席の確認をする。 2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計３回打刻する。 ３　定期試験のフィードバックは、解説をAIDLE-Kの「クリティカルケア論」にupする。 ４　その他 (1)　講義毎に、AIDLE-Kに学びや振り返りを入力し、次回以降の講義時にフィードバックを受ける。 (2)　許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 ５　凡例 シミュレーション：SIM
オフィスアワー	林　さえ子　水・金曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 橋本　茜　月曜日　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 上坂　真弓　月曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 伊藤　真規　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	授業は学修サポートシステムAIDLE-Kを活用する。授業までに「クリティカルケア論」にアクセスしておくこと。 ［実務］ ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、生命の危機的状況にある対象者への看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力及び専門職としての看護の役割・機能について講義および演習を行う。 ・本科目は、最新の知見及び治療ガイドラインを用いて授業を構成している。

講義名	クリティカルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Critical Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 林　さえ子
臨床教授	坂田　久美子
講　　師	佐藤　ゆかり
講　　師	橋本　茜
講　　師	上坂　真弓
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	突発的な事故や重篤な疾病、慢性疾患の急性増悪などにより急激な健康破綻をきたし、生命の維持が困難な危機的状況(クリティカル)にある患者と家族に対して、身体的・心理的・社会的側面を理解し、生命維持に向けた急変時対応と集中治療における看護について学修する。また、あらゆる治療・療養の場、及びあらゆる病期・病態において、クリティカルケアに携わる看護職の専門性とその役割について学修する。
目標	1.クリティカルケアを必要とする患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。 [DP:1・2] 2.クリティカルケア看護及び救急看護の特性と専門性について説明できる。 [DP:1～3・5・6] 3.クリティカルケアを必要とする患者の主要病態と看護ケアについて説明できる。 [DP:1・5・6] 4.クリティカルケア看護に必要な看護技術を実施することができる。 [DP:1～3・5・6]

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2024/04/05 (金)	3	①「あらゆる治療・療養の場」「あらゆる病期・病態」を対象とするクリティカルケア：一般病棟、ＥＲ、ICU等から在宅 ②クリティカルケアを必要とする患者と家族の特徴 ③クリティカルケアにおける倫理的課題と家族への援助	講義	前：クリティカルケア看護学 p2-23を読む 後：クリティカルケアを必要とする対象者の特徴についてまとめる 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
2	2024/04/05 (金)	4	①救急看護の特性と専門性 ②救急における医療チームの役割と看護 ③プレホスピタルケアと航空医療	講義	前：日本救急看護学会HP「救急看護とは」を閲覧する 後：講義資料を読み理解を深める 前後各30分	坂田　久美子 林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
3	2024/04/09 (火)	1	①循環動態のアセスメント：虚血性心疾患、致死性不整脈、心不全、ショック ②経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：ショックの早期発見と初期治療、輸液と輸血	講義	前：クリティカルケア看護学 p87-101を読む 後：循環機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
4	2024/04/09 (火)	2	①呼吸機能のアセスメント：呼吸不全、換気障害、ガス交換障害、呼吸性アシドーシス・アルカローシス	講義	前：クリティカルケア看護学 p64-80を読む 後：呼吸機能障害のアセス	橋本　茜 林　さえ子 佐藤　ゆかり

			②経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：人工呼吸療法、感染予防、呼吸理学療法		メントについてまとめる 前後各30分	伊藤　真規 森本　直樹
5	2024/04/19 (金)	3	急性増悪：呼吸困難への対応(1) ・喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管吸引)	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	橋本　茜 上坂　真弓 伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
6	2024/04/19 (金)	4	急性増悪：呼吸困難への対応(2) ・酸素療法、排痰援助、呼吸理学療法	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹 伊藤　真規
7	2024/04/24 (水)	3	①栄養・代謝障害の病態のアセスメント：タンパク異化、糖代謝と代謝性アシドーシス ②腎機能と水・電解質のアセスメント：酸・塩基平衡 ③経過・検査・治療に伴う看護の役割と看護援助：栄養・輸液管理	講義	前：クリティカルケア看護学 p134-145を読む 後：栄養・代謝機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	上坂　真弓 林　さえ子 佐藤　ゆかり 伊藤　真規 森本　直樹
8	2024/04/24 (水)	4	①脳・神経障害の病態のアセスメント：意識レベル、瞳孔、脳卒中、髄膜刺激症状、運動麻痺、頭蓋内圧亢進症状 ②経過、検査、治療に伴う看護の役割と看護援助：モニタリング、脳室・脳槽ドレーン、血栓溶解療法	講義	前：クリティカルケア看護学 p101-116を読む 後：脳・神経機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
9	2024/05/01 (水)	4	①クリティカルケアにおける特殊病態のアセスメントと対応：外傷、熱傷、中毒	講義	前：AIDLE-Kの参考資料を読む 後：外傷・熱傷・中毒のアセスメントについてまとめる 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
10	2024/05/08 (水)	4	シミュレーション①：一次救命処置	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
11	2024/05/10 (金)	3	①救命の連鎖 ②異常の早期発見とトリアージ ③一次・二次救命処置・アルゴリズム ④気管挿管の介助	講義	前：クリティカルケア看護学 p190-197を読むを読む 後：心停止の発見から二次救命処置までの流れをまとめる 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
12	2024/05/17 (金)	1	シミュレーション②-1：事例を用いた看護実践（生命の危機的状態にある対象者） 急変時対応	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
13	2024/05/17 (金)	2	シミュレーション②-2：事例を用いた看護実践（生命の危機的状態にある対象者） 急変時対応	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤　真規 林　さえ子 佐藤　ゆかり 森本　直樹
14	2024/06/14 (金)	3	シミュレーション③-1：事例を用いた看護実践（倫理的課題のカンファレンス） 生命の危機的状態にある対象者の倫理的課題と家族への援助	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
15	2024/06/14 (金)	4	シミュレーション③-2：事例を用いた看護実践（倫理的課題のカンファレンス） 生命の危機的状態にある対象者の倫理的課題と家族への援助	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤　ゆかり 林　さえ子 伊藤　真規 森本　直樹
16	2024/07/26 (金)	4	定期試験			佐藤　ゆかり 林　さえ子

						伊藤　真規 森本　直樹

評価方法	定期試験(70%)、事前課題・事後課題の提出状況及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。
教科書・参考書	教科書： 道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院［第2版］（2020/02）、定価2,530円（税込） ※成人看護学Ⅰ　指定教科書 参考書： その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位修得について (1)　出席３分の２に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 (2)　単位取得は、事前課題等への取り組み及び定期試験に合格した場合に認める。 (3)　定期試験に不合格の場合は再試験を１回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 (4)　理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 ２　出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダへの打刻）により、出席の確認をする。 2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計３回打刻する。 ３　定期試験のフィードバックは、解説をAIDLE-Kの「クリティカルケア論」にupする。 ４　その他 (1)　講義毎に、AIDLE-Kに学びや振り返りを入力し、次回以降の講義時にフィードバックを受ける。 (2)　許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 ５　凡例 シミュレーション：SIM
オフィスアワー	林　さえ子　水・金曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 橋本　茜　月曜日　15：30～17：00　看護学部棟２階N256研究室 上坂　真弓　月曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 伊藤　真規　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	授業は学修サポートシステムAIDLE-Kを活用する。授業までに「クリティカルケア論」にアクセスしておくこと。 ［実務］ ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、生命の危機的状況にある対象者への看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力及び専門職としての看護の役割・機能について講義および演習を行う。 ・本科目は、最新の知見及び治療ガイドラインを用いて授業を構成している。

講義名	ターミナルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Terminal Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
准 教 授	森　莉那
講　　師(非)	安藤　元美
講　　師(非)	井手　宏

科目概要	ターミナルケアとは、ターミナル期を生きる人と家族への全人的なケアのことである。 国内外におけるターミナルケアの取り組みの現状を理解する。その上で、人生のターミナル期を生きる人と家族の思いや苦悩について理解し、ターミナルケアに関する社会状況、ターミナルケアの基盤となる概念・理論と必要な看護実践について学修する。更に、ターミナルケアにおける看護の役割と役割拡大について学修し、人生のかけがえのない瞬間に出会う看護専門職者として自身の死生観をみつめ、今後のターミナルケアの課題と展望について考える機会とする。
目標	１　自身の死生観をもつ意味を説明できる。「DP：1」 ２　ターミナルケアを取り巻く社会状況を説明できる。「DP:1～3」 ３　ターミナルケアの主要な概念を説明できる。「DP：1～3」 ４　ターミナル期にある人と家族の全人的ニーズを理解し説明できる。「DP：1～3」 ５　ターミナル期にある人と家族への全人的ケアを理解し説明できる。「DP：1～3・5」 ６　多職種連携で行うターミナルケアの特徴と、チームケアにおける看護師の役割を述べることができる。「DP：1～3・5」 ７　ターミナルケアの現況を知り、今後の課題について意見を述べることができる。「DP：1～3・5～6」

授業計画表

回	年月日 （曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 （予習・復習）	担当教員
1	2024/04/08 （月）	2	ターミナルケアを取り巻く社会状況 ターミナルケアに関連する概念；ターミナルケア、ホスピスケア、緩和ケア、エンドオブライフケア 死生観	講義 演習	予：単元の内容について、これまでの学修を振り返ってまとめる。 復：講義やGW内容を振り返る。 各120分程度	佐々木　裕子 森　莉那
2	2024/04/15 （月）	2	ターミナル期にある人と家族の全人的ニーズの理解 身体的・精神的・社会的・スピリチュアルニーズ（ペイン）、死の受容プロセス	講義	予：全人的ニーズについて既習学習を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	佐々木　裕子
3	2024/04/25 （木）	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア① ケアの基本姿勢、全人的ケア：身体的ケア、精神的ケア、社会的ケア、スピリチュアルケア	講義	予：全人的ケアについて、既習学修を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	佐々木　裕子

4	2024/05/02 (木)	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア② 　症状マネジメントの原則と実際	講義	予：厚生労働省のHPや日本ホスピス緩和ケア財団のHPを読み、ターミナルケアの実際についての文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	井手　宏 佐々木　裕子
5	2024/05/09 (木)	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア③ 　がん・非がん患者へのターミナルケア：外来／一般病棟におけるケア、意思決定支援、チームケア	講義	予：症状マネジメントについて、既習学修を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	森　莉那
6	2024/05/16 (木)	5	ターミナル期にある人の臨死期のケアと家族ケア 　臨死期の身体変化、予期的悲嘆、Death Education	講義	予：臨死期に起こりうる人の身体的特徴や家族の精神的状況について、既習学修を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	森　莉那
7	2024/05/23 (木)	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア④ 　看護の実際：ホスピス・緩和ケア病棟、在宅、アロマハウスでのターミナルケア 　アロマを用いた癒しのケア	講義	予：国内のホスピス・緩和ケア病棟、在宅ホスピスケア、施設におけるホスピスケア等についてホームページ等にアクセスし、ホスピス・緩和ケアにおける看護の役割について閲覧する。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	森　莉那 安藤　元美
8	2024/05/30 (木)	5	ターミナル期における遺族ケア 　看護活動、市民活動 多様な文化的背景をもつ人へのターミナルケア ターミナルケアの課題	講義	予：１−７回の学修を振り返り、テキスト等で関心をもった内容を読む。 ターミナルケアとして行われている市民・ボランティア活動を調べる。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	佐々木　裕子
9	2024/07/22 (月)	3	定期試験			

評価方法	毎回の授業後の小レポート(10%)および定期試験(90%)で評価を行う。
教科書・参考書	教科書： １　田村恵子編集：「終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア」メヂカルフレンド社、第２版(2021/12)、定価3,410円(税込み) 参考書： １　恒藤暁他　編：「系統看護学講座別巻 緩和ケア」、医学書院、第３版(2020/2)、定価2,420円(税込み) ２　厚生労働統計協会：「国民衛生の動向」2,695円(税込み) その他、授業時に適宜資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席は、学生便覧の規定に則る。 ２　単位修得について ⑴　出席３分の２に達している場合に単位認定試験の受験資格を認める。 ⑵　単位取得は、単位認定試験に合格した場合に認める。再試験は１回のみとする。 ⑶　再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 ⑷　小レポートのフィードバックは、質疑を中心として提出後の講義の最初に全体で共有できるようにする。 ３　凡例 GW：グループワーク
オフィスアワー	佐々木　裕子　月曜日　15：45〜17：45　看護学部棟３階N352研究室 森　莉那　　月曜日　15：45〜17：45　看護学部棟２階N254研究室 非常勤講師　　講義終了時に質問等を受け付ける。
備考	［実務］ 地域・在宅ケア、がん専門病院、緩和ケア病棟において、看護師等としての実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践を活かした教育を行う。

	本科目は、最新の知見、最新の治療ガイドラインに基づいて授業を構成している。

講義名	リハビリテーションケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Rehabilitation Care		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 白井　裕子
教　　授(兼　医学部)	尾川　貴洋
講　　師(兼　大学病院)	飯田　博己
講　　師(兼　大学病院)	鈴木　雅人
講　　師(兼　大学病院)	三宅　慶呼

科目概要	リハビリテーション医学・医療の概念を理解した上で、人々の活動賦活化と機能向上に向けた施策や専門職によるアプローチを学ぶ。
目標	１．リハビリテーション医学・医療の概念を説明できる。「ＤＰ：１・２」 ２．リハビリテーション治療が心身に与える影響を説明できる。「ＤＰ：１・５」 ３．リハビリテーションチーム診療における看護の役割と実際を説明できる。「ＤＰ：３・５」 ４．急性期・回復期・生活期におけるリハビリテーション診療における看護の具体的な方法を説明できる。「ＤＰ：３・５」 ５．リハビリテーション支援における看護の具体的な方法を説明できる。「ＤＰ：２・５・６」

授業計画表

回	年月日(曜日)	時限	内　　容	授業の運営	準備学修(予習・復習)	担当教員
1	2024/05/09(木)	3	リハビリテーション医学・医療の概念 歴史、目的、主要な概念、 リハビリテーション医学・医療の対象者の変遷	講義	前：教科書P.2-15を読む 後：授業の要点を整理する 前後各120分	白井　裕子
2	2024/05/16(木)	3	リハビリテーション診療① リハビリテーション診断とリハビリテーション治療の効果とその必要性	講義	前：教科書P.16-17を読む 後：授業の要点を整理する 前後120分	尾川　貴洋
3	2024/05/23(木)	3	リハビリテーション診療② リハビリテーション診断・治療・支援、急性期・回復期・生活期の特徴、チームアプローチ	講義	前：教科書P.19-34を読む 後：授業の要点を整理する 前後各120分	尾川　貴洋
4	2024/05/30(木)	3	リハビリテーション治療① 理学療法士によるリハビリテーション治療提供の実際	講義	前：教科書P.35-72を読む 後：授業の要点を整理する 前後各120分	飯田　博己
5	2024/06/06(木)	3	リハビリテーション治療② 作業療法士によるリハビリテーション治療提供の実際	講義	前：教科書P.73-106を読む 後：授業の要点を整理する 前後各120分	鈴木　雅人
6	2024/06/13(木)	3	リハビリテーション治療③ 言語聴覚士によるリハビリテーション治療提供の実際	講義	前：教科書P.107-135を読む 後：授業の要点を整理する 前後各120分	三宅　慶呼
7	2024/07/04(木)	3	リハビリテーション治療④ 摂食嚥下障害に対する治療の必要性とアプローチ	講義	前：教科書P.514-541を読む	白井　裕子 ゲストスピー

			の実際		後：授業の要点を整理する 前後各120分	カー
8	2024/07/18 （木）	３	リハビリテーション支援 　心理的支援、福祉用具・環境調整、社会的支援	講義	前：教科書P.160-168、241-275を読む 後：授業の要点を整理する 前後各120分	白井　裕子
9	2024/07/25 （木）	３	定期試験			白井　裕子

評価方法	定期試験100%で評価する
教科書・参考書	教科書： １　久保俊一他 総編集（2021）「総合力がつくリハビリテーション医学・医療テキスト」第1版、一般社団法人日本リハビリテーション医学教育推進機構発行、6,160円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出席管理システムにより出席の確認をする。 ３　２/３以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない。 ４　定期試験の不合格者に対して再試験を1回行う。 ５　定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	白井　裕子　　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階個人研究室② 尾川　貴洋　　授業に関する質問・相談は講義後に対応する 飯田　博巳　　授業に関する質問・相談は講義後に対応する 鈴木　雅人　　授業に関する質問・相談は講義後に対応する 三宅　慶呼　　授業に関する質問・相談は講義後に対応する
備考	［実務］ ・大学病院等において実務経験をもつ教員が、リハビリテーションの診断・治療・支援について教育する ・リハビリテーションを担う医療職者が、最新の知見を取り入れてそれぞれの専門性から教育する

講義名	教養ゼミナール		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Freshman Seminar		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
	◎ 看護学部教員
教　　授	泉　雅之
教　　授	大須賀　浩二
教　　授	三浦　裕次
教　　授	近藤　真治
臨床教授	坂田　久美子
講　　師	林　文子
助　　教	志水　己幸
助　　教	中尾　幸世
助　　教	板津　良
助　　教	伊藤　真規
助　　教	小久保　知由起
助　　教	森本　直樹
助　　教	河井　丈幸
助　　教	丸谷　紗穂
助　　教	松井　陽子
助　　教	伊藤　寿英
助　　教	坂川　有希
助　　教	中村　純江

科目概要	高校までとは異なり、大学での学びでは、論理的思考をもとに学生が自身で習得した知識を深めていくことが必要となります。教養ゼミナールでは、その論理的思考を構築するために必要となる基本的な事柄を学んでいくことで、論理的思考を構築するきっかけとなることを目指します。論理的思考とは、物事を筋道立てて考える力という意味ですが、教養ゼミナールでは、情報を収集し内容を把握すること、相手に理解しやすく、相手が納得できるように筋道立てて示すことを目的とし、文献の検索方法、レポートの作成方法、発表資料の作成と発表の方法、ならびにディスカッションの方法を学んでいきます。また、この教養ゼミナールで学んだ事柄を活用して、今後の大学での看護を学んでいくこと、そして、卒業研究Ⅰ及び卒業研究Ⅱで、論理的思考に基づき学生が自身で知識を深めていくことができるようになることを期待します。
目標	１　ゼミナールに主体的に参加し、建設的な質問や意見を述べることができる。「ＤＰ：５・６」 ２　関心のあるテーマの選定ができる。「ＤＰ：５・６」 ３　関心のあるテーマに関する文献の検索と選定ができる。「ＤＰ：５・６」 ４　検索した文献の内容を把握できる。「ＤＰ：５・６」 ５　関心のあるテーマに関するレポートを形式に従い作成し、論理的な説明ならびに考察ができる。「ＤＰ：５・６」 ６　レポートの内容をもとに、適切に発表を行うことができる。「ＤＰ：５・６」

	７　今後の大学の学びにおいて教養ゼミナールで学んだ事柄を活用して、論理的思考に基づき知識を深めていく必要性を認識することができる。「ＤＰ：５・６」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）
1	総合学術情報センターにおける文献検索	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
2	担当者の紹介　大学での学びにおける教養ゼミナールの意義と位置づけ 文献とは　文献検索の意義とその方法	講義	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
3	テーマを選定するとは　文献の精読とは　レポートとは　レポートの作成方法　関心のあるテーマの選定　関心あるテーマに関連する文献の収集と精読 精読した文献の内容に関するディスカッション　精読した文献の内容に基づいたレポートの作成とその内容に関するディスカッション	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
4	同上	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
5	同上	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
6	相手に理解を促すための発表のためのパワーポイント資料の作成方法と発表の仕方について　レポートの内容に基づいた発表のためのパワーポイント資料作成と発表の予行　作成した資料を用いた発表とディスカッション　教養ゼミナールのまとめ	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
7	同上	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
8	同上	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分

評価方法	出席３分の２以上を評価の対象とします。 ゼミナールへの参加ならびゼミナールでの取り組みの状況(30%)、文献活用（15%）、レポートの内容（35%）、プレゼンテーション内容(20%)に関してルーブリックにより評価します。 不合格の場合は、再試験(レポート提出)を１回行う。
教科書・参考書	教科書は指定しません。 参考書に関しては、以下のものを挙げておきますが、別に担当教員より指示がある可能性があります。購入に関しては、担当者の指示を待ってからにしてください。 １　前原澄子 他著（2018）：看護学生のためのよくわかる大学での学び方第２版、金芳堂、定価2,640円（税込み） ２　佐藤望　編著（2020）：アカデミック・スキルズ―大学生のための知的技法入門第３版、慶應義塾大学出版会、定価1,100円（税込み） ３　都築学　著（2016）：大学1年生のための伝わるレポートの書き方、有斐閣、定価1,540円（税込み） ４　世界思想社編集部　編（2021）：大学生学びのハンドブック5改訂、世界思想社、定価1,320円（税込み） ５　桑田てるみ　編（2015）：学生のレポート・論文作成トレーニング　改定版、実教出版、定価1,320円（税込み）
履修上の注意点及び取扱い	１　論理的思考を構築するきっかけとなる教養ゼミナールは学生自身の能動的な取り組みが大事になります。必要に応じて担当教員からのアドバイスを受けながら、自身で地道に取り組んでください。 ２　30分以上の遅刻・30分以上の早退は欠席扱いとしますので、注意してください。 ３　講義日程ならびに講義形態は、担当教員ごとに異なりますので、担当教員が決まり次第、教学課からの連絡ならびに担当教員からの連絡を確認してください。 ４　レポートの提出方法や提出期日、発表の方法などは担当教員から連絡があります。 ５　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	科目概要でも述べたように大学からの学びにおいて論理的思考は大事なものです。特に看護の分野では、患者の状態を把握するなどアセスメントを行っていきますが、その際もこの論理的思考は重要です。本学では、論理的思考の構築はディプロマポリシーでも挙げていますが、その構築のために教養ゼミナールに始まり、卒業研究Ⅰ及び卒業研究Ⅱを行っていきます。特に、教養ゼミナールは、そのきっかけの科目となります。担当教員は、学生の目指す論理的思考を用いて、看護、教育ならびに研究の場で活躍されてきた方々であり、その担当教員からアドバイスを受けながら学生の方々が自身で地道に能動的に行っていくことを、教養ゼミナールでは希望してい

	ます。 ＊教養ゼミナールは、教育方法などに関して最新の知見を取り入れて授業構成をしています。

講義名	チーム医療論(IPE)（１学年次生用）		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Team Medicine (IPE)		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真
教　　授	谷口　千枝
教　　授(兼　医学部)	早稲田　勝久
教　　授(兼　医学部)	神谷　英紀
教　　授(兼　医学部)	宮田　靖志
教　　授(兼　医学部)	伴　信太郎
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	黒澤　昌洋
准 教 授	青山　恵美
准 教 授	山本　恵美子
講　　師	上坂　真弓
講　　師(兼　医学部)	河合　聖子
講　　師(兼　医学部)	森下　啓明
講　　師(兼　医学部)	船木　淳
講　　師(兼　大学病院・看護部)	上野　沙織
客員教授	築山　郁人
講　　師(非)	川原　千香子

科目概要	地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる能力を身につける。医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーション能力と、医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにする。具体的にはグループワークでの事例検討等を通して、チーム医療に必要な能力を学修する。
目標	4年間の目標：「DP:1・3～6」 ・地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる。 ・医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーションを実践することができる。 ・医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにすることができる。 1学年次テーマ：理解と共有１　「DP:1・3」 ・多様な人々とチームを構築するために求められる要素と自己の役割、他者の役割を説明できる。 ・チームの一員として報告・連絡・相談の必要性を理解し、適切なコミュニケーション方法を実践できる。 2学年次テーマ：理解と共有２　「DP:1・3・4」 ・チームで問題に取り組む際に必要な相互の尊重・連携・協働について説明できる。 ・チーム医療の中で、効果的な話し合いをするためのアサーティブコミュニケーションが実践できる。 3学年次テーマ：展開と応用　「DP：1・3～5」 ・患者・患者家族を中心とするチーム医療において看護師の役割および他職種の役割を理解し、チームの構築方

	法について説明できる。 ・患者・患者家族の抱える健康問題に対してチームで対応することの重要性を理解し、実践できる。 ・看護師としてのプロフェッショナリズムを身につけ、省察し、自らの課題を明らかにすることができる。 4学年次テーマ：協働と連携　「DP：1・3～6」 ・在宅医療を推進するために、保健・医療・福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。 ・継続看護、退院支援・退院調整等、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法を理解し、模擬場面において多職種連携医療が実践できる。

授業計画表

回	年月日 （曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 （予習・復習）	担当教員
1	2024/05/23 （木）	３	医看（薬）合同多職種連携教育（１学年次） ・良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
2	2024/05/23 （木）	４	同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
3			医看（薬）合同多職種連携教育（２学年次） ・医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
4			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
5			医看（薬）合同多職種連携教育（３学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
6			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
7			医看（薬）合同多職種連携教育（４学年次） ・保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
8			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関	全員

					の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	

評価方法	本科目は１学年次から４学年次に開講される医看（薬）合同多職種連携教育演習１～8すべての評価をもとに「チーム医療論（IPE）」として4学年次に単位認定する。 評価基準は各学年（25%）として評価し、４学年次に最終評価（100%）とする。 学年別評価基準 　事前学習への取り組み（50%）・演習への参加度・課題レポート（50%）
教科書・参考書	教科書 　講義開始までに、講義内容を示した配布資料を提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 　・事前配布資料を読み自己学習を行い、積極的に演習に取り組む。 　・許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について 　・問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。大学規定に沿わない欠席については、学年別　評価10%を限度とする。 ３　再試験について 　・４年次に１回行う。（課題レポートの提出） ４　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　　16：00～18：00　看護学部棟２階N252研究室 篠田　かおる　水曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山本　恵美子　水曜日　　16：30～17：40　看護学部棟３階N351研究室 谷口　千枝　　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 青山　恵美　　木曜日　　16：20～17：50　基礎科学棟３階N375研究室 黒澤　昌洋　　月曜日　　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室③ 上坂　真弓　　月曜日　　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 非常勤・兼担講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する
備考	「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員および、医師・薬剤師としての実務経験を持つ教員が、多職種での連携・協働、チーム医療について教育を行う。 ・本科目における講義・演習では、最新の知見を取り入れた授業構成をしている。

講義名	チーム医療論(IPE)（２学年次生用）		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Team Medicine (IPE)		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真
教　　授	谷口　千枝
教　　授(兼　医学部)	早稲田　勝久
教　　授(兼　医学部)	神谷　英紀
教　　授(兼　医学部)	宮田　靖志
教　　授(兼　医学部)	伴　信太郎
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	黒澤　昌洋
准 教 授	青山　恵美
准 教 授	山本　恵美子
講　　師	上坂　真弓
講　　師(兼　医学部)	河合　聖子
講　　師(兼　医学部)	森下　啓明
講　　師(兼　医学部)	船木　淳
講　　師(兼　大学病院・看護部)	上野　沙織
客員教授	築山　郁人
講　　師(非)	川原　千香子

科目概要	地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる能力を身につける。医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーション能力と、医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにする。具体的にはグループワークでの事例検討等を通して、チーム医療に必要な能力を学修する。
目標	4年間の目標：「DP:1・3～6」 ・地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる。 ・医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーションを実践することができる。 ・医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにすることができる。 1学年次テーマ：理解と共有１　「DP:1・3」 ・多様な人々とチームを構築するために求められる要素と自己の役割、他者の役割を説明できる。 ・チームの一員として報告・連絡・相談の必要性を理解し、適切なコミュニケーション方法を実践できる。 2学年次テーマ：理解と共有２　「DP:1・3・4」 ・チームで問題に取り組む際に必要な相互の尊重・連携・協働について説明できる。 ・チーム医療の中で、効果的な話し合いをするためのアサーティブコミュニケーションが実践できる。 3学年次テーマ：展開と応用　「DP：1・3～5」 ・患者・患者家族を中心とするチーム医療において看護師の役割および他職種の役割を理解し、チームの構築方

	法について説明できる。 ・患者・患者家族の抱える健康問題に対してチームで対応することの重要性を理解し、実践できる。 ・看護師としてのプロフェッショナリズムを身につけ、省察し、自らの課題を明らかにすることができる。 4学年次テーマ：協働と連携　「DP：1・3～6」 ・在宅医療を推進するために、保健・医療・福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。 ・継続看護、退院支援・退院調整等、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法を理解し、模擬場面において多職種連携医療が実践できる。

授業計画表

回	年月日 （曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 （予習・復習）	担当教員
1			医看（薬）合同多職種連携教育（１学年次） ・良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
2			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
3	2024/12/05 （木）	３	医看（薬）合同多職種連携教育（２学年次） ・医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
4	2024/12/05 （木）	４	同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
5			医看（薬）合同多職種連携教育（３学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
6			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
7			医看（薬）合同多職種連携教育（４学年次） ・保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
8			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関	全員

					の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	

評価方法	本科目は１学年次から４学年次に開講される医看（薬）合同多職種連携教育演習１～8すべての評価をもとに「チーム医療論（IPE）」として4学年次に単位認定する。 評価基準は各学年（25%）として評価し、４学年次に最終評価（100%）とする。 学年別評価基準 　事前学習への取り組み（50%）・演習への参加度・課題レポート（50%）
教科書・参考書	教科書 　講義開始までに、講義内容を示した配布資料を提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 　・事前配布資料を読み自己学習を行い、積極的に演習に取り組む。 　・許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について 　・問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。大学規定に沿わない欠席については、学年別　評価10%を限度とする。 ３　再試験について 　・４年次に１回行う。（課題レポートの提出） ４　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　　16：00～18：00　看護学部棟２階N252研究室 篠田　かおる　水曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山本　恵美子　水曜日　　16：30～17：40　看護学部棟３階N351研究室 谷口　千枝　　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 青山　恵美　　木曜日　　16：20～17：50　基礎科学棟３階N375研究室 黒澤　昌洋　　月曜日　　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室③ 上坂　真弓　　月曜日　　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 非常勤・兼担講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する
備考	「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員および、医師・薬剤師としての実務経験を持つ教員が、多職種での連携・協働、チーム医療について教育を行う。 ・本科目における講義・演習では、最新の知見を取り入れた授業構成をしている。

講義名	チーム医療論(IPE)（３学年次生用）		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Team Medicine (IPE)		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真
教　　授	谷口　千枝
教　　授(兼　医学部)	早稲田　勝久
教　　授(兼　医学部)	神谷　英紀
教　　授(兼　医学部)	宮田　靖志
教　　授(兼　医学部)	伴　信太郎
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	黒澤　昌洋
准 教 授	青山　恵美
准 教 授	山本　恵美子
講　　師	上坂　真弓
講　　師(兼　医学部)	河合　聖子
講　　師(兼　医学部)	森下　啓明
講　　師(兼　医学部)	船木　淳
講　　師(兼　大学病院・看護部)	上野　沙織
客員教授	築山　郁人
講　　師(非)	川原　千香子

科目概要	地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる能力を身につける。医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーション能力と、医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにする。具体的にはグループワークでの事例検討等を通して、チーム医療に必要な能力を学修する。
目標	4年間の目標：「DP:1・3～6」 ・地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる。 ・医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーションを実践することができる。 ・医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにすることができる。 1学年次テーマ：理解と共有１　「DP:1・3」 ・多様な人々とチームを構築するために求められる要素と自己の役割、他者の役割を説明できる。 ・チームの一員として報告・連絡・相談の必要性を理解し、適切なコミュニケーション方法を実践できる。 2学年次テーマ：理解と共有２　「DP:1・3・4」 ・チームで問題に取り組む際に必要な相互の尊重・連携・協働について説明できる。 ・チーム医療の中で、効果的な話し合いをするためのアサーティブコミュニケーションが実践できる。 3学年次テーマ：展開と応用　「DP：1・3～5」 ・患者・患者家族を中心とするチーム医療において看護師の役割および他職種の役割を理解し、チームの構築方

	法について説明できる。 ・患者・患者家族の抱える健康問題に対してチームで対応することの重要性を理解し、実践できる。 ・看護師としてのプロフェッショナリズムを身につけ、省察し、自らの課題を明らかにすることができる。 4学年次テーマ：協働と連携　「DP：1・3～6」 ・在宅医療を推進するために、保健・医療・福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。 ・継続看護、退院支援・退院調整等、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法を理解し、模擬場面において多職種連携医療が実践できる。

授業計画表

回	年月日 （曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修 （予習・復習）	担当教員
1			医看（薬）合同多職種連携教育（１学年次） ・良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
2			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
3			医看（薬）合同多職種連携教育（２学年次） ・医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
4			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
5	2024/06/21 （金）	1	医看（薬）合同多職種連携教育（３学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
6	2024/06/21 （金）	2	同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
7			医看（薬）合同多職種連携教育（４学年次） ・保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
8			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関	全員

					の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	

評価方法	本科目は１学年次から４学年次に開講される医看（薬）合同多職種連携教育演習１～8すべての評価をもとに「チーム医療論（IPE）」として4学年次に単位認定する。 評価基準は各学年（25%）として評価し、４学年次に最終評価（100%）とする。 学年別評価基準 　事前学習への取り組み（50%）・演習への参加度・課題レポート（50%）
教科書・参考書	教科書 　講義開始までに、講義内容を示した配布資料を提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について 　・事前配布資料を読み自己学習を行い、積極的に演習に取り組む。 　・許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ２　出欠席について 　・問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。大学規定に沿わない欠席については、学年別　評価10%を限度とする。 ３　再試験について 　・４年次に１回行う。（課題レポートの提出） ４　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　　16：00～18：00　看護学部棟２階N252研究室 篠田　かおる　水曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山本　恵美子　水曜日　　16：30～17：40　看護学部棟３階N351研究室 谷口　千枝　　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 青山　恵美　　木曜日　　16：20～17：50　基礎科学棟３階N375研究室 黒澤　昌洋　　月曜日　　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室③ 上坂　真弓　　月曜日　　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室 非常勤・兼担講師　　授業に関する質問・相談等は講義後に対応する
備考	「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員および、医師・薬剤師としての実務経験を持つ教員が、多職種での連携・協働、チーム医療について教育を行う。 ・本科目における講義・演習では、最新の知見を取り入れた授業構成をしている。

講義名	看護研究方法論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Methodology of Nursing Research		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 心光　世津子
教　　授	谷口　千枝
准 教 授	長崎　由紀子

科目概要	看護学研究の成果は、看護実践の根拠として看護の対象である人々への支援に還元されると共に、看護学の発展に寄与する。本科目では、看護研究の必要性、看護研究方法および看護研究における倫理的配慮に関する基礎的知識を学ぶ。さらに、看護実践に必要な看護学や関連諸科学の文献を検索し、文献を批判的に読むことを通して、研究成果を解釈・活用する方法の基礎を学ぶ。
目標	１　看護研究の必要性と意義を説明できる。「DP:5・6」 ２　研究課題の抽出、研究計画の立案、実施、分析、成果の公表の一連のプロセスを説明することができる。「DP:5・6」 ３　看護研究における倫理の必要性と倫理的配慮の具体的な内容を説明できる。「DP：1」 ４　論文を講読・クリティークし、論文の内容、研究成果の看護への適用範囲に関して自分の考えを述べられる。「DP：2・5・6」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/04/09（火）	3	授業オリエンテーション 看護研究とは： 看護における研究の必要性と意義、EBM・EBN・EBP、研究プロセスの概観、研究のはじめ方	講義	前：教科書pp.4-44、358-365を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	心光　世津子
2	2024/04/16（火）	3	研究デザインとリサーチクエスチョンの設定： 研究デザインの多様性、質的研究と量的研究の特徴と違い、リサーチクエスチョンと研究デザインの選択	講義	前：教科書pp.34-44、110-121を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	谷口　千枝
3	2024/04/23（火）	3	情報の探索と吟味： 文献の種類、文献検討の目的、文献検索データベースの種類と特徴、文献検索の方法、文献の入手方法、文献の読み方～クリティーク～、文献検討にもとづく研究目的の明確化	講義 演習	前：教科書ｐ48-83を読む。 後：医学中央雑誌、CiNii、google scholarで文献検索を行ない、課題１（前半）に取り組む。 前後各120分	長崎　由紀子
4	2024/04/30（火）	3	量的研究デザイン： 量的研究の特徴、量的研究デザイン（横断研究、症例対照研究、コホート研究、実験的研究）、観察研究の結果の読み方	講義	前：教科書pp.133-143、154-159、166-184、199-227を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	谷口　千枝

5	2024/05/07 （火）	３	質的研究デザイン： 質的研究の特徴、質的研究デザインの代表的な方法論（事例研究、質的記述的研究、内容分析、エスノグラフィー、グラウンデッドセオリー、現象学的アプローチ）、データ収集・分析プロセスとその特徴	講義	前：教科書pp.121-133、154-166, 190-199を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	心光　世津子
6	2024/05/14 （火）	３	論文の読み方（クリティーク演習）： 論文の構成、クリティークの実際	講義 演習	前：教科書pp.68-71、283-298および指定論文を読む。 後：課題１（後半）に取り組む。教科書pp.266-270を読む。 前後各120分	長崎　由紀子 心光　世津子
7	2024/05/21 （火）	３	研究知見の統合とEBPサイクル： 文献研究の意義、研究デザインとエビデンスレベル、コクラン共同計画、文献レビューの種類、系統的文献検索、知見の統合	講義	前：教pp.143-146, 342-348を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	心光　世津子
8	2024/05/28 （火）	３	研究計画を立てる： 研究計画書とは、研究計画書の書き方、研究における倫理的配慮、文献引用のしかた	講義 演習	前：研究関心・疑問を書き出す。教pp.86-108、246-264を読む。 後：課題２に取り組む。 前後各120分	心光　世津子 谷口　千枝 長崎　由紀子

評価方法	提出された課題の内容で総合的に評価する。課題１（40%）、課題２（40%）、演習ワークシート(20%)。 出席状況並びに参加状況は減点法により評価する。
教科書・参考書	教科書： １　坂下玲子他：「系統看護学講座別巻　看護研究」、医学書院、（2023/1）、定価2,750円（税込み） 参考書： 下記に加え、適宜紹介する。 １　山崎茂明他編：「看護研究のための文献検索ガイド」、日本看護協会出版会、第４版、（2013/10）、定価2,376円（税込み） ２　大木秀一：「看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん」、医歯薬出版、(2013/9)、定価2,860円（税込み） ３　黒田裕子：「黒田裕子の看護研究Step by Step」、医学書院、第５版、（2017/11）、定価2,860円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	１　遅刻・早退・欠席について ⑴　出席管理システムにより出席を確認する。 ⑵　30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。 ⑶　30分以内の遅刻・早退は、３回で１回の欠席とみなす。 ２　単位取得の条件 ⑴　出席２／３以上に満たない場合は、単位を取得できない。 ⑵　２つの課題の提出がない場合は、単位を取得できない。 ⑶　評価方法による総合評価で60点に満たないものは、課題の再提出を行う。 ３　課題について ⑴　提出締切は厳守すること。やむを得ない事由で期限までの提出ができない場合には、必ず〆切前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 ⑵　剽窃、盗用については評価が０となる。人工知能・代筆によるレポート作成が判明した場合も同様とする。 ４　フィードバックについて ⑴　授業中にだされた質問に対しては原則授業時間内に解説を行なう。 ⑵　課題１の講評は授業時間内に口頭にて伝える。課題２の講評はAIDLE-Kに掲載する。
オフィスアワー	心光　世津子　金曜日　16:30～18:00　C棟５階教授室２ 谷口　千枝　　月曜日　16:30～18:00　看護学部棟４階N451研究室 長崎　由紀子　木曜日　16:20～17:50　基礎科学棟３階N363研究室
備考	１　授業前の自己学習をふまえ学習内容についての考えや疑問をもって授業に臨むこと。 ２　課題１　文献検索ワーク 　指定のワークシートに沿い、関心のある事柄について文献検索を行い、原著論文１編について概要をまとめる。 ３　課題２　最終レポート 　指定のワークシートに沿い、研究関心・研究疑問を複数挙げ、文献を用いて「仮のリサーチクエスチョン」(教科書p36図参照)を検討する。 ［実務］ 各指導教員が看護師の実務経験をもち、それぞれの医療現場の実務経験と教育・研究活動における研究実績を活かして講義・演習を行う。 本講義は、最新の知見に基づいて授業を構成している。

講義名	実践看護英語		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Practical English for Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師(非)	鬼塚　由紀子

科目概要	教養科目群（英語Ⅰ、英語Ⅱ）を活かし、English for specific purposes (ESP)という視点で、看護職者として日本語を母国語としない外国人患者への基礎的な英語コミュニケーションについて学修する。英語によるコミュニケーションを通して外国人患者に、より良いケアを提供するためには言語能力だけでなく、異文化理解が重要となる。ロールプレイを通して外国人の価値観を理解し尊重するコミュニケーション技術を学修する。
目標	1. 看護場面における英会話の位置づけを理解し、日本語以外を母国語とする対象者へのコミュニケーション方法について説明できる。「DP:４」 2. 英語を用いたコミュニケーション場面を通して、異文化理解について説明できる。「DP:１～４」3. 看護場面でのコミュニケーションに活用できる語彙・英語表現を使用できる。「DP:４」 4. 看護場面での英会話を通じて、異文化における看護に興味・関心を持ち、国際的な視点について討議できる。「DP:２・４・６」

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	1	ガイダンス：学修方法、課題説明 English for specific purposes (ESP)と異文化理解	講義・演習	予：英語Ⅱの講義資料を見直しておく。 復：講義資料を読み、ESPについてまとめる。 前後各120分	山本　弘江 鬼塚　由紀子 淺野　いずみ
2	2024/09/25（水）	1	看護場面における英語コミュニケーション①（異文化配慮を含む）	講義・演習	予：第１回講義で出された予習課題について取り組む。 復：講義資料を読み、学んだフレーズを声を出して繰り返し、覚える。 前後各120分	山本　弘江 鬼塚　由紀子 淺野　いずみ
3	2024/10/01（火）	1	看護場面における英語コミュニケーション②（異文化配慮を含む）	講義・演習	予：第２回講義で出された予習課題について取り組む。 復：講義資料を読み、学んだフレーズを声を出して繰り返し、覚える。 前後各120分	山本　弘江 鬼塚　由紀子 淺野　いずみ
4	2024/10/04（金）	3	準備ワーク①: 入院患者に対するケアのシナリオ作成（１グループ４～５人）	GW	予：課題について資料を読んでおく。 復：GWを振り返り、自身の役割を確認して、動画準備を行う。 前後各120分	山本　弘江 鬼塚　由紀子 淺野　いずみ

5	2024/11/06 （水）	1	準備ワーク②: 入院患者のケアシナリオをもとに動画準備	GW	予：前回のGW資料を読みなおしておく。 復：GWを振り返り、自身の役割を確認して、動画準備を行う。 前後各120分	山本　弘江 鬼塚　由紀子 淺野　いずみ
6	2025/01/07 （火）	1	動画作成と提出、動画鑑賞	演習	予：前回のGW資料を読みなおしておく。 復：GWを振り返り、作成した動画を見直す。 前後各120分	山本　弘江 鬼塚　由紀子 淺野　いずみ
7	2025/01/10 （金）	1	入院患者のケアの寸劇の発表と振り返り	講義・演習	予：他グループの動画をすべて視聴する。 復：発表を振り返り、課題をまとめる。 前後各120分	山本　弘江 鬼塚　由紀子 淺野　いずみ
8	2025/01/10 （金）	2	看護場面におけるESPの活用、まとめ	講義・演習	予：講義資料を見直しておく。 復：講義を振り返り、看護場面におけるESPの活用について、課題レポートを作成する。 前後各120分	山本　弘江 鬼塚　由紀子 淺野　いずみ

評価方法	小テスト　30%、講義参加度（アクティブラーニングの取り組み・GW・動画作成含む）　40%、レポート　30%
教科書・参考書	教科書： 特になし 参考書： １　山内豊明監修（2023）：「看護英語テキスト　Nursing English in Action ～Invest in your future ～第２版」、IPEC、定価3,300円（税込み） 講義にて適宜提示する。 また、講義資料に記載する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　英語Ⅰ・Ⅱで学んだ資料を積極的に活用して準備学習を行い、講義に臨む。 ⑵　講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 ⑶　本講義は、ICTを活用したアクティブラーニング形式の講義を取り入れることから、講義内のワークおよびディスカッションに積極的に参加する。 ⑷　事後学習を行い、知識の定着に努める。 ２　出欠席について ⑴　出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダへの打刻）により出席の確認をする。この際、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 ⑵　遅刻３回で欠席１回とみなす。 ３　定期試験（レポート）について ⑴　３分の２以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 ⑵　グループ課題発表への参加がないと判断された場合は、単位を修得することはできない。 ⑶　評価が合格点に達していない場合、レポートの再提出は１回までとする。再提出で不合格の場合は次年度再履修すること。 ４　その他 ⑴　１回から３回については、講義時間内に小テストと講義後に振り返りを提出する。 ⑵　振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日内（23時59分）とする。後日の入力はできない。 ⑶　振り返りの内容については、次回講義内でフィードバックを行う。 ⑷　グループ課題のシナリオ作成について、相談窓口を設ける。詳細は、講義内に説明する。 ⑸　凡例　GW：グループワーク
オフィスアワー	山本　弘江　　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 非常勤講師　　講義終了後に質問等を受け付ける。
備考	１　本講義は、看護師の目線によって展開する英語を使った看護コミュニケーションを目的としている。 ２　各自、これまでの英語学習を活用して、言葉の違いだけでなく、文化的背景や習慣の違いの理解に努める。 ３　英語力向上のため、各自、主体的に取り組む。 [実務] 看護師等の実務経験のある教員および、ESP教育に精通した教員が、看護場面を想定し、外国人患者への基礎的な英語コミュニケーションに必要な教育を行う。

	・最新の知見を取り入れて講義構成をしている。

講義名	国際看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	International Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 坂本　真理子
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師(兼　大学病院・看護部)	川谷　陽子

科目概要	グローバライゼーションが進む現在において、私たちの生活は常に世界との関連の中で成り立っている。本科目では国際保健・看護の意義、国際保健・看護の一手段としての国際協力の枠組み、国際協力に活かす異文化理解の主要な概念の基礎的な学習を行った上で、様々な国における健康課題と解決に向けての看護実践や私たちにとって身近な在留外国人等への実践を事例に健康への取り組みを地球規模で考えていく。
目標	１　国際保健・看護について学ぶ意義を述べることができる。 [DP：4] ２　国際看護の一手段としての国際協力の枠組みや国際協力の実情について説明することができる。 [DP:4] ３　異なる文化背景をもつ国々における看護の実際について述べることができる。 [DP:3～5] ４　異なる文化背景をもつ国々での緊急援助活動について説明することができる。 [DP:3～5] ５　在留外国人等の健康課題および看護実践について説明することができる。 [DP:1～4]

授業計画表

回	年月日（曜日）	時限	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	2024/09/18（水）	2	オリエンテーション、国際保健・看護の意義、場、対象 （国際保健・看護、国際社会・多様な文化における看護職の役割、国際社会と看護、グローバル化、HFA、世界の健康問題、基本的人権、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)、持続可能な開発目標（SDGs））	講義	予習：「世界の健康問題」について関心のあるトピックスを１つ選び、参考書あるいはウェブサイトの記事を読む。 復習：教員から提示されたキーワーズについてノートにまとめる。 前後各120分	坂本　真理子
2	2024/09/25（水）	3	グローバルな看護の課題(国際看護師協会(ICN) の役割とその活動、紛争による難民支援と看護)	講義	予習：「国際看護師協会（ICN)」について、参考書あるいはウェブサイトの記事を読む。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	坂本　真理子
3	2024/09/25（水）	4	国際協力の構造と機能　(国際社会、国際協力、国際機関、WHO、UNICEF、JICA、NGO、NPO、ODA)	講義	予習：ウェブサイトにて国際協力を行っている機関について調べる。 復習：講義資料を基に関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	淺野　いずみ

4	2024/10/02 （水）	2	開発途上国における看護実践（国際保健・国際協力、JICA、JICA海外協力隊、開発途上国、インドネシア、看護・保健活動、異文化背景）	講義	予習：ウェブサイトでJICA海外協力隊について調べる。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	淺野　いずみ
5	2024/11/06 （水）	2	開発途上国における看護実践（国際保健・国際協力、JICA、JICA海外協力隊、開発途上国、ボリビア、看護・保健活動、異文化背景）	講義	予習：ウェブサイトでボリビアについて調べる。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	坂本　真理子 ゲストスピーカー
6	2025/01/08 （水）	1	国際的な緊急援助活動の実際（国際保健・国際協力、JICA、国際緊急援助隊、大規模災害）	講義	予習：参考書あるいはウェブサイトで「国際緊急援助隊」について調べる。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	川谷　陽子
7	2025/01/08 （水）	2	在留外国人への看護・健康支援①　（在留資格、異文化背景、健康、生活、母子保健、在留外国人の健康課題）	講義	予習：参考書あるいはウェブサイトで在留外国人の母子保健についての情報にアクセスし興味のある記事を読む。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	坂本　真理子
8	2025/01/15 （水）	1	在留外国人への看護・健康支援②　（成人看護、高齢者看護、外国人労働者、特定技能制度／技能実習制度、在留外国人労働者への看護・健康課題、外国人看護師・介護福祉士）	講義	予習：参考書あるいはウェブサイトで在留外国人の労働者と健康、高齢者福祉等についての情報にアクセスし興味のある記事を読む。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	淺野　いずみ
9	2025/01/22 （水）	2	定期試験			坂本　真理子 淺野　いずみ

評価方法	定期試験(70%)、授業への積極的な参加態度／授業振り返り（AIDLE-Kへの入力）の内容(30%)を総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： プリント等を配布する。 参考書： １　柳澤理子編：「国際看護学　看護の統合と実践　開発途上国への看護実践を踏まえて」、PILAR PRESS(2015/3) ２　大橋一友他編：「国際化と看護　日本と世界で実践するグローバルな看護をめざして」、メディカ出版(2020/12) ３　厚生労働統計協会編：「国民衛生の動向2024/20205、厚生労働統計協会(2024/8)、定価2,695円(税込)
履修上の注意点 及び取扱い	１　出席の確認は、入室時と退室時のカードリーダへの打刻による。このとき、２回目の打刻がない者は欠席扱いとする。遅刻・早退はしない。 ２　学生は、講義終了後、毎回、振り返り用紙へ振り返りを記入する。 ３　単位修得について ⑴　出席が３分の２に達していない場合は、受験資格を認めない。 ⑵　定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は１回とする。不合格の場合は次年度に再履修すること。 ⑶　病気等のやむを得ない理由以外での定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 ４　課題や振り返り用紙に書かれている質問内容には次回の授業で解説を行う。 ５　凡例　GW：グループワーク
オフィスアワー	坂本　真理子　水曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室１ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 川谷　陽子　　講義終了後に質問等を受け付ける。

備考	［実務］ 国際看護分野において、保健師・看護師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 本科目は、研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業を構成している。

講義名	卒業研究Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
（英文名）	Graduation Thesis Research Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
	◎ 看護学部教員
教　　授	茂本　咲子
教　　授	山中　真
教　　授	谷口　千枝
教　　授	心光　世津子
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	佐々木　裕子
准 教 授	白井　裕子
准 教 授	黒澤　昌洋
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	森　莉那
准 教 授	長崎　由紀子
准 教 授	淺野　いずみ
准 教 授	青山　恵美
准 教 授	荻野　朋子
准 教 授	山本　弘江
准 教 授	深谷　基裕
准 教 授	山本　恵美子
准 教 授	林　さえ子
講　　師	佐藤　ゆかり
講　　師	橋本　茜
講　　師	二村　純子
講　　師	横山　剛志
講　　師	林　文子
講　　師	上坂　真弓

科目概要	看護実践・研究・教育など関心のあるトピックスや関連文献を講読し、ゼミナールを通して関心のある課題を追求する。また、論理的な思考能力や表現力、討論への積極的な姿勢を涵養する。

目標	１ 興味・関心のある課題に関連した文献検索・収集ができる。［DP：1～4 ・6 ］ ２ 興味・関心のある課題に関連した論文について批判的に吟味した内容をもとに討議できる。［DP：1～4 ・6 ］ ３ 討論では建設的な意見を積極的に発言し、自身の考えを述べることができる。［DP：1～4 ・6 ］ ４ 興味・関心のある課題について、根拠を基に論理的に論じることができる。［DP：1～4 ・6 ］ ５ 文献検討した内容を踏まえ、自身が取り組む課題を明確にするまでのプロセスを一貫して記述することができる。［DP：1～6 ］

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス（「卒業研究Ⅱ」とのつながり含む） 文献検索と文献を批判的に読むことについて	講義	前：「看護研究方法論」の復習120分 後：文献クリティークの復習120分
2	興味・関心のある課題に関する文献検索・収集	発表 討論	前：興味・関心のある課題に関する文献検索・収集120分 後：収集した文献の整理120分
3	興味・関心のある課題に関する文献検討　文献（質的研究、量的研究、文献レビュー）のクリティーク、各自の文献クリティークした内容をもとにディスカッション	発表 討論	前：収集した文献のクリティーク120分 後：文献検討後のまとめ120分
4	同上	発表 討論	前：収集した文献のクリティーク120分 後：文献検討後のまとめ120分
5	同上	発表 討論	前：収集した文献のクリティーク120分 後：文献検討後のまとめ120分
6	自身の興味・関心のある課題に関する文献を収集し、今後(卒業研究Ⅱ)につながる研究テーマの検討	発表 討論	前：収集した文献の整理120分 後：自身の研究テーマに関する文献のまとめ120分
7	自身の取り組む課題に関連する複数の文献をもとに、疑問や問いの明確化 各自の取り組む課題についてのディスカッション	発表 討論	前：自身の研究テーマに関連する文献検索・収集120分 後：自身の取り組む課題についてのまとめ120分
8	まとめ（「卒業研究Ⅰ」の総括、「卒業研究Ⅱ」に向けて） レポート作成	発表 討論	前：科目を通しての学びの整理120分 後：卒業研究Ⅱに向けての準備120分

評価方法	１　討論時の準備学修への取り組み(20%)、討論への参加度(50%)、レポート(30%) ２　不合格の場合は、再試験（レポート提出）を１回行う。
教科書・参考書	教科書： 看護研究方法に準ずる。 参考書： 看護研究方法に準ずる。 加えて以下の文献を挙げる。 １　谷津裕子著：「Start Up 質的看護研究」、GAKKEN、第2版（2015/12）、定価2,750円（税込み） ２　野口美和子監訳:「ナースのための質的研究入門」、医学書院、第２版（2006/4）、定価3,960円（税込み） ３　石井京子、多尾清子：「ナースのための質問紙調査とデータ分析」,医学書院、第２版(2002/5)、定価3,080円(税込み) ４　藤林和俊著：「看護研究をはじめるための統計と臨床疫学」、学研メディカル秀潤社、(2012/12)、定価2,420円(税込み) ５　牧本清子、山川みやえ、編著：「よくわかる看護研究論文のクリティーク」、日本看護協会出版会、第2版(2020/6)、定価3,520円（税込み）
履修上の注意点及び取扱い	１　各自、主体的・積極的に取り組むこと。 ２　事前・事後学修を行い、毎回臨むこと。 ３　各担当教員により開講日時が異なるため、講義日程に注意すること。 ４　課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	最終提出レポートテーマ：「興味・関心のある課題に関する文献検討の要約と卒業研究Ⅱで取り組む研究課題の明確化」

	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	ヒューマニティ実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Humanity Practicum		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 佐々木　裕子
教　　授	泉　雅之
教　　授	坂本　真理子
教　　授	三浦　裕次
教　　授	近藤　真治
准 教 授	白井　裕子
准 教 授	黒澤　昌洋
准 教 授	長崎　由紀子
准 教 授	淺野　いずみ
准 教 授	青山　恵美
准 教 授	荻野　朋子
准 教 授	山本　弘江
准 教 授	深谷　基裕
講　　師	佐藤　ゆかり
講　　師	橋本　茜
講　　師	二村　純子
講　　師	横山　剛志
講　　師	林　文子
講　　師	上坂　真弓
助　　教	志水　己幸
助　　教	中尾　幸世
助　　教	板津　良
助　　教	伊藤　真規
助　　教	小久保　知由起
助　　教	河井　丈幸
助　　教	丸谷　紗穂
助　　教	松井　陽子
助　　教	伊藤　寿英
助　　教	坂川　有希

助　　教	中村　純江

科目概要	地域で暮らす人々との関わりを通して、人と生活体験の理解を深める。
目標	１　地域で暮らす人々に関心を寄せて関わることができる。「DP：1」 ２　地域で暮らす人の生活体験や価値観の多様性を理解することができる。「DP：2」 ３　地域で暮らす人の事業所や施設を利用する目的を知ることができる。「DP：3」 ４　地域で暮らす人の健康を支える環境を知ることができる。「DP:2」 ５　看護倫理をふまえた態度や行動をとることができる。「DP：1」 ６　関わりや学びを振り返り体験したことの意味を洞察することができる。「DP：1」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）
1	実習（地域の実習施設・機関での実習）別紙：実習先一覧表参照 １　実習内容と方法 　詳細は別途配布する「2023年度ヒューマニティ実習要項」を参照する。 ２　実習期間 　実習は、地域の実習機関3日間、学内実習2日間、2～5名程度のグループに分かれて行う。 ３　1週間の実習展開例 ＜１日目＞学内実習：オリエンテーションとグループ学習 ・教員から実習先の概要と実習時間、実習目標や留意事項などの説明を受ける。 ・ホームページや資料から、実践の対象、実習先の活動等の概要について情報収集を行い、まとめる。 ・個々の実習目標を立案し、質問事項や取り組んでみたいことをまとめる。 ・実習先への交通手段・服装・持ち物・災害時の対応等について情報を調べまとめる。 ・カンファレンスで学びと明日からの目標や準備を共有する。	実習	１　ガイダンス時に提示された資料を実習までに熟読しておく。 ２　実習前までにヘルスプロモーション論、看護学原論Ⅰおよびコミュニケーション論を中心に、既習の内容を復習する。 実習中は毎日１時間程度の予習と復習を行う。 予習：翌日に予定されている実習の内容に応じて学習や情報を収集する。 復習：その日に学習した内容を整理しまとめる。
2	同上	実習	
3	同上	実習	
4	同上	実習	
5	＜２日目・３日目・４日目＞ 地域の実習機関３日 　午前・午後：実習施設・機関での実習 　午後：カンファレンスと記録のまとめ	実習	
6	同上	実習	
7	同上	実習	
8	同上	実習	
9	同上	実習	
10	同上	実習	
11	同上	実習	
12	同上	実習	
13	同上	実習	
14	同上	実習	
15	同上	実習	
16	同上	実習	
17	＜５日目＞学内実習：学びのまとめと全体共有 ・実習の学びを課題に添って発表する。 ・学びについてディスカッションを行い、学びを深める。	実習	
18	同上	実習	

19	同上	実習	
20	同上	実習	

評価方法	実習評価は、評価基準に基づき、実習目標の達成状況、実習への取り組み態度を総合的に評価する。 評価は、Ａ＝80～100点、Ｂ＝70～79点、Ｃ＝60～69点、Ｄ＝60点未満とする。
教科書・参考書	教科書：なし 参考書・参考資料：ガイダンス時および実習オリエンテーション時に紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　小児ウイルス感染症等の抗体価が基準値に満たない場合は、健康管理で示されている方法でワクチン接種を行っておく。（学生便覧とガイダンス資料，実習要項を確認しておくこと） ２　止むを得ず遅刻・欠席する場合には、事前であれば教学課、当日であれば教学課および実習先に必ず連絡をする。必要書類の提出を求める場合がある。ガイダンスやオリエンテーション時の連絡方法について理解しておく。 ３　単位修得について ⑴　出席時間数が実習時間の５分の４以上であり、実習記録物が期限内に提出された場合に評価の対象とする。 ⑵　ヒューマニティ実習評価表に基づいて自己評価を行う。 ⑶　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ４　実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	［実務］ 地域で暮らす人々と関わりをもつ多様な事業所や施設で、看護師等のさまざまな実務経験をもつ教員等が、実際の活動で体験する内容に沿って教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	コミュニティ実習		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Community Practicum		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 坂本　真理子
准 教 授	佐々木　裕子
准 教 授	白井　裕子
助　　教	伊藤　寿英

科目概要	地域のヘルスプロモーション活動を通じて、人々が自らの健康をコントロールし改善するためには、どのような支援が必要かを考え、実践する。
目標	１　地域の特徴を説明できる。［DP:2］ ２　市民や当事者が主体となる地域や組織内のヘルスプロモーション活動について説明できる。［DP:2］ ３　地域のヘルスプロモーション活動に参加し、住民や当事者の持つ力を実感し、協働して取り組む必要性を学び述べることができる。［DP:1～3］ ４　地域のヘルスプロモーション活動の中で学生としてできる貢献を考え、新たな活動を企画・実践・評価できる。［DP:2,3,5］ ５　住民と共に人々の健康に必要な働きかけについて考え提言ができる。［DP:2,5］ ６　看護倫理をふまえた態度や行動をとることができる。［DP：1］

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	＜１～4日目＞ ヘルスプロモーション活動への参加・計画立案・実践 ・それぞれの実習場所でヘルスプロモーション活動に参加し、市民や当事者と積極的に関わる。 ・各実習場所におけるヘルスプロモーション活動の計画準備・実践を行う。 ・毎日、実習後に、実習カンファレンスと記録のまとめを行う。	実習	１　ガイダンス時に提示された資料を実習までに熟読しておく。 ２　実習前までにヘルスプロモーション論を中心に、既習の内容を復習する。 実習中は毎日１時間程度の予習と復習を行う。 予習：翌日に予定されている実習の内容に応じて学習や情報を収集する。 復習：その日に学習した内容を整理しまとめる。	全員
2	同上	実習		全員
3	同上	実習		全員
4	同上	実習		全員
5	同上	実習		全員
6	同上	実習		全員
7	同上	実習		全員
8	同上	実習		全員

9	同上	実習		全員
10	同上	実習		全員
11	同上	実習		全員
12	同上	実習		全員
13	同上	実習		全員
14	同上	実習		全員
15	同上	実習		全員
16	同上	実習		全員
17	＜５日目＞ 学内実習：学びのまとめと全体共有 ・参加、実践したヘルスプロモーション活動を通じて得た学びを学内で共有する。 ・人々の健康に必要な働きかけについて提言を行う。	実習		全員
18	同上	実習		全員
19	同上	実習		全員
20	同上	実習		全員

評価方法	実習評価は、評価基準に基づき、実習目標の達成状況、実習への取り組み態度を総合的に評価する。 評価は、Ａ（80～100点）、Ｂ（70～79点）、Ｃ（60～69点）、Ｄ（60点未満）とし、Ｃ以上を合格とする。
教科書・参考書	教科書：なし 参考書・参考資料：ヘルスプロモーション論で使用したテキスト及び講義資料。その他はガイダンス時および実習オリエンテーション時に紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　学生便覧とガイダンス資料、実習要項を熟読して実習に臨むこと。 ２　実習ガイダンス及び現地での実習オリエンテーションに参加すること。 ３　やむを得ず遅刻・欠席する場合には、事前であれば教学課および担当教員、当日であれば教学課および実習指導者と担当教員に必ず連絡をする。必要書類の提出を求める場合がある。ガイダンスやオリエンテーション時に連絡方法について理解しておく。 ３　単位修得について ⑴　出席時間数が実習時間の５分の４以上であり、実習記録物が期限内に提出された場合に評価の対象とする。 ⑵　コミュニティ実習評価表に基づいて自己評価を行う。 ⑶　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ４　実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	坂本　真理子　　水曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階教授室１ 佐々木　裕子　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟３階N352研究室 白井　裕子　　月曜日　15：45～17：15　Ｃ棟５階研究室２ 伊藤　寿英　　月曜日　15：45～17：15　看護学部棟２階N251研究室
備考	［実務］ 地域で暮らす人々と関わりをもつ多様な事業所や施設で、看護師等のさまざまな実務経験をもつ教員等が、実際の活動で体験する内容に沿って教育を行う。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	母性看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Practicum: Maternal Nursing Ⅰ		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
助　　教	丸谷　紗穂

科目概要	「親になること」の発達過程にある対象と家族の特徴と発達課題を理解し、ヘルスプロモーションの視点に立った支援と看護師の役割を説明できる。
目標	１　妊娠に伴う生理的変化について情報収集を行い、妊娠が日常生活へ与える影響と母体の適応を説明できる。[DP:１、５] ２　周産期の母子や家族を対象とした健康教育に主体的に参加し、対象と家族のニーズとヘルスプロモーションを促すための支援を説明できる。[DP:１、２] ３　「親になること」の発達過程にある対象と家族の思いに寄り添い、看護学生としてふさわしい態度で実習に参加できる。[DP：１] ４　対象やその家族との関わりの中で、自己の母性・父性意識を発展させ、関連付けることができる。[DP：１] ５　カンファレンスを通じて、母性看護の対象の特徴について考察し、周産期における看護について自身の意見を深めることができる。[DP:２、４、６] ６　看護学生として、敬意と尊敬をもってふさわしい態度と行動をとることができる。[DP:１]

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	1. 実習内容と方法 1）各クールＡ/Ｂに分かれ、１週間の実習を行う。 2）月・木・金は全員で学内実習を行う。 3）火・水は学生３～４名で小グループを編成し、臨地実習を行う。 【臨地実習】 4）妊婦健診を見学し、妊娠に伴う妊婦の身体的・心理的・社会的変化を理解する。 5）妊婦から日常生活についてのお話を伺い、妊娠が母体に与える影響と適応のアセスメントを行う。 6）健康教育や保健指導に参加し、対象のニーズと支援について学ぶ。 7）乳児を育てている対象者からお話を伺い、子育て期の家族の生活や思いを理解する。 【学内実習】 8）自身の母子健康手帳を用いてアセスメントを行い、妊娠に伴う変化と看護の視点を理解する。 9）対象の観察に必要な看護技術を学ぶ。 10）妊婦体験モデルを用いて、妊娠が日常生活に与える影響について学ぶ。 11）身近な出産経験者から「親になること」について話を伺い、親になることについて考察する。 12）学びの発表とテーマカンファレンスから、地域で生活する「親になること」の発達過程にある対象と家族の特徴を理解し、ヘルスプロモーションを高める看護について考察する。 詳細は、別途配布する「令和６年度母性看護学実習Ⅰ実習要項」を参照とする	実習	予習： １　実習前課題および実習ガイダンス時の資料を熟読しておく。 ２　母性看護学各論の教科書巻末にある動画一覧１～９を視聴し、妊婦と新生児をイメージしておく。 ３　実習要項とガイダンス資料をもとに、自陣の実習目標を明確にしておく。 復習： １　実習記録を用いて１日の実習を振り返り、学修したことをまとめる。 ２　翌日の実習目標と計画を立案し、そのために必要な知識及び技術を教科書・参考書を用いて学修する。 ３　実習終了後、母性看護学実習Ⅱに向けて自身の課題をまとめる。 時間制限はしない。	全員

	2. 実習期間 １クールＡ：2024年９月17日(火)～９月20日(金) Ｂ：2024年９月24日(火)～９月27日(金) ２クールＡ：2024年９月30日(月)～10月４日(金) Ｂ：2024年10月７日(月)～10月11日(金) ３クールＡ：2024年10月21日(月)～10月25日(金) Ｂ：2024年10月28日(月)～11月１日(金) ４クールＡ：2024年11月５日(火)～11月８日(金) Ｂ：2024年11月11日(月)～11月15日(金) ５クールＡ：2024年11月18日(月)～11月22日(金) Ｂ：2024年11月25日(月)～11月29日(金) 3. 実習施設 愛知医科大学病院　産婦人科外来 図書館通おかもとマタニティークリニック（長久手市） レディースクリニック　アンジュ（日進市）			
2	同上	実習		全員
3	同上	実習		全員
4	同上	実習		全員
5	同上	実習		全員
6	同上	実習		全員
7	同上	実習		全員
8	同上	実習		全員
9	同上	実習		全員
10	同上	実習		全員
11	同上	実習		全員
12	同上	実習		全員
13	同上	実習		全員
14	同上	実習		全員
15	同上	実習		全員
16	同上	実習		全員
17	同上	実習		全員
18	同上	実習		全員
19	同上	実習		全員
20	同上	実習		全員

評価方法	１　実習期間の５分の４以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。ただし、欠席や遅刻は減点とする。 ２　実習評価は、学生と教員で評価を可視化できるルーブリック評価表を用いる。 ３　実習最終日、実習目標と評価およびルーブリック評価表を用いて、担当教員とフィードバック面談を行う。
教科書・参考書	教科書： 母性看護学Ⅰ、母性看護学Ⅱで使用している教科書、授業資料を参考とする。 参考書： １　荒木奈緒他編（2024）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第６版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） その他、実習中に適宜提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　「母性看護学Ⅰ」の単位を修得していることが履修の前提条件となる。 ⑵　実習要項及び看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 ２　出欠席について ⑴　実習ガイダンスに出席し、実習方法、実習内容等の詳細を把握し、準備をして臨むこと。 ⑵　やむを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 ３　単位取得について ⑴　実習期間の５分の４以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。 ⑵　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ４　その他

	⑴　感染症に対し脆弱な新生児を扱うことから、自身の体調管理には十分留意し、少しでも気になる所見がある場合は自己判断をせず、担当教員に登校前に相談をすること。 ⑵　実習は対象の生活や周産期の実践の場所で行うことから、謙虚に学ぶ姿勢や、誠実な態度と礼儀正しい言葉遣いを心がけ、自主的に挨拶、自己紹介、意思表示を行う。 ⑶　自身の母子健康手帳を用いることから、事前に準備をしておく。なお、紛失等で準備ができない場合は担当教員に事前に相談する。
オフィスアワー	山本　弘江　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 丸谷　紗穂　水曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N367研究室
備考	実習期間に祝日がある場合は、別途ガイダンスで指示する。 ［実務］ 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、周産期（妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期）の母子と家族への看護実践について指導する。またヘルスプロモーションの視点に立って、その家族が社会で健康に生活できるための看護の役割について教育する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	小児看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Practicum: Pediatric Nursing Ⅰ		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 茂本　咲子
准 教 授	深谷　基裕
助　　教	坂川　有希

科目概要	子どもの成長・発達を理解し、その子どもの尊厳を守り、成長・発達を支える家族の関わり、周囲の人の関わり、生活環境から看護の役割を考察する。
目標	１　乳幼児の成長・発達段階における特徴について説明できる。［DP:１・５］ ２　乳幼児のモデルに対して、成長・発達段階に合わせて生活援助技術を安全に実践できる。［DP:１・４・５］ ３　保育施設での子どもの生活活動に主体的に参加し、子どもの成長・発達に応じた自立を促す援助の方向性について説明できる。［DP:１・２］ ４　地域における子どもの健康と安全を守るための環境と支援について説明できる。［DP:１・２・５］ ５　発達途上にある子どもに関わる看護専門職者として子どもの権利を考えた基本的姿勢や倫理的態度で実習に参加できる。［DP:１］ ６　カンファレンスを通じて、小児看護の対象となる子どもと家族の特徴について考察し、対象理解についての自身の考えと今後の課題を論じることができる。［DP:２・４・６］

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１.実習内容と方法 詳細は、別途配布する「令和６年度小児看護学実習Ⅰ実習要項」を参照とする。 ２.実習期間 1週間（5日間）の実習を10の期間に分かれて行う。 １クールＡ：2024年９月17日(火)～９月20日(金) Ｂ：2024年９月24日(火)～９月27日(金) ２クールＡ：2024年９月30日(月)～10月4日(金) Ｂ：2024年10月7日(月)～10月11日(金) ３クールＡ：2024年10月21日(月)～10月25日(金) Ｂ：2024年10月28日(月)～11月1日(金) ４クールＡ：2024年11月５日(火)～11月８日(金) Ｂ：2024年11月11日(月)～11月15日(金) ５クールＡ：2024年11月18日(月)～11月22日(金) Ｂ：2024年11月25日(月)～11月29日(金) ３.1週間（5日間）の実習展開 ・1日目 学内でのオリエンテーション、成長・発達の評価と看護技術演習 ・２・３日目　保育施設 ・４日目 フィールドワーク ・５日目 学内（AMカンファレンス／PMまとめ）	実習	１　実習前に、提示された事前学習課題に取り組む。 ２　講義科目である小児看護学Ⅰの復習をする。 ３　実習中は一日の実習内容を日々振り返り、学習を整理する。 ４　実習終了後は、小児看護学実習Ⅰでの学びを整理し、自己評価を行う。 ５　実習前後で関連ある看護師国家試験の問題に取り組む。	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
2	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕

				坂川　有希
3	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
4	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
5	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
6	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
7	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
8	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
9	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
10	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
11	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
12	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
13	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
14	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
15	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
16	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
17	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
18	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
19	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
20	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希

評価方法	各担当教員により評価を行ったうえで、最終評価は総合的に行う。 評価は、学生と各実習担当教員が実習の目標の到達度を可視化できる共通の評価表を用いて行う。

	学生は、実習終了後、所定の評価用紙に自分の実習内容を振り返り、自己評価を行う。 学生と各実習担当教員で評価表を用いて、最終日に実習のフィードバックを行う。 全ての実習終了後、100点満点に換算したうえでＡ～Ｄの評価を行う。 Ａ＝80～100点、Ｂ＝70～79点、Ｃ＝60～69点、Ｄ＝60点未満とする。
教科書・参考書	教科書： 小児看護学Ｉで使用した教科書、授業資料を参考とする。 １　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学概論　小児臨床看護総論　小児看護学１」、医学書院、第14版、定価3,190円（税込み） ２　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児臨床看護各論　小児看護学２」、医学書院、第14版、定価3,630円（税込み） 参考書： 1　筒井真優美編（2017）：パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護　、照林社、第２版、定価3,630（税込み） その他実習中に、適宜指示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「小児看護学Ｉ」の単位修得が履修の前提条件となる。 ２　小児感染症等の抗体価を確認し、必要な予防接種を含め感染予防に備えておくこと。 ３　止むを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 ４　単位修得について ⑴　実習記録が指定された期限内に提出され、原則として、５分の４以上の出席がある場合に評価の対象とする。 ⑵　遅刻・早退があった場合は、時間数に応じ総合評価からの減点を行う。 ⑶　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。
オフィスアワー	茂本　咲子　　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室７ 深谷　基裕　　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 坂川　有希　　木曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室
備考	［実務］ 小児専門病院、総合病院小児病棟、小児科クリニック等において、看護師として子どもと家族の看護の実務経験がある教員が、子どもの成長・発達及び健康レベルに応じた小児看護の実践について指導する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	老年看護学実習		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum: Gerontological Nursing		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野　朋子
講　　師	横山　剛志
助　　教	中尾　幸世
助　　教	河井　丈幸

科目概要	地域・在宅や施設で暮らす老年期にある人々を全人的に理解し、健康を維持しその人らしい生活を送るための支援について学ぶ。また、高齢者が住み慣れた地域で生活することを継続するために必要なケアシステムと老年看護の役割について理解を深める。
目標	１　地域・在宅や施設で暮らす老年期にある人々を全人的（身体・心理・社会的）に理解し説明できる。「DP：１・２」 ２　老年期にある人々が、健康を維持しその人らしい生活を送るための支援の実践について説明できる。「DP：１・２・５」 ３　老年期にある人々が住み慣れた地域で生活することを継続するために必要なケアシステムについて理解し述べることができる。「DP：２・３」 ４　老年期にある人々の健康維持、生活支援における看護の役割を述べることができる。「DP：３・５」 ５　専門職者として倫理的責務を考え、行動できる。「DP：１」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2024年度老年看護学実習　実習要項」を参照する。 ２　実習期間・スケジュール 実習は、１クール10日間で、１～５クールに分かれて行う。 １クール：2024年９月17日（火）～９月27日（金） ２クール：2024年９月30日（月）～10月11日（金） ３クール：2024年10月21日（月）～11月１日（金） ４クール：2024年11月５日（火）～11月15日（金） ５クール：2024年11月18日（月）～11月29日（金） 【10日間の実習展開】 １日目：学内実習（準備学習、認知症サポーター養成講座受講） ２日目～４日目：臨地実習(介護老人保健施設・病院) ５日目：学内実習（全体像の作成） ６・７日目：臨地実習(介護老人保健施設・病院) ８・９日目：臨地実習（通所介護・通所リハビリテーション施設） 10日目：学内実習（実習まとめ、自己評価、個人面談） 実習前に実施される実習ガイダンスに参加する。	実習	１　実習前までに提示された事前学習課題に取り組む。 ２　実習前までに「老年看護学Ⅰ」「老年看護学Ⅱ」の復習をする。 ３　実習後は、本実習の評価から明らかになった基礎的な知識や看護実践能力の自己課題に取り組む。「老年看護学Ⅱ」の学修で学びを深める。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員

4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員
21	同上	実習	同上	全員
22	同上	実習	同上	全員
23	同上	実習	同上	全員
24	同上	実習	同上	全員
25	同上	実習	同上	全員
26	同上	実習	同上	全員
27	同上	実習	同上	全員
28	同上	実習	同上	全員
29	同上	実習	同上	全員
30	同上	実習	同上	全員
31	同上	実習	同上	全員
32	同上	実習	同上	全員
33	同上	実習	同上	全員
34	同上	実習	同上	全員
35	同上	実習	同上	全員
36	同上	実習	同上	全員
37	同上	実習	同上	全員
38	同上	実習	同上	全員
39	同上	実習	同上	全員
40	同上	実習	同上	全員

評価方法	1　実習記録・レポートが指定された期限内に提出され、５分の４以上の出席がある場合に評価の対象とする。 2　実習要項に基づいて評価する。

教科書・参考書	教科書： 必要に応じて提示する。 参考書： 必要に応じて提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「看護過程論」「老年看護学Ⅰ」の単位を修得していること、および「老年看護学Ⅱ」の単位取得または履修中であること。 ２　実習ガイダンスに出席し、実習要項・配布資料を熟読して実習に臨むこと。 ３　複数の実習施設に分かれて実習を行うため、各自、実習施設･実習スケジュール等を確認のこと。 ４　追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ５　フィードバックについては、看護学実習要項を参照とする。
オフィスアワー	荻野　朋子　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室④ 横山　剛志　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N373研究室 中尾　幸世　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 河井　丈幸　水曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N374研究室
備考	［実務］ 大学病院、高齢者施設、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて構成している。

講義名	基礎看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Practicum: Fundamental Nursing Ⅰ		
科目区分	臨地実習 基礎看護実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	１学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	山本　恵美子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	健康問題を抱える生活者とのコミュニケーションを通して、その人とその生活を理解することを学ぶ。また、その人に必要な日常生活援助について考える基礎的能力を養う。
目標	１　患者の療養生活の実際を説明できる。「DP：１・２・４・５」 ２　患者とふさわしいコミュニケーションをとることができる。「DP：１～４」 ３　患者の療養生活を理解し、既習の学習を活かし生活上の援助が説明できる。「DP：２～６」 ４　行った看護を振り返り、自己の学びや課題に気づくことができる。「DP：５・６」 ５　看護専門職を目指す学生として、看護倫理を踏まえた実習態度を示すことができる。「DP：１・６」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション １　実習内容と方法： 詳細は、別途配付する「2024年度基礎看護学実習Ⅰ要項」を参照とする。 ２　実習場所：愛知医科大学病院 ３　実習期間：実習は１週間で、A・B組に分かれて行う。 １）A組：2024年12月９日(月) ～ 12月13日(金) ２）B組：2024年12月16日(月) ～ 12月20日(月) ４　実習時間：９:00～16:00（休憩１時間） 学内オリエンテーション　担当教員との打ち合わせ　病棟オリエンテーション	実習	予習 １　実習要項を熟読する。 ２　実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 ３　実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメントの復習をする。 復習 １日の実習を振り返り、記録用紙を記載する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
2	病棟オリエンテーション　看護師のシャドーイング　受け持ち患者の決定・紹介	臨地実習	同上	全員
3	看護師のシャドーイング	臨地実習	同上	全員
4	同上 ショートカンファレンス ・ショートカンファレンスを30分間行い、実習指導者および実	臨地実習 ショート	同上	全員

	習担当教員の助言を得る。 ・感じたこと、困ったこと、気づいたことなどを発表し、次の課題を明確にする。	カンファレンス		
5	受け持ち患者担当看護師のシャドーイング　受け持ち患者の看護	臨地実習	予習 受け持ち患者に実施するすべての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復習 １日の実習を振り返り、記録用紙を記載する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
6	同上	臨地実習	同上	全員
7	同上	臨地実習	同上	全員
8	同上	臨地実習 ショートカンファレンス	同上	全員
9	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
10	同上	臨地実習	同上	全員
11	同上	臨地実習	同上	全員
12	同上	臨地実習 ショートカンファレンス	同上	全員
13	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
14	同上	臨地実習	同上	全員
15	同上	臨地実習	同上	全員
16	同上 最終カンファレンス ・次のテーマで30分間行う。 【実習目標を振り返り、患者との関わりを通して学んだこと】を具体的な事例を基に発表し、実習指導者および実習担当教員の助言を得る。	臨地実習 最終カンファレンス	同上	全員
17	まとめ　報告会準備 　実習を通した学びをグループでまとめる。	学内実習	実習での学びをまとめる。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
18	同上	学内実習	同上	全員
19	実習報告会 　実習を通した学びを発表する。また、他のグループの学びを知ることにより，自己の学びを深める。	学内実習	同上	全員
20	同上	学内実習，面談	同上	全員

評価方法	１　目標達成状況、実習記録、実習態度、出席状況を総合して評価する。 ２　実習出席日数が５分の４に満たない者は、評価対象とならない。 ３　評価基準は「2024年度看護学実習要項　基礎看護学実習Ⅰ」に準拠する。
教科書・参考書	教科書：「基礎看護技術Ⅰ」「ヘルスアセスメント」で使用した書籍 参考書：必要時適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　小児感染症等の抗体価を確認し、感染予防に備えておくこと。 ２　止むを得ず遅刻・欠席する場合には、教学課に必ず連絡をする。その場合、遅延証明書や診断書等、証明するものを提示する。 ３　単位習得について ⑴　出席時間数が実習時間の５分の４以上の場合に評価対象とする。 ⑵　基礎看護学実習評価表に基づいて自己評価を行う。 ⑶　記録類の提出期限に遅れると、評価対象としない場合がある。 ４　追実習・再実習については「2024年度看護学実習要項　共通事項」に準拠する。

	６　フィードバックの方法 　　実習中はカンファレンスや記録物等を通して実習内容をフィードバックする。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室
備考	１　実習要項を熟読する。 ２　実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 ３　実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメントの復習をする。 ［実務］ 大学病院において、看護師としての実務経験をもつ教員等が、実際の看護活動の体験を通じた指導を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	基礎看護学実習Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum: Fundamental Nursing Ⅱ		
科目区分	臨地実習 基礎看護実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 山中　真
臨床教授	坂田　久美子
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授	山幡　朗子
准 教 授	山本　恵美子
助　　教	志水　己幸
助　　教	板津　良

科目概要	健康問題を抱える対象者と信頼関係を築き、対象の健康状態に応じた日常生活を中心とした看護を展開する。対象のアセスメントを行い、全体像をとらえながら看護計画を立案し、計画に基づいた看護実践及び評価をすることを学習する。
目標	１　受け持ち患者と信頼関係を築くことができる。「DP：１～４」 ⑴　受け持ち患者に関心を持って接することができる。 ⑵　受け持ち患者の気持ちや感情に目を向け、患者を理解することができる。 ⑶　援助者としての態度や言動に気づくことができる。 ２　受け持ち患者の健康上の問題が、日常生活に与える影響について説明することができる。「DP：１～５」 ⑴　受け持ち患者の日常生活についての情報を、収集することができる。 ⑵　受け持ち患者の健康上の問題が生活行動に及ぼす影響について、分析することができる。 ⑶　得られた情報を関連付けて、受け持ち患者の全体像を描くことができる。 ⑷　受け持ち患者の看護問題を明らかにすることができる。 ３　受け持ち患者の個別性に合わせ、日常生活を中心とした看護計画を立案できる。「DP：１～５」 ⑴　受け持ち患者の看護問題を解決するための、具体的な看護目標を設定することができる。 ⑵　目標を達成するための、個別性のある看護計画を立案することができる。 ４　計画に基づき、安全・安楽・自立を考えた看護援助を実施し、評価できる。「DP：１～５」 ⑴　安全・安楽・自立を考えた看護援助を実施できる。 ⑵　実施した看護援助を評価し、計画を修正することができる。 ５　行った看護を振り返り、自己の学びを深めることができる。「DP：５・６」 ⑴　実習における学びをカンファレンス、報告会などで他者に伝達できる。 ⑵　実習を振り返り課題レポートにまとめることで、自己の学びを深めることができる。 ６　看護専門職者を目指す学生として、倫理的配慮に基づいた行動をとることができる。「DP：１・６」 ⑴　ICNおよび日本看護協会の倫理綱領を遵守した看護を、実践することができる。 ①　看護の対象となる人の尊厳、および敬意のこもった看護を受ける権利を尊重することができる。 ②　守秘義務を遵守し、個人情報の保護に努めることができる。 ⑵　看護学生としてふさわしい態度・実習姿勢を心がける。 ①　主体的・積極的な行動をとることができる。 ②　報告・相談・連絡をすることができる。 ③　協調性のある態度がとれる。 ④　身だしなみが整い、礼節のある態度がとれる。 ⑤　実習期間中を通し、日々の記録物を期限内に提出する。

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員

1	オリエンテーション １　実習内容と方法： 　詳細は、別途配布する「2024年度基礎看護学実習Ⅱ要項」を参照とする。 ２　実習場所：愛知医科大学病院 ３　実習期間：実習は１クール２週間で、１・２クールに分かれて行う。 　１）１クール：　2024年7月1日(月)～7月12日(金) 　２）２クール：　2024年7月16日(火)～7月29日(月) ４　実習時間：９:00～16:00（休憩１時間）	実習	予習 １　実習要項を熟読する。 ２　実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 ３　実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメント、看護過程論，基礎看護学実習Ⅰの復習をする。 復習 １日の実習を振り返り、記録用紙を記載する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
2	オリエンテーション 受け持ち患者の決定・紹介	臨地実習	同上	全員
3	受け持ち患者担当看護師のシャドーイング（受け持ち患者の情報収集）	臨地実習	同上	全員
4	受け持ち患者担当看護師のシャドーイング（受け持ち患者の情報収集） カンファレンス	臨地実習	同上	全員
5	受け持ち患者の看護	臨地実習	予習 受け持ち患者に実施するすべての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復習 １日の実習を振り返り、記録用紙を記載する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
6	同上	臨地実習	同上	全員
7	同上	臨地実習	同上	全員
8	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
9	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
10	同上	臨地実習	同上	全員
11	同上	臨地実習	同上	全員
12	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
13	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
14	同上	臨地実習	同上	全員
15	学内実習： １　受け持ち患者の状況に合わせた看護過程の展開の充実（アセスメント内容の検討） ２　受け持ち患者の状況に合わせた援助技術の練習	学内実習	同上	全員
16	同上	学内実習	同上	全員
17	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
18	同上	臨地実習	同上	全員
19	同上	臨地実習	同上	全員
20	同上 中間カンファレンス：テーマを「受け持ち患者の全体像と看護の方向性」とし、資料（全体像（関連図））を作成して発表・ディスカッションし、実習指導者および担当教員から指導助言を受ける。 面談１：実習の中間における自己評価を行い、教員と面談を行う。	臨地実習、中間カンファレンス、面談１（中間）	同上	全員

21	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
22	同上	臨地実習	同上	全員
23	同上	臨地実習	同上	全員
24	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
25	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
26	同上	臨地実習	同上	全員
27	同上	臨地実習	同上	全員
28	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
29	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
30	同上	臨地実習	同上	全員
31	同上	臨地実習	同上	全員
32	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
33	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
34	同上	臨地実習	同上	全員
35	同上	臨地実習	同上	全員
36	同上 最終カンファレンス：テーマを「行った看護の振り返り」とし、資料（行った看護の振り返り）を作成して発表・ディスカッションし、実習指導者および担当教員から指導助言を受ける。	臨地実習、最終カンファレンス	同上	全員
37	実習のまとめ・報告会準備（学びの共有を行うため、グループで実習の学びをまとめる。報告会でプレゼンテーションできるよう準備する。）	学内実習	実習での学びをまとめ、レポートを作成する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
38	同上	学内実習	同上	全員
39	実習報告会（他のグループと実習における学びを共有し，ディスカッションする。）	学内実習	同上	全員
40	同上 面談２：実習における自己評価を行い、教員と面談を行う。	学内実習、面談２（最終）	同上	全員

評価方法	以下の１～４を総合して、評価を行う。なお、評価基準は「2024年度基礎看護学実習Ⅱルーブリック評価表」に準拠する。 １　出席状況：実習時間の５分の４以上の出席をもって評価対象とする。 ２　実習記録 ３　実習内容・態度 ４　課題レポート
教科書・参考書	教科書： 「基礎看護技術Ⅰ」「ヘルスアセスメント」「看護過程論」で使用した教科書。 参考書： 必要時適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　この実習は、以下の科目の単位を全て修得していなければ履修できない。 ⑴　基礎看護技術Ⅰ ⑵　基礎看護学実習Ⅰ ⑶　ヘルスアセスメント ⑷　看護過程論 ２　小児感染症等の抗体価を確認し、感染予防に備えておくこと。 ３　止むを得ず遅刻・欠席する場合には、教学課に必ず連絡をする。その場合、遅延証明書や診断書等、証明するものを提示する。 ４　単位習得について ⑴　出席時間数が実習時間の５分の４以上の場合に評価対象とする。

	⑵　基礎看護学実習Ⅱルーブリック評価表に基づいて自己評価を行う。 ⑶　記録類の提出期限に遅れると、評価対象としない場合がある。 ５　追実習・再実習については「看護学実習要項　2024年度共通事項」に準拠する。 ６　フィードバックの方法 　実習中はカンファレンスや記録物等を通して実習内容をフィードバックする。
オフィスアワー	山中　真　　月曜日　16：30～18：30　看護学部棟２階N252研究室 坂田　久美子　火曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N255研究室 篠田　かおる　水曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 山幡　朗子　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N353研究室 山本　恵美子　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟３階N351研究室 板津　良　　月曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階N454研究室 志水　己幸　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N256研究室
備考	１　実習要項を熟読する。 ２　実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 ３　実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメント、看護過程論、基礎看護学実習Ⅰの復習をする。 ［実務］ 大学病院において、看護師としての実務経験をもつ教員等が、患者と信頼関係の構築や看護過程の展開について、実際の看護活動の体験を通じた指導を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	形態機能学実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Practicum: Anatomy and Physiology		
科目区分	臨地実習 基礎看護実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	２学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 黒澤　昌洋
教　　授	三浦　裕次
教　　授(兼　医学部)	内藤　宗和
准 教 授	篠田　かおる
准 教 授(兼　医学部)	畑山　直之
講　　師	上坂　真弓
講　　師(兼　医学部)	福重　香
助　　教	伊藤　真規
助　　教(兼　医学部)	梅本　佳納榮
助　　教(兼　医学部)	単　西瑶
助　　教(兼　医学部)	竹内　堂朗
助　　教(兼　医学部)	大久保　友人
助　　教(兼　医学部)	玉置　優貴
助　　教(兼　医学部)	後藤　瑛一
講　　師(非)	河村　諒

科目概要	人体の構造及び機能を看護の視点から理解し、そのことが根拠のある看護を実践する基盤となることを学ぶ。また、看護専門職を目指す学生としての自覚を持ち、看護の倫理と人間の尊厳についての理解を深める。
目標	1　人体の構造及び機能をフィジカルアセスメントの視点から説明できる。[DP：2・5] 2　人体の構造及び機能を日常生活行動の視点から説明できる。[DP：2・5] 3　人体の構造及び機能から看護の必要性について討議できる。[DP：2・5] 4　看護の対象としての人間に対する尊厳について討議できる。[DP：1] 5　看護専門職を目指す学生としてふさわしい態度で実習に臨むことができる。[DP：6]

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	【実習ガイダンス】 (1)看護学実習の目的、実習の構成、実習計画と実習単位 (2)形態機能学実習の目的、目標、方法、評価 (3)形態機能学実習の進め方 ①骨学実習 ②組織学実習 ③肉眼解剖実習 ④学習発表会・まとめ	実習	【事前学習】 ・実習要項及び形態機能学実習の手引きを読む。 【事後学習】 ・実習に向けて、事前学習課題に取り組む。	内藤　宗和 黒澤　昌洋 篠田　かおる 上坂　真弓 伊藤　真規

	(4)人体の構造と機能の振り返り (5)誓約書の記載			
2	同上	実習	同上	同上
3	【骨学実習】 (1)目標 ・標本を用いて、骨の構造を説明できる。 ・骨の構造をフィジカルアセスメントの視点から説明できる。 ・骨の構造を日常生活行動の視点から説明できる。 ・骨の構造から看護の必要性を説明できる。 (2)内容・方法 ①骨標本を用いての構造の確認 ・骨格標本を用いて、骨の構造を確認する。グループごとに骨標本を用いて、骨の構造・特徴を確認しながら組み立てる。 ・頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤、上肢、下肢 ・フィジカルアセスメント、日常生活行動及び看護の視点から骨の構造を確認する。 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ：「骨学実習での学び」「フィジカルアセスメント及び日常生活行動の視点から考える骨の構造」	実習	【事前学習】 ・骨の構造に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	篠田　かおる 梅本　佳納榮 単　西瑶 三浦　裕次 黒澤　昌洋 上坂　真弓 伊藤　真規
4	同上	実習	同上	同上
5	【組織学実習】 (1)目標 ・組織標本を用いて、組織（血液）の構造を説明できる。 ・組織（血液）の検査データの解釈を説明できる。 ・組織の機能をフィジカルアセスメントの視点から説明できる。 ・組織の機能を日常生活行動の視点から説明できる。 ・組織の機能から看護の必要性を説明できる。 (2)内容・方法 ①血液塗抹標本の作製と観察 ・採血を行い、組織標本を作製する。 ・顕微鏡で、事前学習を参考に血液の構造を観察する。 ・赤血球、白血球（好中球、好酸球、好塩基球、リンパ球、単球）、血小板 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ：「組織（血液）の検査データの解釈」「フィジカルアセスメント及び看護の視点から考える組織の機能」	実習	【事前学習】 ・組織（血液）の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	黒澤　昌洋 福重　香 竹内　堂朗 後藤　瑛一 三浦　裕次 篠田　かおる 上坂　真弓 伊藤　真規
6	同上	実習	同上	同上
7	同上	実習	同上	同上
8	同上	実習	同上	同上
9	【肉眼解剖実習】 (1)目標 ・解剖体から臓器の構造を説明できる。 ・臓器の構造及び機能をフィジカルアセスメントの視点から説明できる。 ・臓器の構造及び機能を日常生活行動の視点から説明できる。 ・臓器の構造及び機能から看護の必要性を説明できる。 (2)内容・方法 ①講義「死の尊厳とご献体について考える」 ・グループディスカッション及び発表：尊厳とご献体について考える テーマ：「献体をされたご本人及びご遺族はどのような気持ちなのか」「献体されたご本人及びご遺族の尊厳を守るために、私たちはどのような姿勢で肉眼解剖実習に臨むか」	実習	【事前学習】 ・臓器の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	黒澤　昌洋 篠田　かおる 上坂　真弓 伊藤　真規
10	同上	実習	同上	同上
11	【肉眼解剖実習①】 (1)内容・方法 ①解剖体から臓器の構造を確認 ・解剖学及び看護学部教員の指導のもと、ご献体の解剖体から臓器の構造を確認する。 ・皮膚、骨格、筋 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ：「肉眼解剖実習に参加して感じたこと，考えたことは何か」「肉眼解剖実習は、看護を学ぶ上でどのような意味があるか」	実習	【事前学習】 ・臓器の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	黒澤　昌洋 畑山　直之 玉置　優貴 三浦　裕次 篠田　かおる 上坂　真弓 伊藤　真規

12	同上	実習	同上	同上
13	【肉眼解剖実習②】 (1)内容・方法 ①解剖体から臓器の構造を確認 ・解剖学及び看護学部教員の指導のもと、ご献体の解剖体から臓器の構造を確認する。 ・呼吸器、循環器 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ：「フィジカルアセスメント及び日常生活行動の視点から考える臓器の構造及び機能」	実習	【事前学習】 ・臓器の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	伊藤　真規 大久保　友人 単　西瑶 三浦　裕次 黒澤　昌洋 篠田かおる 上坂　真弓 河村　諒
14	同上	実習	同上	同上
15	【肉眼解剖実習③】 (1)内容・方法 ①解剖体から臓器の構造を確認 ・解剖学及び看護学部教員の指導のもと、ご献体の解剖体から臓器の構造を確認する。 ・腹部、神経系、採血・静脈路確保・筋肉注射部位 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ：「フィジカルアセスメント及び日常生活行動の視点から考える臓器の構造及び機能」	実習	【事前学習】 ・臓器の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	上坂　真弓 玉置　優貴 後藤　瑛一 三浦　裕次 黒澤　昌洋 篠田　かおる 河村　諒
16	同上	実習	同上	同上
17	【グループディスカッション】 ・人体の構造及び機能から考える看護の必要性	実習	【事前学習】 ・学習発表会に向けて実習記録を整理する。 【事後学習】 ・学習発表会の資料を準備する。	篠田　かおる 黒澤　昌洋 上坂　真弓 伊藤　真規
18	同上	実習	同上	同上
19	【学習発表会】 ・グループごとに下記のテーマについてまとめ、発表する。 ・身体の構造及び機能から考える看護の必要性	実習	【事前学習】 ・学習発表会の資料を準備する。 【事後学習】 ・実習記録及び学習発表会の内容を整理し、最終レポートを作成する。	篠田　かおる 黒澤　昌洋 上坂　真弓 伊藤　真規
20	同上	実習	同上	同上

評価方法	１　評価は、目標達成状況、事前学習課題、実習記録、学習会発表会プレゼンテーション、最終レポート、出欠席、実習態度を総合的に評価する。 ２　評価は、科目担当教員により評価を行う。 ３　学生と科目担当教員が実習目標の到達度を可視化できるルーブリック評価等を用いて、評価を行う。 ４　学生と科目担当教員でルーブリック評価等を用いて、実習のフィードバックを行う。 ５　評価は、Ａ＝80～100点、Ｂ＝70～79点、Ｃ＝60～69点、Ｄ＝60点未満とする。
教科書・参考書	教科書 坂井建雄、岡田隆夫（2019）、「系統看護学講座」準拠　解剖生理学ワークブック、医学書院、東京参考書 ・形態機能学ⅠⅡ、ヘルスアセスメント、基礎看護技術ⅠⅡの教科書及び講義資料を参照する。 ・その他、実習中に適宜提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　単位修得について ・実習期間の５分の４以上の出席がある、所定の提出物が指定期限内に提出された場合に評価の対象とする。 ・追実習、再実習については、実習要項「共通事項」に準じる。 ２　実習中の注意事項について ・実習にあたっては、誓約書の記載を行う。 ・その他の注意事項については、実習要項「共通事項」及び形態機能学実習の手引きに準じる。 ３　実習前事前学習について ・形態機能学ⅠⅡ、ヘルスアセスメント、基礎看護技術ⅠⅡで学習をした内容を踏まえて実習を展開する。よって、これまでの学習内容を復習して実習に臨むこと。
オフィスアワー	黒澤　昌洋　　月曜日　　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室③ 三浦　裕次　　月・水・金曜日　9：00～17：00　Ｃ棟７階教授室８ 　Email：ymiura@aichi-med-u.ac.jp　（面談の重複を避けるためメールでアポイントを取ることが望ましい。） 篠田　かおる　水曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N257研究室 上坂　真弓　　月曜日　　16：30～18：00　看護学部棟２階N253研究室 伊藤　真規　　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 他の講師　実習に関する質問・相談等は実習時間前後に対応する。

備考	実習日程は、時間割を参照する。 ［実務］ 実習に当たっては、看護学部の医師・看護師として実務経験のある教員が、看護を実践する基盤となる人体の構造及び機能を、看護の視点から指導する。また、医学部解剖学講座の解剖学を専門とする医師等の教員が、解剖学的視点から指導する。 ［最新の知見］ 総合的な形態機能学実習を行っている大学は殆どなく、先進的な取り組みである。講義で学んだ人体の構造及び機能を、看護の必要性につながるように学習する。

講義名	成人看護学実習Ⅰ(急性期看護)		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum: Adult Nursing Ⅰ(Acute Care Nursing)		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
講　　師	◎ 佐藤　ゆかり
准 教 授	林　さえ子
助　　教	伊藤　真規
助　　教	森本　直樹

科目概要	健康状態の急激な変化が、成人期・老年期の対象者に及ぼす影響について多面的に理解し、疾病や治療による対象者の心身の侵襲が最小限となり、回復力を最大限にする看護について実践を通して学修する。
目標	１．急性期（周術期）にある対象の心理、全身状態・病態及び治療方法を理解し看護の方向性を検討できる。「DP:1・5」 ２．侵襲による生体の変化をアセスメントし、科学的根拠に基づく合併症予防のための看護が提供できる。「DP: 1・5」 ３．形態・機能の変化が心理面や日常生活に及ぼす影響をアセスメントし、対象の意思を尊重しながらその人らしく回復するプロセスを支援できる。「DP: 1・2・5」 ４．実践の振り返りをとおして、医療チームの一員である看護専門職者としての自己のあり方を省察し、看護の質の向上に向け自己研鑽ができる。「DP: 1～3・5・6」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション １．教員及び実習指導者の下に、下記の要領で実習を行う。 ２．実習方法・内容の詳細は、「2024年度実習要項」を参照すること。 (1)実習期間： 1クール：2024年10月７日（月）～10月18日（金） 2クール：2024年10月21日（月）～11月１日（金） 3クール：2024年11月11日（月）～11月22日（金） 4クール：2024年11月25日（月）～12月６日（金） (2)実習場所：愛知医科大学病院外科系病棟、および状況に応じ手術室・GICUで見学・実習を行う。 (3)実習方法：5名程度のグループを編成し、原則1名の患者を受け持つ。 【実習スケジュール】 1日目 AM ：オリエンテーション PM ：受け持ち患者紹介など 2日目以降：受け持ち患者の治療・回復過程に沿った看護過程の展開（見学・実践）を行う。 最終日 ：学内でまとめを行う。 AM ：全グループによるカンファレンス PM ：個人面談　学習内容のまとめ	実習	1. 実習前までに実習ガイダンスで指示された事前学習課題に取り組む。 2. 2学年次の講義科目「成人看護学Ⅰ」と3学年次講義科目「成人看護学Ⅱ」の復習をする	全員

2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員
21	同上	実習	同上	全員
22	同上	実習	同上	全員
23	同上	実習	同上	全員
24	同上	実習	同上	全員
25	同上	実習	同上	全員
26	同上	実習	同上	全員
27	同上	実習	同上	全員
28	同上	実習	同上	全員
29	同上	実習	同上	全員
30	同上	実習	同上	全員
31	同上	実習	同上	全員
32	同上	実習	同上	全員
33	同上	実習	同上	全員
34	同上	実習	同上	全員
35	同上	実習	同上	全員
36	同上	実習	同上	全員
37	実習のまとめ	実習	同上	全員
38	同上	実習	同上	全員
39	同上	実習	同上	全員
40	同上	実習	同上	全員

評価方法	実習期間の５分の４以上の出席があり、実習記録物が指定時間内に提出された場合、評価の対象とする。 評価基準は実習要項に準拠する。
教科書・参考書	教科書： 成人看護学Ⅱで使用した教科書を使用する。 参考書： 実習中、病棟の特徴、受け持ち患者により、随時紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「成人看護学Ⅱ」の単位修得が履修の前提条件となる。 ２　実習ガイダンスは、実習の一環であるため必ず出席すること。 ３　やむを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとること。必要に応じて診断書等、欠席を証明するものの提示を求める場合もある。 ４　本実習は成人看護学Ⅰ・Ⅱ、クリティカルケア論と連動しているため、講義資料をよく復習して実習に臨むこと。 ５　単位修得について ⑴　実習の出席は５分の４以上を満たしている場合に、評価対象とする。 ⑵　追・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ⑶　連絡なく指定期日までに実習記録の提出がない場合、再実習の対象になる。 ６　実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	佐藤　ゆかり　水・木曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N453研究室 林　さえ子　水・金曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N361研究室 伊藤　真規　水・木曜日　16：20～18：00　看護学部棟４階N454研究室 森本　直樹　水・木曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N369研究室
備考	［実務］ 大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力、また、潜在化している倫理的課題を考えつつ専門職としての看護の役割・機能について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護)		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum: Adult Nursing Ⅱ(Chronic Care Nursing)		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 森　莉那
教　　授	谷口　千枝
助　　教	中村　純江

科目概要	生活調整の必要な対象者を総合的に理解し、対象者が病気や障害と折り合いを付けた社会生活を多職種とともに再構築できるような看護を考え実践する。
目標	１　生活調整の必要な対象者の特徴と看護実践について、実習経験を通して説明できる［DP：１～５］ ２　生活調整の必要な対象者の情報から健康課題をアセスメントし、対象者の全体像を把握できる［DP：１～４］ ３　生活調整の必要な対象者の個別性を重視し、根拠に基づいた看護を計画し実践できる［DP：１～５］ ４　専門職者の一員として、看護倫理を踏まえた態度を示すことができる［DP：１・３］

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	実習オリエンテーション １．実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2024年度成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護)実習要項」を参照とする。 ２．実習場所 愛知医科大学病院 ３．実習期間 実習は１クール２週間で1～4クールに分かれて行う。 １クール：2024年10月７日(月)～10月18日(金)９日間 ２クール：2024年10月21日(月)～11月１日(金)10日間 ３クール：2024年11月11日(月)～11月22日(金)10日間 ４クール：2024年11月25日(月)～12月６日(金)10日間 ※事前に実施される実習ガイダンスには必ず参加すること	実習	予：実習要項を熟読する。 事前学習課題や配置された実習病棟に関連した代表的な疾患等について学修しておく。 復：受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。時間制限はしない。	全員
2	臨地実習	実習	予：受けもち対象者に実施する全ての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復：１日の実習を振り返り、受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。	全員
3	同上	実習	同　上	全員
4	同上	実習	同　上	全員
5	同上	実習	同　上	全員
6	同上	実習	同　上	全員
7	同上	実習	同　上	全員

8	同上	実習	同　上	全員
9	同上	実習	同　上	全員
10	同上	実習	同　上	全員
11	同上	実習	同　上	全員
12	同上	実習	同　上	全員
13	情報の整理・分析 課題の抽出・目標の決定	学内実習	予：これまでの実習を振り返り、評価基準に従い客観的に自己評価する。 復：全体像を統合し、取り組む課題の決定と看護目標を立案する。	全員
14	同上	学内実習	同　上	全員
15	同上	学内実習	同　上	全員
16	同上	学内実習	同　上	全員
17	臨地実習	実習	予：受けもち対象者に実施する全ての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復：１日の実習を振り返り、受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。	全員
18	同上	実習	同　上	全員
19	同上	実習	同　上	全員
20	同上	実習	同　上	全員
21	同上	実習	同　上	全員
22	同上	実習	同　上	全員
23	同上	実習	同　上	全員
24	同上	実習	同　上	全員
25	同上	実習	同　上	全員
26	同上	実習	同　上	全員
27	同上	実習	同　上	全員
28	同上	実習	同　上	全員
29	同上	実習	同　上	全員
30	同上	実習	同　上	全員
31	同上	実習	同　上	全員
32	同上	実習	同　上	全員
33	同上	実習	同　上	全員
34	同上	実習	同　上	全員
35	同上	実習	同　上	全員
36	同上	実習	同　上	全員
37	実習のまとめ 実習について振り返り、個別にフィードバックを行う	学内実習	予：これまでの実習を振り返り、評価基準に従い客観的に自己評価する。	全員
38	同上	学内実習	同　上	全員
39	実習記録及び最終レポートの作成	学内実習	同　上	全員

40	同上	学内実習	同　上	全員

評価方法	実習目標に準じた自己評価基準に則り、実習記録、レポートの内容、実習への取り組みについて総合的に評価する。 レポート(25%)、看護実践・倫理、実習記録(75%)
教科書・参考書	教科書： 「成人看護学Ⅰ・Ⅲ」で使用した教科書を使用する。 参考書： 授業中に配付した資料。実習中、必要に応じて紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴　「成人看護学Ⅰ」および「成人看護学Ⅲ」の単位修得が履修の前提条件となる。 ⑵　実習要項および看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 ⑶　成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護)ガイダンスは、実習の一環であるため必ず出席すること。 ⑷　実習に関連した実技練習は、N306実習室において指定された日時で自主学習を行うことができる。 ２　単位修得について ⑴　実習日数の５分の４以上の出席と実習記録が指定時間内に提出された場合に評価の対象となる。 ⑵　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ３　実習のフィードバックについて 実習時間内に記録物やカンファレンスを通してその都度フィードバックを行う。 実習終了後は、個人面談において個別に実習を振り返り、フィードバックを行う。 実習の自己評価表は各自ポートフォリオに保存しておくこと。
オフィスアワー	谷口　千枝　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N451研究室 森　莉那　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟２階N254研究室 中村　純江　月曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N370研究室
備考	［実務］ 大学病院等において、看護師としての実務経験をもつ教員等が、臨床現場等で生活調整の必要な対象者の総合的な特性を理解し、健康課題に対応した看護計画の立案と実践および臨床から地域への退院支援における多職種連携・協働の実践について教育する。 本実習は成人看護学Ⅰ・成人看護学Ⅲの講義内容と連動しているため、講義資料を実習に活用すること。 本実習は、最新の臨床知見に基づいて実習が構成されている。

講義名	精神看護学実習		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum: Psychiatric and Mental Health Nursing		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 心光　世津子
助　　教	小久保　知由起
助　　教	松井　陽子

科目概要	精神障害をもつ人が体験している生きにくさについて、その人の生活上の文脈において理解し、その人がその人らしく生きるための援助として、自らをケアの道具として最大限に活かし、対象と関わることを学ぶ。
目標	１　精神障害をもつ人が日常生活を送る上で抱えている課題や体験している生きにくさを述べることができる。「DP:１～３・５」 ２　対象の希望やこれまでの生活上の文脈からその人にとっての回復（リカバリー）についてのイメージを描き、その人のもつストレングスやレジリエンスに着目した援助の方向性を説明することができる。「DP:１・２・５」 ３　対象と関わる中で生じた自らの気持ちを言語化し、患者ー看護者の治療的関係の視点からやりとりを解釈し、考察したことを実践に活かすことができる。「DP:１・５」 ４　治療的環境が、精神障害をもつ人にどのような相互作用を生み出しているのかを捉え、そうした場を作り出す一員として、自らの役割を意識して行動することができる。「DP:１～３・５」 ５　精神障害をもつ人々を取り巻く環境及び支援の現状について、対象の立場に立って考え、今後の課題を考察することができる。「DP:１～３・５・６」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2024年度精神看護学実習要項」を参照とする。 ２　実習期間 各クールの実習は２週間とし、全体で４クールの実習を展開する。 第１クール：10月7日(月)～10月18日(金) 第２クール：10月21日(月)～11月1日(金) 第３クール：11月11日(月)～11月22日(金) 第４クール：11月25日(月)～12月6日(金)	実習	１　実習ガイダンス時に提示された事前学習課題に取り組む。 ２　実習開始までに、精神看護学Ⅰ及び精神看護学Ⅱの授業資料をよく読む。 ３　実習期間中は、実習終了時に実習記録を用いて一日の学びを振り返り、翌日の実習に必要な知識及び技術を教科書・参考書を用いて予習する。 ４　実習開始前と実習終了後に、看護師国家試験問題集から精神看護学の関連問題に取り組む。 ５　時間制限はしない。	全員
2	同　　上	実習	同上	全員
3	同　　上	実習	同上	全員
4	同　　上	実習	同上	全員
5	同　　上	実習	同上	全員

6	同　　上	実習	同上	全員
7	同　　上	実習	同上	全員
8	同　　上	実習	同上	全員
9	同　　上	実習	同上	全員
10	同　　上	実習	同上	全員
11	同　　上	実習	同上	全員
12	同　　上	実習	同上	全員
13	同　　上	実習	同上	全員
14	同　　上	実習	同上	全員
15	同　　上	実習	同上	全員
16	同　　上	実習	同上	全員
17	同　　上	実習	同上	全員
18	同　　上	実習	同上	全員
19	同　　上	実習	同上	全員
20	同　　上	実習	同上	全員
21	同　　上	実習	同上	全員
22	同　　上	実習	同上	全員
23	同　　上	実習	同上	全員
24	同　　上	実習	同上	全員
25	同　　上	実習	同上	全員
26	同　　上	実習	同上	全員
27	同　　上	実習	同上	全員
28	同　　上	実習	同上	全員
29	同　　上	実習	同上	全員
30	同　　上	実習	同上	全員
31	同　　上	実習	同上	全員
32	同　　上	実習	同上	全員
33	同　　上	実習	同上	全員
34	同　　上	実習	同上	全員
35	同　　上	実習	同上	全員
36	同　　上	実習	同上	全員
37	同　　上	実習	同上	全員
38	同　　上	実習	同上	全員
39	同　　上	実習	同上	全員
40	同　　上	実習	同上	全員

評価方法	参加状況・姿勢：30%、課題への取り組み：30%、実習目標の到達：40%
教科書・参考書	教科書： １　武井麻子：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[1]精神看護の基礎」、医学書院、第６版（2021/2）、定価2,530円（税込み） ２　武井麻子：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[2]精神看護の展開」、医学書院、第６版（2021/2）、定価2,530円（税込み）

	３　野中浩幸、心光世津子、乾富士男（編）：精神看護学実習ポケットブック、第２版、精神看護出版（2019/4）、定価2,200円（税込み） 参考書： 適宜、紹介する ＊　学習内容に必要な文献は、各自で広く収集すること。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「精神看護学Ⅱ」の単位を修得していること。 ２　実習前ガイダンスに出席すること。 ３　単位認定には５分の４以上出席すること。 ４　追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 その他、別途配付する「2024年度精神看護学実習要項」を参照すること。 ５　実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	心光　世津子　　金曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室２ 小久保　知由起　月曜日　16：30～18：00　基礎科学棟３階N371研究室 松井　陽子　　月曜日　16：30～18：00　看護学部棟４階N452研究室
備考	［実務］ 精神科病棟等において、看護師としての実務経験のある教員が、精神障害をもつ人の生きにくさをその人の生活上の文脈から理解すること、その人がその人らしく生きるための支援の方法、及び自らをケアの道具として最大限に生かし、対象を援助することについて指導する。 最新の知見を取り入れて実習指導をしている。

講義名	母性看護学実習Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Practicum: Maternal Nursing Ⅱ		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
准 教 授	◎ 山本　弘江
助　　教	丸谷　紗穂

科目概要	周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)の母子と家族の特性を理解し、ヘルスプロモーションの視点に立って、その家族が社会で健康に生活できるための看護を考え、実践する。
目標	１　対象（妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児）の特性を理解し、健康の増進又は健康逸脱からの回復過程を支援するための計画を立案・実践・評価できる。［DP：１・４～６］ ２　児の誕生にともなう対象と家族の生活や発達課題を理解し、家族を含めた適切な看護について検討できる。［DP：１・２・５］ ３　対象とその家族をとりまく社会的・文化的背景をふまえた退院後の継続的な支援の重要性を理解し、多(他)職種や地域との連携・協働及び看護が担うべき役割を説明できる。［DP：２～５］ ４　ヘルスプロモーションの視点に立って、対象に寄り添い、看護学生としてふさわしい態度で主体的に実習に参加できる。［DP：１・２］ ５　母子保健に関連する法規や制度を理解し、母子及び家族支援のための社会資源の活用を説明できる。［DP：２～４］ ６　母性看護領域における対象の権利と保護をふまえた看護を実践できる。［DP：１・２・４］ ７　カンファレンスを通して、母性看護について考察し、自分の意見を論じることができる。［DP：３・６］ ８　看護専門職者として守るべき看護倫理を理解し、看護者として必要な資質をもって参加できる。［DP：１］

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	1. 実習内容と方法 1）原則、学生２名ペアで産褥期の母子１組を受け持つ。 2）受け持ち対象者をアセスメントするために必要な情報収集を行い、個別性をふまえた看護計画を立案する。 3）産褥期の看護に関する知識・技術について習得し、対象に対して安全・安楽に実践する。 4）看護計画に基づいて、受け持ち対象者のヘルスプロモーションに働きかける支援を行う。 5）帝王切開術後の対象を受け持った場合、術後回復過程の看護を展開する。 6）受け持ち対象者の集団または個別指導に参加し、退院後の生活をふまえた看護を考察する。 7）受け持ち対象者の母子と家族が退院後、健康に生活できるための社会資源の活用について考察する。 8）看護計画・実践に関するカンファレンスを毎日学生が主体となって行い、実習指導者や担当教員から効果的な助言をもらえるよう調整する。 9）受け持ち対象者が退院した場合や、受け持ち対象者がいない場合は、実習指導者、担当教員と相談して機能別実習を行う。 10）実習最終日に実習を踏まえたテーマについて最終カンファレンスを行い、終了後、実習評価に関する個別面接を行う。 詳細は、別途配布する「2024年度母性看護学実習Ⅱ実習要項」を参照とする 2. 実習期間	実習	予習： １　母性看護学Ⅰ・Ⅱの講義資料および実習ガイダンス時の資料を復習しておく。 ２　母性看護学Ⅱの演習Ⅰ資料を見直して、妊産褥婦および新生児への看護技術を復習しておく。 ３　自己学習内容の資料をもとに、N103実習室で実習に向け必要な技術の練習をしておく。 ４　実習要項とガイダンス資料をもとに、自分の実習目標を明確にしておく。 復習： １　実習記録を用いて１日の実習を振り返り、学修したことをまとめる。 ２　翌日の実習目標と計画を立案し、そのために必要な知識及び技術を教科書・参考書を用いて学修する。 ３　実習終了後、自身の課題をまとめる。	全員

	１クールＡ：2024年10月７日(月)～10月11日(金) Ｂ：2024年10月15日(火)～10月18日(金) ２クールＡ：2024年10月21日(月)～10月25日(金) Ｂ：2024年10月28日(月)～11月１日(金) ３クールＡ：2024年11月11日(月)～11月15日(金) Ｂ：2024年11月18日(月)～11月22日(金) ４クールＡ：2024年11月25日(月)～11月29日(金) Ｂ：2024年12月２日(月)～12月６日(金) ５クールＡ：2024年12月９日(月)～12月13日(金) Ｂ：2024年12月16日(月)～12月20日(金) 3. 実習施設 愛知医科大学病院　６B病棟		時間制限はしない。	
2	同上	実習		全員
3	同上	実習		全員
4	同上	実習		全員
5	同上	実習		全員
6	同上	実習		全員
7	同上	実習		全員
8	同上	実習		全員
9	同上	実習		全員
10	同上	実習		全員
11	同上	実習		全員
12	同上	実習		全員
13	同上	実習		全員
14	同上	実習		全員
15	同上	実習		全員
16	同上	実習		全員
17	同上	実習		全員
18	同上	実習		全員
19	同上	実習		全員
20	同上	実習		全員

評価方法	１　実習期間の５分の４以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。ただし、欠席や遅刻は減点とする。 ２　実習評価は、学生と教員で評価を可視化できるルーブリック評価表を用いる。 ３　実習最終日、実習目標と実践、実習記録、カンファレンスの参加度に対する学生の自己評価をふまえ、実習担当教員より実習のフィードバックを行う。
教科書・参考書	教科書： 母性看護学Ⅰ、母性看護学Ⅱで使用している教科書、授業資料を参考とする。 参考書： １　荒木奈緒他編（2024）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第６版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） その他、実習中に適宜提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修について ⑴「母性看護学Ⅰ」及び「母性看護学Ⅱ」の単位を修得していることが履修の前提条件となる。 ⑵　実習要項および看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 ２　出欠席について ⑴　実習ガイダンスに出席し、実習方法、実習内容等の詳細を把握し、準備をして臨むこと。 ⑵　やむを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 ３　単位取得について ⑴　実習期間の５分の４以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。 ⑵　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ４　その他 ⑴　感染症に対し脆弱な新生児を扱うことから、自身の体調管理には十分留意し、少しでも気になる所見がある場合は自己判断をせず、担当教員に登校前に相談をすること。

	⑵　実習は対象の生活や周産期の実践の場所で行うことから、謙虚に学ぶ姿勢や、誠実な態度と礼儀正しい言葉遣いを心がけ、自主的に挨拶、自己紹介、意思表示を行う。
オフィスアワー	山本　弘江　水曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階個人研究室① 丸谷　紗穂　水曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N367研究室
備考	１　実習前までに提示された復習課題に取り組む。 ２　実習前までに実習室N103の教室開放時間内に母性看護学Ⅱで行った演習Ⅰの技術の復習を行っておく。 ３　母性看護学Ⅰ・母性看護学Ⅱの復習を教科書及び講義資料を用いて行っておく。 ［実務］ 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、周産期(妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期)の母子と家族への看護実践について指導する。またヘルスプロモーションの視点に立って、その家族が社会で健康に生活できるための看護の役割について教育する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	小児看護学実習Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
（英文名）	Practicum: Pediatric Nursing Ⅱ		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 茂本　咲子
准 教 授	深谷　基裕
助　　教	坂川　有希

科目概要	病気や治療・入院が子どもと家族に及ぼす影響を踏まえ、子どもの成長・発達及び健康レベルに応じた小児看護の基礎的実践能力を学修する。
目標	１　入院、治療および子どもの成長・発達を踏まえた子どもと家族の課題を包括的に理解し、説明できる「DP：１，４，５」 ２　対象の子どもと家族の置かれた状況を理解し、必要な看護を検討し、実践できる。「DP：１，５」 ３　子どもと家族に行った看護実践を振り返り、グループで共有し、自己の学びを深めることができる。「DP：３，６」 ４　小児看護における保健・医療・福祉・教育との連携について考え、看護師が果たす役割を説明できる。「DP：３，４」 ５　子どもにかかわる看護専門職者として「子どもの権利」を守るための基本的姿勢や倫理的態度を理解し、実践できる。「DP：１，５」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１.実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2024年度小児看護学実習Ⅱ実習要項」を参照とする。 ２.実習期間 1週間（5日間）で、10の期間に分かれて行う。 ・ 1クールA：2024年10月７日（月）～10月11日（金） ・1クールB：2024年10月15日（火）～10月18日（金） ・２クールA：2024年10月21日（月）～10月25日（金） ・２クールB：2024年10月28日（月）～11月１日（金） ・３クールA：2024年11月11日（月）～11月15日（金） ・３クールB：2024年11月18日（月）～11月22日（金） ・４クールA：2024年11月25日（月）～11月29日（金） ・４クールB：2024年12月２日（月）～12月６日（金） ・５クールA：2024年12月９日（月）～12月13日（金） ・５クールB：2024年12月16日（月）～12月20日（金） 3.1週間（5日間）の実習展開 ・1日目~4日目　病棟実習（８A/GCU） ・5日目　　学内（まとめ）	実習	１　実習前に、提示された事前学習課題に取り組む。 ２　講義科目である小児看護学ⅠとⅡの復習をする。 ３　実習中は一日の実習内容を日々振り返り、学習を整理する。 ４　実習終了後は、小児看護学実習Ⅱでの学びを整理し、自己評価を行う。 ５　実習前後で関連ある看護師国家試験の問題に取り組む。	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
2	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
3	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希

4	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
5	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
6	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
7	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
8	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
9	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
10	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
11	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
12	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
13	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
14	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
15	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
16	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
17	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
18	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
19	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希
20	同上	実習	同上	茂本　咲子 深谷　基裕 坂川　有希

評価方法	各担当教員により評価を行ったうえで、最終評価は総合的に行う。 評価は、学生と各実習担当教員が実習の目標の到達度を可視化できる共通の評価表を用いて行う。 学生は、実習終了後、所定の評価用紙に自分の実習内容を振り返り、自己評価を行う。 学生と各実習担当教員で評価表を用いて、最終日に実習のフィードバックを行う。 全ての実習終了後、100点満点に換算したうえでＡ～Ｄの評価を行う。 Ａ＝80～100点、Ｂ＝70～79点、Ｃ＝60～69点、Ｄ＝60点未満とする。

教科書・参考書	教科書： １　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［１］小児看護学概論　小児臨床看護総論」、第14版、医学書院、定価3,190円（税込み） ２　奈良間美保他（2020）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学［２］小児臨床看護各論」、第14版、医学書院、定価3,630円（税込み） 参考書： １　筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護学」、第２版、照林社、定価3, 630円（税込み） その他の参考書は実習の中で適宜提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	１　「小児看護学Ⅰ」、「小児看護学Ⅱ」、「小児看護学実習Ⅰ」の単位修得が履修の前提条件となる。 ２　小児感染症等の抗体価を確認し、必要な予防接種を含め感染予防に備えておくこと。 ３　止むを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 ４　単位修得について ⑴　実習記録が指定された期限内に提出され、原則として、５分の４以上の出席がある場合に評価の対象とする。 ⑵　遅刻・早退があった場合は、時間数に応じ総合評価からの減点を行う。 ⑶　追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。
オフィスアワー	茂本　咲子　　月曜日　16：30～18：00　Ｃ棟５階教授室７ 深谷　基裕　　月曜日　16：00～17：30　基礎科学棟３階N365研究室 坂川　有希　　木曜日　16：00～17：30　看護学部棟２階N253研究室
備考	［実務］ 小児専門病院、総合病院小児病棟、大学病院等において、看護師として子どもと家族の看護の実務経験がある教員が、子どもの成長・発達及び健康レベルに応じた小児看護の実践について指導する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	公衆衛生看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum: Public Health Nursing Ⅰ		
科目区分	臨地実習 保健師課程実習		
必修・選択＜組＞	保健師課程…必修		
開講学年次	３学年次		

担当教員

職種	氏名
教　　授	◎ 若杉　里実
准 教 授	淺野　いずみ
講　　師	二村　純子

科目概要	地域で生活する個人・家族・集団の対象となる人々の健康課題に応える公衆衛生看護活動を理解し、看護専門職者としての判断に基づいた看護実践能力を養う。
目標	１　保健所、市町村の機能と役割を説明できる。「ＤＰ：３～５」 ２　個人・家族・集団に対する公衆衛生看護活動の展開方法を、PDCAサイクルに基づき考え、述べることができる。 「ＤＰ：１～６」 ３　公衆衛生看護活動と関係機関・職種との連携・協働について理解できる。「ＤＰ：１～５」 ４　地域の健康危機管理について理解できる。「ＤＰ：１～５」 ５　公衆衛生看護における看護倫理について学び、実践できる。「ＤＰ：１～６」

授業計画表

回	内　　容	授業の運営	準備学修（予習・復習）	担当教員
1	１　実習内容と方法 詳細は、別途配布する「令和６年度公衆衛生看護学実習Ⅰガイダンス資料」を参照とする。 ２　実習期間：令和７年２月10日（月）～２月21日（金）の２単位の実習である。 ３　実習体制： (1)学生は２～３名のグループに分かれて実習する。 (2)愛知県保健所、名古屋市保健センター、一宮市保健所、市町村で実習する。 (3)各実習施設において行われる保健事業を実習する。 ３　最終カンファレンス 同じ実習施設メンバー、実習指導者、実習担当教員で、実習の最終カンファレンスを行う。	実習	１　事前学習課題 実習ガイダンスで提示した事前学習課題に取り組む。 ２　教科書および２学年次の公衆衛生看護学Ⅰ、３学年次の公衆衛生看護学Ⅱ、健康教育論、保健指導論等の講義資料の復習をする。 ３　時間制限はしない。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員

9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	発表（実習施設での発表）	同上	全員

評価方法	実習目標に準じた評価基準に則り、実習記録、レポートの内容、実習への取り組みについて総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： １　荒賀直子・後閑容子・鳩野洋子・神庭純子編(2022)：「公衆衛生看護学. jp」、第５版データ更新版、インターメディカル出版、定価4,840円(税込み) ２　厚生労働統計協会編(2024)：「国民衛生の動向(2024/2025)」、厚生労働統計協会出版、定価2,970円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	１　履修条件として保健師課程選択の学生であること。 ２　評価を受けるには、５分の４以上の出席日数が必要である。 ３　実習に際しては、実習要項、ガイダンスでの説明を遵守し、取り組む。 ４　実習記録には、教員からの講評を記載する。 ５　追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 ６　凡例 　　発表：プレゼンテーション
オフィスアワー	若杉　里実　　月曜日　16：10～17：40　Ｃ棟５階　教授室４ 淺野　いずみ　水曜日　16：10～17：40　看護学部棟２階　N251研究室 二村　純子　　金曜日　16：10～17：40　看護学部棟４階　N452研究室
備考	毎回、実習の体験内容からの学びを整理し、実習記録を提出すること。 翌日の実習体験内容について、準備学修を行うこと（時間制限はしない）。 ［実務］ 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実習指導者との協働のもと実際の看護活動の見学体験を通じた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。